

# 金川遺跡

頭地田口 C 遺跡

頭地田口 D 遺跡

2013.3

熊本県教育委員会



五木谷村絵図

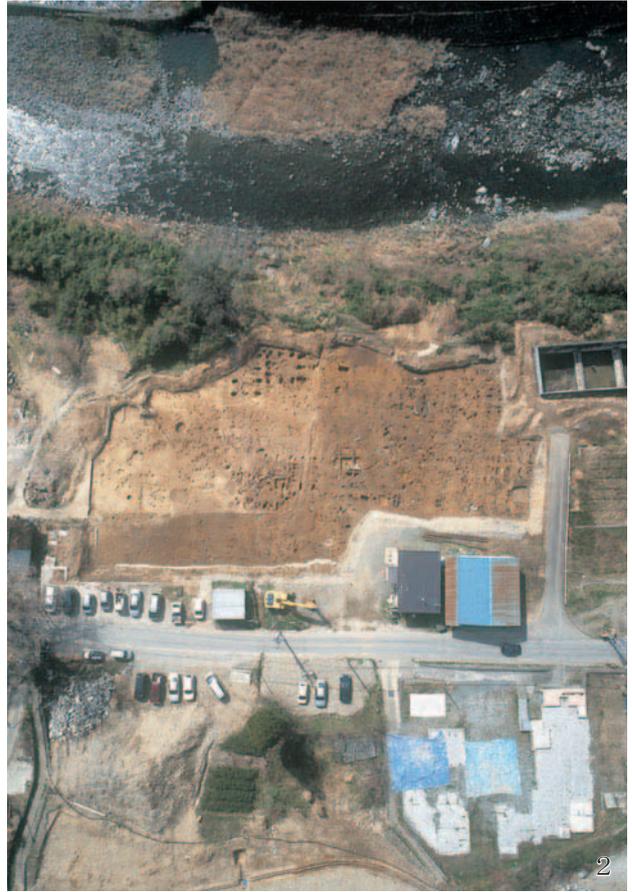


1



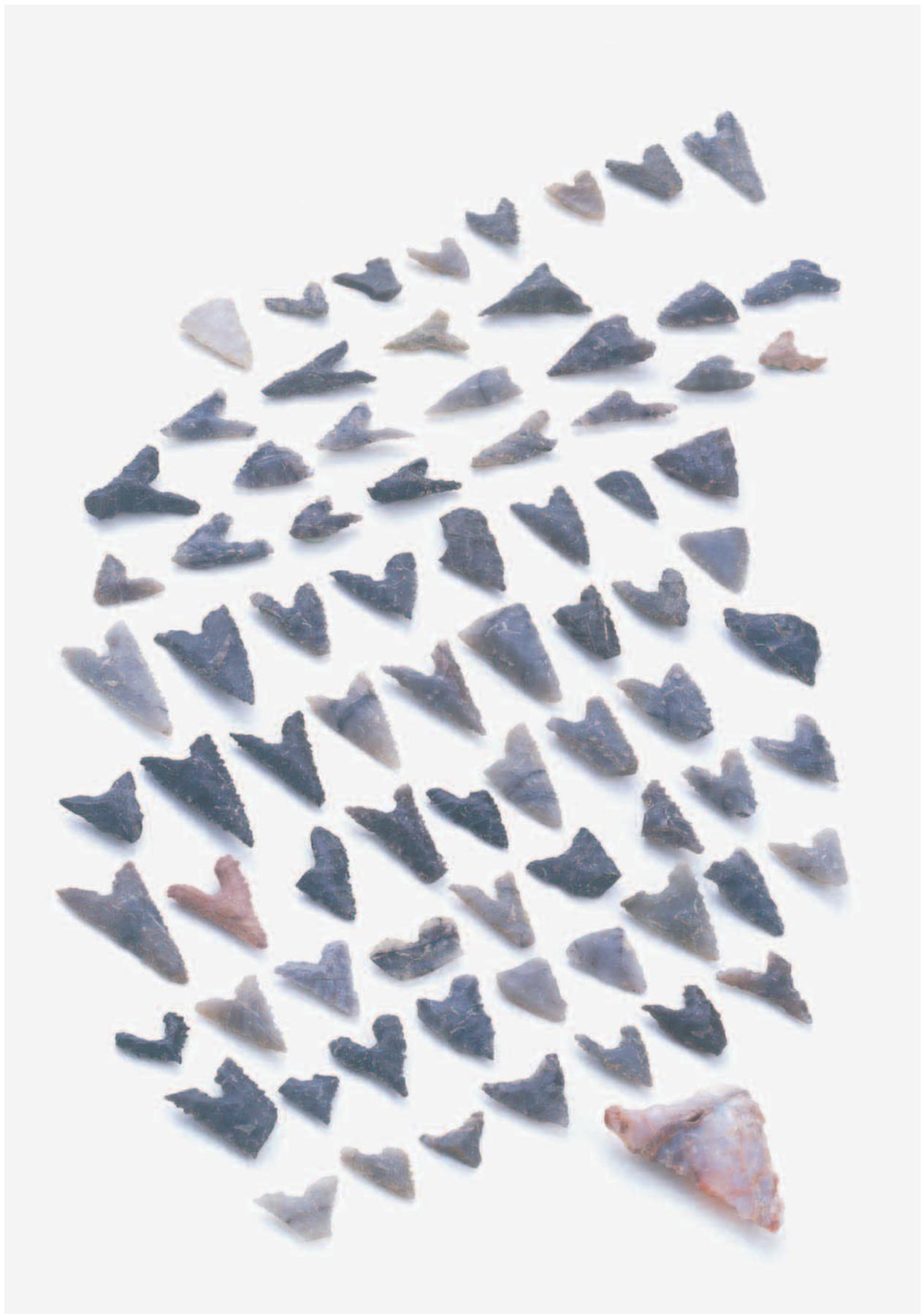
2

1. 川辺川上空より五木村の山々を望む  
2. 金川遺跡 I-A区・I-B区 調査区 全景



1. 頭地田口C遺跡 I区 全景  
2. 頭地田口C遺跡 II区 全景

3. 頭地田口D遺跡 全景



金川遺跡 I-A区 2~5層 出土石器



金川遺跡 I-A区・I-B区 2~5層 出土石器



1. 金川遺跡 I-A区 調査区 出土石器  
2. 3. 金川遺跡 I-A区・I-B区 調査区 出土石器



1



2



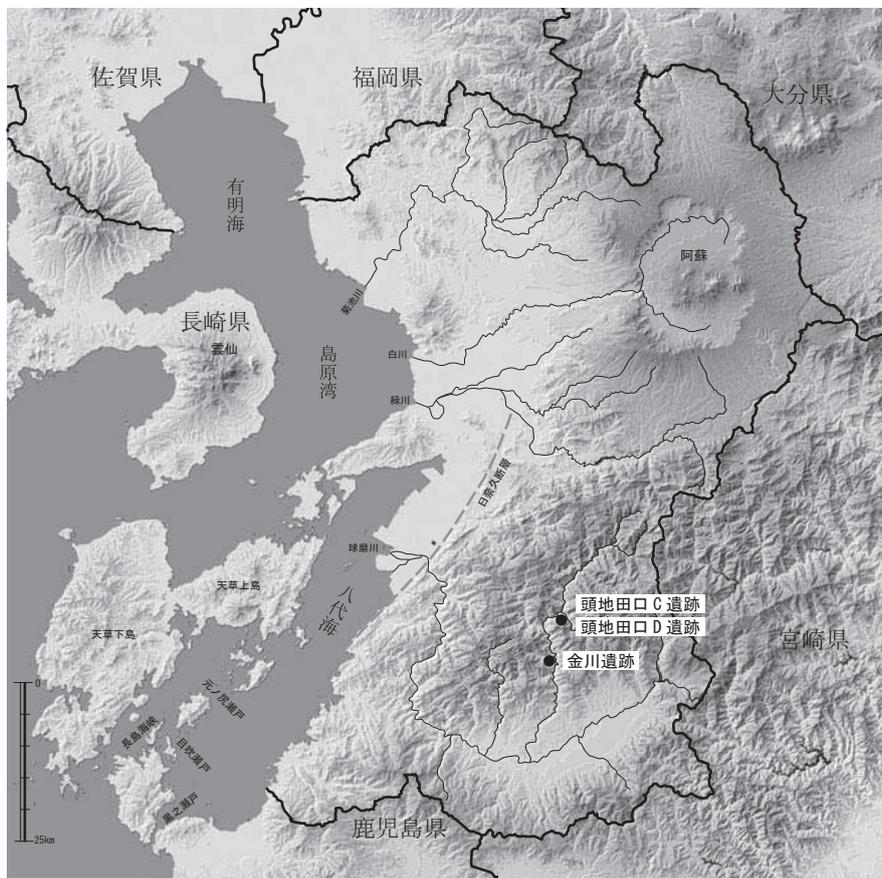
3

1. 頭地田口C遺跡 I区 SB021・SB022 出土遺物  
2. 3. 頭地田口C遺跡 I区 調査区 出土遺物

# 金川遺跡

頭地田口 C 遺跡

頭地田口 D 遺跡



2013.3

熊本県教育委員会

## 序 文

熊本県教育委員会では、川辺川ダム建設事業に伴い水没地及び代替地予定地の埋蔵文化財発掘調査を実施しました。本書は、熊本県球磨郡五木村金川地区、頭地地区に所在する「金川遺跡・頭地田口C遺跡・頭地田口D遺跡」の発掘調査報告書です。

金川遺跡は平成14年度に、頭地田口C遺跡は平成15年度から平成16年度、頭地田口D遺跡は平成16年度に発掘調査を実施し、平成23年度から整理作業を進め、ようやくここに報告書としてまとめることができました。途中、ダム事業の中止という大きな時代のうねりと波を経験し、工事に先立ち実施した記録保存のための貴重な遺跡に対する発掘調査の成果を、後世に伝えていく難しさを痛感しました。

かつての川沿いの狭い道も、高台を通る整備された広い道路に変わりました。反面、発掘調査を実施した金川地区の集落は無人となり、文化12年の『五木谷村絵図』に見られる「金川」の地名は国土地理院の地図の中から消えてしまいました。本書で報告をする金川遺跡・頭地田口C遺跡・頭地田口D遺跡には、川辺川流域の豊かな自然の恵みに生まれ、古より営まれた人々の生活の痕跡がしっかりと記憶されていました。

本書が学術資料としてはもとより、郷土の歴史に対する理解を深め、ひいては教育・文化の向上の一助としてご活用いただけると幸いです。

最後に、埋蔵文化財発掘調査にご理解、ご協力をいただいた五木村の皆様をはじめ、五木村教育委員会、事業主体である国土交通省川辺川砂防事務所に対し、心より感謝申し上げます。

平成25年3月31日

熊本県教育長 田 崎 龍 一

## 例 言

- 1 本書は、熊本県球磨郡五木村金川地区に所在する金川遺跡と同村頭地字田口地区に所在する頭地田口C遺跡及び頭地田口D遺跡の調査報告書である。
- 2 調査は川辺川ダム建設事業に伴う事前発掘調査として、国土交通省から依頼を受けて平成14～16年度に熊本県教育庁文化課が実施した。
- 3 遺構の写真撮影は、各遺跡の調査担当者が行った。
- 4 遺構の実測は、各遺跡の調査担当者が行った。
- 5 遺物の整理は、熊本県文化財資料室で行った。
- 6 遺物の実測及び製図は、村崎孝宏、戸田紀美子、築出直美、藤本香織が担当し、土器類を株式会社九州文化財研究所と株式会社埋蔵文化財サポートシステムに、石器類を株式会社九州文化財研究所に委託した。
- 7 遺構の製図は、株式会社九州文化財研究所と株式会社埋蔵文化財サポートシステムに委託した。
- 8 遺物分布図の作成は、株式会社埋蔵文化財サポートシステムに委託した。
- 9 遺物の写真撮影は、株式会社写測エンジニアに委託した。
- 10 本書の執筆、編集は村崎が担当し、戸田、築出、藤本、樋脇が補助した。
- 11 本書に掲載した資料は、熊本県文化財資料室で保管している。

## 凡 例

- 1 本書で使用している方位は、座標軸を基準とした北を示している。
- 2 報告書に掲載した実測図の縮尺は、掘立柱建物跡は $S=1/80$ 、土坑は $S=1/20$ 、 $1/30$  炉社は $S=1/30$ 、土壙墓は $S=1/20$ 、 $1/30$  である。
- 3 土層及び土器・陶磁器類の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版 標準土色帖」(財団法人日本色彩研究所；2004)に準拠した。
- 4 写真の縮尺は任意である。
- 5 遺物の実測は一部を除き原則として原寸大で行い、報告書に掲載した実測図の縮尺は挿図ごとにスケールを示した。
- 6 遺構の種別については、発掘調査時に判断し遺構の種別ごとに略号を付した。  
その略号は以下のとおりである。  
SA 柵列、SB 掘立柱建物跡、SK 土坑、ST 墓、SL 炉社、SX その他の遺構

# 本文目次

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 序文                    |     |
| 例言                    |     |
| 第Ⅰ章 調査に至る経緯と地理的・歴史的環境 | 1   |
| 第1節 調査に至る経緯           | 1   |
| 第2節 地理的環境             | 3   |
| 第3節 歴史的環境             | 3   |
| 第Ⅱ章 各遺跡の報告            | 7   |
| 第1節 金川遺跡の調査           | 7   |
| 1. 調査の方法と経過           | 7   |
| 2. 調査の組織              | 11  |
| 3. 調査の成果              | 13  |
| (1) 遺構について (I-A区)     | 13  |
| (2) 遺物について (I-A区)     | 14  |
| (3) 遺構について (I-B区)     | 25  |
| (4) 遺物について (I-B区)     | 34  |
| 第2節 頭地田口C遺跡の調査        | 85  |
| 1. 調査の方法と経過           | 85  |
| 2. 調査の組織              | 108 |
| 3. 調査の成果              | 110 |
| (1) 遺構について            | 110 |
| (2) 遺物について            | 162 |
| 第3節 頭地田口D遺跡の調査        | 205 |
| 1. 調査の方法と経過           | 205 |
| 2. 調査の組織              | 207 |
| 3. 調査の成果              | 208 |
| 第Ⅲ章 総括                | 215 |
| 参考文献                  |     |
| 写真図版                  |     |
| 抄録                    |     |

## 挿 図 目 次 (Fig)

- |  |   |
|--|---|
| <p>Fig.1 金川遺跡 I-A 区遺構配置図 (S=1/200)</p> <p>Fig.2 金川遺跡 I-A 区 SK001 実測図</p> <p>Fig.3 金川遺跡 I-A 区 SY002 実測図</p> <p>Fig.4 金川遺跡 I-A 区 D3 ~ C3 土層断面実測図</p> <p>Fig.5 金川遺跡 I-A 区 E5 ~ B5 土層断面実測図</p> <p>Fig.6 金川遺跡 I-A 区 C6 ~ C1 土層断面実測図</p> <p>Fig.7 金川遺跡 I-A 区 2 層遺物出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.8 金川遺跡 I-A 区 3 層遺物出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.9 金川遺跡 I-A 区 4 層遺物出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.10 金川遺跡 I-A 区 5 層遺物出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.11 金川遺跡 I-A 区 2b 層石器出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.12 金川遺跡 I-A 区 3 層石器出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.13 金川遺跡 I-A 区 4 層石器出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.14 金川遺跡 I-A 区 5 層石器出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.15 金川遺跡 I-B 区遺構配置図 (S=1/400)</p> <p>Fig.16 金川遺跡 I-B 区 ST007 実測図</p> <p>Fig.17 金川遺跡 I-B 区 SX003 実測図</p> <p>Fig.18 金川遺跡 I-B 区 h36 ~ i36 土層断面実測図</p> <p>Fig.19 金川遺跡 I-B 区 g35 ~ j35 土層断面実測図</p> <p>Fig.20 金川遺跡 I-B 区 g33 ~ j33 土層断面実測図</p> <p>Fig.21 金川遺跡 I-B 区 h26 ~ i27・g29 ~ i29<br/>土層断面実測図</p> <p>Fig.22 金川遺跡 I-B 区 g22・g23・h25 土層断面実測図</p> <p>Fig.23 金川遺跡 I-B 区 4 層遺物出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.24 金川遺跡 I-B 区 5 層遺物出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.25 金川遺跡 I-B 区 5 層石器出土状況図 (S=1/200)</p> <p>Fig.26 金川遺跡 I-A 区 2 層出土遺物実測図</p> <p>Fig.27 金川遺跡 I-A 区 2 層・2b 層出土遺物実測図</p> <p>Fig.28 金川遺跡 I-A 区 3 層出土遺物実測図 - ①</p> <p>Fig.29 金川遺跡 I-A 区 3 層出土遺物実測図 - ②</p> <p>Fig.30 金川遺跡 I-A 区 3 層出土遺物実測図 - ③</p> <p>Fig.31 金川遺跡 I-A 区 3 層出土遺物実測図 - ④</p> <p>Fig.32 金川遺跡 I-A 区 3 層出土遺物実測図 - ⑤</p> <p>Fig.33 金川遺跡 I-A 区 2 ~ 3 層出土遺物実測図</p> <p>Fig.34 金川遺跡 I-A 区 4 層出土遺物実測図 - ①</p> <p>Fig.35 金川遺跡 I-A 区 4 層出土遺物実測図 - ②</p> <p>Fig.36 金川遺跡 I-A 区 3 ~ 4 層出土遺物実測図</p> <p>Fig.37 金川遺跡 I-A 区 5 層出土遺物実測図</p> <p>Fig.38 金川遺跡 I-A 区調査区出土遺物実測図</p> <p>Fig.39 金川遺跡 I-B 区 ST004・ST005・SX003<br/>出土遺物実測図</p> | <p>Fig.40 金川遺跡 I-B 区 4 層・5 層出土遺物実測図</p> <p>Fig.41 金川遺跡 I-B 区調査区出土遺物実測図</p> <p>Fig.42 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ①</p> <p>Fig.43 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ②</p> <p>Fig.44 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ③</p> <p>Fig.45 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ④</p> <p>Fig.46 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑤</p> <p>Fig.47 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑥</p> <p>Fig.48 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑦</p> <p>Fig.49 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑧</p> <p>Fig.50 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑨</p> <p>Fig.51 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑩</p> <p>Fig.52 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑪</p> <p>Fig.53 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑫</p> <p>Fig.54 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑬</p> <p>Fig.55 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑭</p> <p>Fig.56 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑮</p> <p>Fig.57 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑯</p> <p>Fig.58 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑰</p> <p>Fig.59 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑱</p> <p>Fig.60 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑲</p> <p>Fig.61 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ⑳</p> <p>Fig.62 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ㉑</p> <p>Fig.63 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ㉒</p> <p>Fig.64 金川遺跡 I-A 区調査区出土石器実測図 - ㉓</p> <p>Fig.65 金川遺跡 I-B 区調査区出土石器実測図</p> <p>Fig.66 頭地田口 C 遺跡 I 区遺構配置図</p> <p>Fig.67 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB021 実測図</p> <p>Fig.68 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB021 土層断面実測図</p> <p>Fig.69 頭地田口 C 遺跡 I 区 SA025・SB022 実測図</p> <p>Fig.70 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB022 土層断面実測図</p> <p>Fig.71 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB023 実測図</p> <p>Fig.72 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB024 実測図</p> <p>Fig.73 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB026 実測図</p> <p>Fig.74 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB027 実測図</p> <p>Fig.75 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB028 実測図</p> <p>Fig.76 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB029 実測図</p> <p>Fig.77 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB030 実測図</p> <p>Fig.78 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB031 実測図</p> <p>Fig.79 頭地田口 C 遺跡 I 区 SK041 実測図</p> |
|--|---|

## 挿 図 目 次 (Fig)

|  |  |
|--|--|
| Fig.80 頭地田口 C 遺跡 II 区遺構配置図             | Fig.120 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB021・SB022 出土遺物実測図  |
| Fig.81 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB002 実測図        | Fig.121 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土遺物実測図 - ①        |
| Fig.82 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB003 実測図        | Fig.122 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土遺物実測図 - ②        |
| Fig.83 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB004 実測図        | Fig.123 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土遺物実測図 - ③        |
| Fig.84 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB005 実測図        | Fig.124 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土遺物実測図 - ④        |
| Fig.85 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB008 実測図        | Fig.125 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB037・SK043 出土遺物実測図 |
| Fig.86 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB009 実測図        | Fig.126 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土遺物実測図 - ①       |
| Fig.87 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB011 実測図        | Fig.127 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土遺物実測図 - ②       |
| Fig.88 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB010 実測図        | Fig.128 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土遺物実測図 - ③       |
| Fig.89 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB012 実測図        | Fig.129 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ①        |
| Fig.90 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB013 実測図        | Fig.130 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ②        |
| Fig.91 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB014 実測図        | Fig.131 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ③        |
| Fig.92 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB015 実測図        | Fig.132 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ④        |
| Fig.93 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB016 実測図        | Fig.133 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ⑤        |
| Fig.94 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB018 実測図        | Fig.134 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ⑥        |
| Fig.95 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB019 実測図        | Fig.135 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ⑦        |
| Fig.96 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB019 土層断面実測図    | Fig.136 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ⑧        |
| Fig.97 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB020 実測図        | Fig.137 頭地田口 C 遺跡 I 区調査区出土石器実測図 - ⑨        |
| Fig.98 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB032 実測図        | Fig.138 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ①       |
| Fig.99 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB033 実測図        | Fig.139 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ②       |
| Fig.100 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB034 実測図       | Fig.140 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ③       |
| Fig.101 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB036 実測図       | Fig.141 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ④       |
| Fig.102 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB035 実測図       | Fig.142 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑤       |
| Fig.103 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB037 実測図       | Fig.143 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑥       |
| Fig.104 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB039 実測図       | Fig.144 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑦       |
| Fig.105 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB038 実測図       | Fig.145 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑧       |
| Fig.106 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB040 実測図       | Fig.146 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑨       |
| Fig.107 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK043 実測図       | Fig.147 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑩       |
| Fig.108 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK044 実測図       | Fig.148 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑪       |
| Fig.109 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK045 実測図       | Fig.149 頭地田口 C 遺跡 II 区調査区出土石器実測図 - ⑫       |
| Fig.110 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK046 実測図       | Fig.150 頭地田口 D 遺跡調査区全体図 (S=1/200)          |
| Fig.111 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK047 実測図       | Fig.151 頭地田口 D 遺跡調査区土層断面実測図                |
| Fig.112 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK048 実測図       | Fig.152 頭地田口 D 遺跡調査区出土遺物実測図                |
| Fig.113 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK049 実測図       | Fig.153 頭地田口 D 遺跡調査区出土石器実測図 - ①            |
| Fig.114 頭地田口 C 遺跡 II 区 SK050 実測図       | Fig.154 頭地田口 D 遺跡調査区出土石器実測図 - ②            |
| Fig.115 頭地田口 C 遺跡 II 区 SL042 実測図       | Fig.155 頭地田口 C 遺跡 I 区(上)・II 区(下)遺構分布図      |
| Fig.116 頭地田口 C 遺跡 II 区 ST051 実測図       |  |
| Fig.117 頭地田口 C 遺跡 II 区 ST052 実測図       |  |
| Fig.118 頭地田口 C 遺跡 II 区 SX053・SX055 実測図 |  |
| Fig.119 頭地田口 C 遺跡 II 区 SX054 実測図       |  |

## 表 目 次 (Tab)

|        |                                 |        |                                 |
|--------|---------------------------------|--------|---------------------------------|
| Tab.1  | 川辺川ダム関連埋蔵文化財一覧表                 | Tab.17 | 頭地田口C遺跡 出土遺物(土師器・須恵器・瓦質土器)観察表-② |
| Tab.2  | 金川遺跡 出土遺物(縄文土器)観察表-①            | Tab.18 | 頭地田口C遺跡 出土遺物(土師器・須恵器・瓦質土器)観察表-③ |
| Tab.3  | 金川遺跡 出土遺物(縄文土器)観察表-②            | Tab.19 | 頭地田口C遺跡 出土遺物(陶磁器)観察表-①          |
| Tab.4  | 金川遺跡 出土遺物(縄文土器)観察表-③            | Tab.20 | 頭地田口C遺跡 出土遺物(陶磁器)観察表-②          |
| Tab.5  | 金川遺跡 出土遺物(縄文土器)観察表-④            | Tab.21 | 頭地田口C遺跡 出土遺物(土製品)観察表            |
| Tab.6  | 金川遺跡 出土遺物(土師器・瓦質土器)観察表          | Tab.22 | 頭地田口C遺跡 I区石器観察表-①               |
| Tab.7  | 金川遺跡 出土遺物(土製品)観察表               | Tab.23 | 頭地田口C遺跡 I区石器観察表-②               |
| Tab.8  | 金川遺跡 出土遺物(陶磁器)観察表               | Tab.24 | 頭地田口C遺跡 II区石器観察表-①              |
| Tab.9  | 金川遺跡 I-A区 石器観察表-①               | Tab.25 | 頭地田口C遺跡 II区石器観察表-②              |
| Tab.10 | 金川遺跡 I-A区 石器観察表-②               | Tab.26 | 頭地田口D遺跡 出土遺物(土師器・須恵器)観察表        |
| Tab.11 | 金川遺跡 I-A区 石器観察表-③               | Tab.27 | 頭地田口D遺跡 出土遺物(陶磁器)観察表            |
| Tab.12 | 金川遺跡 I-A区 石器観察表-④               | Tab.28 | 頭地田口D遺跡 出土遺物(土製品)観察表            |
| Tab.13 | 金川遺跡 I-A区 石器観察表-⑤               | Tab.29 | 頭地田口D遺跡 石器観察表                   |
| Tab.14 | 金川遺跡 I-B区 石器観察表                 | Tab.30 | 頭地田口C遺跡 検出建物遺構の重複と先後関係          |
| Tab.15 | 頭地田口C遺跡 出土遺物(縄文土器・弥生式土器)観察表     |        |                                 |
| Tab.16 | 頭地田口C遺跡 出土遺物(土師器・須恵器・瓦質土器)観察表-① |        |                                 |

## 写 真 目 次 (PL)

|                             |        |                            |
|-----------------------------|--------|----------------------------|
| 五木谷村絵図                      | PL.1   | 1. 遠景(北より)                 |
| 1. 川辺川上空より五木村の山々を望む         | (金川遺跡) | 2. I-A区 SK001 検出状況         |
| 2. 金川遺跡 I-A区・I-B区調査区全景      |        | 3. I-A区 SK001 完掘状況         |
| 1. 頭地田口C遺跡 I区全景             |        | 4. I-A区 SY002 集石出土状況       |
| 2. 頭地田口C遺跡 II区全景            | PL.2   | 1. I-A区遺物出土状況              |
| 3. 頭地田口D遺跡全景                | (金川遺跡) | 2. I-A区完掘状況                |
| 金川遺跡 I-A区 2～5層出土石器          |        | 3. I-B区石垣(石組遺構)            |
| 金川遺跡 I-A区・I-B区 2～5層出土石器     |        | 4. I-B区 SX003 出土状況         |
| 1. 金川遺跡 I-A区調査区出土石器         | PL.3   | 1. I-B区 SX003 完掘状況         |
| 2. 3. 金川遺跡 I-A区・I-B区調査区出土石器 | (金川遺跡) | 2. I-B区 ST004・005・006 検出状況 |
| 1. 頭地田口C遺跡 I区 SB021・SB022   |        | 3. I-B区 ST004 土層断面         |
| 出土遺物                        |        | 4. I-B区 ST005 土層断面         |
| 2. 3. 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土遺物    | PL.4   | 1. I-B区 ST006 墓石出土状況       |
| (本文掲載)                      | (金川遺跡) | 2. I-B区 ST004・005・006 完掘状況 |
| 1. 金川遺跡 I-A区 3層石器           |        | 3. I-B区作業風景                |
| 2. 金川遺跡 I-A区・I-B区 (o) 石器    |        | 4. I-B区完掘状況(北より)           |
| 1. 頭地田口C遺跡 I区石器             | PL.5   | I-B区北壁断面 g29～h29           |
| 2. 頭地田口C遺跡 II区石器            | (金川遺跡) | I-B区北壁断面 h29～i29           |
| 頭地田口D遺跡 石器                  |        | I-B区北壁断面 i29～              |

## 写 真 目 次 (PL)

|             |                       |       |   |
|-------------|-----------------------|-------|---|
|             | I-B 区北壁断面 h33 ~ i33   | PL.11 | 1. 2. 金川遺跡 I-A 区 2 層出土遺物                  |
|             | I-B 区北壁断面 i33 ~ j33   |       | 3. 金川遺跡 I-A 区 3 層出土遺物                     |
|             | I-B 区北壁断面 g35 ~ h35   |       | 4. 金川遺跡 I-A 区 3 層出土遺物                     |
|             | I-B 区北壁断面 h35 ~ i35   |       | 5. 金川遺跡 I-A 区 調査区出土遺物                     |
|             | I-B 区北壁断面 i35 ~ j35   | PL.12 | 金川遺跡 I-A 区 2 層・2b 層出土遺物                   |
| PL.6        | 1. 頭地田口 C 遺跡 I 区全景    | PL.13 | 金川遺跡 I-A 区 3 層・3 ~ 4 層出土遺物                |
|             | 2. 頭地田口 C 遺跡 II 区全景   | PL.14 | 金川遺跡 I-A 区 3 層・3 ~ 4 層出土遺物                |
|             | 3. 頭地田口 D 遺跡全景        | PL.15 | 金川遺跡 I-A 区 3 層・8 層出土遺物                    |
| PL.7        | I 区 SB021 検出状況        | PL.16 | 金川遺跡 I-A 区 3 層・5 層出土遺物                    |
| (頭地田口 C 遺跡) | I 区 SB021 土層断面        | PL.17 | 金川遺跡 I-A 区 4 層出土遺物                        |
|             | I 区 SB021 土層断面        | PL.18 | 1. 金川遺跡 I-A 区 3 層・3 ~ 4 層出土遺物             |
|             | I 区 SB021 土層断面        |       | 2. 金川遺跡 I-A 区 2 層出土遺物                     |
|             | I 区 SB022 検出状況        |       | 3. 金川遺跡 I-B 区 ST004・005・SX003<br>出土遺物     |
|             | I 区 SB022 土層断面        |       | 4. 金川遺跡 I-B 区 調査区出土遺物                     |
|             | I 区 SB031 検出状況        | PL.19 | 金川遺跡 I-A 区・I-B 区 調査区出土遺物                  |
| PL.8        | II 区 SB001 検出状況       | PL.20 | 金川遺跡 I-B 区 4 層・5 層・調査区<br>出土遺物            |
| (頭地田口 C 遺跡) | II 区 SB002 検出状況       | PL.21 | 金川遺跡 I-A 区 2 ~ 5 層・調査区<br>出土石器            |
|             | II 区 SB003 検出状況       | PL.22 | 1. 金川遺跡 I-A 区 調査区出土石器                     |
|             | II 区 SB004 検出状況       |       | 2. 3. 金川遺跡 I-A 区・I-B 区<br>調査区出土石器         |
|             | II 区 SB008 検出状況       | PL.23 | 金川遺跡 I-A 区・I-B 区 2 ~ 5 層<br>出土石器          |
|             | II 区 SB012 検出状況       | PL.24 | 1. 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB021・SB022<br>出土遺物      |
|             | II 区 SK042 石組出土状況     |       | 2. 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物                  |
|             | II 区 SB011・SK042 完掘状況 |       | 3. 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物                  |
| PL.9        | II 区 SB015 検出状況       | PL.25 | 1. 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物                  |
| (頭地田口 C 遺跡) | II 区 SB019 検出状況       |       | 2. 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物<br>(一勝地焼)        |
|             | II 区 SB032 検出状況       |       | 3. 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物                  |
|             | II 区 SB033 検出状況       | PL.26 | 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物                     |
|             | II 区 SB034 検出状況       | PL.27 | 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物                     |
|             | II 区 SB035 検出状況       | PL.28 | 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB012・SB037・<br>SK002 出土遺物 |
|             | II 区 SB037 検出状況       | PL.29 | 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物                    |
|             | II 区 SB037・SB038 検出状況 | PL.30 | 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物                    |
| PL.10       | II 区 SK043 検出状況       | PL.31 | 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物                    |
| (頭地田口 C 遺跡) | II 区 SK043 遺物出土状況     |       |   |
|             | II 区 SK043 他完掘状況      |       |   |
|             | II 区 SK050 検出状況       |       |   |
|             | II 区 ST051 検出状況       |       |   |
|             | II 区 ST052 出土状況       |       |   |
|             | II 区 SX054 検出状況       |       |   |
|             | II 区 SX054 土層断面       |       |   |

## 写 真 目 次 (PL)

|       |                           |       |                      |
|-------|---------------------------|-------|----------------------|
| PL.32 | 1. 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物 | PL.35 | 1. 頭地田口 D 遺跡 調査区出土遺物 |
|       | 2. 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物 |       | 2. 頭地田口 D 遺跡 調査区出土石器 |
|       | 3. 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物 |       |                      |
|       | 4. 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物 |       |                      |
| PL.33 | 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土石器     |       |                      |
| PL.34 | 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土石器    |       |                      |

# 第 I 章 調査に至る経緯と地理的・歴史的環境

## 第 1 節 調査に至る経緯

球磨川水系の川辺川は、熊本県八代市泉町に所在する国見岳（標高 1,739 m）を水源とする五木川を源流とし、五木村頭地で五木小川と合流する一級河川である。五木村は九州脊梁山地に位置し、村面積の約 96% が山林である。山間部であるため雨がが多く、昭和 38(1963) 年から同 40(1965) 年には連続して大水害に見舞われた。そのため、昭和 41 (1966) 年、建設省（現国土交通省）が「川辺川ダム建設計画」を発表し、事前調査として昭和 54 (1979) 年に川辺川流域総合予備調査が行われ報告がなされた。埋蔵文化財については、熊本大学法文学部が分布調査等を行い、五木村内に 17 ヶ所の遺跡（参考地）が確認された。

本調査は、ダム建設事業の具体化に伴い建設省から提示された付け替え国道、村道予定地、住宅や田畑の代替地予定地、水没予定地などの事業計画を受けて、埋蔵文化財に影響を及ぼす地区について記録保存を目的として実施することとした。

熊本県では平成 2 年度からダム建設事業の本格化に伴い、五木村、相良村より依頼を受け水没地及び代替地等の工事により、予備調査の結果を踏まえて埋蔵文化財の滅失の恐れがある地点については、遺跡の規模等により地元自治体と分担して発掘調査を実施することとした（Tab. 1）。

頭地代替地予定地内では、現地踏査の時点では 6 ヶ所の遺跡（参考地）が、試掘調査の結果によって 5 ヶ所で遺跡が確認された。基本的な調査分担方針として、大規模な遺跡は県が担当し、小規模な遺跡については村が担当することとなった。その後、事業計画と工事の進捗に伴い適宜協議を行い試掘・確認調査を実施し、記録保存が必要な箇所については発掘調査を実施した。頭地田口 C、D 遺跡、金川遺跡、頭地下手遺跡の発掘調査については、平成 14～18 年度に実施し、平成 19 年度から整理作業を開始した。しかし、平成 20 年 9 月蒲島熊本県知事は県議会で、「住民のニーズに求めうる『ダムによらない治水』のための検討を極限まで追求すべきとして、現行計画を白紙撤回

することを求め、球磨川河川整備基本方針への不同意の方針を表明した。国土交通省川辺川ダム砂防事務所から平成 21 年度予算については、財務省査定により川辺川ダム建設事業の休止に伴い、埋蔵文化財整理作業に係る予算を含めた本体工事に係る費用は認められなかったとの連絡を受けた。平成 21 年 1 月 23 日、今後の事業等について協議を行った。熊本県では頭地下手遺跡、頭地田口 C、D 遺跡、金川遺跡を、また、五木村では久領遺跡についての整理作業を実施している中で中断することになるため、平成 22 年度から作業が再開できるよう協議を継続することとした。

平成 21 年 9 月、政権交代により新たに就任した前原誠司国土交通大臣は、9 月 17 日の就任会見において、川辺川ダムの中止を表明した。平成 21 年 10 月 5 日、国土交通省川辺川ダム砂防事務所と平成 22 年度の埋蔵文化財整理作業に係る予算について協議を行った。現在、国・県において五木村振興策を検討しているが、国は五木村生活者再建支援事業関連 4 事業のみの予算計上であり、埋蔵文化財整理作業に係る費用は計上されていないとの回答がなされた。埋蔵文化財発掘調査は、現地における発掘調査から報告書刊行までであることから、原因となった事業が中止されても既に実施された発掘調査については報告書刊行までの作業が必要であることを説明して、予算を確保できるよう協力を求めた。平成 23 年 1 月、国土交通省川辺川ダム砂防事務所から平成 23 年度より事業を再開し、頭地大橋建設等と同様に平成 24 年度までで事業を終了させたい旨、連絡を受ける。その後、協議を重ね平成 23 年度からの事業再開について大筋で合意し、6 月定例県議会で承認を得て平成 23 年 7 月 1 日付で契約を行った。

Tab. 1 川辺川ダム関連埋蔵文化財一覧表

| No. | 遺跡名    | 本調査前<br>仮呼称 | 踏査 | 試掘<br>確認 | 本調査     | 面積<br>( $m^2$ ) | 事業主体     | 調査の原因  |
|-----|--------|-------------|----|----------|---------|-----------------|----------|--------|
| 1   | 高野     | 高野          | H2 | H2       | なし      | —               | —        | 高野代替地  |
| 2   | 久領     | 久領          | H3 | H10-     | H15-    | 4,200           | 五木村教育委員会 | 水没地    |
| 3   | 頭地下手   | 下手          | H3 | H10-     | H16-    | 4,000           | 県文化課     | 水没地    |
| 4   | 頭地田口 A | 頭地1地点       | H3 | H4       | H5-H8   | 8,500           | 県文化課     | 頭地代替地  |
| 5   | 頭地松本 B | 頭地2地点       | H3 | H5       | H7-H8   | 2,000           | 県文化課     | 頭地代替地  |
|     |        | 頭地松本石塔群     | H3 | H3       | H7-H8   | 1,000           | 県文化課     | 頭地代替地  |
| 6   | 頭地田口 B | 頭地3地点       | H3 | H4       | H6-H 7  | 5,200           | 五木村教育委員会 | 頭地代替地  |
| 7   |        | 頭地4地点       | H3 | H4       | なし      | —               | —        | 頭地代替地  |
| 8   | 頭地 C   | 頭地5地点       | H3 | H4       | H5      | 1,600           | 五木村教育委員会 | 頭地代替地  |
| 9   | 頭地松本 A | 頭地6地点       | H6 | H7       |         |                 | 五木村教育委員会 | 頭地代替地  |
| 10  |        | 下谷          | H4 | H8       | なし      | —               | —        | 下谷代替地  |
| 11  | 逆瀬川    | 逆瀬川         | H3 | H3       | H11     | 2,100           | 五木村教育委員会 | 水没地    |
| 12  | 野々脇    | 野々脇         | H3 | H4       | H4-H5   | 1,700           | 五木村教育委員会 | 野々脇代替地 |
| 13  |        | 清楽          | H4 | H11      | 未       |                 | —        | 水没地    |
| 14  | 金川     | 金川          | H4 | H11      | H14     | 2,100           | —        | 水没地    |
| 15  | 小浜     | 小浜          | H3 | H3       | H7      | 1,300           | 五木村教育委員会 | 水没地    |
| 16  |        | 藤田          | H3 | H3       | なし      | —               | —        | 水没地    |
| 17  |        | 野原          | H4 | H 9      | H11     |                 | 相良村教育委員会 | 水没地    |
|     | 頭地田口 C |             |    | H12      | H15-H16 | 9,200           | 県文化課     | 水没地    |
|     | 頭地田口 D | 田口遺跡群       |    | H15      | H16-    | 850             | 県文化課     | 水没地    |
|     | 大平     | 大平          |    | H12      | H13     | 450             | 五木村教育委員会 | 水没地    |

## 第2節 地理的環境

頭地下手遺跡、頭地田口C、D遺跡、金川遺跡が存在する五木村は、村全体が九州脊梁山地に抱かれ標高1,000mを超える山々が連なる。平坦な土地は少なく、V字形を呈する深い峡谷が縦横に走る急峻な地形がみられる。この急峻な山岳地帯を縫うように五木川（川辺川）、五木小川が流れ、頭地で合流し流れ下る。五木村の総面積は252.94km<sup>2</sup>であり、その96.2%を山林が占める。

川辺川は、熊本県南部を流れる球磨川最大の支流で、錦町西で人吉盆地を東西へ貫流する球磨川に合流する。その源は、八代市泉町五家荘の宮崎県境付近にあり、九州脊梁山地の水を集めて五木村、相良村を南流する。五木村内を流れる川辺川沿岸には、加久藤火砕流・入戸火砕流・Aso-4火砕流などの火砕流堆積物を基盤とし、概ね標高300m前後の河岸段丘が点在する。

遺跡は、河岸段丘上の限られた平坦部に立地する傾向がみられる。33箇所あった集落は、川沿いや河岸段丘上、山間の比較的平坦な部分に点在している。そのため、集落内に僅かな畑地が見られるが耕地面積は少なく、かつては「山畑」と呼称される焼畑耕作が行われ蕎麦、粟、稗などの雑穀類や芋類、大豆、小豆、茶などが栽培された。

また、当該地域周辺の植生環境は、標高250～800m域にアカガシ、アラカシ、クリ、コジイなどの照葉樹林帯がみられ、標高1,200mを超える深山にはブナ帯が広がる。両者の間には推移帯的性格を持つ中間温帯林が広がる。

頭地田口C遺跡、頭地田口D遺跡、頭地下手遺跡が存在する五木村中心部の字松本、田口、下手付近は「頭地」と呼ばれ、その東側に八原岳（標高1,149.8m）、北側に国見山（標高1,271m）、南西側に仰烏帽子山（標高1,301.8m）と三方を山に囲まれ、北東側から流れこむ五木小川と南流する五木川の合流地点の北東側に位置し、古くから交通の要衝として重要な場所であった。田口、下手の集落は、川辺川東沿岸部の下位段丘上にあり、既に移転した頭地代替地は、以前の集落の背後東側の上位段丘上にある。

## 第3節 歴史的環境

広域な村域の東側を北から、八代市泉町五家荘の宮崎県境に位置する国見岳（1,739m）に源を発する五木川が、西側に内谷を水源とする五木小川が流れ、頭地で合流して川辺川と名称を変え南流し、人吉盆地で球磨川と合流する。五木谷は、五木川の流域を東俣、五木小川の流域を西俣と呼称され区別される。

五木谷に関する史料の初出は12世紀末である。それによれば、当該地域は永吉庄に属し、建久2（1191）年5月3日の「良峯師高所領讓状案」（平河文書）の「平川三郎師高重代所領田数 注文」に「一所同郡同庄之内五木之村さつし三百束、いた千五百、うるし三百」と記される。他地域の情報が田地について記載されるのに対し、五木谷においては「さつし」、「いた」、「うるし」など雑物の負担であり、当該地域が水田耕作に適した平地が少なく、結果的に山に依存した生活であったことが推測される。

また、『肥後国絵図』には、「五木村 田なし」と記され、石高は161石2斗5升とされる。その外、「五木内」については、「平野やしき 田なし」「白岩戸やしき 田なし」「内谷やしき 田なし」との記載がみられる。「肥後国絵図」における「やしき」とは、村々の中で規模が小さく、単独で村落として把握され難い零細な村落であるとされ、本村に包含される存在である。

また、寛永11（1634）年の『郷村高辻帳』には、「田無山畑役無五木谷」と記される。同18（1641）年の検地帳によれば分米540石6斗余とされ、田畑の内訳をみると下田5反9畝余、下畑18町7反3畝余、野畑3町3反7畝余、山畑104町3反5畝余、屋敷9町6反9畝余で山畑が最も多く、合計136町7反4畝余である。これらの耕地からの納米高は、同21（1644）年の御蔵納2石4斗9升5合、新田5斗7合、屋敷水田2斗1升、計3石2斗1升2合である。この記録から、下畑、野畑、山畑は免税であったものと考えられる。

享保6（1721）年には、水田は僅か1町5反7畝余で、その分米2石8斗余、そのほか上羽錦884匁余、冥加銀825匁、茶6,893斤余、漆16貫922匁余、

万銀 325 匁余のほか、雑紙 50 束、猪鹿肉 40 斤を負担していた。特に五木茶は有名で、換金作物として重要であり、八代の商人を通じて流通した。

「諸郷地竈万納物寄」によれば、安永 3 (1774) 年の軒数 391、うち郷士 52、寺社 5、百姓 317、又百姓 17、人口 2,429 人である。

文化 12(1815) 年の『五木谷村絵図』によれば、頭地の田口に庄屋元が置かれている。村内の小村には、他村で郷侍・郷士と呼ばれるところが地頭と呼称される。五木谷には 33 人の地頭(旦那)が支配し、村人は地頭の土地を貸借し焼畑を行い、「トウド」と呼ばれる賦役的労働が伝統的な慣行として行われていた。地頭所在の小村は平沢津、宮園、穂揚枝、平野、栗木鶴、八重、岳、入鴨、梶原、九折瀬、ハッ原、掛橋、溝の口、松本、二瀬、栗瀬、舟戸、板木、下谷、逆瀬川、大久保、野々脇、清楽、相瀬、久領、今村、高野、土会平、平瀬、折立、白岩戸、中村、出ル羽の 33 村である。

人吉から五木谷へは、川辺川に沿って遡り、頭地まで約 8 里の道程である。しかし、五木谷にとってはむしろ熊本藩領八代(八代市坂本町、東陽町)、小川(宇城市小川町)への道が重要で、藩境を越す三つの道、子別峠に小川口番所、大通峠に宮原口番所、間道である花立と松求麻村(現在の八代市坂本町)の境には、花立口番所が置かれた。

正徳元(1711)年、逆瀬川で銅の採掘が始められ、元文 5(1740)年まで採掘された。また、金川でも安永年間(1764—1780)に銅の採掘がなされている。

元禄 12(1699)年の「球磨郡神社記」に東俣の阿蘇大明神、野々脇岳ノ畑の祇園天王、宮園の阿蘇大明神、西俣の阿蘇大明神が記され、同年間の「諸宗寺院帳」に曹洞宗新泉寺が記されている。入鴨観音堂は、善応寺跡といわれる。また、球磨地方では 18 世紀初頭頃、庚申塔が増加する。同じ頃五木谷の各所に庚申塔が造られ、庚申信仰がみられるようになる。

明治 4(1871)年に廃藩となり、人吉県となったが、八代県、白川県を経て明治 9(1876)年から熊本県となる。明治 8(1875)年の『郡村誌』では、戸数 436 戸、うち士族 33 戸、庶民 402 戸、寺 1 戸、人口 2,840 人、うち男 1,379 人、女 1,461 人、牛 70 頭、馬 323 頭、「男女トモ只焼畑作ヲ専務トス、作場遠ク

ハ二里余ニ及フ、成熟ノ期ニ至テハ諸獸作実ヲ喰荒スニ依リ、山谷ノ作場ニ小屋ヲ構シ毎夜監護ス(中略)米ナキ土地ニテ常雜穀ヲ食ス、下等之村落ニテ、分テ未開ノ地トス」と記される。同年の産物は、米 9 石 8 斗、粟 119 石余、稗 120 石、椎茸 7,190 斤、茶 4,710 斤、猪肉 1,014 斤などである。

明治 21(1888)年 4 月、市制・町村制が公布され、翌 22(1889)年に四浦組合(四浦村・五木村)が成立した。その後、明治 29(1896)年、分離独立し五木村が誕生し今日に至る。



川辺川上空より

# 金川遺跡

## 第Ⅱ章 各遺跡の報告

### 第1節 金川遺跡の調査

#### 1. 調査の方法と経過 (H14.8.5—H15.3.7)

8.5 表土剥ぎ1日目。進入路正面より重機搬入。調査の障害となる樹木を3本除去し、表土剥ぎを実施。試掘調査のデータをもとに旧耕作土最下面まで除去を始める。

8.6 表土剥ぎ2日目。前日に続いて表土剥ぎを進める。調査区東側(川辺川側)に平地があったので斜面を、少し削り調査区を広げた。明日からは排土搬出も行う予定。

8.7 表土剥ぎ3日目。表土剥ぎと並行して排土搬出を行う。調査区周辺の樹木もできる限り伐採する。調査区からダンプ待機場所(進入路)まで数メートルの高さがあり、排土搬出には予想以上の時間が必要である。

8.8 表土剥ぎ4日目。前日に引き続き排土搬出と表土剥ぎを並行して行った。

8.9 表土剥ぎ5日目。調査区の整備および階段形成を行い終了した。

8.19 作業員集合。プレハブ等の設置および備品搬入。本日より本調査開始。コンテナハウス・トイレ等の設置および資料室からの備品類の搬入、整理を行う。

8.20 備品の搬入。調査区内の整備に入る。階段作り、岩石や樹根の除去等を行う。

8.21 前日に引き続き調査区内の整備を行う。試掘坑を再掘し、土層の堆積状況等を確認する。仮に1層～3層に分層。試掘では2層からのみ遺物がでていたが、3層からも出土した。全体に掘り下げってみる必要がある。

8.22 調査区全体にジョレンをかけ2層上面を出す。調査区は全体に西→東へ傾斜している様である。委託によりメッシュ杭(5m)を設置する。

8.23 調査区の整備はほぼ終了した。来週より掘り下げに入る。

8.26 1層掘り下げ。先週に引き続き調査区整備を行う。併せて2層上面まで掘削を行う。午後に天候が急変し大雨に見舞われ、調査を一時中断する。試掘

坑の壁を精査し、分層を行ったので下に記しておく。(以後、この分層を調査の中で活用していく予定である。)

◎1層 表土、表土剥ぎ時の剥ぎ残しの土である。

◎2層 黄褐色土(2.5Y5/4)しまり有り。弱粘性、所により径2cm以下の小礫を多く含む。Ahの2次堆積土である。

◎3層 にぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)しまり有り。弱粘性、所により径2cm以下の小礫を多く含む。炭化物を多く含む。

◎4層 川砂である。詳細は後日。

\* 2.3層より遺物の出土が認められる。五木村教委 福原氏から、逆瀬川遺跡では2層と3層の境で、多くの遺物が出土したとのご教示を受ける。

\*\* 試掘坑の観察ではあるが、I-A区内での傾斜は北→南に向けて緩やかで西→東に向けて急になっているようである。

8.27 E-5、F-3、4、グリッドの2層を掘削する。特別な遺物の出土は認められなかった。I-A区内の土層確認のため、ベルトを設定した。併せて一部ベルトに沿ってトレンチを入れ土層の確認を行った。

8.28 一部1層の残っている箇所を除去し、2層を5cm程掘り下げる。C-3グリッドより焼土が円形に集中している箇所が確認される。

8.29 雨天の為、午後より作業を中止。

9.3 B-6杭以东に幅30cmのトレンチ(2T)を設定する。地形的には、西→東に向けて傾斜しているようである。遺物の出土は散漫であり、斜面の急な箇所に偏在する傾向にありローリングを受けている。

9.6 前日に引き続き、石匙1点、石鏃2点が出土した。

9.9 A-6グリッドより多量の土器片が出土する。周囲の精査、検出を行うが、植物痕により遺構検出には至らなかった。また、B-6杭～A-6杭へトレンチ(2T)を設定し掘削を行うが1T等と比べると堆積状態は2～3層が混在しているようで良好ではない。周囲に上記の植物痕があり、その影響もしくは斜面の落ち際な為、地形的な要因が考えられる。

9. 10 調査区の地形確認のため、各所にトレンチを設定し掘削を行った。
9. 12 SK-001 は、焼土集中部である。周辺に他の遺構が見つからなかったため、集中部のみ検出である。2層より掘り消されているが、本来の2層が後世にどれ程流れてしまったか（本遺跡から考えて）不明なため、何らかの遺構の最底部のみが残存したのではないかと考えられる。
9. 17 雨天により現場中止。
9. 18 2層掘削も一部3層に達しつつある。先週末、石鍬が数点ではあるが出土し、その出土層位は2層と3層の漸位層と考えられるため、現在3層の上面で調査区を合わせている。B区の調査は、10月より開始する予定である。
9. 19 C-4 グリッドより磨製石斧（一部欠損）が出土した。
9. 26 雨天のため現場中止。遺物整理を行う。
9. 30 作業を中止し、遺物整理、図面整理等を行う。
10. 1 本日よりI-B区の草刈りを行い、調査区の確認を開始する。椿周辺および川辺川沿いのチッソ所有地について、境界が不明確なため確認が必要である。
10. 2 川辺川事務所来跡。I-B区の調査区について打ち合わせ。
10. 3 五木村より教育長、課長、学芸員、川辺川ダム事務所より用地課等数名来跡。未収用地等の範囲を再確認し、I-B区の調査範囲が確定する。I-B区内にトレンチを7本入れ土層および造成の様子を確認する。
10. 4 I-B区内に都合7箇所の試掘坑を配し、深度の確認を行う。結果、旧チッソ所有地の土地からは斜面掘削後、盛土をしたような状況が看取された。よって旧チッソ所有地が調査区としては認定し難い。
10. 8 五木村 福原氏来跡。
10. 9 表土剥ぎ開始。
10. 10 五木村 福原氏来跡。I-A区は3層以降の出土遺物を光波測距機で取り上げ、原位置を確認する。
10. 15 I-B区北端より表土剥ぎ前より石組み遺構が見つかっており、以後当該遺構をI-B区SX-003とする。
10. 16 文化課 坂田参事が来跡。
10. 17 椿東側は直径1m以上の礫が多く、重機での作業も困難である。
10. 18 現場中止。四者会議（川辺川工事事務所）。四者会議概要は緊急処理報告に記載している。
10. 21 表土剥ぎに伴って、墓石が出土した。近代以降のものと思われる。本日より排土作業が主となるが、ダンプ往復に予想以上の時間を要している。
10. 22 墓石の処理については川辺川事務所で検討することとなった。
10. 23 本日で表土剥ぎが終了。黄色層（I-Aの2層に相当か？）上面で表土除去。
10. 24 川辺川工事事務所より墓石は保障済みであるので、調査区内に置いてよいとの回答。
10. 25 I-B区 SX-003について、現状で地表面より上の状況の実測は、ほぼ終了した。しかし、地表面下部より更に石組が認められたためトレンチを設定し、下面の状況を確認する。結果、石が組まれたあと現表土が流れ込み一部埋没した状況が推定された。旧金川出身の方よりSX-003は「山伏さん」と呼ばれ“生き倒れた山伏を埋めた”という話や“刀、もしくは財が埋まっている”という話を伺った。
10. 28 表土剥ぎにより試掘坑等の範囲が不明確になったため付近を掘削した。
10. 30 引き続き調査区の整備を行った。杭打ち(5mピッチ)作業を実施した。
10. 31 前日に引き続き調査区の整備。杭打ち作業。
11. 6 I-A区で、土器が集中して出土する。写真撮影後、点上げ。I-B区では精査を行ったが遺構は検出されなかった。
11. 7 I-A区で土層断面実測のための分層を行う。I-B区では椿の東側の礫が多い地域から掘削を始めているが難航している。
11. 8 I-B区の上流側では、黄褐色粘質土が消失している個所が広く認められるため、旧地形の確認も含めて土層確認のためのトレンチを設定する。
11. 11 I-A区土層断面図の実測を開始した。
11. 14 I-B区は土層の乱れが激しい。精査及びトレンチ等により確認を試みる。
11. 15 雨天中止。
11. 18 I-B区について、調査区東側に於いて黄褐色土層が検出できない個所がある。傾斜に沿って確認トレンチを入れ土層の確認を行う。結果、大規模な土地

造成以前に茶畑等のために小規模な造成を行っていたことが確認された。以後、この造成部の土の除去を行う。

11. 19 I-B 区で、地山である黄褐色粘土質土層に茶褐色の溝状の遺構がある。その黄褐色の遺構を切るように黒褐色の円形の遺構が検出された。この黒褐色の円形遺構を ST-004 とする。

11. 20 I-B 区の ST-004 を半裁。ST-005 を掘削。ST-004 と ST-005 の切り合い状況確認のため、ST-004 半裁後 ST-005 の掘削に入る。ST-005 掘削中、人骨片多数出土。状況は、ST-005 内埋土中に散在した形である。

11. 21 I-B 区 H-31 グリッド、G-31 グリッドは昨日に引き続き、ST-004 と ST-005 の分層および切り合い状況確認。これに伴い、周辺部も礫などの除去を行い精査。

11. 25 ST-004～ST-006 を掘削。ST-004、005、006 は遺構（墓穴）であると考えられる。

11. 26 I-A 区の掘り下げは、C-4 グリッドまでほぼ終了した。明日以降 B-5 グリッド、C-5 グリッドの掘り下げに入る。I-B 区は 2a 層の除去を上流側から継続しているが今週中に終了する見込み。

11. 27 I-B 区の ST-004、006 について土層断面、平面図の作成を行う。

11. 29 月末で作業員数名しか出勤していないため、I-A 区のベルト除去を行った。

12. 3 雨のため午後作業中止。作業員数名と遺物整理。I-B 区南側を掘削開始。土層確認のため 10m ごとに東西ベルトを残す。乙益氏によると本遺跡内の椿は“県内でも大きい部類であり江戸時代よりここにあるのでは”という事を伺った。

12. 4 昨日に続き南側から掘削。調査区が広くなり、雨天後の水抜きに時間を要するようになってきた。

12. 5 調査区を東西方向に 10m 間隔でトレンチを設定し掘削を行う。

12. 6 土層の確認を行うが基本層序の設定については、立地、後世の造成等により、困難である。

12. 9 トレンチ数本で土層確認を試みるが、やはり層序が一定しない。

12. 10 昨夜からの雪が 5～10cm ほど積り、作業

員も半数程しか出勤できなかった。今後雪の季節の調査はペースが落ちる事が予想されるので、調査計画に余裕を持たせた方が良いかもしれない。

12. 12 予想以上の礫の量と大きさに、掘削が進まない。

12. 16 雨天中止。

12. 17 やはり昨日の雨の水抜きに午前中の大部分を費した。午後はトレンチ断面の分層を行い、基本層序設定を試みた。

12. 18 調査区南側の東西方向断面は、全て図面・写真を残すことにした。

12. 19 雨天中止。

12. 20 一昨日に引き続き南側から掘削を行い、断面の図面をとった。大小の礫が無数に散在し、掘削のペースは上がらない。

12. 25 午後より雨のため中止。年末（月末）で作業員も少ないため、明日は一日水抜き、掘削は難しい。

12. 26 本日で現場の作業は中断。道具洗浄、プレハブ等大掃除。

12. 27 写真及び図面整理。

1. 8 本日より 2003 年の現場開始。調査区を全面清掃し、昨年に引き続き掘削を行う。

1. 9 I-A 区に一部未調査区を残すため、本日より I-B 区と平行して調査を行う。

1. 14 椿北側部の掘削に入った。この地域は試掘坑等によりベルト設置が不可能なため、椿北壁を利用して土層の確認を試みる。

1. 15 引き続き椿北側部の掘削を行う。この地区の土層を仮に 101 層～103 層とした。

1. 16 I-B 区北部の掘削に備えて、トレンチを 5 本入れる。

1. 17 I-A 区では遠影写真のため周辺の樹木を伐採した。I-B 区掘削は土層が極めて安定していないため、トレンチからの情報も混乱している。

1. 20 I-B 区北側において、時期等不明の土坑が検出された（ST-007）。

1. 22 I-A 区東側（川側）斜面の樹木を伐採し、東側よりの写真撮影の準備を行う。

1. 23 雨天により現場中止。

1. 24 I-B 区は、やはり土層が一定せず、表面を見な

がら掘削を行っている。近代（近世）以降の造成により、土層が乱れている可能性が考えられる。

1. 27 雨により現場中止。
1. 28 I-B区掘削は大量の礫により、大きくペースを落とす。
1. 29 積雪 20cm のため、現場中止。
1. 30 除雪作業に一日の大半を費やす。午前中の作業員出勤は、10名に満たなかったが、午後は数名増え、ようやく除雪を終えた。
2. 4 I-B区北部のベルト断面の分層は大小礫と造成と思われる乱れによりペースがあがらない。
2. 5 前日に引き続き I-B区北部を掘削するとともに分層を行った。I-A区東端は流れ込みによる攪乱と認めその範囲を実測した。
2. 6 昨日の雪のため、除雪に時間を取られる。
2. 7 I-A区では、残り部分の掘下げを進めた。I-B区では土層確認のため設定したベルトにより、一輪車による排土運搬がスムーズに行えず、途中中継が必要。
2. 12 調査期間も残り少なくなり、断面の実測は班を増やして行うことにし、その準備と指導を行った。
2. 13 SY-002 (I-A区) について、A-7 グリッドにて以前より遺物が多く出土していたが受熱している石

の集中が認められたため図化する。ST-007 (I-B区) は、土層断面より 4層に分層され、3. 4層より骨片が出土。

2. 17 I-B区の南北ベルト北部分は、その大部分を礫が占めており実測不可能と認め、写真記録を実施することにした。
2. 18 明日以降は、実測を主に行うことにする。
2. 19 本日（19日）より 21日までに土層断面の実測を終了させる予定である。ST-007の実測および完掘が終了次第北部の残りを掘削する予定。
2. 20 ST-007は、ほぼ完掘した。
2. 24 26日の空撮に向けて調査区内の清掃にとりかかったが天気が心配である。
2. 25 明日の空撮にむけての清掃終了。調査はほぼ終了した。
2. 26 雨天確率が高いため、空撮中止。
2. 27 空撮を実施。
2. 28 I-B区終了。
3. 3 プレハブ内の片付けを行う。
3. 4 調査用具洗浄。
3. 5 撤収準備。
3. 6 備品搬出（資料室へ）。
3. 7 備品搬出（リース分）。プレハブ解体。

## 2. 調査の組織

### 【平成14年度・本調査】

発掘調査主体 熊本県教育委員会  
調査責任者 成瀬烈大（文化課長）、島津義昭（教育審議員兼課長補佐）  
調査総括 高木正文（主幹兼文化財調査第1係長）  
調査事務 小田信也（教育審議員兼課長補佐）、中村幸宏（主幹兼総務係長）、天野寿久（主任主事）  
杉村輝彦（主事）  
調査担当 宮部武典（文化財保護主事）、上高原聡、松尾茂（囑託）

### 【平成23年度・整理作業】

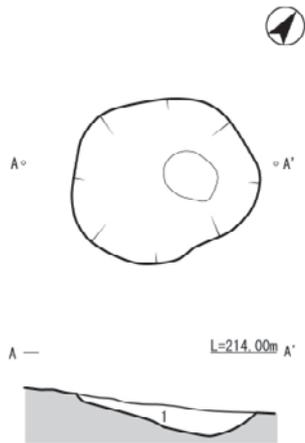
発掘調査主体 熊本県教育委員会  
調査責任者 小田信也（文化課長）、川上勝美（課長補佐）  
調査総括 村崎孝宏（文化財調査第1係長）  
調査事務 水元敬浩（主幹兼総務係長）、山田京子（参事）、松島英樹（主任主事）、天草英子（主任主事）  
調査担当 村崎孝宏（文化財調査第1係長）、長谷部善一（参事）、戸田紀美子（囑託）、藤本香織、中村正子、木村ゆり子、高田清香、中村典子、本田頼子、井上真優、樋脇逸子、吉本裕美（臨時）

### 【平成24年度・報告書作成】

発掘調査主体 熊本県教育委員会  
調査責任者 小田信也（文化課長）、西住欣一郎（課長補佐）  
調査総括 村崎孝宏（文化財調査第1係長）  
調査事務 川上勝美（課長補佐）、中津幸三（課長補佐兼総務・助成班担当）、松尾康延（参事）、稲本尚子（参事）、天草英子（主任主事）  
調査担当 村崎孝宏（文化財調査第1係長）、戸田紀美子、築出直美（囑託）、藤本香織、中村正子、木村ゆり子、高田清香、樋脇逸子（臨時）



Fig.1 金川遺跡 I-A区 遺構配置図(S=1/200)



1層 明褐色土 Hue7.5YR3/4 しまりあり 粘性弱い  
 直径数mmの焼土粒を多く含む為、全体的に赤褐色  
 を呈する。炭化物粒を少量含む。  
 ※ 時期・用途不明の土坑である。しかし、埋土は  
 焼土が多く炉跡とも考えられる。



Fig.2 金川遺跡 I-A区 SK001実測図

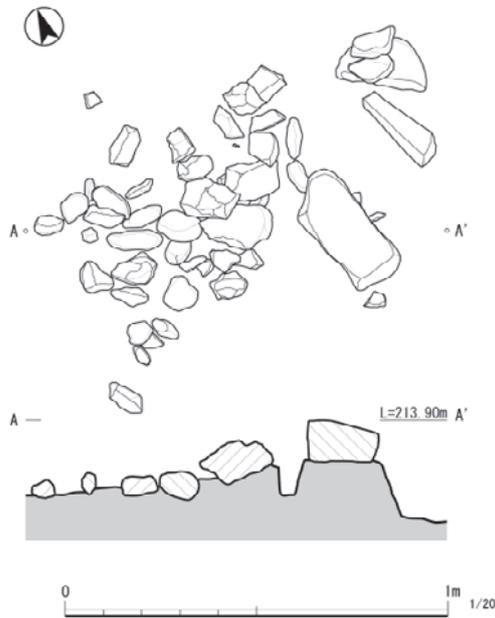


Fig.3 金川遺跡 I-A区 SY002実測図

### 3. 調査の成果

#### (1) 遺構について (I-A区)

##### SK001 (Fig.2)

I-A区の中央やや南東よりに位置する。長軸50cm、短軸40cm、確認面からの深さ10cmを測る楕円形の土坑である。時期、用途は不明。埋土に多量の焼土と少量の炭化物を含み、炉跡の可能性もある。

##### SY002 (Fig.3)

I-A区の北東隅に位置する。集石遺構。受熱により赤化し破碎した礫が大半である。また、叩き石や凹石も確認される。質の悪いチャートの原石もいくつか含まれる。遺構の北側にも石が散乱しているが、まとまりのある石のみ図化し、他は位置を記録するに止めた。



I-A区 SY002 集石出土状況

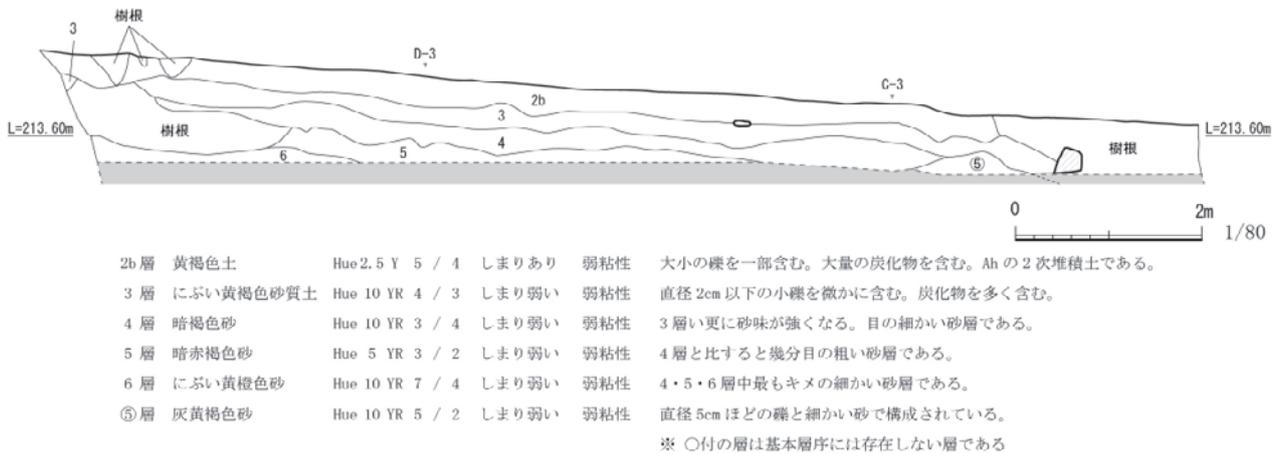


Fig.4 金川遺跡 I-A区 D3~C3 土層断面実測図

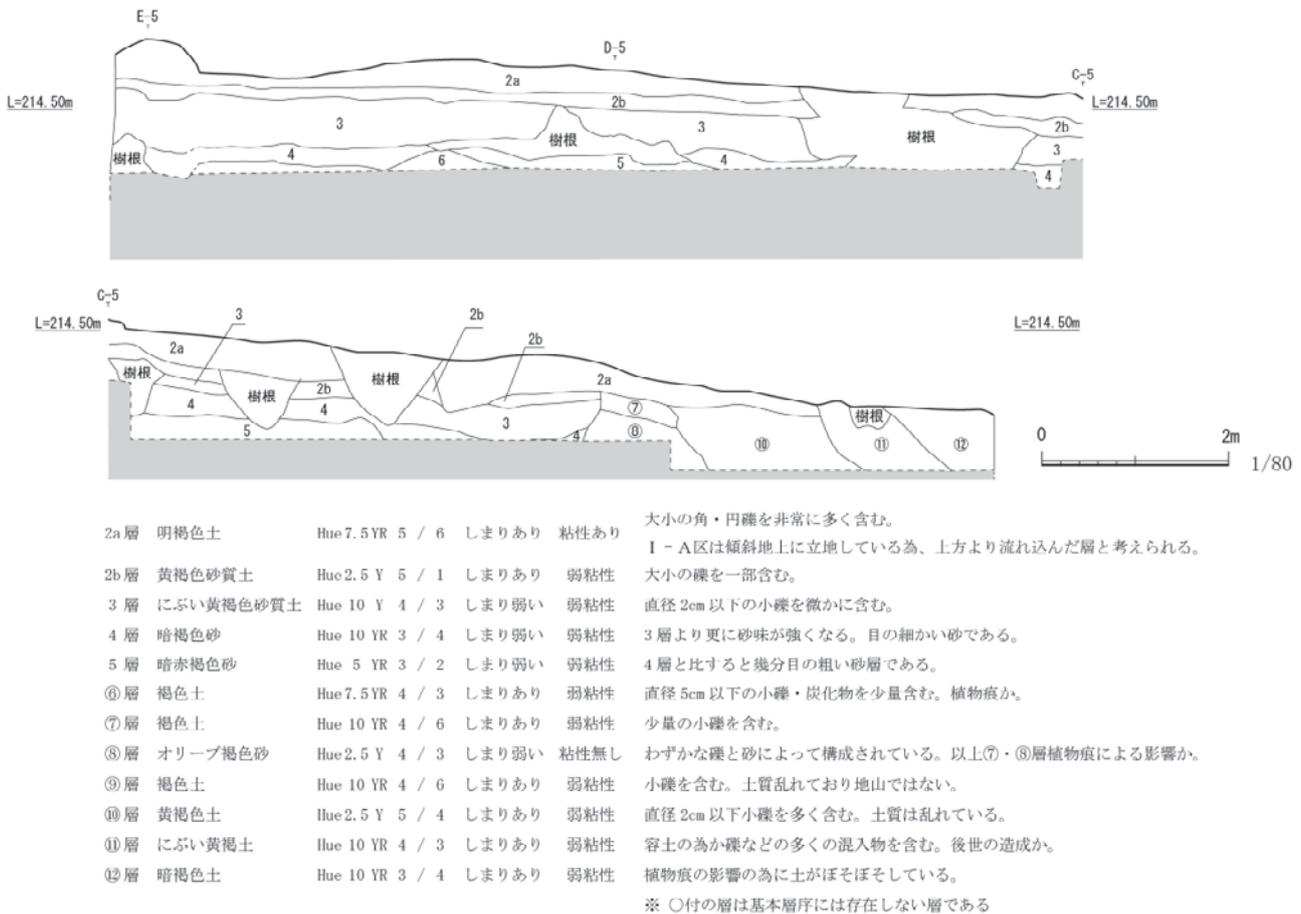
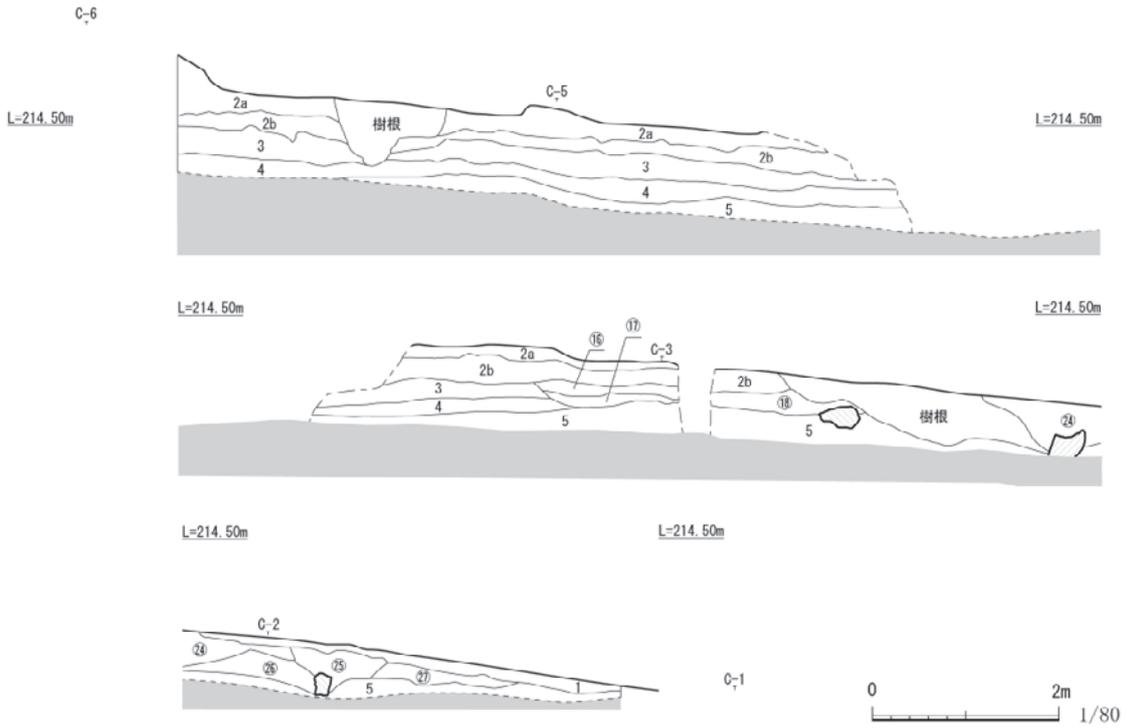


Fig.5 金川遺跡 I-A区 E5~B5 土層断面実測図

## (2) 遺物について (I-A区)

当該遺跡の発掘調査は、工事工程の都合から I-A区及び I-B区で実施した。その他の調査予定箇所については、工事に際して土砂が大量に仮置きされているため撤去後に確認調査を実施することとした。そのため、今回の調査箇所を I区とし、今後確認調査を実施する箇所を II区とした。

I-A区の調査では、6層の土層堆積を確認した。そのうち、II層が黄褐色土でアカホヤ火山灰の2次堆積層である。遺物は、II~V層で出土した。その大半は、縄文時代に所属する土器、石器類である。土器型式から見ると縄文時代中期の船元式系春日式土器が中心である。地紋に縄文を施す一群も認められるが、大半は貝殻条痕を施す。112は、胴部破片として図示したが底部である可能性が高い。



|     |           |                  |       |      |   |
|-----|-----------|------------------|-------|------|---|
| 1層  | 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 4  | しまり弱い | 弱粘性  | 小礫を含む現表土層である。   |
| 2a層 | 明褐色土      | Hue 7.5 YR 5 / 6 | しまりあり | 粘性あり | 大小の角・円礫を非常に多く含む。I-A区は、傾斜地上に立地している為、上方よりの流れ込んだ層と考えられる。 |
| 2b層 | 黄褐色土      | Hue 2.5 Y 5 / 4  | しまりあり | 弱粘性  | 大小の礫を一部含む。  |
| 3層  | にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 4 / 3  | しまり弱い | 弱粘性  | 直径2cm以下の小礫を微かに含む。炭化物を多く含む。                            |
| 4層  | 暗褐色砂      | Hue 10 YR 3 / 4  | しまり弱い | 弱粘性  | 3層より更に砂礫が強くなる。目の細かい砂である。                              |
| 5層  | 暗赤褐色砂     | Hue 5 YR 3 / 2   | しまり弱い | 弱粘性  | 4層と比すると幾分目の粗い砂層である。                                   |
| 6層  | にぶい黄褐色砂   | Hue 10 YR 7 / 4  | しまり弱い | 弱粘性  | 4・5・6層中最もキメの細かい砂層である。                                 |
| ⑯層  | 褐色砂質土     | Hue 10 YR 4 / 6  | しまりあり | 弱粘性  | 直径5mm程の小礫を含む。   |
| ⑰層  | 褐色砂質土     | Hue 10 YR 4 / 4  | しまり弱い | 弱粘性  | ⑯より大きめの小砂を含む。   |
| ⑱層  | 黄褐色砂      | Hue 2.5 Y 5 / 3  | しまり弱い | 弱粘性  | 直径4cmの小礫を一部多く含む。                                      |
| ・層  | オリーブ褐色土   | Hue 2.5 Y 4 / 4  | しまりあり | 弱粘性  | 大小の礫で一部含む。基本的には2b層であるが風倒木の為に乱れている。                    |
| ・層  | オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 6  | しまり弱い | 弱粘性  |   |
| ・層  | 黄褐色砂質土    | Hue 2.5 Y 5 / 6  | しまり弱い | 弱粘性  | 微細な小礫を多く含む。   |
| ・層  | にぶい黄褐色砂質土 | Hue 10 YR 5 / 4  | しまり弱い | 弱粘性  |   |

※ ○付の層は基本層序には存在しない層である

Fig.6 金川遺跡 I-A区 C6～C1 土層断面実測図

石器類では、剥片を素材とする石鏃、尖頭器、石匙、スクレイパー、石錐、楔形石器、二次加工ある石器、使用痕ある剥片などや、石錘、磨石・叩石、台石など多様である。中でも、石鏃の数は多く、93点が確認された。その形状は、大小、調整剥離の粗密、縁辺の加工の在り方、抉入の深浅などバリエーションがみられる。剥片類には、縦長剥片も見られるが表面の剥離構成は求心的であり、縦長剥片剥離を意図したものとは言い難い。むしろ、石核に見られるように、剥離面を打面として頻りに打面転移を繰り返しながら幅広の剥片を剥離したものと考えられ、結果的に様々な形状の幅広剥片が認められることと符合する。また、これらの石器製作に利用された石材の大半が近在で採取可能なチャートである。チャートの剥片の中には、表面に転礫面を残すものが多くみられる。その他、量的には少ないが在地産の黒曜石や安山岩、遠隔地産の可能性ある珪質頁岩や流紋岩も認められる。このように石材利用の在り方からは、在地産石材を多用しながら他地域との交流・交易を行う生活の様態が窺える。このことは人吉・球磨盆地内での状況と大きく異なるものではない。しかし、土器の在り方は、キャリパー形口縁といった特徴的な形状の船元式系春日式土器が主体をなす。これらの土器型式を出土する遺跡が川辺川流域の低位段丘上に点在することから、九州脊梁山地を通る人や物の動きが想定できる可能性が指摘できよう。

以下、図示した遺物に関する観察所見については、観察表を参照されたい。



Fig.7 金川遺跡 I-A区 2層遺物出土状況図 (S=1/200)

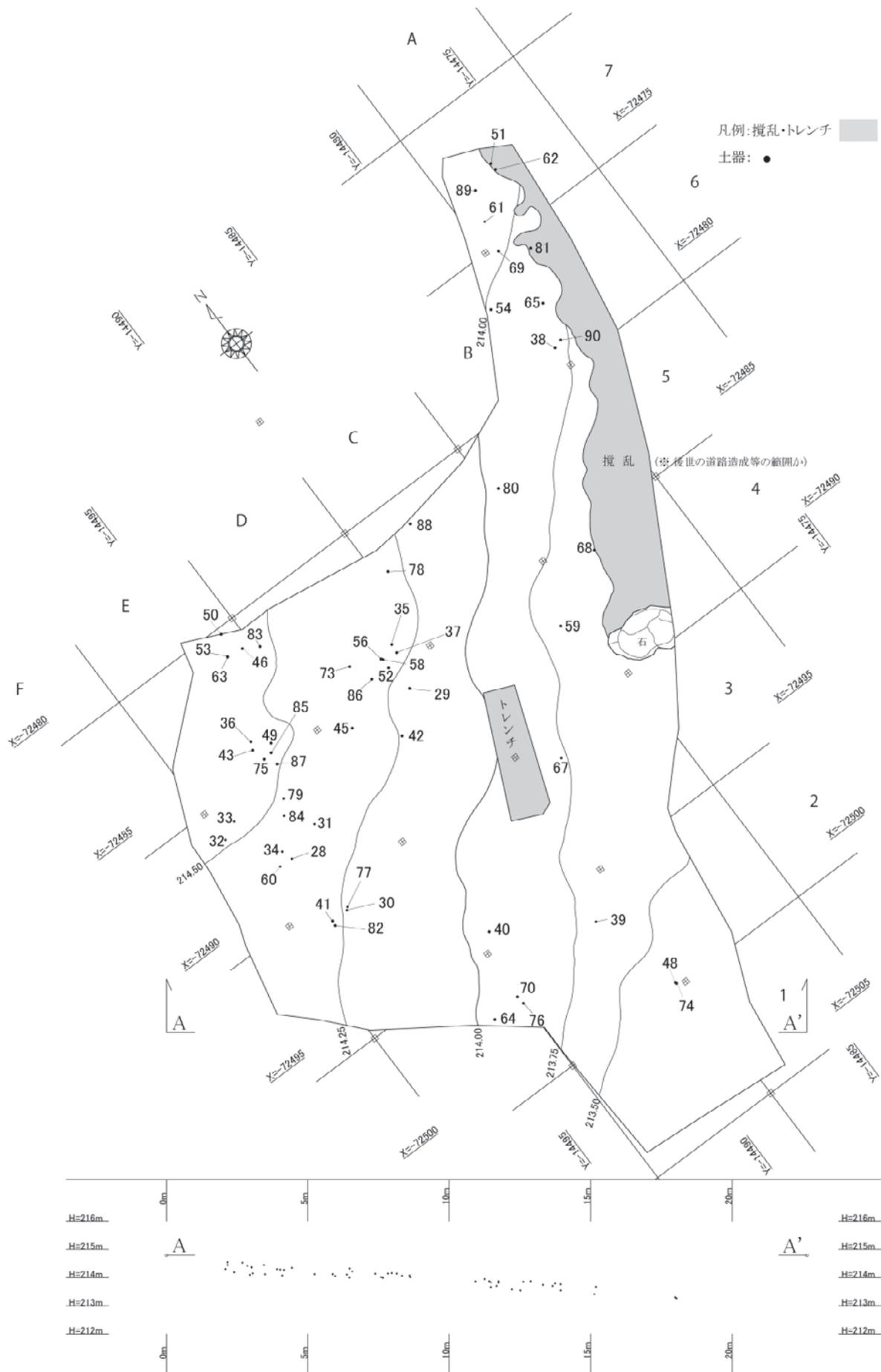


Fig.8 金川遺跡 I-A区 3層遺物出土状況図 (S=1/200)

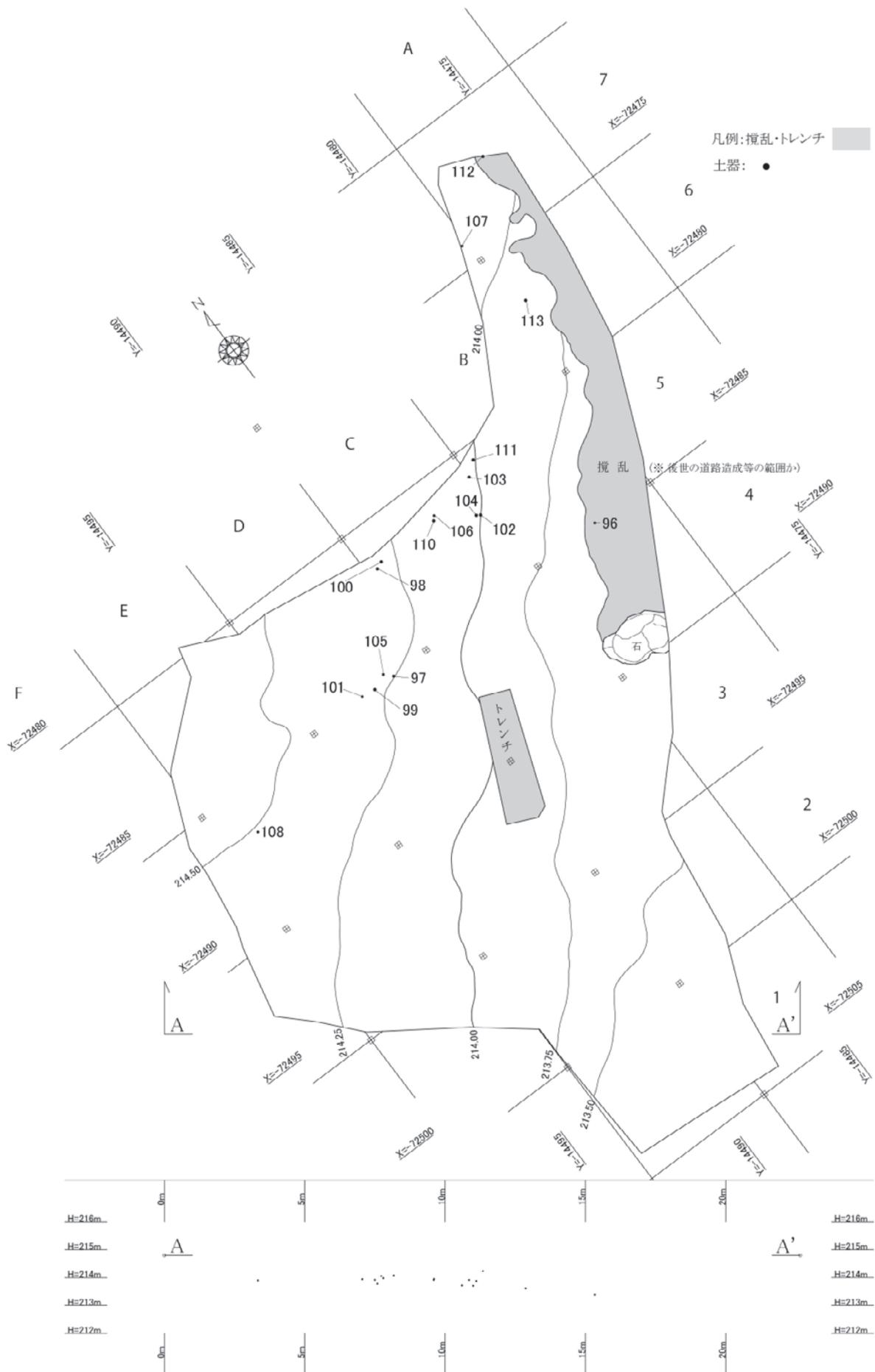


Fig.9 金川遺跡 I-A区 4層遺物出土状況図(S=1/200)



Fig.10 金川遺跡 I-A区 5層遺物出土状況図 (S=1/200)

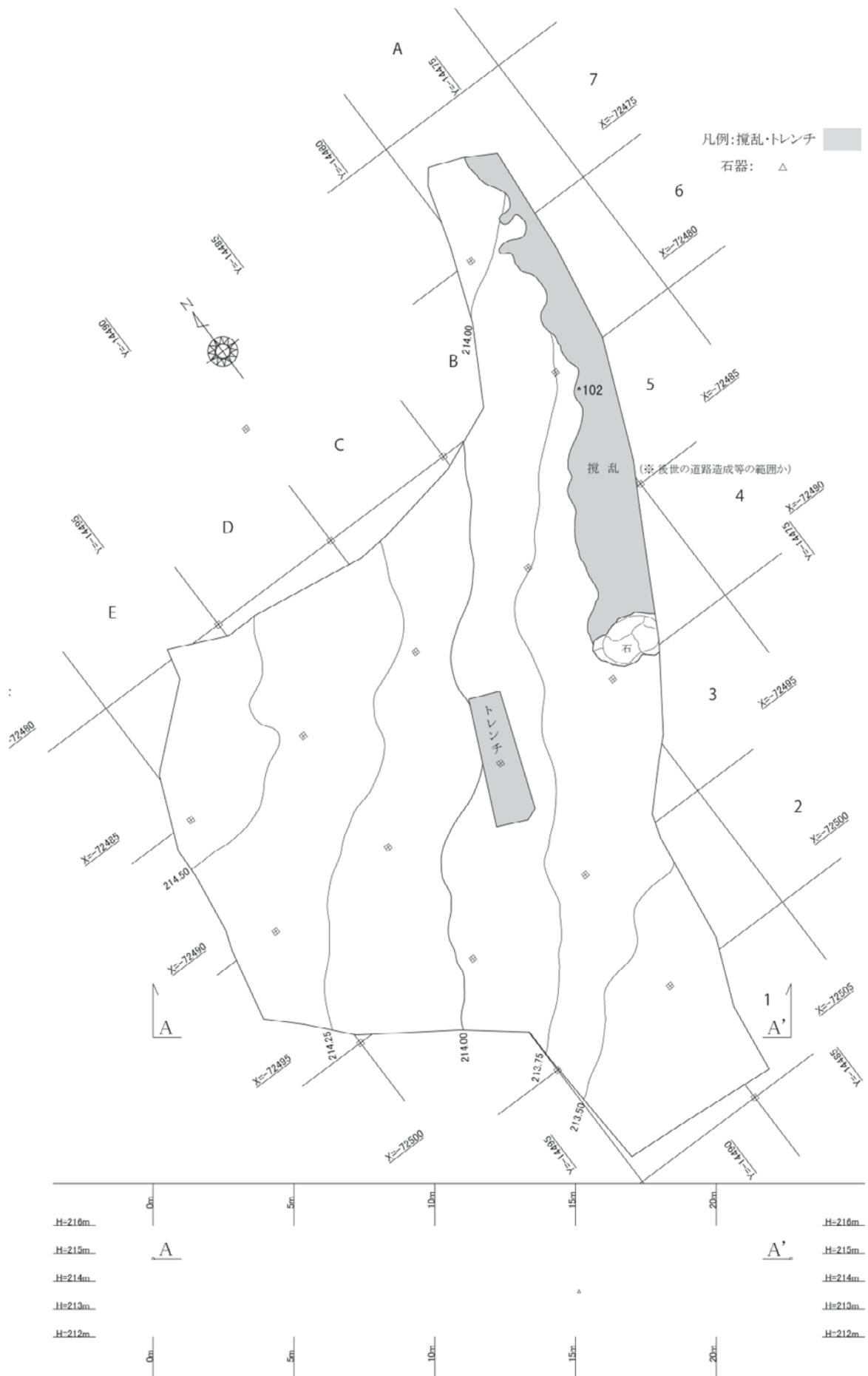


Fig.11 金川遺跡 I-A区 2b層石器出土状況図(S=1/200)

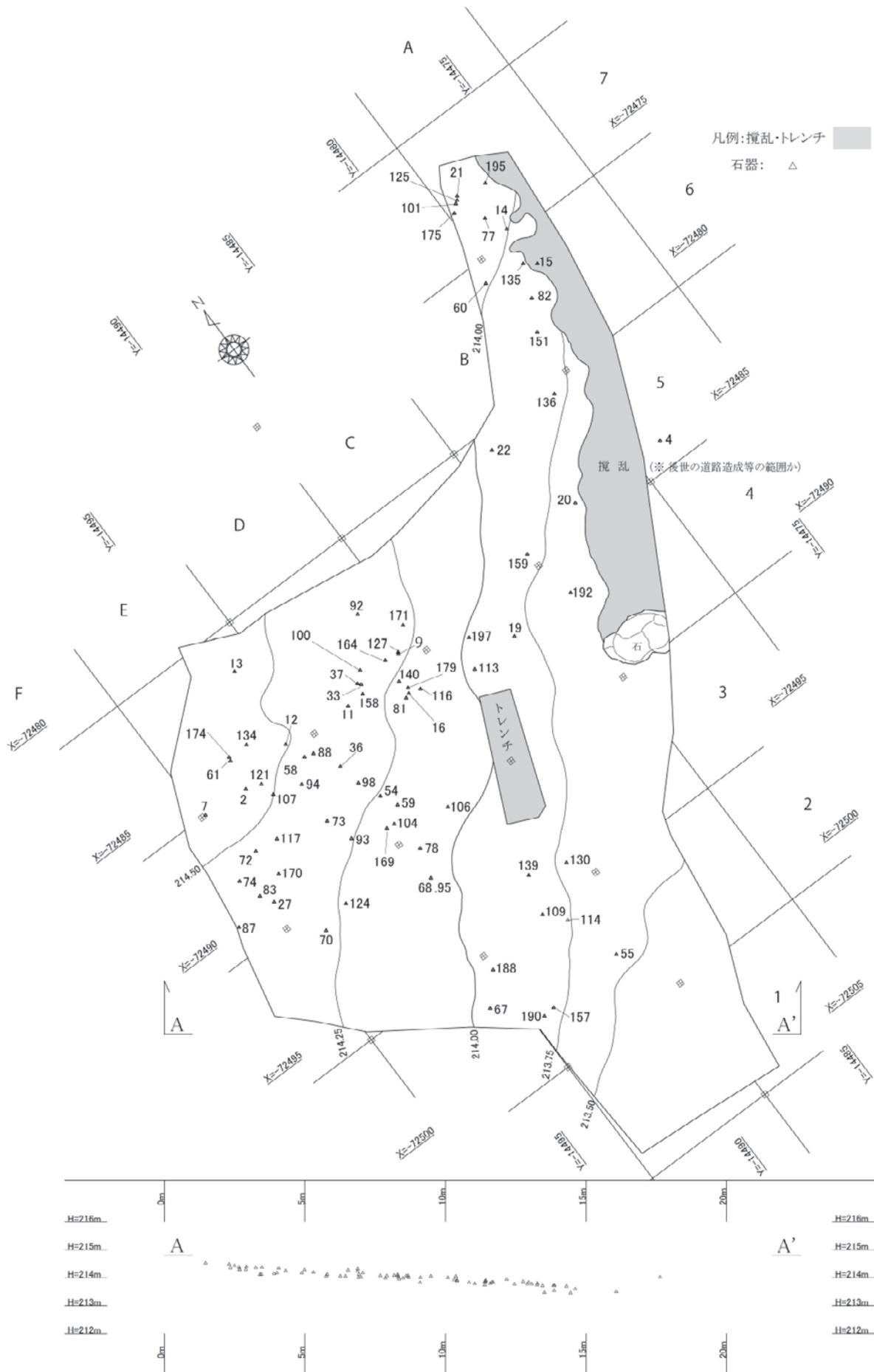


Fig.12 金川遺跡 I-A区 3層石器出土状況図 (S=1/200)

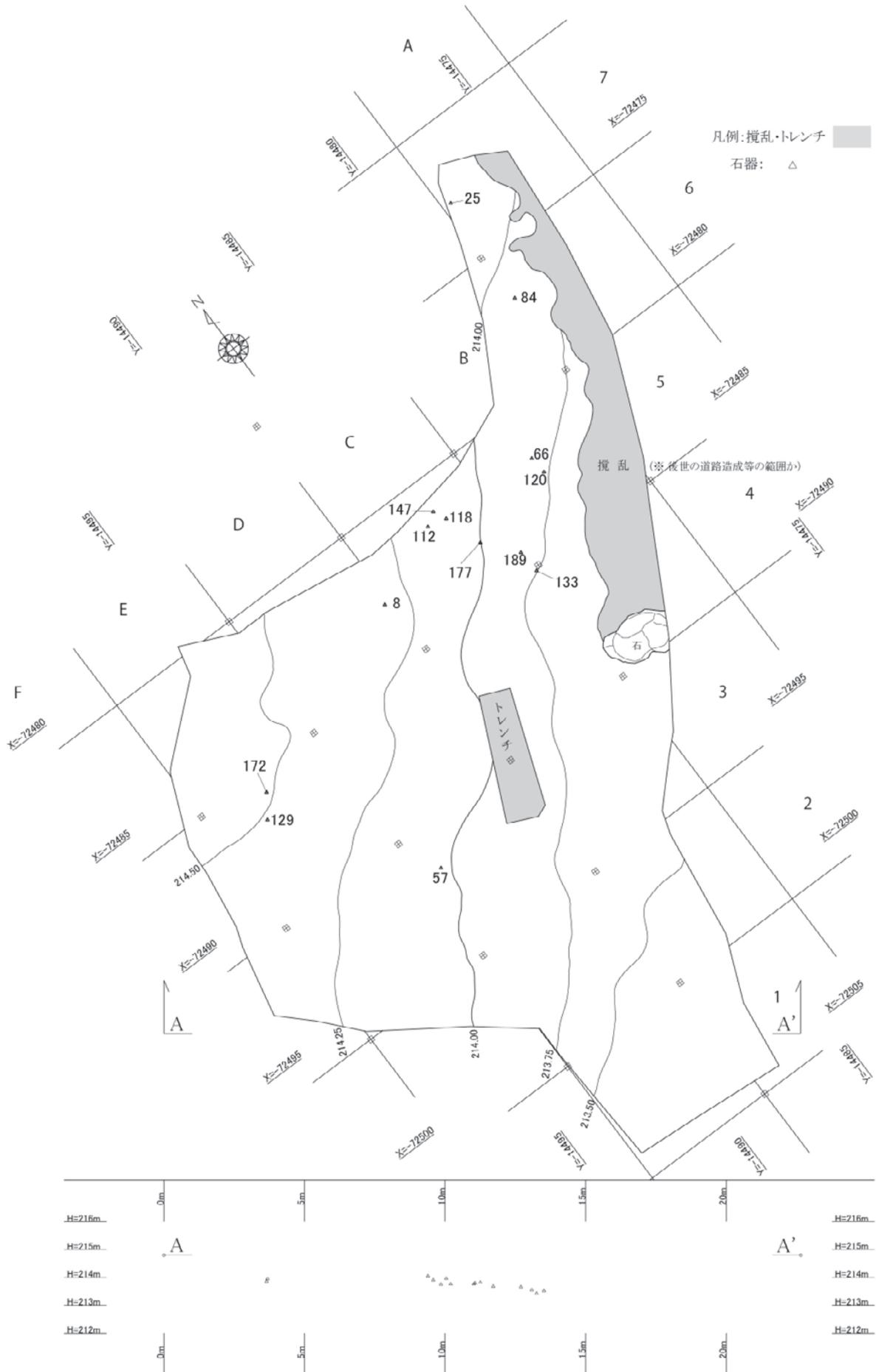


Fig.13 金川遺跡 I-A区 4層石器出土状況図 (S=1/200)



Fig.14 金川遺跡 I-A区 5層石器出土状況図(S=1/200)

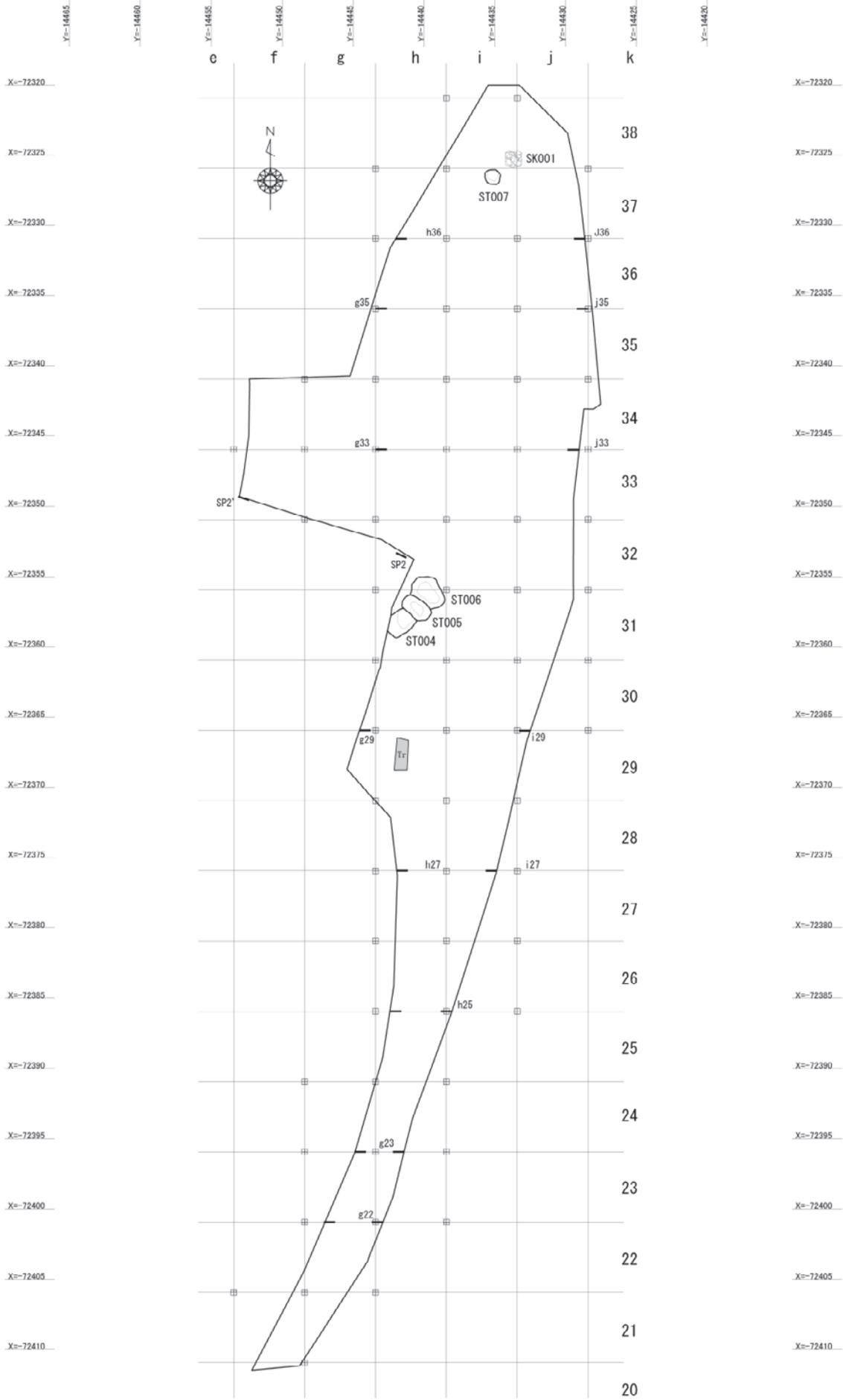


Fig.15 金川遺跡 I-B区 遺構配置図(S=1/400)

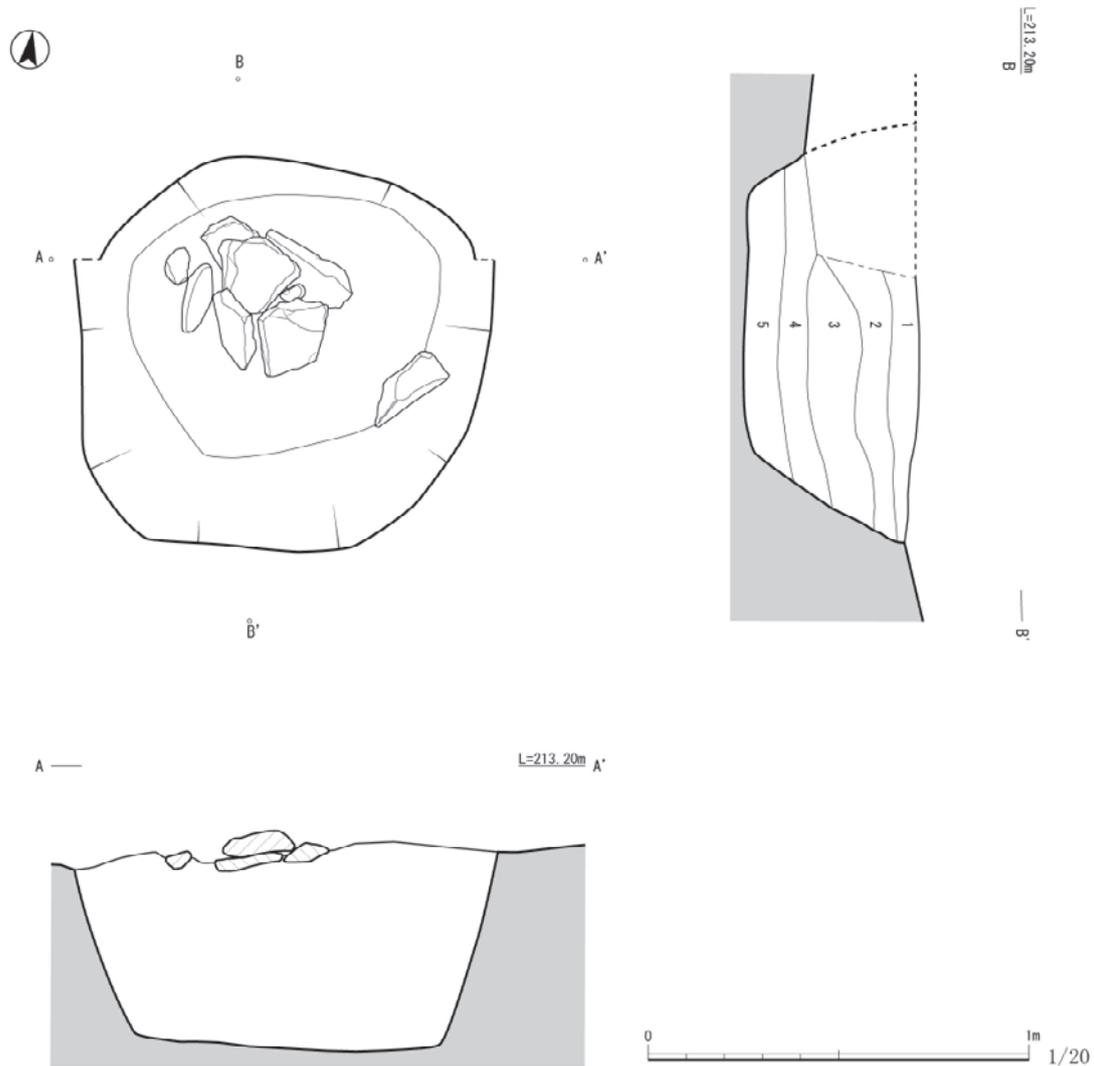
(3) 遺構について (I-B区)

ST004 ~ 006 (Fig.15)

I-B区の中央西よりに位置する。ST-005がST-004、ST-006を切っている。3基とも長楕円形を呈する土坑である。ST-004の長軸方向は、ST-005、ST-006と90°異なる。ST-005は、長軸110cm、短軸65cmを測る。ST-006の土坑内に加工された角石を含め7石が確認された。

ST007 (Fig.16)

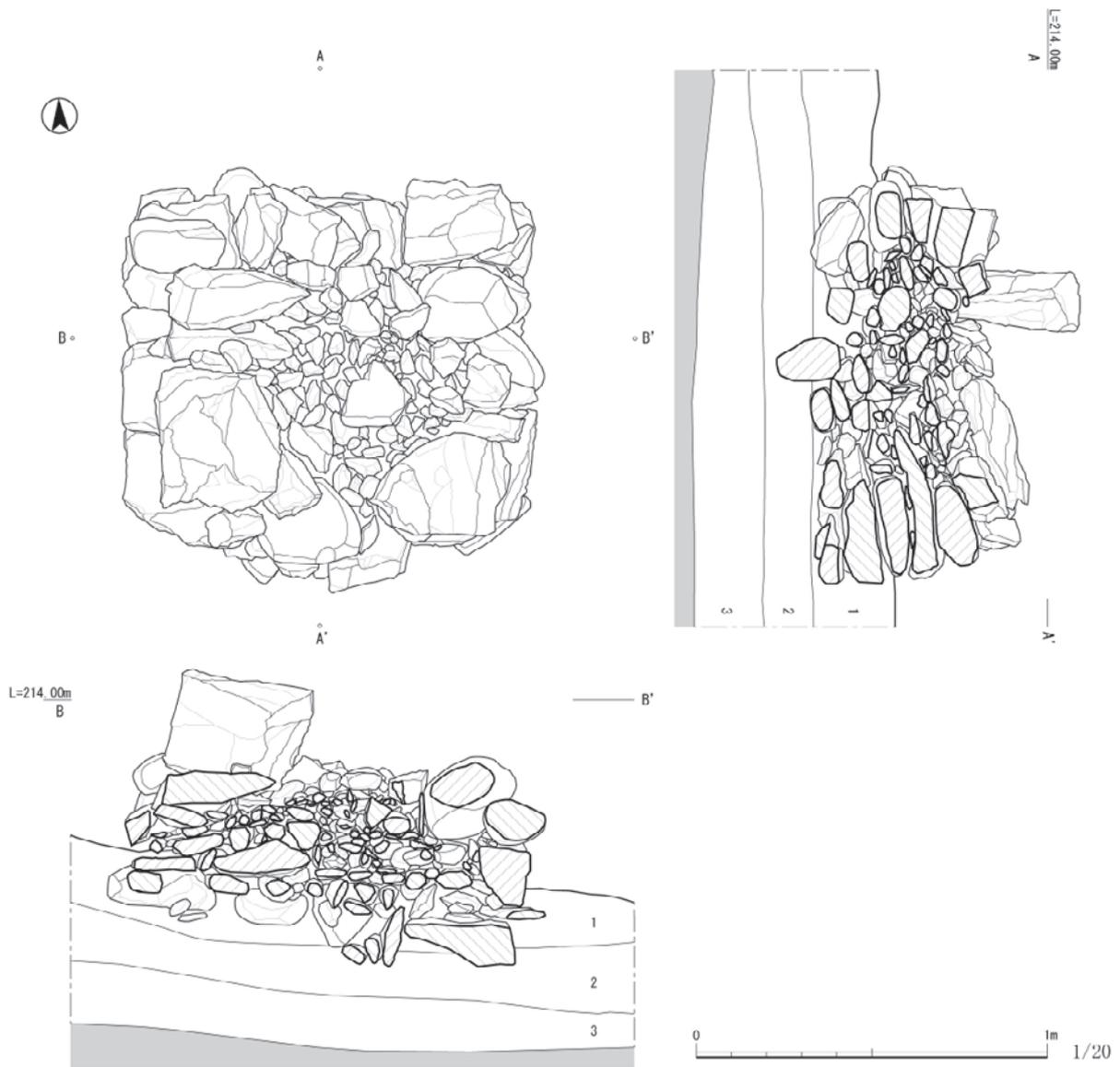
I-B区の北側隅に位置する。一辺110cmを測る隅丸方形の土坑である。深さは45cmを測る。遺物を伴わないため時期は不明である。土坑上部に8石が確認され、3~4層から人骨が検出された。遺構は、造成と思われる土層より検出されており、近世~近代の土壙墓と考えられる。



|    |         |                 |         |      |                |
|----|---------|-----------------|---------|------|----------------|
| 1層 | にぶい黄褐色土 | Hue 10 YR 4 / 3 | しまり弱い   | 弱粘性  | 1~2cmの小石をやや含む。 |
| 2層 | 褐色土     | Hue 10 YR 4 / 4 | ややしまりあり | 粘性あり | 1~2cmの小石を多く含む。 |
| 3層 | 暗褐色土    | Hue 10 YR 3 / 3 | しまり弱い   | 粘性あり | やや砂を含む。不純物は少ない |
| 4層 | 暗褐色土    | Hue 10 YR 3 / 4 | ややしまりあり | 粘性あり | 不純物は少ない。       |
| 5層 | 暗褐色土    | Hue 10 YR 3 / 4 | しまりあり   | 粘性あり | 3~5cmの礫をやや含む。  |

- ※ 土器などの遺物を伴わないため、時期は不明
- ※ 造成と思われる土層より出土しているため、おそらく近世~近代の土壙墓だろう。
- ※ 人骨は3・4層から出土している

Fig.16 金川遺跡 I-B区 ST007実測図



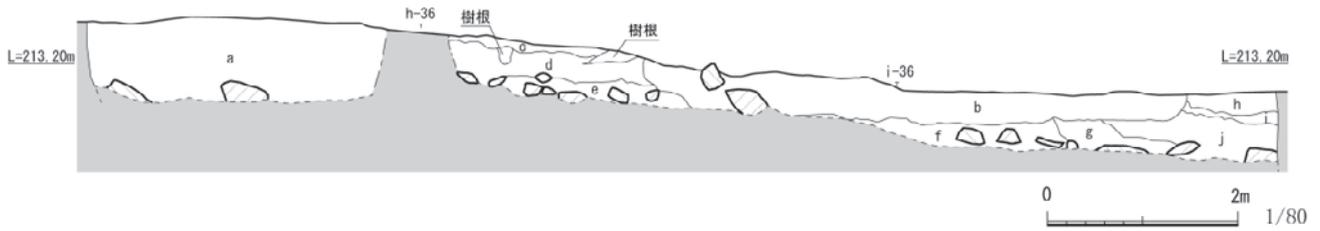
- |                         |       |      |                                       |
|-------------------------|-------|------|---------------------------------------|
| 1層 暗褐色土 Hue 10 YR 3 / 4 | しまりあり | 弱粘性  | 小礫（直径2cm）を少量含む。原表土層であり、茶畑に使用されていた耕作土。 |
| 2層 暗褐色土 Hue 10 YR 3 / 3 | しまり強い | 弱粘性  | 小礫（直径2cm）を多量に含む。炭化物を多量に含む。整地層か？       |
| 3層 褐色土 Hue 10 YR 4 / 4  | しまりあり | 粘性あり |                                       |

※ 本遺構の外側は角礫、内側は円礫が主に使用されている。  
 石組み意外、掘り込み等は認められず性格は不明である。  
 遺物は石組み内より出土するも、築造年代は不明である。  
 本遺構は2層堆積後に建造され、後、1層が流れ込んで一部埋設していたと考えられる。  
 石組みは表土剥ぎ前より現出しているため、石の配列などは大きく動いているものと思われる。

Fig.17 金川遺跡 I-B区 SX003実測図

### SX003（石組遺構）（Fig.17）

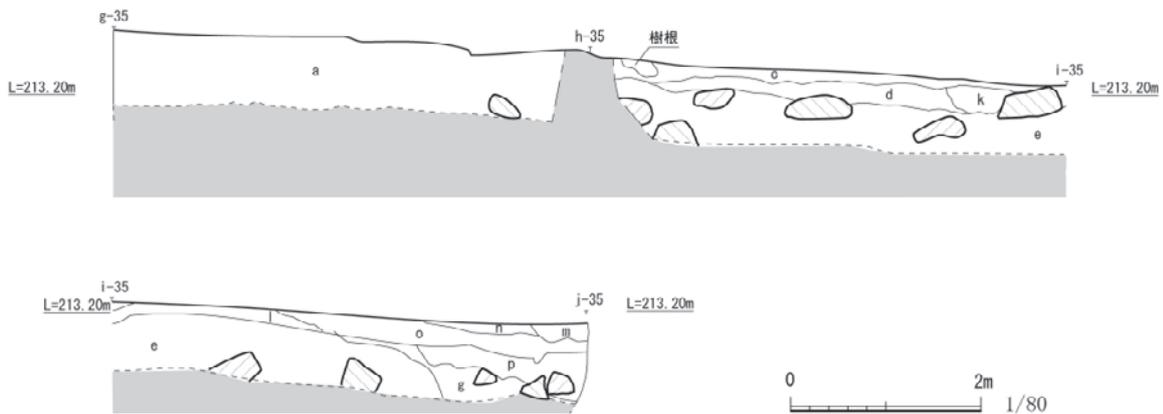
I-B区の北側隅に位置する。遺構の外側は角礫、内側は円礫が主に使用されている。掘り込み等は認められない。遺物は石組内より出土するが築造年代は不明である。遺構は、2層堆積後に建造された後、1層が流れ込み一部埋設していたと考えられる。石組は、表土剥ぎ前から露出しているため、石の配列などは大きく動いているものと考えられる。



|               |                 |       |      |  |  |
|---------------|-----------------|-------|------|--|--|
| a 層 砂礫層       |                 |       |      |  | 本層は、幾重もの砂礫層によって形成されている。礫の粒は上層から下層にかけて次第に大きくなり、本図面最下層では直径40cm程度の礫と砂によって構成されている。自然層序の一部とは考えられるが、周囲には砂層が同一レベルにある等判断し難い。 |
| b 層 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 4 | しまりあり | 弱粘性  |  | 直径3cm程の小礫を多く含む。本層は試堀坑による攪乱層である。  |
| c 層 オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 4 | しまりあり | 粘性なし |  | 基本層序にはなく後世に流入した層。  |
| d 層 黄褐色砂質土    | Hue 2.5 Y 5 / 4 | しまりあり | 粘性なし |  | c層同様、非常にキメの細かい砂で構成されている。   |
| e 層 砂礫層       |                 |       |      |  | 大半が直径3cm程の小礫によって構成されているが、直径30cm程の礫も含まれる。a層の下部と同一か。   |
| f 層 黄褐色砂質土    | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 粘性なし |  | 大小の礫を多く含む。後世の造成による土と考えられる。   |
| g 層 砂礫層       |                 |       |      |  | 直径1cm以下の小礫と砂によって構成されている。f層同様、造成による層の可能性が高い。  |
| h 層 にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 4 / 3 | しまりあり | 弱粘性  |  | 小礫をわずかに含む。本図面直東にある石垣造成のための場込みと考えられる。   |
| i 層 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  |  | h層と同様である。  |
| j 層 オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 3 | しまり弱い | 弱粘性  |  | 基本層序の2・3・4層それぞれが混在した形で認められるため、後世の造成のための山側から運んできたと考えられる。  |

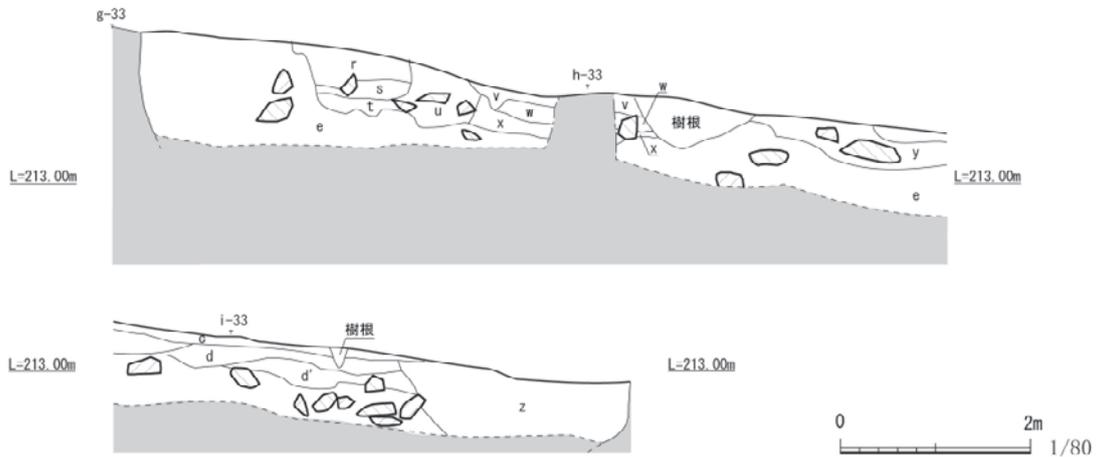
※ 本図面の土層は調査区南側の安定した層序とは異なり、後世の造成等の影響を多分に受けた箇所の層序である。

Fig.18 金川遺跡 I-B区 h36~i36土層断面実測図



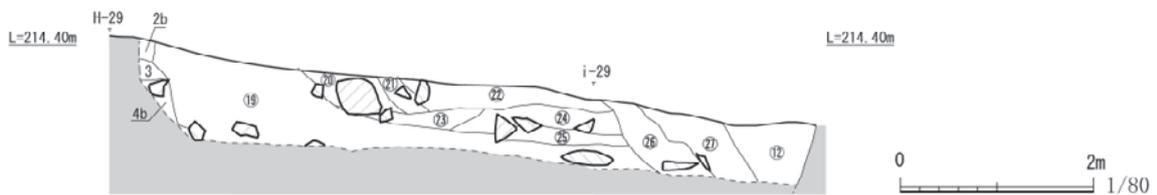
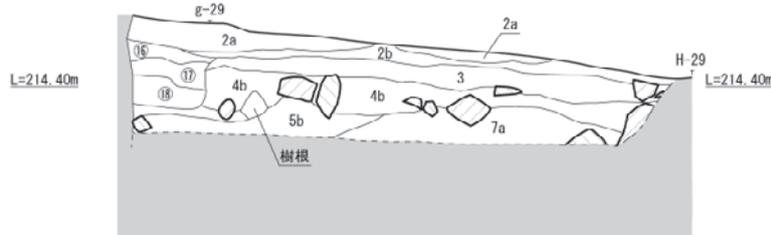
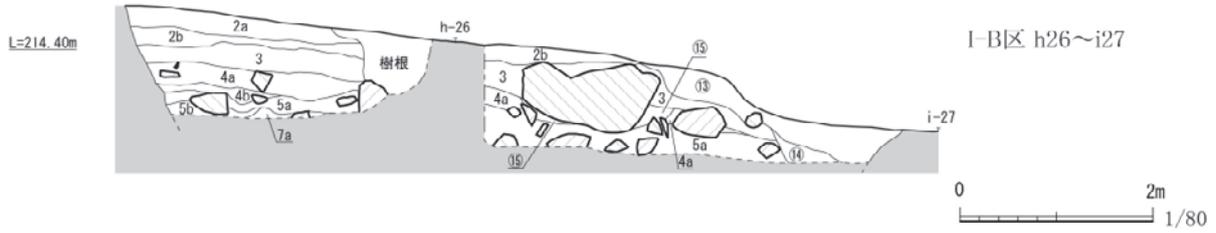
|               |                 |       |      |  |  |
|---------------|-----------------|-------|------|--|--|
| a 層 砂礫層       |                 |       |      |  | 本層は、幾重もの砂礫層によって形成されている。礫の粒は上層から下層にかけて次第に大きくなり、本図面最下層では直径40cm程度の礫と砂によって構成されている。自然層序の一部とは考えられるが、周囲には砂層が同一レベルにある等判断し難い。 |
| c 層 オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 4 |       |      |  | 基本層序にはなく後世に流入した層。  |
| d 層 黄褐色砂質土    | Hue 2.5 Y 5 / 4 |       |      |  | c層同様、非常にキメの細かい砂で構成されている。   |
| e 層 砂礫層       |                 |       |      |  | 大半が直径3cm程の小礫によって構成されているが、直径30cm程の礫も含まれる。a層の下部と同一か。   |
| k 層 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 6 | しまりあり | 弱粘性  |  | 直径3cm以下の小礫を少量含む。   |
| l 層 オリーブ褐色土   | Hue 2.5 Y 4 / 6 | しまりあり | 弱粘性  |  | 直径2cm程度の礫を含む。造成に伴う層である。  |
| m 層 黒褐色土      | Hue 10 YR 3 / 2 | しまり弱い | 弱粘性  |  | 直径数ミリの小礫を非常に多く含む。直東の石垣造築に伴う層である。   |
| n 層 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 3 | しまりあり | 弱粘性  |  | 直径数ミリの小礫を多く含む。石垣もしくは造成に伴う層である。   |
| o 層 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 3 | しまりあり | 粘性あり |  | 黄褐色 (Hue 2.5Y5/6) の粘土ブロックを多く含む。石垣もしくは造成に伴う層である。一部に砂質土を含む。プライマリーな層とは考えにくい。上位層と同様造成に伴う層と考えられる。                         |
| p 層 明黄褐色土     | Hue 10 YR 6 / 8 | しまりあり | 弱粘性  |  | 直径5cm以上の礫を多く含む。  |
| q 層 にぶい黄褐色砂質土 | Hue 10 YR 4 / 3 | しまり弱い | 粘性あり |  | ※ 本図面の土層は調査区南側の安定した層序とは異なり、後世の造成などの影響を多分にうけた箇所の層序である。  |

Fig.19 金川遺跡 I-B区 g35~j35土層断面実測図



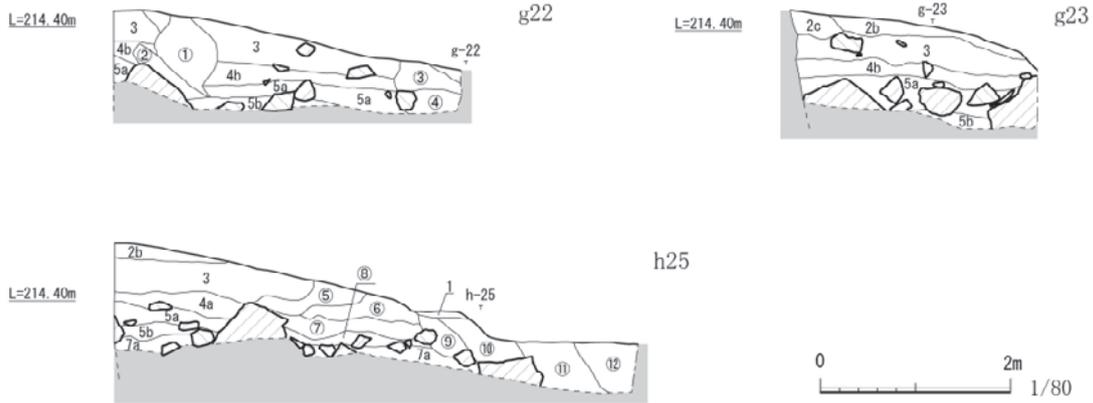
|     |           |                  |            |   |
|-----|-----------|------------------|------------|---|
| c 層 | オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 4  |            | 基本層序にはなく後世に流入した層。                                       |
| d 層 | 黄褐色砂質土    | Hue 2.5 Y 5 / 4  |            | c 層同様、非常にキメの細かい砂で構成されている。                               |
| e 層 | 砂礫層       |                  |            | 大半が直径 3cm 程の小礫によって構成されているが、直径 30cm 程の礫も含まれる。a 層の下部と同一か。 |
| d 層 | 黄褐色砂質土    | Hue 2.5 Y 5 / 4  |            | 基本的には d 層と同質であるが直径 3cm 程度の礫を含む。                         |
| e 層 | 砂礫層 (捕捉)  |                  |            | 本図面の e 層も堆積状況はフラットではなく、波を打ち堆積している。                      |
| r 層 | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 4  | しまり弱い 弱粘性  | 直径 5cm 以上の礫を多く含む。                                       |
| s 層 | にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 4 / 3  | しまり弱い 弱粘性  | 直径 2cm 程の小礫を含む。   |
| t 層 | 褐色土       | Hue 7.5 YR 4 / 4 | しまり弱い 粘性無し | 大小の礫を多く含む。  |
| u 層 | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 6  | しまり有り 弱粘性  | 直径 10cm 程の礫を含む。   |
| v 層 | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 6  | よくしまる 粘性有り | 大小の礫を含む。多種の土が混在している。                                    |
| w 層 | にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 4 / 3  | しまり有り 粘性有り | 直径数 mm 小礫を含む。   |
| x 層 | 褐色土       | Hue 7.5 YR 4 / 4 | しまり有り 粘性有り | v・w 層と比してそれ程礫を含まない。                                     |
|     |           |                  |            | ※ r～w まで各層とも安定した層ではない。植物痕等の影響が考えられる。                    |
|     |           |                  |            | v・w・x 層は、後世の道路跡と考えられる。                                  |
| y 層 | オリーブ褐色土   | Hue 2.5 Y 4 / 6  | しまり有り 弱粘性  | 本層の大半は、直径 5cm 程の礫が占めている。                                |
| z 層 | オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 6  | しまり弱い 粘性無し | 本層は、直径 10cm 程度の礫と砂で構成されている。後世の造成に伴う層であろう。               |

Fig.20 金川遺跡 1-B区 g33～j33土層断面実測図



|     |           |                 |       |      |   |
|-----|-----------|-----------------|-------|------|---|
| 2a層 | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 8 | しまりあり | 弱粘性  | 直径数mmの小礫を非常に多く含む。又、キメの細かい砂質でもある。                  |
| 2b層 | 明黄褐色粘質土   | Hue 10 YR 6 / 8 | しまりあり | 粘性あり | 大小の礫を多く含む。  |
| 2c層 | 暗褐色粘質土    | Hue 10 YR 6 / 8 | しまりあり | 粘性あり | 大小の礫を多く含む。  |
| 3層  | 黄褐色粘質土    | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 粘性あり | 直径5mm以下の小礫を含むが、一部大礫も含む。キメ細かい(シルト感あり)。             |
| 4a層 | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 弱粘性  | 少量礫を含む。   |
| 4b層 | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 弱粘性  | 少量礫を含む。4a層よりもより3層に近いがシルト感はない。                     |
| 5a層 | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 4 | しまり弱い | 粘性あり | 礫を含む。   |
| 5b層 | にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 4 / 3 | しまり弱い | 弱粘性  | 礫を含む。   |
| 7a層 | オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  | 本層は砂と大小の礫によって構成されている。                             |
| ⑫層  |           |                 |       |      | 礫   |
| ⑬層  | 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 3 | しまりあり | 粘性なし | 本層の大半は直径数mmの小礫によって構成されている。1層ないしは、土地厚生により持ち込まれた客土。 |
| ⑭層  | 明黄褐色粘質土   | Hue 10 YR 6 / 6 | しまりあり | 粘性なし | 直径数mmの礫を多く含む。2・3・4層が崩落し、混ざりあった感じがする。              |
| ⑮層  | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 6 | しまり弱い | 弱粘性  | 巨石の崩落に伴った層と考えられる。                                 |
| ⑯層  | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 8 | しまりあり | 粘性あり | 直径2cm以下の小礫を少量含む。                                  |
| ⑰層  | 黄褐色粘質土    | Hue 10 YR 5 / 8 | しまりあり | 粘性あり | シルト質である。  |
| ⑱層  | 明黄褐色粘質土   | Hue 10 YR 6 / 8 | しまりあり | 粘性あり | ⑰層と比べると、よりシルト質である。                                |
|     |           |                 |       |      | ※ ⑲~⑳は不明遺構  |
| ⑲層  | 砂礫層       |                 |       |      | 本層は微細な小礫と直径10cmほどの礫で構成されている。自然層序ではない。             |
| ⑳層  | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 8 | しまりあり | 弱粘性  | 直径2・3cmの小礫を含む。                                    |
| ・層  | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  | 直径2cmほどの小礫を多く含む。                                  |
| ・層  | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 6 | しまりあり | 弱粘性  | 大小の礫を少量含む。  |
| ・層  | にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 5 / 4 | しまりあり | 粘性あり | 本層の大半は小礫と直径5cmほどの礫によって構成されている。                    |
| ・層  | にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 4 / 3 | しまり弱い | 弱粘性  | ・層同様小礫と礫によって構成されているが、しまりはなくボソボソした感がある。            |
| ・層  | 灰黄褐色砂礫    | Hue 10 YR 6 / 2 |       |      | 本層は大半の砂と礫で構成されている。                                |
| ・層  | 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  | 直径10cmほどの礫を多く含む。                                  |
| ・層  | 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 3 | しまりあり | 粘性あり | 微細な小礫を含む。   |

Fig.21 金川遺跡 I-B区 h26~i27・g29~i29土層断面実測図



|     |           |                 |       |      |   |
|-----|-----------|-----------------|-------|------|---|
| 1層  | 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 3 | しまり弱い | 弱粘性  | 直径5mm以上の小礫や礫を多く含む。  |
| 2b層 | 明黄褐色粘質土   | Hue 10 YR 6 / 8 | しまりあり | 粘性あり | 大小の礫を多く含む。  |
| 2c層 | 暗褐色粘質土    | Hue 2.5 Y 5 / 6 | しまりあり | 粘性あり | 大小の礫を多く含む。  |
| 3層  | 黄褐色粘質土    | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 粘性あり | 直径5mm以下の小礫を含むが、一部大礫も含む。キメ細かい(シルト感あり)。   |
| 4a層 | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 弱粘性  | 少量礫を含む。   |
| 4b層 | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 弱粘性  | 少量礫を含む。4a層よりもより3層に近いがシルト感はない。   |
| 5a層 | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 4 | しまり弱い | 粘性あり | 礫を含む。   |
| 5b層 | にぶい黄褐色土   | Hue 10 YR 4 / 3 | しまり弱い | 弱粘性  | 礫を含む。   |
| 7a層 | オリーブ褐色砂質土 | Hue 2.5 Y 4 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  | 本層は砂と大小の礫によって構成されている。   |
| ①層  | 明黄褐色土     | Hue 10 YR 6 / 8 | しまりあり | 弱粘性  | 大小の礫を多く含む。  |
| ②層  | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 6 | しまり弱い | 弱粘性  | 小礫を多く含む。やや砂質。   |
| ③層  | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 弱粘性  | 少量の礫を含む。  |
| ④層  | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  | 小礫を多く含む。やや砂質。   |
| ⑤層  | 黄褐色土      | Hue 10 YR 5 / 6 | しまりあり | 粘性あり | シルト質。   |
| ⑥層  | 褐色土       | Hue 10 YR 4 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  |   |
| ⑦層  | 暗褐色砂質土    | Hue 10 YR 3 / 4 | しまり弱い | 弱粘性  |   |
| ⑧層  | 黒褐色砂質土    | Hue 10 YR 3 / 2 | しまり弱い | 弱粘性  | 小礫多く含む。⑤⑥⑦⑧層はおそらく植物痕の影響と考えられる。  |
| ⑨層  | 暗褐色土      | Hue 10 YR 3 / 3 | しまり弱い | 弱粘性  |   |
| ⑩層  | 褐色土       | Hue 10 YR 3 / 3 | しまり弱い | 弱粘性  | 大小の礫を多く含む。  |
| ⑪層  | 黒褐色土      | Hue 10 YR 3 / 2 | しまりあり | 粘性あり | 後世の造成による客土と考えられる。本層はすべて大小の礫によって構成されている。地表から約40cmほどは、直径5cm以上の礫によって構成されているが、それより下部は直径2cm以下小礫によって成っている。後世の造成による客土と考えられる。 |
| ⑫層  |           |                 |       |      |   |

Fig.22 金川遺跡 I-B区 g22・g23・h25土層断面実測図

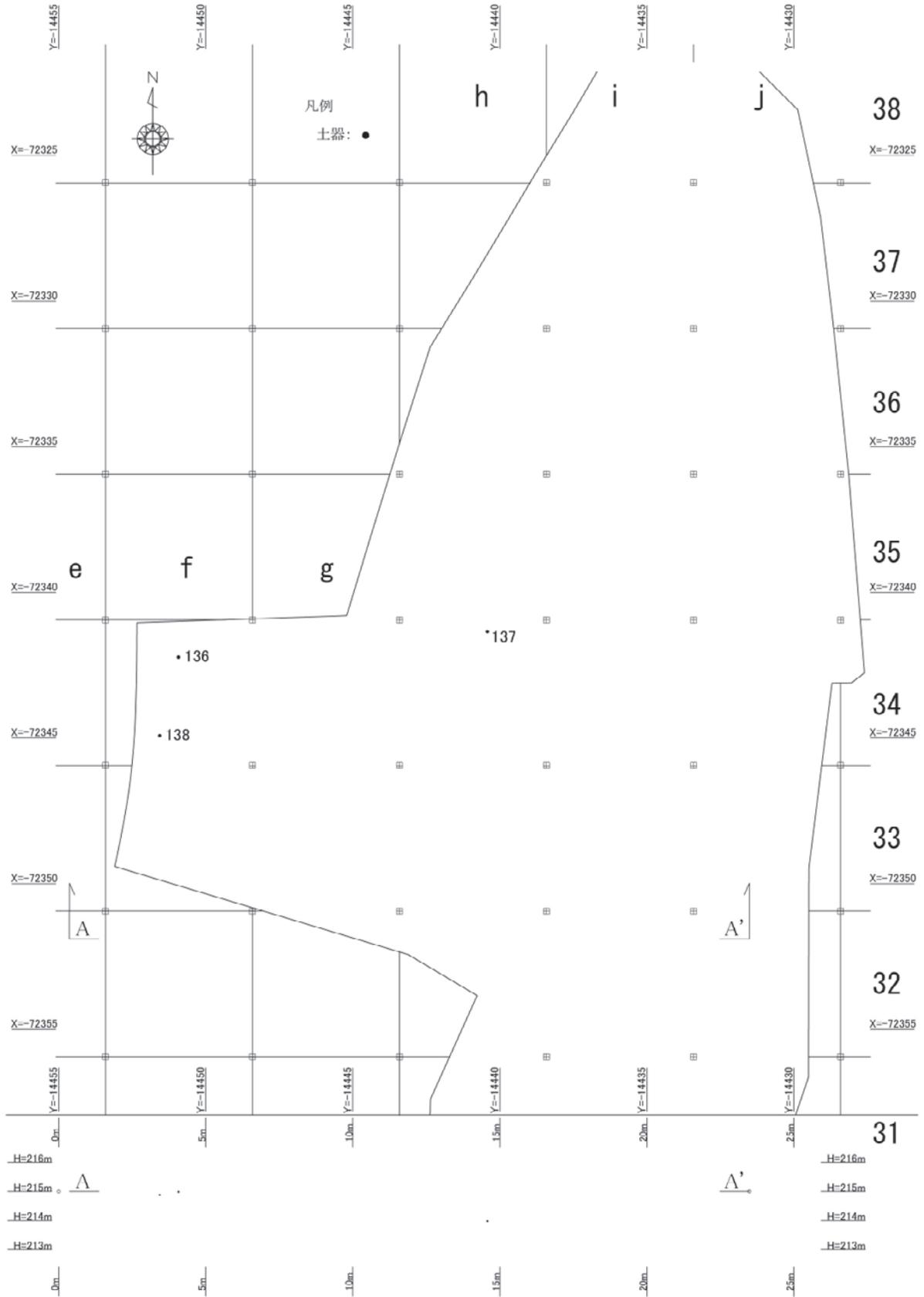


Fig.23 金川遺跡 I-B区 4層遺物出土状況図(S=1/200)

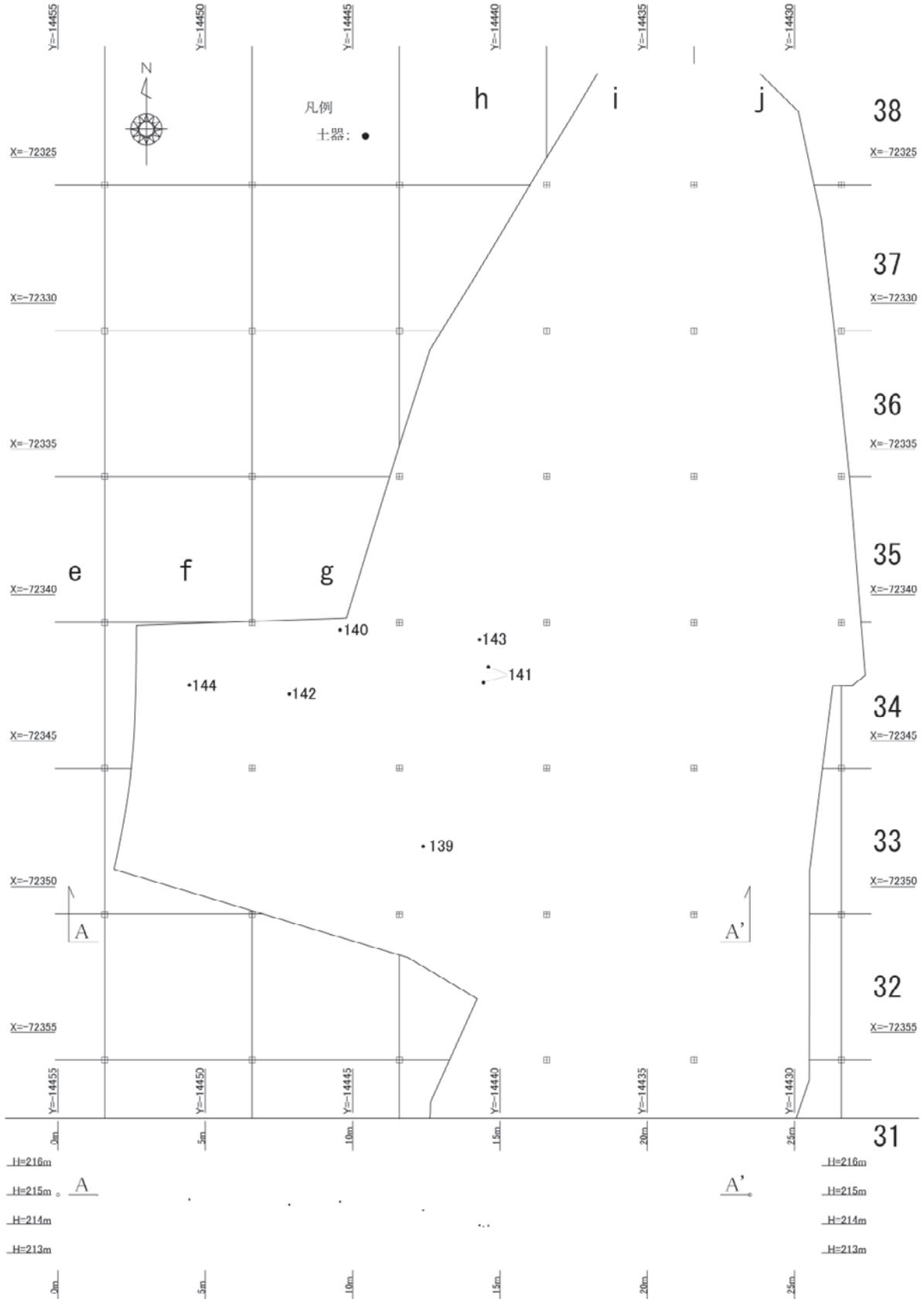


Fig.24 金川遺跡 I-B区 5層遺物出土状況図(S=1/200)

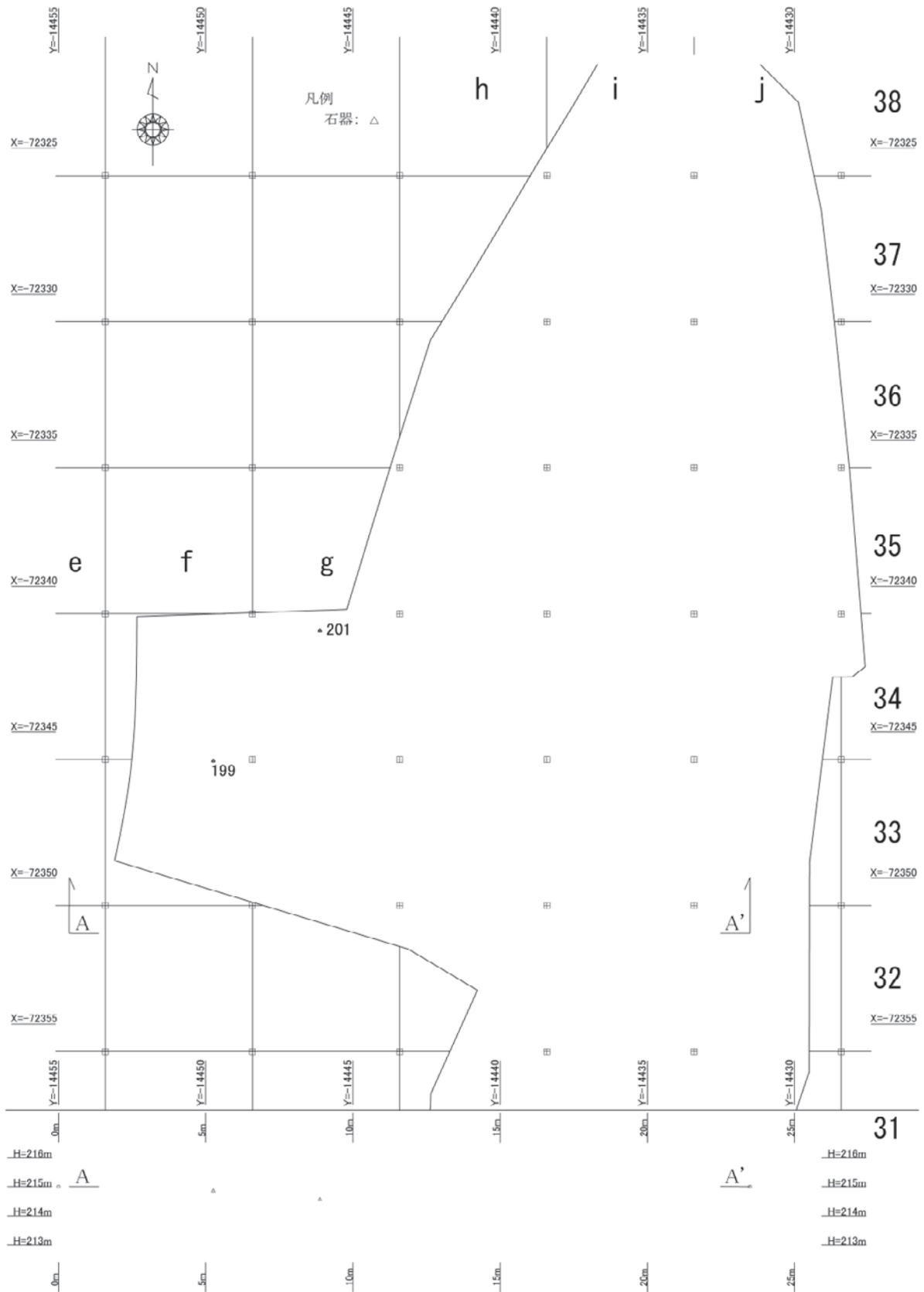


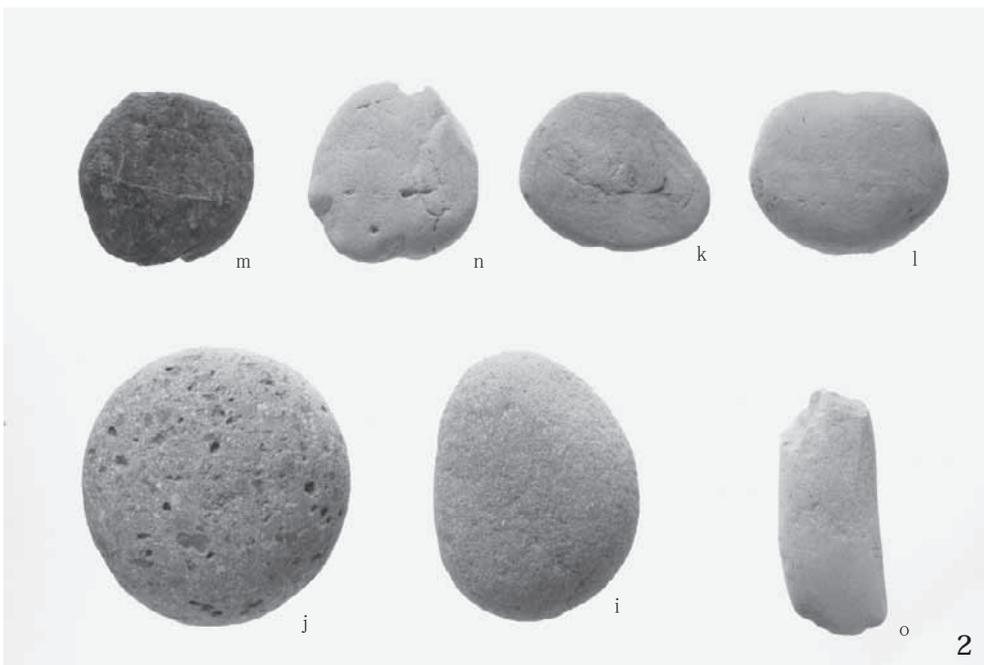
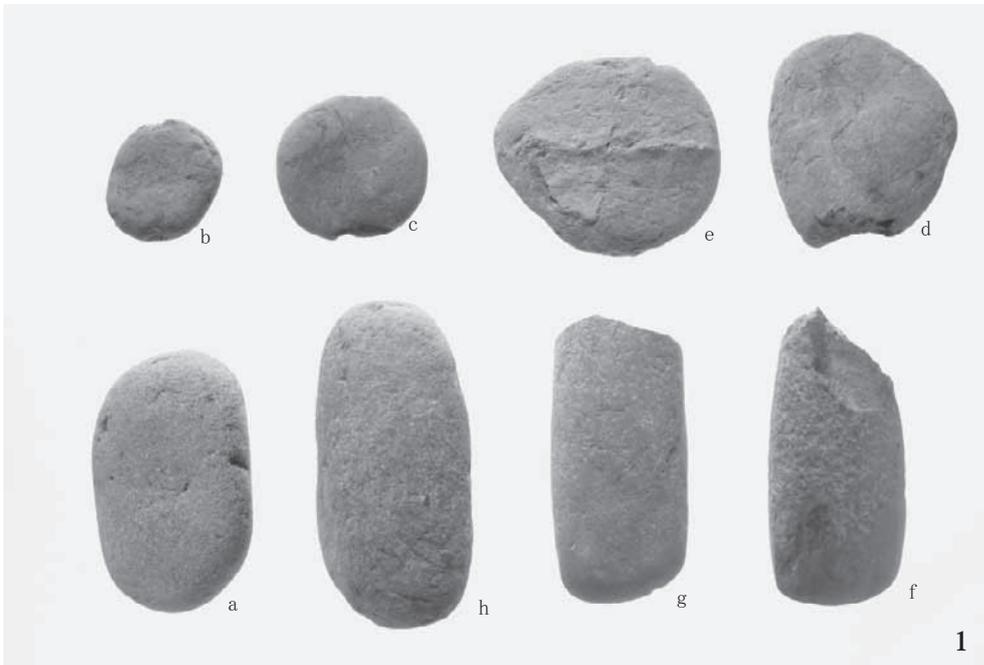
Fig.25 金川遺跡 I-B区 5層石器出土状況図(S=1/200)

#### (4) 遺物について (I-B区)

当該遺跡の発掘調査は、工事工程の都合から I-A区及び I-B区で実施した。その他の調査予定箇所については、工事に際して土砂が大量に仮置きされているため撤去後に確認調査を実施する予定であった。

I-B区の調査では、6層の自然堆積を確認した。そのうち、II層が黄褐色土でアカホヤ火山灰の2次堆積層である。遺物は、II～V層で出土した。その大半は、縄文時代に所属する土器、石器類である。土器型式から見ると縄文時代中期の船元式系春日式土器、後期の阿高式土器が中心であるが、遺物の量はさほど多くない。

以下、図示した遺物に関する観察所見については、観察表を参照されたい。



1. 金川遺跡 I-A区 3層 石器

2. 金川遺跡 I-A区・I-B区 (o) 石器



Fig.26 金川遺跡 I-A区 2層出土遺物実測図

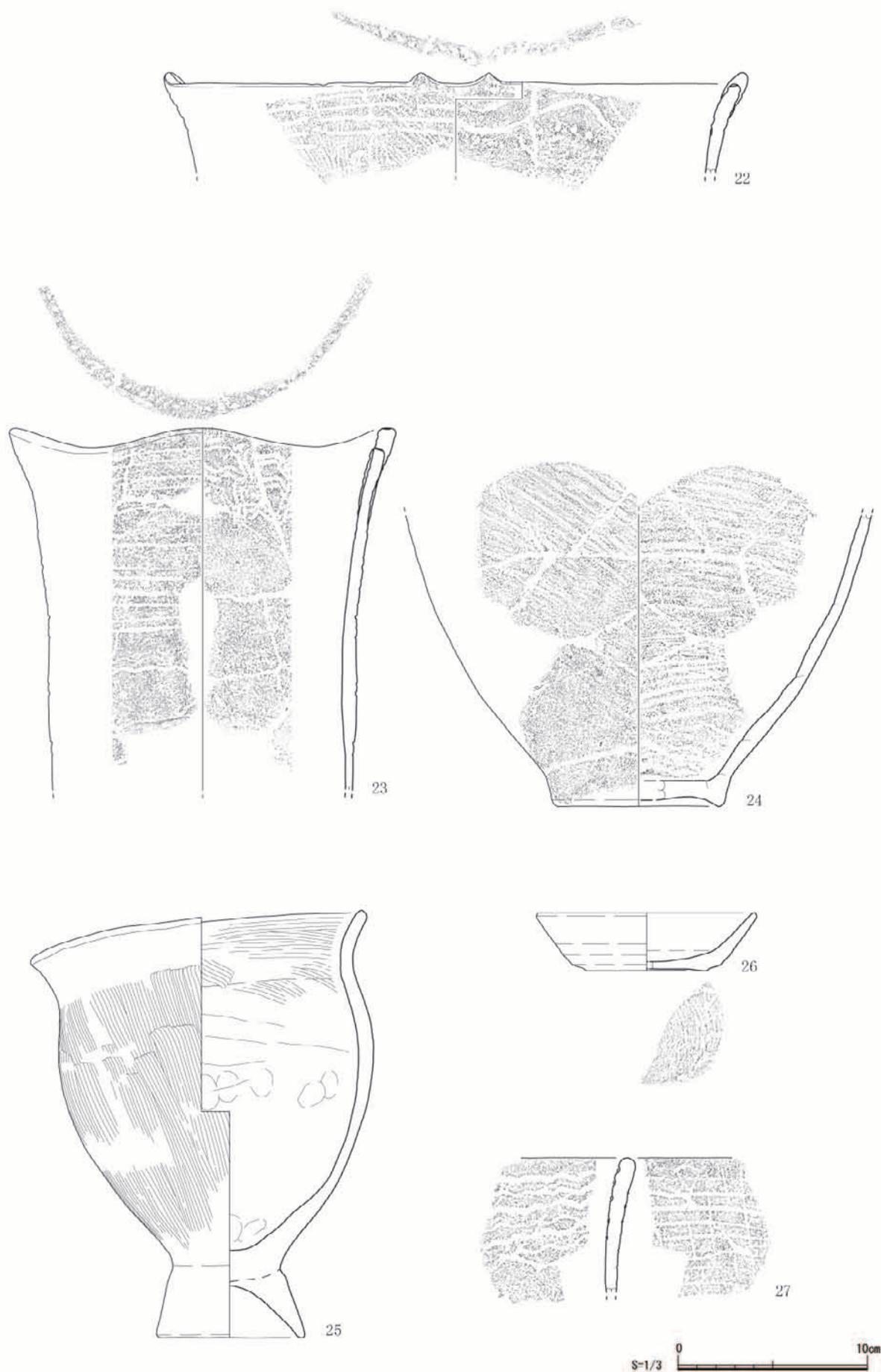


Fig.27 金川遺跡 I-A区 2層・2b層 (27) 出土遺物実測図

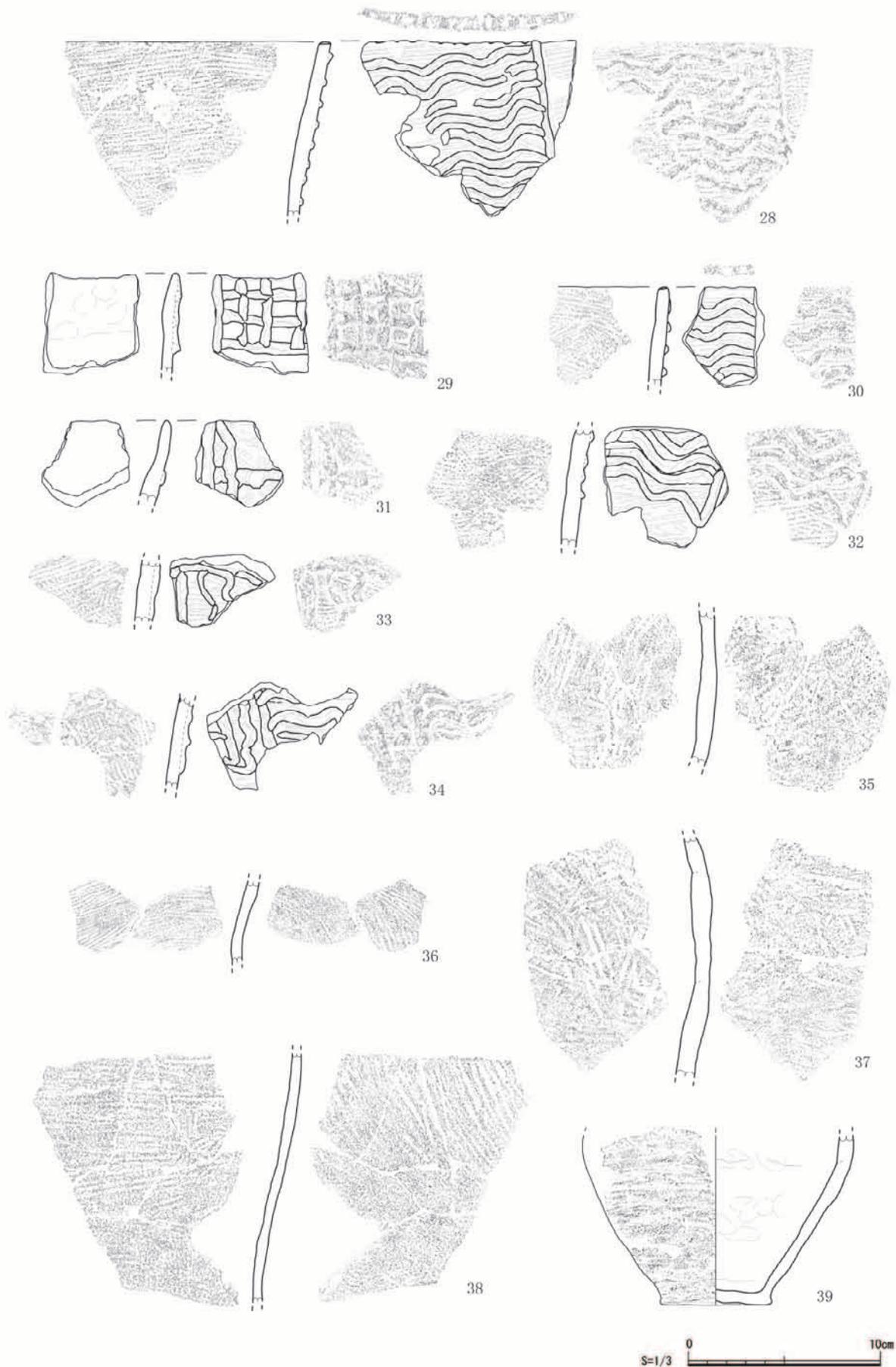


Fig.28 金川遺跡 I-A区 3層出土遺物実測図一①

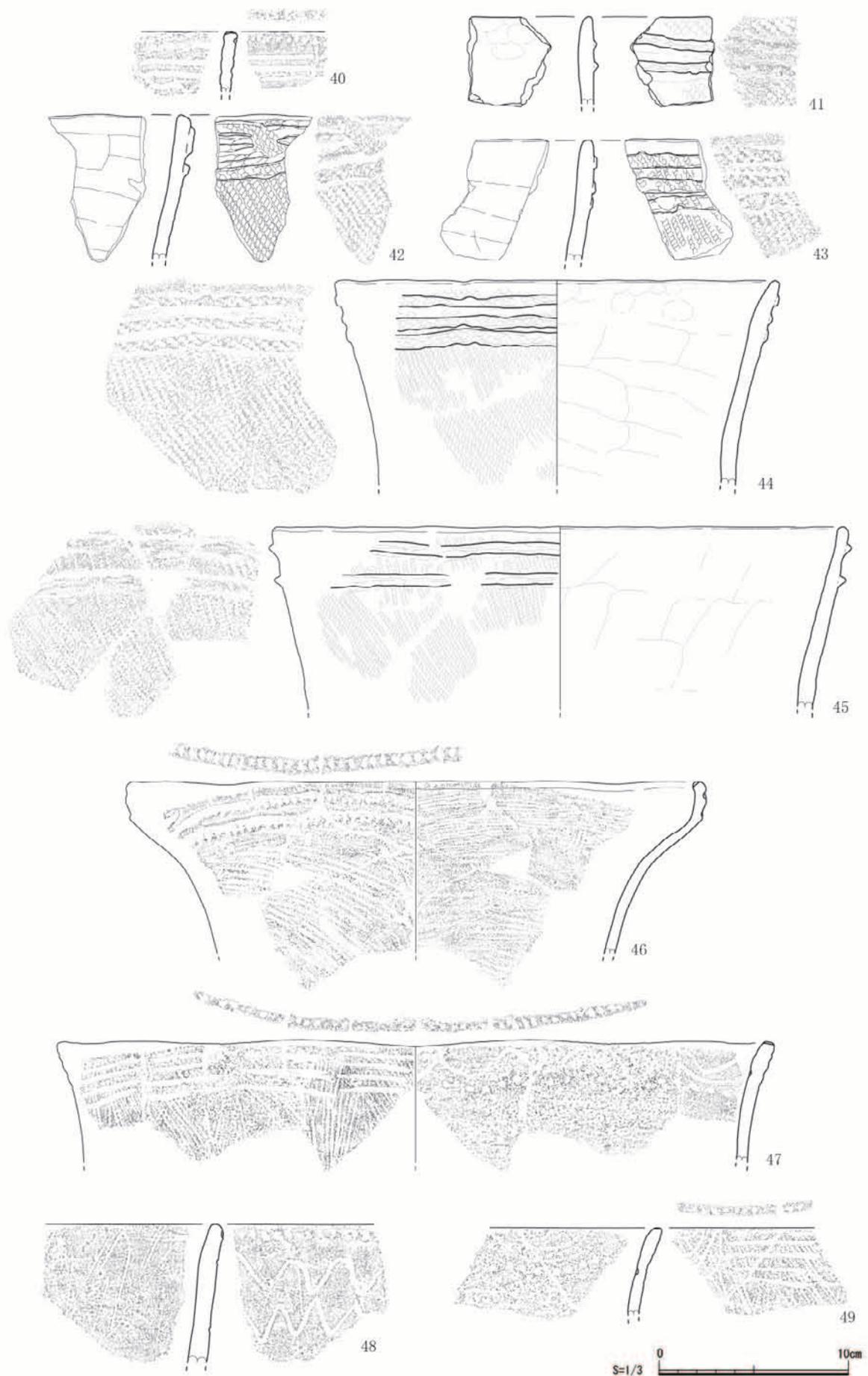


Fig.29 金川遺跡 I-A区 3層出土遺物実測図-②

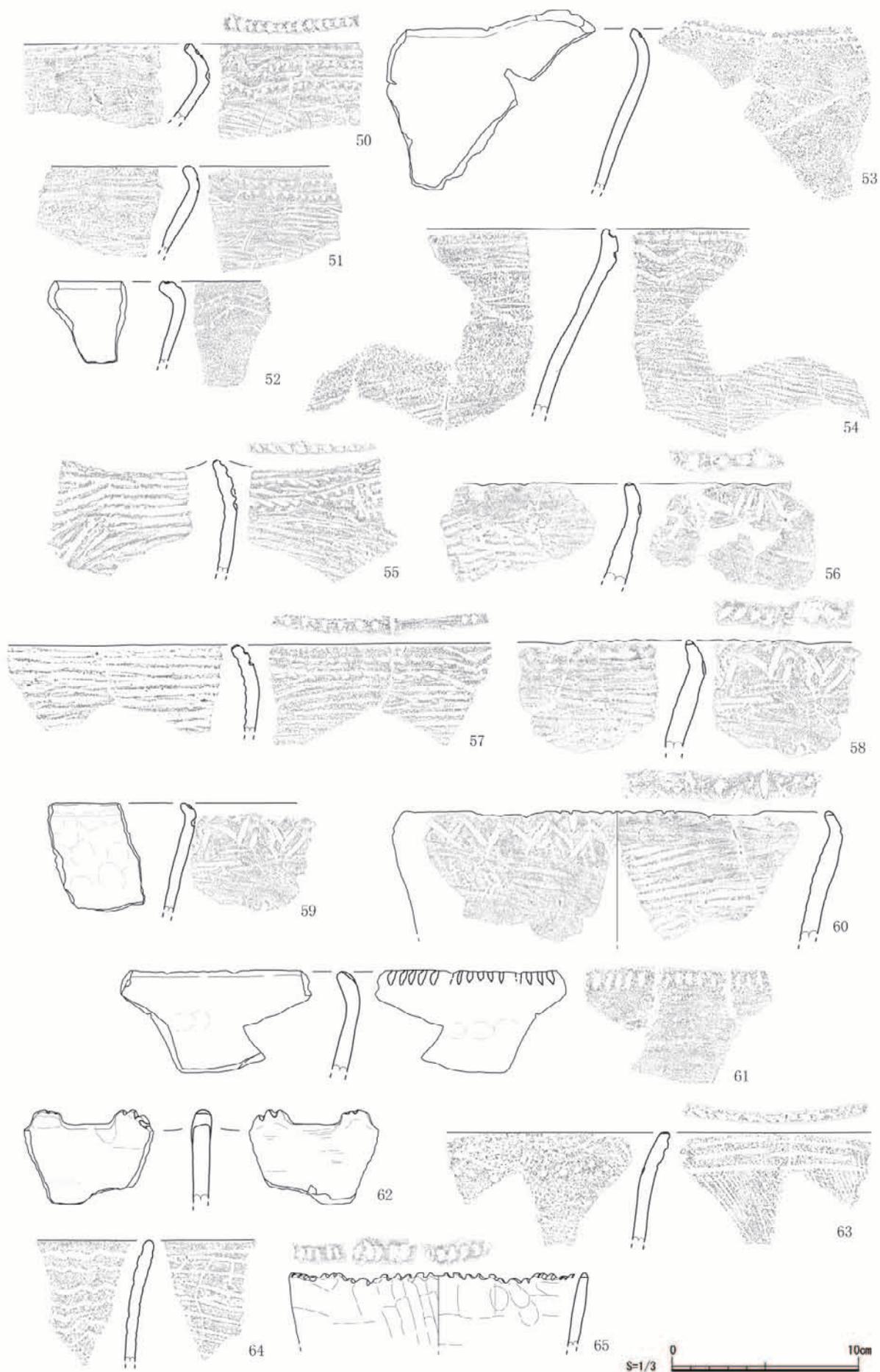


Fig.30 金川遺跡 I-A区 3層出土遺物実測図一③



Fig.31 金川遺跡 I-A区 3層出土遺物実測図一④

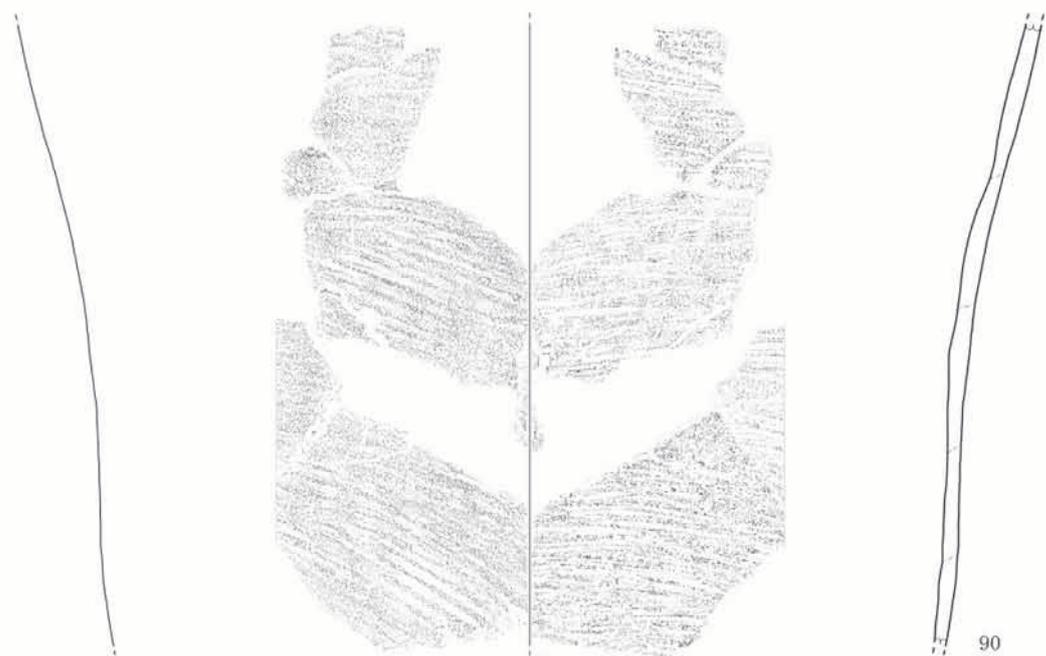
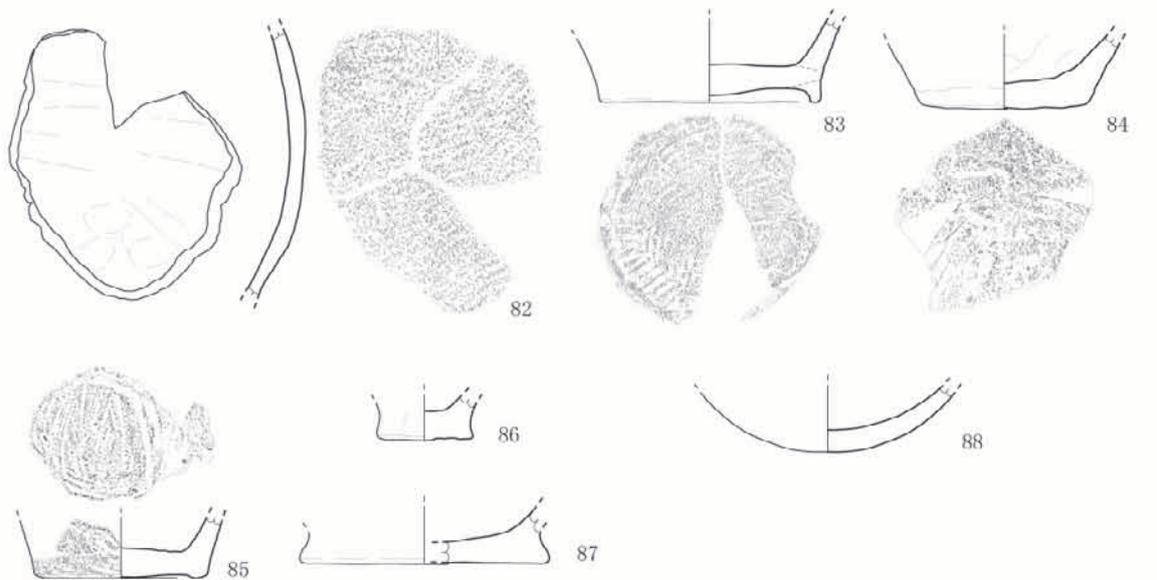


Fig.32 金川遺跡 I-A区 3層出土遺物実測図一⑤

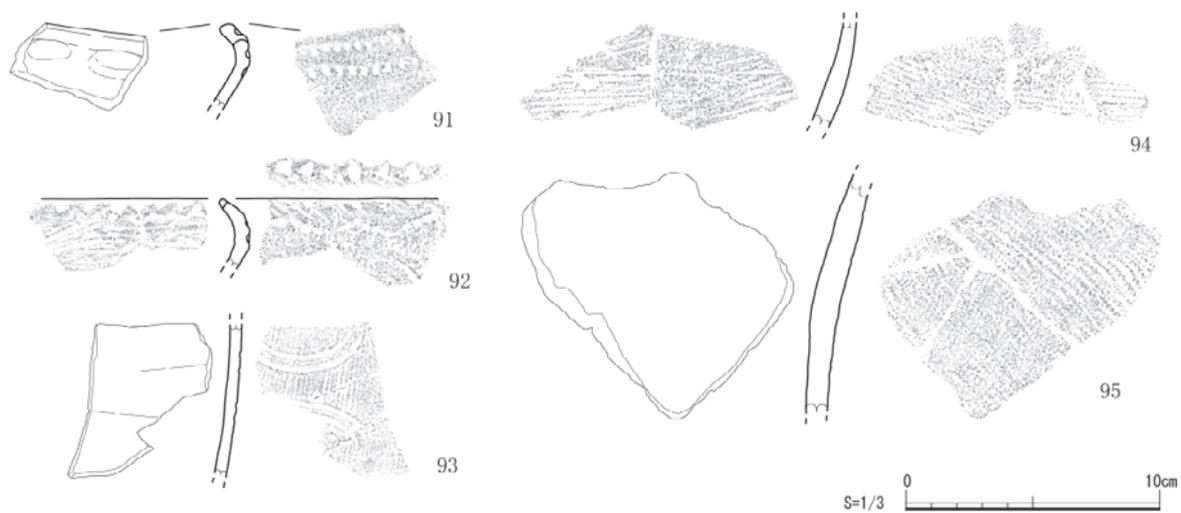


Fig.33 金川遺跡 I-A区 2~3層出土遺物実測図

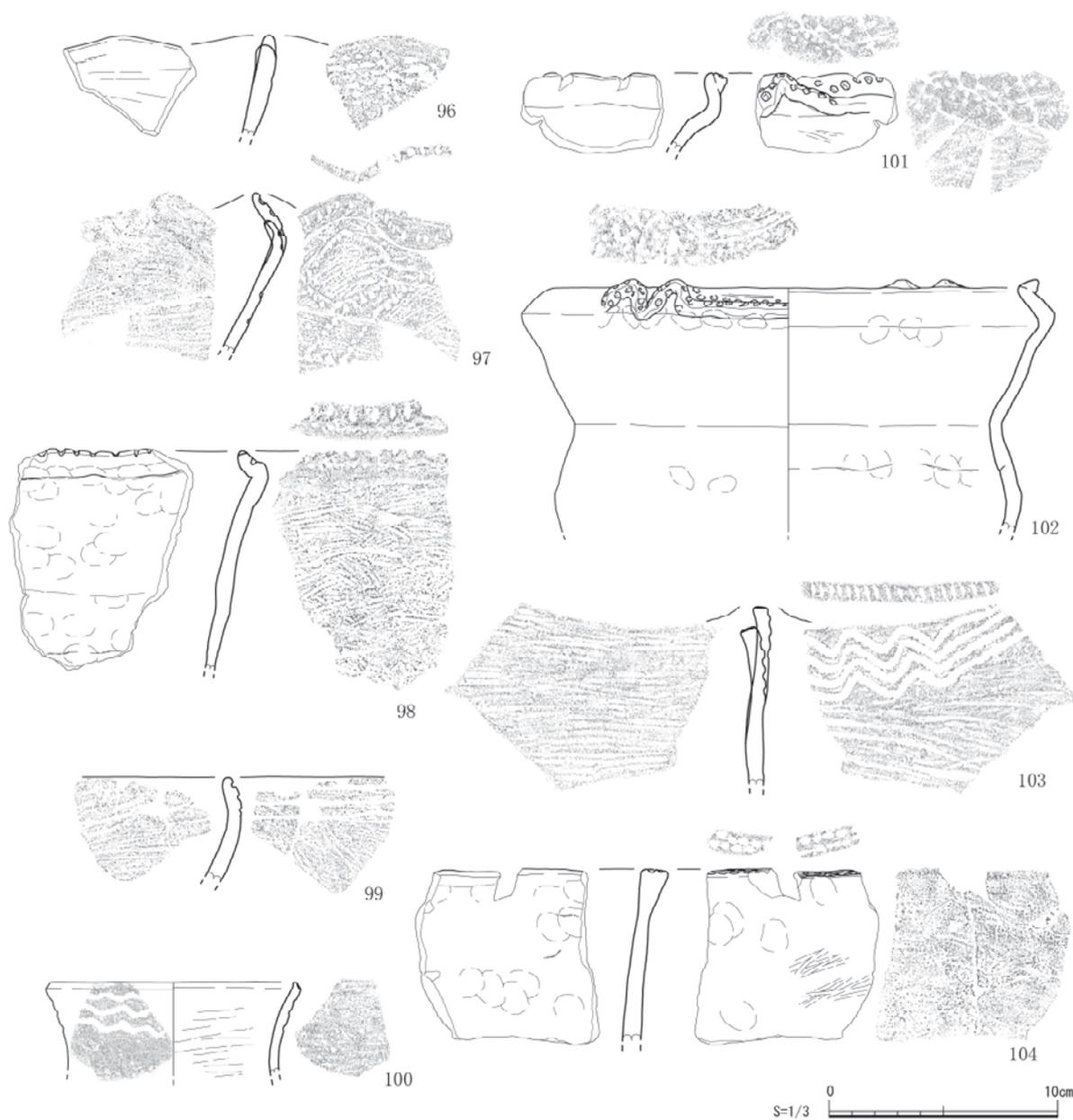


Fig.34 金川遺跡 I-A区 4層出土遺物実測図一①

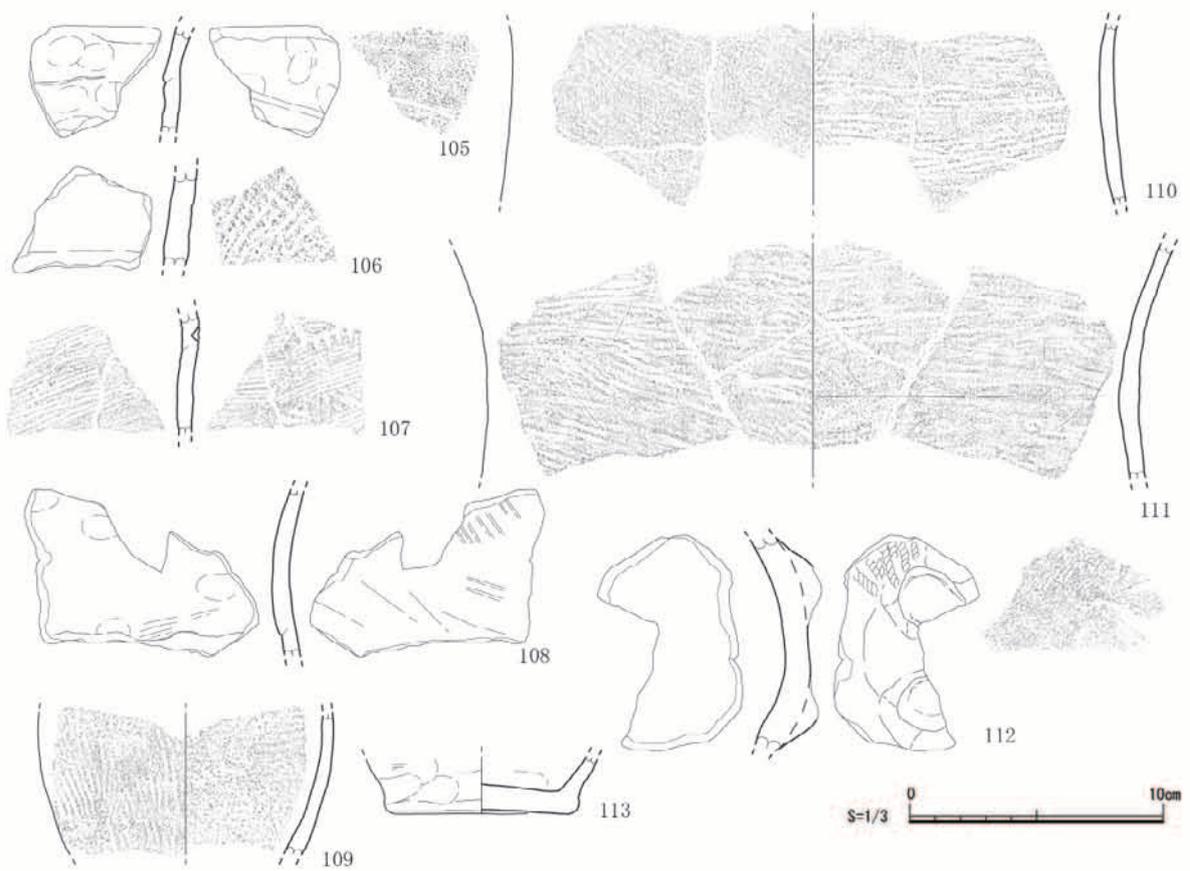


Fig.35 金川遺跡 I-A区 4層出土遺物実測図一②

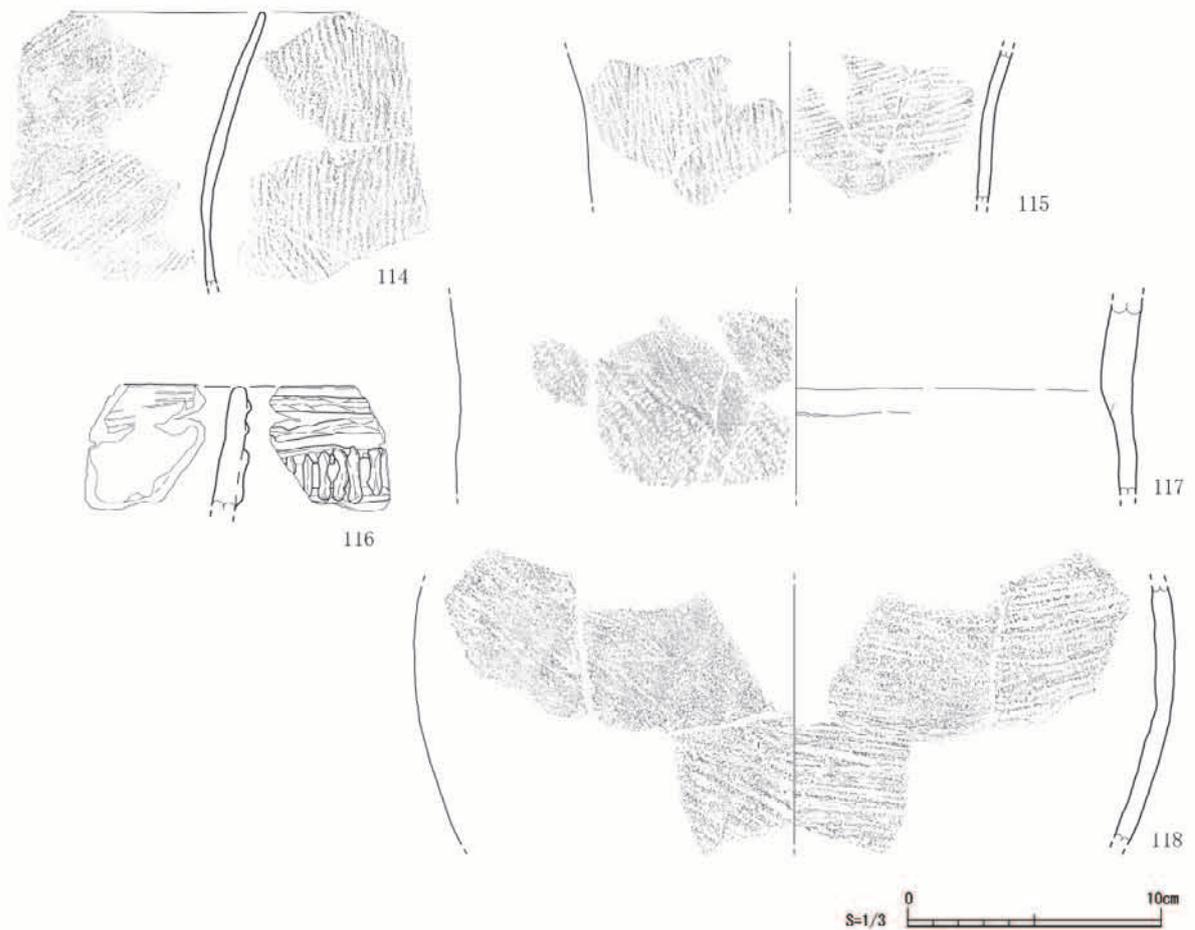


Fig.36 金川遺跡 I-A区 3~4層出土遺物実測図

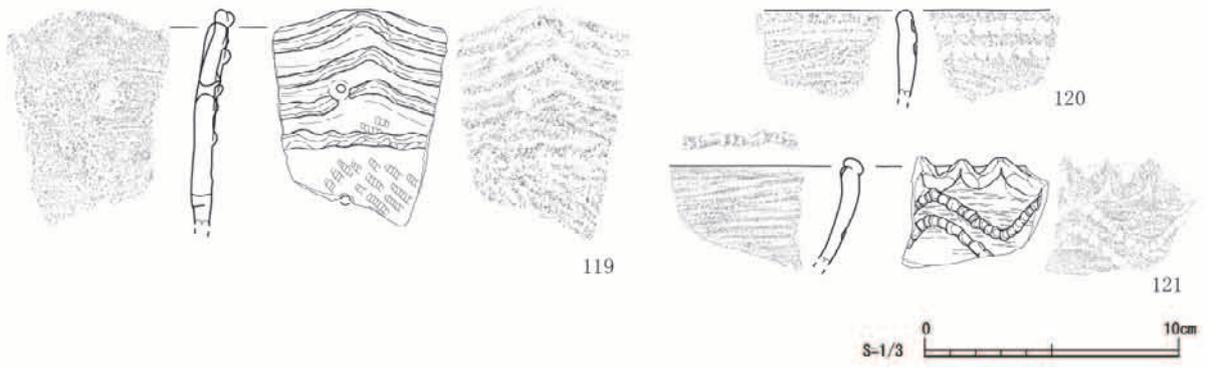


Fig.37 金川遺跡 I-A区 5層出土遺物実測図

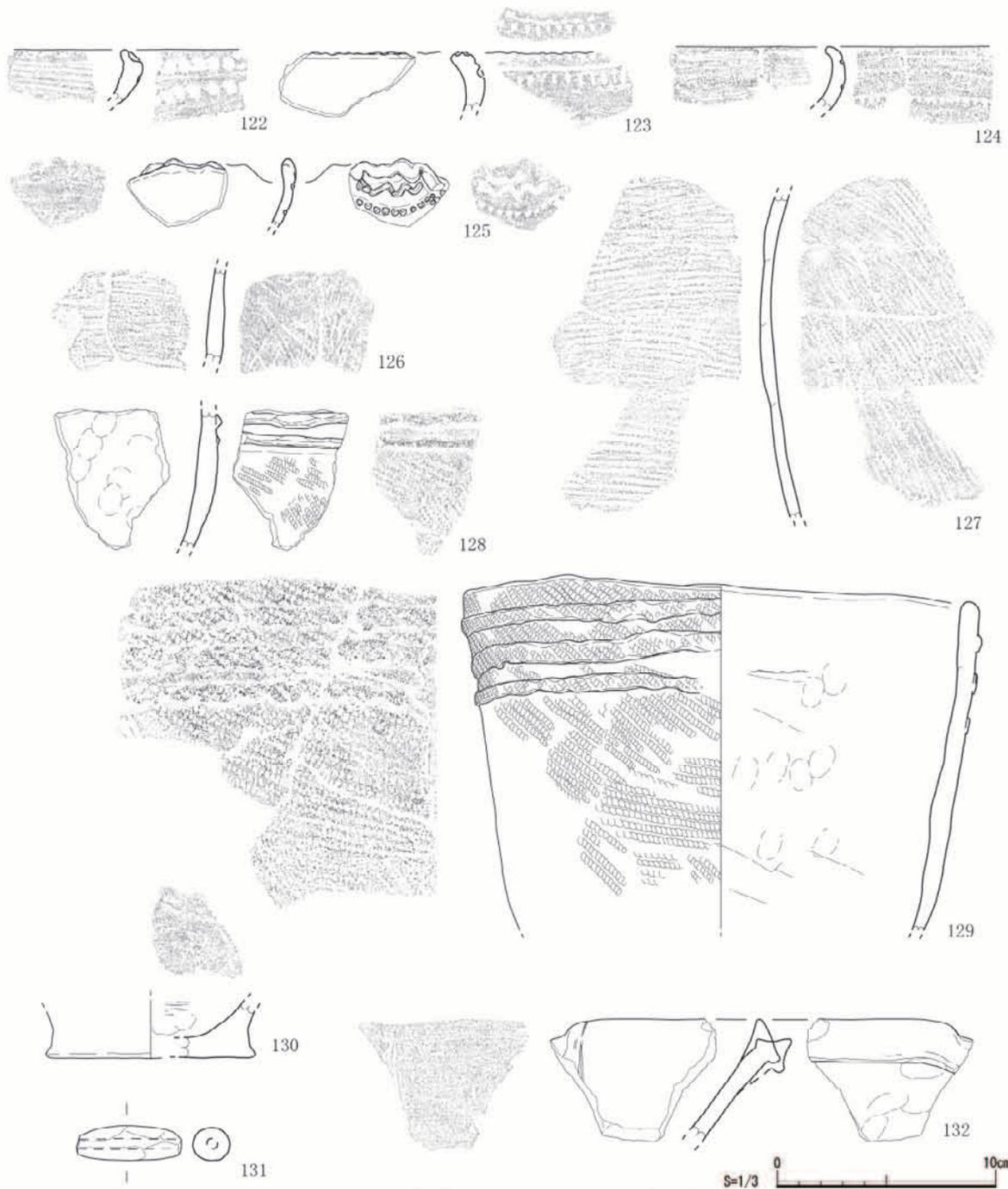


Fig.38 金川遺跡 I-A区 調査区出土遺物実測図

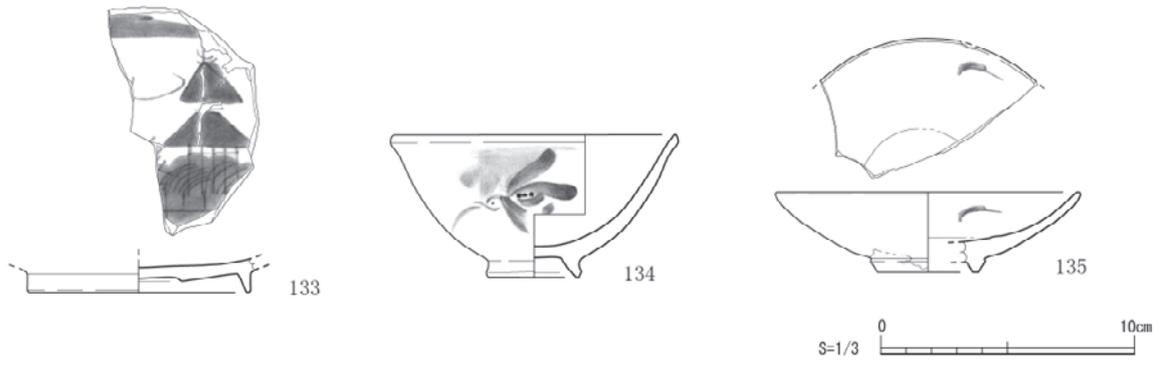


Fig.39 金川遺跡 I-B区 ST004(133)・ST005(134)・SX003(135) 出土遺物実測図

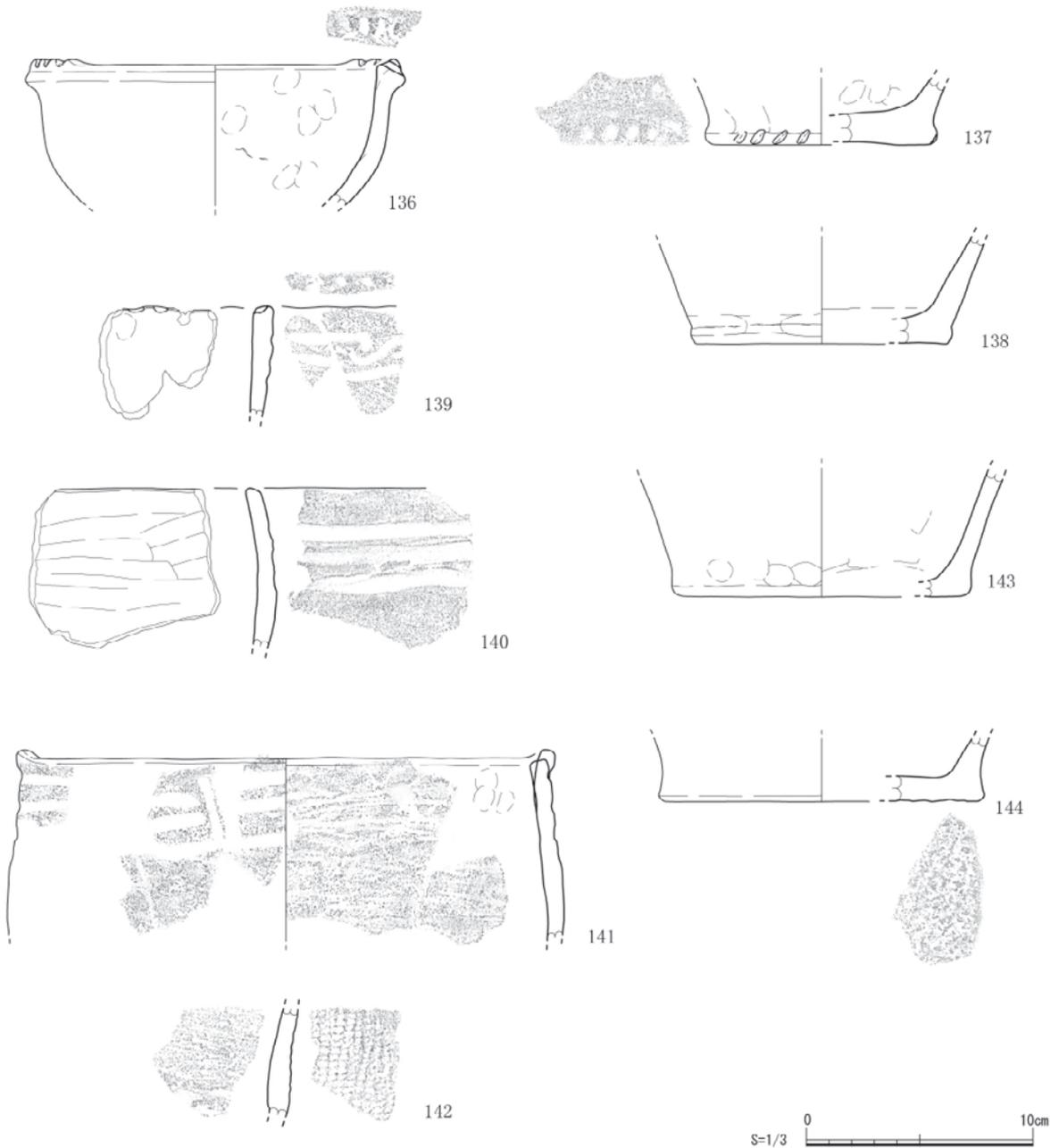
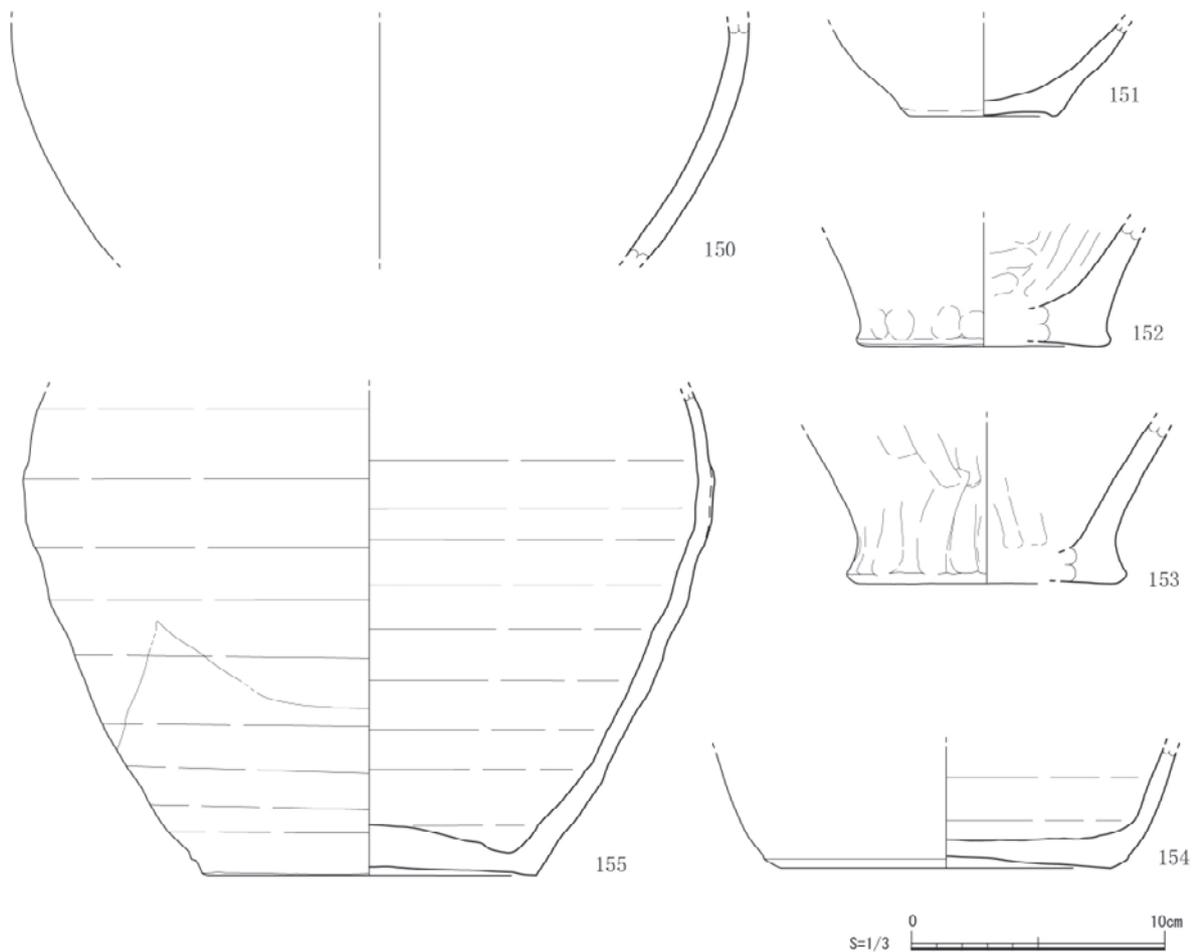
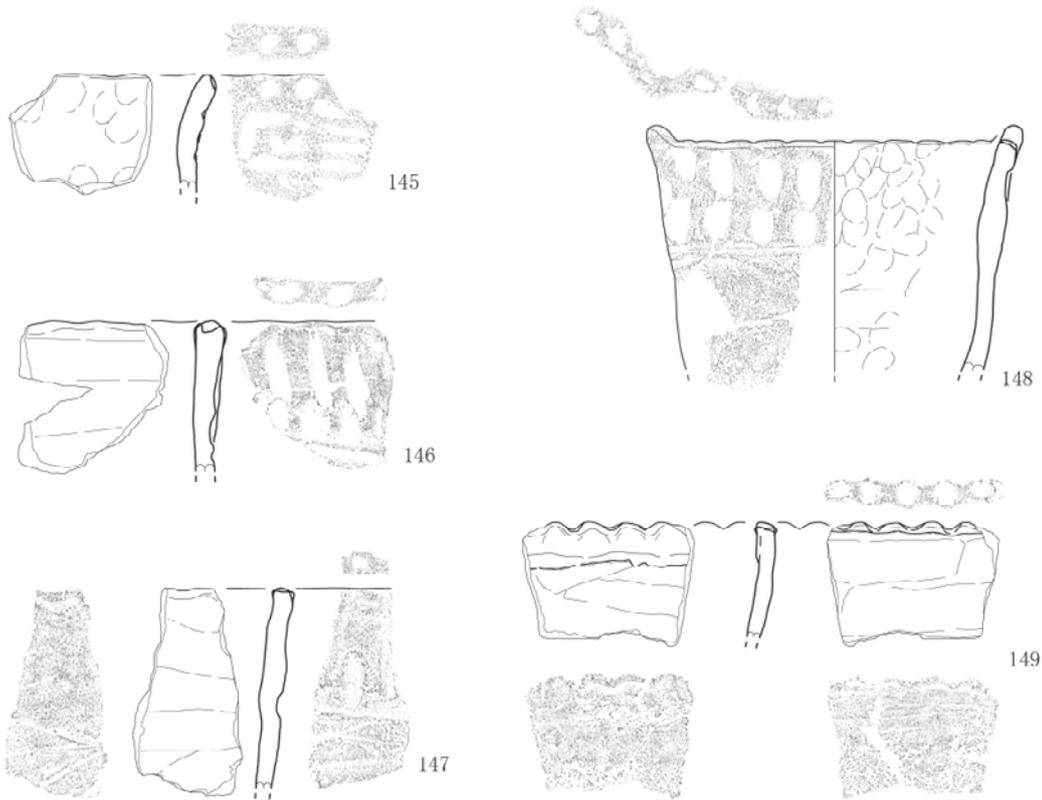


Fig.40 金川遺跡 I-B区 4層(136~138)・5層出土遺物実測図



S=1/3 0 10cm

Fig.41 金川遺跡 I-B区 調査区出土遺物実測図

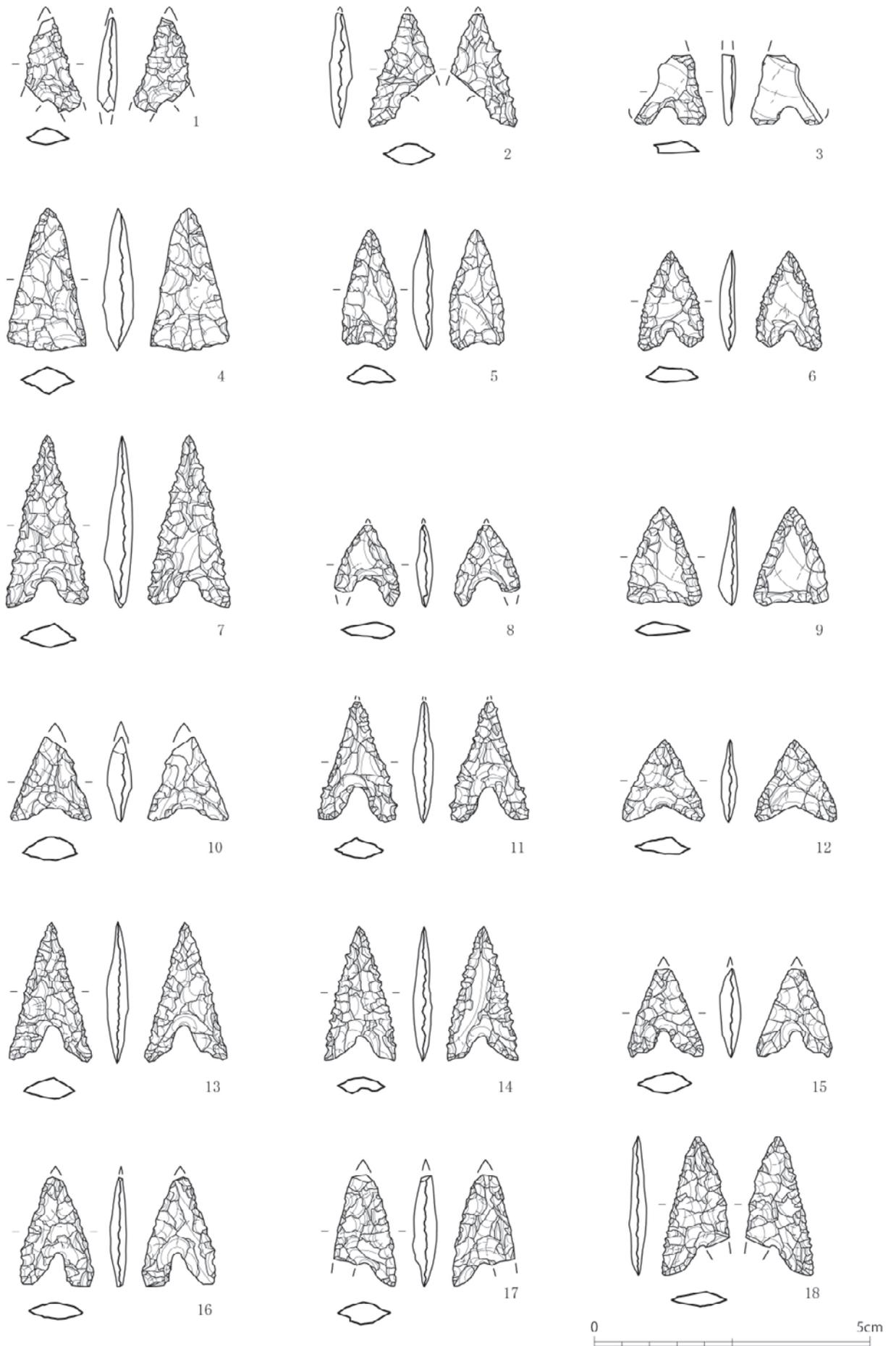


Fig.42 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一①

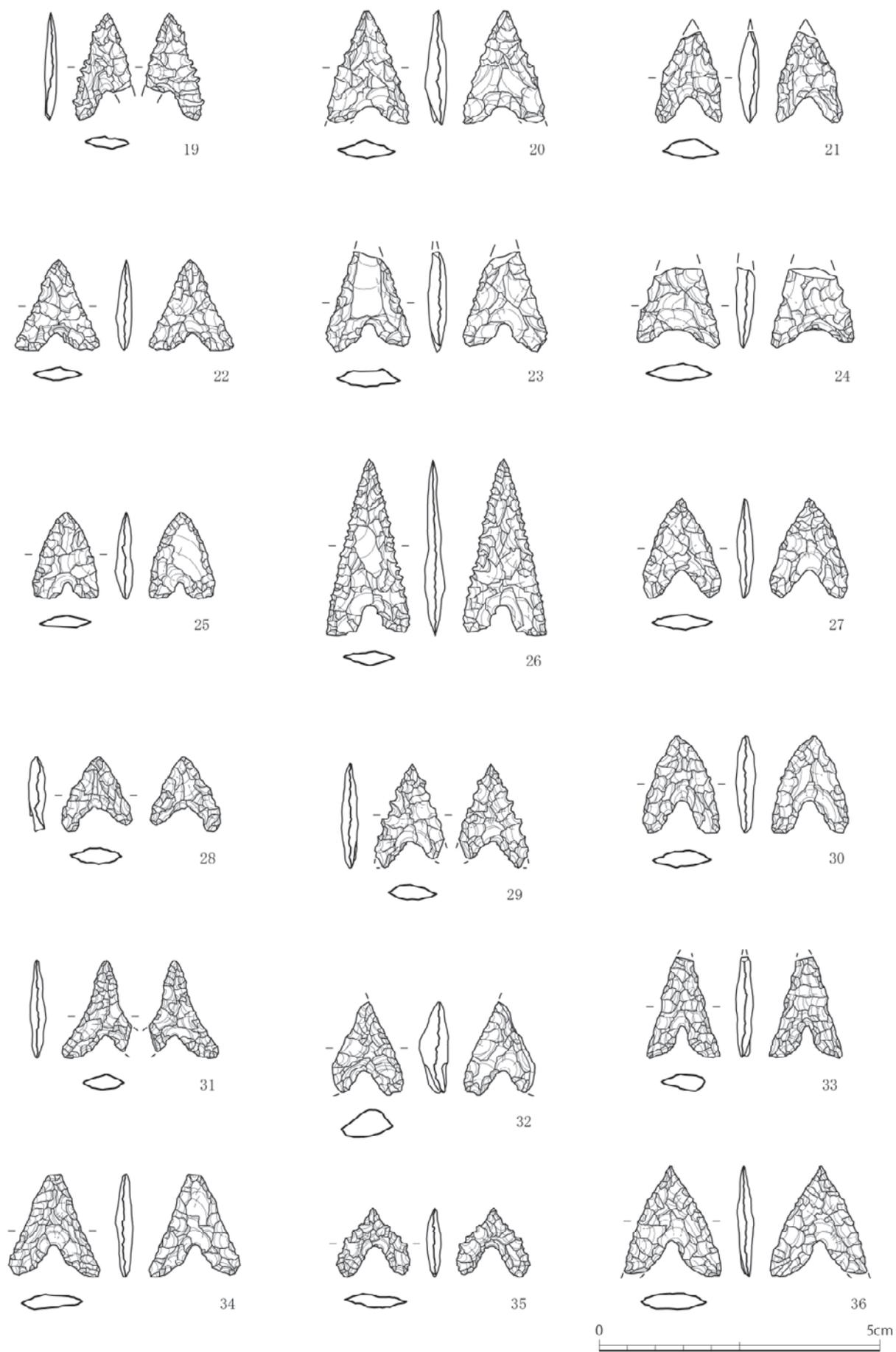


Fig.43 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一②

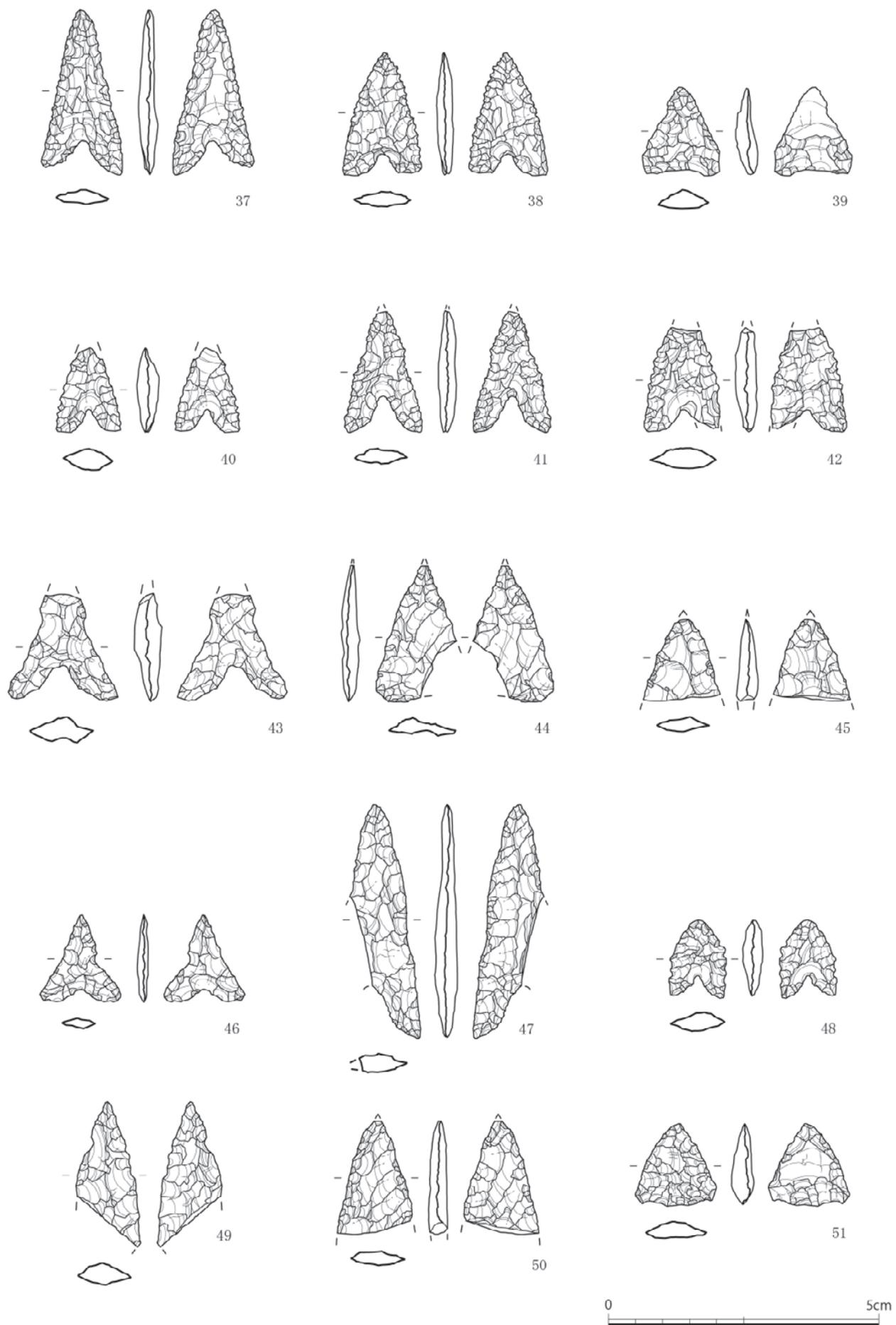


Fig.44 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図-③

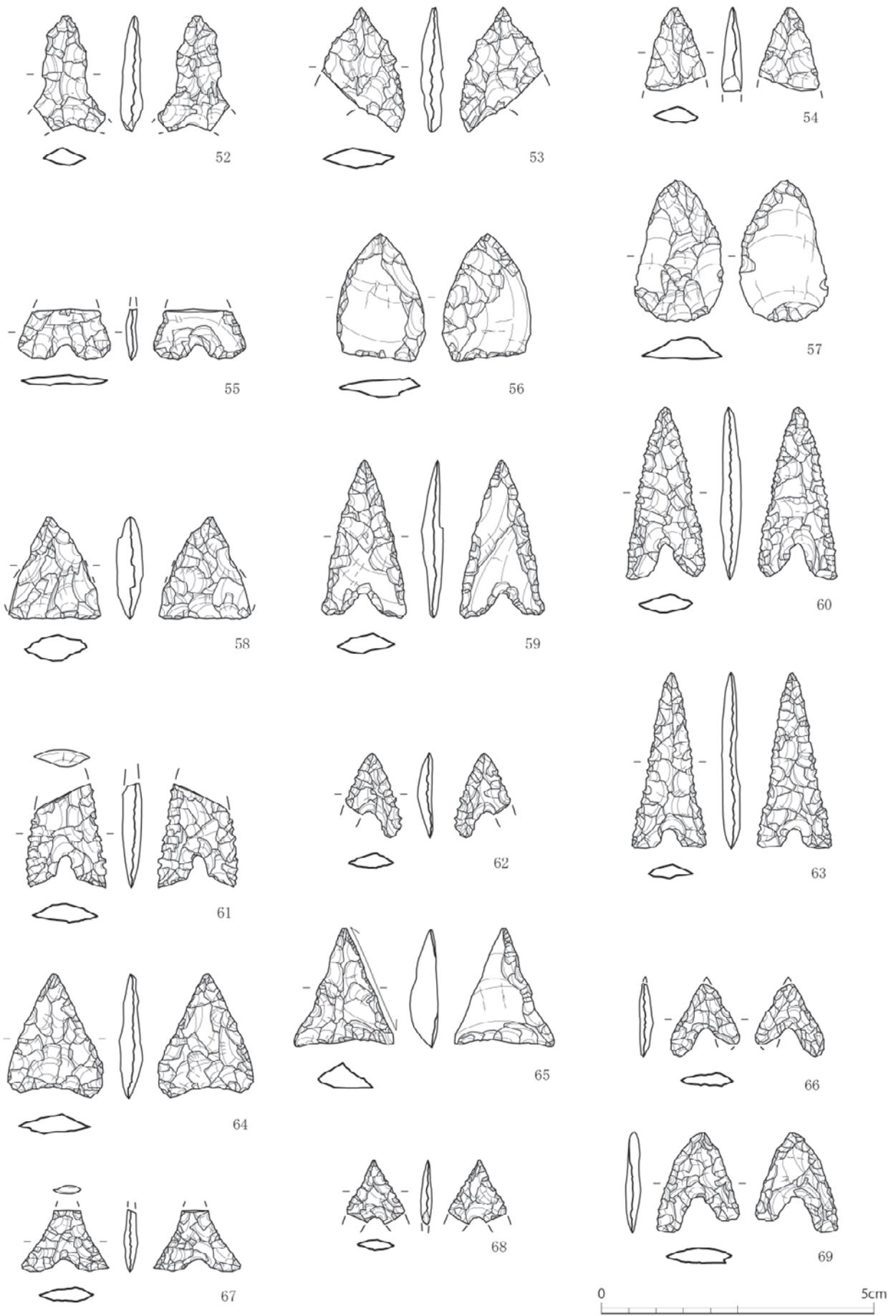


Fig.45 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図—④

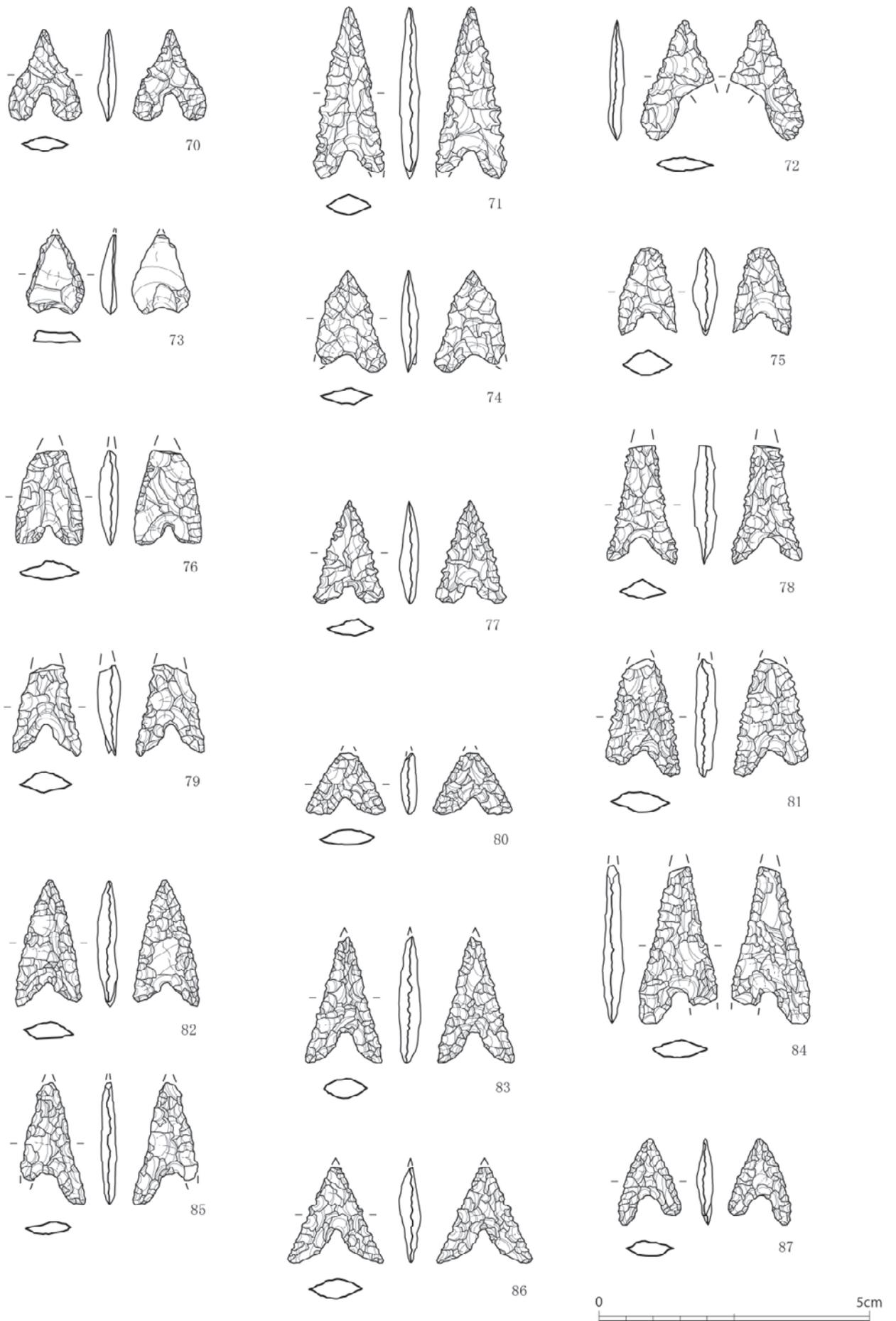


Fig.46 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図—⑤

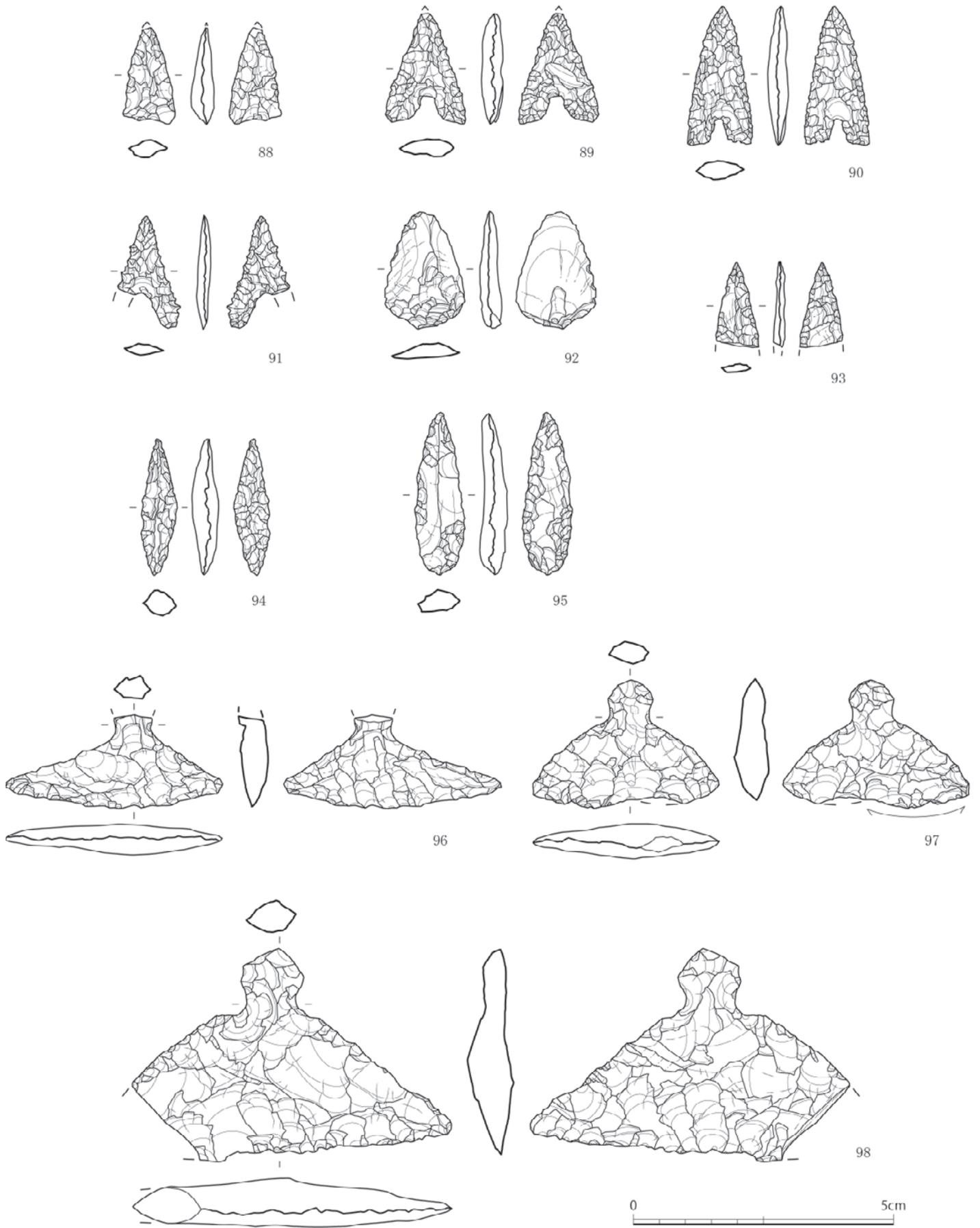


Fig.47 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑥

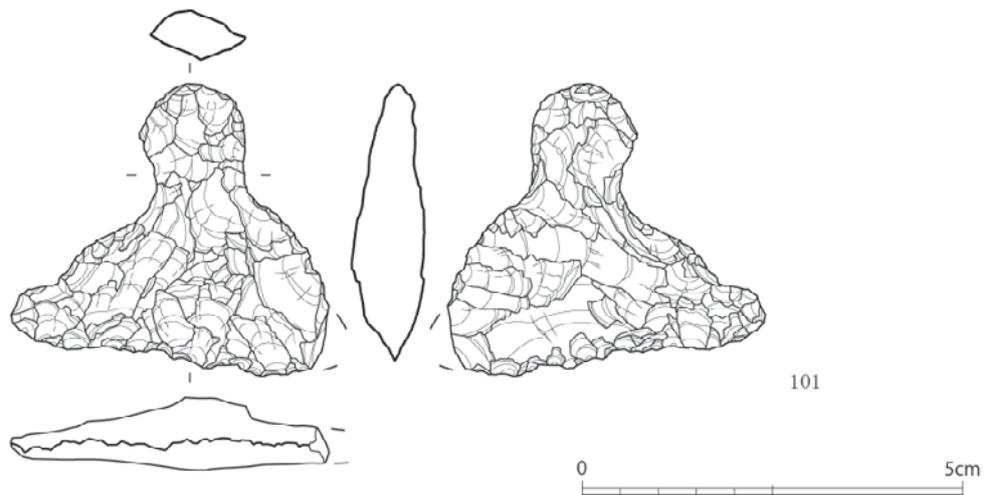
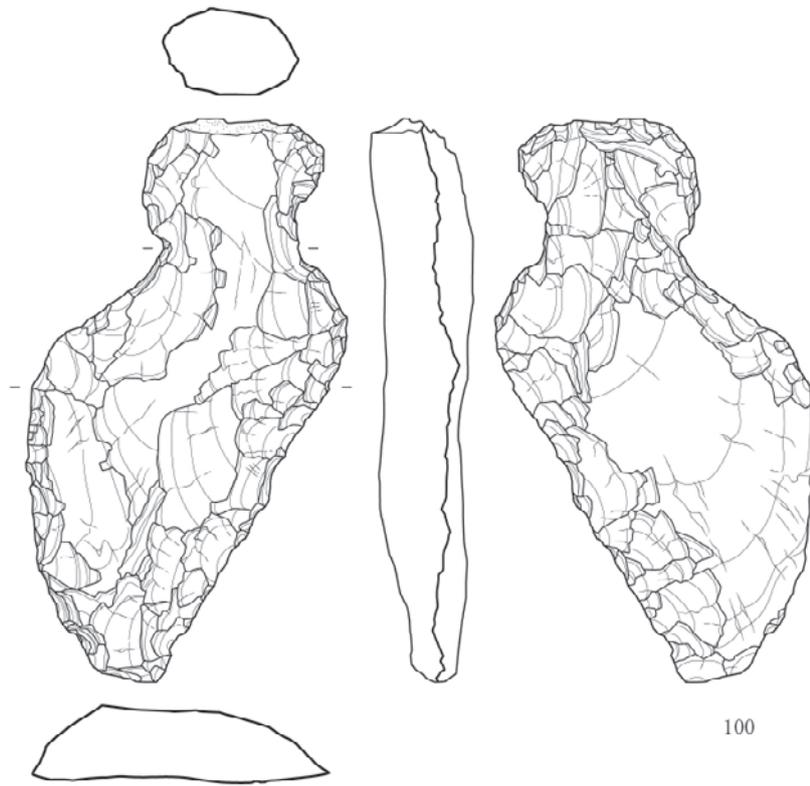
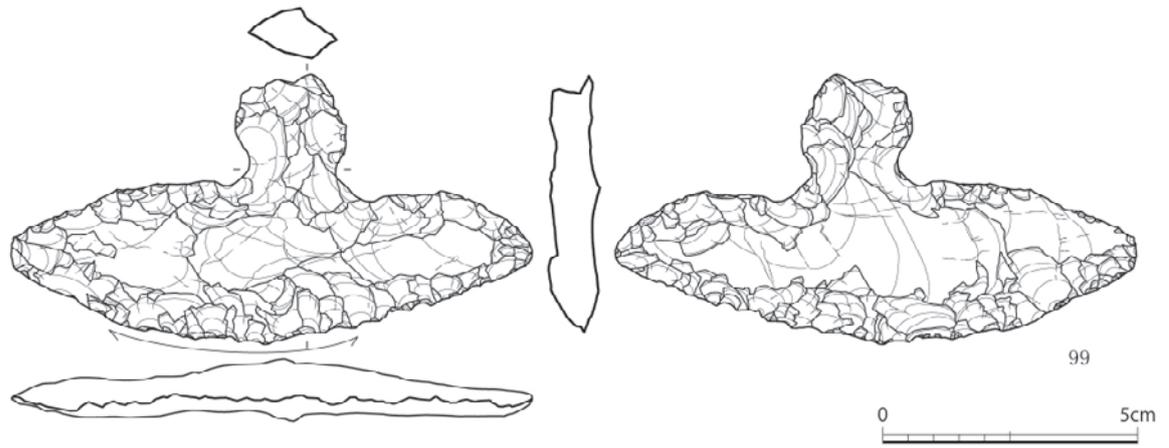
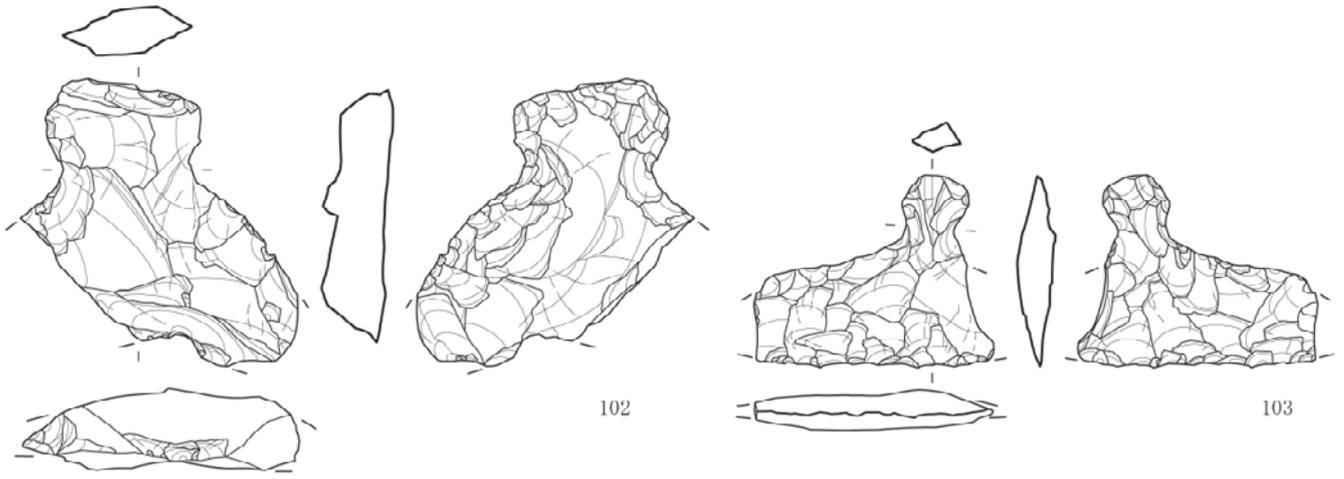
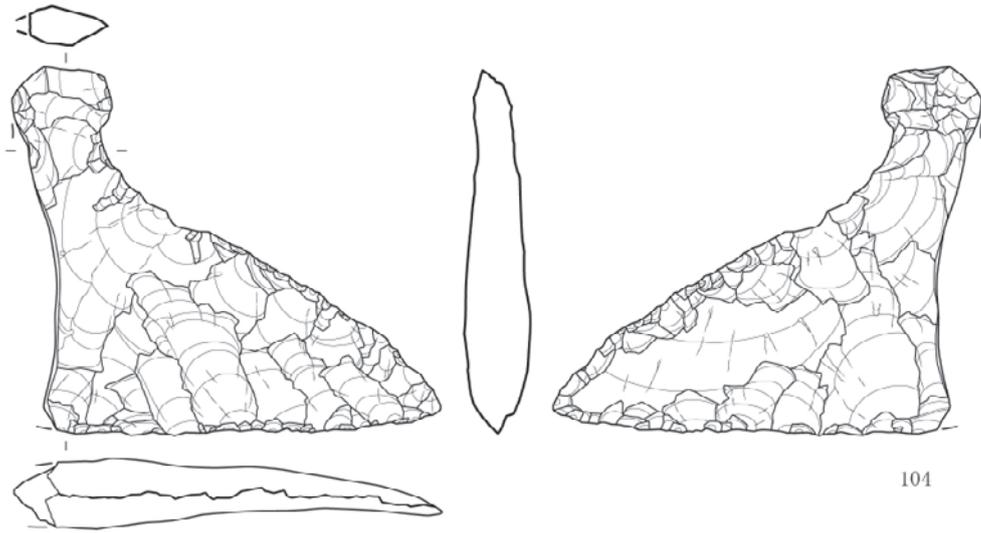


Fig.48 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑦

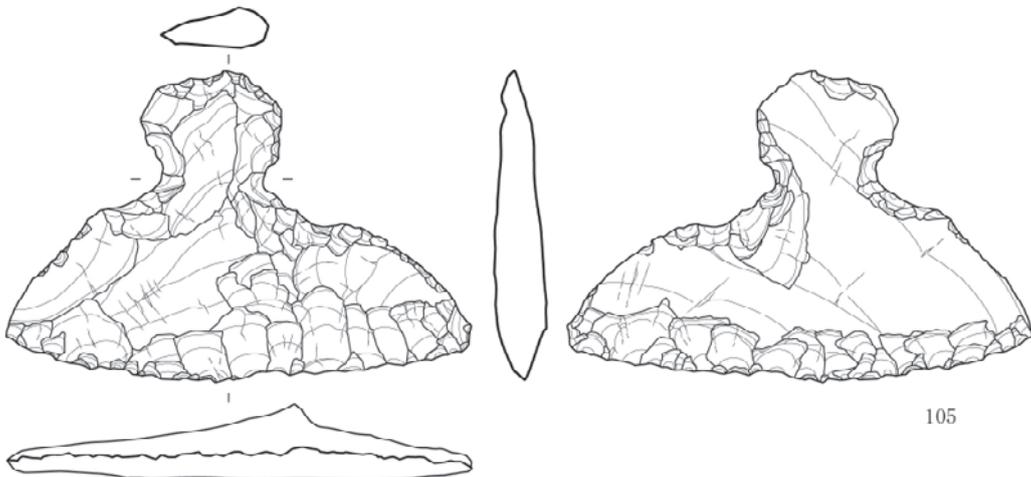


102

103



104



105



Fig.49 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑧



Fig.50 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑨

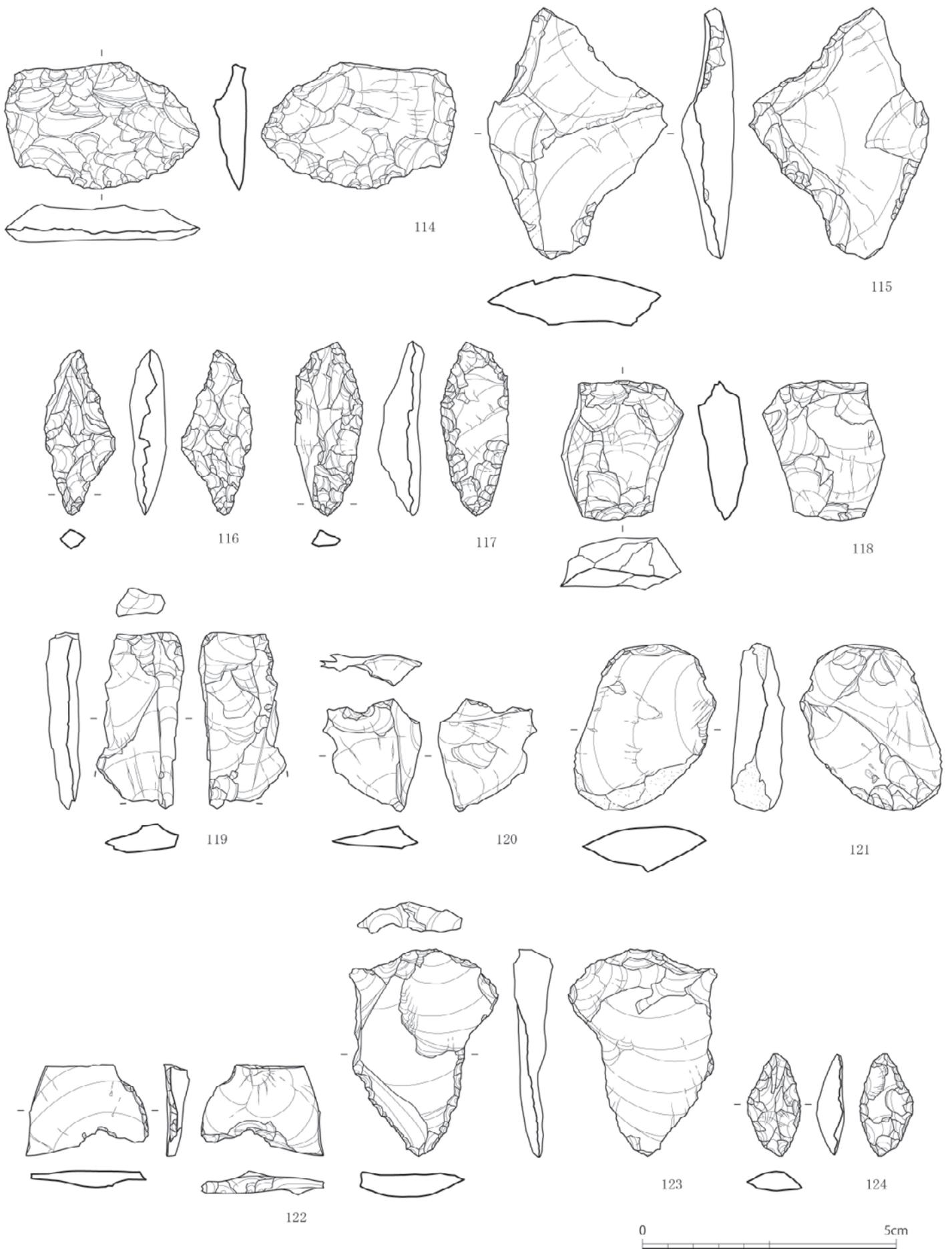


Fig.51 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑩

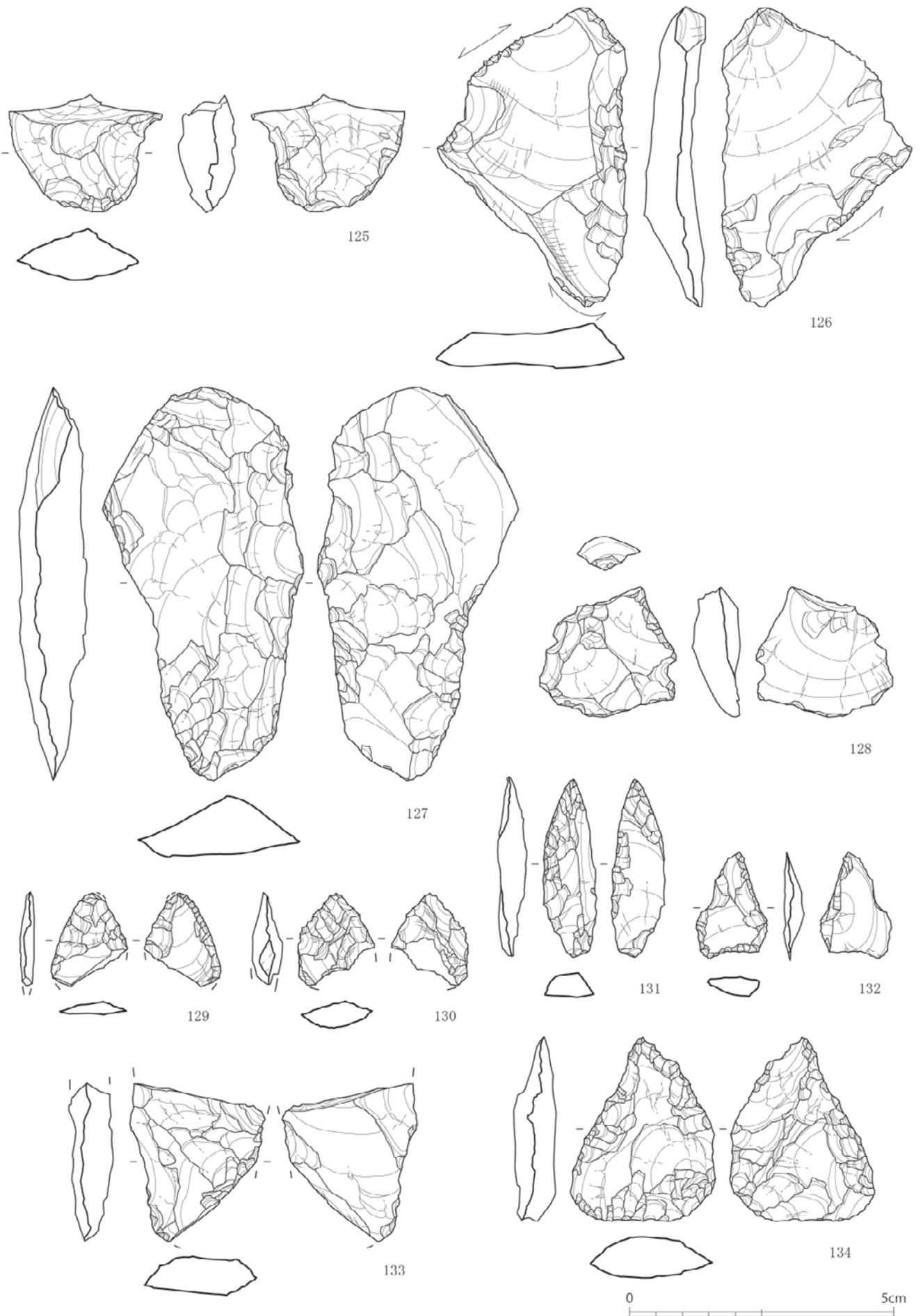


Fig.52 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑪

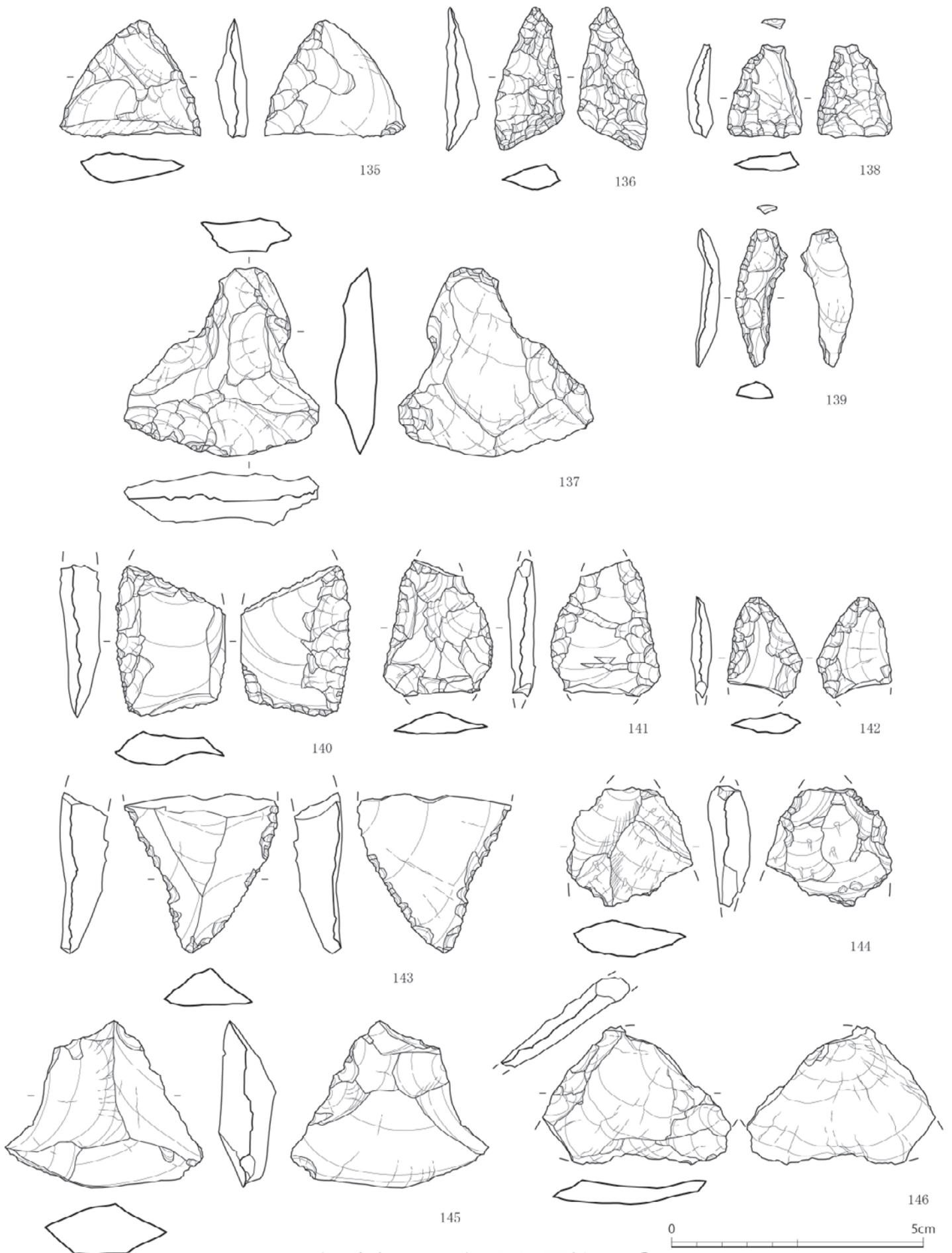


Fig.53 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図-⑫

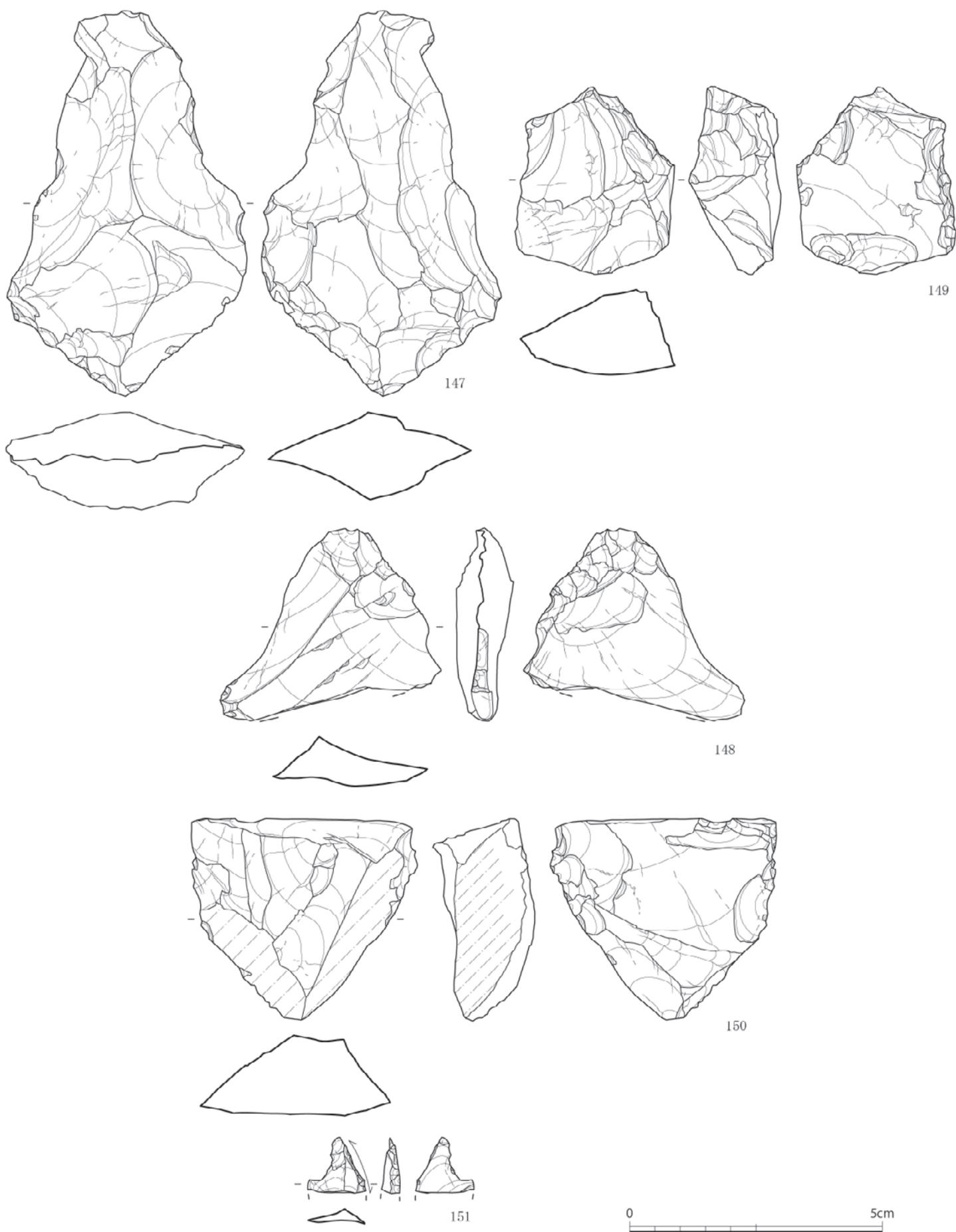


Fig.54 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑬

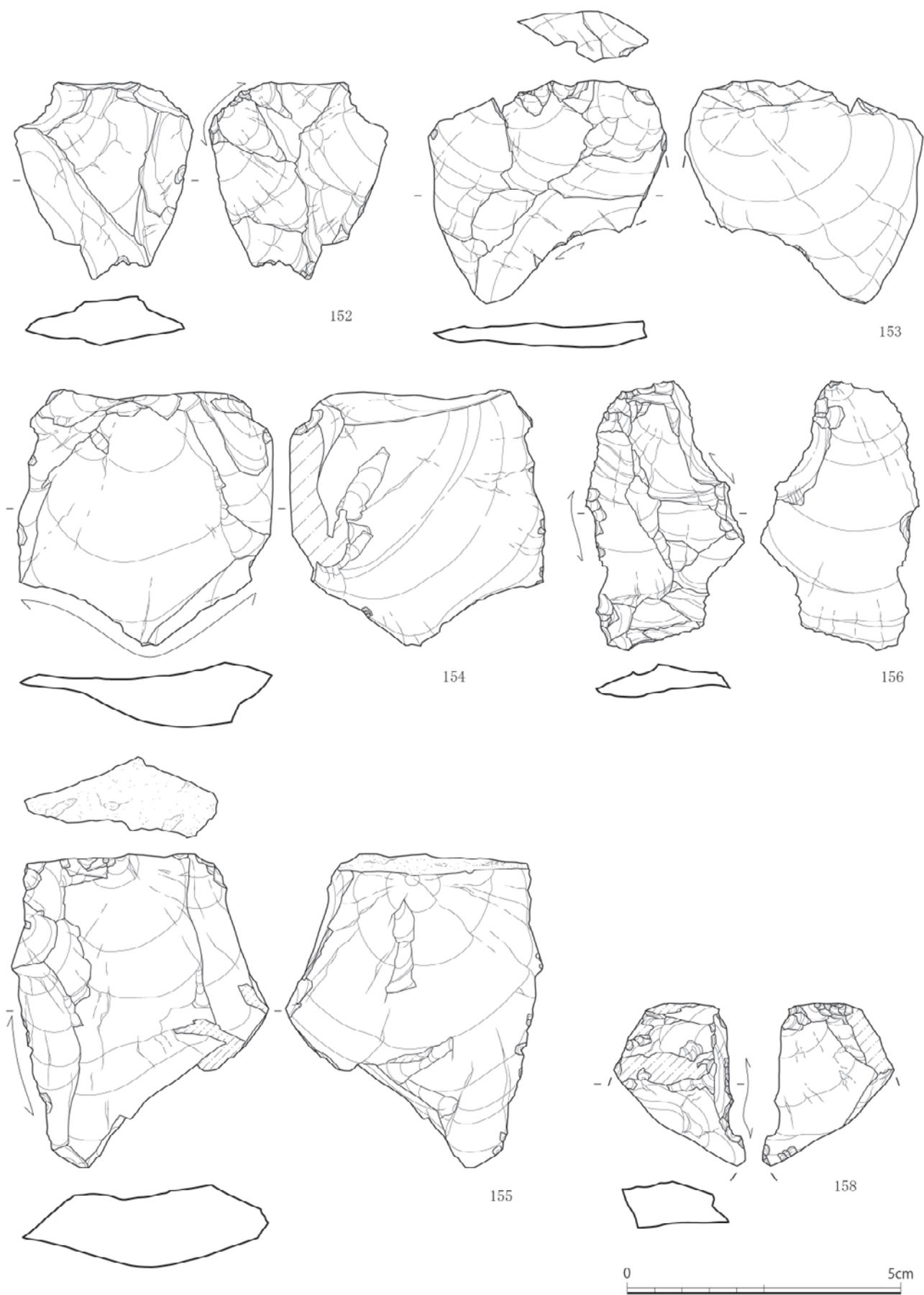


Fig.55 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑭

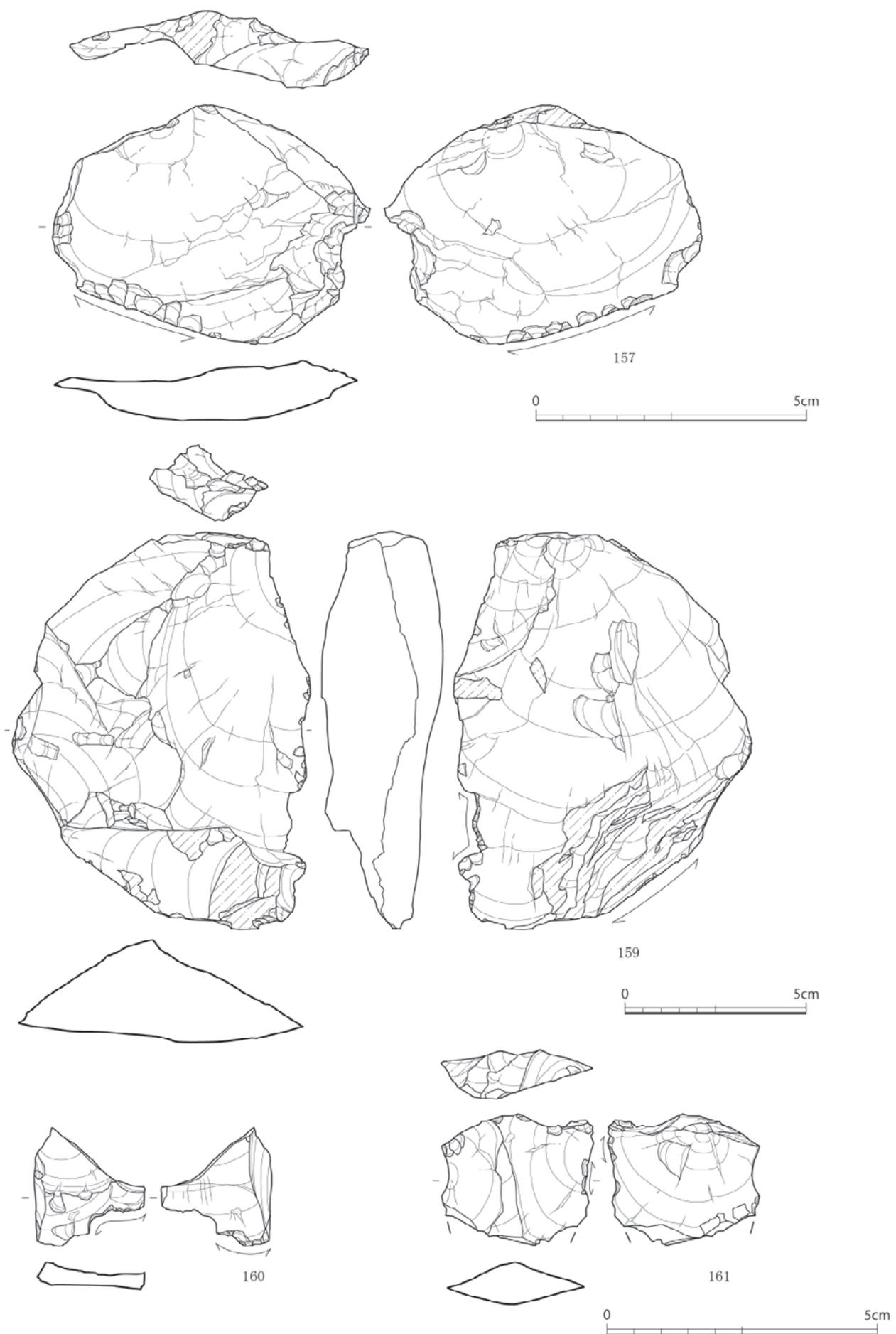


Fig.56 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑮

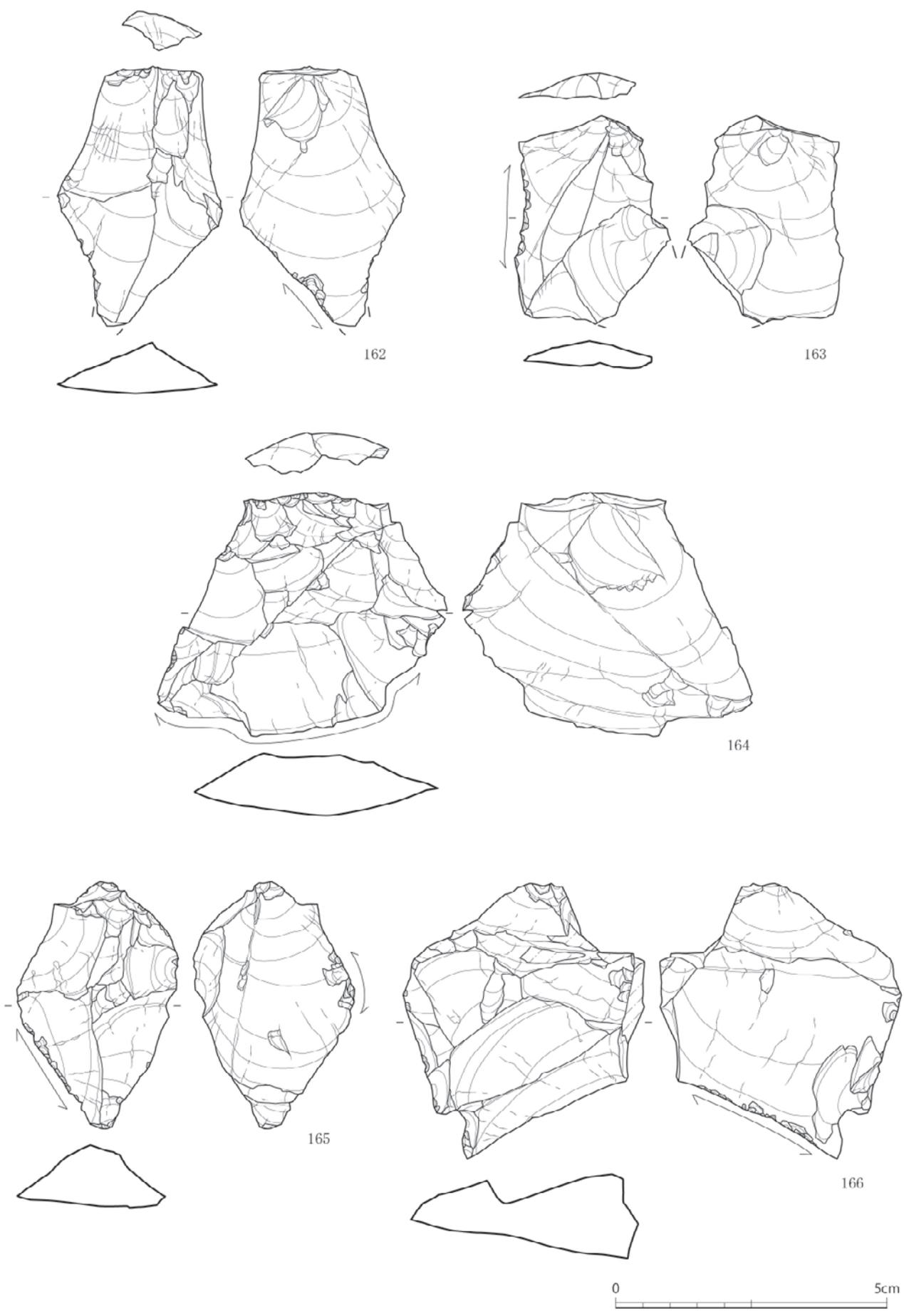


Fig.57 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図-⑩

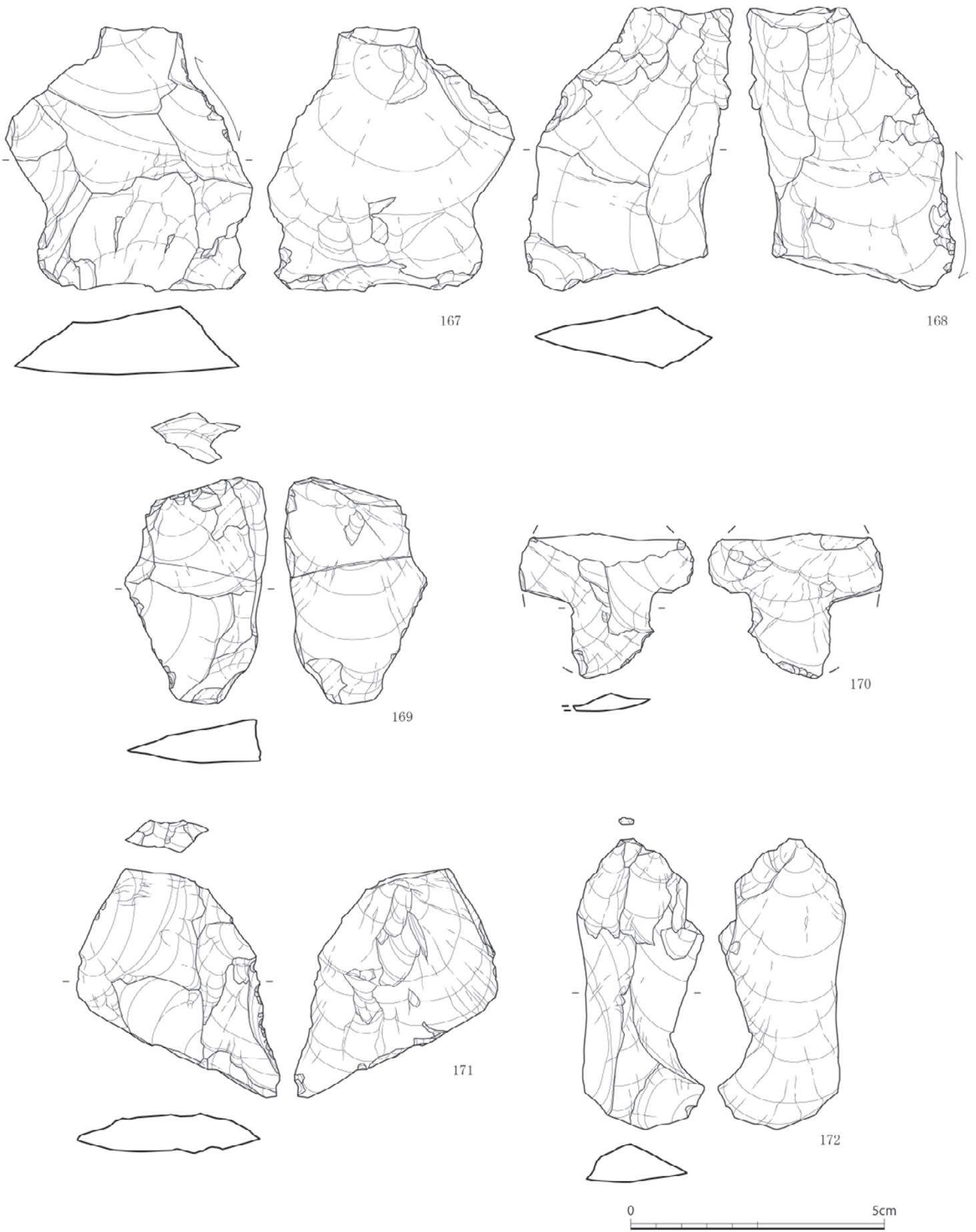


Fig.58 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑰

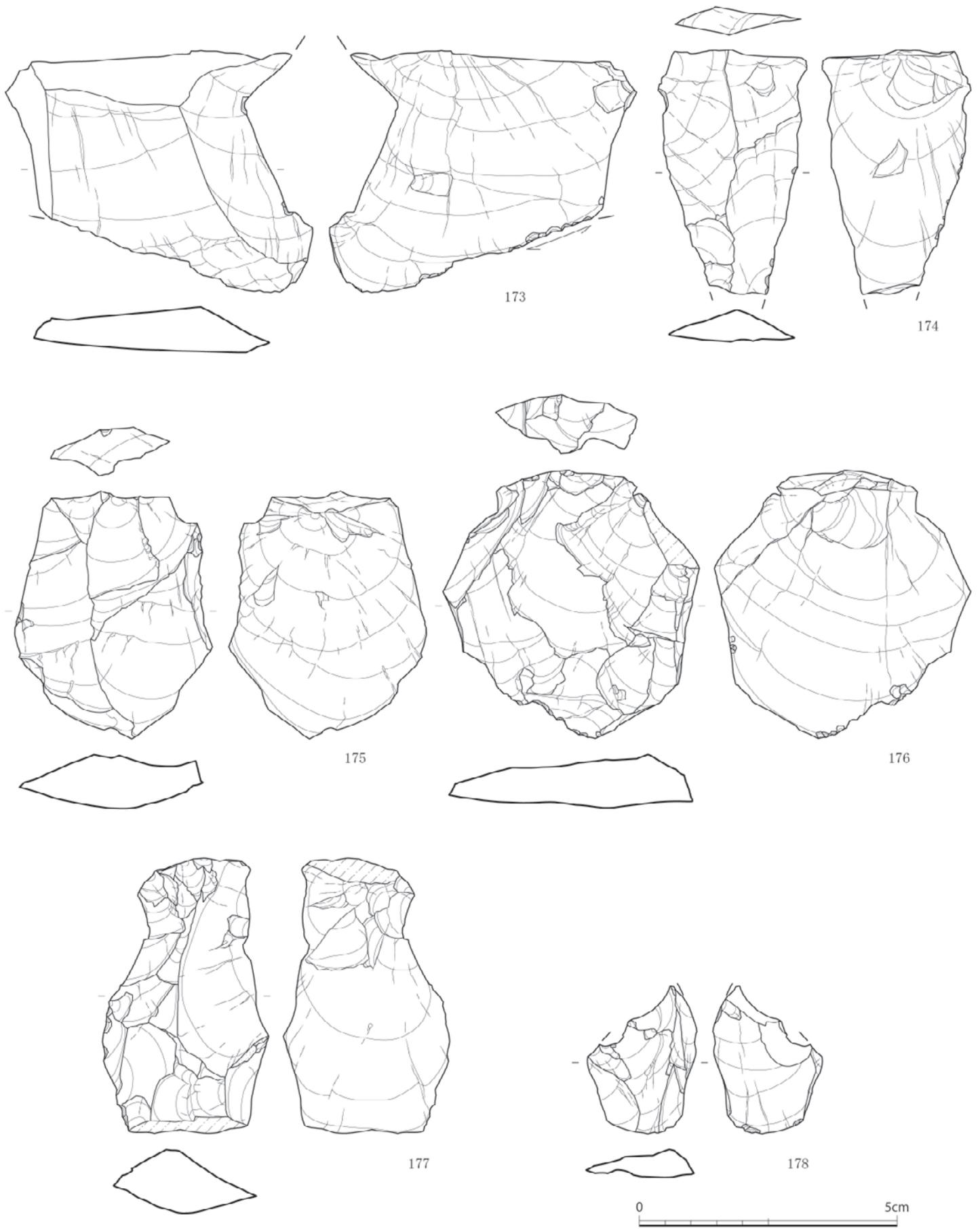


Fig.59 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑱

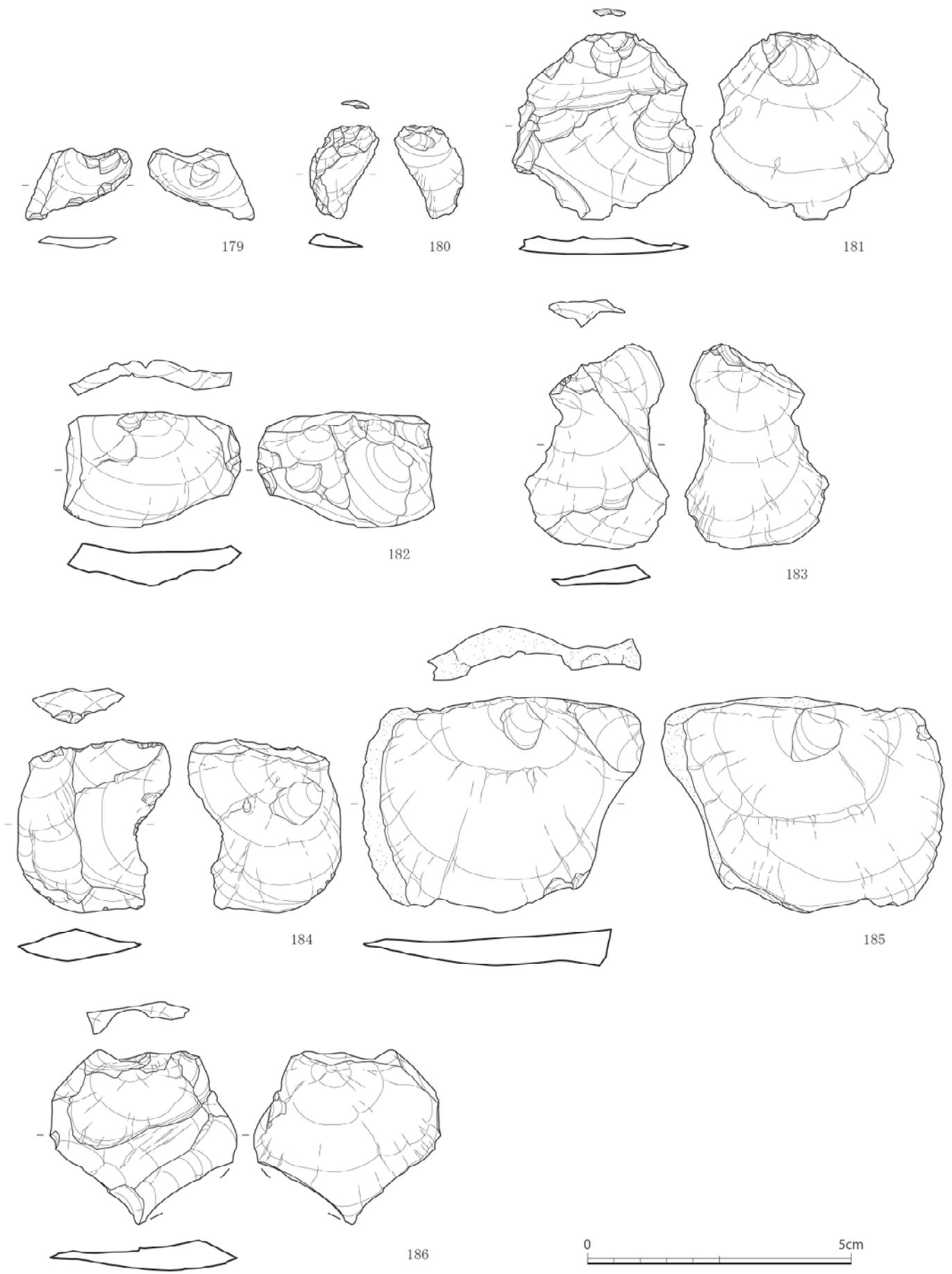


Fig.60 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑱

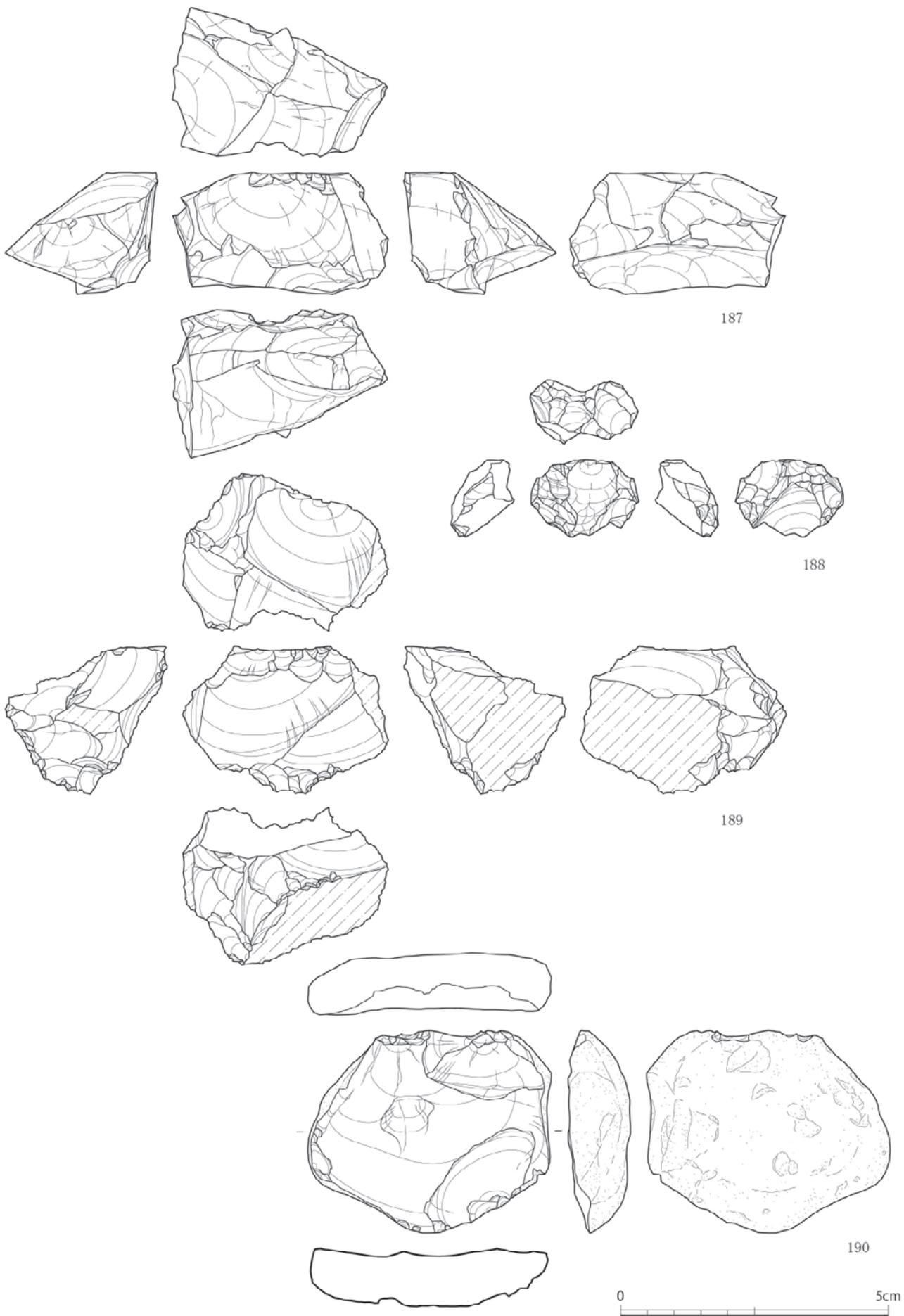
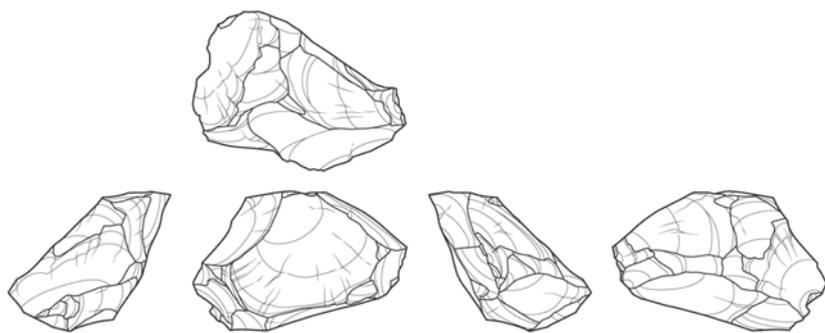
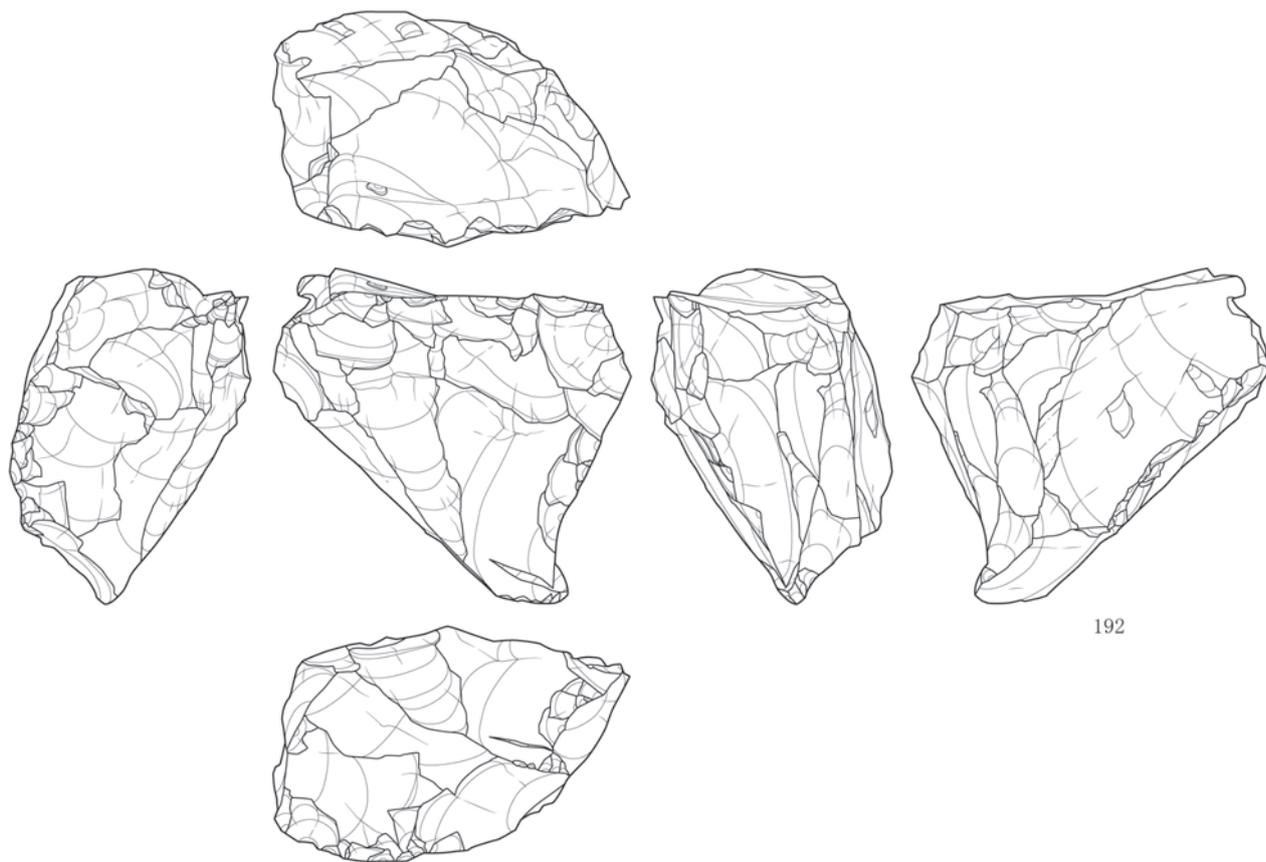


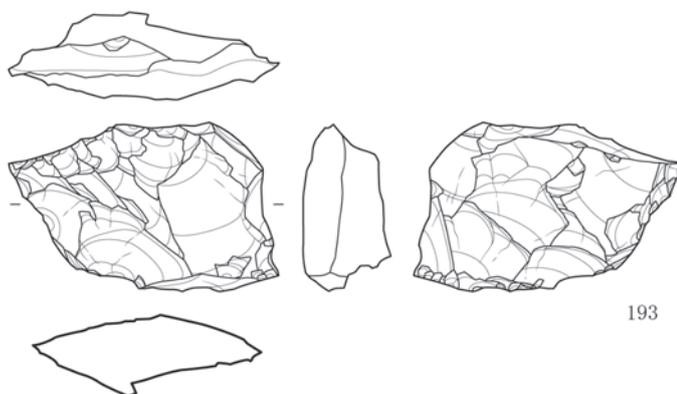
Fig.61 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一⑳



191



192



193



Fig.62 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一②

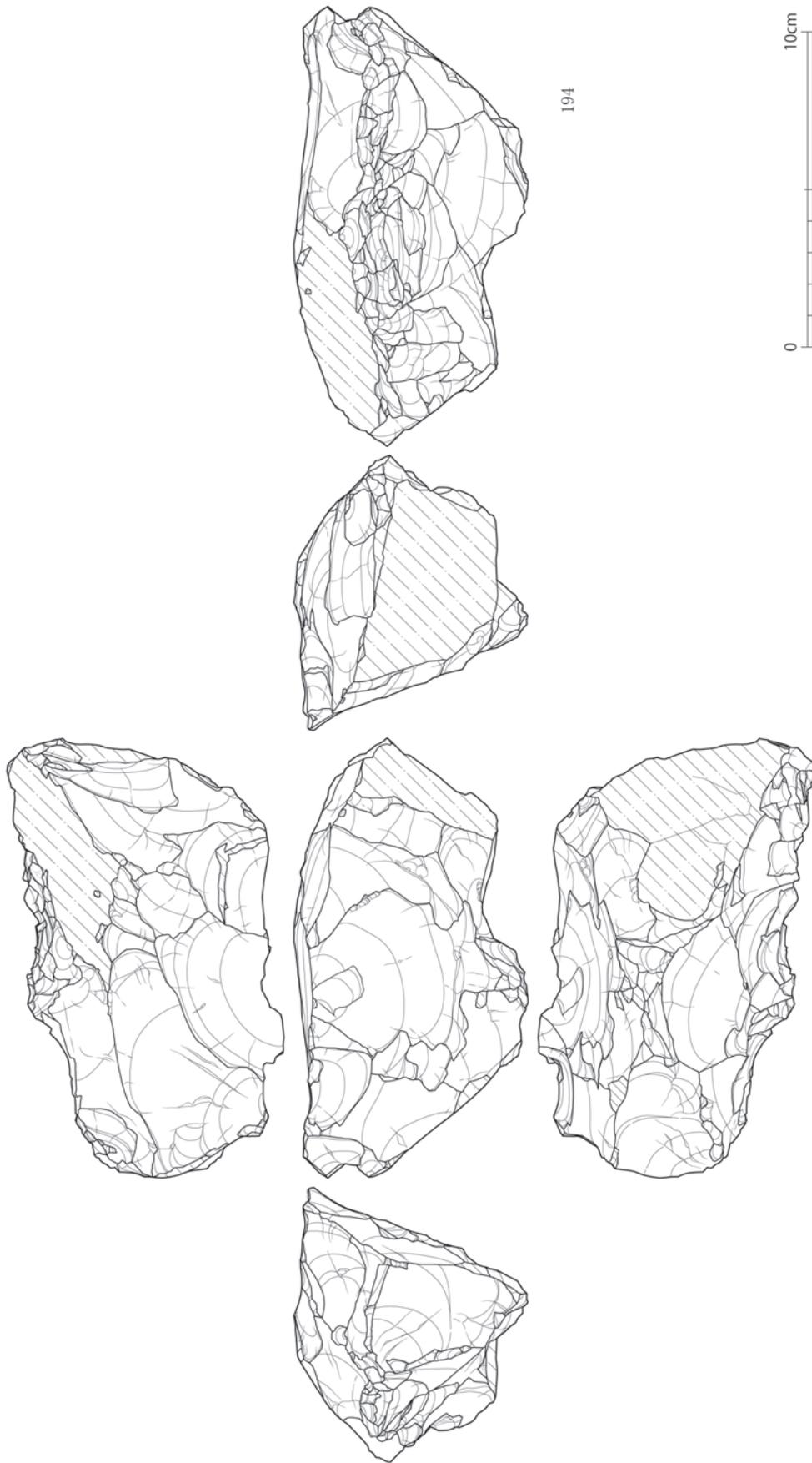


Fig.63 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一②

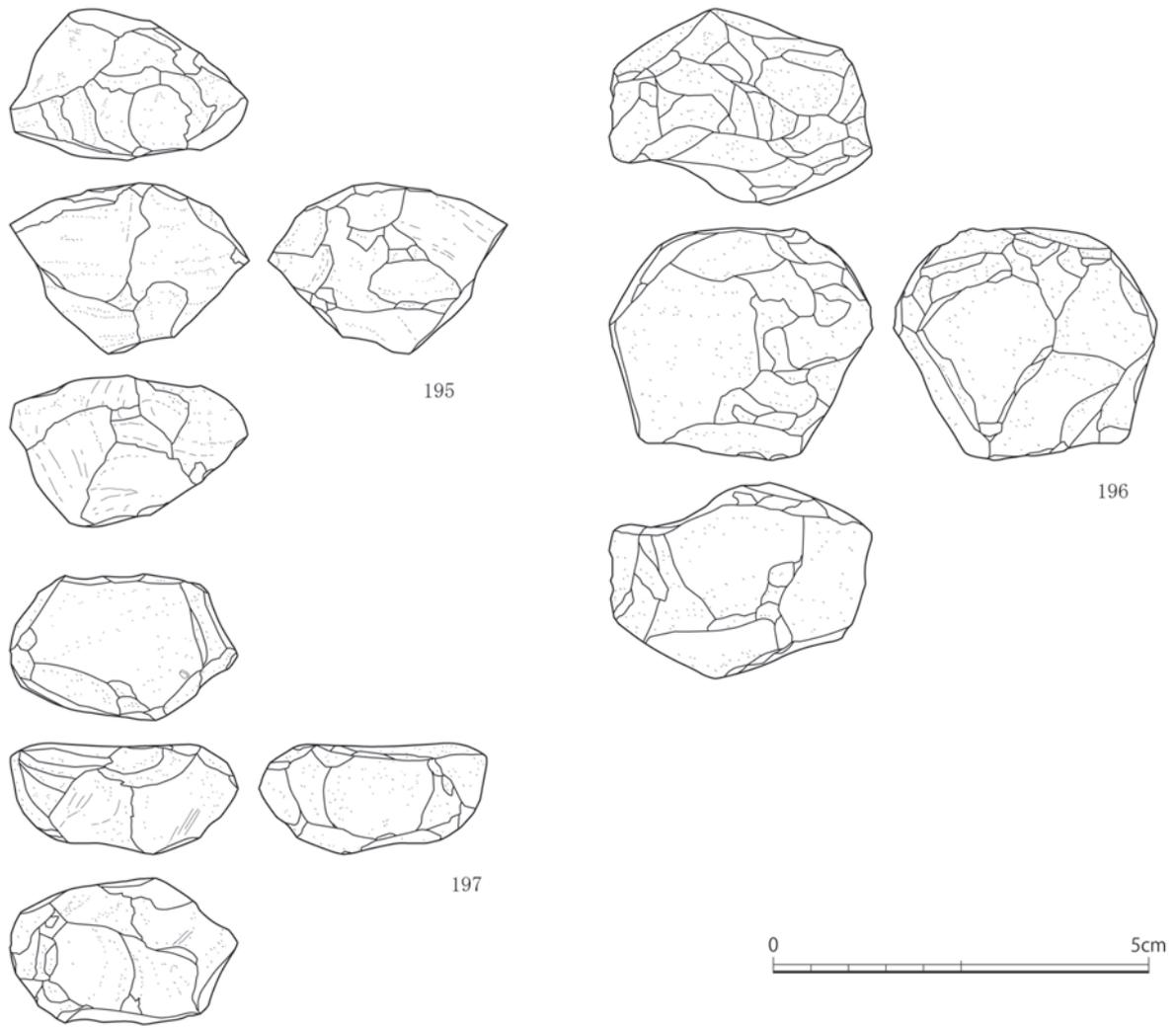


Fig.64 金川遺跡 I-A区 調査区出土石器実測図一②③

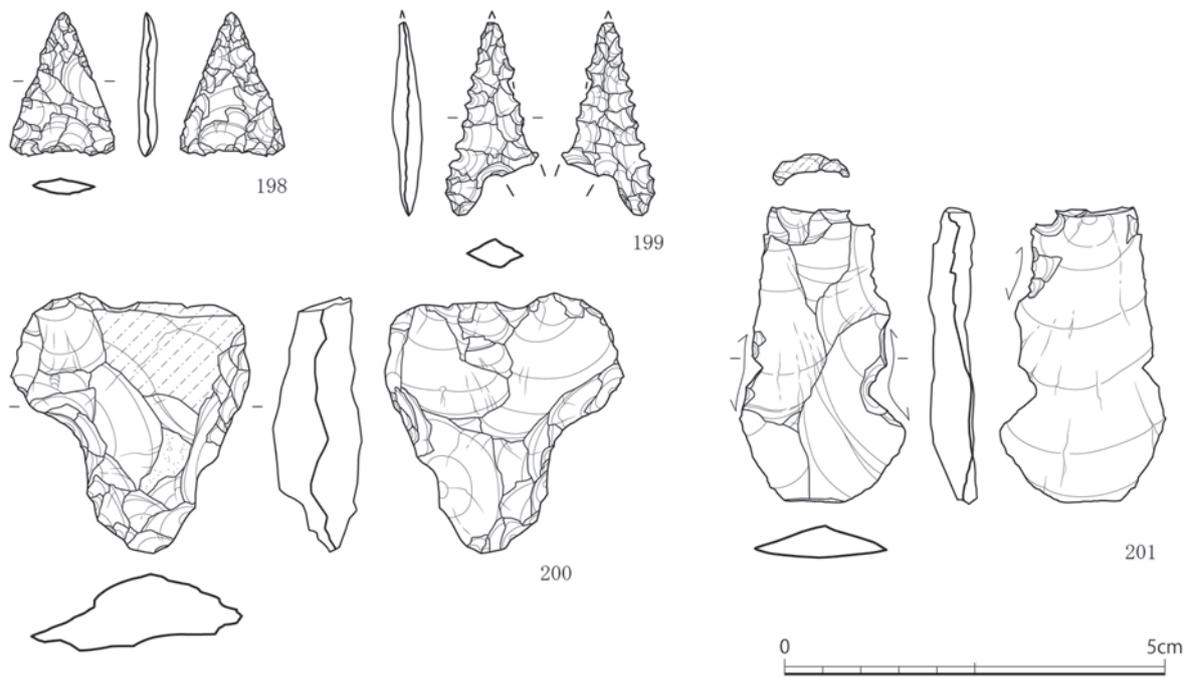


Fig.65 金川遺跡 I-B区 調査区出土石器実測図

金川遺跡

| 遺物<br>番号 | Fig<br>No. | PL<br>No. | 遺構<br>番号 | 調査区 | グリッド           | 層   | 種別   | 器種    | 法量 (cm) |       |            |            | 色調               |               | 胎土                |
|----------|------------|-----------|----------|-----|----------------|-----|------|-------|---------|-------|------------|------------|------------------|---------------|-------------------|
|          |            |           |          |     |                |     |      |       | 口径      | 底径    | 最大<br>胴径   | 器高         | 外面               | 内面            |                   |
| 1        | 26         | 12        | -        | I-A | C-5            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.4)      | にぶい褐7.5YR5/4     | 橙 7.5YR6/6    | 石英、長石、角閃石         |
| 2        |            |           | -        | I-A | E-5            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (5.3)      | にぶい褐7.5YR5/4     | 灰黄褐 10YR4/2   | 石英、長石、赤色粒子        |
| 3        |            |           | -        | I-A | D-5            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (6.5)      | 黒褐 10YR3/1       | 黒褐 10YR3/2    | 長石、石英、雲母          |
| 4        |            |           | -        | I-A | C-5            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (3.5)      | にぶい黄橙 10YR6/4    | にぶい黄橙 10YR6/4 | 石英、長石、赤色粒子        |
| 5        |            |           | -        | I-A | E-5            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (3.6)      | 灰黄褐 10YR4/2      | 灰黄褐 10YR4/2   | 長石、石英、雲母          |
| 6        |            |           | -        | I-A | D-4            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (7.4)      | 黒褐 2.5Y3/1       | 灰黄褐 10YR4/2   | 長石、石英、角閃石         |
| 7        |            |           | -        | I-A | B-6            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.2)      | 灰黄褐 10YR4/2      | にぶい黄橙 10YR6/4 | 石英、長石、赤色粒子        |
| 8        |            |           | -        | I-A | E-4            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.6)      | 灰黄褐 10YR5/2      | にぶい黄褐 10YR5/4 | 石英、長石、角閃石         |
| 9        |            |           | -        | I-A | C-4            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (5.6)      | にぶい黄橙 10YR6/3    | 灰黄褐 10YR4/2   | 長石、赤色粒子、石英<br>角閃石 |
| 10       |            |           | -        | I-A | C-3・4<br>B-3・4 | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.9)      | にぶい黄褐 10YR5/3    | 黒褐 10YR3/1    | 長石、石英、赤色粒子<br>粗砂粒 |
| 11       |            |           | -        | I-A | B・C-4          | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (5.2)      | 暗褐 10YR3/3       | にぶい黄褐 10YR4/3 | 長石、石英、角閃石         |
| 12       |            |           | -        | I-A | E-4            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.7)      | 褐灰 10YR4/1       | にぶい黄褐 10YR5/3 | 石英、長石、赤色粒子        |
| 13       |            |           | -        | I-A | B・C-4          | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (6.1)      | にぶい黄 2.5Y6/3     | 暗黄褐 10YR4/2   | 長石、石英、角閃石         |
| 14       |            |           | -        | I-A | A-7            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (8.4)      | にぶい黄褐 10YR5/3    | 灰黄褐 10YR6/2   | 長石、石英、赤色粒子        |
| 15       |            |           | -        | I-A | E-4            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (3.7)      | にぶい黄橙 10YR6/4    | にぶい黄橙 10YR6/3 | 長石、石英             |
| 16       |            |           | -        | I-A | E-4            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.0)      | 黄灰 2.5Y4/1       | 灰黄褐 10YR4/2   | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子 |
| 17       |            |           | -        | I-A | C-3            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (5.3)      | にぶい橙 7.5YR6/4    | にぶい黄橙 10YR6/4 | 石英、長石、雲母          |
| 18       |            |           | -        | I-A | D-4            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.0)      | にぶい黄橙 10YR6/4    | にぶい黄橙 10YR6/3 | 長石、石英、赤色粒子<br>角閃石 |
| 19       |            |           | -        | I-A | A-7            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (7.4) | -          | (2.6)      | にぶい黄橙 10YR6/4    | 褐灰 10YR4/1    | 石英、長石、角閃石         |
| 20       |            |           | -        | I-A | C-5            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (9.7) | -          | (3.0)      | にぶい褐 7.5YR5/4    | にぶい褐 7.5YR5/4 | 石英、長石、角閃石         |
| 21       |            |           | -        | I-A | E-2            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | 4.2   | -          | (1.8)      | にぶい黄褐 10YR5/4    | 褐灰 10YR4/1    | 石英、長石、角閃石         |
| 22       |            |           | 27       | 11  | -              | I-A | D-6  | 2     | 縄文土器    | 深鉢    | (30.2)     | -          | -                | (5.3)         | にぶい黄褐 10YR5/4     |
| 23       | -          | I-A       |          |     | E-3            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | (20.0)  | -     | -          | (19.2)     | にぶい黄褐 10YR5/3    | にぶい褐 7.5YR5/4 | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子 |
| 24       | -          | I-A       |          |     | A-6            | 2   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (8.6) | -          | (15.5)     | にぶい褐 7.5YR5/4    | 灰褐 7.5YR4/2   | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子 |
| 27       | -          | I-A       |          |     | E-3            | 2b  | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (7.1)      | にぶい黄橙 10YR6/3    | にぶい黄橙 10YR6/4 | 長石、石英、赤色粒子<br>角閃石 |
| 28       | -          | I-A       |          |     | E-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (9.1)      | 黒 7.5YR2/1       | 灰褐 7.5YR4/2   | 石英、長石、褐色粒         |
| 29       | 28         | 13        | -        | I-A | D-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (5.2)      | にぶい黄橙 10YR6/3    | にぶい黄橙 10YR7/4 | 長石、石英、赤色粒子<br>角閃石 |
| 30       |            |           | -        | I-A | E-3            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (5.2)      | 灰黄褐 10YR5/2      | 黒褐 10YR3/1    | 石英、長石             |
| 31       |            |           | -        | I-A | E-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.4)      | 灰黄褐 10YR5/2      | にぶい黄褐 10YR5/3 | 長石、赤色粒子、角閃石<br>石英 |
| 32       |            |           | -        | I-A | E-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (6.2)      | 灰黄褐 10YR5/2      | にぶい黄褐 10YR5/3 | 長石、石英、角閃石         |
| 33       |            |           | -        | I-A | E-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (3.4)      | にぶい黄褐 10YR5/3    | にぶい黄褐 10YR5/3 | 長石、石英、赤色粒子        |
| 34       |            |           | -        | I-A | E-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (5.0)      | にぶい褐 7.5YR5/3    | にぶい褐 7.5YR5/3 | 石英、長石、角閃石         |
| 35       |            |           | -        | I-A | D-5            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (8.1)      | にぶい黄褐 10YR5/3    | にぶい褐 7.5YR5/4 | 石英、長石、角閃石<br>粗砂粒  |
| 36       |            |           | -        | I-A | E-5            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.4)      | 黒褐 10YR3/2       | 灰黄褐 10YR4/2   | 長石、石英             |
| 37       |            |           | -        | I-A | D-5            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (12.6)     | にぶい橙 7.5YR6/4    | 灰黄褐 10YR5/2   | 石英、長石、角閃石<br>粗砂粒  |
| 38       |            |           | -        | I-A | A-6            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (13.0)     | 黒褐 7.5YR3/2      | 黒褐 7.5YR3/2   | 長石、石英、角閃石<br>粗砂粒  |
| 39       | -          | I-A       | D-3      | 3   | 縄文土器           | 深鉢  | -    | (4.8) | -       | (8.9) | 浅黄 2.5Y7/3 | 浅黄 2.5Y7/3 | 長石、石英、角閃石<br>粗砂粒 |               |                   |
| 40       | 29         | 14        | -        | I-A | D-3            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (3.2)      | 灰黄褐 10YR4/2      | にぶい黄褐 10YR5/3 | 石英、長石、角閃石         |
| 41       |            |           | -        | I-A | -              | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (4.7)      | 黄灰 2.5Y4/1       | 暗灰黄 2.5Y5/2   | 石英、長石、粗砂粒         |
| 42       |            |           | -        | I-A | D-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (7.6)      | 黒褐 10YR3/2       | にぶい黄橙 10YR6/3 | 長石、石英、赤色粒子        |
| 43       |            |           | -        | I-A | E-5            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -     | -          | (6.4)      | 黒褐 10YR3/1       | にぶい黄褐 10YR5/3 | 石英、長石、角閃石         |
| 44       |            |           | -        | I-A | -              | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | (23.0)  | -     | -          | (10.9)     | 黒褐 10YR3/2       | にぶい黄褐 10YR5/3 | 長石、赤色粒子、石英<br>角閃石 |
| 45       |            |           | -        | I-A | D-4            | 3   | 縄文土器 | 深鉢    | (30.0)  | -     | -          | (9.7)      | 浅黄 2.5Y7/3       | 灰黄 2.5Y6/2    | 長石、赤色粒子、石英        |

Tab.2 出土遺物(縄文土器)観察表-①

|                               | 調整                  |     |         |   | 備考 | 遺物<br>番号 |
|-------------------------------|---------------------|-----|---------|---|----|----------|
|                               | 外器面                 | 内器面 | 外底面     | 内底面                                       |    |          |
| ナデ, 沈線, 刺突文<br>キザミ            | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       | 波状口縁? 外面煤付着 内面黒斑                          | 1  |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>貝殻刺突文            | ナデ, 貝殻条痕文<br>貝殻刺突文  | -   | -       | 外面煤付着                                     | 2  |          |
| 貝殻条痕文, ナデ<br>貝殻刺突文            | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       | 外面煤付着                                     | 3  |          |
| 貝殻条痕文, ナデ<br>貝殻刺突文            | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       |   | 4  |          |
| 貝殻条痕文, ナデ<br>沈線, 貝殻刺突文<br>キザミ | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       | 口唇部に刻み目                                   | 5  |          |
| 貝殻条痕文, ナデ<br>貝殻刺突文            | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       | 口唇部に刻み目, 外面煤付着                            | 6  |          |
| ナデ, 沈線, 刺突文<br>キザミ            | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       | 口唇部に刻み目                                   | 7  |          |
| 貝殻条痕文, キザミ<br>隆帯文, ナデ         | 貝殻条痕文               | -   | -       | 口唇部に刻み目                                   | 8  |          |
| ナデ, 隆帯文, 縄文                   | ナデ, 貝殻条痕文           | -   | -       |   | 9  |          |
| ナデ, 縄文, 隆帯文                   | ナデ                  | -   | -       | 外面煤付着                                     | 10 |          |
| ナデ, 貝殻刺突文                     | 貝殻条痕文               | -   | -       |   | 11 |          |
| ナデ, 隆帯文, 縄文                   | ナデ, 指頭圧             | -   | -       |   | 12 |          |
| 隆帯文, ナデ                       | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       |   | 13 |          |
| 沈線, キザミ                       | ナデ                  | -   | -       | 口唇部に刻み目, 外面煤付着                            | 14 |          |
| 貝殻条痕文                         | 貝殻条痕文               | -   | -       | 外面煤付着                                     | 15 |          |
| ナデ, 隆帯文                       | 指頭圧, ナデ<br>貝殻条痕文    | -   | -       |   | 16 |          |
| ナデ, 縄文                        | ナデ                  | -   | -       |   | 17 |          |
| ナデ, 縄文                        | ナデ, 指頭圧             | -   | -       |   | 18 |          |
| 指頭圧, ナデ                       | 指頭圧, ナデ             | ナデ  | ナデ, 指頭圧 |   | 19 |          |
| ナデ                            | ナデ                  | ナデ  | ナデ      | 内外面摩滅                                     | 20 |          |
| 指頭圧, ナデ                       | ミガキ                 | ナデ  | ミガキ     |   | 21 |          |
| ナデ, 沈線<br>貝殻条痕文, キザミ          | 沈線 (波状文)<br>ナデ, 刺突文 | -   | -       | 口唇部に刻み目                                   | 22 |          |
| ナデ, キザミ, 条痕<br>沈線 (波状文)       | 指頭圧, ナデ<br>沈線 (波状文) | -   | -       | 内口縁部に波状文が横1条1単位の3組、縦に2条1<br>単位が2組、口唇部に刻み目 | 23 |          |
| 貝殻条痕文, ナデ                     | 貝殻条痕文               | ナデ  | 貝殻条痕文   |   | 24 |          |
| ナデ, 格子状沈線                     | ナデ, 沈線 (波状文)        | -   | -       |   | 27 |          |
| 貝殻条痕文, 隆帯文<br>ナデ, キザミ         | 貝殻条痕文               | -   | -       | 轟式 口唇部に刻み目, 外面煤付着                         | 28 |          |
| ナデ, 隆帯文 (格子状)                 | ナデ, 指頭圧             | -   | -       |   | 29 |          |
| 貝殻条痕文<br>隆帯文 (波状)             | 貝殻条痕文               | -   | -       |   | 30 |          |
| 隆帯文, 縄文, ナデ                   | ナデ                  | -   | -       | 外面煤付着                                     | 31 |          |
| 貝殻条痕文, 隆帯文                    | 貝殻条痕文               | -   | -       |   | 32 |          |
| 貝殻条痕文, 隆帯文                    | 貝殻条痕文               | -   | -       |   | 33 |          |
| 貝殻条痕文, 隆帯文                    | 貝殻条痕文               | -   | -       |   | 34 |          |
| 貝殻条痕文, ナデ                     | 貝殻条痕文               | -   | -       |   | 35 |          |
| 貝殻条痕文, ナデ                     | 貝殻条痕文               | -   | -       | 外面煤付着                                     | 36 |          |
| 貝殻条痕文, ナデ                     | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       | 外面煤付着                                     | 37 |          |
| 貝殻条痕文, ナデ                     | 貝殻条痕文, ナデ           | -   | -       | 外面煤付着                                     | 38 |          |
| 貝殻条痕文, ナデ                     | 指頭圧, ナデ             | ナデ  | 指頭圧, ナデ | 内面輪積み痕あり                                  | 39 |          |
| ナデ, 沈線, 刺突文<br>キザミ            | ナデ, 沈線, 刺突文         | -   | -       | 管烟式 口唇部に刻み目                               | 40 |          |
| ナデ, 隆帯文, 縄文                   | 指頭圧, ナデ             | -   | -       |   | 41 |          |
| ナデ, 隆帯文, 縄文                   | ナデ                  | -   | -       | 外面煤付着                                     | 42 |          |
| ナデ, 縄文, 隆帯文                   | ナデ                  | -   | -       | 外面煤付着                                     | 43 |          |
| ナデ, 隆帯文, 縄文                   | ナデ, 指頭圧             | -   | -       | 外面煤付着                                     | 44 |          |
| ナデ, 隆帯文, 縄文                   | ナデ                  | -   | -       |   | 45 |          |

金川遺跡

| 遺物<br>番号 | Fig<br>No. | PL<br>No. | 遺構<br>番号 | 調査区            | グリッド | 層    | 種別   | 器種     | 法量 (cm) |    |          |               | 色調            |                     | 胎土                       |
|----------|------------|-----------|----------|----------------|------|------|------|--------|---------|----|----------|---------------|---------------|---------------------|--------------------------|
|          |            |           |          |                |      |      |      |        | 口径      | 底径 | 最大<br>胸径 | 器高            | 外面            | 内面                  |                          |
| 46       | 29         | 13        | -        | I-A            | E-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | (29.6)  | -  | -        | (9.1)         | にぶい黄橙 10YR6/4 | 黒褐 10YR3/2          | 長石, 石英                   |
| 47       |            | -         | I-A      | D-4<br>E-4・E-5 | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | (37.4) | -       | -  | (6.4)    | にぶい黄褐 10YR4/3 | にぶい褐 7.5YR5/4 | 石英, 長石, 角閃石<br>雲母   |                          |
| 48       |            | 15        | -        | I-A            | D-2  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (7.3)         | 暗灰黄 2.5Y5/2   | にぶい黄 2.5Y6/3        | 石英, 角閃石, 赤色粒子            |
| 49       |            | -         | I-A      | E-5            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | -      | -       | -  | (4.7)    | にぶい黄橙 10YR6/4 | にぶい黄橙 10YR6/4 | 長石, 石英, 赤色粒子<br>角閃石 |                          |
| 50       | 30         | 13        | -        | I-A            | E-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (4.1)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | 黒褐 10YR3/1          | 長石, 石英, 赤色粒子             |
| 51       |            |           | -        | I-A            | A-7  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (4.7)         | 黒褐 10YR3/2    | にぶい黄褐 10YR4/3       | 長石, 石英, 角閃石              |
| 52       |            |           | -        | I-A            | D-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (4.4)         | 褐 7.5YR4/3    | 褐 7.5YR4/3          | 石英, 長石, 角閃石              |
| 53       |            |           | -        | I-A            | E-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (8.7)         | 黒褐 10YR3/1    | にぶい黄褐 10YR5/4       | 長石, 石英, 角閃石<br>粗砂粒       |
| 54       |            |           | -        | I-A            | B-6  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (10.0)        | 黒褐 10YR3/1    | 褐 7.5YR4/4          | 石英, 長石, 角閃石<br>赤色粒子      |
| 55       |            |           | -        | I-A            | -    | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (6.1)         | 暗灰黄 2.5Y4/2   | 暗灰黄 2.5Y4/2         | 石英, 角閃石, 褐色粒             |
| 56       |            | 14        | -        | I-A            | D-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (5.5)         | 灰黄褐 10YR4/2   | 灰黄褐 10YR5/2         | 長石, 石英, 角閃石<br>赤色粒子, 粗砂粒 |
| 57       |            | 13        | -        | I-A            | -    | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (4.7)         | 黒褐 7.5YR3/1   | にぶい黄褐 10YR4/3       | 石英, 長石, 角閃石<br>粗砂粒       |
| 58       |            | 14        | -        | I-A            | D-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (5.7)         | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄褐 10YR5/3       | 長石, 石英, 角閃石<br>赤色粒子, 粗砂粒 |
| 59       |            | 15        | -        | I-A            | C-4  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (5.9)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | にぶい黄橙 10YR6/3       | 石英, 長石, 角閃石<br>赤色粒子      |
| 60       |            | 14        | -        | I-A            | E-4  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | (22.6)  | -  | -        | (7.0)         | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄褐 10YR5/3       | 石英, 角閃石, 赤色粒子<br>粗砂粒     |
| 61       |            | 13        | -        | I-A            | A-7  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (5.4)         | 黒褐 10YR3/2    | にぶい黄褐 10YR4/3       | 石英, 長石, 角閃石              |
| 62       |            | 14        | -        | I-A            | A-7  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (5.0)         | 灰黄褐 10YR4/2   | 黒褐 10YR3/1          | 石英, 長石, 角閃石              |
| 63       | 15         | -         | I-A      | E-5            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | -      | -       | -  | (5.9)    | にぶい黄褐 10YR5/4 | にぶい褐 7.5YR5/4 | 石英, 長石, 角閃石         |                          |
| 64       |            | -         | I-A      | E-2            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | -      | -       | -  | (6.5)    | にぶい黄褐 10YR5/4 | にぶい黄橙 10YR6/4 | 石英, 長石, 角閃石<br>赤色粒子 |                          |
| 65       |            | -         | I-A      | E-5            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | (15.7) | -       | -  | (4.0)    | にぶい黄褐 10YR5/3 | 黒 10YR2/1     | 石英, 長石, 角閃石         |                          |
| 66       |            | -         | I-A      | -              | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | (17.7) | -       | -  | (4.1)    | 灰黄褐 10YR5/2   | 灰黄褐 10YR5/2   | 長石, 石英, 角閃石<br>粗砂粒  |                          |
| 67       |            | -         | I-A      | C-3            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | -      | -       | -  | (10.0)   | にぶい黄褐 10YR5/3 | 黒褐 10YR3/2    | 石英, 長石, 角閃石<br>赤色粒子 |                          |
| 68       | 31         | 14        | -        | I-A            | B-4  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | (21.6)  | -  | -        | (9.4)         | 灰黄褐 10YR4/2   | 灰黄褐 10YR4/2         | 長石, 石英                   |
| 69       |            |           | -        | I-A            | A-6  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (10.9)        | にぶい黄褐 10YR4/3 | 黒褐 10YR3/2          | 石英, 長石, 角閃石              |
| 70       |            |           | -        | I-A            | E-2  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (14.8)        | にぶい黄褐 10YR5/4 | にぶい橙 7.5YR6/4       | 石英, 長石, 角閃石<br>赤色粒子      |
| 71       |            | 14        | -        | I-A            | -    | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (4.5)         | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄褐 10YR5/4       | 石英, 長石, 角閃石              |
| 72       |            | 15        | -        | I-A            | -    | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (6.0)         | 黒褐 10YR3/2    | 暗灰黄 2.5Y5/2         | 長石, 石英, 赤色粒子<br>粗砂粒      |
| 73       |            | 16        | -        | I-A            | D-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (10.9)        | にぶい黄橙 10YR6/4 | 橙 7.5YR6/6          | 長石, 石英, 角閃石<br>黒色粒子      |
| 74       |            | 15        | -        | I-A            | D-2  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | (25.4)  | -  | -        | (7.2)         | にぶい黄褐 10YR5/4 | にぶい黄橙 10YR6/4       | 長石, 石英, 赤色粒子<br>角閃石      |
| 75       |            | 14        | -        | I-A            | E-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (6.0)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | 灰黄褐 10YR4/2         | 長石, 赤色粒子, 石英<br>粗砂粒      |
| 76       |            | 15        | -        | I-A            | E-2  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (5.7)         | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄橙 10YR7/4       | 長石, 石英, 赤色粒子<br>角閃石, 黒曜石 |
| 77       |            | 14        | -        | I-A            | E-3  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (5.9)         | にぶい褐 7.5YR5/4 | にぶい黄橙 10YR6/4       | 石英, 長石, 角閃石<br>褐色粒       |
| 78       |            | 15        | -        | I-A            | C-5  | 3    | 縄文土器 | 深鉢     | -       | -  | -        | (6.6)         | 浅黄 2.5Y7/3    | 浅黄 2.5Y7/3          | 長石, 石英, 赤色粒子<br>角閃石      |
| 79       | 14         | -         | I-A      | E-4            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | -      | -       | -  | (10.0)   | 黒褐 10YR3/1    | 灰黄褐 10YR4/2   | 石英, 長石, 角閃石         |                          |
| 80       | 13         | -         | I-A      | B-5            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | -      | -       | -  | (3.3)    | 黒褐 10YR3/2    | 灰黄褐 10YR4/2   | 石英, 長石, 角閃石         |                          |
| 81       |            | -         | I-A      | A-6            | 3    | 縄文土器 | 深鉢   | -      | -       | -  | (6.5)    | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄 2.5Y6/3  | 長石, 石英, 黒色粒子        |                          |

Tab.3 出土遺物(縄文土器)観察表-②

|                           | 調整                   |     |     |                       | 備考 | 遺物<br>番号 |
|---------------------------|----------------------|-----|-----|-----------------------|----|----------|
|                           | 外器面                  | 内器面 | 外底面 | 内底面                   |    |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>キザミ, 沈線, 刺突文 | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 口唇部に刻み目, 内外面煤付着       | 46 |          |
| ナデ, 指頭圧, 条痕<br>キザミ, 沈線    | ナデ, 沈線(波状文)刺<br>突文   | -   | -   | 外面波状口縁, 沈線4条。 口唇部に刻み目 | 47 |          |
| ナデ, 沈線(波状文)<br>刺突文        | ナデ, 指頭圧              | -   | -   |                       | 48 |          |
| 貝殻条痕文, 沈線<br>キザミ          | 貝殻条痕文<br>貝殻刺突文       | -   | -   | 口唇部に刻み目               | 49 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>キザミ, 沈線, 刺突文 | ナデ, 指頭圧<br>貝殻条痕文     | -   | -   | 口唇部に刻み目, 内外面煤付着       | 50 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, 刺突文      | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 外面煤付着                 | 51 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, 刺突文      | ナデ                   | -   | -   | 内外面煤付着                | 52 |          |
| ナデ, 沈線, 刺突文               | ナデ                   | -   | -   | 外面煤付着                 | 53 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, 刺突文      | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   |                       | 54 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, 刺突文, キザミ | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 口唇部に刻み目               | 55 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, キザミ      | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 口唇部に刻み目, 外面煤付着        | 56 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, 刺突文, キザミ | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 口唇部に刻み目, 外面煤付着        | 57 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, キザミ      | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 口唇部に刻み目, 外面煤付着        | 58 |          |
| ナデ, 刺突文                   | 指頭圧, ナデ              | -   | -   |                       | 59 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>沈線, キザミ      | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 口唇部に刻み目, 外面煤付着        | 60 |          |
| ナデ, 指頭圧, キザミ              | ナデ, 指頭圧              | -   | -   |                       | 61 |          |
| ナデ, キザミ<br>貝殻条痕文          | ナデ                   | -   | -   | 口唇部に刻み目               | 62 |          |
| 指頭圧, ナデ, 沈線<br>貝殻条痕文, キザミ | ナデ, 沈線(波状文)貝<br>殻刺突文 | -   | -   | 口唇部に刻み目               | 63 |          |
| ナデ, 沈線                    | ナデ, 沈線(波状文)          | -   | -   |                       | 64 |          |
| ミガキ, キザミ                  | 指頭圧, ナデ              | -   | -   | 口唇部に刻み目               | 65 |          |
| ナデ, 指頭圧                   | ナデ, 指頭圧              | -   | -   |                       | 66 |          |
| 指頭圧, ナデ                   | 指頭圧, ナデ              | -   | -   |                       | 67 |          |
| ナデ, 隆帯文                   | ナデ                   | -   | -   | 外面煤付着                 | 68 |          |
| 貝殻条痕文, ミガキ<br>ナデ          | 貝殻条痕文                | -   | -   |                       | 69 |          |
| 貝殻条痕文<br>沈線(波状文)          | ナデ                   | -   | -   | 内面黒斑 外面煤付着            | 70 |          |
| 縄文                        | -                    | -   | -   | 内面摩滅                  | 71 |          |
| 縄文                        | ナデ                   | -   | -   |                       | 72 |          |
| 貝殻条痕文                     | ナデ                   | -   | -   | 外面煤付着                 | 73 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>波状文          | ナデ                   | -   | -   | 外面黒斑                  | 74 |          |
| 縄文                        | ナデ                   | -   | -   |                       | 75 |          |
| 貝殻条痕文, 沈線                 | ナデ, 指頭圧              | -   | -   |                       | 76 |          |
| 縄文                        | 指頭圧, ナデ              | -   | -   | 外面煤付着                 | 77 |          |
| 貝殻条痕文                     | 貝殻条痕文                | -   | -   |                       | 78 |          |
| ナデ, 縄文, 隆帯文<br>指頭圧        | 指頭圧, 貝殻条痕文<br>ナデ     | -   | -   |                       | 79 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>隆帯文, 沈線, 刺突文 | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 内外面煤付着                | 80 |          |
| ナデ, 貝殻条痕文<br>隆帯文, 刺突文     | ナデ, 貝殻条痕文            | -   | -   | 外面煤付着                 | 81 |          |

金川遺跡

| 遺物<br>番号 | Fig<br>No. | PL<br>No. | 遺構<br>番号 | 調査区     | グリッド         | 層    | 種別     | 器種    | 法量 (cm) |        |               |               | 色調               |                   | 胎土                    |
|----------|------------|-----------|----------|---------|--------------|------|--------|-------|---------|--------|---------------|---------------|------------------|-------------------|-----------------------|
|          |            |           |          |         |              |      |        |       | 口径      | 底径     | 最大<br>胴径      | 器高            | 外面               | 内面                |                       |
| 82       | 32         | 15        | -        | I-A     | E-3          | 3    | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (10.7)        | にぶい褐 7.5YR5/4    | にぶい黄褐 10YR5/3     | 石英、長石、角閃石<br>粗砂粒      |
| 83       |            | -         | I-A      | D-5     | 3            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | (8.3)   | -      | (3.4)         | にぶい褐 7.5YR5/4 | にぶい褐 7.5YR5/3    | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 84       |            | -         | I-A      | E-4     | 3            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | (6.4)   | -      | (2.9)         | にぶい黄橙 10YR6/4 | にぶい黄 2.5Y6/4     | 長石、石英、赤色粒子        |                       |
| 85       |            | -         | I-A      | E-5     | 3            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | (5.0)   | -      | (2.4)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | 橙 7.5YR6/6       | 石英、長石             |                       |
| 86       |            | -         | I-A      | D-5     | 3            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | 3.5     | -      | (1.8)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | にぶい黄橙 10YR6/3    | 長石、石英、角閃石         |                       |
| 87       |            | -         | I-A      | E-5     | 3            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | (9.3)   | -      | (2.3)         | にぶい黄橙 10YR7/4 | 灰黄褐 10YR4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 88       |            | -         | I-A      | C-5     | 3            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (2.6)         | にぶい黄 2.5Y6/3  | にぶい黄 2.5Y6/3     | 長石、石英、赤色粒子        |                       |
| 89       |            | 18        | -        | I-A     | A-6<br>A-B-7 | 3    | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (14.3)        | にぶい黄橙 10YR6/4    | 黒褐 10YR3/1        | 長石、石英、角閃石             |
| 90       |            | 11        | -        | I-A     | A-6<br>A-B-6 | 3    | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (24.7)        | 黒褐 10YR3/2       | にぶい褐 7.5YR5/4     | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子     |
| 91       |            | 33        | -        | I-A     | A-6          | 2-3  | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (3.4)         | 黒褐 10YR3/2       | 黒褐 10YR3/2        | 石英、長石、角閃石             |
| 92       | -          |           | I-A      | B-5     | 2-3          | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (2.8)         | 灰黄褐 10YR4/2   | 灰黄褐 10YR4/2      | 長石、石英、赤色粒子        |                       |
| 93       | 12         |           | -        | I-A     | D-2          | 2-3  | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (6.1)         | にぶい橙 7.5YR6/4    | にぶい黄褐 10YR5/3     | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子     |
| 94       | -          |           | I-A      | D-3・E-4 | 2-3          | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (4.2)         | にぶい黄褐 10YR5/4 | にぶい黄褐 10YR5/4    | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 95       | -          |           | I-A      | D-4     | 2-3          | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (9.5)         | 黒褐 10YR3/2    | にぶい橙 7.5YR6/4    | 長石、石英、角閃石         |                       |
| 96       | -          |           | I-A      | B-4     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (4.4)         | 黒褐 10YR3/1    | 灰褐 7.5YR4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 97       | -          |           | I-A      | D-4-5   | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (7.0)         | 橙 7.5YR6/6    | 灰褐 7.5YR4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 98       | -          |           | I-A      | C-5     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (9.6)         | 黒褐 10YR3/2    | 暗灰黄 2.5Y4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 99       | -          |           | I-A      | D-4-5   | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (4.6)         | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄橙 10YR6/4    | 長石、石英             |                       |
| 100      | 34         |           | -        | I-A     | C-5          | 4    | 縄文土器   | 深鉢    | (10.5)  | -      | -             | (4.1)         | 黒褐 10YR3/2       | にぶい黄褐 10YR4/3     | 石英、長石、角閃石             |
| 101      | -          | I-A       | D-5      | 4       | 縄文土器         | 深鉢   | -      | -     | -       | (3.5)  | にぶい黄褐 10YR5/3 | にぶい黄褐 10YR5/3 | 長石、石英、角閃石        |                   |                       |
| 102      | -          | I-A       | C-5      | 4       | 縄文土器         | 深鉢   | (20.2) | -     | -       | (11.1) | にぶい黄褐 10YR5/3 | 黒褐 10YR3/2    | 長石、石英、角閃石<br>粗砂粒 |                   |                       |
| 103      | 17         | -         | I-A      | C-B-5   | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (7.8)         | 黒褐 10YR3/1    | にぶい黄褐 10YR5/3    | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 104      |            | -         | I-A      | C-5     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (7.6)         | 黒褐 2.5Y3/1    | 暗灰黄 2.5Y5/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 105      |            | -         | I-A      | D-5     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (4.2)         | 灰黄褐 10YR4/2   | 灰褐 7.5YR4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 106      |            | -         | I-A      | C-5     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (3.9)         | にぶい黄橙 10YR6/4 | 灰黄褐 10YR4/2      | 長石、石英             |                       |
| 107      |            | -         | I-A      | B-7     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (5.0)         | 暗灰黄 2.5Y4/2   | 暗灰黄 2.5Y5/2      | 長石、石英             |                       |
| 108      |            | -         | I-A      | E-4     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (6.6)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | 灰黄褐 10YR4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 109      |            | 35        | -        | I-A     | -            | 4    | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (5.6)         | 黄褐 2.5Y5/4       | にぶい黄 2.5Y6/3      | 長石、石英、角閃石             |
| 110      |            | -         | I-A      | C-5     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (7.2)         | 黒褐 10YR3/2    | にぶい褐 7.5YR5/4    | 長石、角閃石、石英<br>赤色粒子 |                       |
| 111      |            | -         | I-A      | B-5     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (9.3)         | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄橙 10YR6/4    | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 112      |            | -         | I-A      | A-7     | 4            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (8.5)         | にぶい黄橙 10YR6/4 | にぶい黄橙 10YR6/3    | 石英、長石、赤色粒子<br>角閃石 |                       |
| 113      | -          | I-A       | A-6      | 4       | 縄文土器         | 深鉢   | -      | (7.0) | -       | (2.2)  | にぶい黄橙 10YR6/3 | にぶい黄 2.5Y6/3  | 長石、石英、粗砂粒        |                   |                       |
| 114      | 36         | 13        | -        | I-A     | -            | 3-4  | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (10.8)        | 黒褐 10YR3/2       | にぶい黄橙 10YR6/4     | 長石、石英                 |
| 115      |            | -         | I-A      | -       | 3-4          | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (6.0)         | 黒褐 2.5Y3/2    | にぶい黄橙 10YR6/4    | 石英、長石             |                       |
| 116      |            | 14        | -        | I-A     | -            | 3-4  | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (5.0)         | 黒褐 10YR3/2       | にぶい黄橙 10YR6/3     | 石英、長石、角閃石             |
| 117      |            | -         | I-A      | -       | 3-4          | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (7.8)         | 黒褐 10YR3/1    | 灰黄褐 10YR4/2      | 長石、石英、赤色粒子        |                       |
| 118      | 18         | -         | I-A      | A-6     | 3-4          | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (10.3)        | にぶい黄褐 10YR4/3 | 灰黄褐 10YR4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 119      | 37         | 16        | -        | I-A     | E-5          | 5    | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (8.6)         | 黒褐 10YR3/2       | 褐 7.5YR4/3        | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子、粗砂粒 |
| 120      |            | -         | I-A      | A-7     | 5            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (3.5)         | 黒褐 7.5YR3/2   | 褐 7.5YR4/4       | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 121      |            | -         | I-A      | -       | 5            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (4.3)         | 灰黄褐 10YR4/2   | にぶい黄褐 10YR5/3    | 長石、石英、角閃石         |                       |
| 122      | 38         | 19        | -        | I-A     | 2            | -    | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (2.5)         | にぶい黄 2.5Y6/3     | にぶい黄 2.5Y6/3      | 長石、石英                 |
| 123      |            | -         | I-A      | -       | -            | 縄文土器 | 深鉢     | -     | -       | -      | (2.7)         | 黒褐 10YR3/2    | 灰黄褐 10YR5/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 124      |            | 12        | -        | I-A     | E-4          | -    | 縄文土器   | 深鉢    | -       | -      | -             | (2.9)         | 黒褐 10YR3/2       | にぶい褐 7.5YR5/4     | 長石、石英                 |

Tab.4 出土遺物(縄文土器)観察表-③

|                        | 調整              |          |       |                       | 備考 | 遺物<br>番号 |
|------------------------|-----------------|----------|-------|-----------------------|----|----------|
|                        | 外器面             | 内器面      | 外底面   | 内底面                   |    |          |
| 縄文                     | 指頭圧、ナデ          | -        | -     | -                     |    | 82       |
| 貝殻条痕文、ナデ               | 貝殻条痕文、ナデ        | ナデ、貝殻条痕文 | ナデ    |                       |    | 83       |
| ナデ、縄文                  | ナデ              | ナデ       | ナデ    |                       |    | 84       |
| 貝殻条痕文、ナデ               | 貝殻条痕文、ナデ        | 貝殻条痕文、ナデ | 貝殻条痕文 |                       |    | 85       |
| ナデ                     | ナデ              | ナデ       | ナデ    |                       |    | 86       |
| ナデ                     | ナデ              | ナデ       | ナデ    |                       |    | 87       |
| ナデ                     | ナデ              | -        | -     |                       |    | 88       |
| 貝殻条痕文、ナデ               | 貝殻条痕文           | -        | -     | 内外面煤付着                |    | 89       |
| 貝殻条痕                   | 貝殻条痕            | -        | -     | 外面煤付着                 |    | 90       |
| ナデ、刺突文                 | 指頭圧、ナデ          | -        | -     |                       |    | 91       |
| 貝殻条痕文、ナデ<br>貝殻刺突文、キザミ  | 貝殻条痕文、ナデ        | -        | -     | 口唇部に刻み目               |    | 92       |
| 貝殻条痕文、沈線               | ナデ              | -        | -     |                       |    | 93       |
| 貝殻条痕文                  | 貝殻条痕文           | -        | -     |                       |    | 94       |
| ナデ、縄文                  | ナデ              | -        | -     | 内面に透明粒子あり(3mm以下) 外面黒斑 |    | 95       |
| ナデ、縄文                  | ナデ              | -        | -     | 外面煤付着                 |    | 96       |
| ナデ、貝殻条痕文<br>沈線、刺突文、キザミ | ナデ、貝殻条痕文        | -        | -     | 口唇部に刻み目               |    | 97       |
| ナデ、貝殻条痕文<br>刺突文、キザミ    | 指頭圧、ナデ          | -        | -     | 口唇部に刻み目               |    | 98       |
| ナデ、貝殻条痕文<br>沈線         | ナデ、貝殻条痕文        | -        | -     | 内外面煤付着                |    | 99       |
| ナデ、沈線(波状文)<br>刺突文      | 条痕、ナデ           | -        | -     |                       |    | 100      |
| ナデ、貝殻条痕文<br>隆帯文、刺突文    | ナデ              | -        | -     | 内外面煤付着                |    | 101      |
| 隆帯文、ナデ<br>刺突文、指頭圧      | ナデ、指頭圧          | -        | -     | 内面輪積み痕あり、内外面煤付着       |    | 102      |
| キザミ、貝殻条痕文<br>沈線(波状文)   | 貝殻条痕文           | -        | -     | 口唇部に刻み目、外面煤付着 霏式      |    | 103      |
| 指頭圧、ナデ、ミガキ<br>刺突文      | 指頭圧、ナデ          | -        | -     | 口唇部に刺突文、外面煤付着         |    | 104      |
| 指頭圧、ナデ、条痕              | 指頭圧、ナデ          | -        | -     |                       |    | 105      |
| 縄文                     | ナデ              | -        | -     |                       |    | 106      |
| 貝殻条痕文、刺突文              | 貝殻条痕文           | -        | -     | 内面輪積み痕あり              |    | 107      |
| 貝殻条痕文、ナデ               | 指頭圧、貝殻条痕文<br>ナデ | -        | -     |                       |    | 108      |
| 貝殻条痕文                  | ナデ              | -        | -     |                       |    | 109      |
| 貝殻条痕文、ナデ               | 貝殻条痕文           | -        | -     | 外面煤付着                 |    | 110      |
| 貝殻条痕文                  | 貝殻条痕文、ナデ        | -        | -     |                       |    | 111      |
| ナデ、縄文                  | ナデ              | -        | -     |                       |    | 112      |
| ナデ                     | ナデ              | ナデ       | ナデ    |                       |    | 113      |
| ナデ、貝殻条痕文               | ナデ、貝殻条痕文<br>指頭圧 | -        | -     | 外面煤付着                 |    | 114      |
| 貝殻条痕文                  | 貝殻条痕文           | -        | -     |                       |    | 115      |
| ナデ、隆帯文                 | ナデ、条痕           | -        | -     |                       |    | 116      |
| ナデ、縄文                  | ナデ              | -        | -     | 内面輪積み痕あり 外面煤付着        |    | 117      |
| 貝殻条痕文、ナデ               | 貝殻条痕文           | -        | -     |                       |    | 118      |
| ナデ、隆帯文、縄文              | 指頭圧、貝殻条痕文       | -        | -     | 焼成後2ヶ所穿孔              |    | 119      |
| ナデ、貝殻条痕文<br>貝殻刺突文      | 貝殻条痕文           | -        | -     |                       |    | 120      |
| 貝殻条痕文、ナデ<br>隆帯文、刺突文    | キザミ、貝殻条痕文       | -        | -     | 口唇部に刻み目、外面煤付着         |    | 121      |
| ナデ、貝殻刺突文               | ナデ、貝殻条痕文        | -        | -     |                       |    | 122      |
| ナデ、沈線、刺突文              | ナデ              | -        | -     | 口唇部に刺突文、外面煤付着         |    | 123      |
| 貝殻条痕文、ナデ<br>沈線、貝殻刺突文   | 貝殻条痕文、ナデ        | -        | -     | 外面煤付着                 |    | 124      |

金川遺跡

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 遺構番号 | 調査区  | グリッド | 層    | 種別   | 器種    | 法量 (cm) |        |               |               | 色調            |                  | 胎土                |                       |
|------|---------|--------|------|------|------|------|------|-------|---------|--------|---------------|---------------|---------------|------------------|-------------------|-----------------------|
|      |         |        |      |      |      |      |      |       | 口径      | 底径     | 最大胴径          | 器高            | 外面            | 内面               |                   |                       |
| 125  | 38      | 19     | -    | I-A  | -    | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | -             | (3.1)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | 黒褐 10YR3/2       | 長石、石英             |                       |
| 126  |         |        | -    | I-A  | -    | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | -             | (4.5)         | にぶい黄褐 10YR5/3 | にぶい黄褐 10YR4/3    | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 127  |         |        | -    | I-A  | -    | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | -             | (14.8)        | 黒褐 10YR3/2    | にぶい黄褐 10YR5/3    | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子 |                       |
| 128  |         |        | -    | I-A  | B-5  | -    | -    | 縄文土器  | 深鉢      | -      | -             | -             | (6.3)         | にぶい橙 e7.5YR6/4   | にぶい黄橙 10YR6/4     | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子、粗砂粒 |
| 129  |         |        | -    | I-A  | -    | -    | -    | 縄文土器  | 深鉢      | (23.0) | -             | -             | (16.3)        | にぶい黄褐 10YR5/4    | にぶい褐 7.5YR5/4     | 石英、長石、角閃石<br>赤色粒子、粗砂粒 |
| 130  | 40      | 19     | -    | I-A  | -    | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (9.0)  | -             | (2.7)         | 明黄褐 10YR6/6   | 暗灰黄 2.5Y4/2      | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 136  | 40      | 20     | -    | I-B  | f-34 | 4    | 縄文土器 | 浅鉢    | (15.9)  | -      | -             | (6.5)         | にぶい黄褐 10YR5/3 | にぶい褐 7.5YR5/3    | 石英、長石、角閃石         |                       |
| 137  |         |        | -    | I-B  | h-34 | 4    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (9.4)  | -             | (3.0)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | にぶい黄橙 10YR7/4    | 石英、長石、赤色粒子        |                       |
| 138  |         |        | -    | I-B  | f-34 | 4    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (11.0) | -             | (4.8)         | にぶい黄橙 10YR6/4 | にぶい黄 2.5Y6/3     | 長石、赤色粒子、石英        |                       |
| 139  |         |        | -    | I-B  | h-33 | 5    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | -             | (4.9)         | にぶい黄褐 10YR5/3 | にぶい褐 7.5YR5/4    | 石英、長石             |                       |
| 140  |         |        | -    | I-B  | g-34 | 5    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | -             | (7.1)         | 灰黄褐 10YR6/2   | にぶい黄橙 10YR6/3    | 長石、石英、赤色粒子<br>滑石  |                       |
| 141  |         |        | -    | I-B  | h-34 | 5    | 縄文土器 | 深鉢    | (23.4)  | -      | -             | (8.5)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | 黒褐 10YR3/1       | 石英、長石             |                       |
| 142  |         |        | -    | I-B  | g-34 | 5    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | -             | (4.8)         | にぶい黄褐 10YR5/3 | 黄褐 2.5Y5/3       | 石英、長石             |                       |
| 143  |         |        | -    | I-B  | h-34 | 5    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (12.0) | -             | (5.8)         | にぶい黄橙 10YR6/4 | にぶい黄橙 10YR6/4    | 石英、長石、黒色粒子        |                       |
| 144  |         |        | -    | I-B  | f-34 | 5    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | (13.5) | -             | (2.8)         | にぶい褐 7.5YR5/4 | にぶい黄橙 10YR6/3    | 石英、長石、滑石          |                       |
| 145  |         |        | 41   | 19   | -    | I-B  | -    | -     | 縄文土器    | 深鉢     | -             | -             | (4.7)         | にぶい黄橙 10YR6/3    | にぶい黄褐 10YR4/3     | 石英、長石、赤色粒子            |
| 146  | 41      | 20     | -    | I-B  | f-33 | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | (6.0)         | にぶい褐 7.5YR5/3 | にぶい褐 7.5YR5/4 | 石英、長石、赤色粒子       |                   |                       |
| 147  |         |        | -    | I-B  | f-32 | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | (7.9)         | にぶい黄褐 10YR4/3 | にぶい褐 7.5YR5/3 | 長石、赤色粒子、石英       |                   |                       |
| 148  |         |        | -    | I-B  | f-34 | -    | 縄文土器 | 深鉢    | (14.1)  | -      | -             | (9.7)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | にぶい黄 2.5Y6/3     | 長石、石英、角閃石         |                       |
| 149  |         |        | -    | I-B  | f-20 | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | (4.6)         | にぶい黄褐 10YR4/3 | にぶい褐 7.5YR5/4 | 長石、石英、角閃石        |                   |                       |
| 150  |         |        | -    | I-B  | -    | -    | 縄文土器 | 深鉢    | -       | -      | (10.2)        | にぶい黄橙 10YR6/4 | にぶい黄橙 10YR6/3 | 長石、石英、赤色粒子       |                   |                       |
| 151  | 20      | -      | I-B  | g-23 | -    | 縄文土器 | 深鉢   | -     | 5.9     | -      | (3.7)         | にぶい黄橙 10YR6/3 | 灰黄褐 10YR4/2   | 長石、石英、赤色粒子       |                   |                       |
| 152  | -       | I-B    | g-36 | -    | 縄文土器 | 深鉢   | -    | (9.0) | -       | (4.9)  | にぶい黄橙 10YR7/3 | 黒褐 10YR3/1    | 長石、石英、黒色粒子    |                  |                   |                       |
| 153  | 19      | -      | I-B  | -    | -    | 縄文土器 | 深鉢   | -     | (10.3)  | -      | (6.4)         | にぶい黄橙 10YR7/4 | 灰黄 2.5Y6/2    | 長石、石英、角閃石<br>粗砂粒 |                   |                       |

| 遺構番号 | Fig No. | PL No. | 遺構番号 | 調査区 | グリッド | 層 | 種別   | 器種 | 法量 (cm) |        |      |       | 色調            |               | 胎土         |
|------|---------|--------|------|-----|------|---|------|----|---------|--------|------|-------|---------------|---------------|------------|
|      |         |        |      |     |      |   |      |    | 口径      | 底径     | 最大胴径 | 器高    | 外面            | 内面            |            |
| 25   | 27      | 18     | -    | I-A | E-3  | 2 | 土師器  | 壺  | (17.5)  | (7.6)  | -    | 22.7  | 橙 5YR6/6      | 橙 7.5YR6/6    | 長石、赤色粒子、石英 |
| 26   | -       | -      | -    | I-A | D-5  | 2 | 土師器  | 坏  | (11.5)  | (6.4)  | -    | 3.1   | にぶい黄橙 10YR7/4 | にぶい橙 7.5YR7/4 | 長石、石英      |
| 132  | 38      | -      | -    | I-A | F-3  | - | 瓦質土器 | 擂鉢 | -       | -      | -    | (5.6) | にぶい黄橙 10YR7/3 | にぶい黄橙 10YR7/3 | 長石、石英      |
| 154  | 41      | 18     | -    | I-B | g-30 | - | 瓦質土器 | 火鉢 | -       | (13.0) | -    | (4.8) | 淡黄 2.5Y8/3    | 淡黄 2.5Y8/3    | 長石         |

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 遺構番号 | 調査区 | グリッド | 層 | 種別  | 器種 | 産地 | 部位 | 法量 (cm) |     |      |     | 色調            |    | 胎土                |
|------|---------|--------|------|-----|------|---|-----|----|----|----|---------|-----|------|-----|---------------|----|-------------------|
|      |         |        |      |     |      |   |     |    |    |    | 口径      | 底径  | 重さ   | 器高  | 外面            | 内面 |                   |
| 131  | 38      | -      | -    | I-A | -    | - | 土師器 | 土鍾 | -  | -  | 1.6     | 1.7 | 12.2 | 4.8 | にぶい黄橙 10YR7/3 | -  | 長石、石英、赤色粒子<br>角閃石 |

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 遺構番号  | 調査区 | グリッド | 種別   | 器種 | 産地 | 部位      | 法量 (cm) |       |        |        | 色調    |        | 胎土    |
|------|---------|--------|-------|-----|------|------|----|----|---------|---------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|
|      |         |        |       |     |      |      |    |    |         | 口径      | 底径    | 重さ     | 器高     | 外面    | 内面     |       |
| 133  | 39      | 18     | ST004 | I-B | -    | 染付   | 皿  | -  | 高台      | -       | (8.6) | (1.3)  |        | カーキ色  | 白蠟色    |       |
| 134  |         |        | ST005 | I-B | h-31 | 染付   | 碗  | -  | 口縁部から高台 | (11.1)  | 3.5   | 5.7    |        | かもしか色 | かもしか色  |       |
| 135  |         |        | SX003 | I-B | -    | 染付   | 皿  | -  | 口縁部から高台 | (11.8)  | (4.0) | 3.2    |        | 白茶    | 鉛の灰色   |       |
| 155  |         |        | 41    | -   | I-B  | j-36 | 陶器 | 壺  | -       | 胴部から底部  | -     | (13.2) | (19.2) |       | にぶい赤褐色 | にぶい褐色 |

Tab. 5 出土遺物(縄文土器)観察表-④

|                       | 調整              |       |        |     | 備考                | 遺物<br>番号 |
|-----------------------|-----------------|-------|--------|-----|-------------------|----------|
|                       | 外器面             | 内器面   | 外底面    | 内底面 |                   |          |
| 隆帯文、沈線(波状文)<br>ナデ、刺突文 | ナデ              | -     | -      | -   | 内外面煤付着            | 125      |
| 貝殻条痕文                 | 貝殻条痕文           | -     | -      | -   |                   | 126      |
| 貝殻条痕文                 | 貝殻条痕文           | -     | -      | -   | 外面煤付着             | 127      |
| ナデ、隆帯文、縄文             | 指頭圧、ナデ          | -     | -      | -   |                   | 128      |
| ナデ、指頭圧<br>隆帯文、縄文      | ナデ、指頭圧          | -     | -      | -   |                   | 129      |
| ナデ                    | ナデ、指頭圧<br>貝殻条痕文 | ナデ    | ナデ、指頭圧 |     |                   | 130      |
| ナデ、キザミ                | 指頭圧、ナデ          | -     | -      | -   | 口唇部に刻み目           | 136      |
| 指頭圧、ナデ、キザミ            | 指頭圧、ナデ          | ナデ    | 指頭圧、ナデ |     |                   | 137      |
| ナデ                    | ナデ              | ナデ    | ナデ     |     |                   | 138      |
| ナデ、凹線文、キザミ            | 指頭圧、ナデ          | -     | -      | -   | 阿高式、口唇部に刻み目       | 139      |
| ナデ、凹線文                | ナデ              | -     | -      | -   | 阿高式               | 140      |
| ナデ、凹線文                | ナデ、指頭圧<br>貝殻条痕文 | -     | -      | -   | 阿高式               | 141      |
| ナデ、縄文                 | ナデ、貝殻条痕文        | -     | -      | -   | 外面煤付着             | 142      |
| 指頭圧、ナデ                | ナデ              | -     | ナデ     |     |                   | 143      |
| ナデ                    | ナデ              | ナデ、圧痕 | ナデ     |     |                   | 144      |
| ナデ、凹線文、キザミ            | ナデ、指頭圧          | -     | -      | -   | 口唇部に刻み目           | 145      |
| ナデ、凹線文、刺突文            | ナデ              | -     | -      | -   | 阿高式、口唇部に刺突文       | 146      |
| キザミ、ナデ<br>凹線文、刺突文     | ナデ              | -     | -      | -   | 阿高式、口唇部に刻み目       | 147      |
| ナデ、凹線文<br>刺突文、キザミ     | 指頭圧、ナデ          | -     | -      | -   | 阿高式、口唇部に刻み目       | 148      |
| ナデ、キザミ                | ナデ              | -     | -      | -   | 阿高式、内面煤付着、口唇部に刻み目 | 149      |
| ナデ                    | ナデ              | -     | -      | -   |                   | 150      |
| ナデ                    | ナデ              | ナデ    | ナデ     | ナデ  | 後期、全体摩滅           | 151      |
| ナデ、指頭圧                | ナデ、指頭圧          | ナデ    | ナデ、指頭圧 | ナデ  | 阿高式底部             | 152      |
| ナデ                    | ナデ              | ナデ    | ナデ     |     |                   | 153      |

Tab.6 出土遺物(土師器・瓦質土器)観察表

|                 | 調整                  |       |      |       | 備考 | 遺物<br>番号 |
|-----------------|---------------------|-------|------|-------|----|----------|
|                 | 外器面                 | 内器面   | 外底面  | 内底面   |    |          |
| ヨコナデ、ハケ         | ヨコナデ、ハケ、指頭圧<br>工具ナデ | ヨコナデ  | 指頭圧  | 外面黒斑  |    | 25       |
| 回転ナデ            | 回転ナデ                | 回転糸切り | 回転ナデ |       |    | 26       |
| ナデ              | ナデ、攪目               | -     | -    | 片口 中世 |    | 132      |
| 回転ヘラケズリ<br>回転ナデ | 回転ナデ                | ナデ    | 回転ナデ |       |    | 154      |

Tab.7 出土遺物(土製品)観察表

|        | 調整  |     |     |     | 備考 | 遺物<br>番号 |
|--------|-----|-----|-----|-----|----|----------|
|        | 外器面 | 内器面 | 外底面 | 内底面 |    |          |
| 指頭圧、ナデ | -   | -   | -   |     |    | 131      |

Tab.8 出土遺物(陶磁器)観察表

|         | 調整      |                      |       |                         | 備考 | 遺物<br>番号 |
|---------|---------|----------------------|-------|-------------------------|----|----------|
|         | 外器面     | 内器面                  | 外底面   | 内底面                     |    |          |
| 回転ナデ、施釉 | 回転ナデ、施釉 | 蛇目凹形高台、施釉<br>釉剥、回転ナデ | 施釉    | 染付 19c 後                |    | 133      |
| 施釉      | 施釉      | 施釉                   | 施釉    | 白絵(白土による) 染付(点のみ) 18c 後 |    | 134      |
| 回転ナデ、施釉 | 回転ナデ、施釉 | 施釉                   | 施釉、釉剥 | 染付 17c ~ 18c            |    | 135      |
| 回転ナデ、施釉 | 回転ナデ    | ナデ                   | 回転ナデ  | 外面付着物あり                 |    | 155      |

Tab.9 金川遺跡 I - A区 石器観察表 - ①

| No | 器種 | 石材   | 計測値        |           |            |           | 登録番号            | 備考                                    |
|----|----|------|------------|-----------|------------|-----------|-----------------|---------------------------------------|
|    |    |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |                 |                                       |
| 1  | 石鏃 | 黒曜石  | 1.7        | 1.0       | 0.4        | 0.4       | O-4(Ⅱ層)一括       | 先端部、両脚部欠失。                            |
| 2  | "  | チャート | 2.1        | 1.2       | 0.4        | 0.6       | 897(Ⅲ層)         | 先端部、片脚欠失。                             |
| 3  | "  | チャート | (1.3)      | (1.3)     | (0.2)      | (0.3)     | 798(Ⅴ層)         | 先端部から左脚部左半にかけて大きく欠失。                  |
| 4  | "  | チャート | 2.6        | 1.4       | 0.6        | 1.5       | 432(Ⅲ層)         | 完形。平面形は二等辺三角形で基部の挟りは見られず、凸形を呈する。      |
| 5  | "  | チャート | 2.2        | 1.0       | 0.4        | 0.8       | C-3(Ⅱ層)一括       | 完形。平面形は二等辺三角形で基部の挟りは浅く、わずかに窪む程度である。   |
| 6  | "  | チャート | 1.8        | 1.2       | 0.3        | 0.5       | B-6(Ⅱ層)一括       | 完形。表裏面の中央に素材剥離面を残す。                   |
| 7  | "  | チャート | 3.1        | 1.5       | 0.5        | 1.5       | 884(Ⅲ層)         | 完形。平面形は二等辺三角形で両側縁とも、やや鋸歯状を呈する。        |
| 8  | "  | チャート | 1.5        | 1.2       | 0.3        | 0.4       | 867(Ⅳ層)         | 先端部と左脚部をわずかに欠失する。表裏面に素材剥離面を残す。        |
| 9  | "  | チャート | 1.8        | 1.3       | 0.4        | 0.6       | 567(Ⅲ層)         | 完形。脚部の作出は不明瞭である。表裏面に素材剥離面を残す。         |
| 10 | "  | 安山岩  | (1.5)      | 1.5       | 0.4        | (0.7)     | 1335(Ⅲ層)        | 先端部を欠失。表裏とも調整は粗い。基部の挟りは浅い。            |
| 11 | "  | チャート | 2.2        | 1.4       | 0.4        | 0.6       | 842(Ⅲ層)         | 先端部をわずかに欠失。平面形は二等辺三角形を呈し、縁辺は直線的である。   |
| 12 | "  | チャート | 1.5        | 1.5       | 0.3        | 0.4       | 838(Ⅲ層)         | 完形。基部の挟りは浅い。                          |
| 13 | "  | チャート | 2.5        | 1.5       | 0.4        | 0.8       | 187(Ⅲ層)         | 完形。平面形は二等辺三角形を呈し、両側縁ともやや鋸歯状をなす。       |
| 14 | "  | チャート | 2.5        | 1.3       | 0.3        | 0.7       | 1120(Ⅲ層)        | 完形。平面形は二等辺三角形を呈し、両側縁ともやや鋸歯状をなす。       |
| 15 | "  | チャート | 1.6        | 1.4       | 0.4        | 0.5       | 1139(Ⅲ層)        | 先端部をわずかに欠失。平面形は二等辺三角形を呈する。            |
| 16 | "  | チャート | 2.0        | 1.3       | 0.3        | 0.6       | 635(Ⅲ層)         | 先端部をわずかに欠失。裏面に素材剥離面を残す。               |
| 17 | "  | チャート | (2.0)      | (1.1)     | 0.4        | (0.8)     | 1479(Ⅲ層)        | 先端部と左脚部をわずかに欠失する。                     |
| 18 | "  | チャート | 2.5        | (1.2)     | 0.3        | 0.7       | 1496(Ⅲ層)        | 左脚部を欠失。左側縁部には細かな調整が見られ、やや鋸歯状を呈する。     |
| 19 | "  | 黒曜石  | 1.9        | (1.0)     | 0.2        | 0.3       | 150(Ⅲ層)         | 右脚部を欠失。左側縁部のみやや鋸歯状を呈する。               |
| 20 | "  | チャート | 2.0        | 1.4       | 0.4        | 0.8       | 221(Ⅲ層)         | 右脚部末端をわずかに欠失。                         |
| 21 | "  | 黒曜石  | (1.6)      | 1.2       | 0.4        | 0.5       | 1239(Ⅲ層)        | 先端部を欠失。左右非対称である。                      |
| 22 | "  | チャート | 1.6        | 1.5       | 0.3        | 0.4       | 600(Ⅲ層)         | 完形。平面形は正三角形を呈し、基部の挟りは小さく施される。         |
| 23 | "  | 安山岩  | (1.8)      | 1.5       | 0.3        | 0.7       | 1038(Ⅳ層)        | 先端部を欠失、表面中央に衝撃による剥離痕が認められる。           |
| 24 | "  | チャート | (1.4)      | 1.5       | 0.3        | 0.6       | E-4(Ⅱ下層)        | 先端部を欠失。基部の挟りは浅い。                      |
| 25 | "  | チャート | 1.6        | 1.2       | 0.3        | 0.4       | 1365(Ⅳ層)        | 完形。裏面に素材剥離面を残す。基部の挟りは小さく浅い。           |
| 26 | "  | チャート | 3.2        | 1.5       | 0.4        | 1.0       | B-5 攪乱一括        | 完形。平面形は二等辺三角形を呈し、両側縁ともやや鋸歯状をなす。       |
| 27 | "  | チャート | 1.8        | 1.4       | 0.3        | 0.5       | 537(Ⅲ層)         | 完形。平面形は二等辺三角形を呈す。                     |
| 28 | "  | チャート | 1.3        | 1.25      | 0.3        | 0.3       | D-4(Ⅱ層)一括       | 完形。左右非対称で、先端部付近に最大厚がある。               |
| 29 | "  | チャート | 1.9        | 1.2       | 0.3        | 0.4       | 1372(Ⅳ層)        | 左右脚部末端部を欠失。両側縁とも鋸歯状を呈する。              |
| 30 | "  | 頁岩   | 1.8        | 1.4       | 0.4        | 0.6       | 1451(Ⅲ層)        | 完形。先端部付近に最大厚がみられる。                    |
| 31 | "  | 黒曜石  | 1.8        | 1.2       | 0.3        | 0.3       | 1428(Ⅲ層)        | 右脚末端部を欠失。両側縁ともやや内湾気味。調整加工は丁寧。         |
| 32 | "  | チャート | 1.65       | 1.25      | 0.5        | 0.7       | E-4(Ⅱ層)         | 左側縁部を欠失。                              |
| 33 | "  | チャート | (1.8)      | 1.3       | 0.3        | 0.4       | 582(Ⅲ層)         | 先端部を欠失。両側縁中央付近にやや細かな挟入が認められる。         |
| 34 | "  | チャート | (1.9)      | 1.6       | 0.3        | 0.5       | E-4(Ⅱ層)         | 先端部に衝撃によるつぶれ痕が認められる。                  |
| 35 | "  | 黒曜石  | 1.2        | 1.3       | 0.3        | 0.2       | C-4<br>(Ⅱ下、Ⅲ上層) | 完形。調整加工は丁寧。全体形に比して挟入は深い。所謂、楕型鏃である。    |
| 36 | "  | チャート | 2.0        | 1.7       | 0.3        | 0.6       | 630(Ⅲ層)         | 左脚部末端部を欠失。調整加工は丁寧。両側縁ともやや膨らむ。         |
| 37 | "  | チャート | 3.1        | 1.5       | 0.4        | 1.0       | 209(Ⅲ層)         | 完形。左右非対称で、先端部は先鋭性にかける。                |
| 38 | "  | チャート | 2.3        | 1.4       | 0.3        | 0.9       | B-5 攪乱一括        | 完形。両側縁の調整加工は丁寧。                       |
| 39 | "  | チャート | 1.6        | 1.4       | 0.4        | 0.7       | B,C-4(Ⅱ層)       | 完形。基部の挟りは浅い。裏面に素材剥離面を残す。              |
| 40 | "  | チャート | (1.6)      | 1.2       | 0.4        | 0.5       | 1388(Ⅲ層)        | 先端部を欠失。両側縁の調整加工は丁寧。                   |
| 41 | "  | チャート | (2.3)      | 1.5       | 0.3        | 0.7       | E-4(Ⅱ層)         | 先端部を欠失。調整加工は丁寧。                       |
| 42 | "  | チャート | (1.9)      | 1.4       | 0.4        | 1.0       | 1377(Ⅲ層)        | 先端部及び右脚部末端を欠失。                        |
| 43 | "  | チャート | (2.0)      | 2.0       | 0.5        | 1.1       | E-4(Ⅱ層)         | 先端部を欠失。左右非対称。脚部がわずかに外反する。             |
| 44 | "  | チャート | 2.5        | 1.5       | 0.3        | 0.9       | D-5(Ⅲ層)         | 右側縁部中位から基部にかけて欠失。基部に挟りは認められない。        |
| 45 | "  | 黒曜石  | (1.5)      | (1.4)     | 0.4        | 0.6       | D-3(Ⅱ層)         | 先端部と基部を欠失。                            |
| 46 | "  | チャート | 1.6        | 1.5       | 0.2        | 0.3       | D-3(Ⅱ層)         | 完形。調整加工は丁寧。両側縁ともわずかに内湾する。右側縁中央にノッチ。   |
| 47 | "  | チャート | 4.4        | (1.3)     | 0.4        | 1.4       | C-3(Ⅱ層)         | 左側縁中位から脚部を欠失。大型で調整加工は丁寧。              |
| 48 | "  | チャート | 1.4        | 1.1       | 0.4        | 0.5       | B-6<br>(Ⅱ下、Ⅲ上層) | 先端部をわずかに欠失する。調整加工は丁寧。左右両側縁とも膨らみを持つ。   |
| 49 | "  | チャート | (2.7)      | 1.2       | 0.5        | 0.8       | A-6 攪乱一括        | 基部を大きく欠失する。右側縁表裏面とも斜平行状の剥離で中央に稜を形成する。 |

Tab.10 金川遺跡 I - A区 石器観察表 - ②

| No | 器種  | 石材   | 計 測 値      |           |            |           | 登録番号        | 備 考                                     |
|----|-----|------|------------|-----------|------------|-----------|-------------|---|
|    |     |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |             |   |
| 50 | "   | チャート | (2.1)      | 1.4       | 0.4        | 0.8       | 1391(IV層)   | 基部を大きく欠失する。左右両側縁に錯交状に斜平行剥離を施す。          |
| 51 | "   | チャート | 1.5        | 1.5       | 0.4        | 0.7       | C-3(Ⅱ層)     | 完形。基部の抉りが施されない平基鏃である。裏面に素材剥離面を残す。       |
| 52 | "   | チャート | (2.2)      | (1.3)     | 0.4        | 0.6       | C-3より南(Ⅱ層)  | 両脚末端部を欠失する。両側縁は大きく内湾する。                 |
| 53 | "   | チャート | (2.3)      | (1.5)     | 0.4        | 1.1       | 1452(Ⅲ層)    | 両脚末端部を欠失する。両側縁は大きく膨らむ。                  |
| 54 | "   | チャート | (1.5)      | (1.1)     | 0.4        | 0.4       | 459(Ⅲ層)     | 基部を大きく欠失する。                             |
| 55 | "   | チャート | (0.9)      | 1.7       | 0.2        | 0.3       | 123(Ⅲ層)     | 先端部を大きく欠失する。裏面に素材剥離面を残す。                |
| 56 | "   | チャート | 2.4        | 1.6       | 0.4        | 1.35      | E-4より西(Ⅱ層)  | 両側縁部を粗い調整加工により作り出す。基部の作出は見られない。未完成品か。   |
| 57 | "   | チャート | 2.6        | 1.7       | 0.5        | 1.8       | 664(Ⅳ層)     | 表裏面とも粗い調整加工により全体形を整える。未完成品か。            |
| 58 | 石鏃  | チャート | 1.9        | 1.7       | 0.5        | 1.4       | 340(Ⅲ層)     | 三角形鏃。基部左側末端部をわずかに欠失する。                  |
| 59 | "   | チャート | 2.9        | 1.5       | 0.4        | 1.2       | 252(Ⅲ層)     | 完形。表裏面に大きく素材剥離面を残す。                     |
| 60 | "   | チャート | 3.2        | 1.4       | 0.4        | 1.2       | 1216(Ⅲ層)    | 完形。表裏面とも調整加工は丁寧。両側縁はやや鋸歯状を呈する。          |
| 61 | "   | チャート | 1.9        | 1.4       | 0.4        | 0.9       | 192(Ⅲ層)     | 先端部を大きく欠失する。基部の抉りは小さく逆U字形に作り出す。         |
| 62 | "   | チャート | 1.5        | 1.0       | 0.3        | 0.3       | 1324(Ⅲ層)    | 左側脚部を欠失する。裏面側に素材剥離面を残す。                 |
| 63 | "   | チャート | 3.2        | 1.3       | 0.3        | 1.1       | D-5(Ⅱ層)     | 完形。鏃長に比して基部の抉りはちいさい。両側縁はやや鋸歯状を呈する。      |
| 64 | "   | チャート | 2.3        | 1.7       | 0.4        | 1.3       | B-4(Ⅱ下、Ⅲ上層) | 完形。両基部は丸く作り出し、抉りは浅く広い。                  |
| 65 | "   | チャート | 2.2        | 1.8       | 0.5        | 1.4       | B-6(Ⅱ層)     | 両側縁部を粗い調整加工により作り出す。基部の抉りは施されない。未完成品か。   |
| 66 | "   | チャート | 1.4        | 1.2       | 0.3        | 0.3       | 1022(Ⅳ層)    | 右脚部末端部を欠失する。鏃長に比して抉りが深い。                |
| 67 | "   | チャート | 1.1        | 1.6       | 0.3        | 0.3       | 285(Ⅲ層)     | 先端部を欠失する。基部の抉りは小さく浅い。                   |
| 68 | "   | 黒曜石  | 1.2        | 1.0       | 0.2        | 0.2       | 100(Ⅲ層)     | 両脚部を欠失する。                               |
| 69 | "   | チャート | 1.8        | 1.5       | 0.3        | 0.6       | D-4(Ⅱ層)     | 先端部の尖鋭性を欠く。裏面側に素材剥離面を残す。                |
| 70 | "   | 黒曜石  | 1.7        | 1.3       | 0.3        | 0.4       | 475(Ⅲ層)     | 完形。基部よりで膨らみを持ち、中央付近からやや内湾ぎみに先細る。鏃型鏃。    |
| 71 | "   | チャート | 3.2        | 1.3       | 0.4        | 1.1       | A-7 攪乱一括    | 右脚部末端部を欠失する。鏃長に比して抉りは浅い。両側縁ともやや鋸歯状を呈する。 |
| 72 | "   | 黒曜石  | 2.2        | 1.4       | 0.3        | 0.5       | 227(Ⅲ層)     | 右脚部を欠失する。抉りの作出は深い。鏃型鏃。                  |
| 73 | "   | チャート | 1.5        | 1.0       | 0.3        | 0.4       | 526(Ⅲ層)     | 表面の両側縁に細かな剥離を施し、形状を整える。未完成品か。           |
| 74 | "   | チャート | 1.9        | 1.3       | 0.3        | 0.5       | 353(Ⅲ層)     | 左側脚部を欠失する。両側縁とも先端部よりで屈曲する。リダクションか。      |
| 75 | "   | 黒曜石  | 1.6        | 1.1       | 0.5        | 0.6       | A-7(Ⅲ層)     | 完形。先端部は丸く先鋭に作り出されない。                    |
| 76 | "   | チャート | (1.8)      | 1.2       | 0.4        | 0.7       | A-7(Ⅲ層)     | 先端部を欠失する。基部の抉りは小さく逆U字形に施す。              |
| 77 | "   | チャート | 1.9        | 1.3       | 0.4        | 0.5       | 1271(Ⅲ層)    | 完形。両側縁ともやや鋸歯状を呈する。                      |
| 78 | "   | チャート | (2.2)      | 1.2       | 0.4        | 0.8       | 665(Ⅲ層)     | 先端部を欠失する。左右非対称。                         |
| 79 | "   | チャート | (1.7)      | 1.3       | 0.4        | 0.7       | A-7(Ⅱ層)     | 先端部を欠失する。                               |
| 80 | "   | チャート | (1.2)      | 1.5       | 0.3        | 0.3       | E-3(Ⅱ下、Ⅲ上層) | 先端部末端を欠失する。調整加工は細かく丁寧である。               |
| 81 | "   | チャート | (2.2)      | (1.4)     | 0.4        | 1.0       | 451(Ⅲ層)     | 先端部と左脚部の末端を欠失する。                        |
| 82 | "   | チャート | 2.4        | 1.2       | 0.4        | 0.7       | 1230(Ⅲ層)    | 完形。左右非対称。裏面側に素材剥離面を残す。                  |
| 83 | "   | チャート | (2.4)      | 1.4       | 0.4        | 0.7       | 647(Ⅲ層)     | 先端部末端を欠失する。調整加工は細かく丁寧である。               |
| 84 | "   | チャート | (2.9)      | (1.4)     | 0.4        | 1.1       | 1470(Ⅳ層)    | 先端部と右脚部の末端を欠失する。表裏面に素材剥離面を残す。鏃型鏃。       |
| 85 | "   | チャート | (2.3)      | (1.2)     | 0.3        | 0.5       | E-3(Ⅱ層)     | 先端部と左脚部の末端を欠失する。                        |
| 86 | "   | チャート | (1.8)      | 1.8       | 0.4        | 0.5       | B-6(Ⅱ下、Ⅲ上層) | 先端部末端を欠失する。調整加工は細かく丁寧である。全体形は正三角形を呈する。  |
| 87 | "   | チャート | 1.6        | 1.2       | 0.3        | 0.3       | 88(Ⅲ層)      | 完形。左右非対称。裏面側に素材剥離面を残す。左側縁はやや丸みを持つ。      |
| 88 | "   | チャート | 1.9        | 1.0       | 0.5        | 0.6       | 518(Ⅲ層)     | 先端部末端を欠失する。左右非対称。リダクションか。               |
| 89 | "   | チャート | 2.1        | 1.6       | 0.4        | 0.9       | A-6(Ⅳ層)     | 先端部末端を欠失する。調整加工は細かく丁寧。                  |
| 90 | "   | チャート | 2.7        | 1.2       | 0.4        | 0.9       | B-6(Ⅱ層)     | 完形。調整加工は細かく丁寧。                          |
| 91 | "   | チャート | (2.2)      | (1.2)     | 0.3        | 0.4       | C-3(Ⅱ層)     | 左脚部を欠失する。両側縁ともやや鋸歯状を呈する。                |
| 92 | "   | チャート | 2.3        | 1.5       | 0.4        | 1.2       | 166(Ⅲ層)     | 先端と基部に調整加工が認められる。表裏両面に素材剥離面を残す。未完成品か。   |
| 93 | "   | チャート | (1.7)      | (0.8)     | 0.2        | 0.2       | 529(Ⅲ層)     | 基部を欠失する。                                |
| 94 | 尖頭器 | チャート | 2.7        | 0.7       | 0.5        | 0.7       | 517(Ⅲ層)     | 完形。調整加工は細かく丁寧。上下両端とも尖る。小型の尖頭器である。       |

Tab.11 金川遺跡 I - A区 石器観察表 - ③

| No  | 器種       | 石材   | 計測値        |           |            |           | 登録番号        | 備考                                      |
|-----|----------|------|------------|-----------|------------|-----------|-------------|---|
|     |          |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |             |   |
| 95  | "        | チャート | 3.2        | 1.0       | 0.4        | 1.4       | 100(Ⅲ層)     | 表裏両面とも素材剥離面を残す。基部は丸みを持つ。                |
| 96  | 石匙       | チャート | 1.8        | 4.2       | 0.6        | 3.1       | D-3(Ⅱ下、Ⅲ上層) | つまみ部の末端をわずかに欠失する。調整加工は丁寧である。横型。         |
| 97  | "        | 黒曜石  | 2.5        | 3.5       | 0.7        | 3.7       | D-3(Ⅱb層)    | 刃部中央右よりを欠失する。調整加工は丁寧である。横型。             |
| 98  | "        | チャート | 4.1        | (6.1)     | 1.0        | 16.2      | 736(Ⅲ層)     | 刃部左側端を欠失する。調整加工は丁寧である。横型。               |
| 99  | "        | チャート | 5.3        | 10.2      | 1.2        | 40.1      | D-5(Ⅱ層)     | 完形。調整加工は周縁から細かく丁寧に施される。裏面に素材剥離面を残す。横型。  |
| 100 | "        | チャート | 7.5        | 4.2       | 1.3        | 32.7      | 428(Ⅲ層)     | 完形。表裏面とも素材剥離面を残す。縦型。                    |
| 101 | "        | チャート | 3.8        | 4.2       | 1.0        | 9.8       | 1103(Ⅲ層)    | 刃部右側先端を欠失する。横型。                         |
| 102 | "        | チャート | 3.8        | (3.6)     | 1.1        | 11.5      | 607(Ⅱb層)    | 刃部左側を欠失する。調整加工は大まか。未成品か。                |
| 103 | "        | 安山岩  | 2.5        | 3.1       | 0.5        | 3.0       | AB-5 攪乱一括   | 刃部の左右両端を欠失する。表面側は磨耗し剥離が観察し難い。横型。        |
| 104 | "        | チャート | 4.9        | (5.6)     | 0.9        | 15.6      | 251(Ⅲ層)     | 刃部左側を欠失する。調整加工は丁寧。横型。                   |
| 105 | "        | チャート | 4.1        | 6.1       | 1.0        | 13.3      | D-3(Ⅱ層)     | 完形。表裏両面とも大きく素材剥離面を残す。横型。                |
| 106 | "        | 安山岩  | 2.5        | 3.1       | 0.4        | 2.3       | 80(Ⅲ層)      | 刃部右側先端を欠失する。裏面側に素材剥離面を残す。横型。            |
| 107 | "        | チャート | (4.2)      | 2.4       | 0.8        | 6.9       | 345(Ⅲ層)     | 縦長剥片を素材とし、打点部側にノッチ状の調整剥離を施す。未成品か。       |
| 108 | "        | チャート | 2.4        | (3.5)     | 0.7        | 4.6       | B-5 攪乱一括    | 刃部左側端を欠失する。つまみ部は大きく作り出す。横型。             |
| 109 | "        | チャート | 5.7        | 2.3       | 0.7        | 7.3       | 792(Ⅲ層)     | 縦長剥片を素材とし、打点部側にノッチ状の調整剥離を施す。            |
| 110 | "        | チャート | 2.1        | 1.65      | 0.5        | 1.0       | 43(Ⅲ層)      | 幅広い剥片を素材とする。調整加工はつまみ部のみである。             |
| 111 | "        | チャート | 3.9        | 3.1       | 0.9        | 11.0      | D-1 一括      | つまみ部、刃部左側と右側末端を欠失する。調整加工は丁寧である。横型。      |
| 112 | "        | チャート | 3.0        | 3.8       | 1.2        | 10.0      | 584(Ⅳ層)     | つまみ部の作り出しは表裏両面からなされるが、明瞭なノッチ状をなさない。未成品。 |
| 113 | "        | チャート | 3.5        | 2.5       | 0.7        | 4.6       | 436(Ⅲ層)     | つまみ部の末端を欠失する。横型。                        |
| 114 | スクレイパー   | チャート | 2.5        | 3.8       | 0.8        | 7.5       | 476(Ⅲ層)     | 表裏両面とも、調整剥離は周縁に及ぶ。                      |
| 115 | スクレイパー   | チャート | 5.0        | 3.5       | 1.0        | 14.1      | D-3(Ⅱ層)     | 調整剥離は右側縁裏面側に施される。                       |
| 116 | 石錐       | チャート | 3.2        | 1.4       | 0.7        | 2.6       | 636(Ⅲ層)     | つまみ部に比して、細かな剥離で錐部を作り出す。                 |
| 117 | "        |      | 3.4        | 1.4       | 0.9        | 3.2       | 520(Ⅲ層)     | 表裏両面とも素材剥離面を残す。                         |
| 118 | 楔形石器     | チャート | 2.8        | 2.4       | 1.1        | 8.3       | 825(Ⅳ層)     | 上下両端に小剥離痕が認められる。                        |
| 119 | 二次加工ある石器 | チャート | 3.5        | 1.8       | 0.8        | 4.0       | 242(105層)   | 裏面側に小剥離痕を認める。                           |
| 120 | "        | チャート | 2.2        | 1.9       | 0.6        | 1.6       | 1023(Ⅳ層)    | 表面上端に大まかな剥離を施す。ノッチ状を呈す。                 |
| 121 | "        | 黒曜石  | 3.3        | 2.8       | 1.1        | 7.6       | 723(Ⅲ層)     | 裏面側下 端部に剥離痕を認める。                        |
| 122 | "        | チャート | 1.8        | 2.4       | 0.4        | 1.6       | A-7(Ⅱ層)     | 剥片の折断面裏面側と右側縁に剥離を施す。                    |
| 123 | 使用痕ある剥片  | チャート | 4.1        | 2.9       | 0.6        | 6.2       | C-3より南(Ⅱ層)  | 表面下端部及び裏面側で打点部を除去するように剥離を施す。            |
| 124 | 二次加工ある石器 | 黒曜石  | 2.0        | 1.1       | 0.4        | 0.9       | 422(Ⅲ層)     | 表裏両面とも全周縁に調整剥離が施される。裏面中央に素材剥離面を残す。      |
| 125 | "        |      | 2.9        | 2.2       | 1.0        | 5.6       | 1259(Ⅲ層)    | 折断面を認める。表裏面とも周縁部に調整剥離が施される。             |
| 126 | "        | チャート | 4.2        | 4.8       | 1.0        | 15.4      | B-5 攪乱一括    | 表裏両面の周縁に調整剥離を施す。石匙かスクレイパーの未成品か。         |
| 127 | "        | チャート | 7.5        | 3.8       | 1.2        | 30.2      | 510(Ⅲ層)     | 横広剥片を素材とし、表裏両面の周縁部に丁寧な調整剥離を施す。          |
| 128 | "        | チャート | 2.45       | 2.6       | 0.9        | 4.7       | A-7(Ⅱ層)     | 表面右側縁に細かな調整剥離を施す。挟入削器か。                 |
| 129 | "        | チャート | 1.8        | 1.5       | 0.3        | 0.7       | 708(Ⅳ層)     | 表裏両面とも縁辺に連続した調整剥離を施す。                   |
| 130 | "        | 黒曜石  | 1.8        | 1.5       | 0.6        | 0.9       | 104(Ⅲ層)     | 下端部を欠失する。表裏両面とも周縁から調整剥離を施す。             |
| 131 | "        | チャート | 3.4        | 1.0       | 0.5        | 1.6       | A-6 攪乱一括    | 先細縦長剥片を素材とし、左右両側縁に調整剥離を施す。              |
| 132 | "        | チャート | 2.05       | 1.39      | 0.4        | 0.9       | A 7(Ⅱ層)     | 表面の縁辺に細かな調整剥離を施す。                       |
| 133 | "        | チャート | 3.0        | 2.5       | 0.8        | 6.6       | 1097(Ⅳ層)    | 表面側折断面より剥離を施す。                          |
| 134 | "        | チャート | 3.5        | 2.7       | 0.8        | 6.9       | 176(Ⅲ層)     | 表裏両面とも周縁に調整剥離を施す。                       |
| 135 | "        | チャート | 2.4        | 2.75      | 0.6        | 3.6       | 1137(Ⅲ層)    | 表面両側縁に調整剥離を施し、裏面側ではバルブを除去するように剥離が認められる。 |
| 136 | "        | チャート | 2.9        | 1.4       | 0.5        | 1.6       | 222(Ⅲ層)     | 左右非対称。表裏両面とも入念に調整加工を施す。                 |
| 137 | "        | チャート | 3.8        | 3.9       | 1.0        | 12.8      | A-7(Ⅱ層)     | 両側縁の上部は大まかな剥離で内湾し、表面下端部に調整加工が見られる。      |
| 138 | "        | チャート | 1.8        | 1.5       | 0.4        | 1.3       | 1351(Ⅲ層)    | 表裏両面のほぼ全周に調整加工が見られる。                    |

Tab.12 金川遺跡 I - A区 石器観察表 - ④

| No  | 器種          | 石材   | 計測値        |           |            |           | 登録番号            | 備考                              |
|-----|-------------|------|------------|-----------|------------|-----------|-----------------|---------------------------------|
|     |             |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |                 |                                 |
| 139 | "           | チャート | 2.7        | 1.0       | 0.4        | 0.8       | 103(Ⅲ層)         | 縦長剥片を素材とし、表面両側縁に調整加工が施される。      |
| 140 | "           | チャート | 3.0        | 2.2       | 0.7        | 5.1       | 753(Ⅲ層)         | 表面の左側縁と裏面側の両側縁及び下端部に細かな調整剥離を施す。 |
| 141 | "           | チャート | 2.8        | 2.2       | 0.5        | 3.2       | 1475(Ⅲ層)        | 表裏面とも両側縁に調整加工を施す。上下両端を欠失する。     |
| 142 | "           | チャート | 2.0        | 1.5       | 0.4        | 1.1       | 1327(Ⅲ層)        | 表面の両側縁と右側縁の裏面側に調整加工を施す。         |
| 143 | "           | チャート | 3.2        | 3.1       | 0.8        | 6.4       | 277(105層)       | 表裏両面とも両側縁に細かな剥離がみられる。           |
| 144 | "           | 黒曜石  | 2.4        | 2.5       | 0.8        | 4.1       | (Ⅱ層)            | 裏面側の左右両側縁上部に細かな剥離がみられる。         |
| 145 | "           | 安山岩  | 3.3        | 3.9       | 1.1        | 11.7      | B-6(Ⅱ層)         | 裏面側では、大まかな剥離によりバルブを除去する。        |
| 146 | "           | チャート | 2.6        | 3.7       | 0.7        | 5.0       | E-5(Ⅱ層)         | 表面左側縁に大まかな剥離が施される。              |
| 147 | "           | 流紋岩  | 7.7        | 4.7       | 1.9        | 45.7      | 984(Ⅳ層)         | 表裏面とも両側縁に大まかな調整加工を施す。           |
| 148 | "           | チャート | 3.8        | 4.4       | 1.0        | 12.2      | D-5(Ⅱ層)         | 裏面側にバルブを除去するように剥離が施される。         |
| 149 | "           | チャート | 3.7        | 3.2       | 1.8        | 19.9      | 一括              | 左側縁裏面側に調整剥離を施す。                 |
| 150 | "           | チャート | 4.0        | 4.5       | 1.9        | 30.3      | E-5(Ⅱ層)         | 裏面側の両側縁に調整剥離が施される。              |
| 151 | "           | チャート | 1.1        | 1.2       | 0.3        | 0.2       | 1234(Ⅲ層)        | 表面左側縁に大まかな剥離が施される。              |
| 152 | 使用痕<br>ある剥片 |      | 3.6        | 3.1       | 0.9        | 10.3      | D-2(Ⅱ層)         | 裏面側下端部に小剥離痕が観察される。              |
| 153 | "           | チャート | 4.1        | 4.3       | 1.0        | 11.6      | 1303(Ⅲ層)        | 幅広剥片の表面右側縁下端部より小剥離痕が観察される。      |
| 154 | "           | チャート | 4.7        | 4.7       | 1.3        | 20.6      | 1331(Ⅲ層)        | 幅広剥片の表面下端部より小剥離痕が観察される。         |
| 155 | "           | チャート | 5.8        | 4.7       | 1.7        | 37.5      | A-7 攪乱一括        | 幅広の不整形剥片の左側縁に小剥離痕が観察される。        |
| 156 | "           | チャート | 5.0        | 2.9       | 0.7        | 8.9       | D-2(Ⅱ層)         | 縦長剥片を素材とし、左側縁中央部に小剥離面が観察される。    |
| 157 | "           | チャート | 4.5        | 5.6       | 1.1        | 29.6      | 114(Ⅲ層)         | 幅広の不整形剥片の下端部に小剥離痕が観察される。        |
| 158 | "           | チャート | 3.0        | 2.4       | 0.9        | 5.5       | 845(Ⅲ層)         | 右側縁に小剥離痕が観察される。                 |
| 159 | "           | チャート | 11.1       | 8.2       | 3.3        | 245.1     | 211(Ⅲ層)         | 幅広の縦に長い大型の剥片。裏面側下端部に小剥離痕が観察される。 |
| 160 | "           | 黒曜石  | 2.2        | 2.0       | 0.5        | 1.5       | D-3(Ⅱ下,<br>Ⅲ上層) | 下端部に小剥離痕が観察される。                 |
| 161 | "           | チャート | 2.4        | 2.8       | 1.0        | 6.0       | D-4(Ⅱ層)         | 右側縁に小剥離痕が観察される。                 |
| 162 | "           | チャート | 4.8        | 3.0       | 1.0        | 10.4      | D-4(Ⅱ下,<br>Ⅲ上層) | 先細る縦長剥片の両側縁先端部より小剥離痕が観察される。     |
| 163 | "           | チャート | 3.9        | 2.9       | 0.9        | 6.7       | D-3(Ⅱ層)         | やや幅の広い縦長剥片。右側縁に小剥離痕が観察される。      |
| 164 | "           | 珪質頁岩 | 4.5        | 5.3       | 1.2        | 25.5      | 572(Ⅲ層)         | 幅広の不整形剥片の先端部に小剥離痕が観察される。        |
| 165 | "           | チャート | 4.6        | 3.0       | 1.3        | 12.9      | E-4以西(Ⅱ層)       | 縦に長い剥片の左側縁に小剥離痕が観察される。          |
| 166 | "           | チャート | 5.1        | 4.4       | 1.8        | 29.7      | E-5(Ⅱ層)         | 不整形剥片の先端部に小剥離痕が観察される。           |
| 167 | "           | チャート | 5.3        | 4.9       | 2.1        | 32.5      | E-4(Ⅱ下,Ⅲ上層)     | 不整形剥片の右側縁上部に小剥離痕が観察される。         |
| 168 | "           | チャート | 5.6        | 4.1       | 1.4        | 27.9      | 2Tr(Ⅱ,Ⅲ層)       | 不整形の縦長剥片。右側縁裏面側に小剥離面が観察される。     |
| 169 | 剥片          | 珪質頁岩 | 4.5        | 2.8       | 1.1        | 12.6      | 250(Ⅲ層)         | 縦長剥片。右側縁先端部より小剥離痕が観察される。        |
| 170 | "           | チャート | 2.9        | 3.4       | 0.8        | 4.6       | 232(Ⅲ層)         | 幅広の不整形剥片。先端部に小剥離痕が観察される。        |
| 171 | "           | チャート | 4.5        | 4.0       | 1.0        | 15.3      | 864(Ⅲ層)         | ノの字形剥片。右側縁に小剥離面が観察される。          |
| 172 | "           | 流紋岩  | 5.8        | 2.5       | 0.8        | 10.4      | 726(Ⅳ層)         | 縦長剥片。                           |
| 173 | "           | チャート | 4.7        | 5.9       | 1.5        | 28.8      | B-6(Ⅱ層)         | 幅広の不整形剥片。                       |
| 174 | "           | チャート | 4.8        | 2.9       | 0.8        | 8.5       | 45(Ⅲ層)          | 先細る縦長剥片。                        |
| 175 | "           | チャート | 4.9        | 3.8       | 1.2        | 18.1      | 1185(Ⅲ層)        | 幅広の不整形剥片。                       |
| 176 | "           | チャート | 5.3        | 4.9       | 1.3        | 30.5      | C-2(Ⅱ層)         | 幅広の不整形剥片。                       |
| 177 | "           | チャート | 5.4        | 3.2       | 1.5        | 20.1      | 593(Ⅳ層)         | 不整形の縦長剥片。                       |
| 178 | "           | チャート | 2.9        | 2.1       | 0.7        | 2.7       | A-7(Ⅱ層)         | 不整形の縦長剥片。打点部側を欠失する。             |
| 179 | "           | チャート | 1.4        | 2.0       | 2.5        | 0.5       | 454(Ⅲ層)         | ノの字形剥片。                         |
| 180 | "           | チャート | 1.8        | 1.35      | 0.25       | 0.6       | 1336(Ⅲ層)        | 不整形の縦長剥片。                       |
| 181 | "           | チャート | 3.6        | 3.4       | 0.6        | 4.2       | 4Tr①Ⅱ層          | 幅広の不整形剥片。                       |
| 182 | "           | チャート | 2.2        | 3.4       | 0.9        | 6.2       | E-3(Ⅱ層)         | 幅広の不整形剥片。                       |
| 183 | "           | チャート | 3.9        | 2.7       | 0.6        | 4.7       | E-5(Ⅱ層)         | 不整形の縦長剥片。                       |
| 184 | "           | チャート | 3.3        | 2.9       | 0.8        | 6.3       | E-5(Ⅱ層)         | 不整形の縦長剥片。                       |

Tab.13 金川遺跡 I - A区 石器観察表 - ⑤

| No. | 器種   | 石材   | 計 測 値      |           |            |           | 登録番号            | 備 考                                   |
|-----|------|------|------------|-----------|------------|-----------|-----------------|---------------------------------------|
|     |      |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |                 |                                       |
| 185 | "    | チャート | 4.1        | 5.4       | 1.2        | 16.5      | E-5(Ⅱ下,Ⅲ上層)     | 幅広の不整形剥片。                             |
| 186 | "    | チャート | 3.3        | 3.5       | 0.8        | 6.0       | E-5(Ⅱ下,Ⅲ上層)     | 幅広の不整形剥片。                             |
| 187 | 石核   | チャート | 2.3        | 4.0       | 2.8        | 24.2      | A-6(Ⅱ層)         | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不整形剥片を剥離する。     |
| 188 | "    | チャート | 1.45       | 2.0       | 1.2        | 2.7       | 283(Ⅲ層)         | 表裏両面とも剥片剥離が周縁をめぐるように行われる。             |
| 189 | "    | チャート | 3.5        | 3.8       | 3.0        | 22.0      | 828(Ⅳ層)         | 角礫状の原石を素材とする。頻繁に打面転移をし、幅広の不整形剥片を剥離する。 |
| 190 | 剥片   | 黒曜石  | 3.8        | 4.6       | 1.2        | 22.3      | 481(Ⅲ層)         | 円礫を素材とし、複数回の加撃により剥離された。分割礫。           |
| 191 | 石核   |      | 1.8        | 2.8       | 2.1        | 6.9       | B-4(Ⅱ下,Ⅲ上層)     | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不整形剥片を剥離する。     |
| 192 | "    | チャート | 4.4        | 4.7       | 3.1        | 56.6      | 438(Ⅲ層)         | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不整形剥片を剥離する。     |
| 193 | "    | チャート | 2.2        | 3.5       | 1.1        | 7.5       | D-5(Ⅴ層)         | 表裏両面とも剥片剥離が周縁をめぐるように行われる。             |
| 194 | "    | チャート | 7.4        | 13.9      | 8.7        | 848.0     | 表採一括            | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不整形剥片を剥離する。     |
| 195 | 原石   | 黒曜石  | 2.3        | 3.1       | 2.0        | 13.2      | 1252(Ⅲ層)        | 亜角礫。                                  |
| 196 | "    | 黒曜石  | 3.1        | 3.5       | 2.6        | 30.0      | B,C-4(Ⅱ層)       | 亜角礫。                                  |
| 197 | "    | 黒曜石  | 1.5        | 3.0       | 2.0        | 10.1      | 303(Ⅲ層)         | 亜角礫。                                  |
| a   | 磨石   | 砂岩   | 10.5       | 6.5       | 3.2        | 365.0     | 634(Ⅲ層)         | 叩きによる潰れ痕が全周に見られる。                     |
| b   | 石錘   | 片岩   | 5.2        | 4.3       | 1.2        | 44.0      | 598(Ⅲ層)         | 長軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |
| c   | "    | 片岩   | 6.0        | 6.1       | 1.6        | 93.0      | 698(Ⅲ層)         | 長軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |
| d   | "    | 片岩   | 8.8        | 7.6       | 2.7        | 248.0     | 215(Ⅲ層)         | 長軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |
| e   | "    | 片岩   | 9.4        | 8.1       | 1.7        | 189.0     | 388(Ⅲ層)         | 短軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |
| f   | 磨製石斧 | 安山岩  | 12.5       | 5.5       | 3.9        | 377.0     | 42(層記載なし)       | 基部を欠失。刃部以外敲打による形状調整。                  |
| g   | "    | 安山岩  | 11.8       | 5.4       | 2.5        | 305.0     | 131(Ⅲ層)         | 基部を欠失。刃部以外敲打による形状調整。裏面側が大きく剥落。        |
| h   | 敲打器  | 玄武岩  | 13.6       | 6.4       | 3.8        | 557.0     | 216(Ⅲ層)         | 上下両端に叩きによる潰れ痕あり。                      |
| i   | 磨石   | 砂岩   | 12.2       | 8.0       | 5.1        | 648.0     | A-5,6<br>グリッド以北 | 周縁に叩きによる潰れ痕。                          |
| j   | "    | 砂岩   | 11.3       | 10.5      | 5.6        | 977.0     | C-4 攪乱          | 周縁に叩きによる潰れ痕。表面側中央に磨痕あり。               |
| k   | 石錘   | 片岩   | 7.7        | 6.2       | 1.8        | 120.0     | C-3(Ⅱ層)         | 短軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |
| l   | "    | 片岩   | 8.1        | 6.5       | 2.6        | 211.0     | 3J-①(Ⅱ層)        | 短軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |
| m   | "    | 片岩   | 7.2        | 7.0       | 1.3        | 112.0     | F-3(Ⅱ層)         | 長軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |
| n   | "    | 砂岩   | 7.4        | 6.7       | 1.7        | 113.0     | D-2(Ⅱ層)         | 長軸両端に小剥離により紐掛け部を作り出している。              |

Tab.14 金川遺跡 I - B区 石器観察表

| No. | 器種           | 石材   | 計 測 値      |           |            |           | 登録番号       | 備 考                              |
|-----|--------------|------|------------|-----------|------------|-----------|------------|----------------------------------|
|     |              |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |            |                                  |
| 198 | 石鏃           | 黒曜石  | 1.9        | 1.4       | 0.3        | 0.5       | 表上一括       | 完形。基部に明瞭な抉りは施されない。               |
| 199 | "            | 黒曜石  | 2.5        | 1.2       | 0.4        | 0.6       | 125(Ⅴ層)    | 先端部と左脚部を欠損。両側縁ともやや鋸歯状を呈する。       |
| 200 | 二次加工<br>ある石器 | チャート | 3.4        | 3.1       | 1.1        | 10.0      | I-35 砂礫層一括 | 表裏面とも左側縁に抉入状の加工を施す。抉入削器か。        |
| 201 | 使用痕<br>ある剥片  | チャート | 3.9        | 2.2       | 0.6        | 4.6       | 286(Ⅴ層)    | 縦長剥片。左右両側縁の中央部に小剥離痕が観察される。抉入削器か。 |
| o   | 磨製石斧         | 砂岩   | 10.0       | 4.1       | 2.7        | 135.0     | F-3(Ⅱ層)    | 基部を欠失。刃部に刃こぼれ。全面磨く。              |

# 頭地田口 C 遺跡

## 第2節 頭地田口C遺跡の調査

### 1. 調査の方法と経過 (H15.4.9－H16.5.21)

- 4.9 発掘調査についての協議を行う。
- 4.15 現地での調査打合わせ。
- 5.16 調査事務所の設置、倉庫用プレハブ及び備品の搬入。
- 5.19 調査開始時期等の概要について、川辺川ダム砂防事務所及び村、地権者と打合せ。併せて、周辺の現地踏査を実施。
- 5.20 文化財資料室において、カメラ、レベル、トランシットを搬出。同日搬入。表土剥ぎ作業についての打合せ。調査区全域の境界線について確認。廃土作業の段取り等を確認した。
- 5.21 五木村教委と現場作業員等の募集方法について打合せ。川辺川ダム砂防事務所と調査工程を確認。
- 5.22 村教委と作業員に関する最終確認。
- 5.23 重機により表土除去作業を開始。調査区内には、伐採後の木や廃材、住宅敷地の石垣、基礎コンクリートが残存しており、まずその撤去から着手する。本日は廃材の撤去等のみにて終了。
- 5.26 表土剥ぎ2日目。Ⅱ区下段部の西南部付近の作業を実施。住宅の基礎コンクリートを除去して、運搬した後、バックホーで表土剥ぎを実施する。
- 5.27 表土剥ぎ作業3日目。
- 5.28 表土剥ぎ作業4日目。村教委 福原氏来跡。下段部においては、一部遺構らしき部分が確認され始めた。長楕円形の土坑と円形の小ピットがある。村教委の福原氏によると、隣接地での調査時にも長楕円形の土坑と円形の小ピット(土坑)がセットになって検出されている。小土坑については、底面に礎石が入っており、柱穴であろうとのこと。時期については、明確ではないが近世ではないか。長楕円形の土坑と小ピットとの関連については不明。
- 5.29 表土剥ぎ作業5日目。Ⅱ区下段部の中でも、中央付近の上段部に近い箇所の表土を除去した。この部分は盛土部と段差があり、過去の造成時にかなり切り土されているようで、遺物包含層の残存状態はあまり良くない。
- 5.30 表土除去作業終了。今回の表土除去作業につ

いては、下段部の中でも排水溝より右側部分で実施した。排水溝より左側部分については、段差があり排水溝をまたいで右半分に設定した廃土場へ廃土を運搬出来ないこと、また下段部左半の中で半分ずつ調査するのは、効率が悪いと判断して次回実施することにした。Ⅰ区盛土部の排水溝より左側については、4～5mの盛土がなされており、撤去は容易ではない。今後の下段部右半の調査成果により、遺構が拵がること予想されれば、撤去について川辺川ダム事務所に依頼すべきと考える。

排土場は、盛土部の排水溝より右側に設置。下段部の調査終了後、廃土を撤去の上、表土剥ぎを実施する。遺物包含層の残存状況はあまり良好ではなく、包含層からの遺物出土はほとんど見込めない。わずかながら出土している遺物は、土師器や近世陶磁器である。現段階では、遺構の時期を示すかどうかは不明であるが、遺構は近世の所産である可能性が高い。調査工程については、Ⅱ区を上段部と下段部(今回調査)に分け、Ⅰ区を上・中・下段の3段に分け合計5段階で進める計画である。6月から本格的に調査を実施するので、10ヶ月間として、各調査区(5段階)の調査は、約2ヶ月弱で進める必要がある。各調査区は、平均約1,800㎡であるので、月平均900㎡、そのうち5段階の調査区ごとに表土剥ぎが約1週間ほどかかることが予想されるため、7週間で1,800㎡を調査する予定を組む必要がある。

6.2 先週、表土剥ぎが終了した調査区の周辺(調査区の境界)について、調査区の掘削を開始する前にトランシットを利用して、その範囲を確認した。併せて、調査区周辺の杭が、雑草等で見えなくなっていたため、それらの位置を確認の上、草刈り作業を簡単に実施した。配布用の連絡網作成や出勤簿の作成等の事務を実施した。

6.3 作業員を導入しての作業開始。委託業務により調査区内のメッシュ杭設置作業を行う。先週終了した表土剥ぎ済の地区(Ⅱ区下段部)について、ジョレンによる清掃作業を実施。表土が少し残っている場所や攪乱により、表面が硬くなっている部分については、適宜、唐鍬や振り鎌などでやや深めに掘削及び清掃を行った。調査区は下段部の中でも、もっとも下(西

側)部分が深めの削平をうけており、表土削除を行った段階で既に、黄褐色粗砂土層が露出して遺構がみえかけている状況である。遺物包含層については、ほとんど残存していない状況で、あと1～2度清掃するとそれがそのまま遺構検出作業となると思われる。それより上の(東側)部分については、若干ではあるが遺物包含層である暗灰色もしくは黒色土が残存している。ただし、これらのどちらが完全な遺物包含層であるのかについては検討中である。確認されてきた遺構については、サラサラの黒色土が入るものと、やや汚い暗灰色土が入るものとに分かれるようである。これらの所属時期や出土遺物については検討中であるが、早めに決着をつけることにより見通しがつくと考えられる。清掃中に出土した遺物については、全て清掃一括で取り上げた。量は13号ビニール袋で1袋。縄文のチャート剥片1点(流入か?)古代～中世の土師器片(ややあり)、近世の土師器片、陶磁器(ややあり)であるがこれらのどの遺物が遺構と関連するのか、2次期あるのか、については検討課題である。

6.4 II区下段部の調査(作業員を導入しての)2日目。一部、各グリッドに残っている表土・客土層を除去。併せて、わずかに残存している包含層を掘削。ただし、この表土・客土除去作業と包含層の掘削作業については、それらがいずれも遺構検出面の上にわずかに残っているだけであり、この掘削中の土を表土と包含層で明確に分けることは難しい。包含層については黒色土層と暗灰褐色の層を確認しているが、これらがそれぞれ確実な時期を示す包含層であるのか否かはもう少し検討を要する。いずれも、非常に薄く、かつ部分的にしか残存していない。その他、下段部において、攪乱を多数検出。これらの攪乱についても掘削を開始した。

※とり決め事項

◎グリッド配置図は、別添(Fig.80)のとおり。当面、遺物取上げ等は、このグリッドごとに行うこととした。

◎遺構番号については、墓、住居址、土坑、小ピットにかかわらず、全て検出順にS番号を付すこととした。(S001...S002...S003)→その結果、小ピットにふった一群が掘立柱建物となった場合には、それらを総称してSB001等の番号を付すこととした。

この場合、遺物については小ピットごとに取上げる

ため、S001～S006のいずれかごとに遺物を取り上げることとなる。

6.5 昨日に引き続き、調査区全体(II区下段部)において、攪乱の掘削を行った。また、一部については、表土及び客土が残存しているため、その除去作業も併せて実施した。

6.6 昨日に引き続き攪乱の掘削を行う。家屋の基礎、廃棄坑がほとんどで来週も継続して行う必要がある。II層掘削では、I層表土、II層二次堆積層、III層遺物包含層、IV層(地山)遺構検出面と捉え、表土剥ぎで除去不十分であった、小礫混じりの茶褐色砂質土層(II層)の除去を行う。本日でほぼ除去完了。また、II区下段部IV層露出域は来週、遺構検出作業を行うこととしブルーシートをかける。

6.9 攪乱の掘削は、先週に引き続いての作業である。かなり数が多いため、時間がかかっている。また、包含層掘削時の参考とするため、攪乱の壁面を土層堆積状況の観察に利用している。もう少し作業に時間がかかる模様である。下段部の北側付近については、II層とIII層がやや残存している。ただし、どちらも全面に広がるものではないため、遺物取上げ及び掘削時にそれらを完全に分離することは難しい。SK043からは、古墳時代以降の土師器片が多量に出土。当初は、上層の砂利層がたまっているだけと考えていたが、遺構の可能性もある。ただし、現在、露出している面での堆積は不安定であり、すぐ下の黄褐色土層まで掘削して面を揃え、その段階で遺構検出を実施する予定である。

6.10 昨日梅雨入りしたが、本日は晴天。下段部に存在する攪乱の掘削を実施。確実に攪乱と判断したものについては、本日掘削を終了。最も西側の、一段低い部分については、IV層上面で本格的な遺構検出作業に着手。当初からIV層が露出していた部分も多いため、簡単に検出作業が出来ると考えていたが①部分的に上層の二次堆積層や攪乱層がかぶっていることと、②先週からの晴天による乾燥のため、少し時間がかかる模様。水を散布することと、まめにブルーシートをかぶせることにより、少しでも条件をよくすることにしたい。その他の地域は、II層及びIII層の掘削を継続中。

6.11 昼過ぎ、読売新聞西部本社の西野記者が来跡。

同時に村教委から佐藤教育課長、福原主事も来跡。Ⅱ区下段部の西側については、Ⅳ層上面における遺構検出作業を実施。掘り込みは多数確認できるが、部分的に上層の2次堆積層が残っていたり、切り合いが不明確なため、散水を行い丁寧に削りながら遺構検出作業を実施、長軸2m前後の長楕円形の土坑と、径1.5m前後の円形の土坑、径15～30cm前後の円形の土坑が検出されている。埋土には、炭が多量に入る黄褐色と淡黒色の丸いブロックが混ざり合うものと黒色のものがある。遺構と埋土の関係については、明確には不明であるが、それぞれ両方の埋土をもつものがある。遺構と埋土の関係については、遺構の切り合い関係と併せて、先後関係及び時期決定の際の重要な指標である。遺構検出作業時において、早めに明確にすることとしたい。

6.12 雨のため、現場作業は休み。図面作成のための杭の位置図をチェック。それを基にして、図面作成の準備を行う。また、写真撮影用の台帳も作成。今後は、その台帳による整理を行うこととした。

6.13 引き続き、Ⅱ区下段部西側で検出作業。午前中には検出を終え、午後に検出状況写真の撮影を行う。遺構については、長楕円形・円形の土坑に加え、幅1～2m程の溝状のものも確認。Ⅲ層の掘削については、Ⅱ区東側(上段部)のⅢ層(包含層)を段階的に掘り下げ中である。

6.16 雨天のため、室内にて図面作成。S=1/20全体図面のためのⅡ区割付。

6.17 雨のため、現場作業員による現場作業は休み。図面作成の準備作業等を実施。資料収集作業として、五木村内の墓碑群の資料を収集する。午後、曇りの間に、一部現地踏査を実施した。既に、移転されているものや、非水没地区については、そのままのものもある。

◎大久保地頭 田山氏の墓...墓3基、五輪塔2基。

◎田口地頭 渡辺雅楽の墓...六角柱で笠石(空風火輪)をのせたもの。台座不明。

◎田口の観音堂...本尊 十一面観音座像、蓮花九重座光背付。(調査区のすぐ南隣)

6.18 雨のため、本日も現場作業は中止。明日、台

風6号が上陸すると予想されるため、雨の中現場の安全管理作業を入念に行った。特に、廃土にかけてあるブルーシートの土のうによる固定の確認と、併せて調査区最西部の遺構検出作業済みの地区にかけているブルーシートの固定を行った。また、調査区及びその周辺において、台風により、飛散したりするものがないか、調査区内に崩れて危険な場所がないかの確認を実施した。また、合間を利用して、資料収集作業も実施した。五木村の字図を入手して、発掘調査及び報告書作成の際の基礎資料とした。

6.19 雨のため、現場作業は中止。台風6号が九州西部を通過。ブルーシートの随時かけなおしや見廻りを実施する。被害なし。

6.20 台風一過のため、調査区内の排水やブルーシートの水洗作業等を実施。予想以上に時間をとる作業となった。Ⅱ区下段部最西部で、先週金曜日に遺構検出作業を実施し、スプレーで引いていた遺構の線は、かろうじて残っていた。この部分に流れ込んだ土砂を除きながら清掃して、消えかけている遺構の線を引き直した。その後、遺構の掘削(全体の5cm下げ)を実施。ただし、一部が終了した段階で、この地域がもともと削平を受けており、残っている遺構の深さが浅いことが判明したため方針を変更し、先に平面図を作成してから、遺構は直接半裁して掘削することとした。その他は、東部の地区のⅢ層(包含層)掘削を実施した。

6.23 雨のため、現場作業員による作業は休み。Ⅱ区下段部において、昨日1mメッシュを組む準備をした。最西(下)部の地区について、以前割付していた図面に座標等を記入して、すぐに実測に入れるように準備を行う。ただし、また、雨による土砂流入のため、現場では再度、土砂の除去作業から開始しなければならないだろう。調査区に関連する文献(絵図等の)調査を実施。文化12(1815)年の「五木谷村絵図」下絵を調査。この図面には、五木村(五木谷)全体の建物の様子が描かれている。頭地の田口地区(今回の調査区)には、東俣の庄屋元が描かれており、旧診療所跡地付近が、東俣の庄屋元 渡辺雅楽氏の屋敷跡であるという話を裏付けている。問題点としては、この屋敷の跡地の正確な位置である。図によると、里道よりも川沿いに屋敷が描かれているがこの里道は国道

445号と同じであるか否かによって、調査区の位置付けが変わってくるため、注意が必要である。

6. 24 雨のため、現場作業は中止。川辺川ダム砂防事務所へ電話し、次の調査区の打合せを行う。

6. 25 川辺川ダム砂防事務所と今後の調査工程の打ち合わせを行う。

Ⅱ区下段部の南側の地区(グリッド名は、M-8G・N-8G付近)で遺構検出。既にⅣ層面が露出しており、昨日までの雨の後の清掃作業を兼ねて、同時に遺構検出作業を実施。途中のため、明日も継続する予定。遺構は、直径20cm前後の円形のpit、20~30cm前後の小形の小楕円形の土坑、直径5cm前後の円形の小pitが主なものである。他に、直径50~70cm前後の円形のpitと、径50cm前後の不定形の土坑があり混在している。それぞれの遺構においても、埋土が2~3種類あるようであり、遺構ごとの性格と先後関係の解釈を検討しながら、作業を進める必要がある。

O-5G・O-6G付近は、ごく一部Ⅲ層が残っていたため掘削を行い、Ⅳ層上面の検出を行った。明日も継続。O-7G付近は、電柱や水道管が残存する危険性があり、表土剥ぎをせずに残していたが、N-8G、M-8G付近において、遺構が多数、検出され始めたため、人力により、調査区の境界ギリギリまで、拡張を行った。土量が多いため、明日も継続。先週までに遺構検出を行っていたⅡ区下段部の最西部(グリッド名では、P-5G、P-6G付近)では、平面の実測を実施。明日も継続。

6. 26 川辺川ダム砂防事務所と、今後の調査工程について打ち合わせ。五木村教委 福原氏来跡。

作業は全て、昨日の作業の続きである。M-N-7・8G付近においては昨日と同様、遺構検出作業を実施。ほぼ終了したが、地面が乾燥しすぎたために明日再度、散水したのち、検出もれの遺構がないか確認。その上で時間があれば清掃を行い、遺構検出状況の写真撮影を行いたい。O-5・6G付近においては、昨日掘削し残しているⅢ層を掘削。一部を残してほぼ完了したため、明日以降遺構検出作業に入りたい。O-7Gの調査区拡張作業は継続中。かなり大変な作業である。Ⅱ区下段部の最西部(P-5G、P-6G付近)では、遺構の平

面実測を実施。図面を作成している最西部付近では、土坑の下部から拳大の大きさの礫が入るものが複数確認され、これらは掘建柱建物の基礎ではないかと考えている。多数の土坑の中から、まず組み合わせを探ることが、遺構の認定(掘立柱建物等)への近道かも知れない。とにかく、多数の土坑を検出しているが、徐々にその組み合わせが、みえてきつつある。

6. 27 朝から小雨がぱらついており、遺構検出作業や写真撮影及び遺構実測は出来ないと判断、午後からの作業は中止。昨日まで実測をしていたP-5・6Gについては、朝一番にブルーシートをかけて現場の保全をおこなった。そのため、作業は主として掘り方を中心に行った。具体的には昨日まで掘削をしていた、O-5・6G(中央部付近)のⅢ層掘削と、O-7G(西部部角)の調査区拡張作業である。昨日、遺構検出作業を実施したM・N-7・8G(南部付近)については、土日以降の雨に備えて、スプレーにより白線でラインを引いた。

6. 30 先週金曜日に引き続き、Ⅱ区下段部(O-5・6G)Ⅲ層掘削とO-7Gの調査区拡張を行う。O-7Gにおいては、切株の除去に時間がかかる模様。また、下段部最西端(P-5・6G)のブルーシートのかけ直しを行い、保全をはかる。

7. 1 昼前から降雨が激しくなったため、午後の作業は中止した。午後は図面整理。下段部(O-7G)付近の調査区拡張作業を実施。午前中のみのため、終了せず。先週、遺構検出作業を実施していたM・N-8Gの遺構検出状況の写真撮影を実施。朝から清掃作業を実施。ほとんどの作業時間をこれに費やした。午前11時40分頃から、写真撮影を実施した。

7. 2 O-8Gの人力による掘削もほぼ目途が立ち、Ⅲ層上面が露出次第精査を行う。N-7G周辺のM・N・O-7Gでは午前中精査を行い、午後一番に遺構検出状況写真の撮影を済ませた。やはり、遺構埋土3種類ほどに大別され、柱穴痕と考えられる小ピットが中心となる模様。

7. 3 O-8Gにおいては、本日からⅣ層上面での遺構検出に入る。検出までには、まだ時間を要するが集石遺構と思われるものも見受けられる。N-7Gでは昨日に引き続き、柱穴の配列などを考慮して精査確認を実

施。現調査区最北端際に排水トレンチの設定を行い、今後の雨天時に備える。

7.4 図面の整理を行う。

7.7 川辺川ダム砂防事務所から進捗状況についての問い合わせがある。五木村教委 福原氏、他1名来跡。Ⅱ区下段部 (N-6・7G 付近) では、わずかに残ったⅢ層掘削と合わせて、遺構検出作業を実施。以前実施したこの付近のⅢ層掘削が完全ではなく、部分的にⅢ層掘削を行うのと、遺構検出作業が同じ工程となった。南側の M・N-8G 付近に比較して、割合大きめのしっかりした土坑が多いような印象を受ける。作業途中で幾度か山特有の突然の降雨で同じ場所での作業を繰り返すこともあった。そのせいもあり、検出作業は、1/4グリッド (25 m<sup>2</sup>) 程度しか進まず、完全には終了していない。明日以降も継続する予定。Ⅱ区上段部のゲートボール場付近については、草木の伐採作業を開始した。

7.8 Ⅱ区下段部 (N-5-7G、O-5～7G) の遺構検出作業を実施。一部 (N・O-7G) 付近については、既に遺構検出作業を終了して、遺構検出状況の撮影を終了していたが、週末の降雨のため、平面プランのラインが消えている部分もあり、確認の意味も含めて、再度検出作業を実施した。その他の地区 (N・O-5・6G) については、遺構の検出を行った。この地区の遺構検出作業については、本日が初日である。一部包含層が厚めに残っていた部分もあり、少し時間がかかっている。明日以降も継続して行う予定。

7.9 朝、簡単な清掃作業を実施した後、遺構検出状況の写真撮影を行った (O-5・6G)。ただし、部分的に検出できていない遺構もある。特に調査区北端の M・N・O-5G 付近については、再度、遺構検出作業を実施。初めての遺構検出作業となった場所と、再度の作業となった場所がある。作業については、度々土砂降りの雨が降るため、その都度、水抜き作業から清掃作業を繰り返す。特に遺構検出作業が完了して平面ラインを引いた後でも、雨のためラインが消えることが多々ある。まめにシートをかけておくようになっているが、それでも対応出来ない事が多く、作業の進捗はあまり良くない。(M・N-7G) 平面図作成を実施するが天候が不安定のため仕上げる事が出来なかった。

7.10 作業については、ほぼ全て、昨日からの継続である。M・N・O-5-6G 付近の遺構検出作業を継続中。中でも M-5G、N-5G 付近は、かなりの数の遺構が密集して切り合っているため、遺構検出作業に時間を要している。ただし、土色は見やすく、時間をかければ、検出は難しくない。あとは、遺構の時期の先後関係と各遺構の組み合わせによる認定作業が難しいものと考えられる。P-5～7G 付近については、上部から流入してきているので、それらを除去している。

7.11 昨日に続いて、Ⅱ区下段部の M・N・O-5・6G の遺構検出作業を実施。作業員の数が少ないことと、調査員が1名のため、本日はこの地区の遺構検出作業にしばって作業を行った。その後、一部の人員により、P・Q-5・6G の土坑掘削を行った。遺構が多数存在し、切り合い関係が複雑なため、遺構検出作業は難航している。

7.14 O-6・7G 付近においては、先週に引き続き、遺構検出作業を実施。遺構の切り合いが多いため、検出作業は、あまり進んでない。P・Q-5・6G 付近においては、金曜日に引き続き、土坑の掘削を実施。土坑は、基本的には、大きなものは十字にベルトを残し、小さなものは半裁して掘削している。P・Q-5・6G においては、作成済の遺構平面図のコピーに、遺構埋土の土色を色分けして塗っている。これを遺構の認定 (掘立柱建物等) に利用する予定である。

7.15 雨のため、現場作業員による作業は終日なし。昨日までに作成した遺構平面図等の整理を行い掘立柱建物の認定作業の参考となるように検討を行った。

7.16 Ⅱ区下段部 (M-6G) では精査、検出を目指すか全ての検出には至らなかった。Ⅱ区下段部 (P・Q-5・6G) では、半分程度の土坑半裁を終える。明日また残りの土坑半裁を行う。埋土色別 (P・Q-5・6G)(M・N-8G) により、切合い関係・新旧関係・掘立柱建物 (SB) の検討材料とする。

◎基本的に検出した遺構には各々 (SK-001～) というように (SK- 通し番号) をつける。

これらの (SK) で (SB) になるようなピット群の組み合わせが認定されれば、さらにそれらを一くりに (SB- 番号) をつける。

7.17 I 区上段部の表土剥ぎ作業を実施。Ⅱ区下段

部 (M・N-6G) の精査・検出を行う。遺構密度 (大)・  
切合が複雑なため検出にはまだ時間が必要。P・  
Q-5・6G では昨日に引き続き土坑掘削。また、埋土  
色別、土坑番号ふりも同時に行う。I 区上段部の表土  
剥ぎを実施する。ただし、当初は0.4m<sup>3</sup>、1台、2日  
間で予定していたが、調査区内には予想以上に、礫や  
住宅基礎等の産廃が大量に存在していた。そのため、  
本日はその撤去のみで1日終了してしまった。当初の  
予定より、1日分オーバーすることが確実となったた  
め、重機の賃借日数の変更が必要と見込まれる。その  
ため、表土剥ぎを一時休止して、明日以降、変更契約  
の事務処理を行う。

7. 18 I 区上段部の表土剥ぎを、昨日で中断したた  
め、本日はII区下段部の調査のみ。II区下段部につい  
ては、M・N-6G 付近の精査を継続する。その間に併  
せて、P・Q-5・6G 付近の土坑掘削も実施。SK-057・  
058の断面の写真撮影も実施した。

7. 22 午前中は、まず昨日までの大雨による復旧作  
業を行う。II区下段部 (P・Q-5・6G、O-8G) の土坑  
掘削を実施。P・Q-5・6G についてはほぼ半裁が終わ  
りつつあるので、掘立柱建物 (SB) の認定をするため、  
土坑・ピット一つ一つを吟味。本日は、2軒程 SB 認  
定が出来そうである。明日も引き続き SB プランの検  
討を行う。

7. 23 II区下段部 (P・Q-5・6G) については、土坑の  
掘削を実施しながら、掘立柱建物の柱穴としての認定  
作業を実施。土坑の配置と、大きさ、埋土、深さをも  
とに検討する。II区下段部 (O-5～7G) 付近については、  
遺構検出作業を実施。多数の土坑が検出されるよう  
である。

7. 24 I 区上段部の表土剥ぎを再開。先週、構造物  
等の産廃を除去してしまったので、本日から、通常  
の表土除去作業を実施。約1/2(北半分)が終了。II  
区下段部 (P・Q-5・6G、O-8G) 付近については、昨  
日に引き続き、一部の土坑を掘削しながら、掘立柱建  
物の認定作業を実施する。配列として、直線的に、あ  
るいは90°に近い角度で曲がる配置の土坑は多いが、  
果たしてこれらが建物として認定できるかはしばらく  
検討を要す。

II区下段部 (O-5・7G) については、昨日と同様、

遺構の検出作業を行う。

7. 25 I 区上段部の表土剥ぎ、3日目。I 区上段部  
の南半分の表土剥ぎを実施して、作業は本日にて終了。  
II区下段部の作業については、昨日からの継続作業。  
P・Q-5・6G 付近では土坑掘削 (半裁) しながら掘立  
柱建物の認定作業を継続している。O-5～7G 付近に  
ついても、昨日までと同様、遺構検出作業を行う。土  
坑を検出しているが、埋土の色、土質が5～7種類程  
度に分かれ、複雑に切り合っている。

7. 28 II区下段部 (O-5・6G) では、遺構密度 (高)、  
切合い、埋土が複雑で検出に時間がかかる。(P・  
Q-5・6G) においては、SB が現段階で10軒程度確認  
できそうであるが、まだ認定までには至っていない。  
また、さらに SB が確認できそうであるが検討を要す  
る。(M-8G) も土坑半裁を行い、SB であるか検討を  
行う予定。

7. 29 II区下段部 (O-5・6G) の検出作業は本日では  
ほぼ終了。昨日に引き続き M-8G と N-8G の土坑掘削。  
午後から天候が不安定なため、SB の認定作業は思う  
ように進まない。

7. 30 II区下段部 (N-5G) 検出作業を本日から実施。  
O-5・6G 同様の遺構密度 (高) と思われ、時間がかか  
りそうである。本日の土坑半裁は N・O-7G で実施す  
る。少しでも多く土坑半裁を行うことで、面的に SB  
の認定に係る作業の指針としたい。午後からは、プ  
ルーシート洗いをを行う。

7. 31 本日は月末のため、作業員の人数も少なく、  
ほとんどの時間を現場周辺の除草作業に費やす。

8. 1 午前中は O-5・6G の清掃と先日までに終えて  
いた検出状況の写真撮影を行う。午後からは、O-5・  
6G の平面実測 (S=1/20) を行う。この間、大半の作  
業員は表土剥ぎ済みである I 区上段部の調査区整備に  
投入。表土剥ぎはほぼ遺構検出面上面まで行っていた  
が、多くの礫が表面に混在しているため、この除去に  
時間を費やしそうである。

8. 4 本日、表土剥ぎ済みの I 区上段部 (全域) で礫  
を除去しながらジョレンかけを行う。検出作業はII区  
下段部 (N-5G) に移行。O-5・6G との関係から密度は  
やはり高いと思われる。

8. 5 国交省川辺川ダム砂防事務所より進捗状況の間

い合わせがある。作業については、ほぼ昨日と同様。

I区上段部については、調査区全域のジョレンがけ清掃と周囲壁面の整形。I区下段部については、遺構検出作業を継続。未だ、終了せず。

8.6 全体の作業内容は、昨日からの作業の続きである。本日で、I区上段部(全域)の調査区の整形がほぼ終了。II区下段部の平面実測作業については、遺構密度が高いので、本日中には終了しない。

8.7 台風対策実施。I区上段部(全域)については、本日から清掃して、攪乱掘削に入りたいと考えていたが、まだ清掃が終了しない。II区下段部については、昨日からの続き。O-5Gについては実測終了。また、同時に台風対策を行う。

8.8 雨のため、現場作業はなし。図面整理などを行う。

8.11 I区上段部(全域)では北壁・南壁・中央にトレンチを掘削。IV層上面まで掘削し、今後の工程の検討材料とする。II区下段部(N・O-5・6G)では引き続き、平面実測と検出作業を行う。

8.12 本日は雨天により現場作業中止。

8.18 お盆あけ、初めての現場作業。I区上段部については、お盆前に設定したサブトレの掘削を継続。II区下段部については、やはりお盆前に作業をしていた遺構検出作業を継続する。II区下段部の同地域については、検出が済んだ場所から遺構平面実測を行う。

8.19 五木東小学校の写真撮影を行う。I区上段部では、トレンチの掘削が終了したため、全域においてIII層の調査に入る。遺物は近世～現代のものが混在し、一部、縄文土器や土師器片がある。II区下段部は、N-5・6G付近の遺構検出作業を継続する。地山が黄褐色土のため、遺構をみつけるのは、わりと容易ではあるが、遺構(小土坑、ピット)が多数検出できるため、その切り合い関係把握が難しい。II区下段部の実測は、(O-5・6G)付近等の、遺構検出が済んだ場所から作業を実施。解体が始まった五木東小学校の校舎を撮影する。(窓枠のみ外れた状態)

8.20 作業位置、作業内容は、ほぼ昨日までと同様。I区上段部は、全域でIII層を掘削。III層はかなり薄いので、掘削を行うと、すぐIV層上面が露出する。そのため、遺構が部分的に見えてきている状態である。II区下段部(N-5・6G)では、遺構の検出作業を行う。

II区下段部(O-5・6G)では、平面実測を継続。

国交省川辺川ダム砂防事務所と今後の調査区における留意事項を協議。協議内容は、次項のとおり。

① II区盛土部の現段の石垣盛土の撤去は、文化課で行う。

② 国道445号から、II区へ流れ込んでいる排水溝については、II区盛土部の調査前に、川辺川ダム砂防事務所側で水の切りかえ作業を行い、排水溝(調査区内のもの)については、撤去可能な状態とする。

③ I区中段部に残っていた植木については、川辺川ダム砂防事務所側から、村役場に撤去を要請する。

現在調査中の、I区上段部とII区下段部が、頭地大橋の橋脚(ピア)になる予定。

8.21 16時過ぎから、雷を伴う集中豪雨。I区上段部は、全域を少しずつ移動しながら、III層の掘削を継続する。出土遺物は近世が主体であるが縄文土器、土師器(古墳時代～中世)輸入陶磁器(中世)も出土し、包含層による時期特定は難しい。時期の下限は近世(16～17世紀)であるが、調査区は現代の宅地化により、ほぼ全域が削平されており、包含層が、現代、検出している遺構の時期を決定するプライマリーな状態のものではないと判断している。遺構の時期については、検出された遺物により判断するしかなく、調査区内の多くの土坑については、埋土やその規模によりグルーピングして検討するという方法をとらざるを得ない。なお、状況については、I区下段部も同様の状態である。II区下段部(O-5・6G)では、平面実測が終了した土坑から、半裁による掘削を開始。II区下段部(N-5・6G)では、遺構検出が終了していないため、検出作業を継続。II区下段部の遺構平面実測は、O-5G付近の残りとして、終了したN-5G付近について、実測作業を行う。川辺川ダム砂防事務所から連絡あり。①次はI区中段部の調査に入ってもらえないか、②また、年明けにはI区上段部、中段部の盛土工事に着手したいので、I区上段、中段部の調査を年内に終了することが可能かとの問い合わせであった。

I区中段部に調査が入り、年内に調査を終了することは可能であると回答。ただし、併せて、当初次に入る予定だったII区盛土部の人員を、I区中段部に入れざるを得ないため、年度末のII区盛土部とI区下段部

の調査終了が微妙になると回答した。

8. 22 村教委教職員10年目研修で、五木中学校の先生方(3名)が来跡。作業内容、地区については、ほぼ昨日までと同様。Ⅰ区上段部の全域において、Ⅲ層の掘削作業を行う。Ⅱ区下段部(N-5・6G)では、遺構検出作業を継続。Ⅱ区下段部(O-5・6G)では土坑の掘削(半裁)を行う。多数の土坑が切り合っているため、新しい土坑から順に掘削を開始する。半裁を開始した段階で、掘立柱建物等の柱穴であるかどうか確認しながら、それぞれの組み合わせも検討していくこととした。現在のところ、この地区周辺では掘立柱建物の認定は出来ていない。N-5G(Ⅱ区下段部)では、北側付近から平面実測の作業を行う。

8. 25 作業地区・内容については、ほぼ昨日までと同様。Ⅰ区上段部(全域)では、Ⅲ層の掘削を継続。攪乱の少ないグリッドについては、Ⅲ層がほとんど除去され遺構が検出されつつある。遺構検出作業に入る段階で攪乱があるグリッドについては、着手を後回しにしていたこともあり、まだⅢ層が一部残存している。Ⅱ区下段部(N-6G付近)においては、遺構検出作業を継続する。あと1/2グリッド程度を残すのみである。Ⅱ区下段部(O-5・6G)においては、平面での切合関係より、土坑群の中で新しいと判断(近・現代のものという意味ではなく、遺構の中で新しいという意味)した土坑から半裁を実施。併せて、掘立柱建物の柱穴として認定できるかの検討作業も実施する。ただし、本日までにこの地区で認定した掘立柱建物はないが30cm程度の柱痕は残っていた。土坑の形状は、隅丸方形であり、半裁した断面にも、柱痕跡らしきものが確認出来るため、柱穴である可能性が高い。ただし、径0.3m程度の柱1本をすえるために、これだけ大きい掘り方の土坑を掘削するのか?やや疑問である。

よほど大規模な建物の柱穴であるのか、この土坑の中に2本程度の柱がすえられており、掘削していない半分の方に痕跡があるのか、1つの土坑(柱穴)だけでなく、2～3の柱穴の切合いであるのか、今後、検討していかなければならない。

8. 26 朝からの雨(大雨洪水警報)のため、現場作業は中止。出来上がった写真の整理作業、作成済みの図面整理を行った。なお、収蔵システム用に現場写真、

図面台帳の整理及び作成も行った。その他、空撮準備、次回表土剥ぎの準備にも着手した。また、今週末が月末のため、出勤簿整理も実施。

8. 27 ①Ⅰ区上段部では、遺物包含層であるⅢ層の掘削を継続。ただし、この包含層は先日までに記した様にプライマリーな状態のものではなく、遺物も縄文時代の土器・石器(少量)、中世陶磁器(若干)、近世陶磁器(やや多い)、土師器片(時期不明、多)が混在して出土しており、遺構の時期決定の根拠とはなり得ないと考えている。Ⅱ区下段部では、遺構検出作業を継続。この地域が終了すると、ようやくⅡ区下段部の遺構検出作業は終了である。M-7G付近には、1/2グリッド大の方形に近い落ち込みがある。当初は、竪穴住居の切り合いとも考えたが、落ち込みのプランは不定形でよく観察すると、多数の土坑が切合っているようである。ただし、落ち込みの中央部付近は、色調が類似し土坑同士の切り合いを確認することが出来ない。中央部に行くに従ってやや深く落ち込んでいるようである。そのため、この部分は窪んでいた地形に周辺の土を入れて、周辺とレベルを合わせた整地層である可能性も考えられる。土坑群は半裁により、掘削を行う。埋土中に、多めのカーボンを含み明確な柱痕もある。

遺構検出作業が終了したものから、随時、平面図の作成を実施する。

※人為的に埋めたか、自然の落ち込みが埋没したのかは、不明→検討課題。

ただし、中に入っている土と周辺の土がブロック状に混ざるものではなく、真茶色の土が均一に入ることから、落ち込み部への自然の埋没であろうか?

8. 28 Ⅰ区上段部では、わずかに残存しているⅢ層の掘削を継続。Ⅲ層は、地形の変化点や宅地造成により削平されなかった部分にわずかに残るという状態である。Ⅰ区上段部の南側から、随時、遺構検出作業を実施することとした。本日は、B・C-7G付近に着手。ただし、降雨の影響によりプランを引いた線が消えやすいため、何度も同じ作業を繰り返す。Ⅱ区下段部の土坑半裁は昨日までと、目的・方法・作業地区もほぼ同様。Ⅱ区下段部のSX054周辺を精査(遺構検出作業)。プランはある程度はっきりしているが、今週は

悪天候のため、来週、再度精査の上、写真撮影、図面作成を実施する予定。遺構の平面実測は、Ⅱ区下段部のN-5G付近で継続。

8. 29 朝からの雨(大雨洪水警報)のため、作業員による現場作業は中止。調査員は、図面整理、出勤簿整理等の作業を行った。

9. 1 I区上段部では、大きく分けて3カ所の遺構検出作業を実施。Ⅳ層上面のため、遺構検出作業は容易であるが、全体的に人数が少ないことから進捗率は悪い。Ⅱ区下段部(D-5・6G付近)では、掘立柱建物の候補としていた土坑と、それらの組み合わせの検証作業を開始。具体的には、ベルト等を精査し上層を確認することが主な作業となる。大きめの土坑については、柱痕跡がはっきりと残るものが多く、また、それらにはそれぞれ柱の抜き取り痕が残る場合が多い。ただし、大きな一つの土坑だと考えていた土坑が、2つの大きな柱穴の切り合いであったものもある。この土層でいくと、P1とP2の柱穴の切り合いということになるが、この築造順序については、①P1の最初の掘り方を掘る。→②P1の柱を安定させるため、下の方の裏込めの土を入れて固める。→③その上に柱の基礎となる礎板を置く。→④P1の柱をすえて、左右に裏込めの土を込める。→⑤P2の最初の掘り方を掘る。→⑥P2の柱をすえて左右に裏込めの土を入れる。ここまでが柱を立ててるまでの工程。これによると、P1とP2は併存することとなる。→⑦P1を抜き取る。→⑧P2を抜き取る。

遺構底面実測作業は継続。

9. 2 猛暑。I区上段部では、遺構検出作業を継続。Ⅱ区下段部(P-5・6G)では昨日に続いて、遺構(掘立柱建物、礎石建物)の認定作業を実施。主として土層の観察から、①土坑の切り合いによる先後関係の把握や、②柱痕跡の観察による柱の大きさ、深さ、礎石の有無の確認。③抜き取り痕と柱を抜き取った時期及び方法の確認を行っている。特にこの3点を綿密に観察することにより、遺構のセット関係や建物の柱の構築方法が分かりかけてきた。構築の方法や廃棄(抜き取り)の方法等も、何種類かにグルーピング出来そうである。同じく、Ⅱ区下段部では、土坑の半裁による掘削も随時実施。浅い土坑が多く、建物等の柱穴となり

そうな土坑は意外と少ない。

Ⅱ区下段部の平面実測を終了。

\*補足

Ⅱ区下段部(P-5・6G)で確認した30~50cm程浅く掘って、礎石を据えたものについては、江戸時代の遺構と考えられる。

\*\* 昨日の日記にも書いたような1m前後の深い掘り方をもつ柱穴については、古墳時代~中世までのいずれかの可能性がある。土坑上部から新しい(江戸時代等)陶磁器が出土していると考えていたが、本当にこの土坑からの出土であるのか、検討しなければならない。「浅い土坑+礎石」(江戸時代の遺構)と後述の柱穴は、明らかに方向(主軸)を異にしており、時期が違うのは明白である。ただし、遺構の時期認定については、詳細な検討と情報が必要である。

9. 3 I区上段部では、遺構検出作業を継続。

Ⅱ区下段部(P-5・6G)では昨日までと同様、土層の観察と土坑の配置等による遺構の認定作業を継続。

Ⅱ区下段部(O-6G)も昨日までと同様、遺構(土坑)の半裁掘削を実施。

Ⅱ区下段部の現在の遺構検出状況を撮影。

9. 4 I区上段部では、清掃(精査)して遺構検出作業を継続。ただし、Ⅱ区下段部(③)の遺構認定作業に時間をとられたため、こちらの作業に調査員がはりつけず、検出作業はあまり進んでない。

Ⅱ区下段部(O-6G)の土坑掘削(半裁)作業を継続。土坑が多いため、作業には更に時間を要する。

Ⅱ区下段部(P-5・6G)の遺構検出作業については進展あり。

土層の観察により、掘立柱建物の可能性を考えていた2×1間の大型建物は隣接地の村教委の調査時にも全く同じ規格、同じ方向の建物が1棟検出されていた。柱穴は6穴で、短い方の間隔は2.5m、長い方は5mと、かなり離れている。柱穴の直径は、2.5m程度であり、かなり大きめの建物となる。ただし、この柱間隔と、3本×2列の配列も村調査のものと全く同じであり、位置的な配置も、ほぼ同じ(平行)に配列され川辺川及び、ほぼ南北方向に平行であるという興味ある配置である。川辺川を望む段丘の際沿いであるの

も、何らかの意味があるのではないだろうか。今後、村調査区との間も調査を予定しているので、同種の建物や同じ向きの建物等が検出出来ないか検討したいと考えている。

Ⅱ区下段部 (P-5・6G) においては、前述した掘立柱建物の他に、方向や土坑規模が類似する柱穴が多数確認されている。また、方向を異にした礎石建物も検出しており、非常に興味深い成果である。

9.5 作業内容については、ほぼ昨日までのものの継続。遺構検出作業は継続中であるが、部分的に削り足りない部分の清掃を主として行い、直接的な検出作業はほとんど行っていない。土坑掘削は、半裁しながら継続。遺構認定作業は、土層断面の確認を中心として実施。

9.8 I区上段部では、遺構検出を行う。本日より、本格的な検出作業を開始。同じグリッドを2回程、繰り返して精査したため、進捗はあまり良くない。I区上段部の東側 (Bグリッド列) 付近については、調査区内で最も高い場所であり、削平もはげしい。また、攪乱も多く遺構の残存度は悪い。

土坑掘削 (半裁) 作業を行う。浅い土坑 (黄褐色の地山とほぼ同じ色調の埋土) のものが多くこれについては、人為的な掘削痕であるのは間違いないが、何らかの意図を持つ掘削ではない可能性が高い。遺構として捉えるかを含めて、記録方法を検討する必要がある。

遺構認定作業については、先週までの方針は変更せず、徹底的に土層と平面・断面形態を観察することにより、遺構の認定を行う予定。

別途、図面に記した土坑は、掘立柱建物の柱穴として認定してよいと判断した (遺構名、番号未定)。1間×2間の掘立柱建物である。柱痕がそれぞれの土坑の中で片寄っているが、本遺跡の特徴として、柱は土坑の中央にすえずに、どちらか端にすえる傾向がある。これは、大・中の掘り方をもつ、柱穴において、共通する点である。また、ここに示した土坑については、2つ以上切り合っているものが多いことも、土坑 (柱穴の掘り方) が大きなものである理由の一つである。ただし、柱痕がそれらの中でも、やや端による傾向については、変わらない。

なお、この建物の左上 (東南) 角の土坑については、9/1(月)の日誌に記載したとおり、二つの柱穴の切り合いです。この時に二つの柱が同時併存している可能性を示し、若干の疑問も提示したが、詳細な土層観察をもとに検討した結果、最初の掘り方及び抜き取り痕とも確認された切り合い関係からP2の方が、P1より新しいと判断した (P2P1呼称は便宜上のもの)。この掘立柱建物の柱痕はP2と判断しているため、この掘立柱建物より古い礎石をもつ建物が存在すると思われる。ただし、現状ではP1とセットになる柱穴は見つけきれていない。

土坑掘削に伴って修正が必要な平面図について、修正を実施。

9.9 I区上段部は、遺構検出作業を継続。径20cm前後の小円形の土坑、径50~60cm前後の中形の土坑、径1m前後の隅丸長方形の土坑の3種類位に形態としては分かれる。その他、それぞれが土坑埋土で数種に分かれるが、詳細な分類はこれからである。土坑掘削 (Ⅱ区下段部) も半裁による掘削を継続。浅い土坑 (用途不明) が多いが、明らかに柱痕跡であると判断出来るものを残す柱穴や、非常に深くまっすぐに据えられている土坑 (おそらく柱穴) が散見される。Ⅱ区下段部 (P-5・6G) では、今週中を目途に、この地区の遺構認定作業を終了すべく作業を継続中。大きめの土坑 (柱穴) については、ある程度規格的な配列となり、掘立柱建物として認定出来そうなものもある。これら建物及び建物候補は、川辺川に併行して配置されており、ほぼ南北 (東西) 方向に配列されている。平面図修正も継続して作業を行う。

9.10 I区上段部では、遺構検出作業を行う。ただし、写真撮影の関係もあり、午前中は撮影準備を中心に行ったため、午後はもれている遺構を探すべく作業を実施した。Ⅱ区下段部での、土坑掘削を継続。作業人数が少なかったため、あまり進んでいない。Ⅱ区上段部 (P-5・6G) の遺構認定作業も、人数が少なかったため、昨日の作業内容の確認に終始した。明らかに柱穴であるが、セットがみつからないものが、まだある。Ⅱ区下段部 (全域) で、土坑の掘削に伴い、修正する必要が生じた図面を作成する。I区上段部では、朝一から写真撮影のための清掃を実施し、や

や広めのカットで検出状況を撮影(3カット)した。ただし、検出しきれていない遺構もあるため、部分的にグリッドごとに検出状況は再度撮影する予定。

9.11 I区上段部の遺構検出作業は、前日までに終了していない部分及び検出もれがある部分を中心に実施した。土坑掘削(半裁)作業(Ⅱ区下段部)も、引き続き継続。土坑の多さから半裁してからの掘削は、かなり手間取っている。かなり深く掘り込んだ柱穴もあり、巨大な建物が存在したのではないかとの想定もしている。掘削に伴い、修正が必要な平面図は、随時修正作業を行っている。午前中からの天候の悪さ、特に午後の突発的な雨のため、作業の進捗は悪かった。

P-5・6Gの遺構認定作業も、本日は実施せず。図面も午後は作業できなかった。

9.12 台風14号が九州の西側を通過。現場作業は中止。現場プレハブにおいて、昨日までの作成図面の整理を実施した。これは、Ⅱ区下段部(P-5・6G)付近の遺構認定作業を主眼として実施したものである。定期的に台風による被害等はないか、現場の見回りを実行した。

9.16 I区上段部では、里道沿いで検出もれのあったD-5・6G付近を精査し、遺構を検出した。これによりI区上段部の南半(B・C・D-5・6・7G)は遺構検出が終了した。明日、検出状況の写真撮影を行う予定。

I区上段部の北半は現在まで部分的にしか遺構検出をしておらず、本日もC・D-3・4G付近の清掃作業のみとなった。明日以降、本格的な検出作業に入る。

Ⅱ区下段部(M・N-5・6G)付近では土坑半裁を継続。最も浅く径20cm前後の不明小土坑については、土色のみ記録して、それぞれを完掘することとした。土色・土質は「黄褐色(Hue2.5Y5/4)細砂」である。

遺構認定作業も併行して実施。土層の断面の確認を基本として、再度掘立柱建物もしくは礎石建物の柱穴としての、それぞれのセットを確認した。認定にはもう少し時間がかかる。

図面修正も必要に応じて継続する。

五木村教委と10月以降の作業員の増員について相談。

9.17 I区上段部北側(C・D-3G)付近の清掃と攪乱の掘削作業を行う。

I区上段部南半(D-7G周辺・D-6G周辺・D-5G周辺)では、遺構検出状況の写真撮影を行う。全3カットを35mm(モノ・ポジ)、6×7版(モノ・ポジ)で撮影。

その後、I区上段部南側(C・D-7G)付近では、土坑掘削に入った。攪乱は掘りあげ、土坑については半裁した。

遺構検出作業(Ⅱ区下段部C・D-5・6G)では、かなり労力を費やして継続する。新たに認定した建物はなし。非常に難しい。

土坑掘削(Ⅱ区下段部、N・O-5・6G)は、昨日記した黄褐色の小土坑は全て完掘。その他は半裁にて掘削を継続する。

9.18 国交省川辺川ダム砂防事務所から連絡あり。国交省・県・五木村による三者協議の日程調整の依頼あり。

I区上段部においては、攪乱の掘削と土坑の半裁を実施。B・C・D-7Gにおける土坑の半裁による断面観察では、現在のところ明らかに柱穴の柱痕跡と言えるものは見つかっていない。ただし、土坑の形態的に、深く真っすぐ掘り込まれているものもあり、それらが柱穴であるのかどうか検討する必要がある。

Ⅱ区下段部(P-5・6G)での遺構検出作業は継続。

Ⅱ区下段部(N・O-5・6G)での土坑の半裁と、一部の浅い小土坑の完掘については、昨日までに記した方法により継続中。

川辺川ダム砂防事務所から連絡あり。例年実施している、川辺川ダム事務所、県、五木村、相良村(今年度は調査・整理ナシのため、不参加の予定)による三者協議を実施したいので日程の調整をして欲しい、とのこと。10/6の週が希望とのことであった。

9.19 川辺川ダム事務所、県文化課、村教委の三者協議の日程が、10/6(月)10:00～に仮決定。

I区上段部では、攪乱の掘削及び土坑の半裁を実施。Ⅱ区下段部と同じく、土坑内の片側による柱穴等を検出した。当遺跡の特徴である。Ⅱ区下段部(P-5・6G付近)の土坑は、半裁もしくは浅いものは完掘の作業を実施。この方針は昨日までのとおり。Ⅱ区下段部(P-5・6G付近)の遺構認定作業については、ほぼ本日一通りの目途がついた。

9.22 現場作業は中止。

9. 24 I区上段部では、検出した土坑を半裁する。先週、記載した片側に柱痕跡が偏る土坑や浅めの土坑に径30～50cm大の平らな礫(おそらく礎石)が入るタイプがある。それぞれの明確な時期は不明。

II区下段部も引き続き土坑を半裁。

II区下段部(P-5・6G)について先週、掘立柱建物、礎石建物の認定が確定したので写真撮影を開始。

9. 25 I区上段部では、土坑半裁を継続。径30～50cm前後の5～6カ所の土坑(形態・大きさ・深さは様々である)の底面には白色の粘土(粘質土)をしきつめて平たくしているものがみられる。ピンポールをさすと、その下に色が確認出来るものもあり、礎石をすえてさらに粘土で平面をつくり、柱を安定させる目的があるのかも知れない。II区下段部は、土坑半裁を継続。II区下段部(P-5・6G)は、建物遺構(SB004遺構)の個別全景写真を撮影、その後各建物遺構のPit(柱穴)の断面の撮影に入った。

9. 26 I区上段部、II区上段部ともに昨日までと同様、土坑の半裁を継続。特に新たな所見はなし。II区下段部で、土坑断面の写真撮影を試みたが、晴天による影のため、断面が良好に写らず撮影をとりやめた。

9. 29 土坑については半裁による掘削を継続。II区下段部の土坑掘削についても継続。規模が小規模で浅い土坑については、断面に柱痕跡も確認出来ないことから、すべて掘り上げることにした。II区下段部(P-5・6G)については、掘立柱建物の個別の柱穴の断面を撮影。

9. 30 I区上段部においては、土坑を半裁。新たに検出した土坑及び掘り忘れの土坑については、平面全体を5cm下げて柱穴の有無等を確認する。明らかに柱穴と認定出来るもの他、小規模な黒色の穴もあり、柱穴としての認定にはもう少し検討が必要である。

II区下段部も、I区上段部と同様の方法、考え方により、土坑を半裁等により掘削する。こちらでは小規模の遺構との認定が難しいPitについては、完掘することとして、掘削を進める。

II区下段部(P-5・6G)の掘立柱建物群については、柱穴の断面の撮影。

10. 1 I区上段部(B・C・D-5～7G)で土坑を半裁。その他、周辺に検出もれの遺構がないか精査を実施。

I区上段部(B・C・D-4G)の精査(遺構検出)後に、検出した土坑を掘削(平面全体を5cm下げ)。

II区下段部(N・O-6G)では土坑を半裁。

II区下段部(M・N-5・6G)で掘立柱建物の柱穴として認定しなかった浅い土坑や柱痕跡の無い土坑について完掘作業に入った(平面図と土色は記録済)。

II区下段部(P-5・6G)については、掘立柱建物の柱穴の断面撮影を行う。

10. 2 I区上段部(B・C・D-5～7G)で検出して掘削しなかった土坑を平面で全体5cm下げる。

I区上段部(B・C・D-3～4G)で遺構検出作業を実施。この北半地域についてはほぼ検出が終了。

II区下段部(M・N-5・6G)では昨日に引き続き、土坑の完掘作業を行う。

II区下段部(P-5・6G)では昨日に引き続き、掘立柱建物・礎石建物の土坑断面を撮影。

10. 3 現場作業員による作業は休み。

調査員2名による平面図の修正作業を実施。図面修正の内容については、平面図ポイントの確認。平面図上の座標確認、各図面のつながり部分の確認等である。その他、未実測の地区の平面図作成も行った。

10. 6 川辺川ダム砂防事務所、村教委、県文化課の三者協議を実施(10:00～相良村川辺川ダム砂防事務所)。

I区上段部(B・C・D-3・4G)の土坑掘削については、先週の続き。II区下段部(M・N-5・6G)の土坑掘削については、先週の続き。掘削作業も継続する。II区下段部(M・N・O-5・6G)においては、遺構の認定(掘立柱建物)を実施した。

10. 7 I区上段部では、遺構検出をしながら検出済の土坑を掘削。まず、平面全体を5cm程下げ、柱痕跡がないか確認した上で半裁に移る。一部5cm下げが終了していない土坑があるが、全体の検出はある程度進んでいる。II区下段部は、昨日から引き続き、土坑の掘削作業を継続する。II区下段部(P-5・6G)においては、掘立柱建物の撮影(特に柱穴の断面)を実施。

10. 8 I区中段部で表土剥ぎを開始。

II区下段部は、昨日まで継続していた土坑の掘削に全員でかかる。掘削する土坑は、掘立柱建物の柱穴と

は考えにくい土坑を掘削することにした。Ⅰ区中段部の表土剥ぎ作業を開始、まずはⅠ区上段部とⅠ区中段部間の里道を撤去することとした。途中、里道下にある水道管の(撤去)付け替えに手間取った。

10.9 Ⅰ区の表土剥ぎ(中段部)は2日目。作業については基本的に昨日までと同様。

中段部の表土剥ぎに入る。最も山側の(東側)里道部分から着手した。

Ⅰ区上段部の遺構検出面である黄褐色土表面まで重機により除去。それより上は直上から全て表土もしくは客土であり、現在のところ、遺物包含層は確認していない。土坑(Ⅱ区下段部)については、昨日までと同様、土坑完掘を継続する。Ⅱ区下段部(P-5・6G)においては、掘立柱建物の柱穴の断面写真を撮影。

10.10 Ⅰ区中段部表土剥ぎ3日目。Ⅰ区中段部の表土剥ぎとⅡ区下段部の土坑掘削に分かれて、作業を実施。作業員は全てⅡ区下段部の土坑掘削に入る。Ⅰ区中段部は里道西側のEグリッド付近の表土剥ぎを中心に実施。昨日同様、遺物包含層は良好な状態では残存していない。午前中はEグリッドの表土剥ぎを中心に実施。昨日撤去した里道の残土と午前中に実施した表土剥ぎ残土の撤去、運搬を中心に行った。Ⅱ区下段部の土坑掘削は昨日までと同様。

10.14 朝からの雨のため、現場作業は中止。Ⅰ区中段部の表土剥ぎは、雨の中終日実施(4日目)。Ⅰ区中段部の表土剥ぎは継続して実施。E・Fグリッドの南側(旧ゲートボール場の西隣)を中心に実施したが、家屋解体時の廃材をほぼそのまま埋めてあり、その深さは、3~4m(0.4m<sup>3</sup>バックフォアのアームが届かない程であった。そのため、当初は全てを掘り上げる予定であったが危険防止のため埋め戻すこととした。この巨大な攪乱の処理に手間取ったため、表土剥ぎ作業の進捗はかなり遅れた。Ⅱ区下段部の遺構配置図を作成して掘立柱建物検討材料とした。

10.15 表土剥ぎ(Ⅰ区中段部)は、5日目。攪乱が多く土層把握に時間がかかったことなどから、作業の進捗は良くない。Ⅰ区中段部全域が明日までに表土剥ぎを完了できるかは、不確定な状況である。土坑掘削(Ⅱ区下段部)では、一昨日の作業を継続。半裁していた土坑を完掘する作業を継続している。

10.16 Ⅰ区上段部表土剥ぎ6日目。本日にて終了。全体的に攪乱が多いことや土層の把握に手間取った事等から、調査区の西南部付近で、一部表土剥ぎが終了していない地域が残った。この地域については、再度表土剥ぎを行う必要がある。Ⅱ区下段部の土坑掘削(完掘)作業については、昨日までの作業を継続。Ⅰ区上段部(北半)では、土坑掘削(半裁)を実施。Ⅱ区下段部(P-5・6G)では、先日までに続き土坑断面(掘立柱建物)の撮影を再開。

10.17 Ⅰ区中段部では重機による表土剥ぎが終了したため調査区内の環境整備(ジョレンかけ等)を中心に行った。調査区端の整形や重機による凹凸の撤去、攪乱の除去等であるが、かなりの作業量があり、あと数日はかかりそうである。Ⅱ区下段部の土坑掘削については、昨日までと同様に継続。Ⅱ区下段部(P-5・6G)の掘立柱建物の柱穴(土坑)の断面を撮影。昨日よく撮れなかったものを中心に撮影した。

10.20 Ⅰ区中段部は、表土剥ぎ後の環境整備が中心。斜面部のため、重機の刃による凹凸が大きく、やや難渋している。また、上層部分が削平され、下層の礫層が露出している部分もあり、土層の把握を困難にしている要因の一つである。土層把握のため、地形にそったトレンチを多めに設定して早めに土層の把握を行いたい。Ⅱ区下段部の土坑掘削(完掘)の方針と方法は従前のおりである。

10.21 Ⅰ区中段部については、昨日までに大まかな凹凸(調査区内)の除去や周辺の法面付近等の整形が一段落したため、全域でジョレンかけによる清掃作業に入った。昨日までと比べて、やや丁寧な作業となるが、攪乱の多さから、やややりにくい作業となっている。Ⅰ区中段部の中を東側から西側方向へ進めることとしている。Ⅱ区下段部の土坑掘削は、少人数で作業を継続。

10.22 Ⅰ区中段部はジョレン清掃が主体。昨日とほぼ同様の作業だが、Ⅰ区中段部の東側(Ⅰ区上段部との境付近)に巨大な攪乱が存在するため、その輪郭部分のみを掘削することとした(家屋廃材が大量に入っているため、完全に掘り上げるのは不可能)。Ⅱ区下段部の土坑掘削は、同一方針で継続。

10.23 ジョレン清掃(Ⅰ区中段部)の作業は昨日か

らの継続作業である。攪乱も多く、同時に実施している攪乱掘削も時間がかかりそうである。本格的な調査の体制に入れるまでには、しばらく時間がかかる。Ⅱ区下段部の土坑掘削は、昨日までと同様。

10.24 ①Ⅰ区中段部は、継続してジョレン清掃と攪乱掘削を実施。中段部の東側(上段部のすぐ隣側)付近は、上層の遺構面が全て削平されており、下層の礫層(20~40cm大)が露出している。この部分で、この礫層を掘り下げたら、家の廃材が埋められており、攪乱部分の確認が難しい。ただし、いずれにせよこの付近では遺構は確認できない。

②Ⅱ区下段部の土坑掘削の方針、方法は同様のまま継続。

10.27 引き続き調査区整備。複数の巨大な攪乱坑の範囲もある程度確認できた。

ジョレン清掃もほぼ終了し、精査に入れるかと思われる。SBの検出を目的に土坑掘削・清掃を行う。どれくらいのSBが検出出来るかわからないが、半裁完了土坑を一つひとつ精査している。

10.28 Ⅰ区中段部は、ジョレン清掃と攪乱掘削を実施。調査区内に多数存在する攪乱の本格的な掘削に着手したため、ほとんどの人数をこの作業に配置した。攪乱は巨大であること、下(部)層の礫層が露出している部分が多く、水路等で流れ込んだ礫か下層の礫か判断しづらいことから、通常の攪乱掘削のように簡単にはいかず、やや困っている。Ⅱ区下段部では、少人数で昨日までの完掘作業を継続。

10.29 Ⅰ区中段部の清掃と攪乱の掘削は、ほぼ本日で終了。ただし、この攪乱掘削は昨日までに記載していたとおりの巨大な攪乱であり、通常の遺構検出面での小規模な攪乱の掘削ではない。この作業については、明日以降取り組まなければならないだろう。攪乱掘削が終了したことにより、土層の確認作業を始めたが、やや不明確な部分がある。明日以降、検討しなければならない。Ⅱ区下段部の土坑掘削(完掘)作業も引き続き継続。Ⅱ区下段部においては、これまでに検出した掘立柱建物を、再度図面上でまとめた。来週、最終確認を実施するための前作業である。

昨日までにⅠ区中段部のジョレン清掃が終了したことと、月末のため、人数が少ないことから、本日は

Ⅰ区上段部(北半付近)で完了していなかった土坑の半裁作業のみ実施した。これは以前、平面全体の5cm下げを実施した段階で止まっていたので、次の段階の半裁作業を開始した。本日の時点では、遺構の時期が確定出来るような遺物の出土はなかった。

10.31 本日は、Ⅰ区上段部(北半部)の土坑掘削を行う。土坑掘削については、昨日までと同様に、土坑を半裁した。5cm程下げた段階で、柱痕跡が平面で確認出来るものは少なかったが、確認出来たものについては、既に平面形を図面で記録している。それ以外の土坑についても、半裁した状態で断面に柱痕跡が確認出来るものが多い。半裁して断面にも柱痕跡が確認出来ない土坑については、別の用途を考えなければならないであろう。

11.4 Ⅰ区上段部の北半部について、土坑掘削(半裁)を実施。Ⅰ区中段部で大まかなジョレン等による清掃が終了したので、遺構検出の前段階の丁寧な清掃作業を開始。ただし、部分的に表土や攪乱が残っている場合も多く、遺構検出までには若干の時間を要する。Ⅱ区下段部では先週までに引き続き、掘立柱建物を認定するために、土坑断面や平面を精査した。

11.5 朝からの雨が強くなってきたので、現場作業は午前中のみ実施した。Ⅰ区中段部の表土剥ぎ。

朝から雨であったため、Ⅰ区中段部の東側(上段部側)の攪乱掘削を実施。

表土剥ぎは終日実施。Ⅰ区中段部の西側(下段部側)付近が、全体的に剥ぎ足りないのではないかと考え、中段部の西北地域を掘削した。現在、出している面が盛土であったこともあり、実際の遺物包含層までは、1.5~2m程深い場所もあった。斜面(東→西側方向)であるが、その勾配が当初の想定よりもかなり激しいものであった。

11.6 本日の作業は、Ⅰ区中段部の表土剥ぎのみ。午前中から昨日からの雨によりぬかるんだ廃土の処理を中心に実施したため、作業はあまり進んでいない。その後、実施した掘削作業についても昨日、同様西側(下段部側)が大きく下がっており、大量の土砂(廃土)が出ることとなった。そのため、北側から始めた表土剥ぎについては、中間部付近までしか進めることが出来なかった。その他、写真整理(台帳作成等)を

実施。

11.7 I区中段部は、重機による表土剥ぎの作業を行う。大まかなジョレン清掃から遺構掘削まで多々あるが、場所によって作業内容は異なっている。I区中段部については、主にジョレン清掃と遺構検出、遺構掘削の作業を実施。

ジョレン清掃、攪乱掘削は、表土剥ぎ後の面を揃える大まかな作業である。既に、ほぼ面がきれいに露出している範囲については、遺構検出をしながら、遺構(土坑)の平面全体を5cm程下げる掘削を同時に実施。雨が多くなる秋口の天候も考慮して、部分的に仕上げながら作業を進めることとした。

11.10 雨のため、終日現場作業は休み。写真整理と図面整理。どちらもSBに関係するもの。

11.11 作業については、基本的に先週の木曜日までの続きである。I区上段部とI区中段部の間の道路だった部分のジョレン清掃を実施した。I区中段部北東角北西部の範囲は遺構検出の後、遺構平面全体の5cm下げを実施。II区下段部においては、掘立柱建物の認定作業を実施した。

11.12 I区中段部は、大きく3カ所に分かれて作業を実施。作業内容については3カ所とも遺構検出後、掘削を実施する。I区上段部と中段部の境界部分の里道跡については、清掃(ジョレン)後に、検出した土坑を掘削。当初は、平面全体の5cm下げを実施したが、浅い土坑も多いため、最初から半裁することとした。

I区中段部の遺構を検出。一部土坑掘削に入る。この付近の(地山)検出面はシラス(2次堆積土)である。遺構は、大小の土坑であるが、柱痕跡がみつきりそうな土坑ではなさそうである。I区中段部(北西地区)では、昨日から継続して、土坑掘削を実施。規格のしっかりした土坑は半裁しているが、用途不明の小土坑は完掘した。

11.13 作業内容については、ほとんど昨日までの継続である。

I区上段部と中段部の境界付近の土坑については、半裁作業を実施した。I区中段部、中央付近については昨日、検出した土坑を半裁。明確に柱痕跡と認識できるものは、存在しない。I区中段部、北西地区では、小規模の不明土坑を完掘。それ以外のやや大き

めの土坑については、半裁作業を実施した。

11.14 実測作業のみ実施。II区下段部の遺構平面図をチェックし、現場で一部補正作業を行った。その他、今後の調査工程の打ち合わせを行う。

11.17 I区上段部では遺構検出、土坑の半裁もほぼ終わったため、掘立柱建物の検討に入る。I区中段部では引き続き、検出・半裁を実施。

11.18 I区上段部では検出した土坑が掘立柱建物の柱穴であるかどうかの検討を実施。土坑の配置、土坑の規模、埋土、柱痕跡の検出及び検討等から、それぞれの土坑群の組み合わせを検討している。

I区中段部は、表面清掃を実施しながら遺構検出作業を実施。始めて間もないため、明確な遺構プランはひけていない。

11.19 I区上段部については、掘立柱建物の認定作業を継続して実施。径50~100cm大の土坑からは、ほとんど柱痕跡を検出しており、他の土坑との組み合わせが問題ではあるが、割としっかりとした規模の掘立柱建物として認定出来そうである。未だ確定までに至っていない。I区中段部については、手ガマと移植ゴテによる遺構検出作業を継続。一部については、半裁による掘削を実施した。II区下段部については、以前に認定した掘立柱建物の各柱穴の土層断面の作成を開始した。

11.20 国土交通省川辺川ダム砂防事務所と現場での立会を実施。

I区上段部では、掘立柱建物跡の認定作業を継続して実施。I区中段部では、遺構検出作業をメインの作業として実施。ただし、悪天候のため、一定の範囲で遺構検出が終了したら、その地域の土坑はすぐ半裁する工程とした。II区下段部の掘立柱建物の土層断面実測を実施したが、雨が降るため、ほとんど進んでいない。

国交省川辺川砂防事務所との協議決定事項

◎I区上段部及びI区中段部について12/20(土)までに引き渡す。

◎I区に入っている水路を撤去するにあたり、流水を途中でせき止める⇒国交省側(大乘建設が施工)承諾

◎なお、国交省側からI区上段部のみ先に引渡して欲しいとの要望があり、当初の工程上、無理であること

を説明し上の決定事項のとおりとなった。

※経緯：当初は調査区ごとの引渡し期限は要求されていない。もしかすると、Ⅱ区下段部を先に引渡しという話が出るかもしれないという担当者の話であったので、Ⅱ区下段部から調査に着手していた。

11.21 I区上段部では、土坑断面と平面による柱痕跡の確認、比較等をもとにして掘立柱建物の認定作業を行っている。I区上段部では予想に反して、建物の軒数が増えそうである。I区中段部では、遺構検出作業を中心に実施。上段部に比べると土坑の規模が小さいものが多い。一部では平面プラン全体の5cm下げ等の掘削も実施。掘立柱建物の土層断面も実測する(Ⅱ区下段部)。

11.24 I区中段部では、計3カ所に分散して遺構検出と掘削作業を実施。検出作業は、現在表土剥ぎを実施している範囲内では、ほぼ終了。明日以降はこの範囲内で全て掘削作業に入る。

なお、現在は土坑の半裁も併行して実施しており、明日以降この作業を拡大することとなる。

11.25 I区中段部の表土剥ぎを行う。掘立柱建物跡の認定作業(I区上段部)を再開。Ⅱ区下段部に比べて、認定できる遺構の数は多い。ほとんどの土坑が径1m前後の規模に、柱痕跡(径15~30cm)が確認出来る。柱痕跡は非常にはっきりしている。時期は14c前後であると考えている。ただし、遺物包含層の薄さと、細片である陶磁器の時期が微妙であり、時期の決定にはもう少し検討をする必要がある。

I区中段部では、昨日までの遺構掘削作業を継続。基本的に半裁作業であるが、小規模な不明遺構(土坑)については、掘り上げることとしている。

今まで数回、表土剥ぎを実施してきたI区中段部については、西側(旧R445号側)へ向けて急激に下がっていく地形のため、表土剥ぎが残っていた。12月中旬に調査区を引き渡して欲しいとの国交省の要請もあり、早急に残りの部分の表土剥ぎを実施することとした。I区上段部の掘立柱建物の土層断面の実測を開始。当然、掘立柱建物として認定した建物からである。

11.26 I区上段部では、掘立柱建物の認定作業を継続。現在のところ、11棟と1つの柵(SB025)など

建物の規模・規格・時期等の詳細について検討を行っている。I区中段部では、昨日からの継続作業として遺構の掘削を実施。I区中段部では、併せて昨日終了した表土剥ぎ後のジョレン清掃も実施。掘立柱建物(I区上段部)の土層断面は継続して作成を行う。11.27 朝からの雨のため、現場作業は中止。事務所において、次の作業を実施した。

◎遺構配置図作成(I区上段部平面図・Ⅱ区下段部)

◎遺構実測図チェック(I区上段部平面図・同掘立柱建物跡・土層断面図)

◎11月分出勤簿入力、他

11.28 I区中段部のメッシュ杭設置。

I区上段部で掘立柱建物跡の柱穴と認定した以外の土坑について、調査区の北側から完掘作業を開始。小規模な土坑が多数あり。

I区中段部においてジョレン清掃作業を再開。特に、中段部の南側付近は、礫層が露出している範囲も広く、雨上がり後でもあり清掃作業については、かなり難渋している。

I区上段部の掘立柱建物跡は、最終の確認作業を行っている。I区上段部では掘立柱建物跡の断面図を作成。

I区中段部全域のメッシュ杭設置を実施。

12.1 掘立柱建物の認定作業を継続。認定した建物以外について、土坑配置、土層断面・平面等から検討を継続(I区上段部)。I区中段部の西側付近については、土坑の検出と掘削を実施。中～大規模の土坑を半裁している(I区中段部)。

掘立柱建物の柱穴の土層断面を実測する(I区上段部)。

12.2 I区上段部において掘立柱建物の柱穴以外の土坑を完掘。作業は明日以降も継続。I区中段部で未掘であった土坑を掘削。I区上段部では掘立柱建物柱穴の土坑断面の土層(土色・土質)を註記。作業員が実測した断面図のチェックも兼ねている。I区上・中段部において平面実測の準備を開始。

12.3 ①I区上段部では昨日に引き続き、掘立柱建物の柱穴以外の土坑の掘削作業を実施。遺物は土坑ごとと上げる。I区中段部では上段部と同様、掘立柱建物の柱穴とは考えなかった小土坑の完掘作業を実施。

遺物取上げ方法も上段部と同様である。I区上・中段部において未実測の土坑の平面実測を実施。徐々に、中段部へと移行していく予定である。

I区上段部で掘立柱建物の柱穴上層断面を観察の上註記を行う。

12.4 I区上段部の土坑を掘削。完掘作業を実施。掘立柱建物以外の土坑の完掘はかなり進んでいる。

I区中段部において土坑の完掘作業を実施。小規模の土坑、掘立柱建物の柱穴ではないと判断出来るものから掘削を実施。I区上段部で土層の観察と註記を実施。I区中段部の土坑群の掘削を実施する。

12.5 土層観察・註記以外の土坑完掘はほぼ終りに近づく。また、土層観察・註記及び土層断面写真撮影を済ませたものから、順次土坑(柱穴)完掘を行う。平面実測を終えたところから、半裁・掘削を行う。

12.8 急激に冷え込む。初霜がおりる。I区上段部で建物の柱穴以外の土坑を完掘。明日以降も継続。I区中段部で土坑の掘削を実施。規模が大きいもので掘削をしていなかったものについては半裁している。それ以外の、小規模の土坑については完掘作業を実施する。I区中段部の土坑平面実測を実施。先週末までに認定が終了した掘立柱建物の柱穴の土層断面の写真撮影を開始。

12.9 II区盛土部周辺の表土剥ぎ開始。I区上段部では掘立柱建物跡以外の土坑の完掘作業を実施。I区中段部において掘削に着手していない大きめの土坑については、半裁して土層断面を観察。それ以外の既に半裁して断面観察済の土坑については、完掘作業を実施する。I区中段部で土坑の平面実測を実施した。I区上段部の掘立柱建物跡の土層断面を撮影した。II区盛土部の巨大な石垣及び盛土(3m超)の撤去を開始。撤去した廃土は、I区中段部隣の廃土場まで運搬し、積み上げることにした。

12.10 II区盛土部の表土剥ぎ2日目。I区上段部・中段部で掘立柱建物跡の柱穴以外の土坑について、全て完掘作業に入った。I区中段部で土坑(群)の平面実測を実施する。I区上段部において掘立柱建物跡の土層断面の撮影を継続。II区盛土部では表土剥ぎ(盛土の撤去)を行う(2日目)。

12.11 雨のため、作業員による現場作業は中止。

II区盛土部の表土剥ぎ作業は3日目である。昨日まで実測済の土坑平面図及び断面図のチェックを実施。明日以降の実測の準備についても併せて行った。

12.12 II区盛土部の表土剥ぎは4日目である。I区上段部で土坑掘削(完掘)作業を継続。I区中段部で土坑掘削(完掘)作業を継続。I区中段部で土坑の平面実測も継続。

12.15 II区盛土部の表土剥ぎ5日目。今週末が引渡し期限(I区上・中段部)であり、終了へむけての作業となる。

I区上・中段部で土坑掘削(完掘)作業を継続。

I区中段部で一部残っていた土坑の平面実測の作業を行う。

12.16 II区盛土部の表土剥ぎ6日目。I区上・中段部の土坑については、午前中までにほぼ完掘。完掘前に現場での平面図と断面図のチェックも終了した。土坑の完掘後、明日予定している空中写真撮影のための清掃作業を行う。調査区周辺の草刈りやゴミ拾いは、前日までに終了していたため、調査区内の清掃作業を中心に実施。かなり駆け足ではあるが、清掃作業も一通り終了した。ただし、空撮担当者から電話があり、明日の天気が雨の可能性が高いとのことで撮影作業は明後日(12/18)に順延することにした。I区中段部で、一基だけ残っている石組がある土坑の平面実測作業を行う。

12.17 雨であるが、今週末がI区上・中段部引渡しであるため、作業員による現場作業を含め、全ての作業を実施。II区盛土部の表土剥ぎ作業は7日目である。メッシュ杭設置作業を実施。I区上・中段部においては、完掘した土坑の断ち割りなどの小規模なトレンチ掘削によるダメ押し調査を実施した。その他、きのう清掃作業がやや雑になっていた地区の凹凸ならしなどの清掃作業を実施した。ただし、雨中での作業であり、明日再度大まかな清掃作業を実施する必要がある。II区盛土部の表土剥ぎ作業7日目。表土の除去作業は、午前中までにほぼ終了。午後は、仮置した廃土の移動作業を行った。メッシュ杭設置作業も実施。本日は、基準杭を移動して調査区のすぐ外へ、杭打設のための仮基準杭を設置する。その後、現況でI区下段部のメッシュ杭を設置。午後には、表土剥ぎ

が終了したⅡ区盛土部でも、杭打設作業を開始。ただし、本日中には作業が終了せず、Ⅱ区盛土部での作業は、明日も実施する予定。

12. 18 I区上・中段部の空中写真撮影を実施。Ⅱ区盛土部表土剥ぎ8日目(終了)。Ⅱ区盛土部のメッシュ杭設置。

本日は、昨日までどうって変わって快晴。昼12時スタートの空中写真撮影作業のために、全体の作業を実施した。I区上・中段部の空撮前の清掃作業に全力で取り組む。作業は12時を少し過ぎたため、空撮は12時30分からのスタートとなった。I区上・中段部を中心とした、ラジコンヘリによる空中写真撮影を実施。この両調査区の全景→各調査区の遺構配置→掘立柱建物ごとの配置の順で撮影。全景や遺構配置は大丈夫だが、それぞれの掘立柱建物ごとの撮影結果がどのようなものであるか、写真の出来上がりに興味がある。Ⅱ区盛土部の廃土の移動を実施。空撮には影響なし。Ⅱ区盛土部に関する表土剥ぎ関連作業については、本日で終了した。昨日から実施していた、Ⅱ区盛土部のメッシュ杭設置作業も実施。昨日、一部着手し、隣接するⅡ区下段部の杭(メッシュ杭)を延長するだけであったため、午前中のうちに作業は終了。以前に既に測量用の基準杭を移動していたため、測量成果簿の検査が実施された。内容は良好であった。

空中写真撮影が終了した後、撮影のために掘削せずに残っていた(掘立柱建物の柱穴は柱痕跡を写真に残したいため、平面全体の5~10cm下げもしくは、半裁の状態のままとしていた)柱穴群の掘削(完掘)作業を実施した。I区中段部で一基だけ実測中であった土坑の実測も、空撮後に実施。平面形は終了したが断面の見通しがまだのため、実測に着手。ただし、本日は終了せず明日に持ち越した。

12. 19 I区上・中段部の調査が終了し引き渡す。I区上・中段部で空撮用に掘削せずに残っていた土坑の掘削作業を実施・完了して、調査区(I区上・中段部)の地形測量(レベル測定)等を実施。併せて、掘立柱建物のエレベーション作成のためのレベル測定もれがないかも確認した。併行してI区中段部の石組をもつ土坑の見通し断面の実測を実施して終了した。最後に調査区内のクギひろい等の清掃作業と、

周辺の道具小屋に置いていた道具の移動等を行い、全ての作業を終了した。本日をもって、I区上・中段部の調査は終了した。

12. 22 Ⅱ区盛土部については、表土剥ぎが終了したため、調査区の壁面の整形を行った。本日で、今年の現場作業を終わるので、Ⅱ区下段部(調査途中)にシートをはり、調査区全体の保全を済ませた。

12. 24 I区上・中段部の図面整理を行う。

12. 25 昨日に引き続き、図面整理。認定した掘立柱建物11棟分を中心に整理を行った。

12. 26 昨日に引き続き、図面整理を実施。午後からは、事務所内の整理を行う。

1. 6 図面の整理。I区上段部の遺構番号チェックを主に実施する。

1. 7 1月の作業員を導入しての初作業日。

昨年末に表土剥ぎが終了していたⅡ区盛土部の調査を本格的に開始。本日はジョレンによる表面清掃のみを行う。

1. 8 Ⅱ区盛土部のジョレンによる表面清掃と、一部包含層掘削を行った。現代の盛土を撤去した後の土層は次のとおり(遺構検出面は黄褐色のシルト質土層。ただし、部分的には白黄色シルト質土層のシラスの面が既に露出している場合も多い)。

1. 9 Ⅱ区盛土部はジョレンによる表面清掃から引き続き、遺物包含層(Ⅱ層)の掘削を実施。包含層は調査区(Ⅱ区盛土部)全域にわたって、約10~15cmであまり厚くはない。また、Ⅱ区盛土部は、以前は水田(戦後に開墾)であり、その開墾時にも土層の削平・整地を行っており、包含層の残存状態にも影響を与えている。本日、出土した遺物は、16~18世紀頃の陶磁器片、土師器片が主であるが、僅かに14世紀前後の土師器片等もみられる。包含層を分層できるか検討を要す。

1. 13 先週に引き続き、Ⅱ区盛土部の包含層掘削を実施。包含層は、旧表土下の水田の耕作土、床土を除去した直下に存在。Ⅱ区下段部とほぼ同様のあり方であるが、Ⅱ区下段部の遺物包含層は黒色の砂質土であり、Ⅱ区盛土部の遺物包含層は黒色(または部分的には灰色)で、やや粘性が強い印象を受ける。ベトベトで土質が悪い感じもするが、戦後の水田下であった影

響もあるのだろうか？なお、レベル的には旧 R445号側が少し高く、西側（川辺川側）へ向かって緩やかに下がっている。また、Ⅱ区盛土部の中でも、旧診療所付近（北東部）から西南方向へ向かって緩やかな傾斜をもつ地形である。出土遺物は陶磁器（16～18c）・土師器等である。

1. 14 引き続きⅡ区盛土部の遺物包含層を掘削。主に P-6・8G を中心に掘削を行った。出土遺物は、16世紀後半～17世紀前後の染付や天目（18世紀まで下がるものもあるのか？）が、時期比定に有効な遺物である。福建や景德鎮系の遺物も（その他、舶載陶器）見受けられる。その他、国内産の肥前産（系？）陶磁器がある。いずれも16世紀から、時代が下がっても18世紀前半頃までのものと思われ頭地代替地調査時の「頭地松本 B 遺跡」と出土遺物の様相は類似している。

1. 15 引き続きⅡ区盛土部において、遺物包含層の掘削を実施。部分的に遺構検出作業も併行して実施した。遺物包含層掘削と遺構検出作業の区域は、見取り図のとおり。旧水田床土下の10～15cmの暗褐色（砂質）土にある。出土する遺物の時期は、16c 後半～18c 前半頃にピークがあり、遺構の時期は、おおよそそれらの時期と考えることが出来る。ただし、これでも若干の時間幅があり、その他にも14c 頃の龍泉窯系の青磁等も一定量あり、これらの時期の遺構も残存する可能性がある。ただし、精査・検討したが、これらの包含層を2層以上に分割するのは不可能であり、面を2面以上に分けて調査することは出来ない。遺構埋土や出土遺物より判断せざるを得ない。

川辺川に向かう河岸段丘であるが、すぐ東側の山からの傾斜も一定程度存在するため、過去古い時期（中世・近世）の段階から、削平して盛土するという地形改変は日常的であったと考える。また、現代（戦後）の水田造成や、その後に盛土してからの宅地造成等により、遺物包含層は度々、攪乱改変を受けていたと考える。そのため、現在掘削している遺物包含層は、プライマリーな状態では無い可能性が高い。（ただし、遺物も一定量を含むため、時期比定の参考にはできない。）

1. 16 雨のため、現場作業は中止。Ⅰ区上段部の図

面整理を行う。

1. 19 Ⅱ区盛土部においては、遺物包含層掘削とともに、一部遺構検出作業に着手した先週からの作業を継続。P-1～4グリッド付近については土坑の検出が可能状況となり、多数の土坑プランがみえてきつつある。まだ明確な線引きは行えていない。掘削した遺物包含層から出土している遺物は、16～18c 前半頃の輸入陶磁器、国内産陶磁器の他に、在地産らしい土師器が出土している。土師器の明確な時期については、まだ判断出来ていない。Ⅱ区下段部では、以前検討していた遺構（掘立柱建物）の再検討を開始。それに伴い掘立柱建物の柱穴ではないと判断した土坑を掘削（完掘）した。

1. 20 Ⅱ区盛土部（O・P-1～4G）において、遺構検出を実施。Ⅱ区下段部と同様、径15～30cmの円形の土坑、径1m前後の長楕円形の土坑、径1m前後の円形の土坑等を検出。それぞれについて、埋土は約4種類（黒色、灰色、薄茶色、黄・黒のマダラブロック）があるが、それらの種類と時期、また、各遺構との関連性・時期については、もう少し検討する必要がある。Ⅱ区下段部では、以前検出していた土坑（SK043）のプランを精査。約2.8m四方の方形に近いプランとなる。ただし、切り合い関係にある他の土坑との関係から正確なプランの確定は、一部掘削しながら検討する必要がある。そのため平面プランを切っている土坑の掘削に着手した。この土坑（SK043）は古墳時代の土師器（4～5世紀？）が集中して出土することから、古墳時代の遺構である可能性が考えられる。

1. 21 午後は、雨及び雪のため、現場作業は中止。

Ⅱ区盛土部（O・P-1～4G）では、昨日までに検出した円形・長楕円形の土坑（既に平面全体の5cm下げは終了）の半裁を実施。半裁した結果、Ⅱ区下段部と同じく、土坑端が深く掘削されている柱穴を確認。他との組み合わせによる建物の検討は、まだ着手出来ていない。時期としては、出土遺物のピーク（16c 後半～18c 前半）の範囲内を考えるが、詳細な時期についての判断、他の土坑の時期、それとの関連については未だ結論を出せない。Ⅱ区盛土部（L・M-6・7G）では、遺構検出・掘削（5cm下げ・半裁）等、前述したO・P-1～4Gの一段階前の作業を実施。Ⅱ区下段部のSに

については、遺構埋土の掘削に一部着手した。

#### 1. 22 雪のため、発掘作業中止。

現場の安全管理と図面整理を実施。図面整理は、I区上段部の掘立柱建物の平面・断面の整合性のチェック等を中心に実施した。

#### 1. 23 先日からの雪の影響のため、現場作業は中止。

図面整理(先日に引き続き、I区上段部の掘立柱建物の平面・断面図のチェック等)を実施。その他、写真整理も一部実施した。

1. 26 先週末の雪のため、最初は現場復旧を中心に作業を実施した。残り時間でII区盛土部の北東側付近の遺構検出作業を実施。なお、先週までに検出済みであった土坑等の遺構については半裁を行った。II区盛土部において、長径1.5～2m程度の長楕円形の土坑を検出。全体を5～10cm程下げていくと、カーボンや人骨らしい細片を確認。ST051とする。

1. 27 II区盛土部においては、遺構検出作業を中心に実施。検出した土坑については、すぐに平面形を5cm程下げて、柱痕跡の有無を確認する。II区下段部のSK043(古墳時代の住居跡)については、埋土の掘削を実施。焼土と何基かのピットを確認したが、どのピットが住居跡に伴う柱穴なのかは、検討を要す。昨日検出したST051の掘削を進める。底面全体に炭化した網代状の炭化物を検出。さらに南側付近から、鉄鏃(圭頭鏃の頭部2点、刀子の一部1点)が出土。古墳時代の墓壙であると考えられる。

1. 28 II区盛土部で遺構検出作業を実施。多数の土坑が柱穴であるのか否かの判断を行うために、平面形全体を下げる掘削方法にて検討を行う。

1. 29 II区盛土部については、遺構検出作業を中心に実施。多数の土坑を検出しているが、それらが柱穴なのか、土壇墓なのか等、性格については区別が難しく、連日検討を続けている。II区下段部については、土坑の掘削による検討を行う。

※II区下段部(SK042)...江戸時代、地炉は半裁。

1. 30 II区盛土部では、遺構検出作業を中心に実施。柱穴の可能性のある土坑については、検出後、すぐに5～10cm程、平面全体を下げ、遺構内容の確認(柱痕跡の有無)を実施する。II区下段部の掘削未了の土坑については掘削を実施。II区下段部のSK043(古墳時

代の住居跡)については、床面を精査。柱穴と焼土の集中部を検出する。

2. 2 雨、雪のため、作業中止。図面整理、写真整理を実施した。

2. 3 II区盛土部では、遺構検出作業を実施。同時に掘立柱建物の認定作業を行うが土坑(柱穴?)の切り合いが多く、認定作業の妨げとなっている。明らかに柱穴でない土坑については、随時掘削(完掘)作業を行っている。II区下段部のSK042は炉の石を取りはずした状態の写真撮影を行った。南側の平たく残してある部分は、調理台(配膳台)であろう。(※現場の作業員さんによると、つい最近まで、この形式の炉が残っていたとのことである)

2. 4 II区盛土部での遺構検出及び認定作業をメインに実施。検出した遺構については、柱穴と考えられるものが多数ある。それらの組み合わせの結果による掘立柱建物の認定作業を行う。柱穴については、礎石となる平石を底部に据えるものが多く、本遺跡の特色である。II区下段部については、掘削未了の土坑を掘削するとともに、未認定だった掘立柱建物を再検討する。

2. 5 雪のため、作業中止。現場管理と、図面、写真整理を実施した。

2. 9 II区盛土部では、遺構検出作業は山を越し、遺構の認定作業と掘削作業に移行した。II区盛土部の、遺構認定については、検出後、5～10cm下げた段階で柱痕跡を確認したものを中心に実施。柱穴の配置、各々の大きさ等を基本に検討を行っている。その他の土坑については、完掘作業を行う。II区下段部のSK043(古墳時代の住居址)については、柱穴、炉址を完掘して調査を終了した。なお、炉址の埋土(焼土)については、炭化種子等が検出される可能性があるため、サンプリングを実施した。

2. 10 II区盛土部では、掘立柱建物跡等の遺構認定作業を実施。1間×2間の柱間隔が大きな建物(2棟)について、検討中である。土坑掘削(II区盛土部)も継続して実施する。II区盛土部東側のST052も検出。径2m前後で円形に石が配列されるものについては、I区の調査成果等から考えて墓壙ではないかと判断している。

2. 12 II区盛土部では、掘立柱建物跡の認定作業を

行う。Ⅱ区盛土部のその他の土坑については、完掘作業を実施する。ただし、長楕円形の土坑や円形で礫が配されているものについては、墓壇の可能性があるため、完掘作業等は実施しない。Ⅱ区下段部については、再度検証した掘立柱建物の検討(土層等)を実施した。

2.13 Ⅱ区下段部のSB012は、再検討の結果、1間×4間の掘立柱建物跡と認定した。規格は、小規模で不確実なように思われるが、1間(横幅ハリ)部分の長さは5m弱である。桁行方向(4間・横方向)の柱間隔は、2.5m前後あり、建物としては、かなり大きなものである。また、柱穴の配列もほぼ完全に揃っており、全ての柱穴において柱痕跡を確認している。また、礎石を柱穴底部に据えているものが多い(無いものは、抜き取ったと考えられる)1棟の建物跡であると判断した。

2.16 Ⅱ区盛土部においては、ほぼ全域において土坑の検出、掘削の作業を併行して実施。先に検出した土坑から掘削(平面形の5cm下げ、または半裁等)を実施。平面を5cm程度下げた土坑については柱痕跡の検出を試みているが、径15~30cm程度の円形の小ピットについては痕跡が見つかるものは少ない。逆に長軸径1~1.5m程度の長楕円形の土坑については、ほぼ全てから柱痕跡が見つまっている。抜き取りをして痕跡が無いものがあるが、やはり痕跡がそのまま検出面まで残っているものの方が多い。平面実測等の記録作業も継続する。

2.17 Ⅱ区盛土部では引き続き土坑の検出及び検出済の土坑の掘削(完掘、平面5cm下げ)を実施する。検出済の土坑を掘削すると、その下部から他の土坑が検出されるという状況が続いている。同時併行で掘立柱建物の認定作業を実施しているが、他の作業に時間をとられあまり進捗は芳しくない。ST052を半裁。底面に礫は敷き詰められておらず、周囲のみである。

2.18 Ⅱ区盛土部では、昨日に引き続き遺構の完掘(主に土坑)を実施する。その他の地域において遺構検出作業を実施した。ST052は、昨日半裁したものを再精査した。

Ⅱ区下段部の掘立柱建物以外の土坑については、完掘作業を実施する。

2.19 Ⅱ区盛土部では、遺構の検出、認定作業を継

続して実施する。併行して、土坑の完掘作業を実施した。Ⅱ区下段部では、掘削が未了の土坑について完掘作業を実施した。その後、明日の空撮に備えて、調査区周辺の草刈り、廃土場の整地等の清掃作業を実施した。

2.20 空撮写真撮影。

本日の作業の中心は、12時スタートの空中写真撮影であった。前回と同様、全体の清掃作業を行った。撮影の中心はⅡ区下段部であるが、当然Ⅱ区盛土部も画面の中に入ってしまうため、それらの調査区も併せて清掃を実施した。

本日撮影したカットは、Ⅱ区下段部全景(垂直)、Ⅱ区下段部の西端及び東端の建物跡群の個別(垂直)、Ⅱ区下段部と川辺川を入れた遠景(斜め)等である。空撮終了後、残りの時間にはⅡ区下段部、盛土部の土坑掘削を実施した。

2.23 Ⅱ区盛土部では、多数存在する土坑の掘削(完掘)作業を実施。小土坑から出土する遺物については、土坑ごとの番号で取り上げている。掘立柱建物の認定作業も継続して実施する。東西方向に細長く伸びる(川辺川及び旧国道445号に併行)建物が複数存在する。この方向性はある時期の特色を示すものであると考える。Ⅱ区下段部では土坑掘削を継続。

2.24 Ⅰ区下段部の表土剥ぎ1日目。Ⅱ区盛土部では、遺構検出作業を継続。多数の土坑が切り合う状況であるため、その認定はやや難しい。Ⅱ区下段部においては、遺構の掘削作業を行う。最近認定したSB012や再検討したSB002等の断面の精査や完掘作業も実施した。

2.25 Ⅰ区下段部の表土剥ぎ2日目。Ⅱ区盛土部においては、掘立柱建物跡の検討を続け、同時に掘立柱建物以外の土坑の完掘作業を行う。

2.26 Ⅰ区下段部の表土剥ぎ3日目。昨日より、やや西側(旧国道445号側)の表土除去作業を実施した。昨日と同様、表土直下はほぼ礫層であるため、遺構・遺物の存在する可能性は低いかも知れない。Ⅱ区盛土部では、遺構(掘立柱建物跡)の認定作業を実施。併行して建物跡以外の土坑完掘作業も実施した。Ⅱ区下段部の土坑掘削(完掘)作業も実施する。

2.27 Ⅱ区盛土部では掘立柱建物跡の認定作業を行

う。柱穴らしき土坑を半裁してその断面による判断が必要なものもある。Ⅱ区下段部では、まだ掘削が完了していない土坑があるため、完掘作業を実施した。Ⅰ区下段部の表土剥ぎ作業については、表土剥ぎ作業が終了。昨日までの状況と変わらず、表土直下がすぐ下層の礫層であり、遺物の出土もなかった。遺構が残存する可能性もほとんどないため、Ⅰ区下段部については、この状況で調査は終了とすることにした。

3.1 今年度の調査の最終月に入る。最終的な完了に向けて、作業工程を検討した。Ⅱ区盛土部では掘立柱建物の認定作業を実施。調査区北端において、1間×2間の建物跡が2棟以上存在すると考えている。ただし、柱が本当にこの本数のみなのか、組み合わせが正しいのか、検討すべき点が残っており、明日以降も継続して検討する。Ⅱ区盛土部及び下段部については、多数残っている土坑の掘削に全力をあげている。

3.2 Ⅱ区盛土部では、掘立柱建物跡を主とした認定作業を実施している。川辺川に併行して延びる横長の掘立柱建物が配置されるのは、この調査区でも同様である。Ⅱ区盛土部では、認定した遺構の掘削作業も実施している。Ⅱ区下段部の土坑掘削も継続する。

3.3 Ⅱ区盛土部において、遺構(土坑・柱穴)を検出したため、掘立柱建物等の建物跡と認定出来ないかと考え検討を行ったが結論が出ず、明日以降も継続して検討する。Ⅱ区盛土部のその他の遺構とⅡ区下段部の遺構(主に土坑)については、掘削(完掘)作業を実施。図面の補正が必要な場合についても、併行して作業を行っている。

3.4 Ⅱ区盛土部では、掘立柱建物跡の認定作業を実施しながら、記録済の建物跡等については掘削(完掘・半裁)作業を行っている。Ⅱ区盛土部では、掘立柱建物や墓壇等の遺構平面図、断面図、土層註記を随時実施した。

3.5 Ⅱ区盛土部では遺構認定(掘立柱建物跡)をしながら併行して、認定・記録済の建物跡、土坑掘削を実施した。Ⅱ区下段部では土坑と一部掘削未了の掘立柱建物跡を掘削する。

3.8 村教委による田口・溝の口地区試掘。  
Ⅱ区盛土部で遺構(SB032~036他)の検討等の認定作業を実施。その他の遺構については、掘削作業を

実施。Ⅱ区下段部で土坑完掘作業を実施。

3.9 Ⅱ区盛土部では遺構認定作業と掘削作業を実施。昨日に引き続き、田口及び溝の口地区の試掘を村教委が実施。何度か立会ったが、各トレンチから遺構、遺物の出土はないようであった。

3.10 Ⅱ区盛土部においては、遺構(掘立柱建物、土坑、墓壇)の掘削を実施。検出したばかりの土壙や墓壇については、ベルトを残すかまたは半裁して掘削を実施した。Ⅱ区下段部においては、土坑掘削(完掘)作業を実施。Ⅱ区盛土部の平面図、断面図を作成する。

3.11 川辺川ダム建設事業関連埋蔵文化財調査三者協議(平成15年度2回目)を川辺川砂防事務所(参加者:坂田・帆足)において行った。雨のため現場作業は休み。

埋蔵文化財調査三者会議において、平成15年度踏査の現状と平成16年度以降の予定等について、協議を行った。

3.12 雨のため、作業中止。昨日に引き続き、図面整理と遺物整理を実施した。

3.15 Ⅱ区盛土部については、調査の最終段階に入ったところである。先週までに認定した掘立柱建物跡等の遺構について、随時、平面図、断面図を作成した後、写真撮影、完掘の作業を行っている。

3.17 Ⅱ区盛土部の掘立柱建物跡の柱穴について、完掘作業を実施。未掘のものが何棟か残っており、作業の進行を速めなければならない。ST051等の墓壇については、半裁して土層断面を観察。写真撮影を行った。本日も遺構平面図と断面図の作成を他の作業と併行して実施した。

3.18 天候不良のため、作業中止。

3.19 Ⅱ区の空中写真撮影。Ⅱ区盛土部を中心に撮影を実施した。昨日雨のため、作業を休みにしていたので清掃作業を朝から実施。ただし、時間がかかり撮影開始は予定の12時より大幅に遅れて13時10分位からとなった。撮影したカットは、Ⅱ区盛土部の全体配置(垂直)、各遺構(主に掘立柱建物跡)にある程度近づいたカット(垂直)、Ⅱ区盛土部・下段部を合わせた全体配置(垂直・斜め)、Ⅱ区全体と川辺川を入れたカット(斜め)等である。

3.22 空撮も終了したため、遺構の完掘作業に全力を挙げている。明日以降も遺構完掘作業を継続して実施する予定である。特に掘立柱建物跡の掘削土量が多いため、断面図作成後に、随時掘削へと移行している。遺構の土層断面図が終了していないものについても、掘削と併行して作成作業を行った。

3.23 昨日に引き続き、掘立柱建物と土坑の完掘作業を実施。掘立柱建物については、断面の写真、図面などの記録が終了すれば、即完掘作業を行う。柱穴どうしが切り合っているものも多いため、完掘作業時には、その点を注意しながら掘削を行っている。遺構の断面の記録(土層断面、註記等)が終了していないものも多く、そちらの作業にも全力を挙げている。

3.24 II区盛土部の遺構については、最終の完掘作業を実施している。SB039やSK089(II区下段部)については、半裁した後の状況で土層や遺構(柱穴)としての組み合わせの確認作業を実施していたが、それらの作業が終了して写真撮影を実施した後、土層断面の記録を実施。明日以降終了次第、完掘作業を行う予定。それ以外の土層断面未記録の遺構についても、記録作業を実施。

3.25 廃土処理。II区盛土部の遺構(掘立柱建物、土坑)については、完掘作業を実施。先に掘立柱建物の柱穴を完掘した後、土坑を完掘した。調査区西側の池状遺構の規模が大きくやや難渋したがほぼ掘削完了。明日仕上げを行う予定。土層断面図等の作成についても、ほぼ完了。ただし、平面図との整合性のチェックや註記内容のチェックが終了していないものもあり、明日以降の作業となる。作業(掘削作業)は、明日までの予定であるが、当初の予定通り調査区周辺に置いていた廃土を調査区の中に運び込んだ。盛土部は一部作業中であるため、下段部にすべての廃土を戻した。調査区外に廃土は無い状態であり、廃土処理も完了した。

3.26 作業員を導入しての作業の最終日であるので調査終了に向けての作業を中心に実施した。最初に遺構の掘削(完掘)が終了していない池状遺構の掘削の仕上げを中心に実施。完了後に石組遺構の石の取り外しや調査区内のクギ、ポイントベース等を集めて引き渡し前の作業を行った。石組遺構の平面図・断面図作成を完了させた。その他、図面については、平面

図・断面図チェックや註記記入作業を行った。こちらについてはまだ完了していない。掘削作業最終日であるので、夕方に掘削用の調査機材の整理等を実施してとりあえず作業員を導入しての作業は本日で終了とした。

3.29 川辺川ダム砂防事務所において平成15年度発掘調査に関する精算報告(坂田・帆足)を行った。

現場では、II区盛土部の註記確認を行った。また、出土遺物の整理も行う。

3.30 今年度作成した図面について、そのチェックを行った。特に、2~3月に作成したII区盛土部の図面のチェックを現場の遺構と比較しながら行った。現場でのチェックについては可能な限り早急を実施する必要があるため、継続して実施することとしたい。平面図と断面図の整合性チェックや遺構配置図の作成等についても同様である。遺物のコンテナ整理は、本日で終了した。遺物台帳作成等については、次年度以降の作業となる。

4.26 昨年度作成した掘立柱建物(SB)柱穴土層断面図の註記を現場で行う。II区盛土部SB038、SB039、SB040の柱穴土層註記を実施。SB038とSB040の切り合い関係の確認など一つ一つの柱穴土層註記に時間をかけた。

4.27 本日は雨天のため、室内にて図面整理。土層註記のない図面の確認や、すでに済んだ図面の補正作業を実施。

4.28 本日は晴天のため、昨日に引き続き昨年度の現場にて土層断面図註記を行う。II区盛土部SB034、SB035、SX054の土層註記を行う。特にSB034とSB035は相互の切り合いを一つ一つ確認しながら註記作業で長く時間を費やした。

5.6 昨日に引き続き図面註記。II区盛土部SX053、SX055、ST051などのSB遺構以外の個別遺構の土層註記を行った。特にSX053とSX055の切り合い関係に気を付けた。また、先日の長雨による水溜りや土層断面の崩落により、一層手間のかかる作業となった。

5.7 昨日に引き続き、昨年度現場にて図面註記。昨日までにはほぼ註記が必要な図面の記入は済んだが、記入もれなどがないかチェックして記入もれ箇所や再確認箇所は現場で検討するという作業を一日かけて行った。

5.10 図面 写真整理を実施。

5. 11 昨年度、実測した図面のチェックと註記の確認等の補正作業を現場で実施した。備品類の整理等の調査準備も併せて実施。
5. 12 引き続き図面整理。Ⅱ区盛土部の個別実測遺構(SB、SK、ST、SX)の補正作業を行う。特にSBの補正作業に時間がかかる。
5. 13 昨日に引き続き図面整理。SBはⅡ区盛土部にSB032～SB040までであるが、その各々の柱穴一つ一つの確認を行っている。
5. 14 昨日に引き続き図面整理。Ⅱ区盛土部のSB遺構の補正、確認作業を主として実施。
5. 17 昨年度作成した図面(平面図等)の配置や遺構番号等の確認を現場(調査区)において行った。昨年度の調査区は少なくとも8月までは埋め戻さず残っているため、現場での確認作業をできるだけ実施している。昨年度も利用していたプレハブについて、今年度も賃貸する契約が整ったため、現地において引き渡しを受けた。
5. 19 昨年度、作成した図面のレベル及び註記等の確認と補正作業を現場で実施。土層註記や土色等に若干補正すべき点がある。
5. 20 昨日から引き続き図面チェックと補正(修正)を現場において確認しながら実施。チェック及び修正の終了については、図面台帳作成等の作業へと随時移行している。
5. 21 Ⅱ区盛土部の確認が終了したので、Ⅱ区下段部についても今まで同様の確認作業を現場と事務所の往復で行った。

## 2. 調査の組織

### 【平成15年度・本調査】

- 発掘調査主体 熊本県教育委員会
- 調査責任者 成瀬烈大(文化課長)、島津義昭(教育審議員兼課長補佐)
- 調査総括 高木正文(主幹兼文化財調査第1係長)
- 調査事務 小田信也(教育審議員兼課長補佐)、中村幸宏(主幹兼総務係長)、天野寿久(主任主事)、杉村輝彦(主事)
- 調査担当 帆足俊文(主任学芸員)、松尾茂(嘱託)

### 【平成23年度・整理作業】

- 発掘調査主体 熊本県教育委員会
- 調査責任者 小田信也(文化課長)、川上勝美(課長補佐)
- 調査総括 村崎孝宏(文化財調査第1係長)
- 調査事務 水元敬浩(主幹兼総務係長)、山田京子(参事)、松島英樹、天草英子(主任主事)
- 調査担当 村崎孝宏(文化財調査第1係長)、戸田紀美子(嘱託)、藤本香織、中村正子、木村ゆり子、高田清香、中村典子、本田頼子、井上真優、樋脇逸子、吉本裕美(臨時)

### 【平成24年度・報告書作成】

- 発掘調査主体 熊本県教育委員会
- 調査責任者 小田信也(文化課長)、西住欣一郎(課長補佐)
- 調査総括 村崎孝宏(文化財調査第1係長)
- 調査事務 川上勝美(課長補佐)、中津幸三(課長補佐兼総務・助成班担当)、松尾康延、稲本尚子(参事)、天草英子(主任主事)
- 調査担当 村崎孝宏(文化財調査第1係長)、戸田紀美子、築出直美(嘱託)、藤本香織、中村正子、木村ゆり子、高田清香、樋脇逸子(臨時)



Fig.66 頭地田口C遺跡 I区 遺構配置図跡

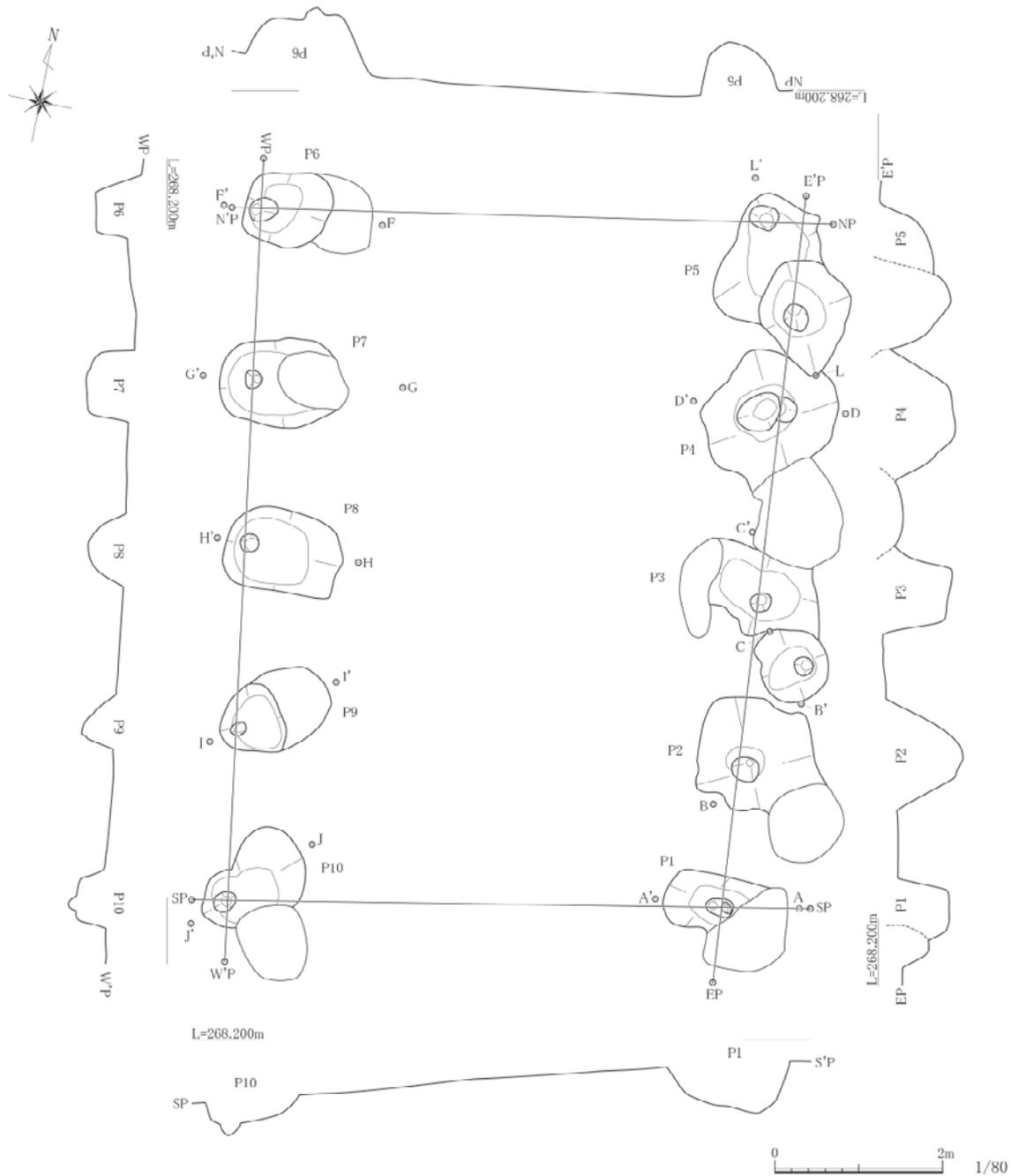


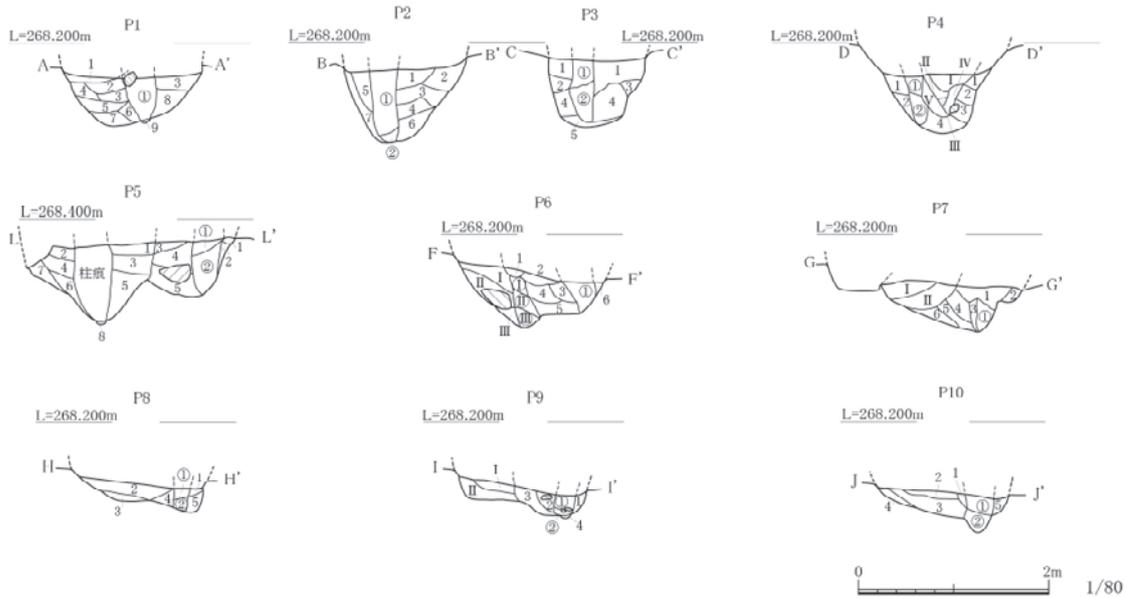
Fig.67 頭地田口C遺跡 I区 SB021実測図

### 3. 調査の成果

#### (1) 遺構について

##### SB021(Fig. 67)

I区上段部北よりに位置し、SB022と重複する。1間×4間の建物である。SB022の南北軸は、東に6度ずれており、建て替えの可能性が考えられる。梁行600cm、桁行825cmである。桁行の柱間寸法は、P1～P5、P6～P10とも180～225cmである。桁行の軸は、N-9°-Wである。柱穴の直径は60～80cm、深さは確認面から50～60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.68に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。



- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <p>SB021 P1<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂<br/>2 Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂<br/>3 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂<br/>6 Hue2.5Y 1/3 (黒褐) 粗砂<br/>7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>8 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂<br/>9 Hue2.5Y 5/3 (黄褐) 粘土<br/>柱を固定する為に柱穴底面を一度掘削して、やや砂質の粘土を固めて詰めたもの<br/>柱痕<br/>① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂<br/>底部に黄色土乱れて入る</p> | <p>SB021 P2<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>黄色土が帯状に入る<br/>2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂<br/>3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂<br/>中礫を含む<br/>4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂<br/>5 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂<br/>6 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>7 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂<br/>柱痕<br/>① Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>非常にろい土<br/>柱痕外ワクに柱の残骸(腐食過程)がみられる<br/>② Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂</p> | <p>SB021 P3<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂<br/>3 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>4 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂<br/>5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂<br/>柱痕<br/>① Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂<br/>② Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂<br/>わずかながら微粒の炭化物が見られる</p> | <p>SB021 P4<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂<br/>2 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂<br/>4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂<br/>わずかながら微粒の炭化物を含む<br/>I Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂<br/>II Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>III Hue10YR 2/1 (黒) 細砂<br/>IV Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>V Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂<br/>黄色土が乱れている<br/>柱痕<br/>① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂<br/>② Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂</p> |
| <p>SB021 P5<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂<br/>2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>4 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂<br/>5 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂<br/>柱痕<br/>① Hue10YR 2/1 (黒) 中砂<br/>② Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂<br/>10~20mm大の黄色ブロックが顕著にみられる</p>   | <p>SB021 P6<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂<br/>2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>3 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>4 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂<br/>5 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>6 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂<br/>柱痕<br/>① Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>微粒の炭化物が見られる</p>  | <p>SB021 P7<br/>柱穴取痕<br/>1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂<br/>柱穴埋土<br/>2 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂<br/>3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂<br/>4 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂<br/>5 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂<br/>6 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂<br/>柱痕<br/>① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂</p>                   | <p>SB021 P8<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂<br/>2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂<br/>3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂<br/>4 Hue10YR 3/3 (黒褐) 粗砂<br/>5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂<br/>柱痕<br/>① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂<br/>② Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂</p>   |
| <p>SB021 P9<br/>1 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂<br/>2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂<br/>3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂<br/>2層に比べ縮まりがある<br/>4 Hue2.5Y 5/3 (黄褐) 粘土<br/>柱を固定するために柱穴底面を一度掘削して、やや砂質の粘土を固めて詰めたもの<br/>柱痕<br/>① Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂<br/>② Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂</p>   | <p>SB021 P10<br/>柱穴埋土<br/>1 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂<br/>細礫混じり<br/>2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト<br/>3 Hue10YR 2/1 (黒) 粗粒シルト<br/>4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト<br/>5 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト<br/>柱痕<br/>① Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂<br/>微粒の炭化物を全体に含む<br/>② Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂<br/>①層に比べてろい土</p>  |   |   |

Fig.68 頭地山口C遺跡 I区 SB021土層断面実測図

### SB022(Fig. 69)

I区上段部北よりに位置する。SB021と重複する。1間×6間の建物である。梁行600cm、桁行825cmである。桁行の柱間寸法は185~300cmで、桁行の軸は、N-16°-Wである。柱穴の直径は60~80cm、深さは確認面から50~60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.70に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。SB021の南北軸は、西に6度ずれており、建て替えの可能性が考えられる。

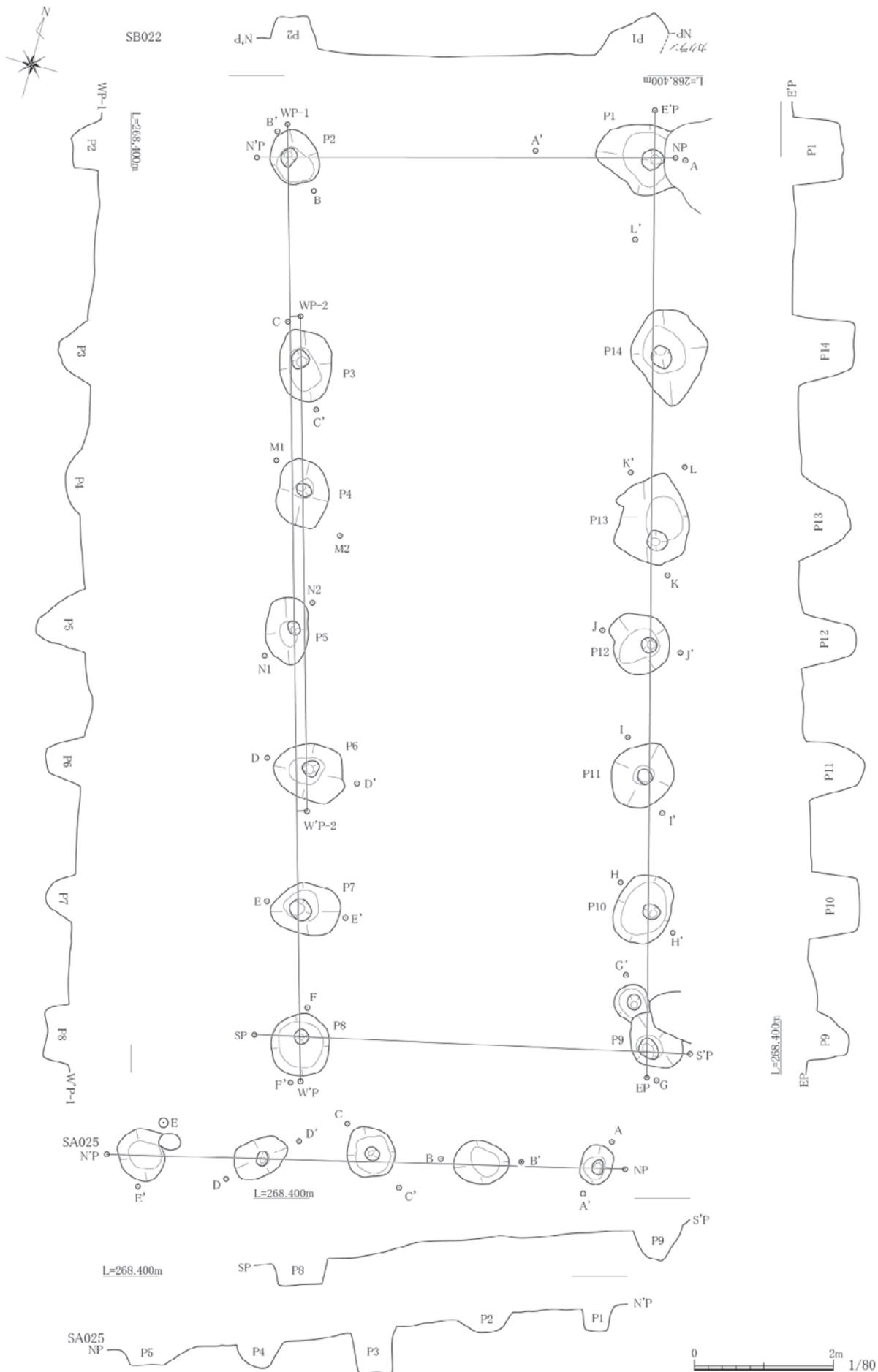


Fig.69 頭地田口C遺跡 I区 SA025・SB022実測図

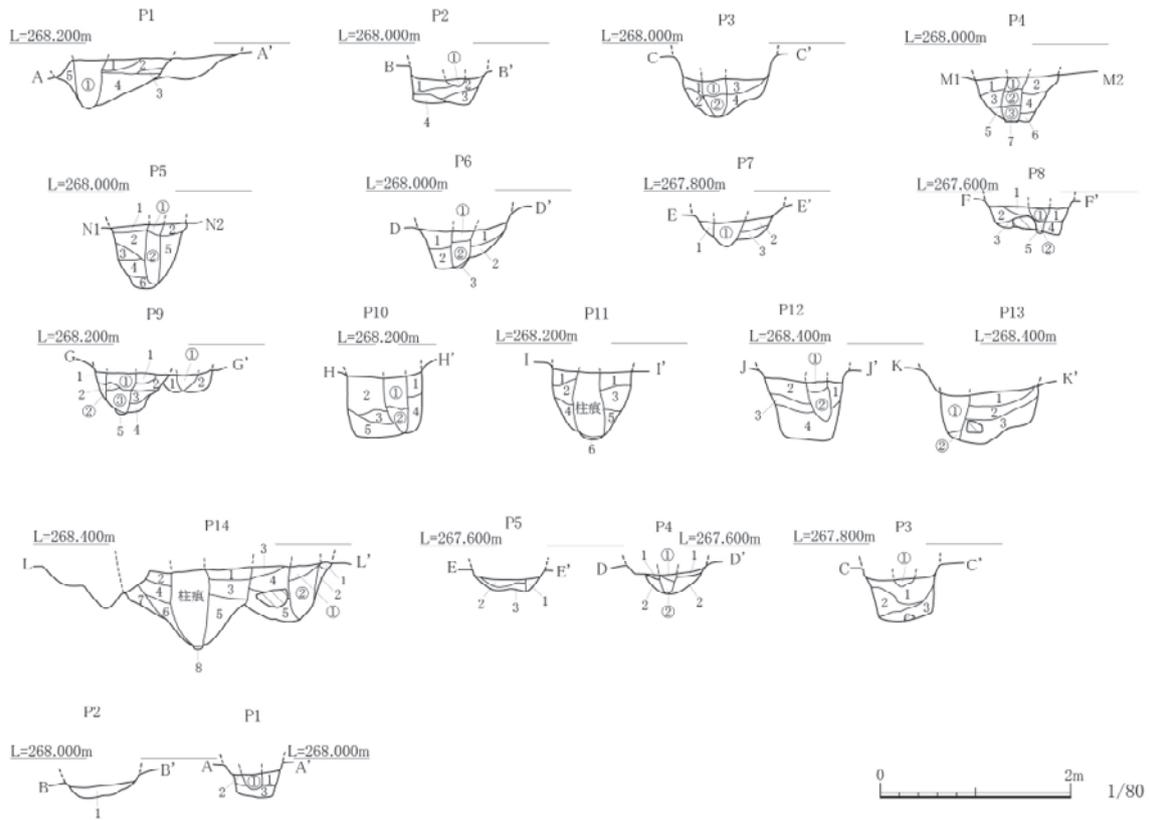
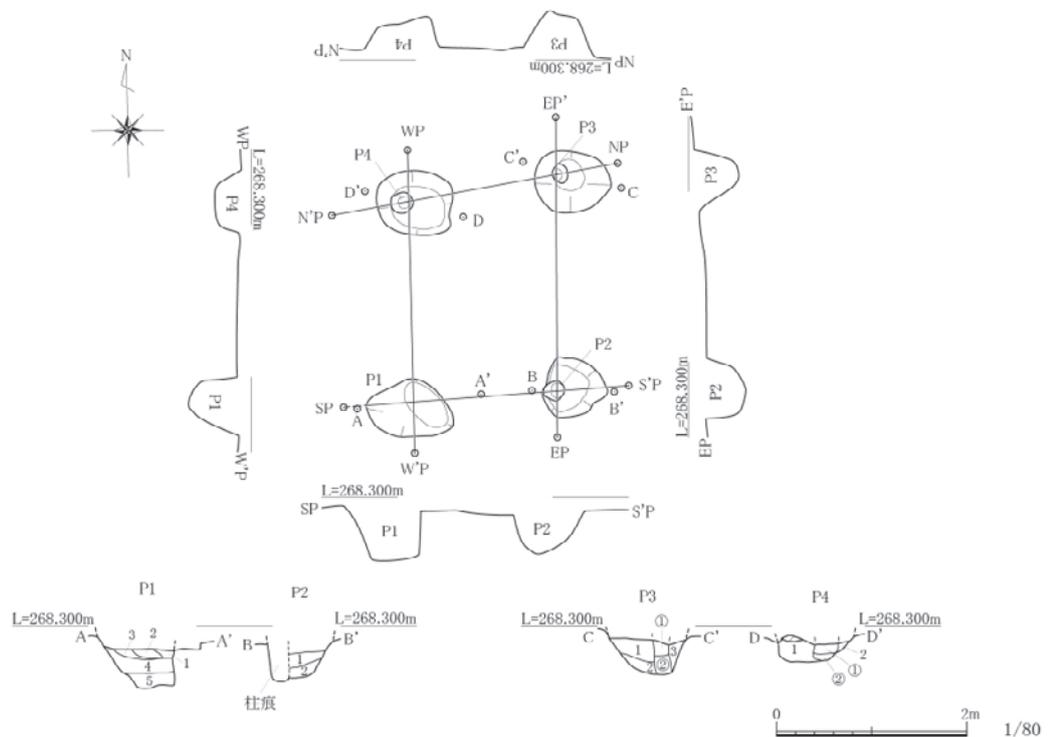


Fig.70 頭地田口C遺跡 I区 SB022土層断面実測図



SB023 P1

柱穴埋土

1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂

2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂

細礫混じり

3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂

4 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂

5 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂

\* 柱痕は確認できず

SB023 P2

柱穴埋土

1 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂

2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂

\* 柱痕部分は崩れて土層確認できず

SB023 P3

柱穴埋土

1 Hue10YR 2/3 (黒褐) 中砂

2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂

3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂

柱痕

① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂

② Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂

SB023 P4

柱穴埋土

1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂

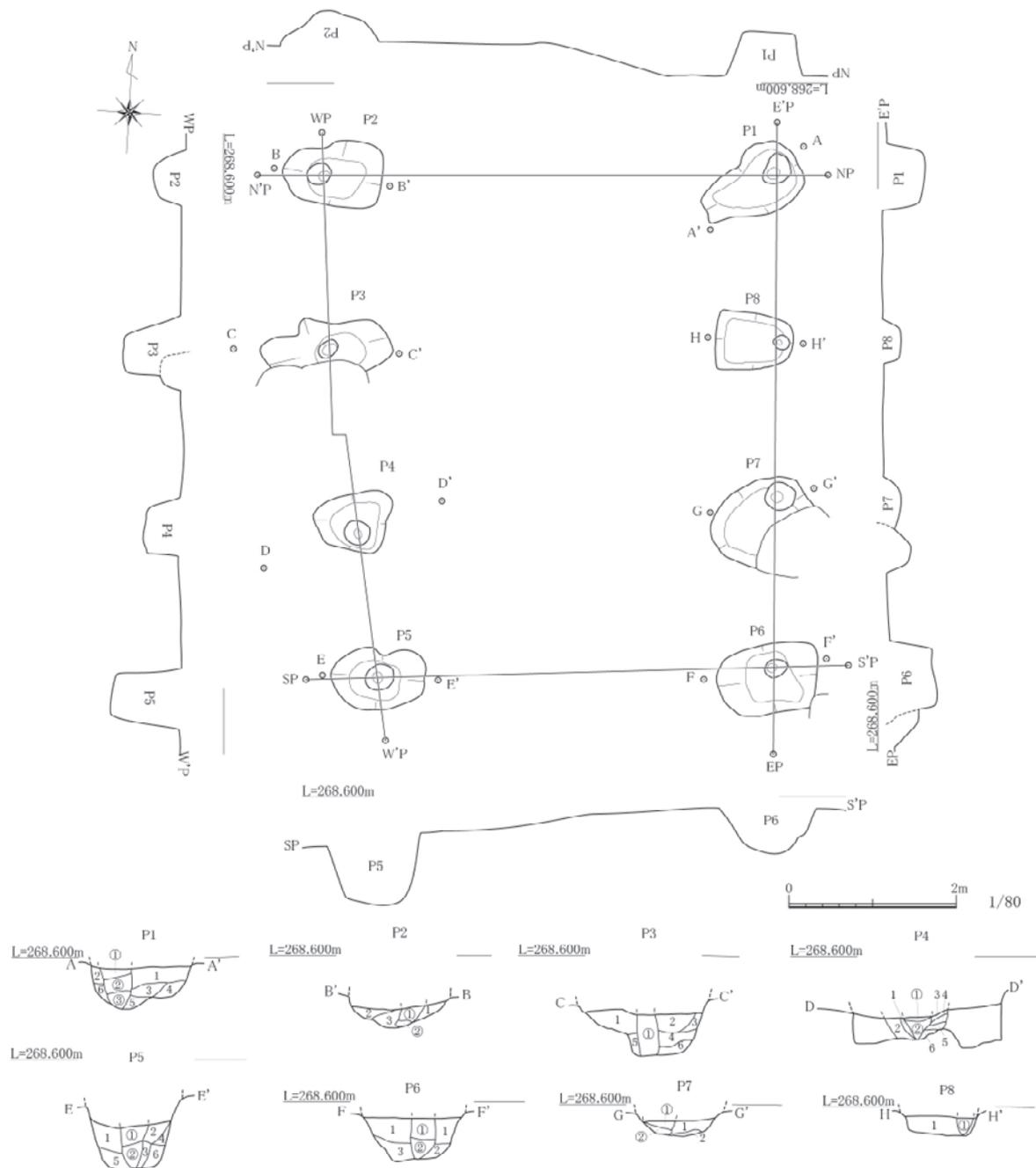
2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂

柱痕

① Hue10YR 2/1 (黒) 中砂

② Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂

Fig.71 頭地田口C遺跡 I区 SB023実測図



SB024 P1

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂
- 細礫を全体に含む
- 3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 4 Hue10YR 4/6 (褐) 中砂
- 5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
- 6 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂  
10~30mm大の炭化物、焼土を含む
- ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂
- ③ Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂

SB024 P2

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 2 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/1 (黒) 中砂
- ② Hue10YR 2/2 (暗褐) 細砂

SB024 P3

- 1 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 4 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
- 5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 6 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂  
しまりがなくもろい土

SB024 P4

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂
- 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
- 5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 6 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
微粒の炭化物まじり
- ② Hue10YR 2/1 (黒) 中砂  
黄色ブロックが乱れて入る

SB024 P5

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
- 3 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂
- 4 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
- 5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 6 Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- ② Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂

SB024 P6

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- ② Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂  
下部に中礫を含む

SB024 P7

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 1層比べてしまりがある

柱痕

- ① Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂
- ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂

SB024 P8

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂

わずかながら微物の炭化物が見られる

Fig.72 頭地田口C遺跡 I区 SB024実測図

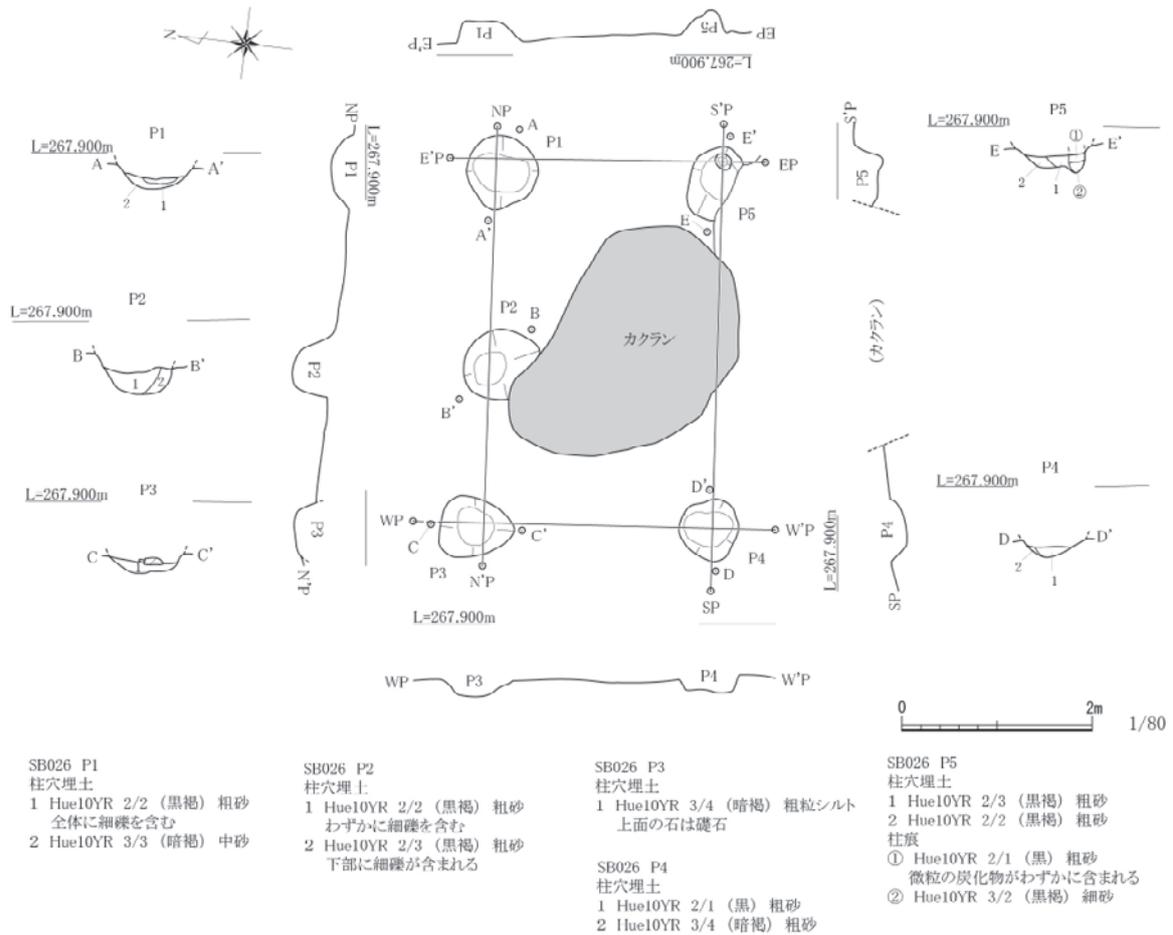


Fig.73 頭地田口C遺跡 I区 SB026実測図

両者の先後関係は、SB021のP5をSB022のP14が切っていることから、SB021⇒SB022であると考えられる。

**SA025(Fig. 69)**

I区上段部北よりに位置し、SB022の梁行P8-P9に並行する柱列が確認された。柱間寸法は、すべて160cmである。柱穴の直径は55～80cm、深さは確認面から25～65cmを測り、柱痕跡が確認できる。柱穴の下端のレベルは一定ではない。

**SB023(Fig. 71)**

I区上段部北東よりに位置する。1間×1間の建物である。梁行160cm、桁行220～230cmである。桁行の軸は、N-1°-Wである。柱穴の直径は60～80cm、深さは確認面から50～60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.71に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。

**SB024(Fig. 72)**

I区上段部北よりに位置する。1間×3間の建物である。梁行480～545cm、桁行585cmである。桁行の柱間寸法は、185～200cmである。桁行の軸は、N-3°-Wである。柱穴の直径は60～80cm、深さは確認面から50～60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.72に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。

**SB026(Fig. 73)**

I区上段部中央よりに位置する。1間×2間の建物である。梁行240cm、桁行360cmである。桁行の柱間寸法は、160～200cmである。桁行の軸は、E-5°-Nである。柱穴の直径は60～80cm、深さは確認面から50～60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.73に示したとおりである。柱穴の

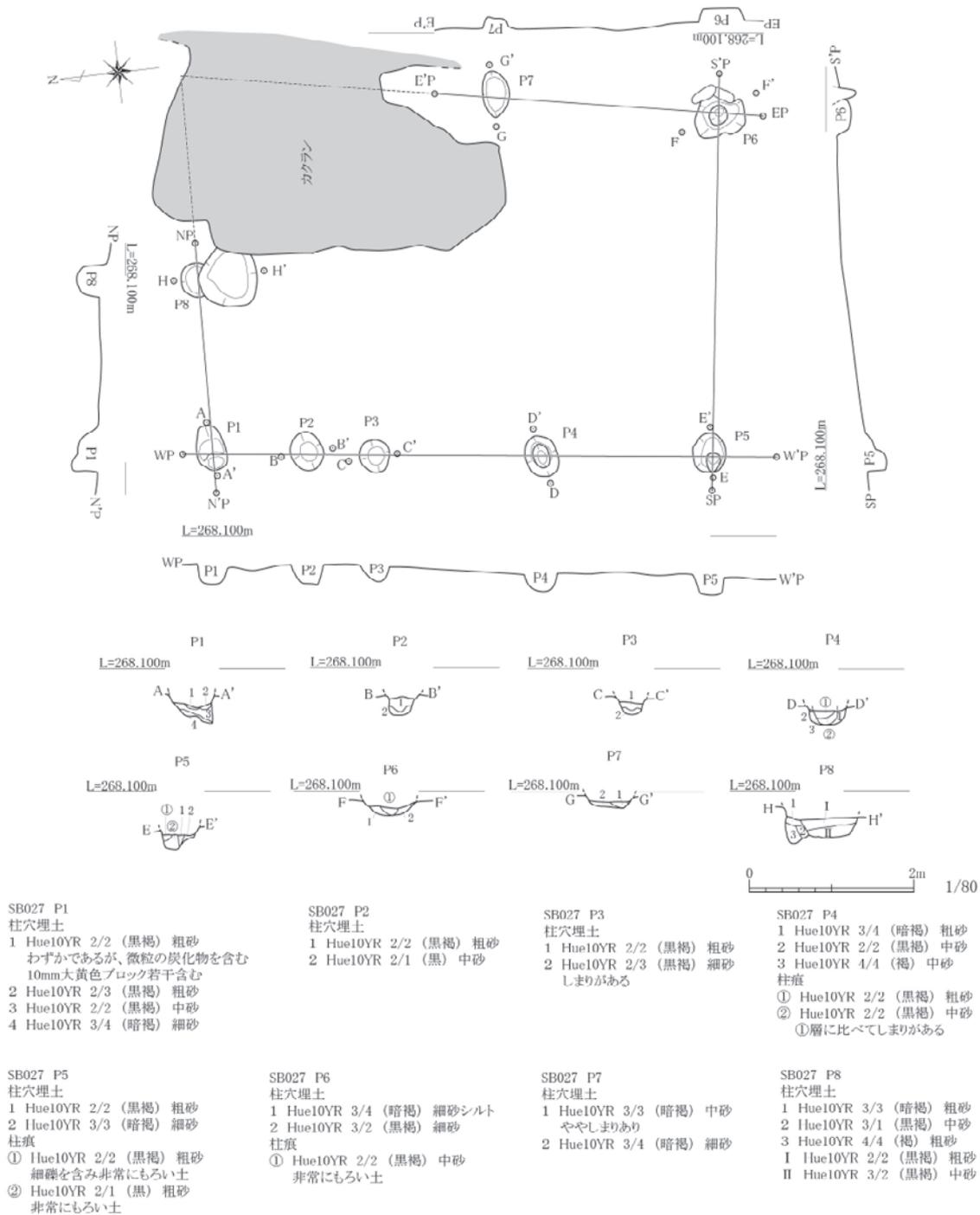
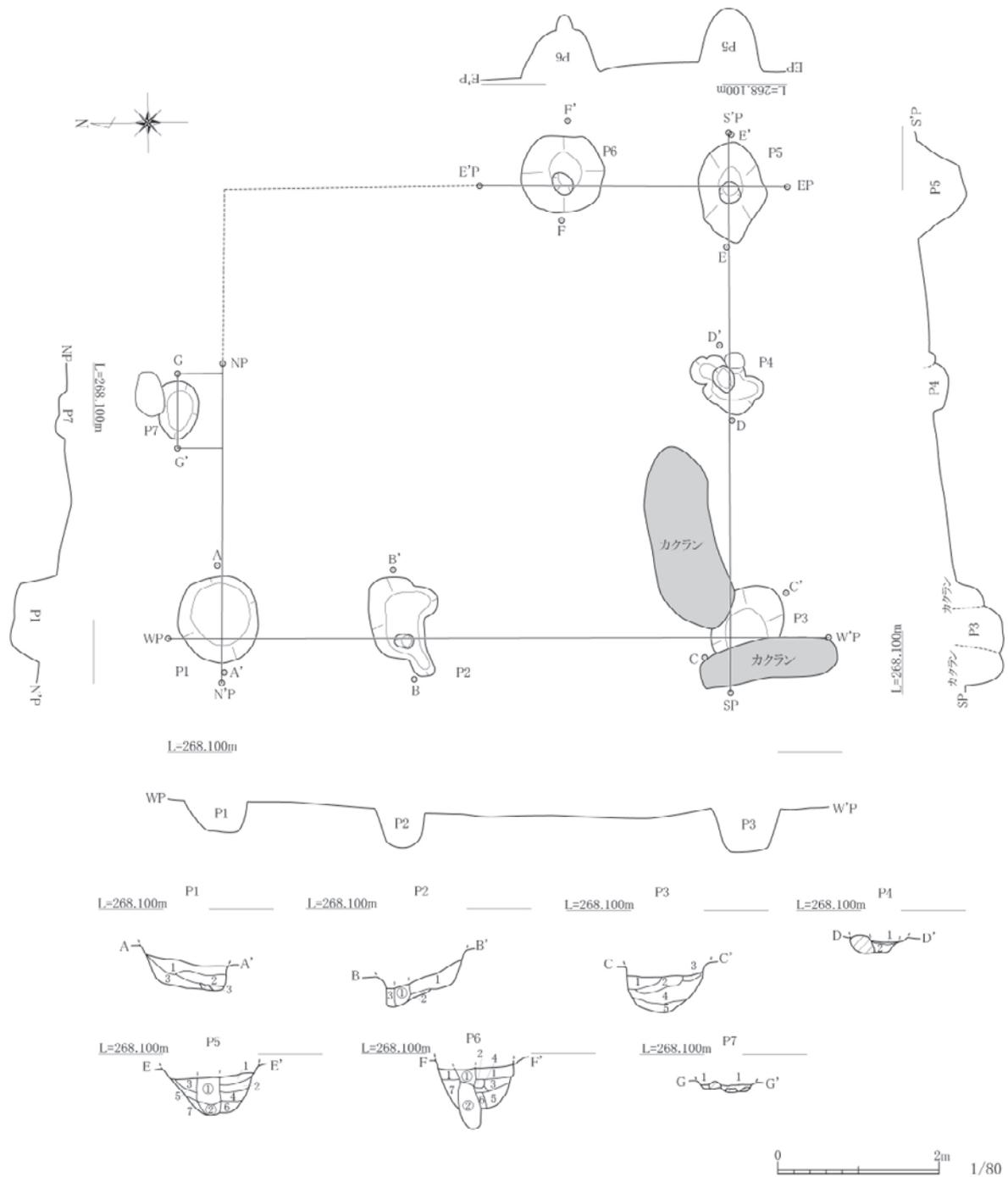


Fig.74 頭地田口C遺跡 I区 SB027実測図

下端のレベルは一定ではない。

SB027(Fig. 74)

I区上段部南よりに位置する。1間×4間の建物である。東西行430cm、南北行600cmである。南北行の柱間寸法は、P1-P5で120cm、80cm、200cm、200cmである。P6-P7の柱列の延長上北東隅は攪乱により確認できない。南北行のP6-P7で270cm、東西行のP1-P8で215cmであり、南北列・東西列とも柱配置が異なる。桁行の軸は、N-7°-Wである。柱穴の直径は60~80cm、深さは確認面から50~60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.74に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。



SB028 P1  
柱穴埋土  
1 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 極粗砂  
2 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 極粗砂  
3 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗砂  
中礫を若干含む  
\*柱痕は確認できず

SB028 P2  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 極粗砂  
2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
3 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
柱痕  
① Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂  
しまりなし

SB028 P3  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
3 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
4 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
中礫を含む  
5 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
\*柱痕は確認できず

SB028 P4  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
若干炭化物を含む  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂

SB028 P5  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
中礫を含む  
2 Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂  
3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
部分的に黄色ブロックが混じる  
5 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
6 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
3層に比べてしまりがある  
7 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
柱痕  
① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
細礫を全体に含むもろい土  
② Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
①層に比べしまりがある

SB028 P6  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂  
20mm大の炭化物が全体に含む  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
3 Hue7.5YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
わずかながら炭化物を含む  
4 Hue7.5YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
5 Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂  
6 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
7 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
微粒の炭化物が全体に含まれる  
② Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
しまりがなくもろい

SB028 P7  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 2/3 (黒褐) 細砂  
微粒の炭化物が全体に含まれる

Fig.75 頭地田口C遺跡 I区 SB028実測図

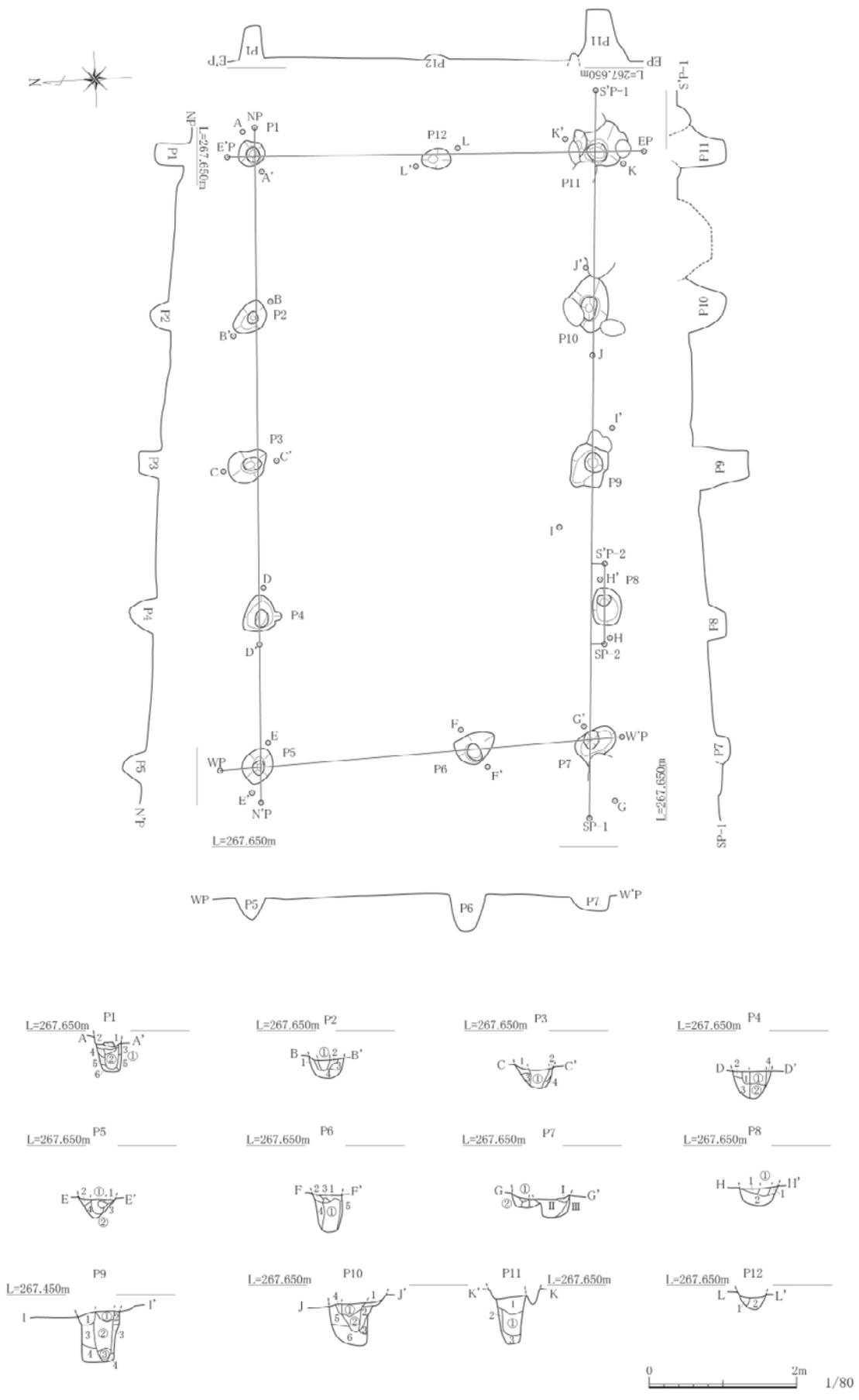


Fig.76 頭地田口C遺跡 I区 SB029実測図

## SB029 土層註記

### SB029 P1

柱抜取痕

- 1 Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂

柱穴埋土

- 3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂
- 4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
2層に比べしまりがある
- 5 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
4層に比べて、さらにしまり粘性がある
- 6 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
しまりが非常に強い

柱痕

- ① Hue10YR 2/3 (黒褐) 中砂  
微粒の炭化物焼土が見られる
- ② Hue10YR 2/1 (黒) 中砂  
しまりなし

### SB029 P2

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
しまりがある
- 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
しまりがある
- 3 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- 4 Hue10YR 2/1 (黒) 中砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂  
わずかにあるが微粒の炭化物が見られる

### SB029 P3

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
- 3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
- 4 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂

### SB029 P4

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
底面に細礫を含む
- 2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
微粒の炭化物が見られる
- 4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- ② Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂

### SB029 P5

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 4/6 (褐) 細砂
- 4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
3層よりしまりがある

柱痕

- ① Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- ② Hue10YR 2/1 (黒) 中砂

### SB029 P6

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂
- 3 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
2層に比べてしまりがある
- 4 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
黄色ブロックが乱れて入る
- 5 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂

柱痕

- ① Hue10YR 1.7/1 (黒) 粗砂

### SB029 P7

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂
- ② Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂

I Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト

II Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂

III Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂

### SB029 P8

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂
- 2 Hue10YR 2/1 (黒) 中砂  
若干細礫を含む

柱痕

- ① Hue10YR 2/1 (黒) 細砂  
ややしまりがある

### SB029 P9

柱穴埋土

- 1 Hue7.5YR 2/1 (黒) 粗砂
- 2 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂
- 4 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂
- ② Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂  
①層に比べてしまりがない  
微粒の炭化物が全体に見られる
- ③ Hue10YR 1.7/1 (黒) 粗砂  
しまりなし

### SB029 P10

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
- 4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- 5 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂
- 6 Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂

柱痕

- ① Hue10YR 2/1 (黒) 中砂
- ② Hue10YR 1.7/1 (黒) 中砂  
①に比べてしまりがある

### SB029 P11

柱抜取痕

- 1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂
- 柱穴埋土
- 2 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂
  - 3 Hue2.5YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
2層に比べてしまりがある

柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂

### SB029 P12

柱穴埋土

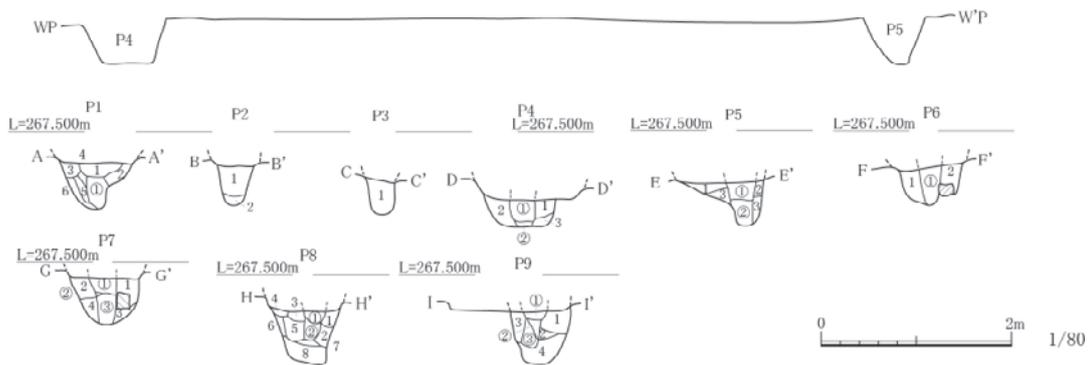
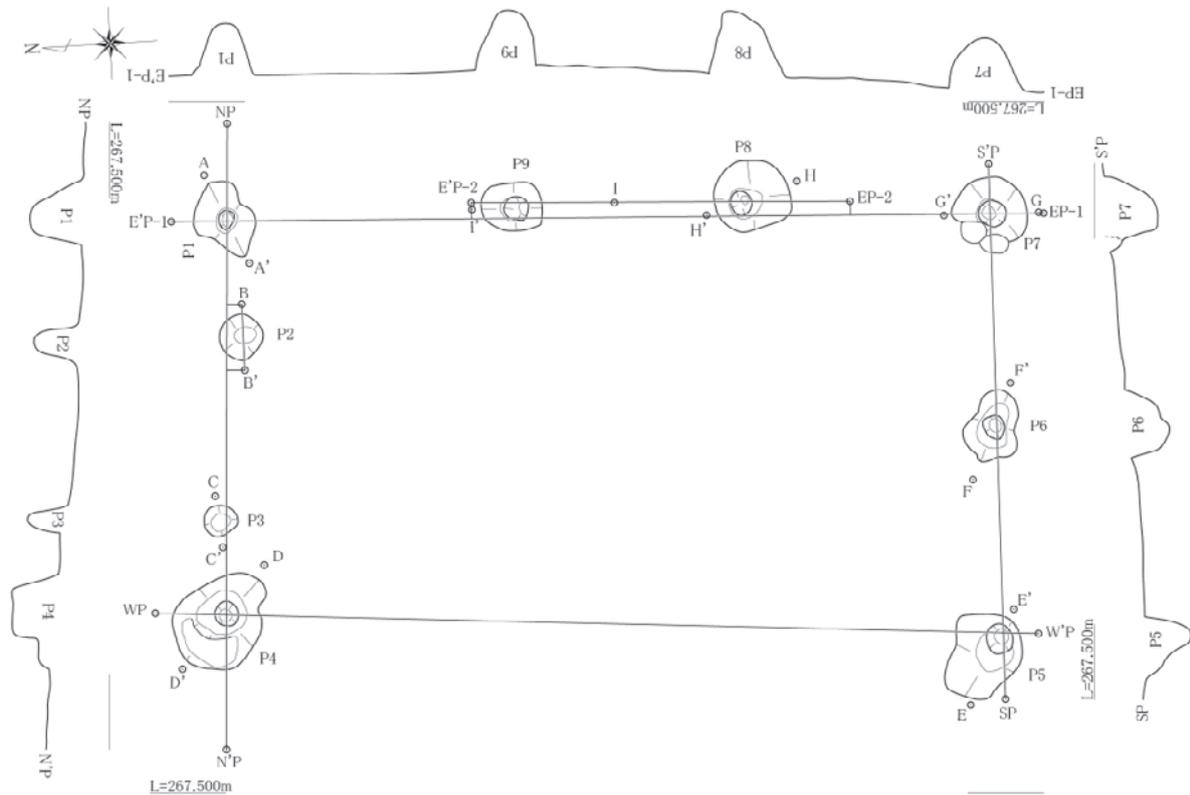
- 1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
- 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト

## SB028(Fig. 75)

I 区上段部南よりに位置する。SB027と重複する。南北行の P2-P3間と東西行北東隅については、攪乱により柱穴が確認できないが、P1-P3の柱列と P5-P6の柱穴の配置から2間×3間の建物であると推定される。梁行560cm、桁行650cmである。桁行の柱間寸法は200~225cmで、桁行の軸は、N-0°-Wである。柱穴の直径は60~80cm、深さは確認面から50~60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.75に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。SB027との先後関係は、不明である。

## SB029(Fig. 76)

I 区上段部南よりに位置する。2間×4間の建物である。梁行450~465cm、桁行810~840cmである。桁行の柱間寸法は185~225cmで、桁行の軸は、E-2°-Sである。柱穴の直径は50~60cm、深さは確認面から25~70cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.76に示したとおりである。



- SB030 P1  
柱穴取痕  
1 Hue10YR 2/3 (黒褐) 細砂  
柱穴埋土  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂  
5 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
6 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
細礫を含む  
柱痕  
① Hue10YR 2/1 (黒) 細砂  
10~30mm大の炭化物を含む

- SB030 P2  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト  
粘り気があり、わずかに見えるが微粒焼土を含む  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細粒シルト  
縮まり粘り共にある
- SB030 P3  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂

- SB030 P4  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
2 Hue7.5YR 3/2 (黒褐) 中砂  
3 Hue7.5YR 3/4 (暗褐) 細砂  
柱痕  
① Hue10YR 2/1 (黒) 中砂  
微粒の炭化物、焼土をわずかに含む  
② Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
微粒の炭化物、焼土をわずかに含む

- SB030 P5  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
細礫混じりである  
3 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
柱痕  
① Hue10YR 1.7/1 (黒) 中砂  
微粒の炭化物がわずかに見られる  
② Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂

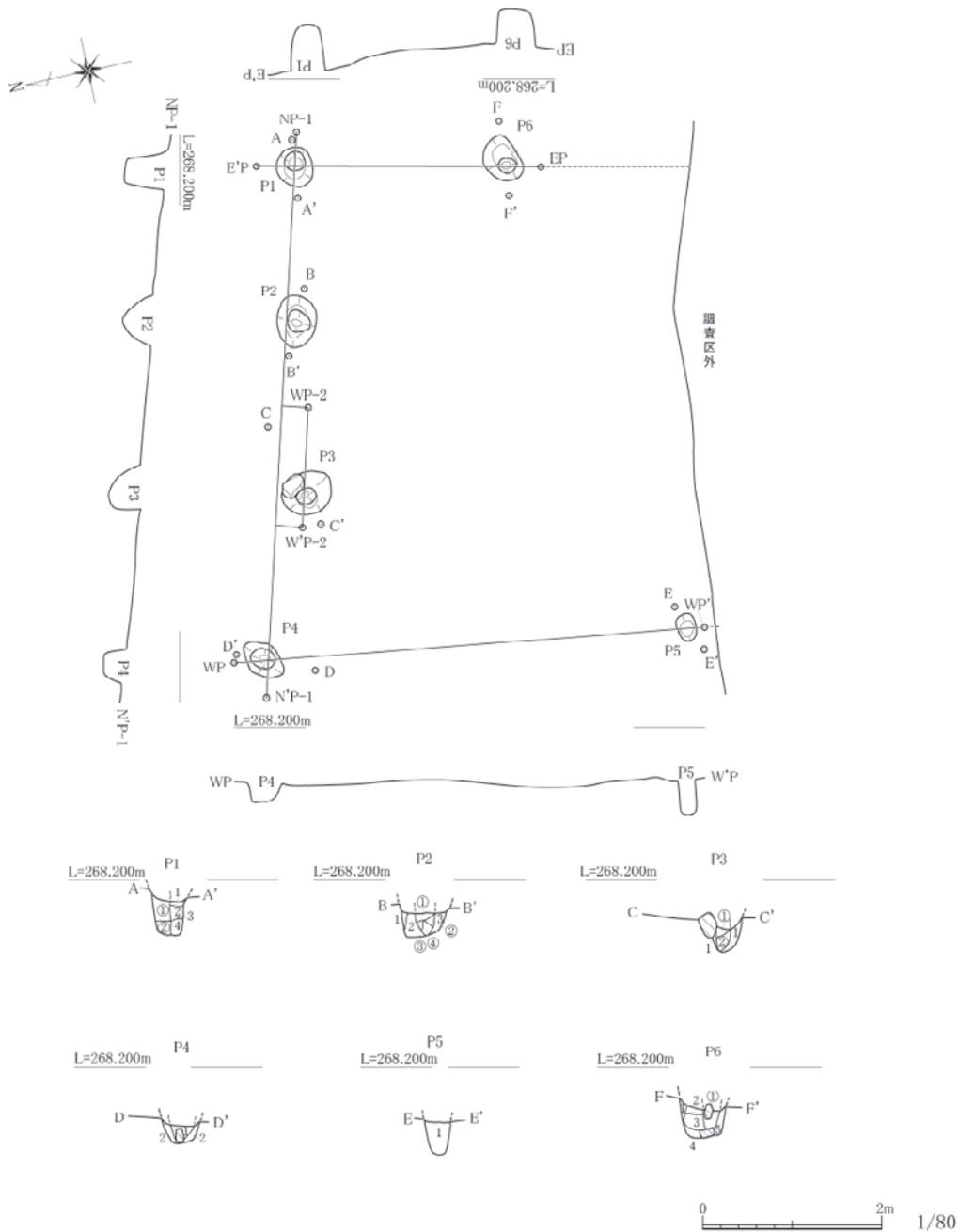
- SB030 P7  
柱穴埋土  
1 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中砂  
2 Hue2.5Y 4/4 (褐) 中砂  
3 Hue10YR 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
4 Hue10YR 4/6 (褐) 細砂  
柱痕  
① Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂  
② Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 中砂  
③ Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂

- SB030 P8  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
2 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂  
3 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
5 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
6 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
7 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト  
やや粘りがある  
8 Hue10YR 4/6 (褐) 細砂  
細礫を全体に含む  
柱痕  
① Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂  
② Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂

- SB030 P9  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
1層に比べてしまりがある  
3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
中礫を含む  
4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
わずかながら微粒の焼土を含む  
② Hue10YR 2/1 (黒) 細砂  
しまりがある  
③ Hue10YR 2/3 (黒褐) 中砂  
細礫を含む

- SB030 P6  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
柱痕  
① Hue10YR 2/1 (黒) 粗砂

Fig.77 頭地田口C遺跡 I区 SB030実測図



- SB031 P1  
柱穴埋土  
1 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
柱痕  
① Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂  
しまりなし  
② Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗砂

- SB031 P4  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂

- SB031 P2  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
2 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
細礫を若干含む  
② Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
③ Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
④ Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
若干しまりがあり細礫を含む

- SB031 P5  
柱穴埋土  
1 Hue5Y 2/2 (オリーブ黒) 粗砂  
しまりがある

- SB031 P3  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
しまりがある  
柱痕  
① Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂  
若干炭化物混じりである  
② Hue10YR 3/2 (暗褐) 中砂  
粘りがある

- SB031 P6  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂  
しまりがある  
2 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
中礫をわずかに含む  
3 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
2層に比べてしまりがない  
4 Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂  
細礫を含む  
5 Hue10YR 2/3 (黒褐) 粗砂  
しまりなし  
柱痕  
① Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
しまりがある

Fig.78 頭地田口C遺跡 I区 SB031実測図

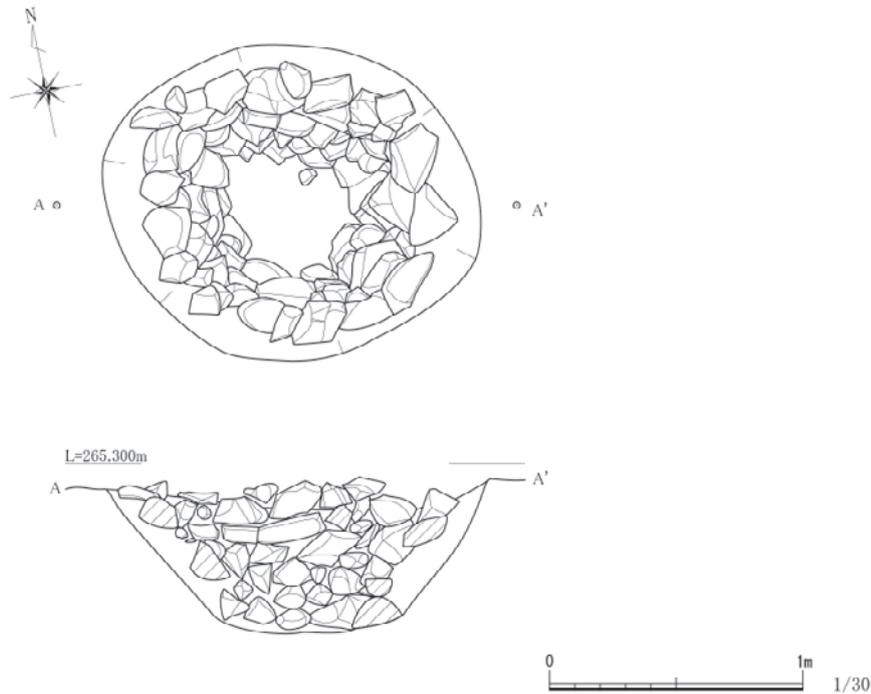


Fig.79 頭地田口C遺跡 I区 SK041実測図

柱穴の下端のレベルは一定ではない。

**SB030(Fig. 77)**

I区上段部南西よりに位置する。2間×3間の建物である。東西行425～450cm、南北行800cmである。南北行の柱間寸法は225～320cmで、南北行の軸は、N-3°-Eである。柱穴の直径は60～80cm、深さは確認面から50～60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.77に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P4-P5の柱間には柱穴が確認できなかった。SB030の桁行が東西方向であり、建物が西側に伸びる可能性が考えられる。

**SB031(Fig. 78)**

I区上段部北東よりに位置する。建物の南側を調査区外により確認できていないが、現状で2間×3間以上の建物である。東西行560cm、南北行460cm以上である。東西行の柱間寸法は180～200cmで、柱列の軸は、E-15°-Sである。柱穴の直径は50～60cm、深さは確認面から30～50cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.78に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。

**SK041(Fig. 79)**

I区下段部南側で検出された長軸155cm、短軸130cm、確認面からの深さ60cmを測る楕円形を呈する土坑である。土坑の掘方は断面形が逆台形状を呈し、壁面は緩やかに傾斜し底面に至る。土坑内には、20～30cm大の礫が充填される。その在り方は、土坑の縁からやや内側に僅かに隙間をもって環状に配され、土坑中央部には礫が入り込まず空白となっている。また、このことは土坑壁面と礫との間に隙間が認められることから、土坑内に充填された礫が滑り落ちたとは考えにくい。しかし、充填された礫の受熱の有無や、埋土中の炭化物の有無、土色、土質等の観察記録が欠如しており、遺物の出土もないことから遺構の時期や機能については不明である。



Fig.80 頭地田口C遺跡 II区遺構配置図

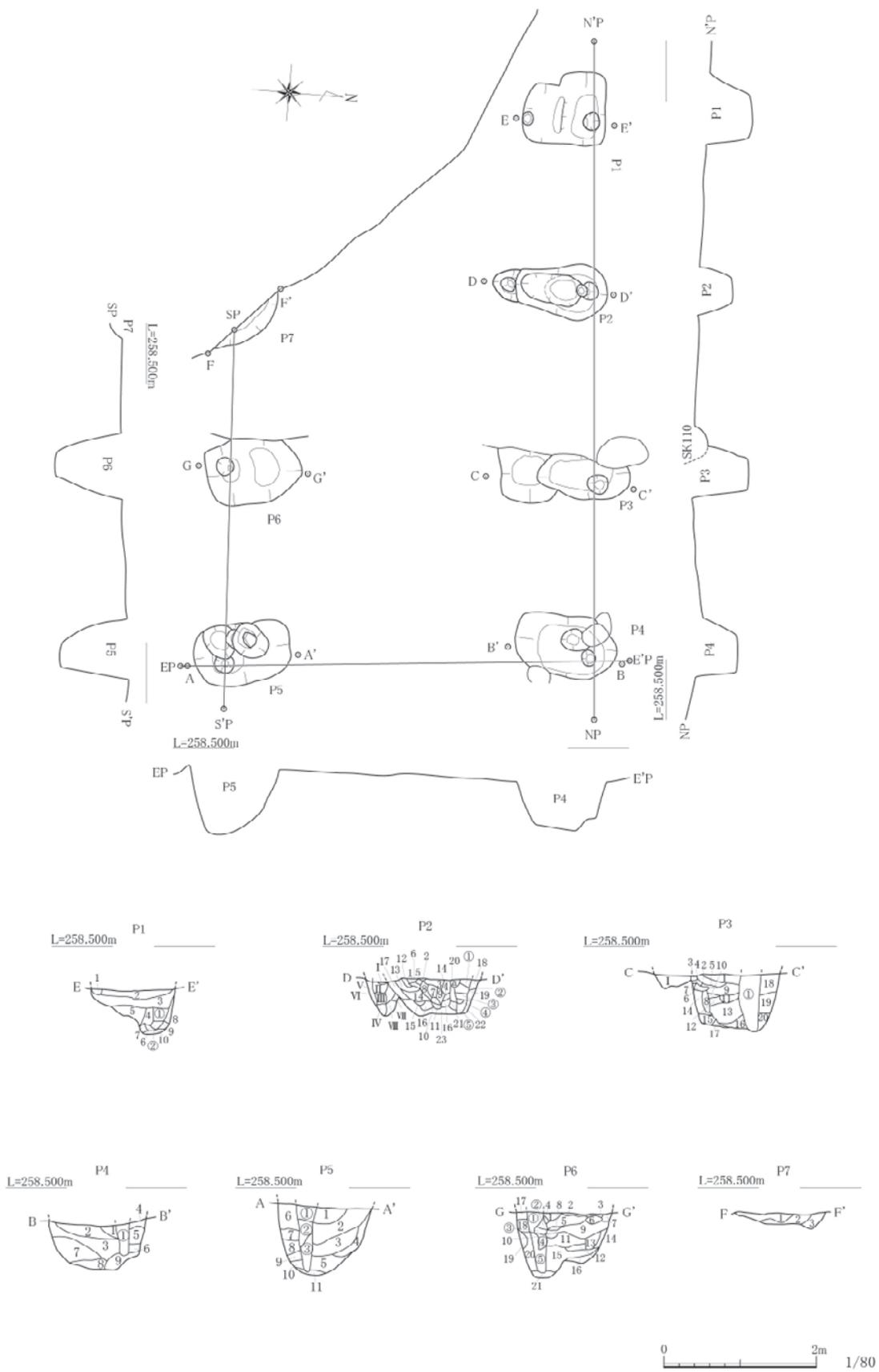


Fig.81 頭地田口C遺跡 II区 SB002実測図

SB002 土層注記

SB002 P1

- 後世のPit  
 1 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
 柱抜取痕  
 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
 柱穴埋土  
 4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
 20mm大の黄色土をブロック状に含まれる  
 5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
 6 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 7 Hue2.5Y 3/2(黒褐) 細砂  
 8 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト  
 9 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
 10 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 微粒の炭化物がわずかに見られる  
 ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂

SB002 P3

- 柱穴埋土  
 1 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
 4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗粒シルト  
 5 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
 6 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
 8 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
 9 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
 黄色土がまだらに入る  
 10 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト  
 11 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
 12 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粘質土  
 13 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
 にごりある土  
 14 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 15 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
 16 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細粒シルト  
 17 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 18 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗粒シルト  
 19 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 20 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 SK112  
 I Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
 わずかながら炭化物が入る

SB002 P6

- 柱抜取痕  
 1 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 柱穴埋土  
 3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 6 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト  
 7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 8 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 9 Hue2.5YR 3/2 (黒褐) 中砂  
 10 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
 微粒の炭化物を含む  
 11 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
 12 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト  
 13 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 14 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 黄色土が乱れて入る  
 15 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
 16 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
 17 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中粒シルト  
 18 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
 19 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
 20 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 21 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂

SB002 P2

- 後世の土壌①  
 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 2 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
 4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 6 Hue10YR 3/3 (黒褐) 細砂  
 7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 黄色土がまばらに入る  
 8 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
 9 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
 10 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
 10 Hue10YR 4/4 (褐) 粘質土  
 後世の土壌②  
 12 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
 13 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 14 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
 15 Hue10YR 4/6 (褐) 粗粒シルト  
 16 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
 細礫混じり  
 柱穴埋土  
 17 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂  
 18 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 19 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
 20 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
 21 Hue10YR 4/6 (褐) 粗粒シルト  
 22 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
 23 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト

SB002 P4

- 柱穴埋土  
 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
 3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 6 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
 7 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 8 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粘質土  
 細礫まじり  
 9 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂

後世のPit

- a Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 微粒の炭化物を全体に含む  
 ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
 微粒の炭化物を全体に含む  
 ③ Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
 微粒の炭化物を全体に含む  
 ④ Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
 微粒の炭化物を全体に含む  
 ⑤ Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
 微粒の炭化物を全体に含む  
 I Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 II Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
 III Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂  
 IV Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粘質土  
 微粒の炭化物がわずかに見られる  
 V Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 VI Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 黄色土が乱れて入る  
 VII Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
 VIII Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト

SB002 P5

- 柱穴埋土  
 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
 黄色土がまだらに入る  
 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 3 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 5 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
 6 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
 7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
 細礫混じり  
 8 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
 9 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
 微粒の炭化物がわずかに含まれる  
 ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
 ③ Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 中砂

SB002 P7

- 柱穴埋土  
 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 微粒の炭化物を含む  
 2 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
 3 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂

SB002(Fig. 81)

Ⅱ区中央西よりに位置する。SB001と重複する。1間×3間の建物である。SB001の東西軸は、南に26°ずれており、建て替えの可能性が考えられる。桁行P1-P4は720cm、梁行P4-P5は470cmである。桁行の柱間寸法は、225~255cmである。桁行の軸は、W-5°-Sである。柱穴の直径は60~80cm、深さは確認面から50~60cmを測り、柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig. 81に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P5とSB001のP16(SK3511)との切り合い関係からSB001に先行する建物

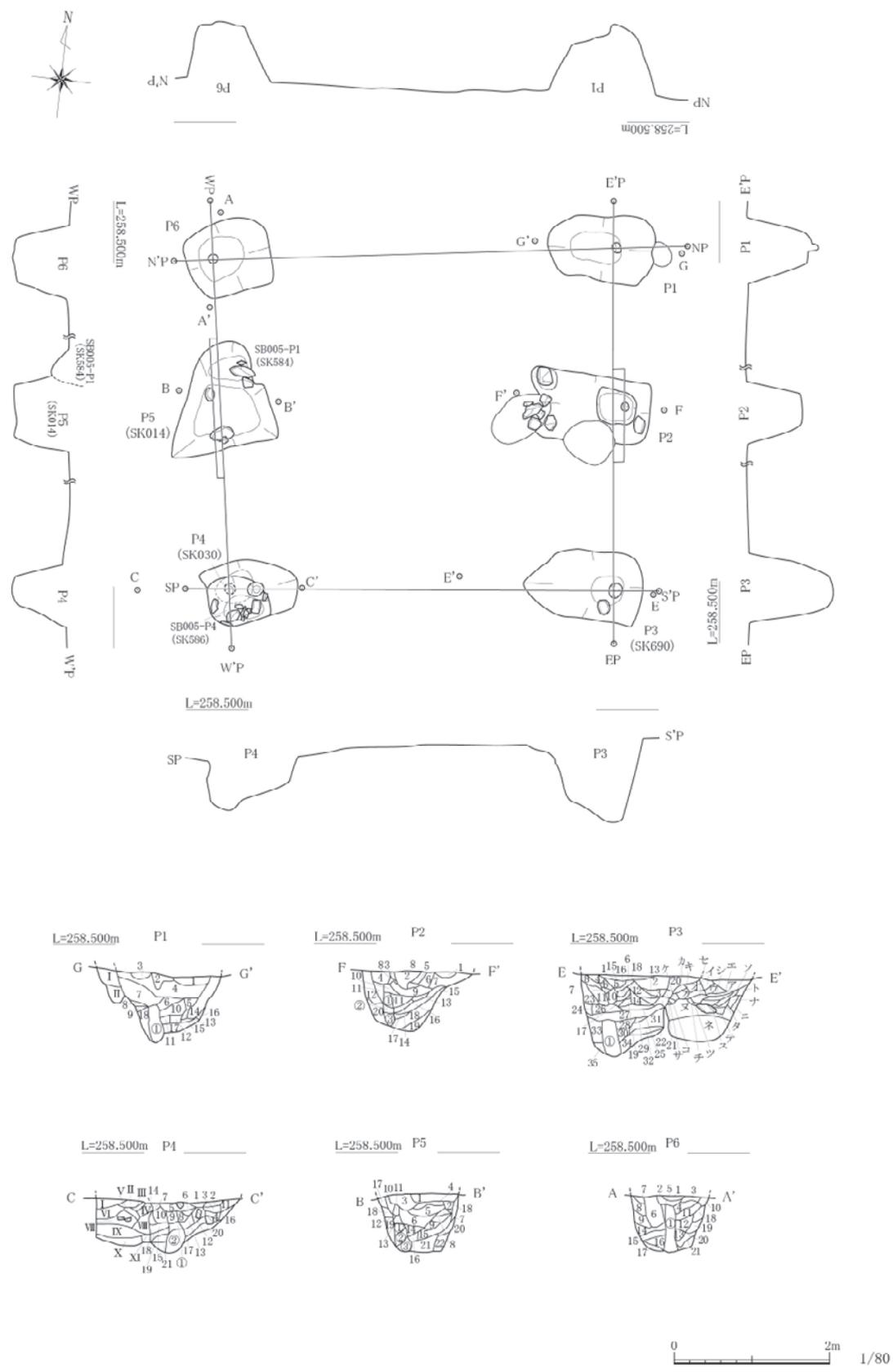


Fig.82 頭地田口C遺跡 II区 SB003実測図

## SB003 土層注記

### SB003 P1

後世の土壌

- 1 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂
  - 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 3 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂
- 柱抜取痕
- 4 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
  - 5 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 6 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 8 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
30mm大の黄色土がブロック上に含まれる
  - 9 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 10 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中粒シルト
  - 11 Hue10YR 4/4 (褐) 粘土質
  - 12 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
30mm大の黄色土をブロック上に含む
  - 13 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 14 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 15 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 16 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 17 Hue10YR 4/4 (褐) 粘土質
  - 18 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
微粒の炭化物を含む
  - I Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
  - II Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト

### SB003 P2

後世の土壌①

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂
- 後世の土壌②
- 2 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
- 柱抜取痕
- 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 5 Hue2.5Y 3/4 (暗褐) 細砂
  - 6 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
  - 7 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 8 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 9 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 10 Hue10YR 3/2 (暗褐) 粗粒シルト
  - 11 Hue10YR 3/4 (褐) 粗粒シルト
  - 12 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細粒シルト
  - 13 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 14 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 15 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト
  - 16 Hue10YR 4/4 (褐) 細粒シルト
  - 17 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 18 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粘土質
  - 19 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
  - 20 Hue10YR 4/4 (褐) 粘土質
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
微粒の炭化物を含む
  - ② Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗粒シルト
  - ③ Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗粒シルト

### SB003 P4

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂
  - 3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
  - 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
  - 5 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
微粒の炭化物を含む
  - 6 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 7 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂
  - 8 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中砂
  - 9 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - 10 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 11 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂
  - 12 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
  - 13 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 14 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂
  - 15 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細粒シルト
  - 16 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト
  - 17 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
10mm大の黄色土をブロック状に含む
  - 18 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト
  - 19 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト
  - 20 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト
  - 21 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗粒シルト  
微粒の炭化物を全体に含む
  - ② Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂

### SB003 P3

柱穴埋土

- 1 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細粒シルト
  - 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
黄色土がまだらに入る
  - 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 4 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 5 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
黄色土混じり
  - 6 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 8 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 9 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
  - 10 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 11 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗粒シルト
  - 12 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
黄色土がまだらに入る
  - 13 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 14 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 15 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 16 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗粒シルト  
黄色土が乱れて入る
  - 17 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
  - 18 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
  - 19 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト
  - 20 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂  
黄色土混じり
  - 21 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
黄色土混じり
  - 22 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 23 Hue10YR 4/4 (褐) 粘土質
  - 24 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 25 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 26 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗粒シルト
  - 27 Hue10YR 4/4 (褐) 細粒シルト  
黄色土が乱れて入る
  - 28 Hue10YR 4/4 (にぶい黄褐) 中砂  
黄色土が乱れて入る
  - 29 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
  - 30 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
  - 31 Hue2.5Y 3/2 (暗褐) 粗砂
  - 32 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト
  - 33 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 34 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 35 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂

### SB003 P5

後世の土壌

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
  - 2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
  - 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
  - 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
微粒の黄色土をブロック状に全体に含む
  - 5 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
黄色土が乱れて入る
  - 6 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂
  - 7 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - 8 Hue10YR 4/6 (褐) 細砂
  - 9 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
- 柱抜取痕
- 10 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂
  - 11 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 12 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 13 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト
  - 14 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 15 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
  - 16 Hue5Y 3/2 (オリーブ黒) 中砂
  - 17 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗粒シルト  
わずかに炭化物含む
  - 18 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト
  - 19 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂
  - 20 Hue10YR 4/4 (褐) ブロック状黄色土の塊
  - 21 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト
  - 22 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
  - ③ Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂  
微粒の炭化物を含む

### SB003 P6

柱抜取痕

- 1 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂
  - 2 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
  - 3 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
微粒の炭化物がわずかながら全体にみられる
  - 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 5 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
黄色土混じり
  - 6 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂
  - 8 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
- 柱穴埋土
- 9 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 10 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 11 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 12 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
黄色土が乱れて入る
  - 13 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 14 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
  - 15 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
  - 16 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂
  - 17 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
黄色土が乱れて入る
  - 18 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂
  - 19 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂
  - 20 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
微粒の炭化物を全体に含み、  
黄色土がブロック上にまだらに入る

遺構と考えられる。建物の軸はSB003と並行することから、両者は同時期の可能性が指摘できる。

## SB003(Fig. 82)

Ⅱ区中央西よりに位置する。SB001、SB002、SB005、SB008と重複する。1間×2間の建物である。桁行P1-P3は440cm、P4-P6は430cm、梁行P1-P6は520cm、P3-P4は500cmである。桁行の柱間寸法は、180～250cmである。桁行の軸は、N-6°-Wである。柱穴の直径は80～150cm、深さは確認面から70～110cmを

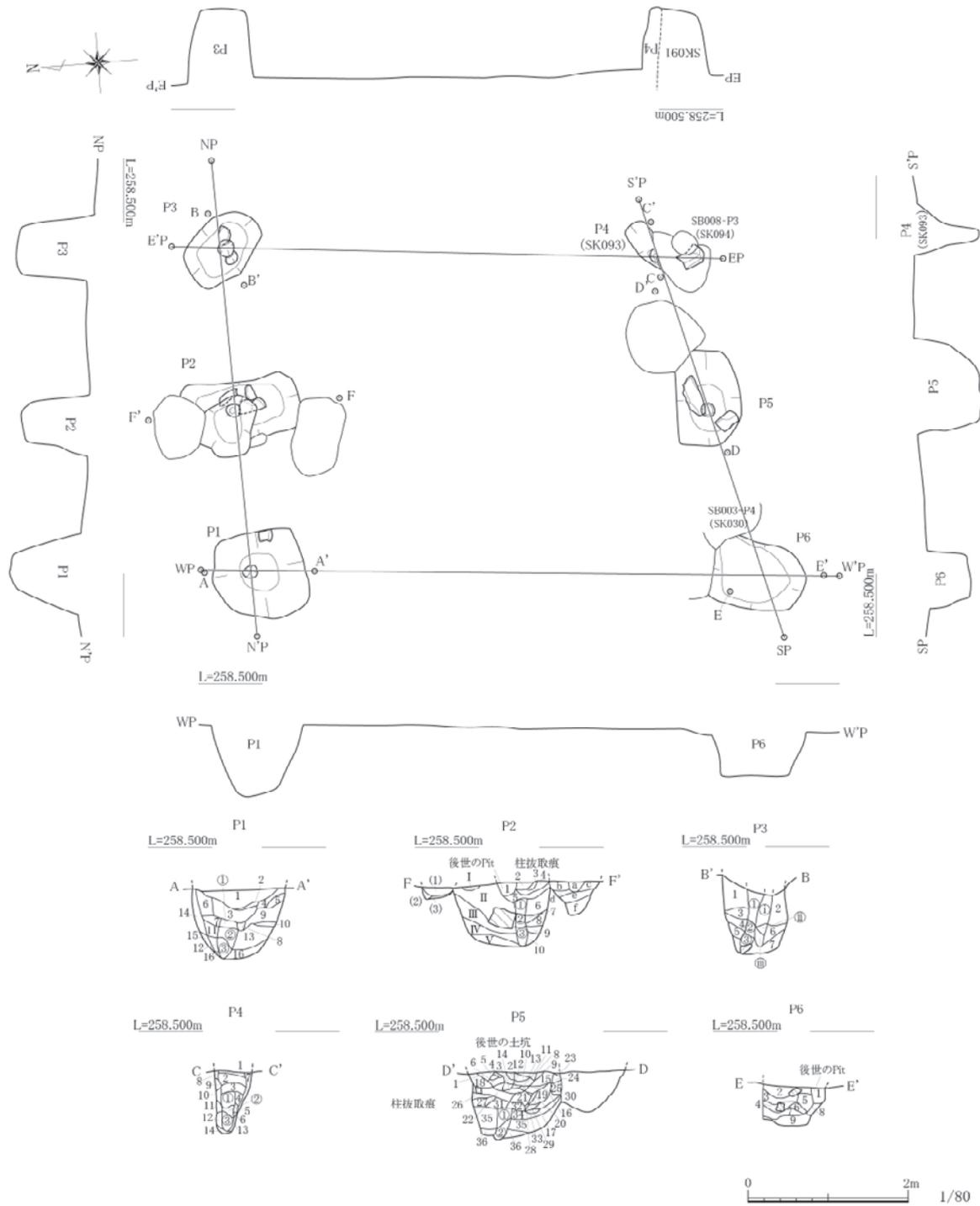


Fig.83 頭地田口C遺跡 II区 SB004実測図

測る。すべての柱穴で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.82に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P4はSB005のP4(SK586)に切られていることから、SB005に先行する。その他の重複する建物遺構との先後関係は不明である。建物軸はSB002と並行することから、両者は同時期の可能性が指摘できる。

**SB004(Fig. 83)**

II区中央西よりに位置する。SB001、SB003、SB005、SB008と重複する。1間×2間の建物である。桁行P1-P3は400cm、P4-P6は510cm、梁行P1-P6は625cm、P3-P4は545cmである。桁行の柱間寸法は、200~295cmである。桁行の軸はP1-P3で、E-1°-Nである。柱穴の直径は80~110cm、深さは確認面から

## SB004 土層注記

### SB004P1

#### 柱抜取痕

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
- 3 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
- 4 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
- 5 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
- 6 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂

#### 柱穴埋土

- 7 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中砂
- 8 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中砂
- 9 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細粒シルト
- 10 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
- 11 Hue2.5YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 12 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト
- 13 Hue2.5Y 4/4 (褐) 粗粒シルト
- 14 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細粒シルト
- 15 Hue10YR 4/4 (黄褐) 粗粒シルト
- 16 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂

#### 柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
  - ② Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 中砂
  - ③ Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂
- 微粒炭化物

### SB004 P4

#### 柱抜取痕

- 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
- 2 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
- 3 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂

#### 柱穴埋土

- 4 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
- 5 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂
- 6 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト
- 7 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト
- 8 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
- 9 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 10 Hue10YR 4/6 (褐) 細砂
- 11 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト
- 12 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細粒シルト
- 13 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細粒シルト
- 14 Hue10YR 3/2 (灰黄褐) 中砂

#### 柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
- わずかに10mm大の炭化物を含む
- ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - ③ Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細粒シルト
- 微粒炭化物

### SB004 P2

#### 後世のPit

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
- 微粒の炭化物がわずかに見られる

#### 柱抜取痕

- 2 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
- 3 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細粒シルト
- 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト
- 5 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中粒シルト

#### 柱穴埋土

- 6 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
- 黄色土がまばらに入る
- 7 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
- 黄色土のブロック塊が入る
- 8 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
  - 9 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗粒シルト
  - 10 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中粒シルト

### SB004 P5

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
- 微粒の炭化物を含む
- 2 Hue2.5Y 4/4 (オリーブ褐) 粗砂
  - 3 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
  - 4 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂
  - 5 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 6 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中砂
  - 7 Hue5Y 2/2 (オリーブ褐) 粗砂
  - 8 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂
- 微粒の炭化物を含む
- 9 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 10 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 11 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
  - 12 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 13 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂
  - 14 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
  - 15 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂
  - 16 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 17 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
  - 18 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂
- 10mm大の炭化物を全体に含む
- 19 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 20 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
  - 21 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 22 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 23 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂
  - 24 Hue10YR 4/6 (褐) 中砂
  - 25 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
- 黄色土が乱れて入る
- 26 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中砂
  - 27 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
- 黄色土が乱れて入る
- 28 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
  - 29 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
  - 30 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗粒シルト

#### 柱抜取痕

- 31 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
- 10mm大の炭化物を含む
- 32 Hue10YR 4/4 (褐) 中粒シルト
  - 33 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粘土質
  - 34 Hue10YR 4/4 (褐) 細粒シルト
  - 35 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト
- 細礫混じり
- 36 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 細礫混じり

#### 柱痕

- ① Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
- ② Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂

### SB004 P3

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 2 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細砂
  - 3 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細粒シルト
  - 4 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 5 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 6 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - 7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト
- 細礫混じり

#### 柱痕

- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂シルト
  - ③ Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
- 未認定柱痕
- i Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト
  - ii Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂
  - iii Hue10YR 3/1 (黒褐) 細粒シルト

### SB004 P6

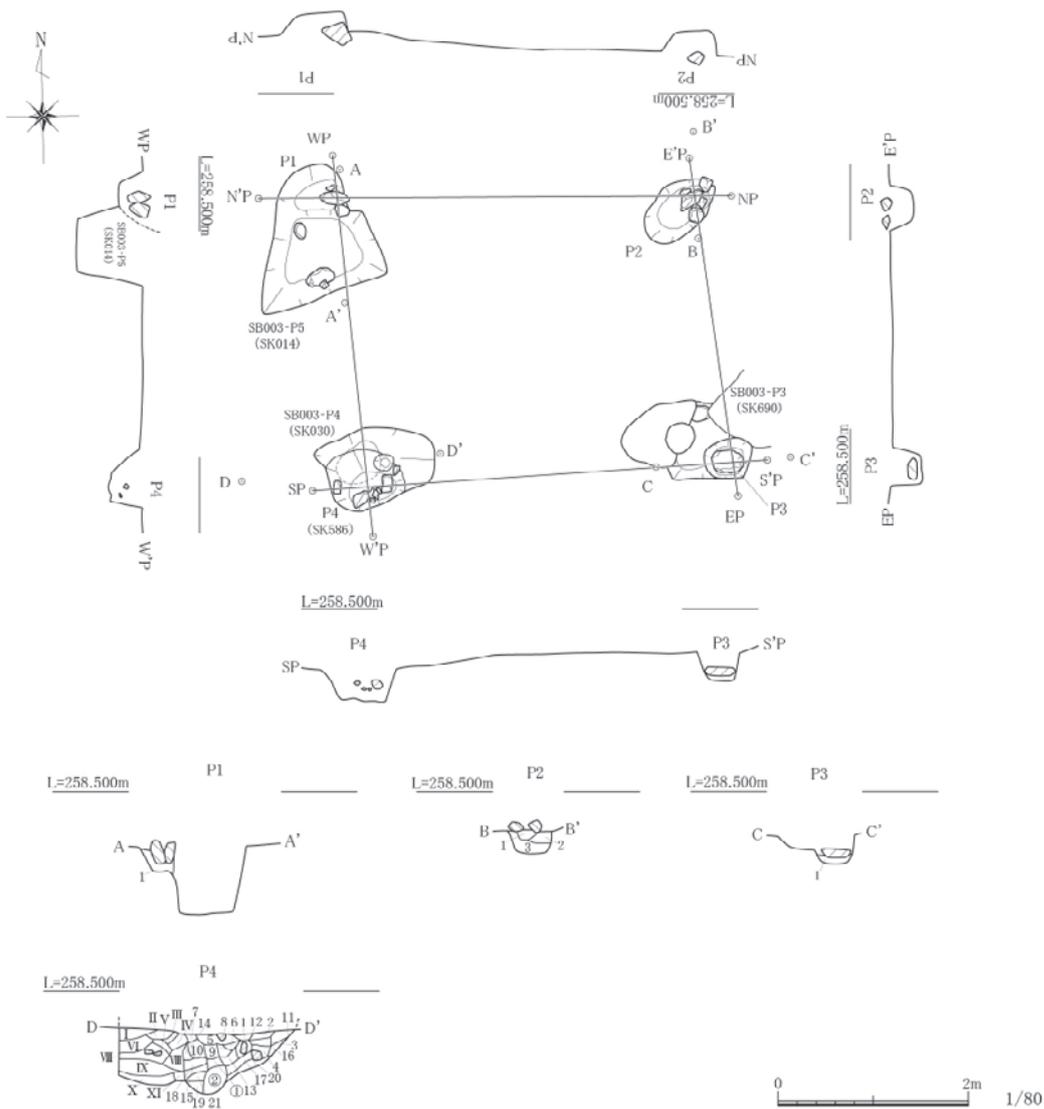
#### 後世の土壌

- 1 Hue10YR 3/3 (褐) 中砂
- 柱穴埋土
- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
  - 3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
  - 4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - 5 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 6 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
  - 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
  - 8 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗粒シルト
  - 9 Hue10YR 4/4 (褐) 粘土質

70～110cmを測る。P1、P3～P5の柱穴で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.83に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P4がSB008のP3(SK094)に切られていることから、SB008に先行する。また、P6はSB003(SK030)に切られている。その他の重複する建物遺構との先後関係は不明である。

### SB005(Fig. 84)

Ⅱ区中央西よりに位置する。SB001、SB003、SB004、SB008と重複する。1間×1間の建物である。東西行P1-P2は375cm、P3-P4は380cm、南北行P1-P4は300cm、P2-P3は285cmである。南北行の軸は、N-5°-Wである。柱穴の直径は30～40cm、深さは確認面から70～110cmを測る。すべての柱穴で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.84に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。



- SB005 P1  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- SB005 P2  
1 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト  
2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
黄色土がまばらに入る  
3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
- SB005 P3  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/2 (にぶい黄褐) 細砂

- SB005 P4  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
5 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
微粒の炭化物を含む  
6 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
7 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂  
8 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 中砂  
9 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
10 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
11 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 中砂  
12 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
13 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
14 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
15 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細粒シルト  
16 Hue10YR 4/4 (褐) 細粒シルト  
17 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
10mm大の黄色土をブロック状に含む  
18 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
19 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト  
20 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗粒シルト  
21 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト

- 柱痕  
① Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗粒シルト  
微粒の炭化物を全体に含む  
② Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂
- I Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
II Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
III Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
IV Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
V Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
VI Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
VII Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
VIII Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
黄色土が乱れて入る  
IX Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
X Hue10YR 4/4 (褐) 粘質土  
XI Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
黄色土のブロック塊が入る

Fig.84 頭地田口C遺跡 II区 SB005実測図

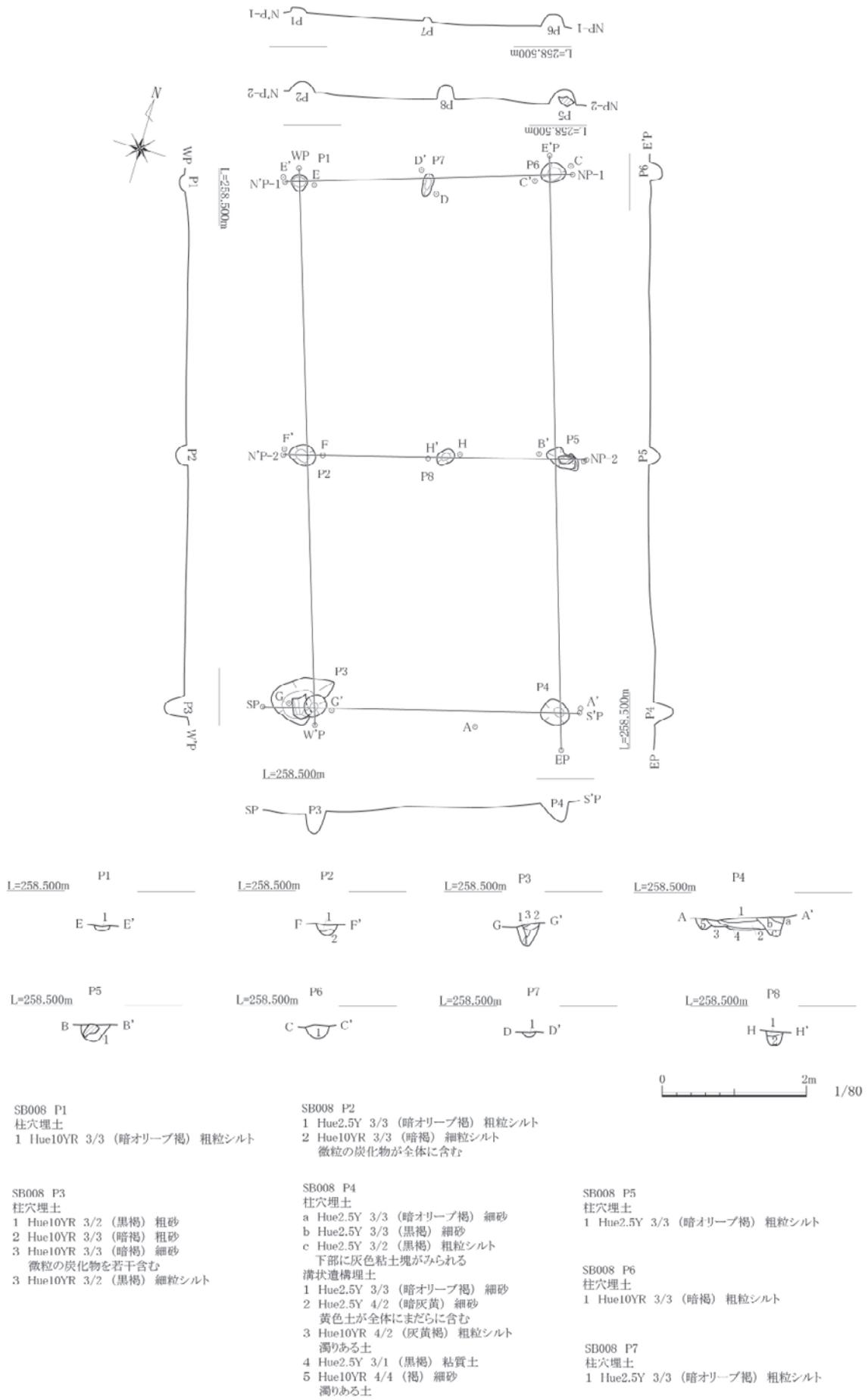


Fig.85 頭地田口C遺跡 II区 SB008実測図

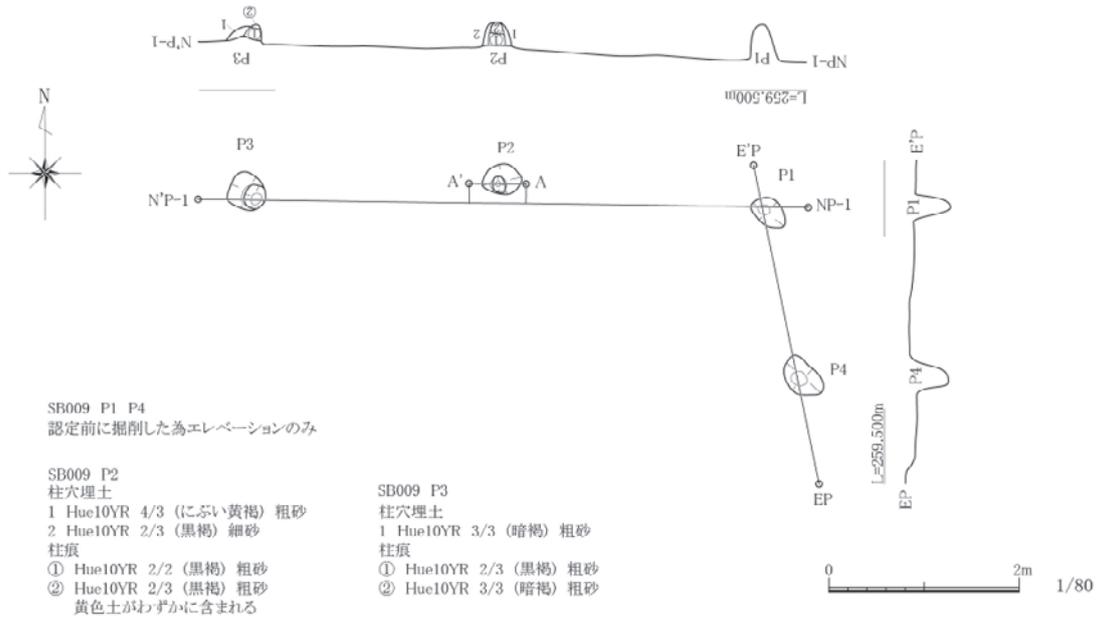


Fig.86 頭地田口C遺跡 II区 SB009実測図

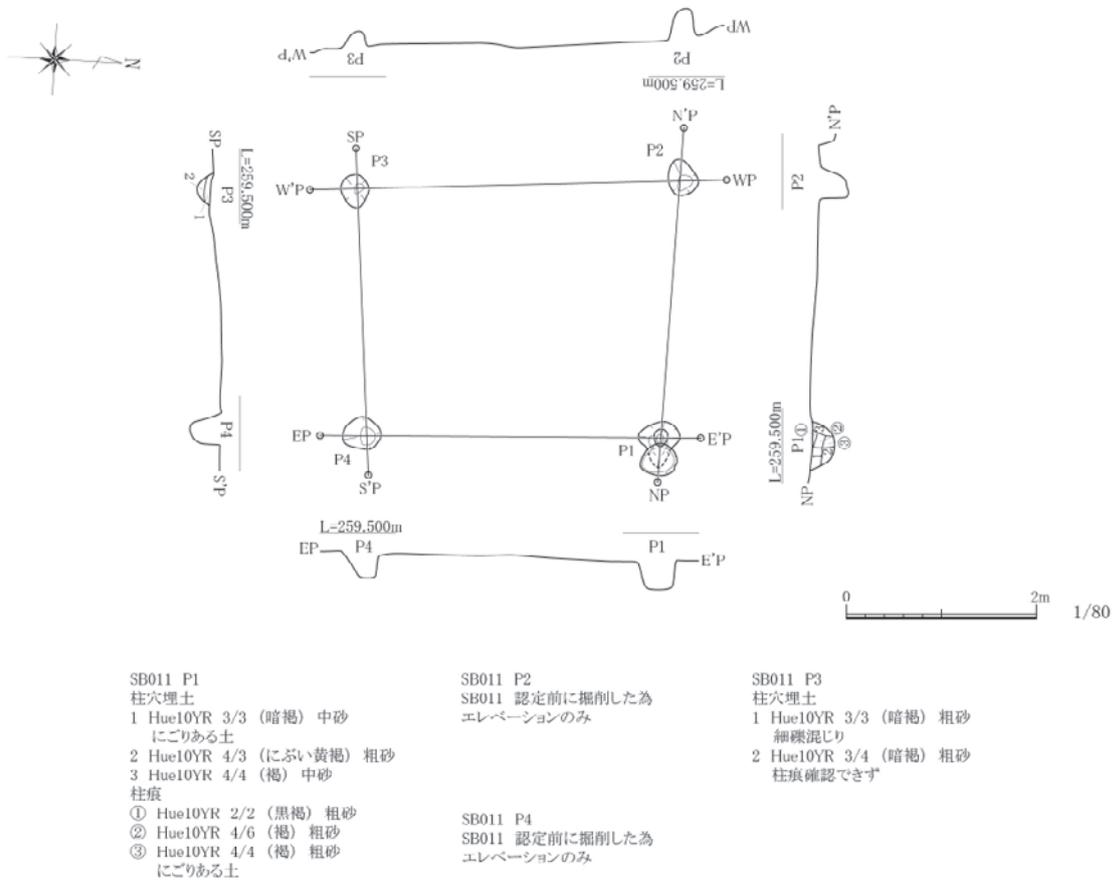


Fig.87 頭地田口C遺跡 II区 SB011実測図

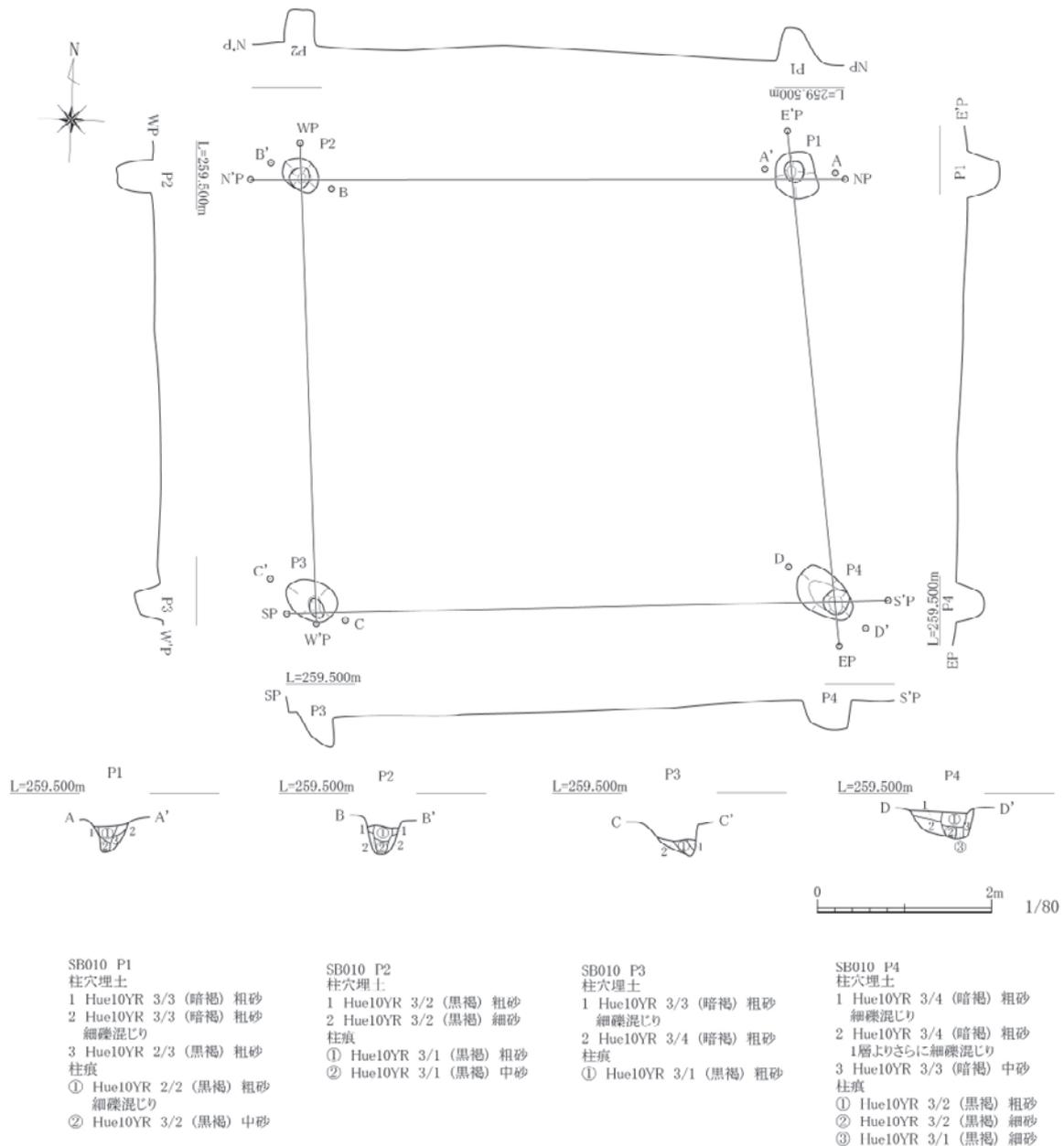


Fig.88 頭地田口C遺跡 II区 SB010実測図

P1がSB003のP5(SK014)を、P3がP3(SK690)を、P4がP4(SK030)を切っていることから、SB003に後行する建物遺構である。その他の重複する建物遺構との先後関係は不明である。

#### SB008(Fig. 85)

II区中央西よりに位置する。SB001、SB003、SB004、SB005と重複する。2間×2間の建物である。桁行P1-P3は730cm、P4-P6は750cm、梁行P1-P6は350cm、P3-P4は345cmである。桁行の柱間寸法は、360～380cmである。桁行の軸は、N-18°-Wである。柱穴の直径は40～100cm、深さは確認面から10～30cmを測る。柱痕跡は確認できない。各柱穴の埋土については、Fig.85に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P3がSB004のP4(SK093)を切っていることから、SB004に後行する。重複する建物遺構との先後関係は不明である。

#### SB009(Fig. 86)

II区南側西よりに位置する。SB010と重複する。1間以上～2間以上の建物である。南側は調査区外で建物規模は不明である。東西行P1-P3は525cm、南北行P1-P4は180cmである。東西行の柱間寸法は、255

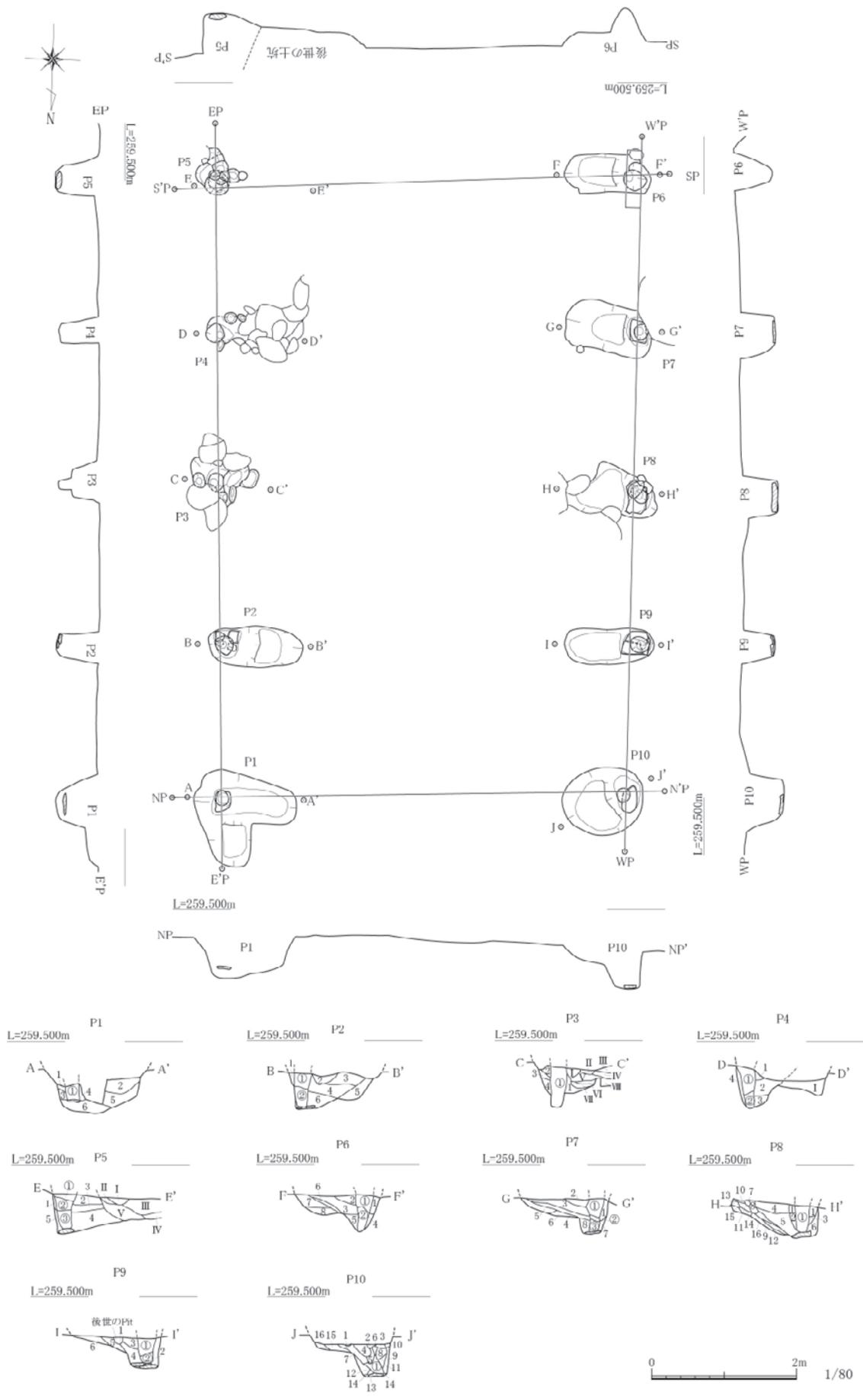


Fig.89 頭地田口C遺跡 II区 SB012実測図

## SB012 土層注記

### SB012 P1

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂  
粘性が強い
- 2 Hue10YR 4/6 (褐) 細砂
- 3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
- 4 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
- 5 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
- 6 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
粘性が強い

#### 柱痕

- ① Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
10mm大の炭化物を全体に含む

### SB012 P4

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト
  - 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
  - 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
2層よりもろい土
  - 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
10mm大の炭化物を全体に含む
  - ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
10mm大の炭化物を全体に含む
- I Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂

### SB012 P7

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト
- 3 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
- 4 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
- 5 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 6 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
しまり強い

- 7 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗粒シルト
- 8 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂

#### 柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂  
30mm大の炭化物を含む
- ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- ③ Hue10YR 2/3 (黒褐) 細砂

### SB012 P10

#### 柱抜取痕

- 1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - 2 Hue2.5YR 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
  - 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
  - 4 Hue2.5Y 3/3 (暗褐) 中砂
  - 5 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
  - 6 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
  - 7 Hue2.5Y 3/2 (暗褐) 中砂
  - 8 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂
  - 9 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
- 柱穴埋土
- 10 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂
  - 11 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂
  - 12 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
  - 13 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - 14 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂
  - 15 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
  - 16 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 柱痕
- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 粗砂

### SB012 P2

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
粘性が強い
- 2 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
- 3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
にごりのある土
- 4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
シルトでにごりのある土
- 5 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂

#### 柱痕

- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
10～20mm大の炭化物を全体に含む
- ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
10mmの炭化物を含む

### SB012 P5

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂
- 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂

#### 柱痕

- ① Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂  
10mm大の炭化物を含む
  - ② Hue10YR 3/3 (黒褐) 中砂  
10mm大の炭化物を含む
  - ③ Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂
- I Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
II Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
III Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
IV Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
V Hue10YR 3/2 (暗褐) 粗砂

### SB012 P8

#### 柱穴埋土①

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 2 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
- 3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
- 4 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂
- 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト
- 6 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
- 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 8 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
- 9 Hue10YR 4/1 (褐灰) 細砂
- 10 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂
- 11 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
- 12 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂
- 13 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 14 Hue10YR 3/4 (黒褐) 粗砂
- 15 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
- 16 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂

#### 柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
10mm大の炭化物を含む

### SB012 P3

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/4 (褐) 細粒シルト
  - 2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
  - 3 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂
  - 4 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂
  - I Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - II Hue10YR 2/2 (黒褐) 細砂
  - III Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
  - IV Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - V Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂
  - VI Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - VII Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
微粒の炭化物まじる
  - VIII Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂

### SB012 P6

#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂
- 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
- 4 Hue10YR 3/2 (暗褐) 細砂
- 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
- 6 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
- 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂
- 8 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂

#### 柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
10mm大の炭化物を含む
- ② Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
微粒の炭化物を含む

### SB012 P9

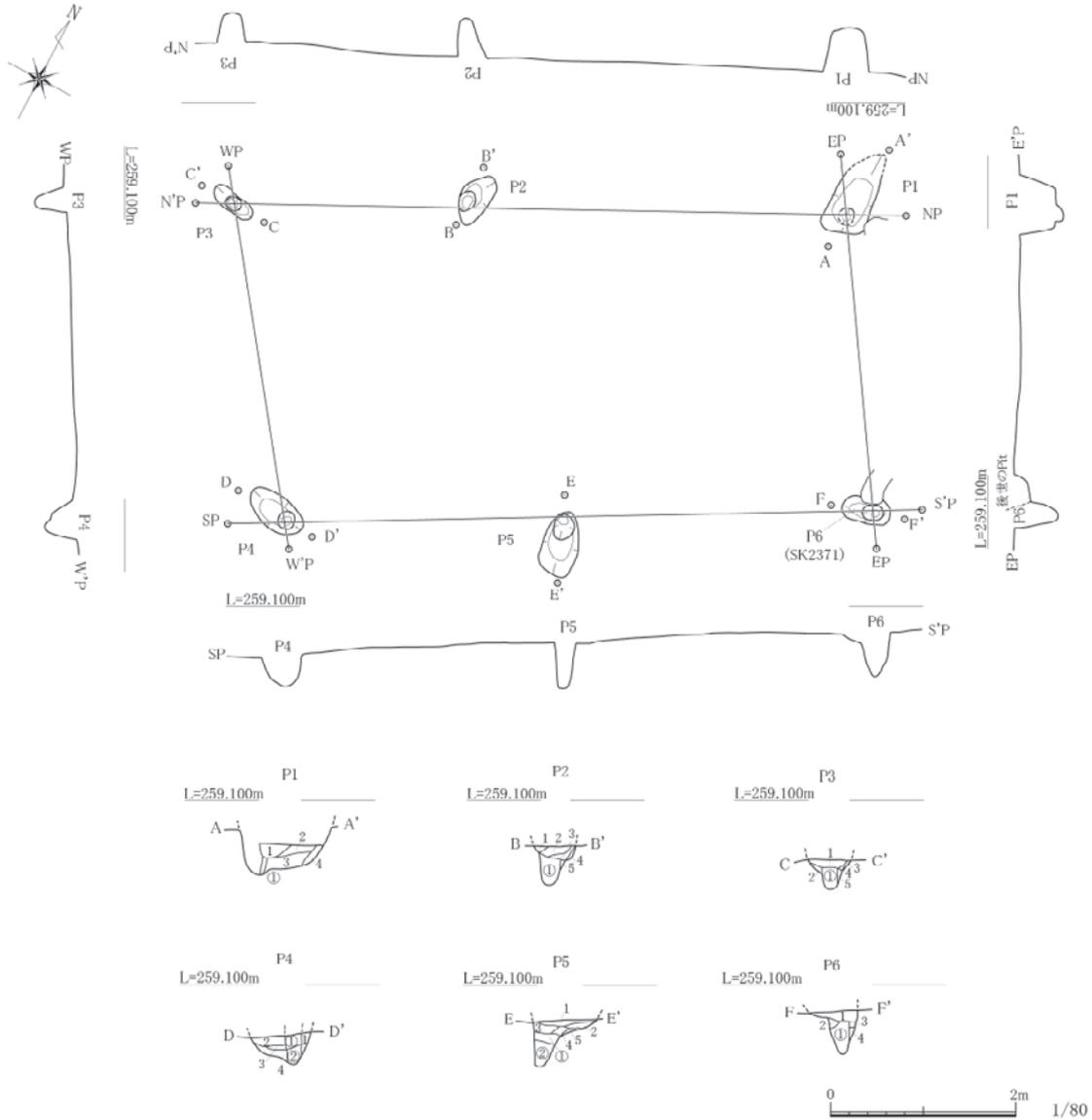
#### 柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂
  - 2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂
  - 3 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
  - 4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂
  - 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂
  - 6 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/1 (暗褐) 細砂  
微粒の炭化物を含む
  - ② Hue10YR 2/1 (黒) 中砂

～270cmである。東西行の軸は、W-1°-Nである。柱穴の直径は40～50cm、深さは確認面から25～40cmを測る。P2、3で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.86に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複する建物遺構との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

### SB010(Fig. 88)

Ⅱ区中南側西よりに位置する。SB009、SB011と重複する。1間×2間の建物である。東西行P1-P2は570cm、P3-P4は600cm、南北行P1-P4は500cm、P2-P3は500cmである。南北行の軸は、N-4°-Wである。柱穴の直径は35～70cm、深さは確認面から30～40cmを測る。すべての柱穴で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.88に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複する建物遺構との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。



- SB013 P1  
柱拔取痕  
柱穴埋土  
1 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 粗砂  
2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
にこりある土  
4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
黒色土が乱れて入る  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂

- SB013 P2  
柱拔取痕  
柱穴埋土  
1 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
2 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
柱穴埋土  
5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂

- SB013 P3  
柱拔取痕  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
柱穴埋土  
2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
3 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
5 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂

- SB013 P4  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
細礫混じり  
柱痕  
① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
② Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
微粒の炭化物を含む。  
10mm大の黄色土をブロック状に含む

- SB013 P5  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
4 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
5 Hue2.5Y 3/3 (オリーブ褐) 粗砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
② Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂

- SB013 P6  
柱拔取痕  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
柱穴埋土  
3 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
細礫混じり  
4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
下部に細礫を含む

Fig.90 頭地田口C遺跡 II区 SB013実測図

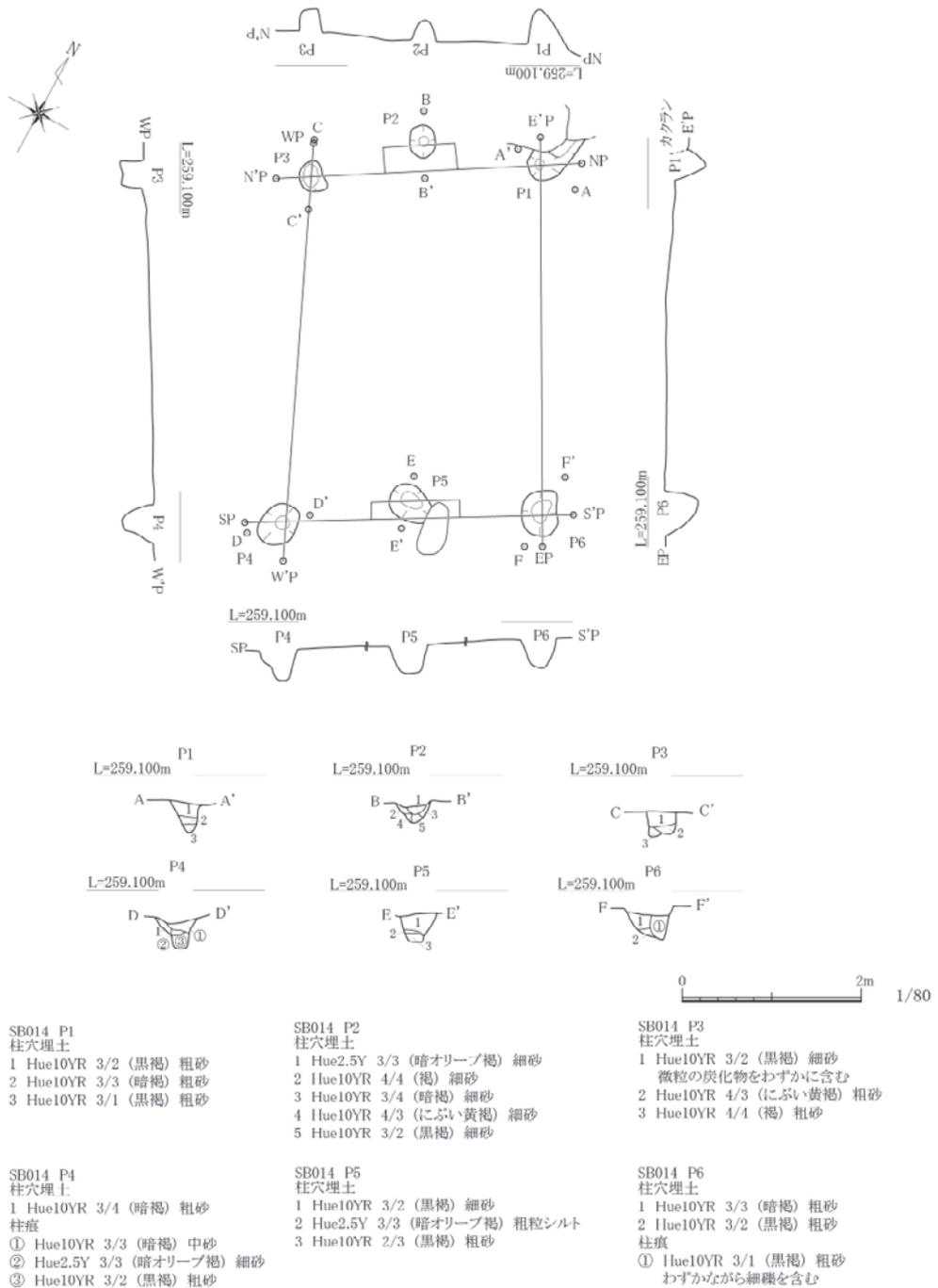


Fig.91 頭地田口C遺跡 II区 SB014実測図

**SB011(Fig. 87)**

II区南側西よりに位置する。SB010、SL042と重複する。1間×1間の建物である。東西行P1-P2は270cm、P3-P4は265cm、南北行P1-P4は300cm、P2-P3は345cmである。東西行の軸は、W-5°-Nである。柱穴の直径は30~40cm、深さは確認面から25~40cmを測る。P1、P3で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.87に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複する建物遺構との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。SB011の建物中央部にSL042が位置する。

**SB012(Fig. 89)**

II区中央部に位置する。SB020と重複する。1間×4間の建物である。東西行P1-P10は550cm、P5-P6は565cm、南北行P1-P5は830cm、P5-P10は875cmである。南北行の軸は、S-3°-Eである。柱穴の直

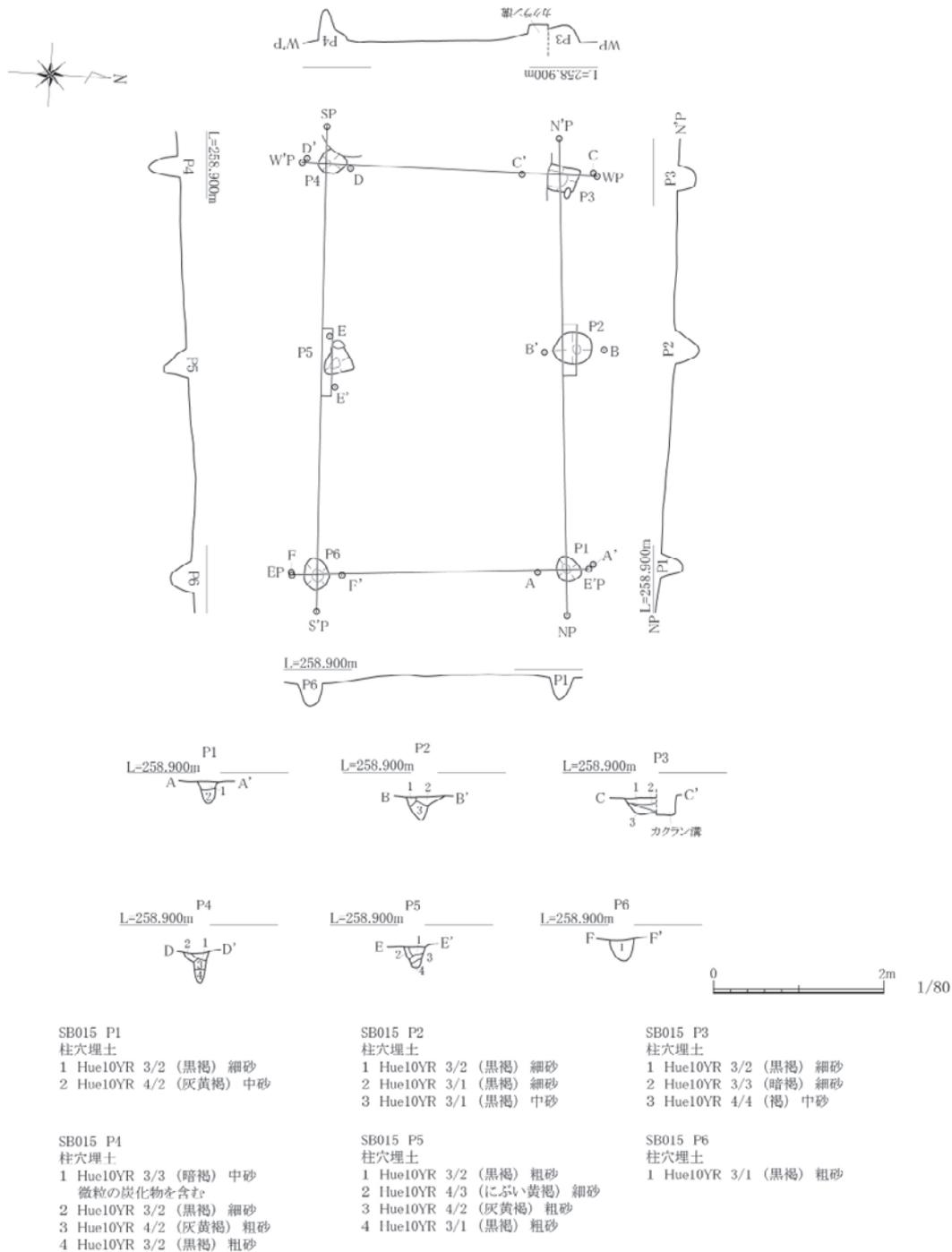


Fig.92 頭地田口C遺跡 II区 SB015実測図

径は30～40cm、深さは確認面から40～55cmを測る。P1～P10すべての柱穴で柱痕跡が確認でき、P1、P2、P5、P7～10の柱痕跡の最下底に礎盤を置いている。各柱穴の埋土については、Fig.89に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複するSB020との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

### SB013(Fig. 90)

II区中央部に位置する。SB014、SB015と重複する。1間×2間の建物である。桁行P1-P3は650cm、P4-P6は635cm、梁行P1-P6は325cm、P3-P4は350cmである。桁行の軸は、W-29°-Sである。柱穴の直径は20～55cm、深さは確認面から30～50cmを測る。P1～P6全ての柱穴で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.90に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P6とSB014のP1との間接的な切り合い関係から、SB013⇒SB014となる。SB015との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

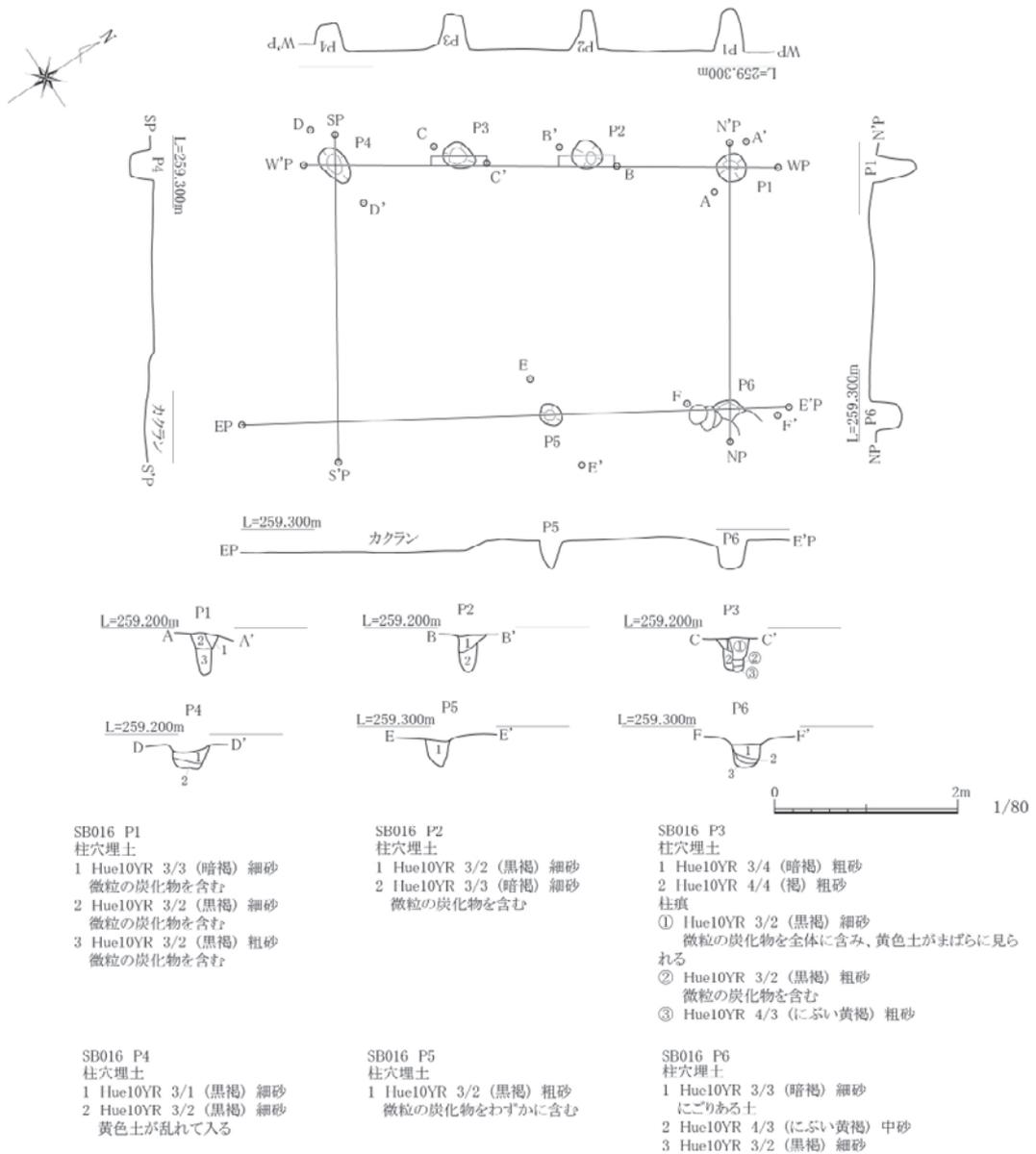


Fig.93 頭地田口C遺跡 II区 SB016実測図

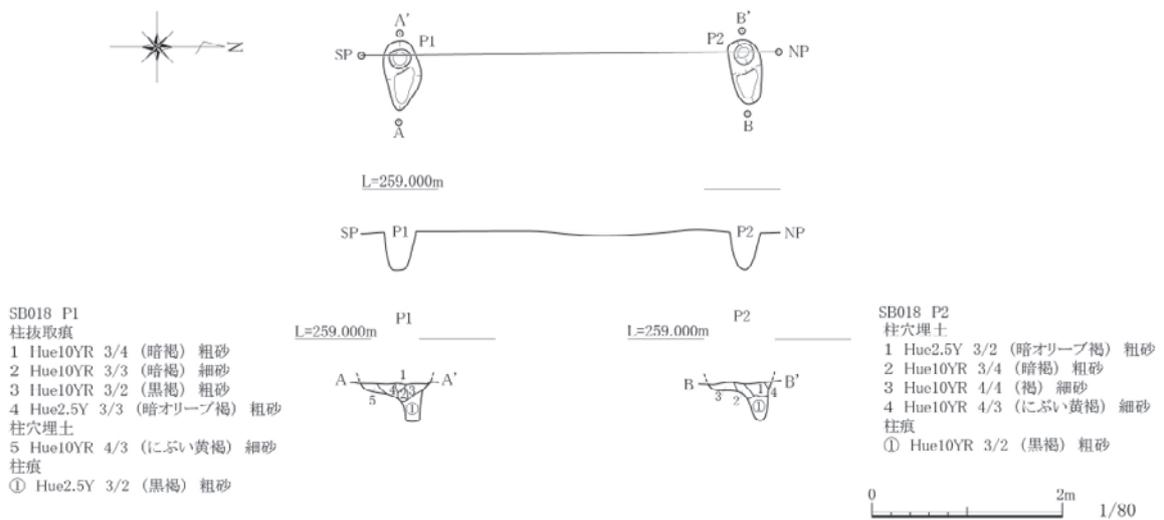


Fig.94 頭地田口C遺跡 II区 SB018実測図

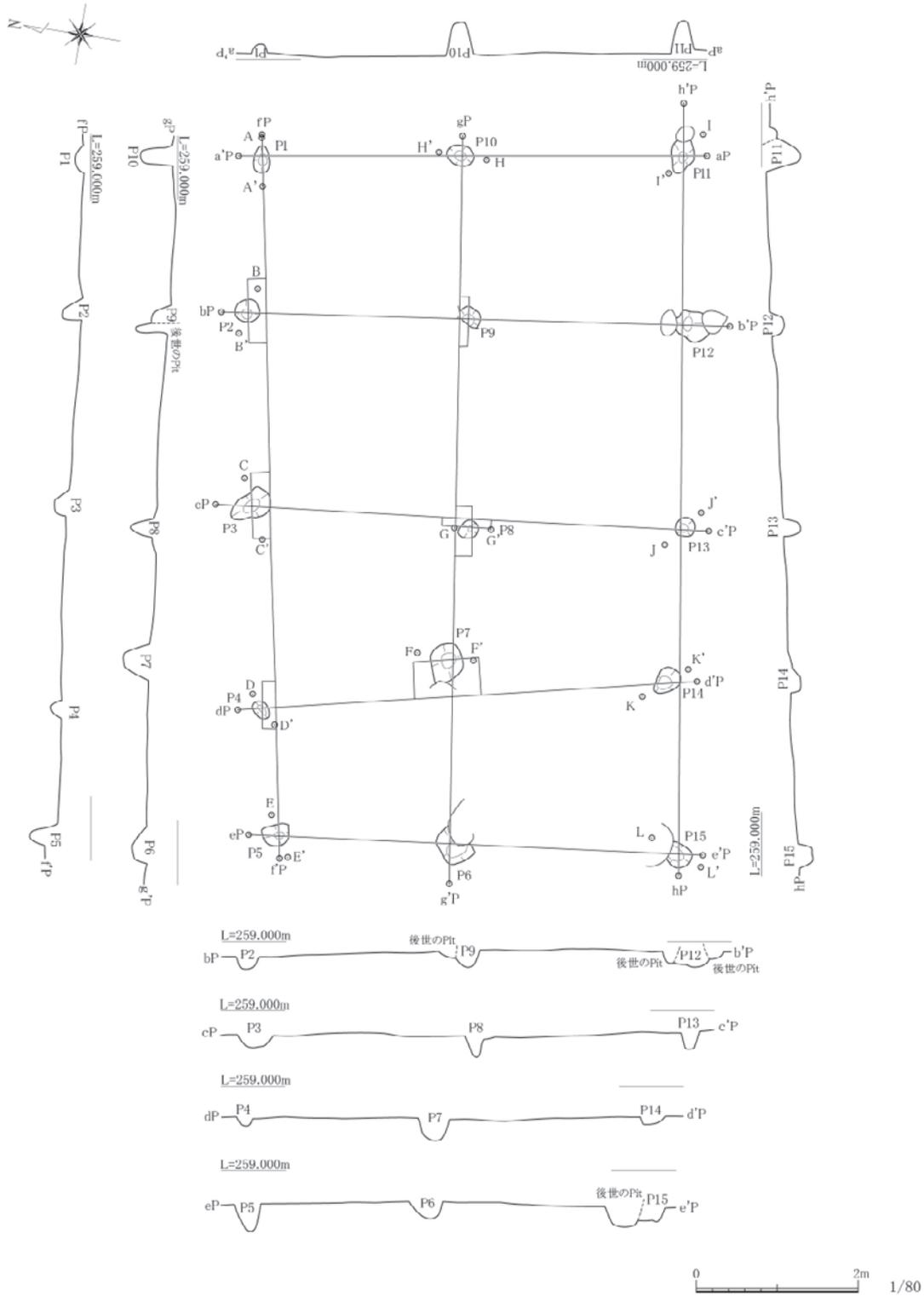


Fig.95 頭地田口C遺跡 II区 SB019実測図

**SB014(Fig. 91)**

II区中央部に位置する。SB013と重複する。1間×2間の建物である。南北行P1-P6は400cm、P3-P4は390cm、東西行P1-P3は260cm、P4-P6は290cmである。南北行の軸は、N-28°-Wである。柱穴の直径は30~55cm、深さは確認面から30~40cmを測る。P6で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.91に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P1とSB013のP6(SK2371)との間接的な切り合い関係から、SB013⇒SB014となる。

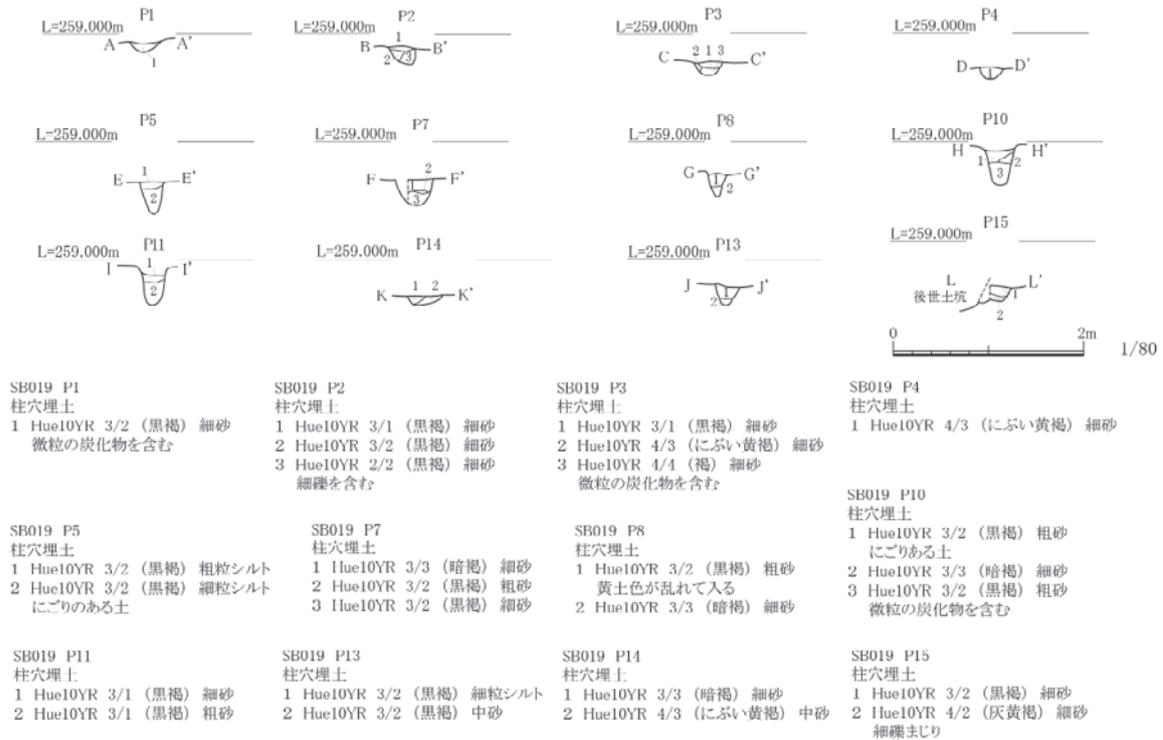


Fig.96 頭地田口C遺跡 II区 SB019土層断面実測図

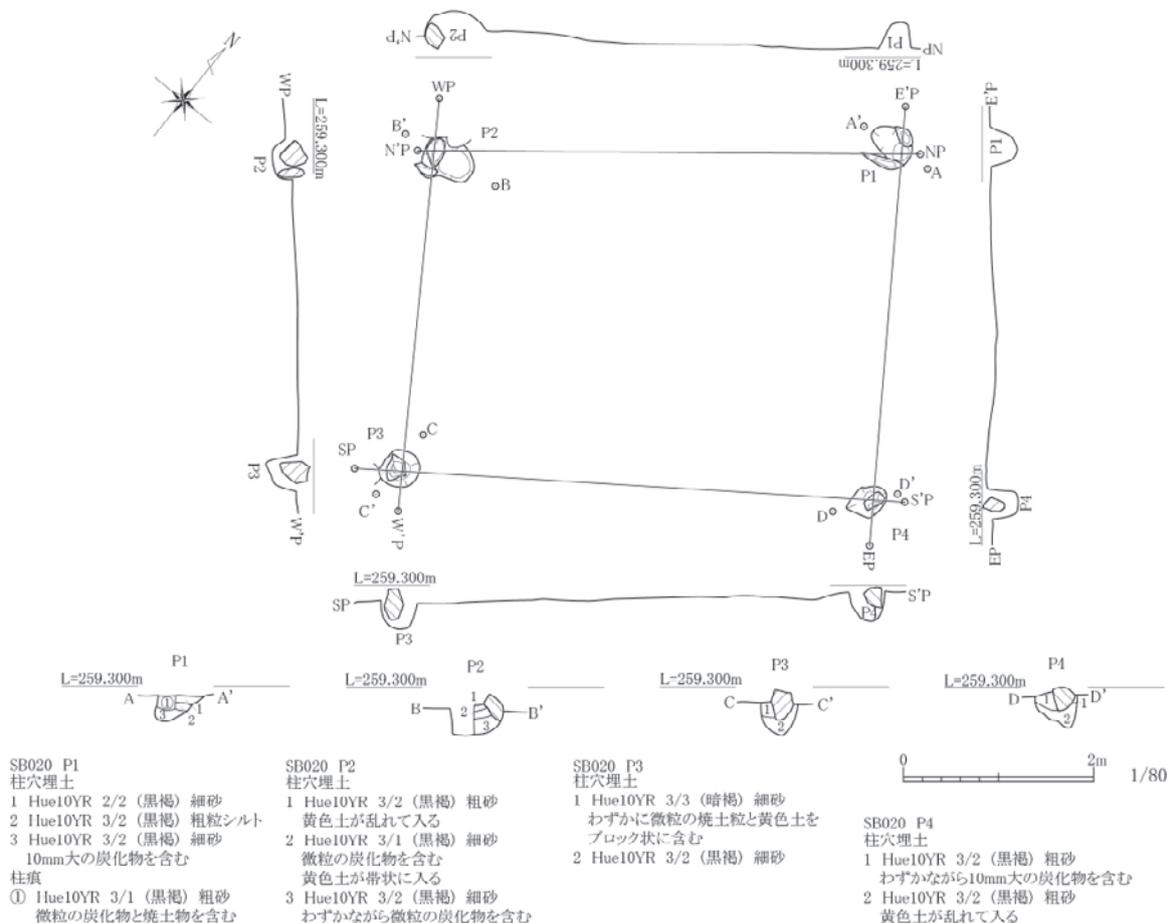
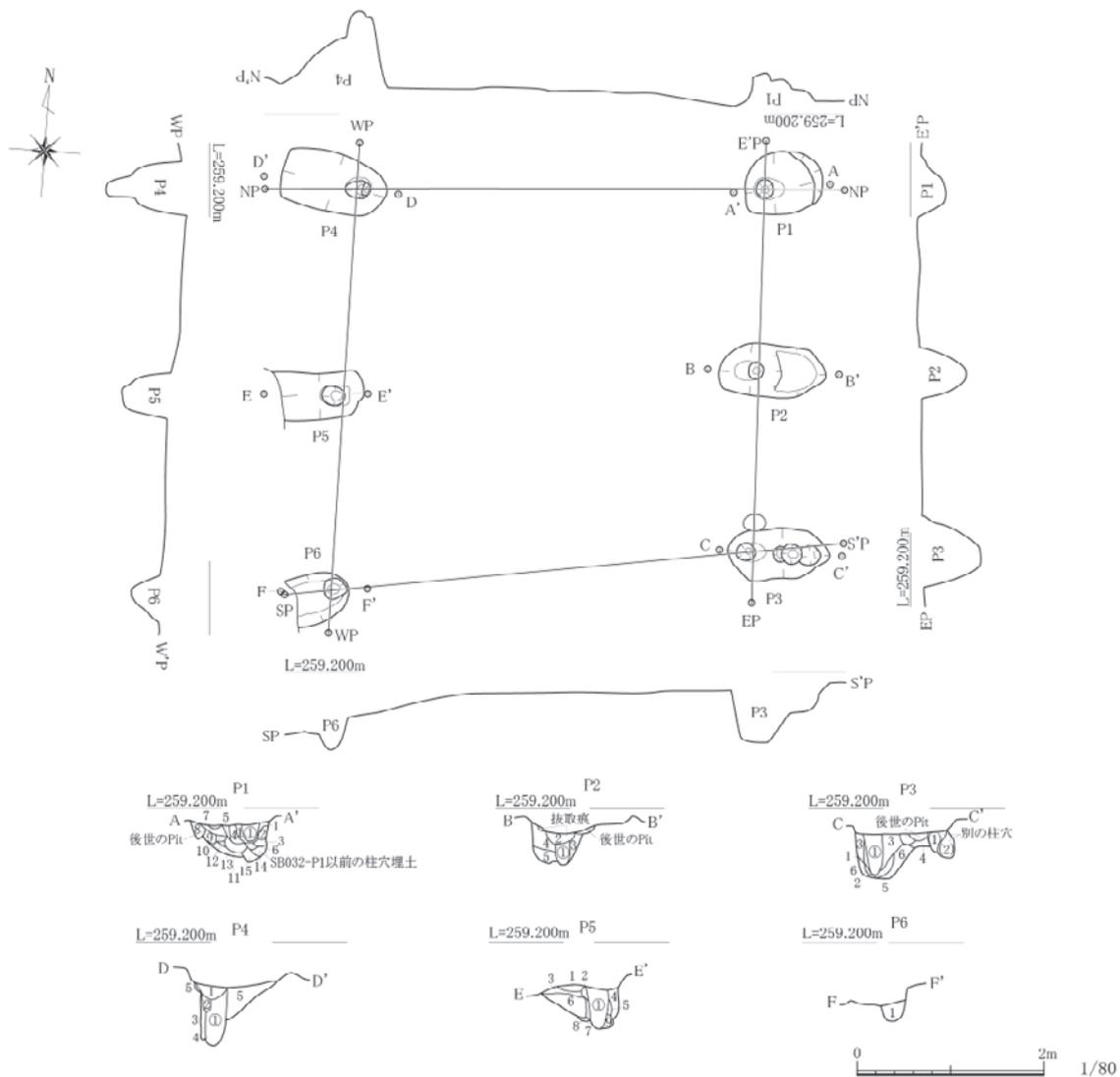


Fig.97 頭地田口C遺跡 II区 SB020実測図



- SB032 P1  
柱穴埋土
- 1 Hue10YR 5/4 (にぶい黄褐) 粗砂  
粘りがありまばらに4mm粒のシルトが見られる
  - 2 Hue10YR 5/6 (黄褐) 粗砂  
シルトで粘りがある暗褐色の粗砂を多く含む
  - 3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
しまりがあり3mm粒の炭化物のシルトが見られる
  - 4 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
上層にシルトが多く混じる
  - 5 Hue5YR 4/3 (にぶい赤褐) 中砂  
細礫を含む
  - 6 Hue7.5YR 5/6 (明黄褐) 中砂  
しまりがある
  - 7 Hue10YR 6/6 (明黄褐) 中砂  
粘りがある。黒褐の縞がみられる
  - 8 Hue7.5YR 4/2 (灰褐) 中砂  
しまりがある
  - 9 Hue7.5YR 4/1 (褐灰) 中砂  
粘り強い。細礫、炭化物が混じる
  - 10 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
細礫、5mm粒の炭化物が見られる
  - 11 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
シルト混じり
  - 12 Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
シルト混じりでしまりがある
  - 13 Hue10YR 5/6 (黄褐) 粗砂  
シルト、黒褐が見られ粘りがある
  - 14 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
シルト混じりで粘りがある
  - 15 Hue10YR 4/6 (褐) 中砂  
細礫混じりのシルト

- SB032 P2  
柱穴埋土
- 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
シルト混じりで、粘りがある
  - 4 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
シルト混じりで粘り強い
  - 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
シルト混じり
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
細礫混じりでもろい土

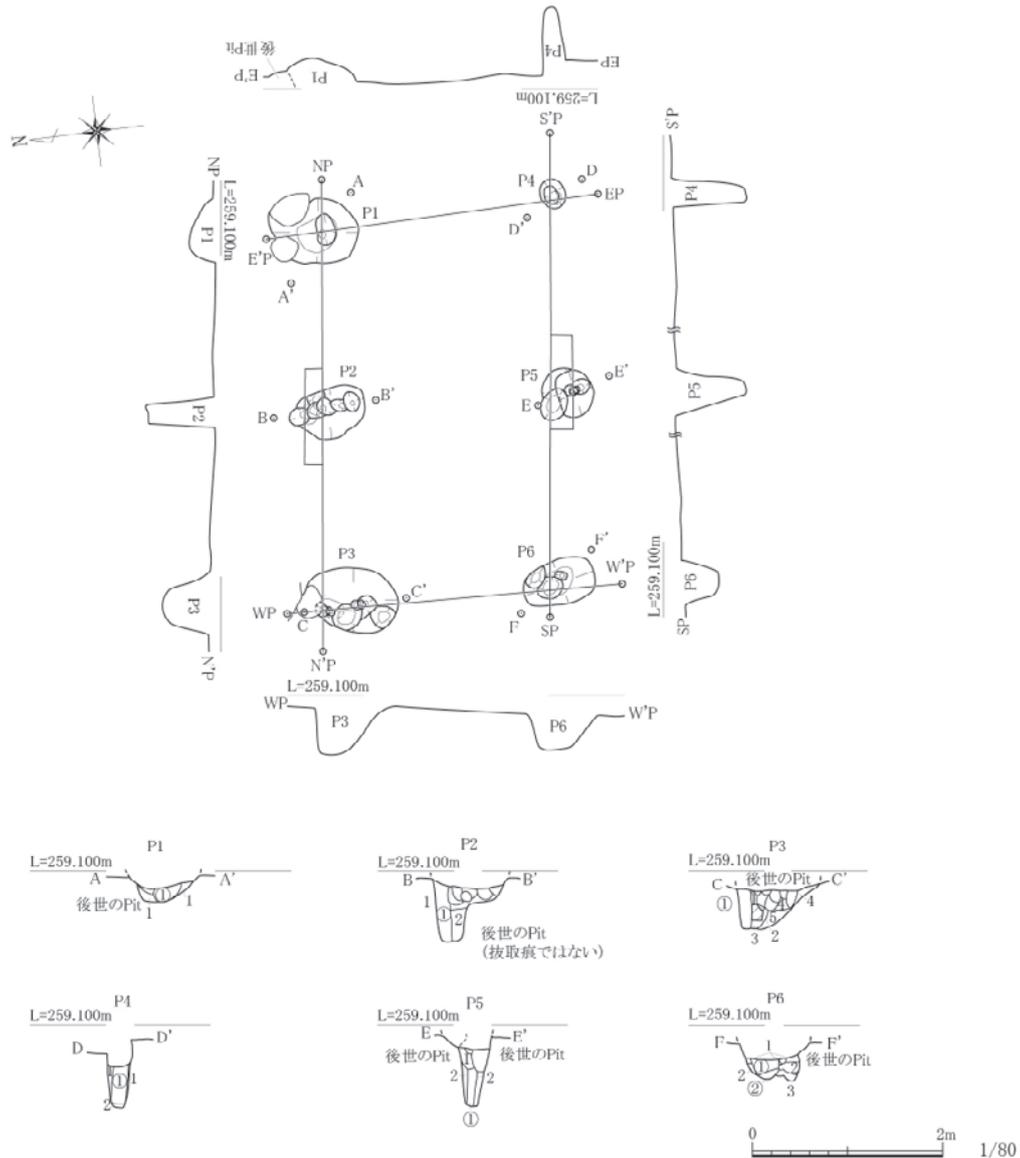
- SB032 P3  
柱穴埋土
- 1 Hue10YR 5/4 (にぶい黄褐) 中砂  
粘りがある
  - 2 Hue10YR 5/6 (黄褐) 粗砂  
シルトで細礫を含む
  - 3 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
シルトで細礫を混じり
  - 4 Hue10YR 5/6 (黄褐) シルト  
中砂混じり
  - 5 Hue10YR 5/4 (にぶい黄褐) 中砂  
細礫混じり
  - 6 Hue10YR 5/6 (黄褐) 中砂  
シルト、暗褐がまだらに見える
- 柱痕
- ① Hue7.5YR 4/4 (褐) 粗砂

- SB032 P6  
1 Hue10YR 6/6 (明黄褐)  
中砂でしまりがある

- SB032 P4  
柱穴埋土
- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂  
細礫、5mm粒の炭化物混じり
  - 2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
粘りがあり多少シルト混じり
- 柱穴埋土
- 3 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
粘りがあり多少シルト混じり
  - 4 Hue10YR 4/4 (褐)  
中砂混じりで、多少粘りがある
  - 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
細礫、シルト粒を多く含む
- 柱痕
- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
粘りがある

- SB032 P5  
柱穴埋土
- 1 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
細礫、10mm粒シルト及び炭化物がまばらに含まれる
  - 2 Hue10YR 5/4 (にぶい黄褐) 中砂
  - 3 Hue10YR 5/6 (黄褐) シルト  
褐色中砂が混じり3mm粒の炭化物が含まれる
  - 4 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
中砂でシルトが多く含まれ3mm炭化物がまばらに混じる
  - 5 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
  - 6 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
シルトが帯状に混じり細い炭化物が見える
  - 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
細礫を含む、もろい土
  - 8 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 9 Hue2.5Y 4/2 (暗灰色) 粗砂  
もろい土

Fig.98 頭地田口C遺跡 II区 SB032実測図



SB033 P1  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
シルトが混じる  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
シルトが混じる

SB033 P2  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
粘りがありシルトが混じる  
2 Hue10YR 2/3 (黒褐) 中砂  
粘りがある  
柱痕  
① Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
3mmの炭化物が見られる

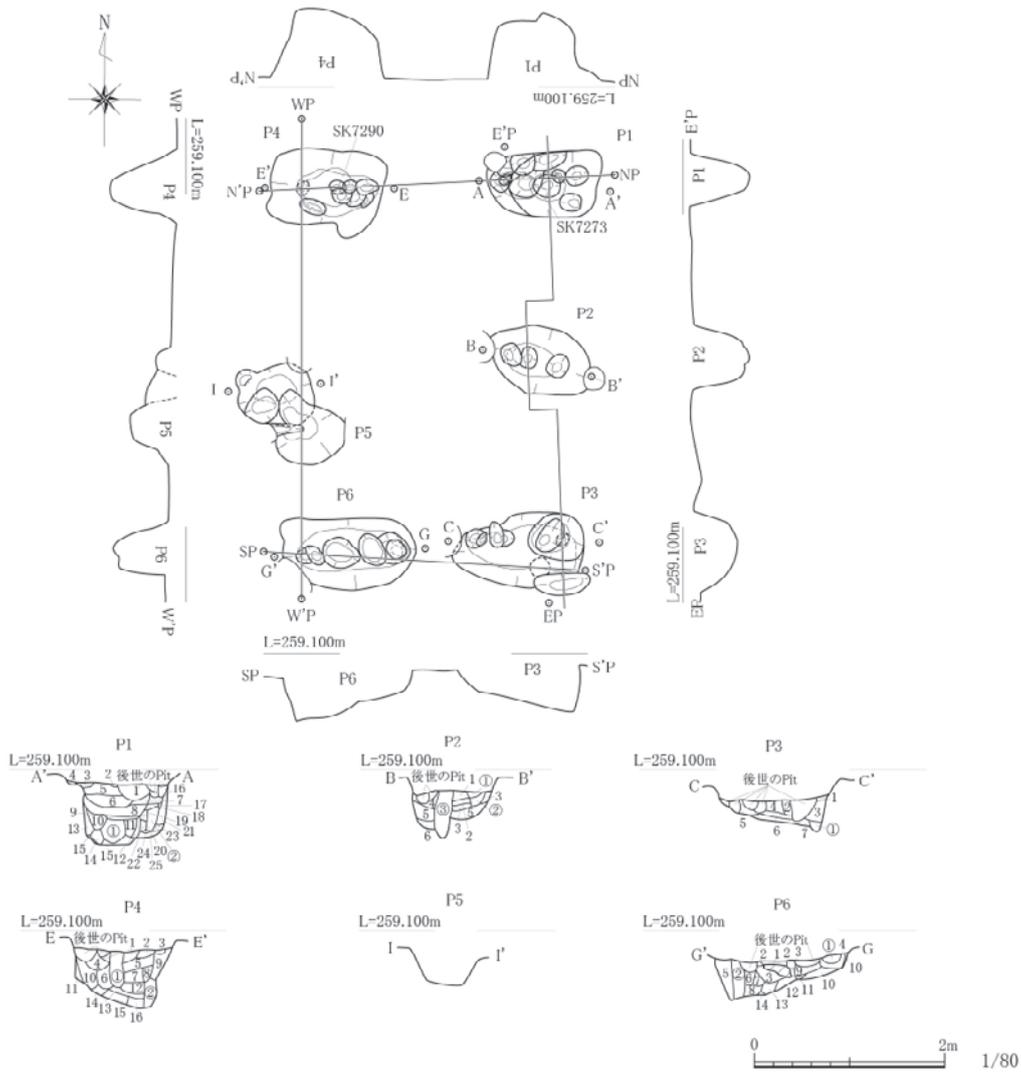
SB033 P3  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
シルトが混じり3mm粒の炭化物が見られる  
2 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
シルト  
3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
粘りがある  
4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
シルトと細礫、8mm粒の炭化物が混じる  
5 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
シルトに黒褐と細礫が混じる  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
3mm粒の炭化物が見られる

SB033 P5  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
シルトが40mm粒斑状に見られる  
柱穴埋土  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
シルトが30mm粒斑状に見られる

SB033 P4  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
シルトが混じり粘りがある  
2 Hue2.5Y 5/3 (黄褐) 粘土  
柱を固定する為に柱穴底面を一度掘削して  
やや砂質の粘土を固めてつめたもの  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
もろい。3mm粒の炭化物が見られる

SB033 P6  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
シルト粒がまばらに含まれる  
2 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
シルトが多く混じる  
3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
2mm粒の炭化物が見られる  
② Hue10YR 4/6 (褐) 中砂  
シルトに黒褐が混じる  
4mm粒の炭化物が見られる

Fig.99 頭地田口C遺跡 II区 SB033実測図



- SB034 P1  
柱抜取痕  
16 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
濁りある土  
17 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
濁りある土  
18 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
細礫混じりである  
柱穴埋土  
19 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
微粒の黄色シルトを斑状に含む  
20 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト  
混じりのない土  
21 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト  
粘性強い土  
22 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト  
粘性強い土  
23 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
黄色シルト混じり  
24 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
鉄分が見られ硬い土  
25 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
濁りある土  
柱痕  
② Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
炭化物わずかに含む

- SB034 P2  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
きめ細かくかなりしり強い土  
10mm大の黄色ブロックを斑状に含む  
2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
1層に比べて締まりの弱い土  
10mm大の黄色ブロックを斑状に含む  
3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト  
濁りある土  
4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
細礫混じり、微粒の黄色ブロックを斑状に含む  
5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト  
黄色混じりで粘りけがある土  
6 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
灰色砂混じり  
柱痕  
③ Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
10mm大の炭化物を含む
- SB034 P3  
柱穴埋土  
4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
細礫混じりで微粒炭化物をわずかに含む  
2層に比べて締まり強い土  
5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
10mm大の黄色ブロックを斑状に含む  
6 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細粒シルト  
7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
濁りある土

- SB034 P4  
柱穴埋土  
10 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
黄色シルトを斑状に含む  
11 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
わずかに黄色シルト混じり  
12 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
黄色シルトを斑状に含む  
13 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
濁りある土  
14 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
微細な黄色シルトを斑状に含む  
15 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
わずかに20mm大、黄色シルトを含む  
16 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
わずかに炭化物を含む  
柱痕  
② Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
10mm大の炭化物を全体に含む
- SB034 P6  
5 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
黄色シルト混じり  
6 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
粘性ある土  
7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
細礫混じり  
8 Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗粒シルト  
わずかに細礫を含む  
9 Hue10YR 2/1 (黒) 細粒シルト  
かなりきめ細かくしりがある土  
10 Hue10YR 4/4 (褐) 細粒シルト  
濁りある土  
11 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
濁りある土  
12 Hue10YR 2/1 (黒) 細砂  
5~10mm大の黄色シルトを斑状に含む  
13 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
黄色シルト混じり

Fig.100 頭地田口C遺跡 II区 SB034実測図

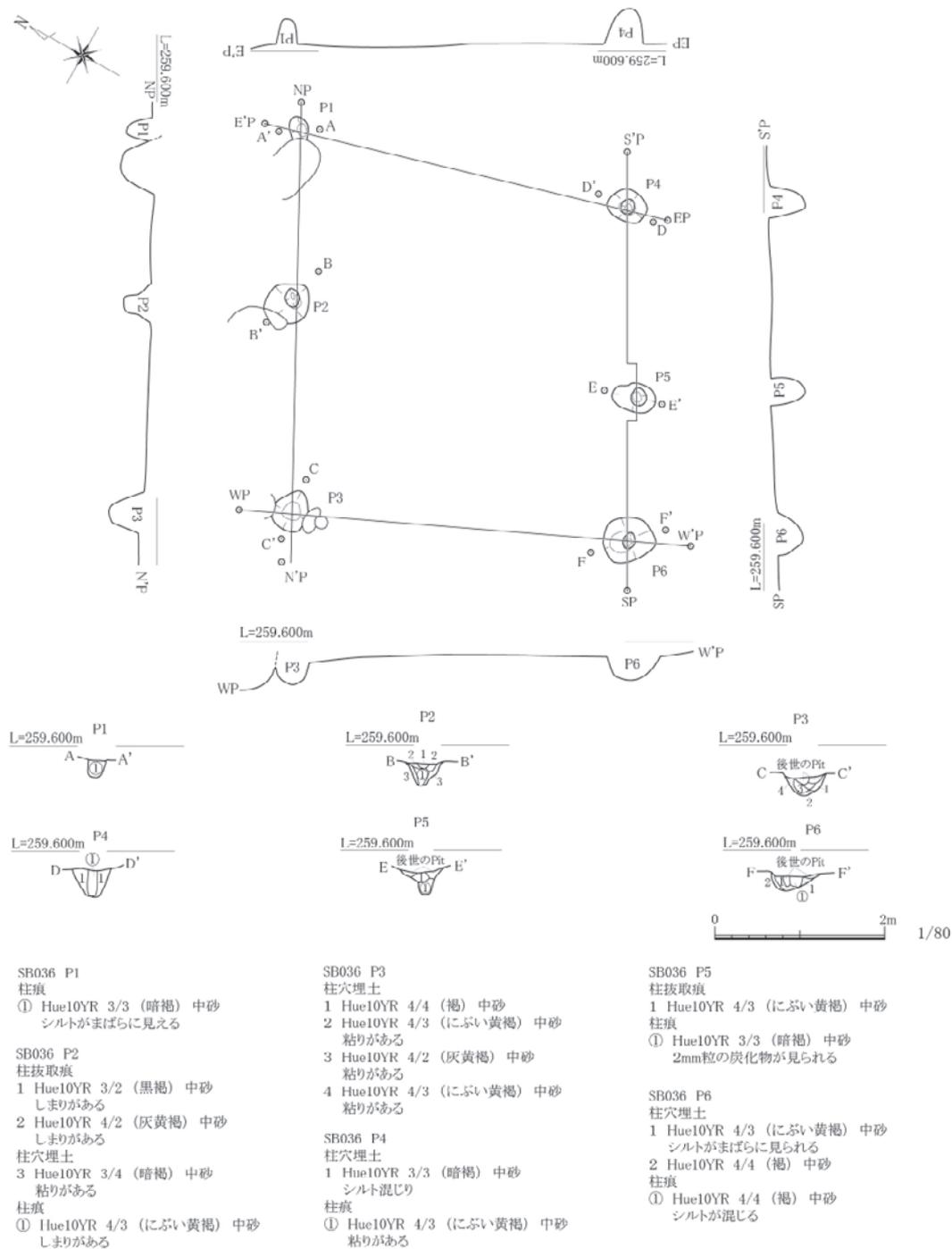


Fig.101 頭地田口C遺跡 II区 SB036実測図

SB015(Fig. 92)

II区中央部に位置する。SB013と重複する。1間×2間の建物である。南北行P1-P6は285cm、P3-P4は265cm、東西行P1-P3は455cm、P4-P6は480cmである。東西行の軸は、W-4°-Sである。柱穴の直径は25~50cm、深さは確認面から30~40cmを測る。柱痕跡は確認できない。各柱穴の埋土については、Fig.92に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複するSB013との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

SB016(Fig. 93)

II区中央部に位置する。SB020と重複する。1間×3間の建物である。南北行P1-P4は450cm、東西行P1-P6は265cmである。南北行の軸は、N-34°-Eである。柱穴の直径は25~40cm、深さは確認面から25~50

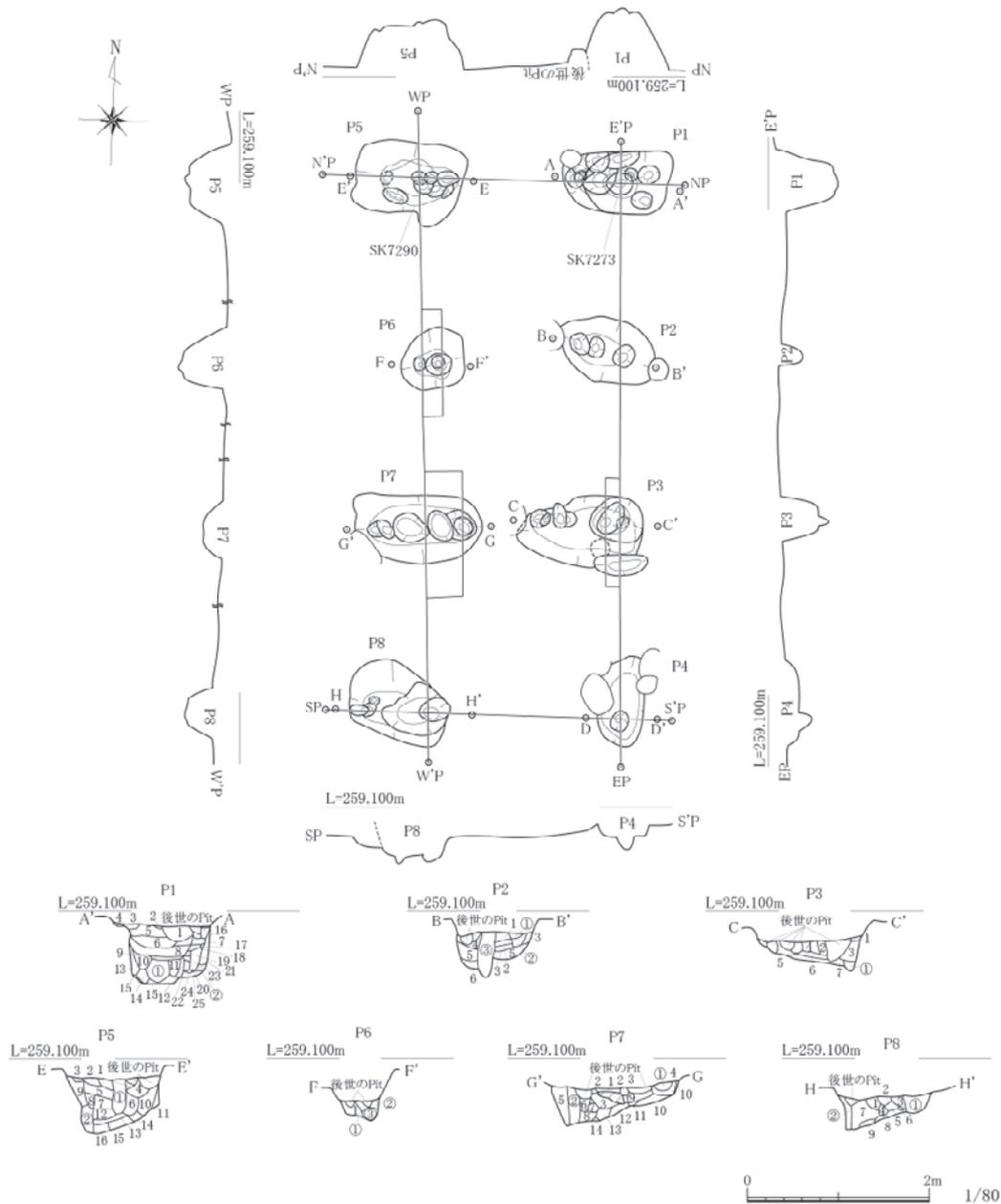


Fig.102 頭地田口C遺跡 II区 SB035実測図

cmを測る。P3で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.93に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。南北行の柱間は、東西列で異なる。東側に伸びる建物構造の可能性がある。南隅の柱穴は攪乱により確認できない。重複するSB020との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

**SB018(Fig. 94)**

II区中央部に位置する。P1とP2の柱穴が確認される。建物構造は不明である。柱筋はN-1°-Wである。柱間は360cmである。柱穴の直径は40~65cm、深さは確認面から40cmを測る。P1、P2とも柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.94に示したとおりである。柱穴の下端のレベルはほぼ一定である。

**SB019(Fig. 95)**

II区中央部に位置する。SB013、SB015と重複する。2間×4間の総柱建物である。桁行P1-P5は840cm、P11-P15は885cm、梁行P1-P11は520cm、P5-P15は495cmである。桁行の軸は、E-9°-Nである。柱穴の直径は25~55cm、深さは確認面から15~40cmを測る。柱痕跡は確認できない。各柱穴の埋土については、Fig.96に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複する建物遺構との切り合い関係はな

## SB035 土層註記

### SB035 P1

後世の土壌

- 1 Hue10YR 2/2 (黒褐) 中砂  
細礫混じり

柱抜取痕

- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細粒シルト  
4 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
濁りのある土  
5 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
細礫混じり、縮まりある土

- 6 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
10mm長の炭化物を水平に含む

- 7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
縮まりある土

- 8 Hue10YR 4/4 (褐) 細粒シルト  
しまりが強く濁りある土

- 9 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
10mm大の黄色シルトが斑状に含まれる

- 10 Hue10YR 4/1 (褐灰) 細砂  
細礫混じりで、5mm大の黄色シルトが斑状に含まれる

柱穴埋土

- 11 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
細礫混じり

- 12 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
黄色シルトが斑状に含まれる

- 13 Hue10YR 4/1 (褐灰) 細砂  
黄色シルト混じり

- 14 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
粘りある土、20mm大黄色ブロックを含む

- 15 Hue10YR 5/4 (にぶい黄褐) 粗粒シルト  
濁りある土

柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
細礫混じり、わずかながら微粒の炭化物が見られる

### SB035 P2

柱痕

- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
細礫をわずかに含む

- ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
わずかに炭化物が見られる

### SB035 P3

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
かなりしまりある土

- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
1層に比べて縮まりの弱い土

- 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
細礫混じりで、黄色土が帯状に見られる

柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
もろい土

### SB035 P5

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
濁りある土

- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
キメ細かく縮まり強い土

- 3 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂

- 黄色シルトを斑状に含む  
5 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂

- 黄色シルトを斑状に含む  
6 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト

- 濁りある土  
7 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂

- 黄色シルトが乱れて混じる  
8 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗粒シルト

- 9 Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗粒シルト  
黄色シルトを斑状に含む

柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
5～10mm大の炭化物を全体に含む

### SB035 P6

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂  
細礫混じりわずかに炭化物が含まれる

柱痕

- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
黄色シルト混じり

- ② Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
微粒の炭化物をまばらに含む

- ③ Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
微粒の炭化物をまばらに含む

### SB035 P7

柱穴埋土

- 4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
濁りある土

柱痕

- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
微粒の炭化物混じり

### SB035 P8

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
5～20mm大黄色シルトを斑状に含む  
やや炭化物混じり

- 2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
5mm大の黄色シルトを斑状に含む

- 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
微粒の黄色シルトを斑状に含む

- 4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
縮まり弱い土

- 5 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
6 Hue10YR 3/3 (暗褐) 細砂

- 黄色シルト混じり

柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
1mm大の炭化物が見られる

もろい土

不明柱穴

- 7 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
細礫混じり、黄色シルト混じり

- 8 Hue10YR 4/4 (褐) 粗粒シルト  
濁りある土

- 9 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗粒シルト  
黄色シルト混じり

柱痕

- ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂

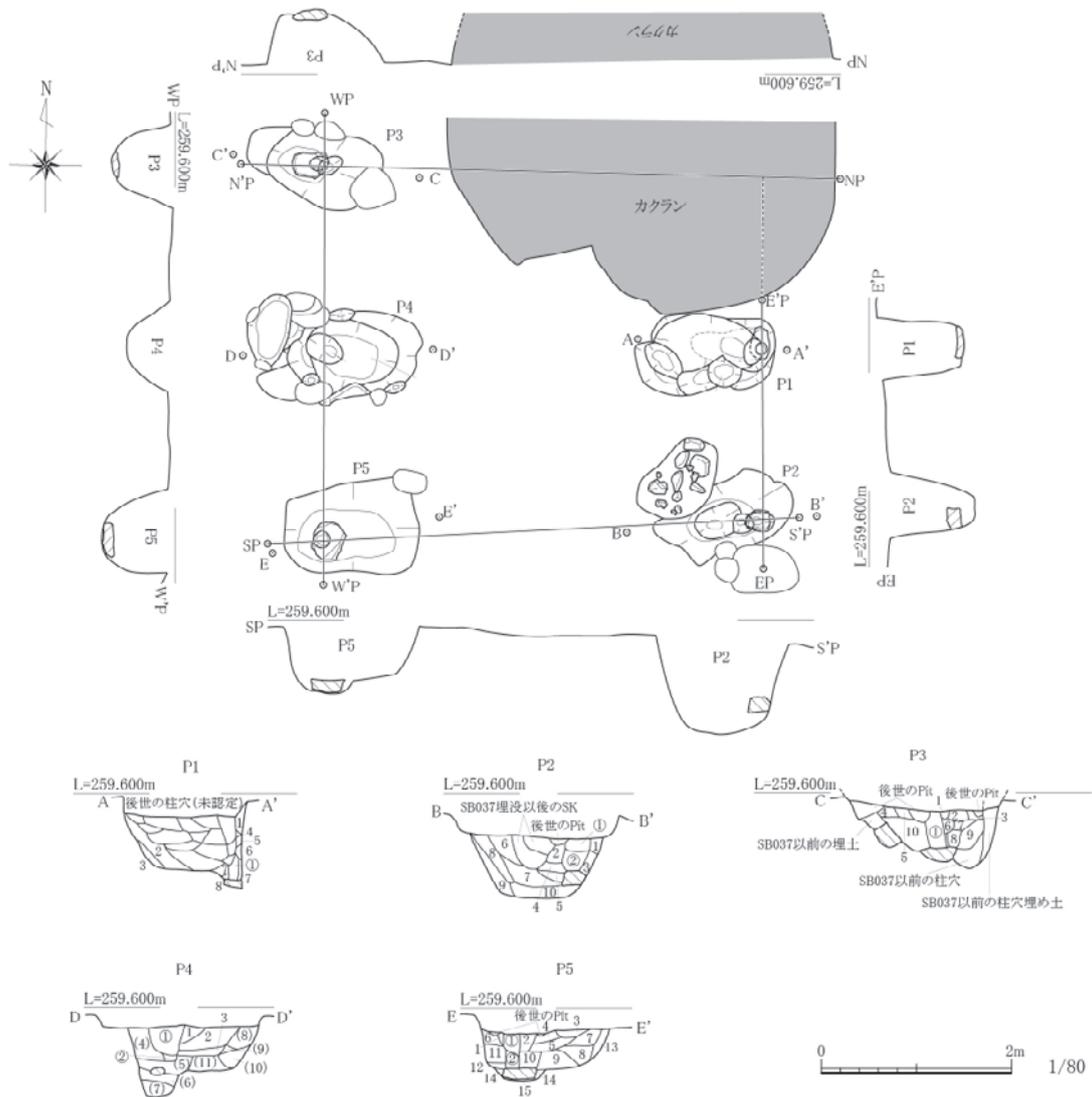
く、先後関係は不明である。

### SB020(Fig. 97)

Ⅱ区中央部に位置する。SB012、SB016と重複する。1間×1間の建物である。南北行P1-P2は485cm、P3-P4は500cm、東西行P1-P4は360cm、P2-P3は335cmである。南北行の軸は、E-39°-Nである。柱穴の直径は25～40cm、深さは確認面から25～30cmを測る。P1で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.97に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複するSB012、SB016との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

### SB032(Fig. 98)

Ⅱ区北東隅に位置する。1間×2間の建物である。南北行P1-P3は400cm、P4-P6は440cm、東西行P1-P4、P3-P6とも440cmである。南北行の軸は、N-2°-Wである。柱穴の直径は55～110cm、深さは確認面から30～90cmを測る。P1～P4全ての柱穴で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.98に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。



SB037 P1

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 5/8 (黄褐) 中砂
  - 2 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
細礫を含む
  - 3 Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂  
細礫を含む
  - 4 Hue10YR 5/6 (黄褐) 中砂
  - 5 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂  
5mm粒の炭化物を含む
  - 6 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
  - 7 Hue10YR 3/4 (暗褐) 中砂
  - 8 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
- 柱痕  
① Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂

SB037 P2

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 5/8 (黄褐) 中砂
  - 2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂
  - 3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂
  - 4 Hue10YR 5/6 (黄褐) 細砂
  - 5 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
  - 6 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂
  - 7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
細礫が多い
  - 8 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
細礫が多く見られる
  - 9 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
しまりがある
  - 10 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂
- 柱痕  
① Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
3mm粒のシルトに炭化物が見える  
② Hue10YR 3/4 (暗褐) 細砂

SB037 P3

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
細礫が多い
- 2 Hue10YR 4/4 (灰黄褐) 粗砂
- 3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
シルトを含む
- 4 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
シルトを含む
- 5 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
シルトを多く含む
- 6 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
細礫とシルトが混じる
- 7 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
細礫が混じりしまりがある
- 8 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
しまりがある
- 9 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
シルトと黒褐が混じる
- 10 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
シルトを含む

柱痕

- ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
7mm粒の炭化物と細礫を含む

SB037 P4

柱穴埋土

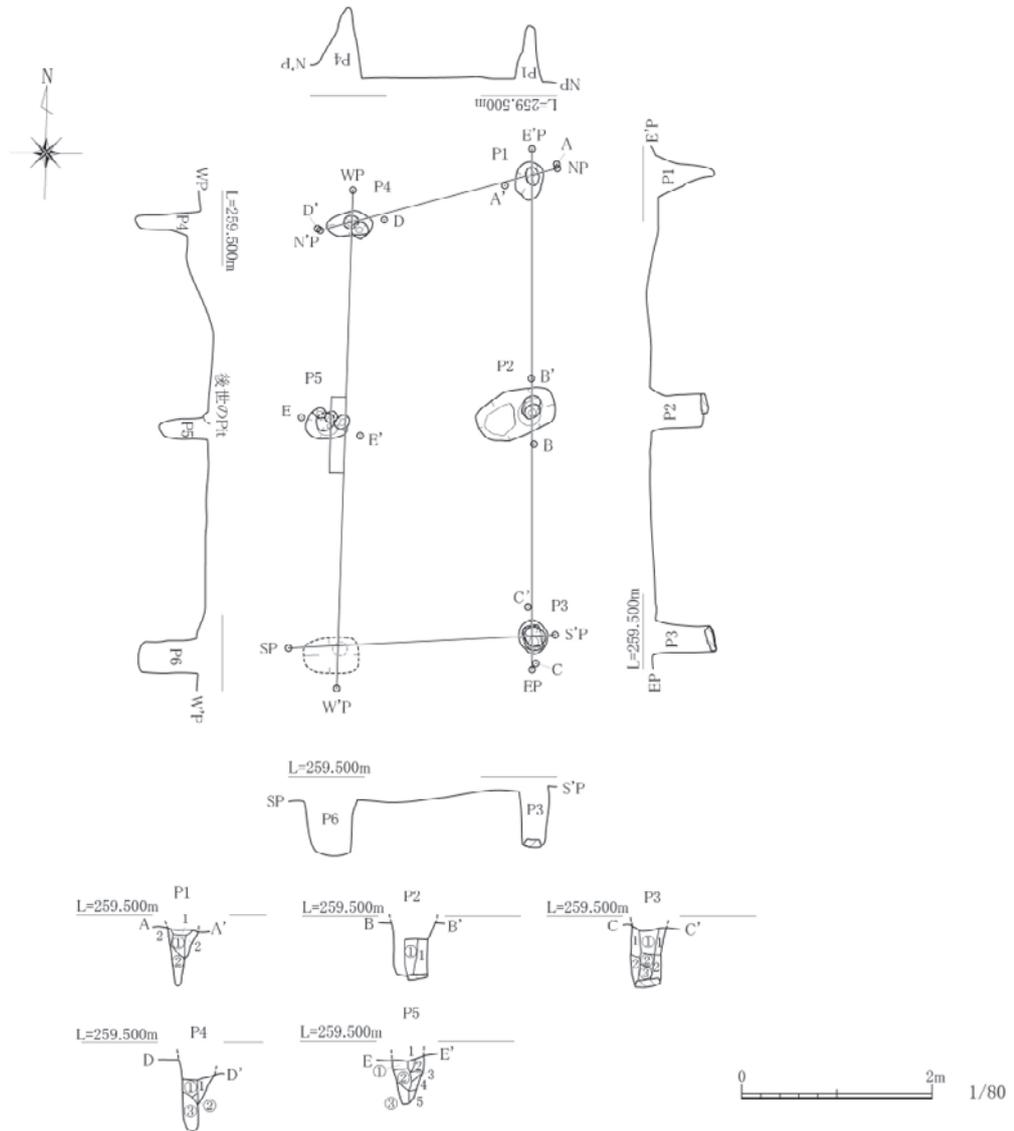
- 1 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
シルトが混じる
  - 2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
10mm粒の黒褐が見られる
  - 3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂
- 柱痕  
① 柱痕跡と周辺埋土を一括して掘削した為  
区別することは出来なかった  
② Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
5mm粒のシルトが混じる

SB037 P5

柱穴埋土

- 1 Hue10YR 3/4 (暗褐) 粗砂
- 2 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂
- 3 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
暗褐がまばらに入る
- 4 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂
- 5 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂
- 6 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
細礫を含む
- 7 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
細礫炭化物が見られる
- 8 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
シルトが見られ5mm粒の炭化物が見られる
- 9 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
黒褐が混じる
- 10 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
シルトが多く見られる
- 11 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
細礫が多く3mm粒の炭化物も見られる
- 12 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
細礫が混じる
- 13 Hue10YR 5/6 (暗褐) 中砂  
シルト混じりで暗褐がまばらに見られる
- 14 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
磁石を掘る時に同時に埋め立てた埋土
- 15 Hue7.5YR 5/6 (明褐) 中砂  
磁石の平行を保つ為最初の掘削時に掘削して  
すぐに礎石下の基盤とした土

Fig.103 頭地田口C遺跡 II区 SB037実測図



SB039 P1  
 柱抜取痕  
 1 Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
 細礫混じり  
 柱穴埋土  
 2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 細礫混じり  
 柱痕  
 ① Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
 細礫混じり。10mm大の炭化物をわずかに含む  
 ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
 20mm大の黄色土が斑状に含まれる

SB039 P4  
 柱穴埋土  
 1 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
 細礫混じり  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 わずかに10mm大の黄色土ブロックが見られ  
 5~10mmの炭化物を含む  
 ② Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 シルト混じりでザラザラ感が強い  
 ③ Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 ①層に比べてキメが細かく縮まりある土  
 微粒の炭化物を全体に含む

SB039 P2  
 柱穴埋土  
 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
 細礫混じり  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 細礫混じり

SB039 P5  
 柱穴埋土  
 1 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
 黄色シルト混じり  
 2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 黄色シルト混じり  
 3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 ②層に比べて粗めの土  
 4 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
 粘性のある土  
 5 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
 あまりしまりのない土  
 柱痕  
 ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
 黄色シルト混じり。微粒の炭化物をわずかに含む  
 ② Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 黄色シルト混じり  
 ③ Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
 微粒の炭化物をわずかに含む

SB039 P3  
 1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 細礫混じり。10mm大の黄色土が斑状に含まれる  
 2 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
 細礫混じり。10mm大の黄色土が斑状に含まれる  
 柱痕  
 ① Hue2.5Y 3/3 (暗褐) 細砂  
 しまりある土。20mm大の炭化物が含まれる  
 ② Hue2.5YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
 細礫混じり  
 ③ Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
 若干粘性がある土。5mm大の炭化物が含まれる

Fig.104 頭地田口C遺跡 II区 SB039実測図

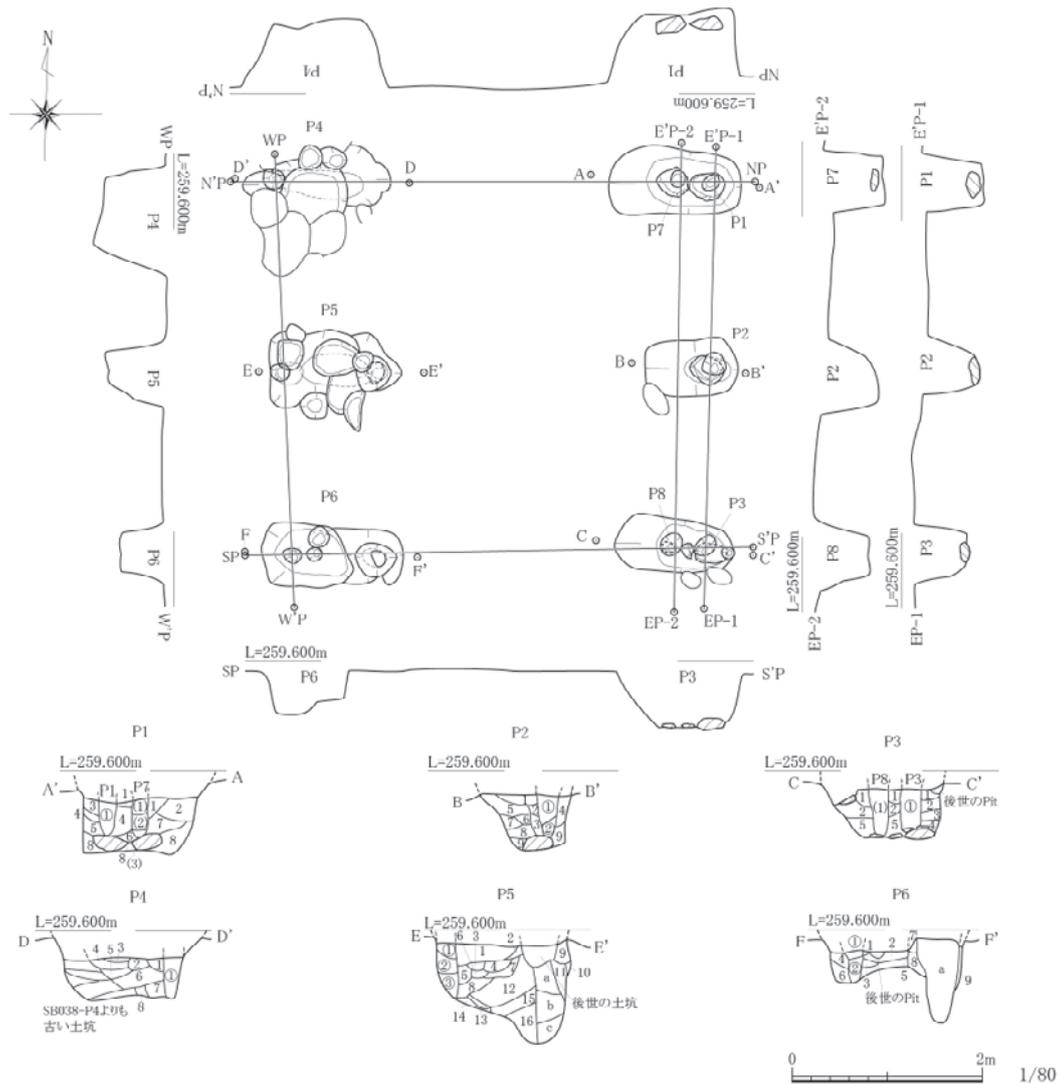


Fig.105 頭地田口C遺跡 II区 SB038実測図

**SB033(Fig. 99)**

II区北東隅に位置する。SB034、SB035と重複する。1間×2間の建物である。東西行P1-P4は250cm、P3-P6は240cm、南北行P1-P3は400cm、P4-P6は415cmである。東西行の軸は、E-7°-Sである。柱穴の直径は25~40cm、深さは確認面から40~70cmを測る。P3で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.99に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複する建物遺構との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

**SB034(Fig. 100)**

II区北東隅に位置する。SB035と重複する。1間×2間の建物である。東西行P1-P4は260cm、P3-P6は280cm、南北行P1-P3は415cm、P4-P6は385cmである。南北行の軸は、N-2°-Wである。柱穴の直径は25~80cm、深さは確認面から40~65cmを測る。P1、P4、P6で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.100に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複する建物遺構との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

**SB035(Fig. 102)**

II区北東隅に位置する。SB033、SB034と重複する。1間×3間の建物である。東西行P1-P5は225cm、P4-P8は200cm、南北行P1-P4は605cm、P5-P8は595cmである。南北行の軸は、N-2°-Wである。柱穴

## SB038 土層註記

SB038 P1  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 粗砂  
細礫混じり  
2 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
細礫混じり  
3 Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
わずかながら10mm大の炭化物を含む  
4 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
細礫混じり  
5 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
細礫含まない  
6 Hue10YR 4/1 (褐灰) 粗砂  
細礫、黄色シルト混じり  
7 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
細礫混じり  
8 Hue10YR 4/2 (灰黄灰) 粗砂  
細礫混じり  
最初に10層まで掘削してすぐ10層を埋め礎板を  
安定させる

### 柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
わずかに細礫を含み5mm大の炭化物を含む  
(1) Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
10mm大の炭化物がまばらに見られる  
(2) Hue10YR 4/1 (褐灰) 粗砂  
細礫混じり  
(3) Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
粘性の少しある土

SB038 P3  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
細礫、黄色シルト混じり  
2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
キメが細かくしりある土  
黄色シルト混じり  
3 Hue10YR 4/1 (褐灰) 細砂  
黄色シルト混じりが顕著に見られる  
4 Hue10YR 4/1 (褐灰) 細砂  
3層に比べてしりがある土  
黄色シルトが斑状に含まれる  
5 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
細礫混じり

### 柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
5～10mm大の炭化物が全体に見られる  
(1) Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
微粒の炭化物をわずかに含む

SB038 P2  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
細礫混じり  
2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
3 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
黄色シルト混じり  
4 Hue10YR 4/1 (褐灰) 中砂  
細礫混じり、黄色シルトを斑状に含む  
5 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
細礫混じり  
6 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
細礫混じり  
7 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
細礫混じり、微粒の炭化物を含む  
8 Hue10YR 4/1 (褐灰) 中砂  
細礫混じり、微粒の炭化物を含む  
9 Hue10YR 4/1 (褐灰) 中砂  
4層、8層に比べて粘性がある  
黄色シルト炭化物は含まない  
最初に9、10層まで掘削してすぐ  
9、10層を埋め礎板を安定させる

### 柱痕

- ① Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
5mm大の炭化物を全体に含む  
② Hue10YR 3/2 (黒褐) 粗砂  
細礫が非常に多く混じる

SB038 P4  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
2 Hue10YR 3/3 (暗褐) 粗砂  
細礫混じり  
3 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
4 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
微粒の炭化物を含む  
5 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 粗砂  
細礫混じり  
6 Hue10YR 4/1 (褐灰) 中砂  
5mm大の黄色シルトが斑状に混じる  
7 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 中砂  
ジャリジャリした土  
5mm大の黄色シルトが斑状に混じる  
8 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
柱痕  
① Hue10YR 3/1 (黒褐) 粗砂  
10mm大の炭化物をまばらに含む

SB038 P5  
柱穴埋土  
1 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
細礫混じり  
2 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
4 Hue10YR 4/4 (褐) 中砂  
5 Hue10YR 4/1 (褐灰) 細砂  
硬く締まった土  
6 Hue10YR 4/4 (褐) 細砂  
7 Hue10YR 3/3 (暗褐) 中砂  
細礫混じり  
8 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 中砂  
5mm大の炭化物がわずかに見られる  
柱痕  
① Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
10mm大の黄色シルトが斑状に混じる  
② Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
黄色シルトが斑状に混じる  
微粒の炭化物をまばらに含む  
③ Hue10YR 3/1 (黒褐) 中砂  
2層に比べてしりがなく黄色シルトがほとんど見  
られない  
微粒の炭化物がまばらに含まれる

SB038 P6  
1 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
2 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
黄色シルトが斑状に混じる  
3 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
黄色シルト混じり  
4 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
わずかながら黄色シルトが斑状に混じる  
5 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
わずかながら50mm大の炭化物が見られる  
6 Hue10YR 4/2 (灰黄褐) 細砂  
10mm大の黄色シルトが斑状に混じる  
柱痕  
① Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
5mm大の炭化物を全体に含む  
② Hue10YR 3/2 (黒褐) 中砂  
微粒の炭化物を全体に含む

の直径は25～40cm、深さは確認面から30～65cmを測る。P1～3、P6～8で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.102に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。重複する建物遺構との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。P3とSB034のP3が重複する。

### SB036(Fig. 101)

Ⅱ区北よりに位置する。1間×2間の建物である。東西行P1～P4は390cm、P3～P6は400cm、南北行P1～P3は455cm、P4～P6は395cmである。南北行の軸は、E-29°-Nである。柱穴の直径は40～55cm、深さは確認面から30～50cmを測る。P1、P2、P4～6で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.101に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。

### SB037(Fig. 103)

Ⅱ区北西隅に位置する。SB038と重複する。1間×2間以上の建物である。東西行P2～P5は455cm、南北行P3～P5は400cmである。南北行の軸は、N-0°-Wである。柱穴の直径は80～145cm、深さは確認面から40～90cmを測る。P1～P4で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.103に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P1～P3、P5の柱痕跡の最下底に礎盤を置いている。重複するSB038との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

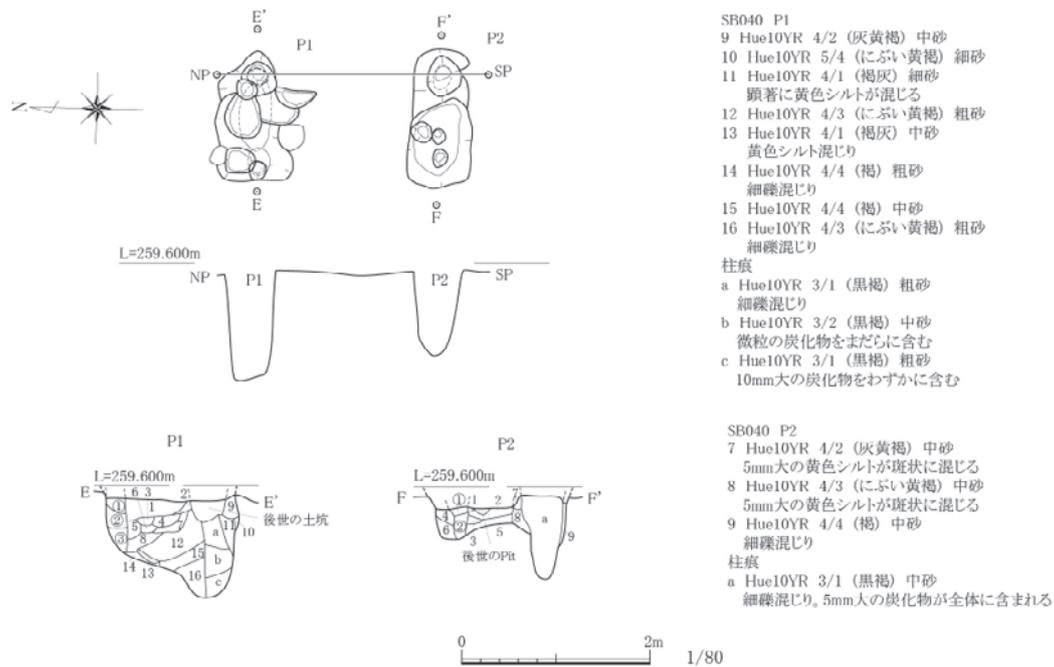


Fig.106 頭地田口C遺跡 II区 SB040実測図

### SB038(Fig. 105)

II区北西隅に位置する。SB037と重複する。1間×2間の建物で、東側に庇をもつ。東西行 P7-P4は425cm、P7-P1は35cm、P8-P6は400cm、P8-P3は35cm、南北行 P4-P6は400cm、P1-P3は400cmである。南北行の軸は、N-1°-Wである。柱穴の直径は70~140cm、深さは確認面から60~80cmを測る。P1~P6で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.105に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P1~P3、P7、P8の柱痕跡の最下底に礎盤を置いている。重複するSB037との切り合い関係はなく、先後関係は不明である。

### SB039(Fig. 104)

II区北東隅に位置する。1間×2間以上の建物である。東西行 P1-P3は490cm、南北行 P1-P4は200cmである。南北行の軸は、N-1°-Wである。柱穴の直径は25~90cm、深さは確認面から65~70cmを測る。P1~P5で柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.104に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。P2、P3の柱痕跡の最下底に礎盤を置いている。

### SB040(Fig. 106)

II区北東隅に位置する。P1とP2の柱穴が確認される。建物構造は不明である。柱筋はN-2°-Wである。柱間は200cmである。柱穴の直径は50~145cm、深さは確認面から90~110cmを測る。P1、P2とも柱痕跡が確認できる。各柱穴の埋土については、Fig.106に示したとおりである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。

### SK043(Fig. 107)

II区中央南よりに位置する。240cm×210cm、確認面からの深さは15cmを測る、隅丸方形を呈する竪穴住居である。柱穴は中央やや北西よりに2ヶ所確認された。炉跡は検出されなかったが、中央部南西よりと北側に焼土をもつ浅い土坑が認められる。出土遺物は、Fig.125の70~76である。

### SK044(Fig. 108)

II区中央北東よりに位置する。長軸210cm、短軸150cm、確認面からの深さは35cmを測る長楕円形を呈する土坑である。土坑の埋土は4層に分層され、最下層4層には10mm大の炭化物を含む。

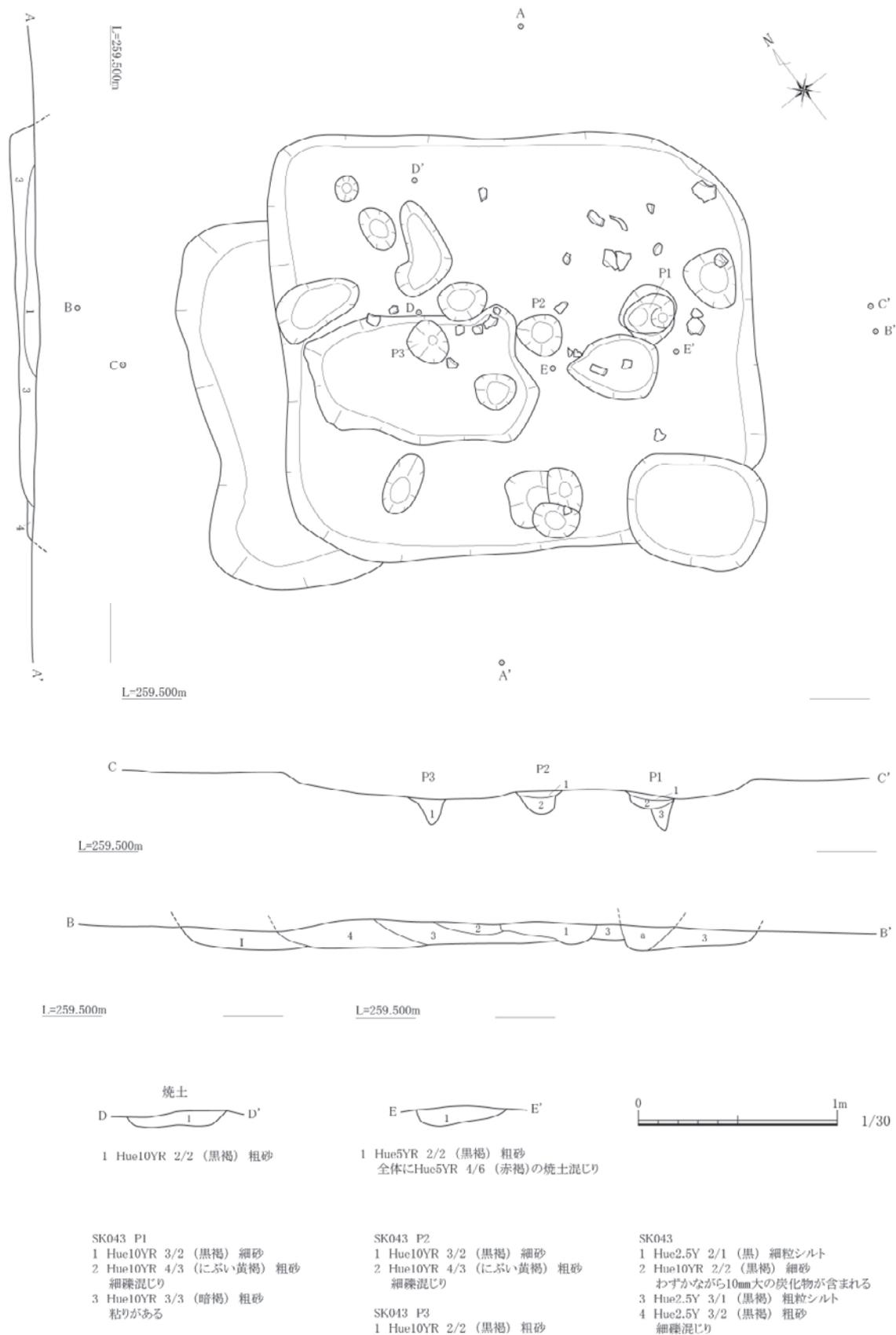


Fig.107 頭地田口C遺跡 II区 SK043実測図

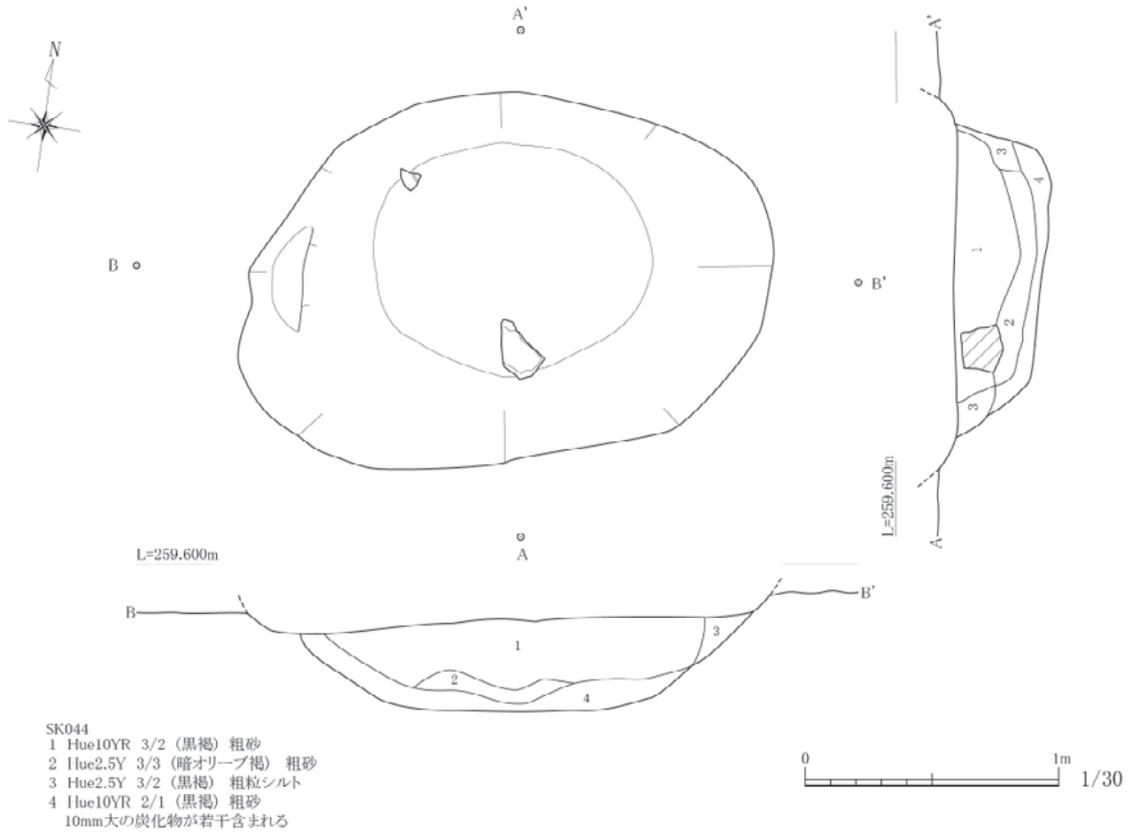


Fig.108 頭地田口C遺跡 II区 SK044実測図

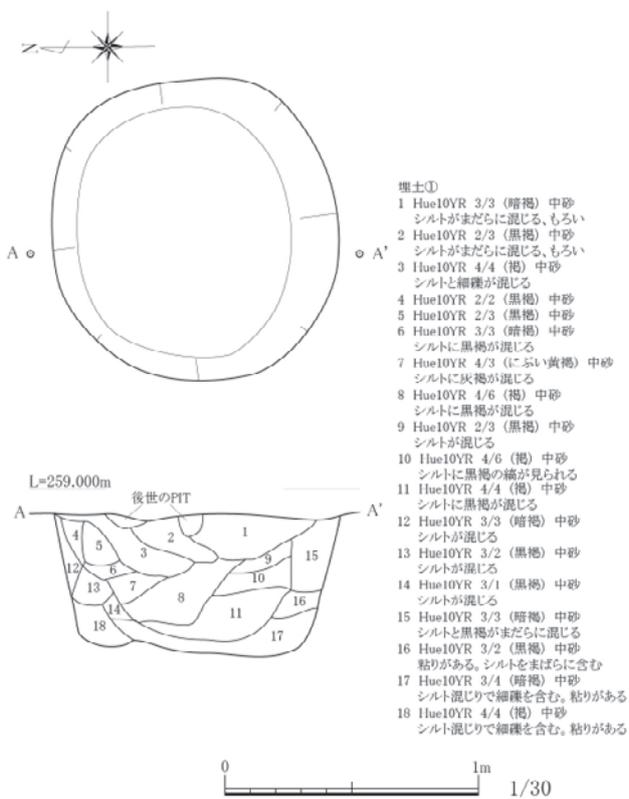


Fig.109 頭地田口C遺跡 II区 SK045実測図

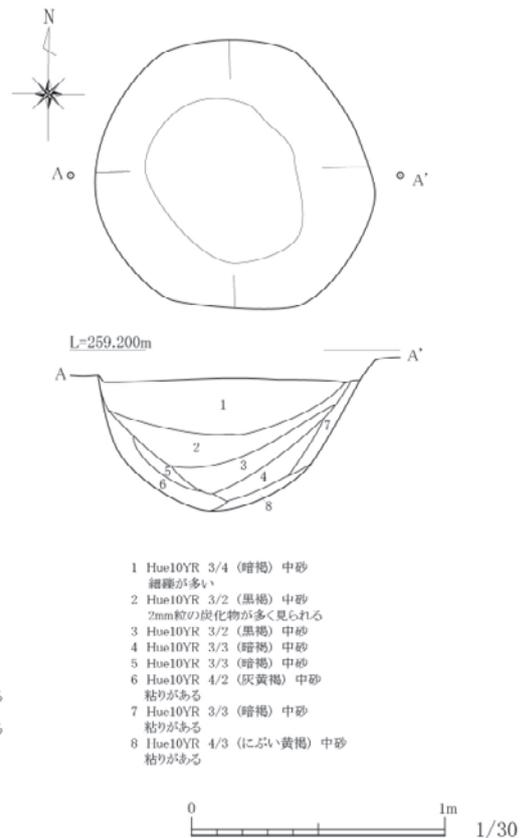


Fig.110 頭地田口C遺跡 II区 SK046実測図

**SK045(Fig. 109)**

Ⅱ区中央に位置する。直径120cm、確認面からの深さ60cmを測る土坑である。土坑の埋土は18層に分層される。堆積状況は不規則であるが、1～8層、9～11層、12～18層の3段階で土坑の規模が徐々に縮小したと推測される。遺物の出土はなく、遺構の時期や機能については不明である。

**SK046(Fig. 110)**

Ⅱ区中央北よりに位置する。直径110cm、確認面からの深さ55cmを測る土坑である。土坑の埋土は8層に分層される。堆積状況はレンズ状を呈し自然に埋没したものと考えられる。遺物の出土はなく、遺構の時期や機能については不明である。

**SK047(Fig. 111)**

Ⅱ区中央北東より、SK044の北隣に位置する。東西方向に長軸方向をもつ長楕円形を呈する土坑である。長軸255cm、短軸160cm、確認面からの深さ35cmを測る。土坑の埋土は4層に分層される。1～2層と4層は微細～10mm大の炭化物を含む。3層は炭化物層である。土坑内で火を焚いたものと考えられるが、焼土や土坑壁面及び床面についての受熱の有無について記録されていないため、土坑の機能について類推することはできない。遺物の出土はなく、遺構の時期については不明である。

**SK048(Fig. 112)**

Ⅱ区中央北東より、SK047の北隣に位置する。長軸130cm、短軸100cm、確認面からの深さ50cmを測る不整形の土坑である。土坑の埋土は分層できなかった。確認面に30cm前後の礫が集中する。土坑内中位～下位には礫は含まれない。遺物の出土はなく、遺構の時期や機能については不明である。

**SK049(Fig. 113)**

Ⅱ区中央北東より、SK048の北隣に位置する。長軸155cm、短軸100cm、確認面からの深さ35cmを測る不整形の土坑である。土坑の埋土は6層に分層されるが、土色と土質の類似から2～5層は同一層である可能性が高い。遺物の出土はなく、遺構の時期や機能については不明である。

**SK050(Fig. 114)**

Ⅱ区中央北東より、SK049の北隣に位置する。長軸180cm、短軸155cm、確認面からの深さ35cmを測る不整形の土坑である。土坑の埋土は分層できなかった。土坑内に30～40cm前後の礫が大量に集中する。中に石臼の残欠も含まれる。埋土中には、10mm大の炭化物を含む。遺物の出土はなく、遺構の時期や機能については不明である。

**SL042(Fig. 115)**

SB011の中央部から検出された囲炉裏と考えられる遺構である。南北方向に長軸方向をもつ隅丸の長方形を呈する土坑である。長軸100cm、短軸140cmを測り、確認面からの深さは40cmである。土坑の南側に長軸方向に35cm、短軸方向に120cmの柵状の張り出しを持つ。土坑内部には壁際に沿って全周に扁平な礫を立てる。土坑の中央部分は炭化物を含む、細砂や粗砂が認められる。埋土については、Fig.115に示したとおりである。

**ST051(Fig. 116)**

Ⅱ区中央やや北よりに位置する。長軸215cm、短軸110cm、確認面からの深さ20cmを測る不整形の土坑である。墓と類推される。土坑の埋土は4層に分層され、1～3層には炭化物を含む。特に1層で確認された炭化物の素材は竹で、敷き詰められたような痕跡が確認された。遺構の時期については不明である。

**ST052(Fig. 117)**

Ⅱ区中央東よりに位置する。直径200cm、確認面からの深さ30cmを測る円形の土坑である。土坑の壁は垂直に掘られ、床面は平滑に仕上げられている。土坑壁面に沿って40cm前後の礫を配置する。中央部には空白があり礫は置かれぬ。土坑の埋土は6層に分層され、4層には炭化物が含まれる。墓と類推される。

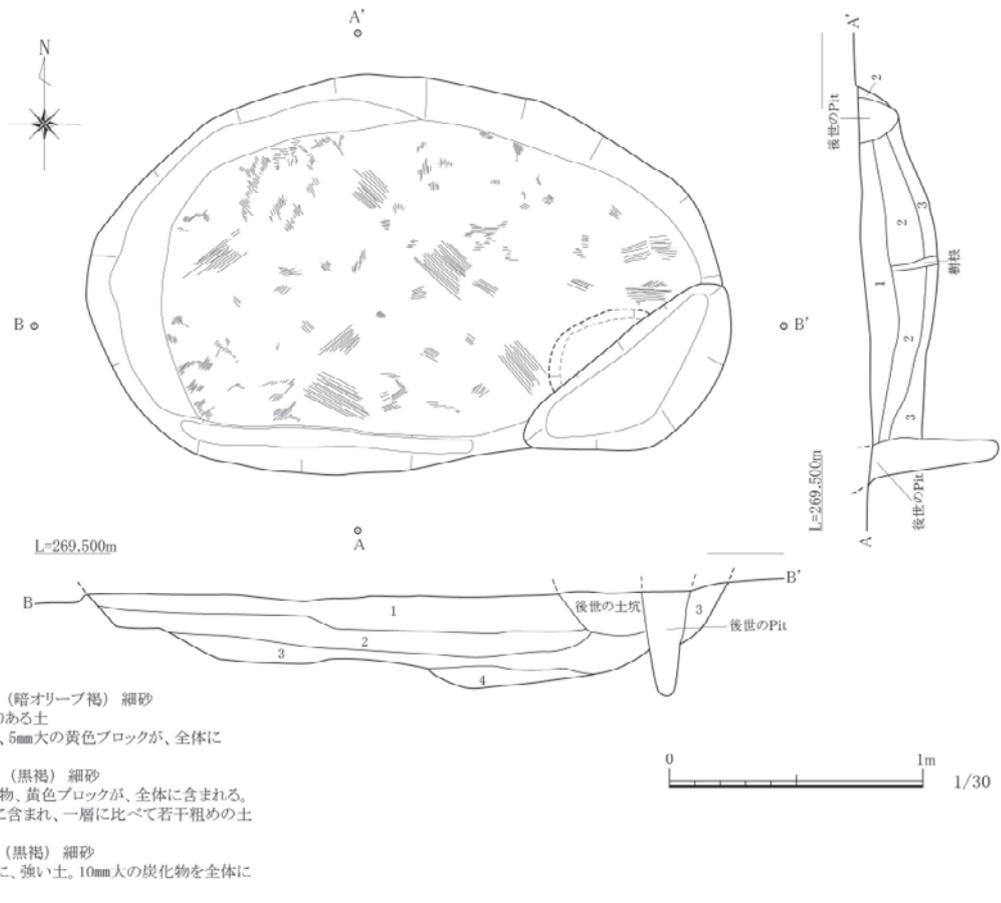


Fig.111 頭地田口C遺跡 II区 SK047実測図

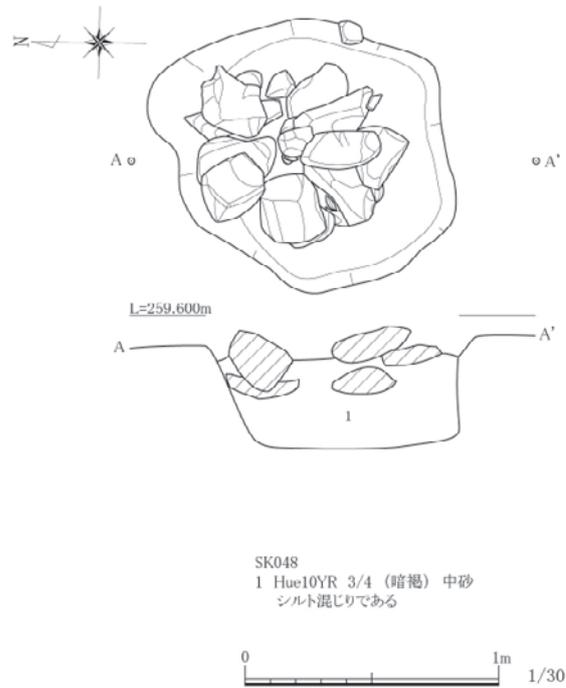


Fig.112 頭地田口C遺跡 II区 SK048実測図

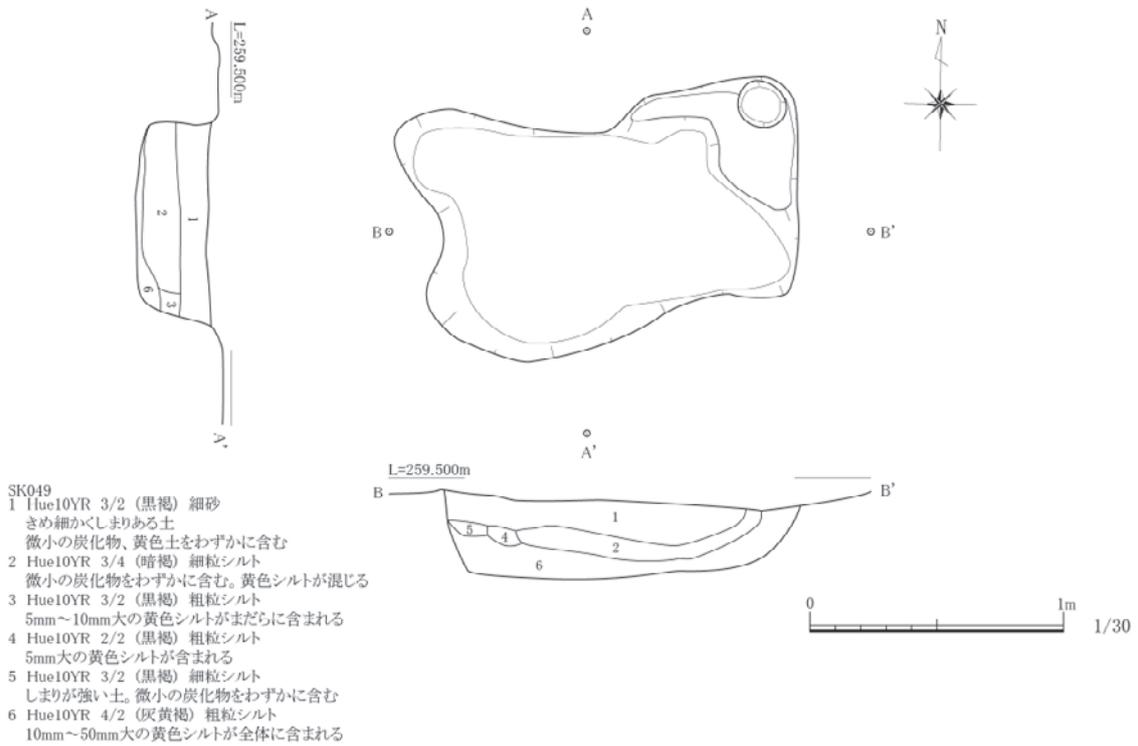


Fig.113 頭地田口C遺跡 II区 SK049実測図

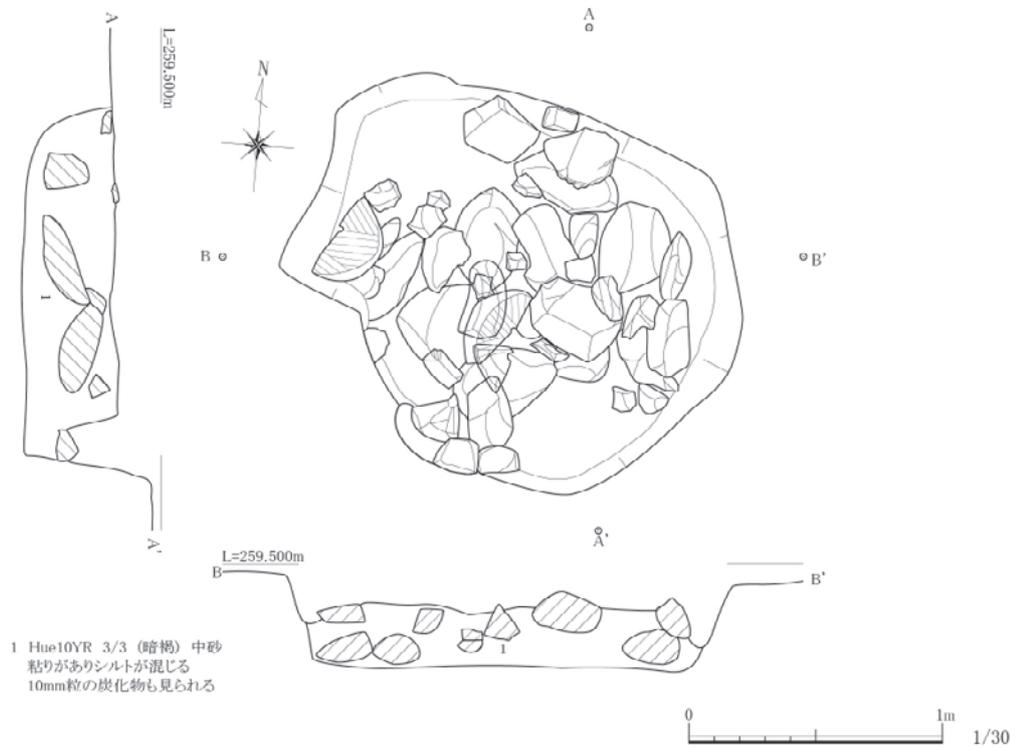


Fig.114 頭地田口C遺跡 II区 SK050実測図

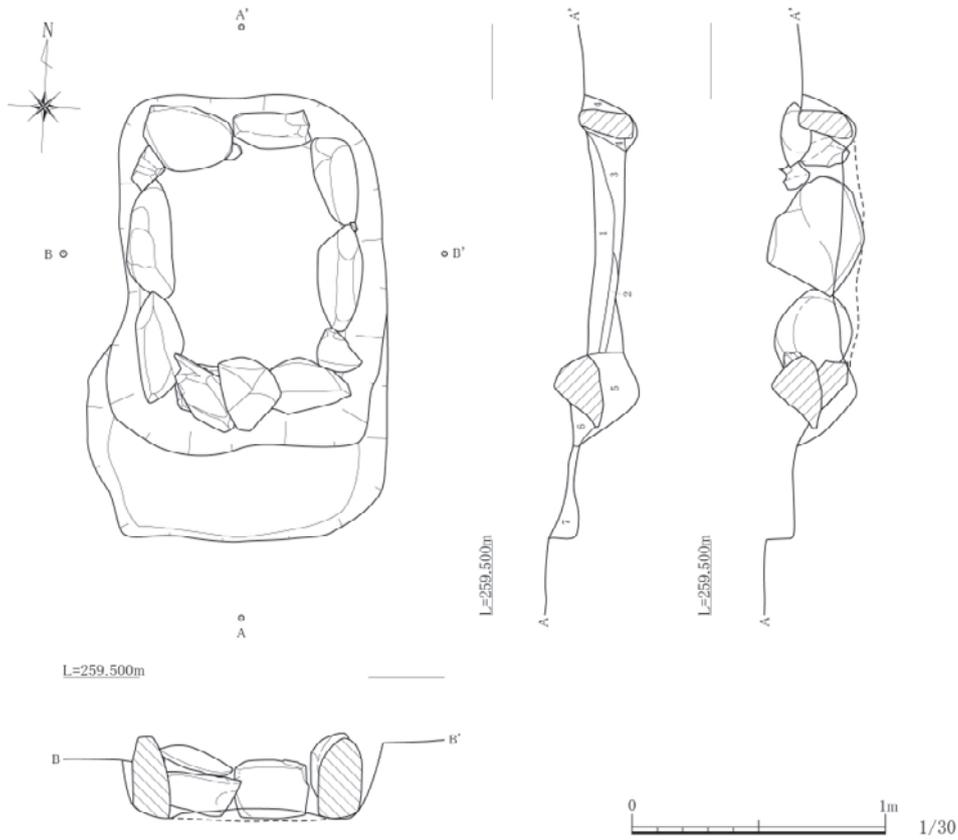


Fig.115 頭地田口C遺跡 II区 SL042実測図

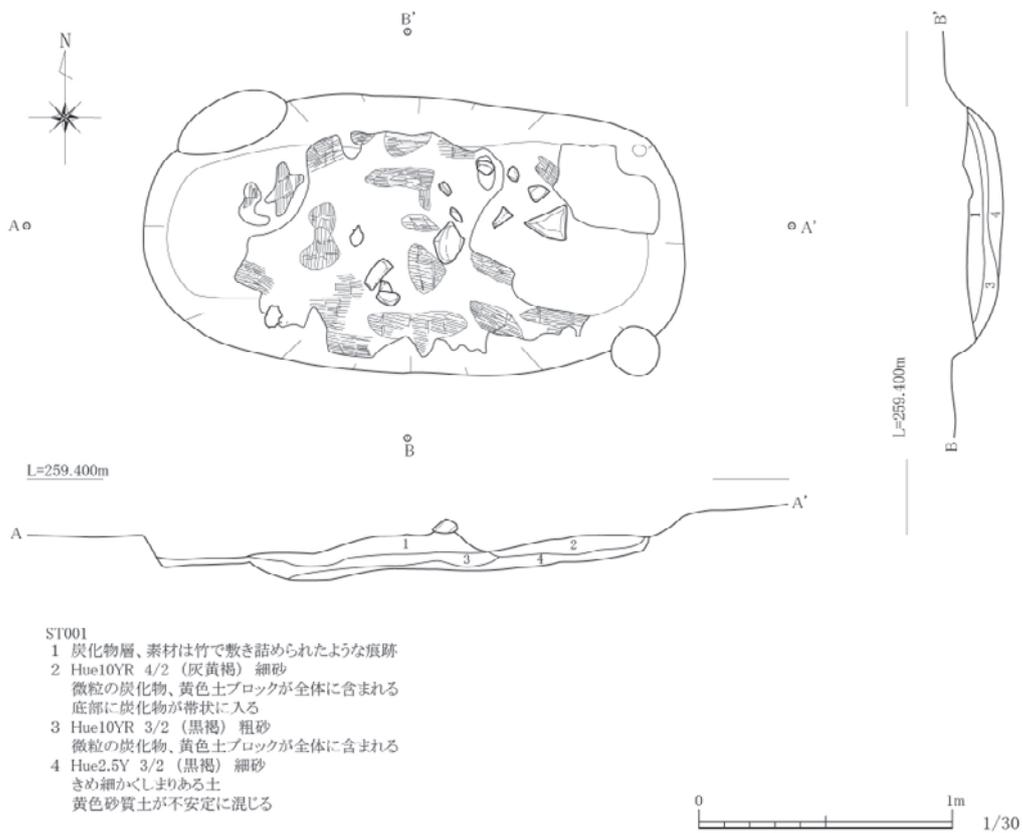


Fig.116 頭地田口C遺跡 II区 ST051実測図

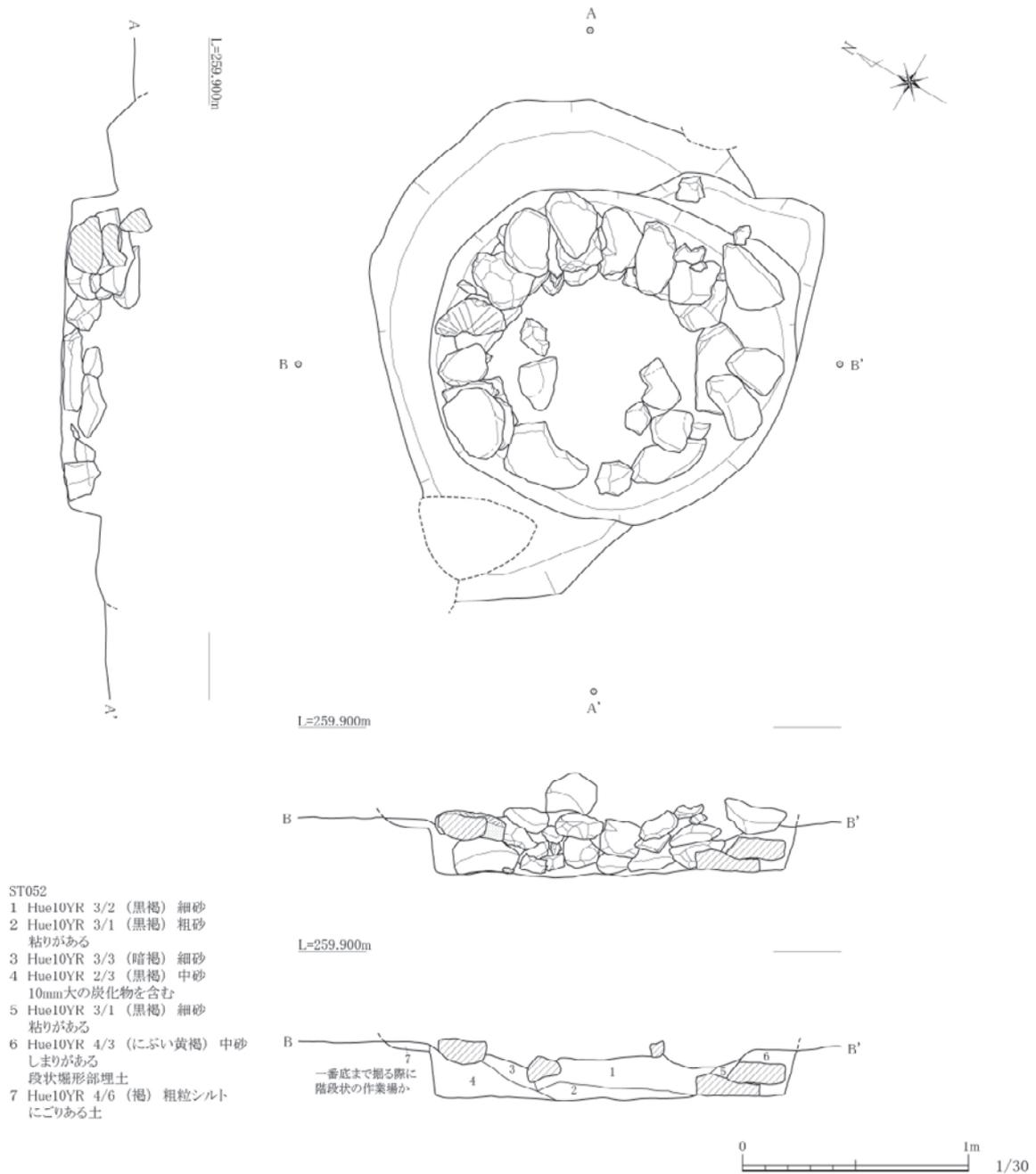
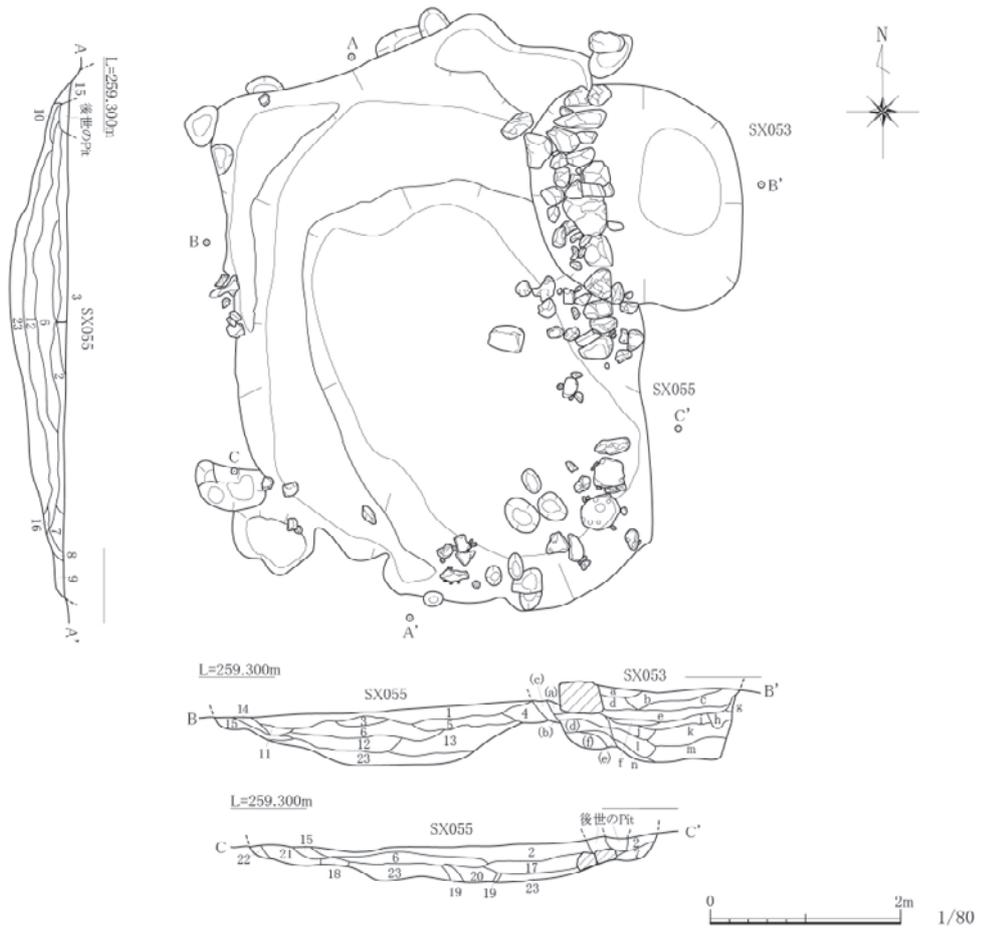


Fig.117 頭地田口C遺跡 II区 ST052実測図

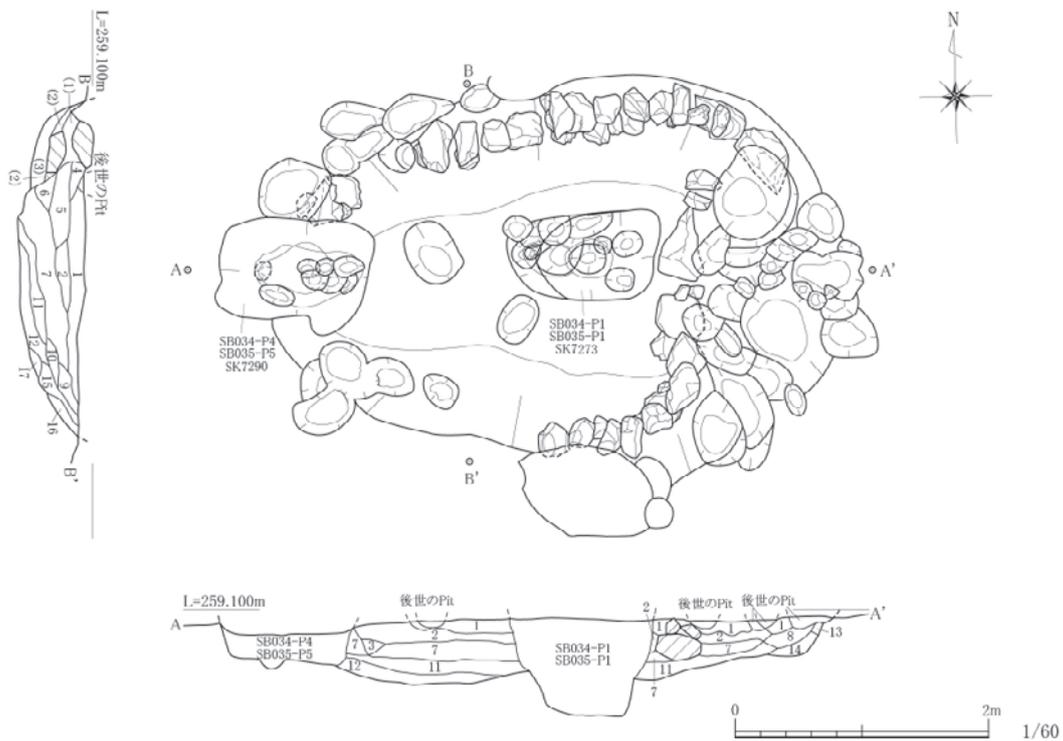
### SX053(Fig. 118)

II区中央やや北寄りに位置する。短軸215cm、長軸270cm、確認面からの深さ80cmを測る楕円形の土坑である。土坑の埋土は14層に分層される。a～n層の堆積状況はレンズ状を呈し自然に埋没したものと考えられる。土坑西側には、南北方向に礫が集中する。礫の下の土層堆積は、人為的に埋められたと考えられる(a)～(f)に区分できる。SX055を切る切り合い関係が認められる。遺物の出土はなく、遺構の時期や機能については不明である。



- SX053  
 本体部埋土(a~n)  
 a Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 鉄分沈着による赤みがある  
 b Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 粗砂  
 黄色シルトを斑状に含む  
 c Hue2.5Y 4/1 (黄灰) 粗砂  
 細礫混じり、縦方向に鉄分が入る  
 d Hue2.5Y 4/1 (黄灰) 細砂  
 e 崩壊により確認できず  
 f 崩壊により確認できず  
 g Hue2.5Y 4/3 (オリーブ褐) 中砂  
 細礫混じり、もろい土  
 h Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 中砂  
 細礫混じり  
 i 崩壊により確認できず  
 j 崩壊により確認できず  
 k 崩壊により確認できず  
 l 崩壊により確認できず  
 m 崩壊により確認できず  
 n 崩壊により確認できず
- SX053 人為的埋立部分埋土(a~f)  
 (a) Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 かなりしりある土  
 (b) Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
 しり、粘性強い土  
 (c) Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 黄色シルト混じり  
 (d) Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 粘性がかなり強い土  
 (e) 崩壊により確認できず  
 (f) 崩壊により確認できず
- SX055  
 埋土(1~23)  
 1 Hue10YR 3/2 (黒褐) 細砂  
 細礫混じり  
 2 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 細礫混じり  
 3 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 細礫混じり、2層に比べて細かくしりある土  
 4 Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 しりある土、10mm大の黄色シルトを斑状に含む  
 5 Hue2.5Y 4/1 (黄灰) 細砂  
 微小な黄色シルトを全体に含む  
 6 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細砂  
 細礫混じり、10mm大の黄色シルトをわずかに含む  
 7 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
 きめ細かくしりある土  
 8 Hue2.5Y 4/3 (オリーブ褐) 細砂  
 きめ細かくしりある土、粘性がある  
 9 Hue2.5Y 4/4 (オリーブ褐) 細砂  
 きめ細かくしりある土  
 10 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 11 Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 きめ細かくしりある土  
 12 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
 細礫混じり、5mm大の炭化物をわずかに含む  
 13 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 14 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 しりある土  
 15 Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐) 細砂  
 きめ細かくシルト混じり  
 16 Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 きめ細かくしりある土、粘性もある  
 17 Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 全体に鉄分沈着があり濁りある土  
 18 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
 かなりしりある土  
 19 Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 しり粘性強い土  
 20 Hue2.5Y 4/3 (オリーブ褐) 細砂  
 きめ細かくしりある土、黄色シルト混じり  
 pit状遺構埋土(18~20)  
 21 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
 しり弱く粗め、微小の黄色シルトを斑状に含む  
 22 Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
 5mm大の黄色シルトを斑状に含む、微小炭化物もわずかに見られる  
 23 Hue2.5Y 4/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
 10mm大の黄色シルトを斑状に含む

Fig.118 頭地田口C遺跡 II区 SX053・SX055実測図



SX054

本体部分埋土(1~17)

- 1 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
きめ細かくしまりある土 細礫混じり
- 2 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細砂  
微粒の黄色シルト炭化物を含む
- 3 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 粗砂  
非常にもろい土 樹痕か
- 4 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
きめ細かくしまりある土
- 5 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
10cm大の黄色シルトをわずかに含む
- 6 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細砂  
しまり弱い土
- 7 Hue10YR 3/1 (黒褐) 細砂  
きめ細かくしまりある土、わずかながら細礫混じり
- 8 Hue2.5Y 4/2 (暗灰黄) 細砂  
細礫混じり
- 9 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
1層に比べて軟らかい土
- 10 Hue5Y 3/2 (オリーブ黒) 細砂  
きめ細かくしまりある土

- 11 Hue5Y 3/1 (オリーブ黒) 細砂  
きめ細かくしまりある土  
50mm大黄色シルトを含む
  - 12 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細砂  
微小の黄色シルト・炭化物をまばらに含む
  - 13 Hue2.5Y 4/4 (オリーブ褐) 細砂
  - 14 Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
細礫混じり
  - 15 Hue2.5Y 3/1 (黒褐) 細砂  
きめ細かくしまりある土、黄色シルト混じり
  - 16 Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂
  - 17 Hue2.5Y 4/3 (オリーブ褐) 細砂
- 人為的埋立部分埋土(1)~(3)
- (1) Hue2.5Y 3/2 (黒褐) 細砂  
粘性の強い土
  - (2) Hue2.5Y 3/3 (暗オリーブ褐) 細砂  
わずかに微粒の炭化物を含む  
しまりかなり強い
  - (3) Hue2.5Y 4/3 (オリーブ褐) 細砂  
シルト混じりのしまりある土

Fig.119 頭地田口C遺跡 II区 SX054実測図

SX054(Fig. 119)

II区中央やや北よりに位置する。長軸235cm、短軸150cm、確認面からの深さ25cmを測る長楕円形の土坑である。土坑の北側縁に沿って40cm前後の礫が並ぶが、土層の堆積から土坑を一部埋めて、その上に配石したものと考えられる。SX054は、SB034のP1とSB035のP1を含む土坑(SK7273)やSB034のP4とSB035のP5を含む土坑(SK7290)に切られていることから、これらの建物遺構に先行する時間的位置づけが考えられる。土坑の埋土は17層に分層され、2層と12層に炭化物が含まれる。

SX055(Fig. 118)

II区中央やや北寄りに位置する。長軸600cm、短軸430cm、確認面からの深さ55cmを測る隅丸方形を呈する土坑である。SX053に切られており、SX055はSX053に先行する遺構であることが理解できる。土坑の埋土は23層に分層できる。その在り方は、互いに重なり合うような堆積状況を呈し、人為的に埋められたものと理解できる。遺物の出土はなく、遺構の時期や機能については不明である。

## (2) 遺物について

当該遺跡の発掘調査は、Ⅰ区及びⅡ区で実施した。また、Ⅰ区は3段の平坦面に区分され、それぞれを上段部～下段部とした。Ⅱ区は、2段に区分され上段部と下段部に区分した。

今回の調査では、8枚の土層堆積を確認した。そのうち、Ⅱ層が黄褐色土でアカホヤ火山灰の2次堆積層である。遺物は、Ⅱ～Ⅲ層で出土した。その内容は、縄文時代中期～近世まで含まれる。

以下、図示した遺物に関する観察所見については、観察表を参照されたい。

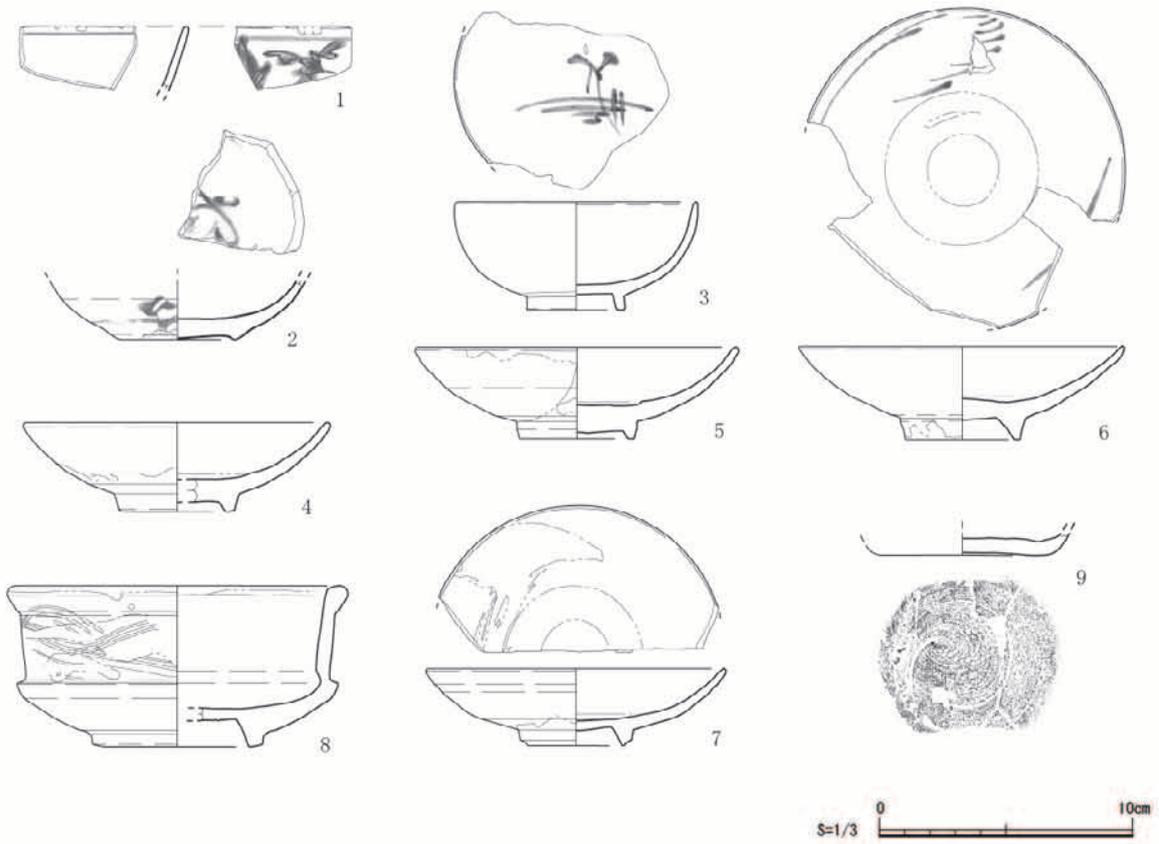


Fig.120 頭地田口 C 遺跡 I 区 SB021・SB022(9) 出土遺物実測図

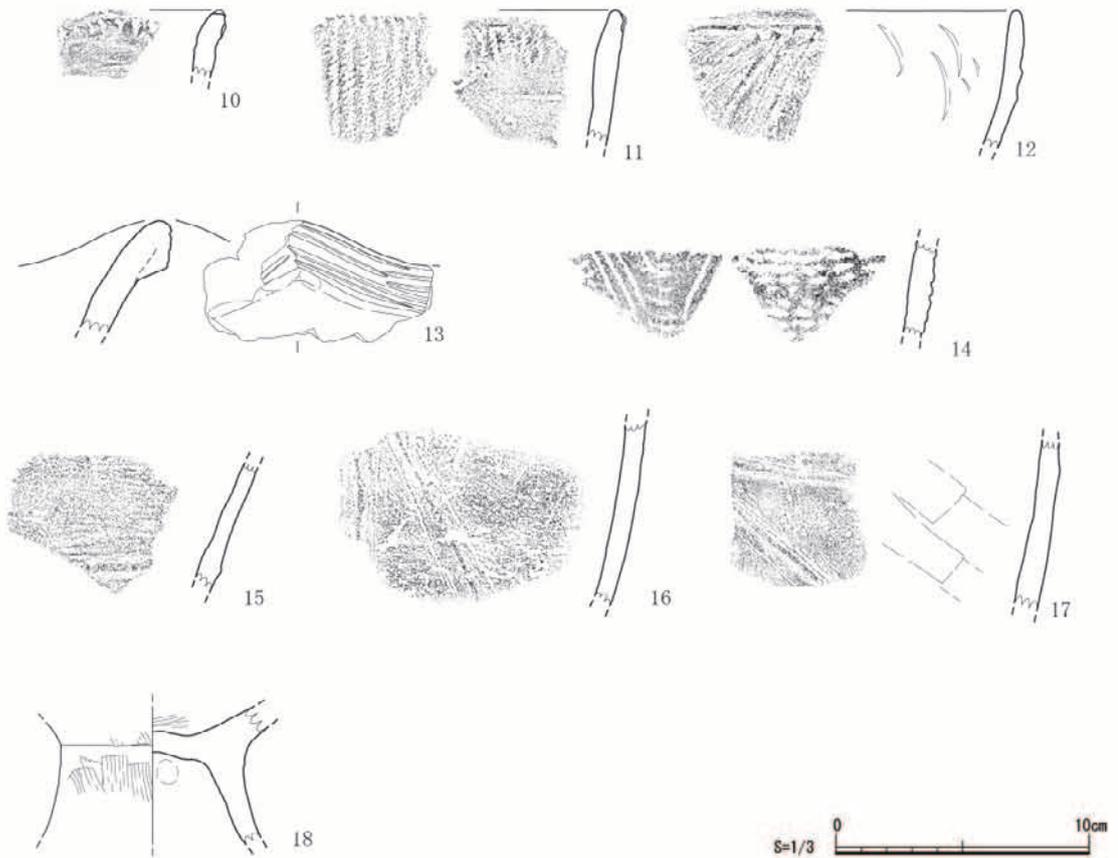


Fig.121 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物実測図-①

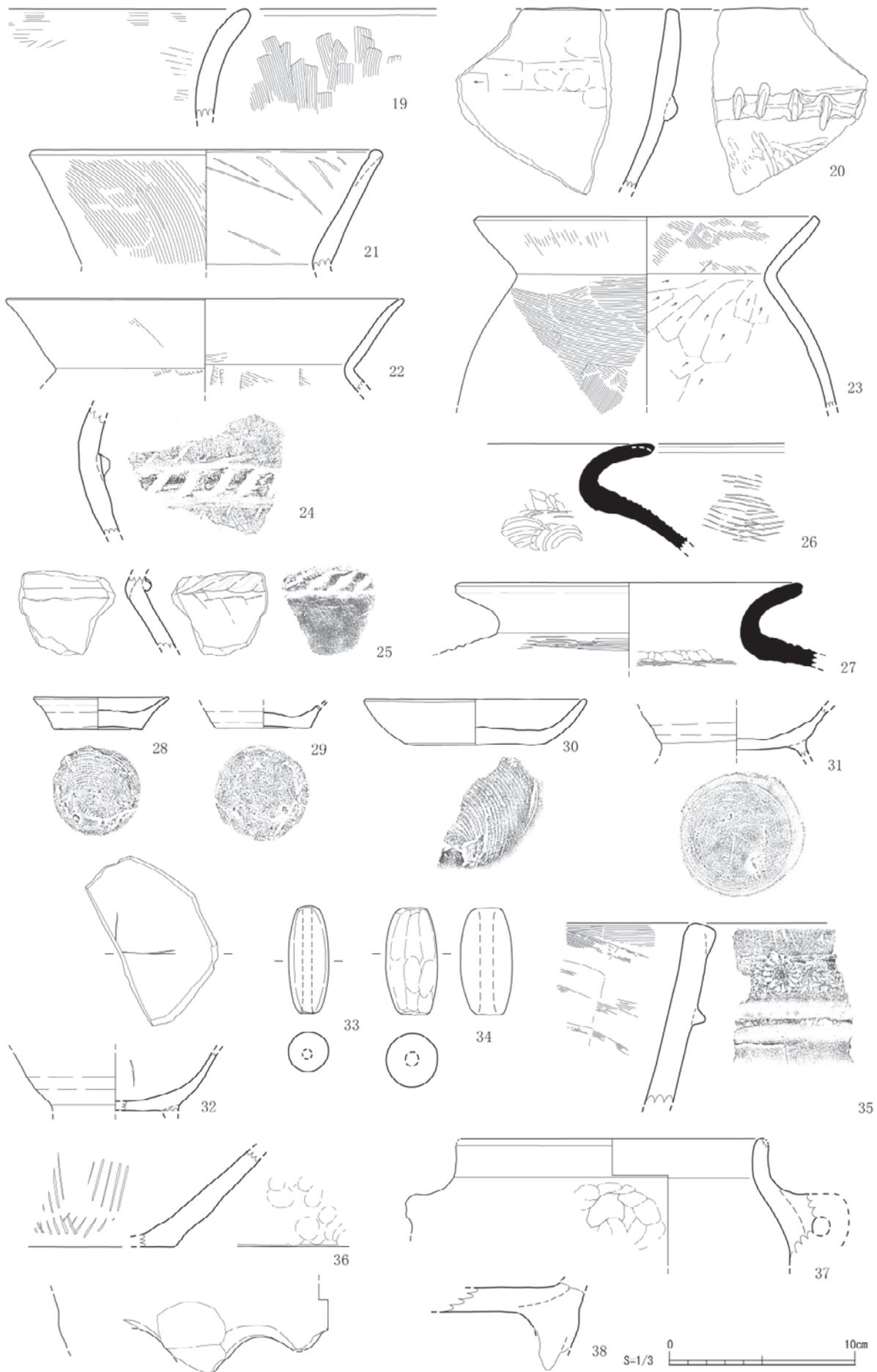


Fig.122 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物実測図-②

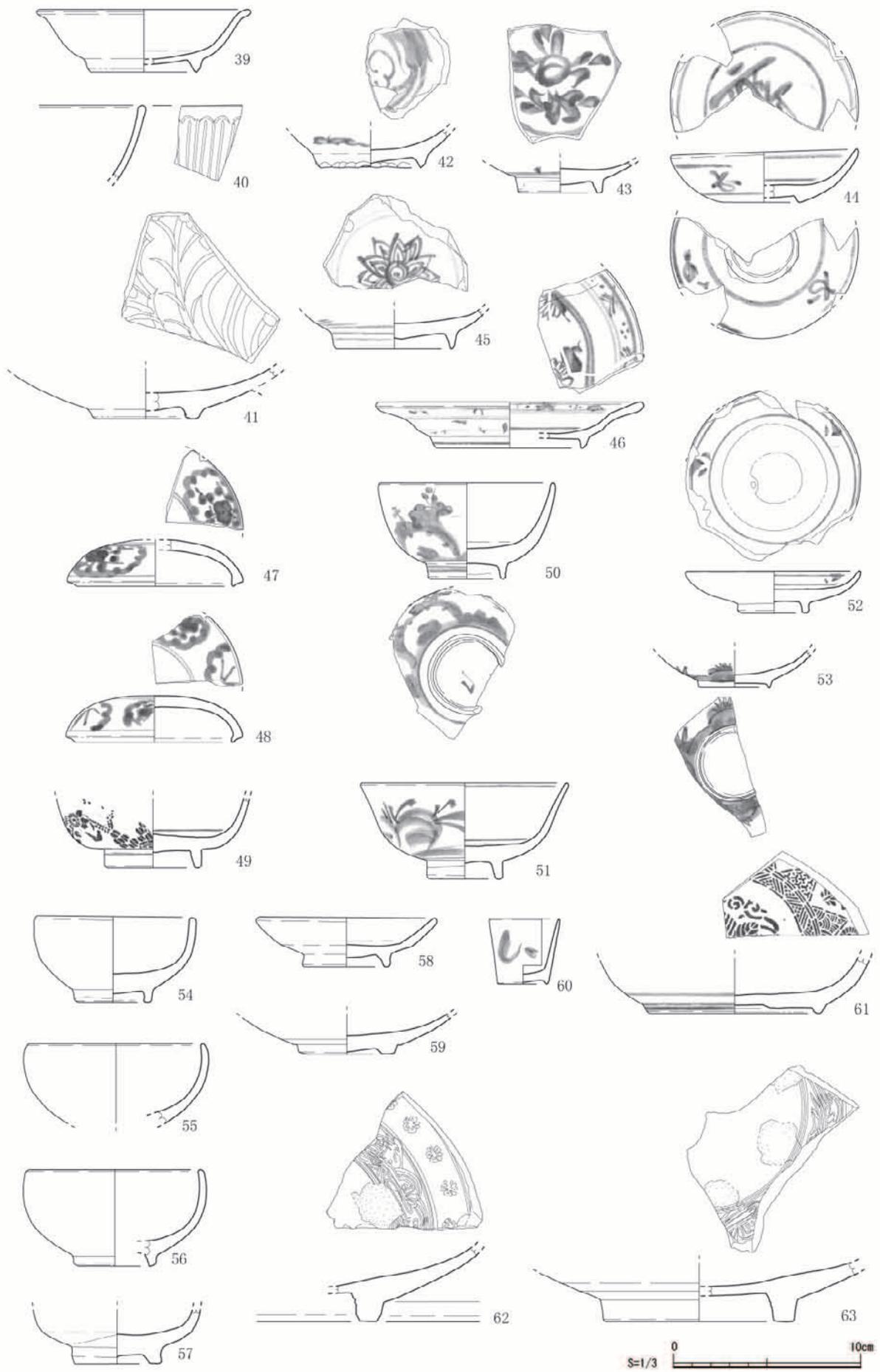


Fig.123 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物実測図一③

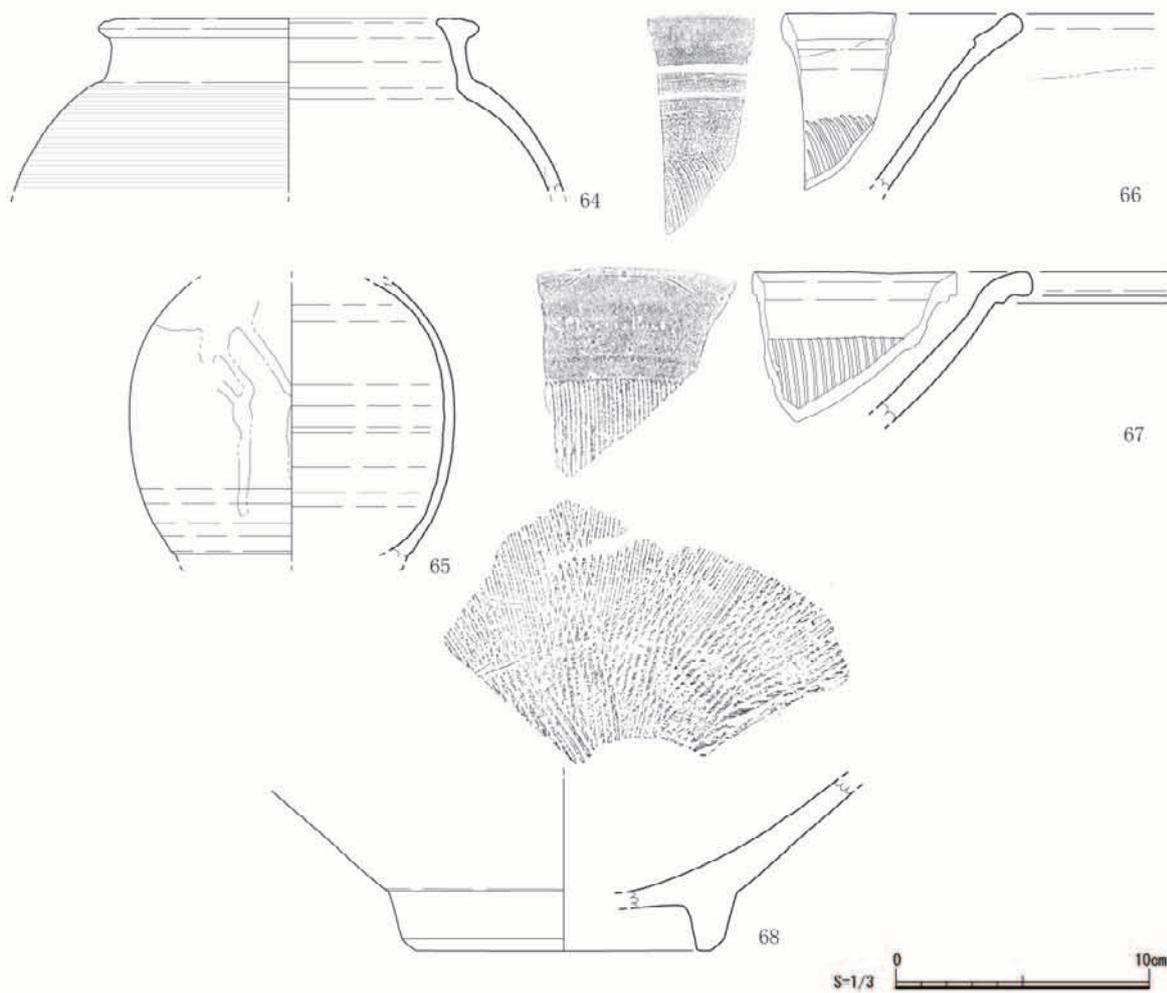


Fig.124 頭地田口 C 遺跡 I 区 調査区出土遺物実測図—④

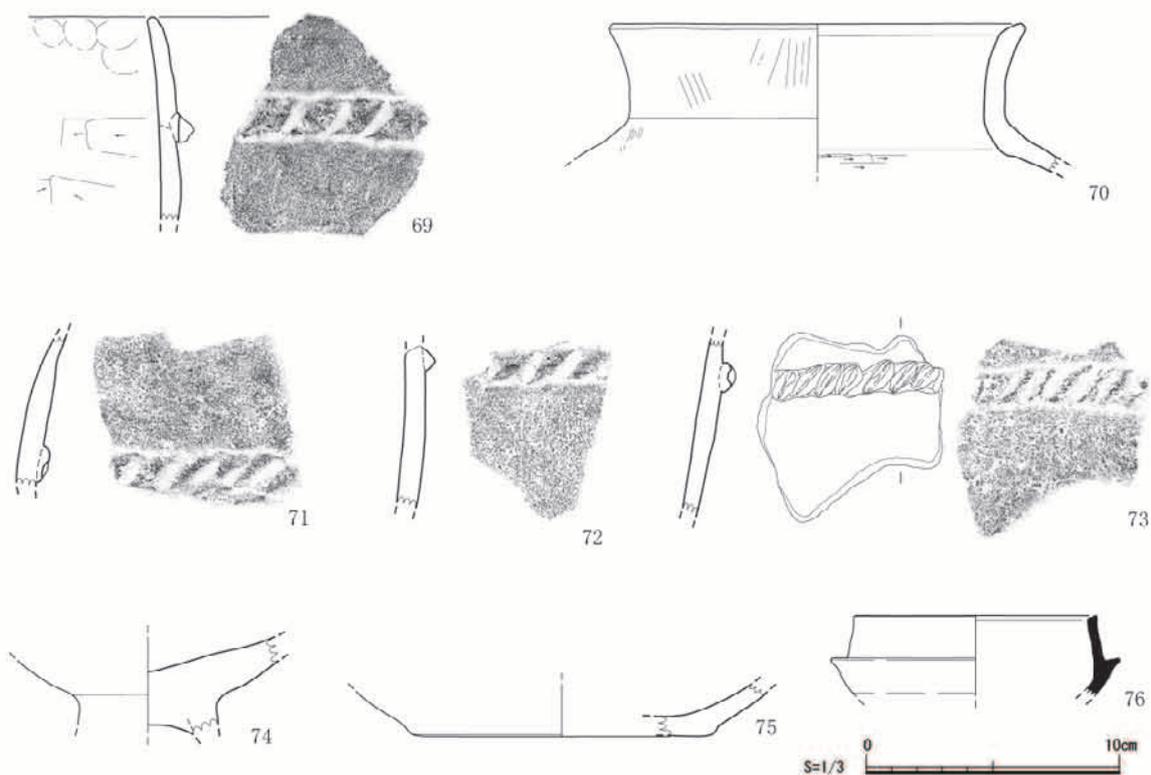


Fig.125 頭地田口 C 遺跡 II 区 SB037(69)・SK043 出土遺物実測図

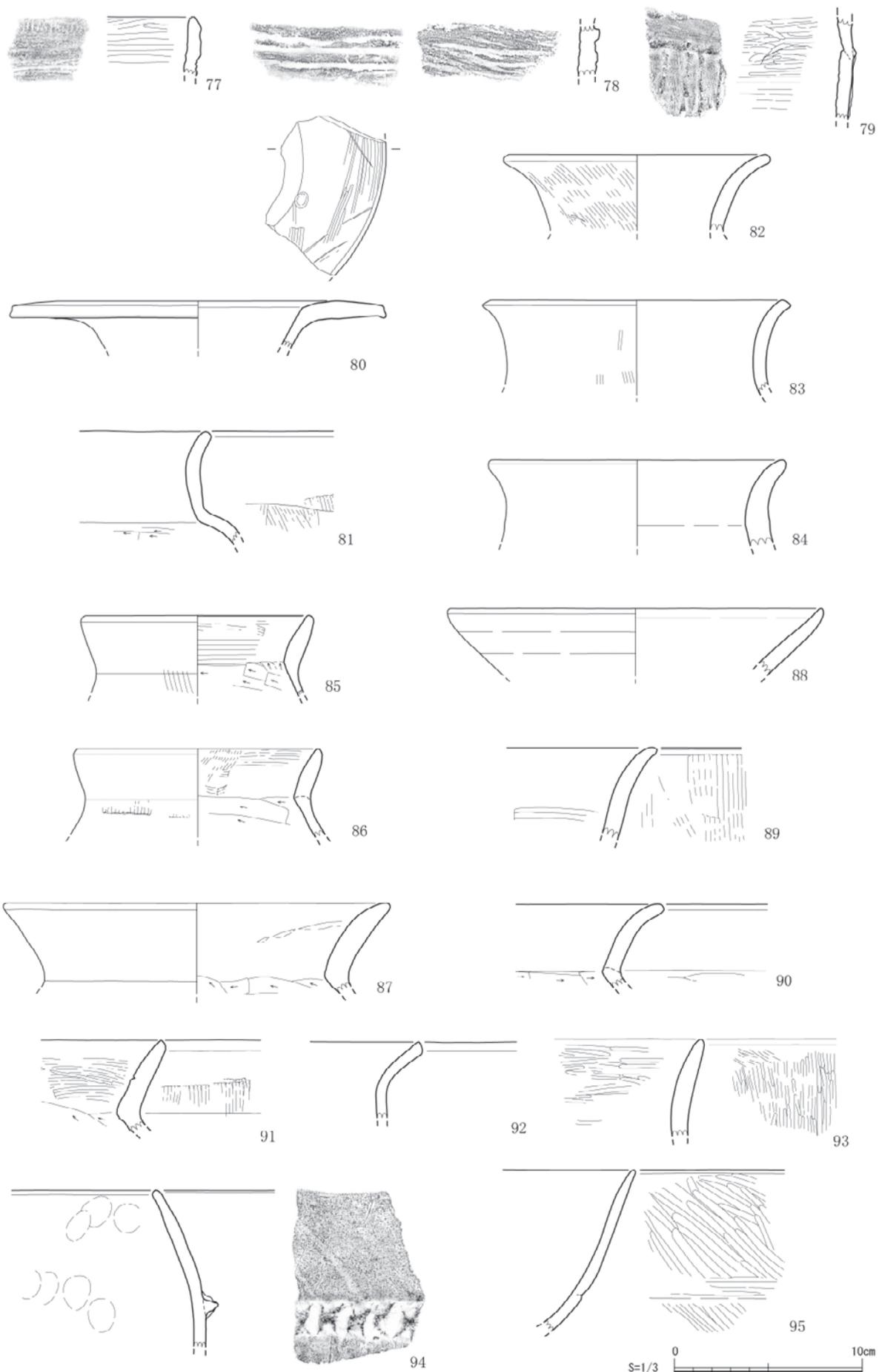


Fig.126 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物実測図一①

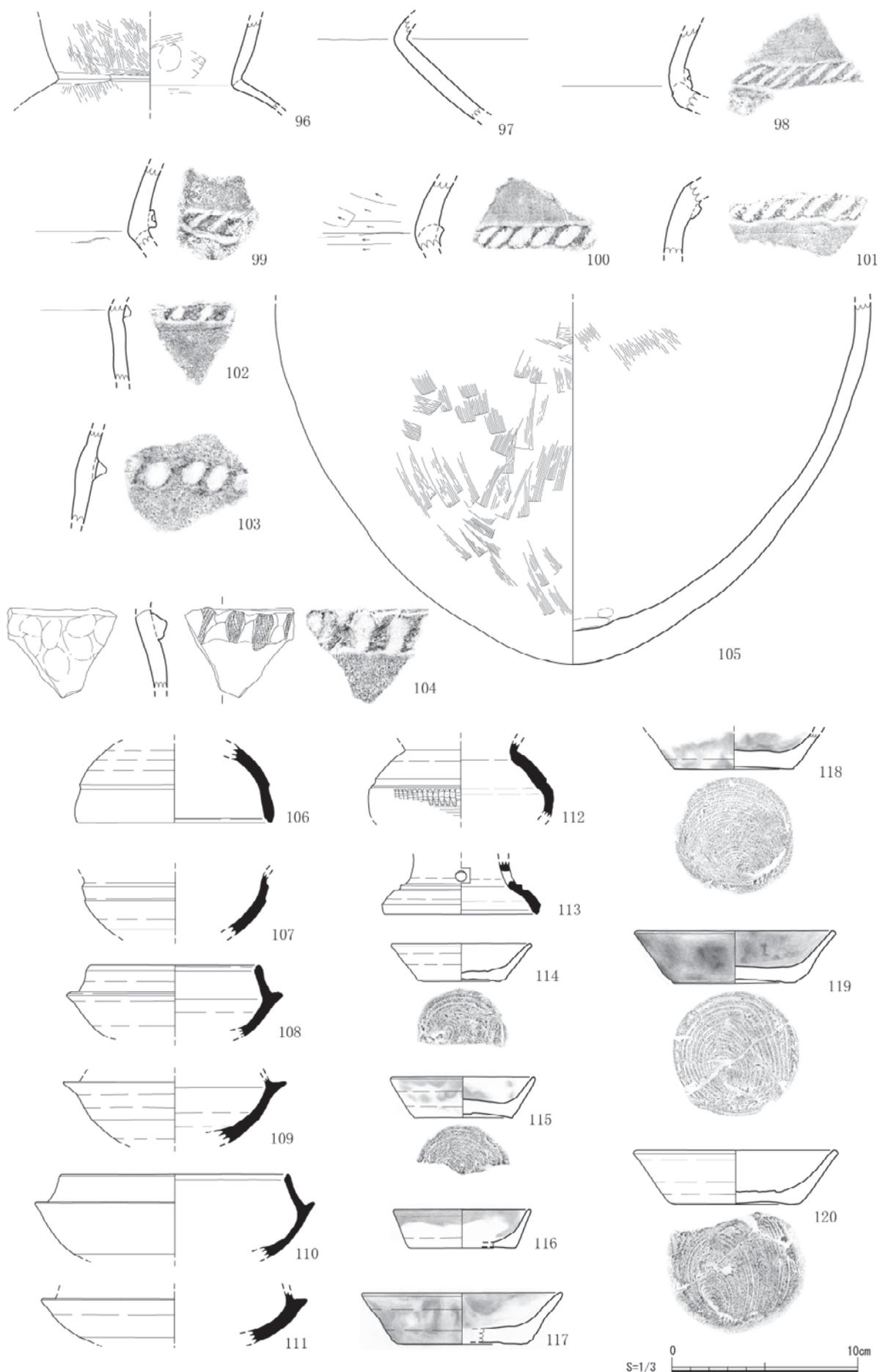


Fig.127 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物実測図一②

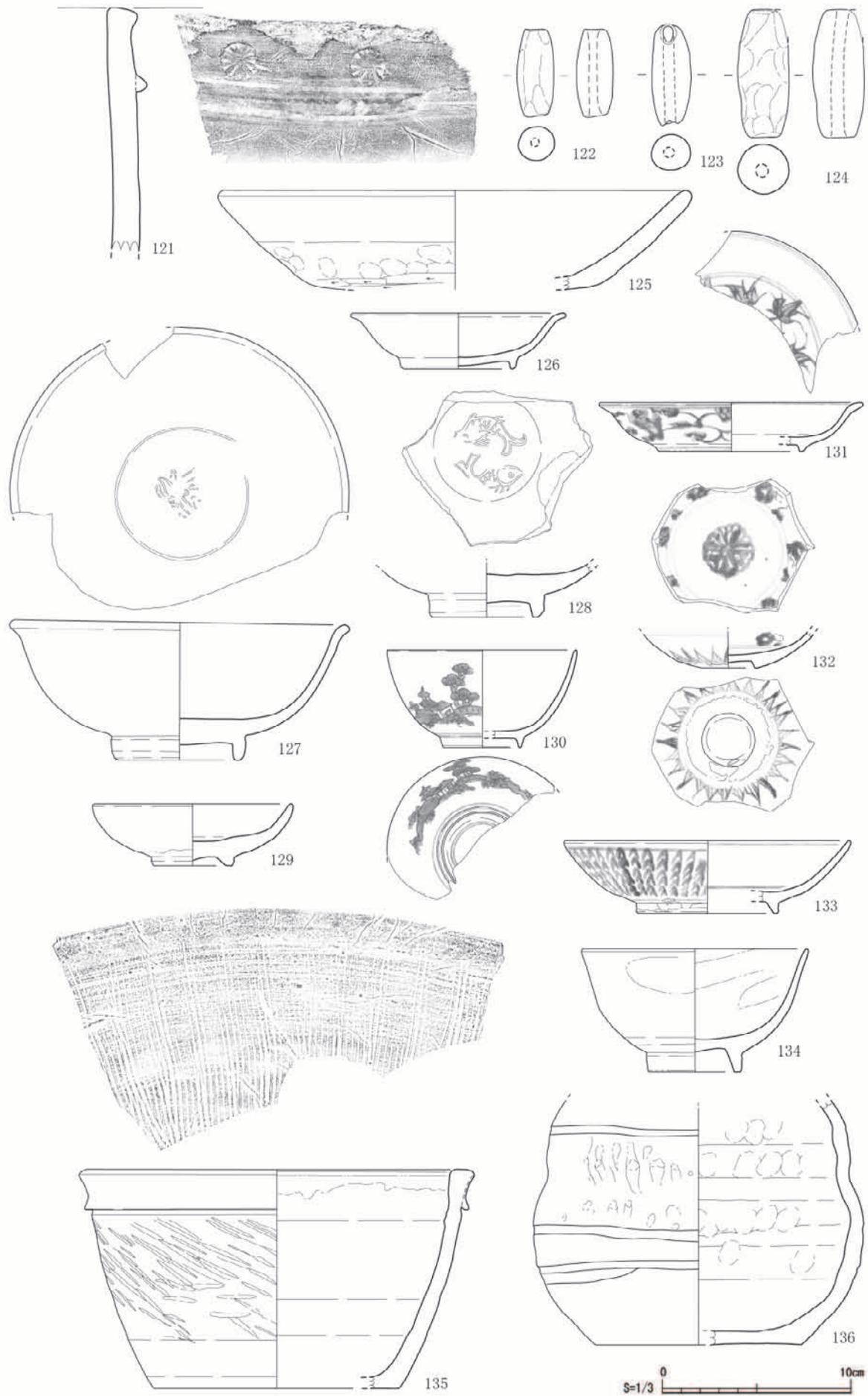


Fig.128 頭地田口 C 遺跡 II 区 調査区出土遺物実測図-③

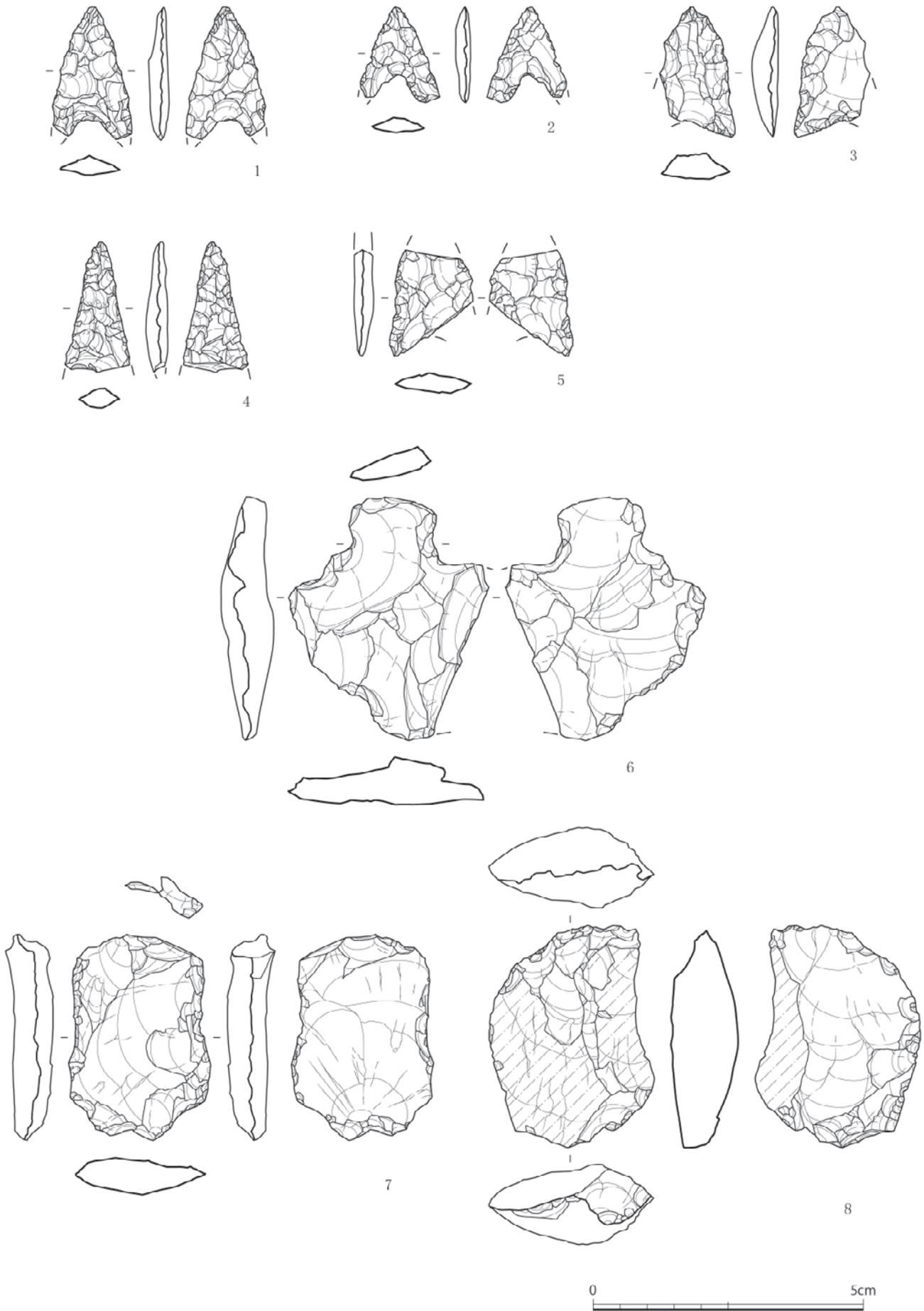


Fig.129 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土石器実測図一①

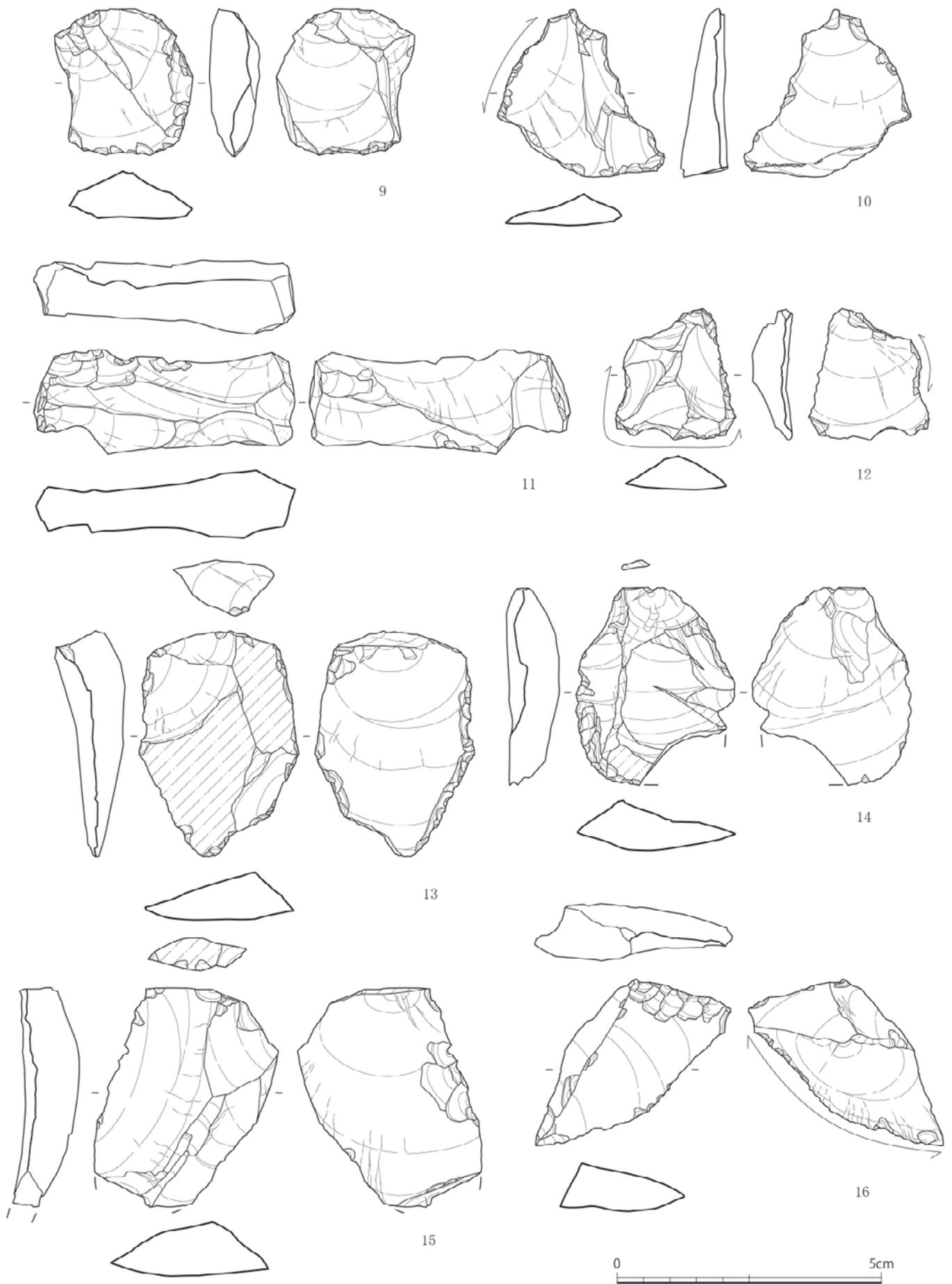


Fig.130 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土石器実測図一②

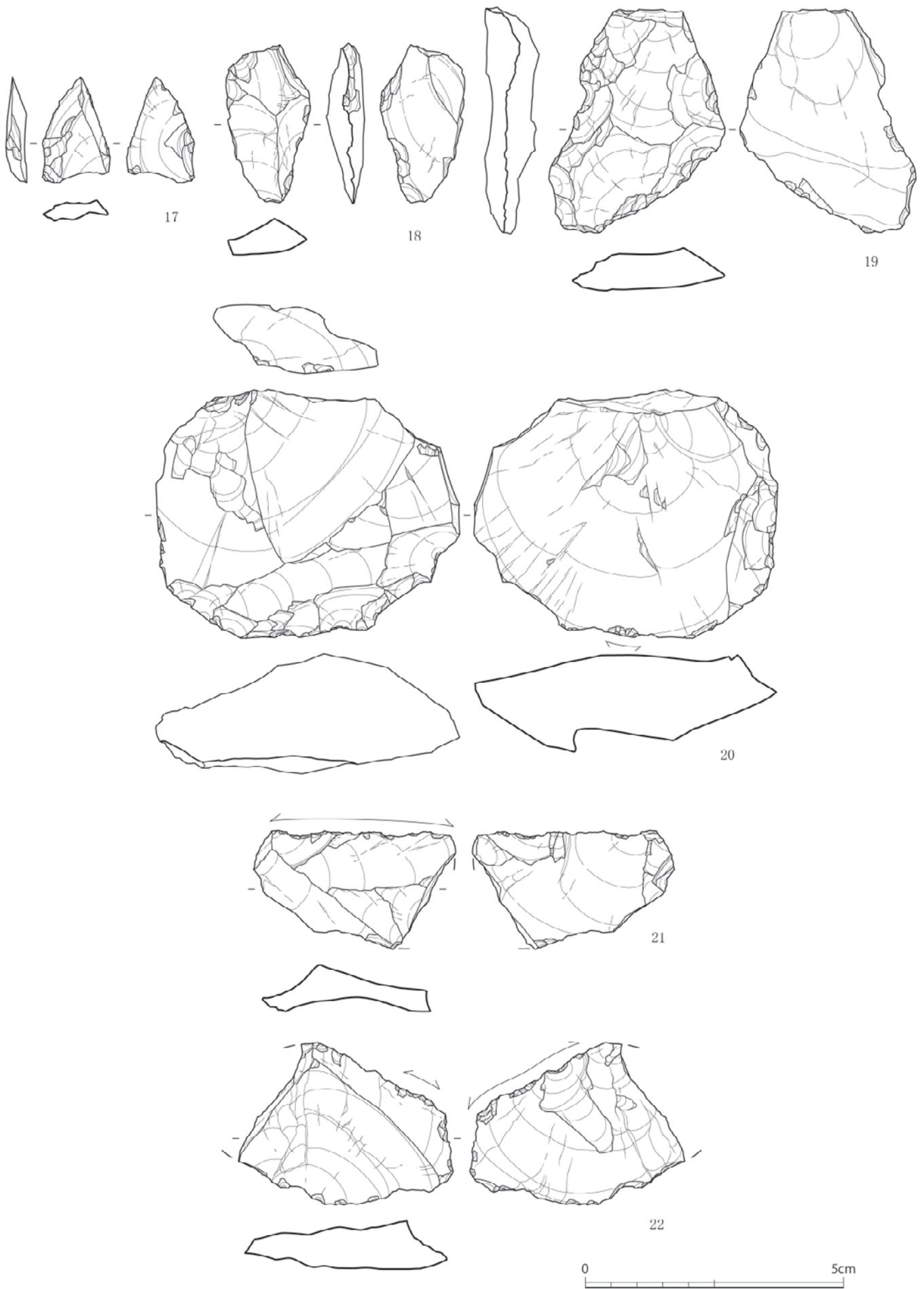


Fig.131 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土石器実測図一③

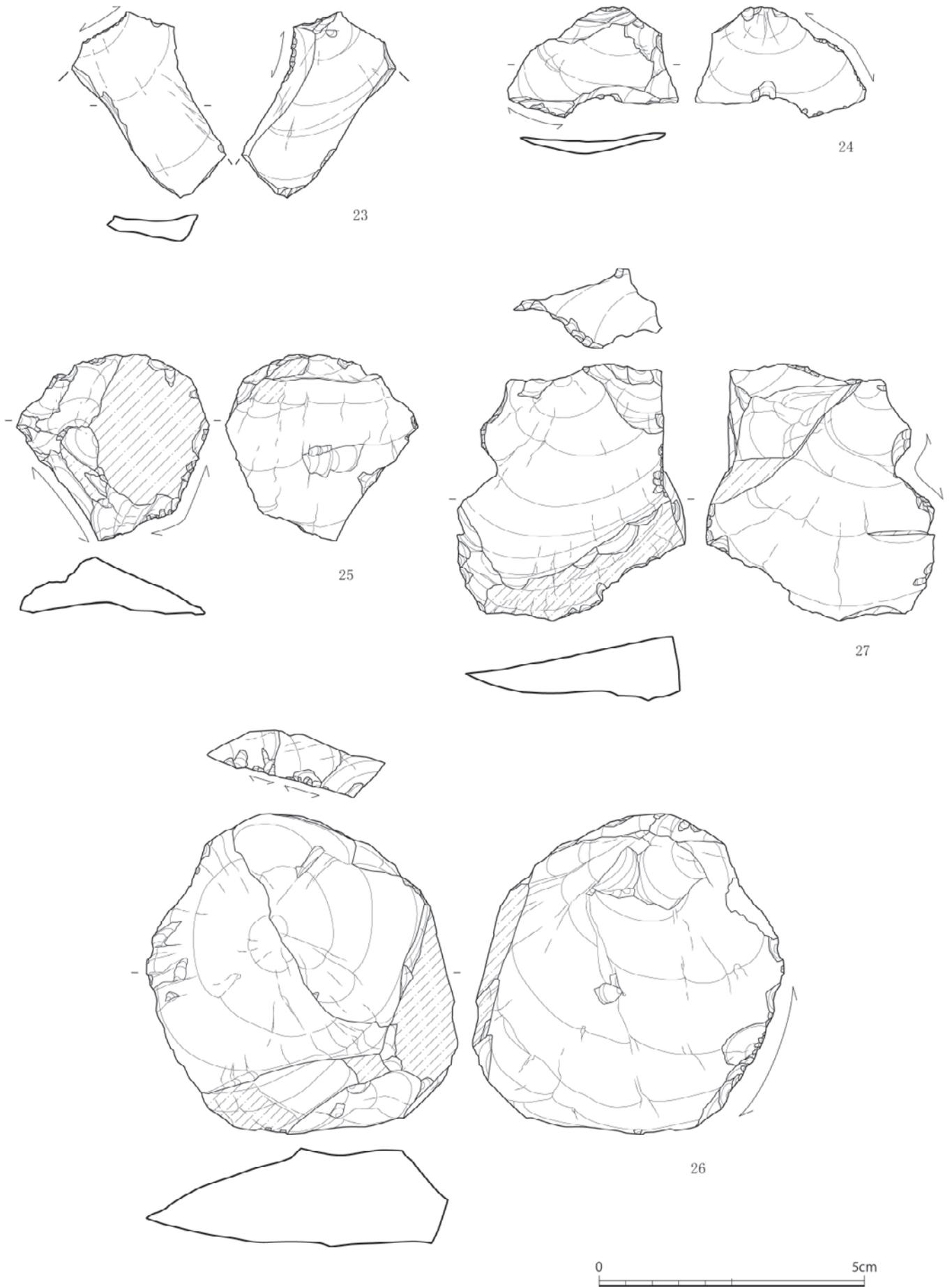


Fig.132 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土石器実測図一④

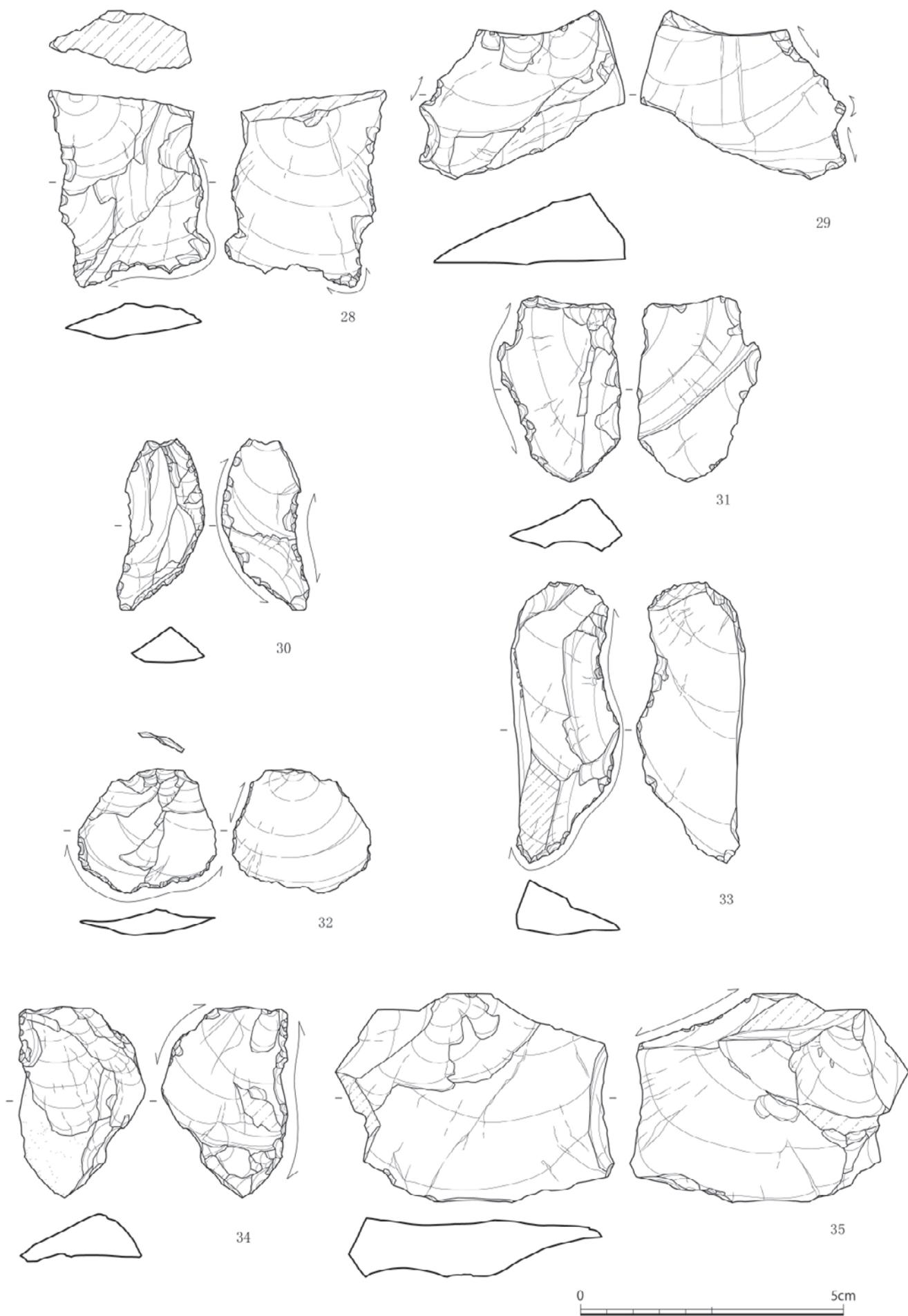
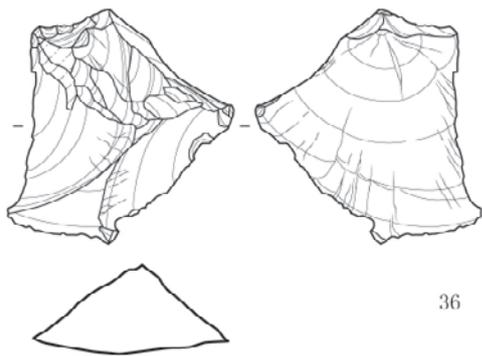
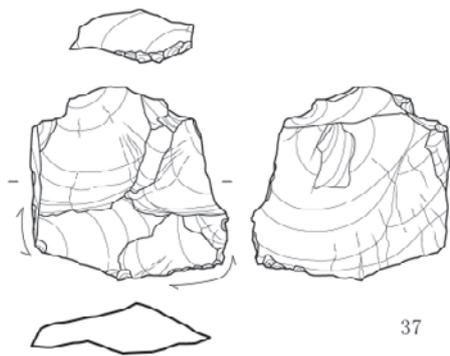


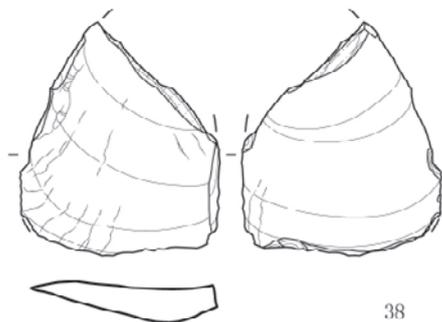
Fig.133 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土石器実測図一⑤



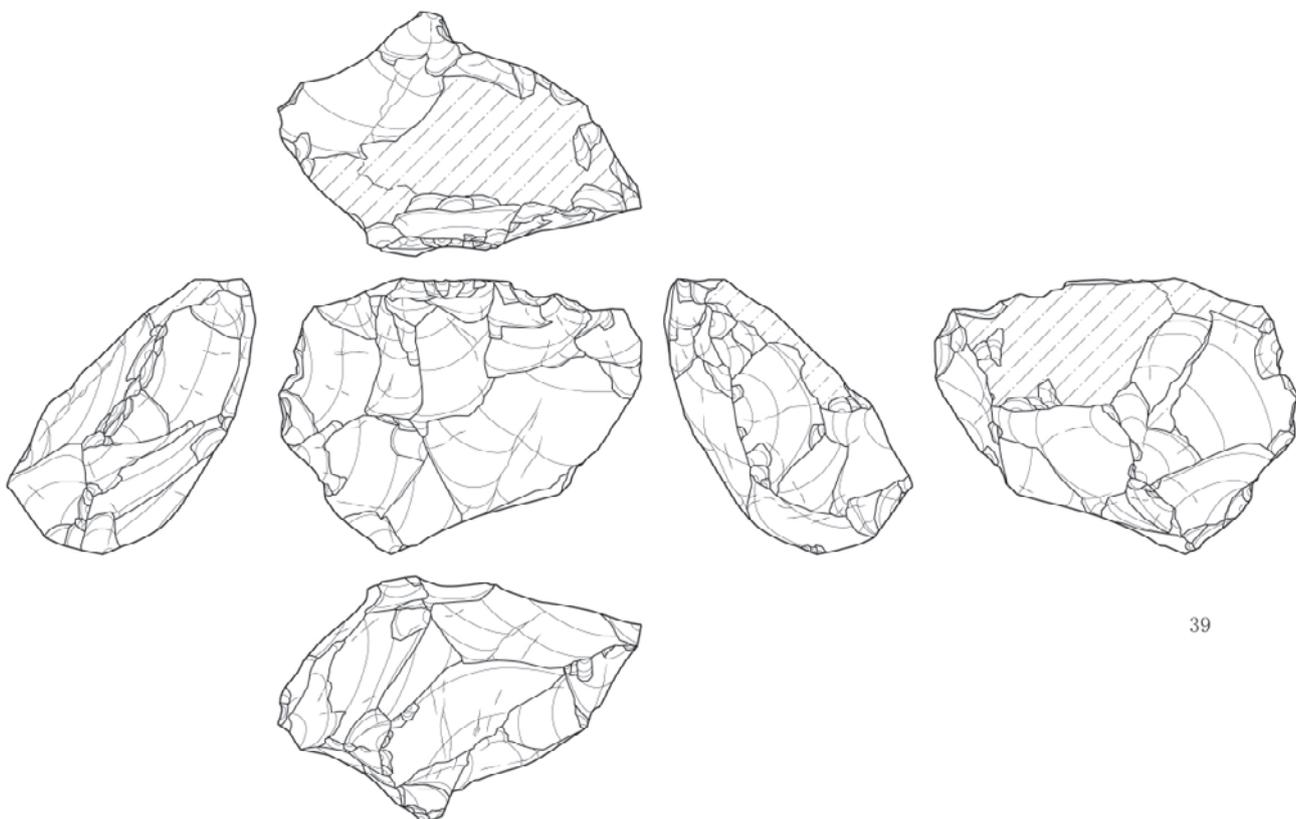
36



37



38



39



Fig.134 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土石器実測図一⑥

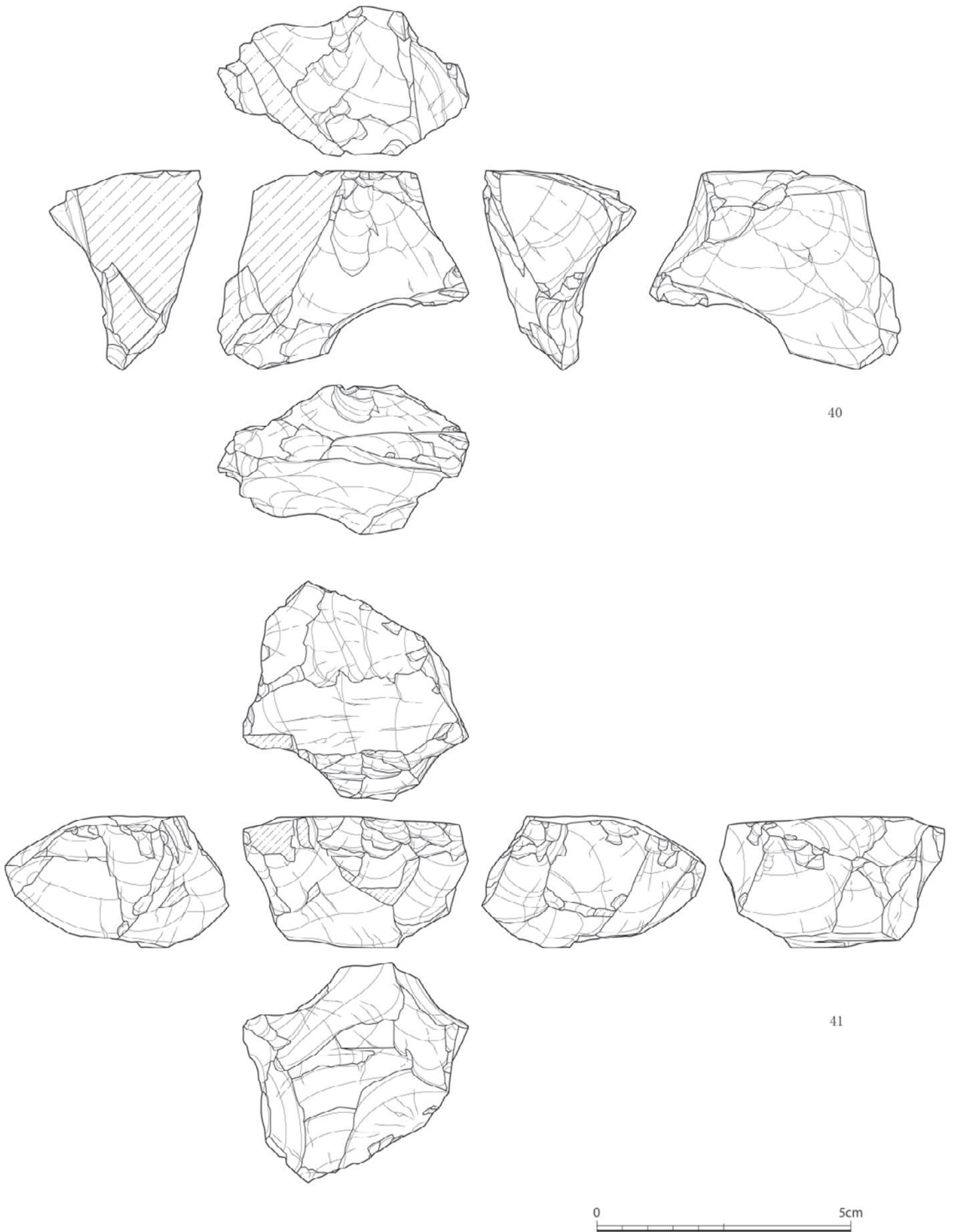
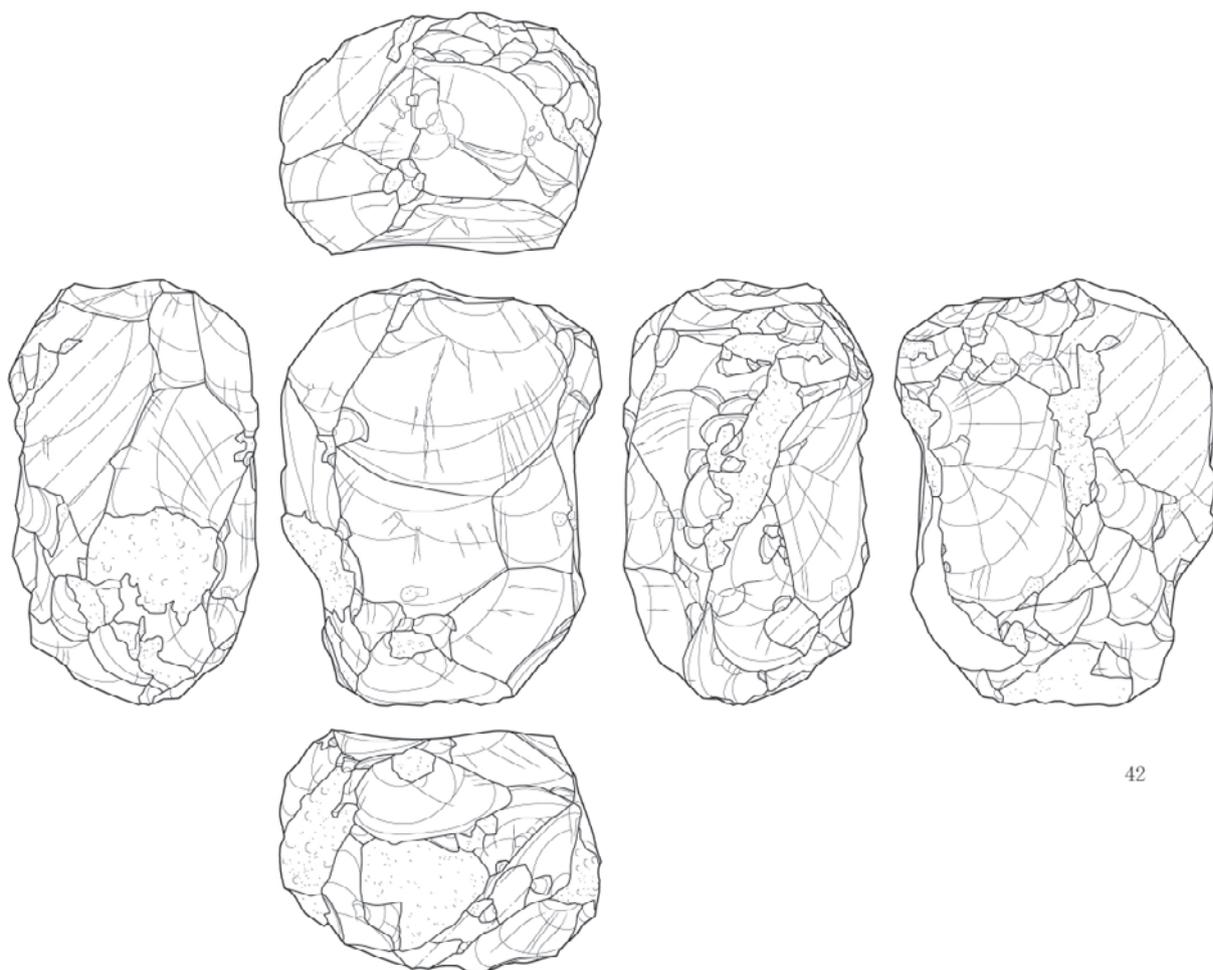
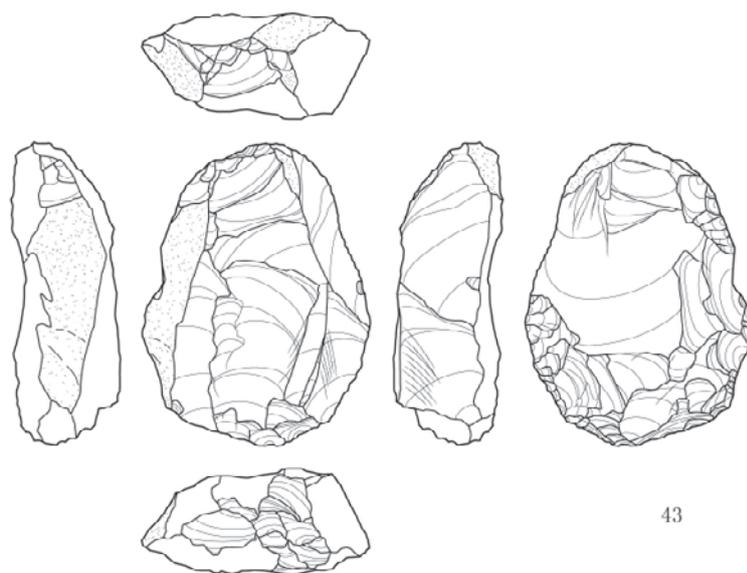


Fig.135 頭地田口C遺跡 1区 調査区出土石器実測図一⑦



42



43



Fig.136 頭地田口C遺跡 I区 調査区出土石器実測図一⑧

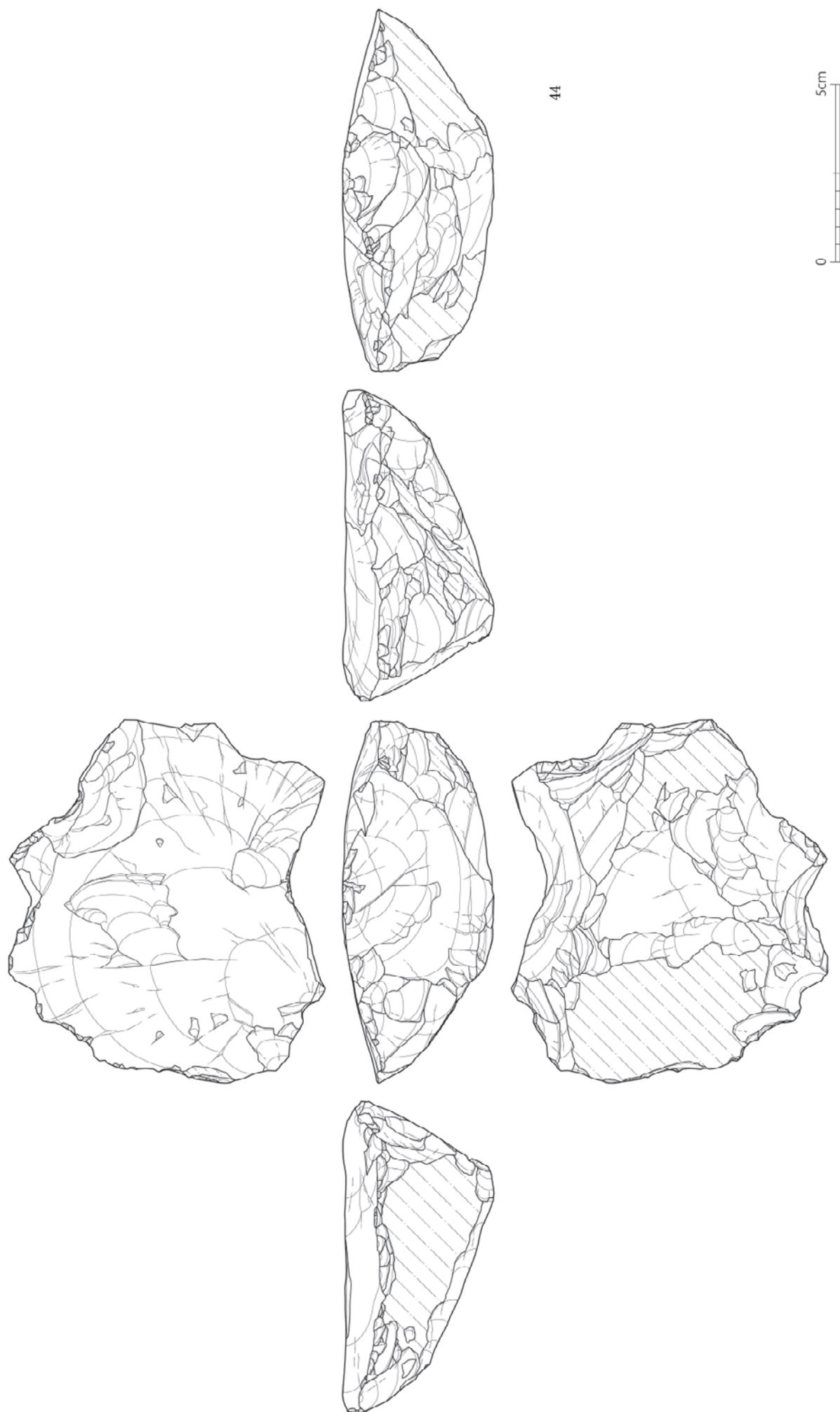


Fig.137 頭地田口C遺跡 I 区 調査区出土石器実測図一⑨

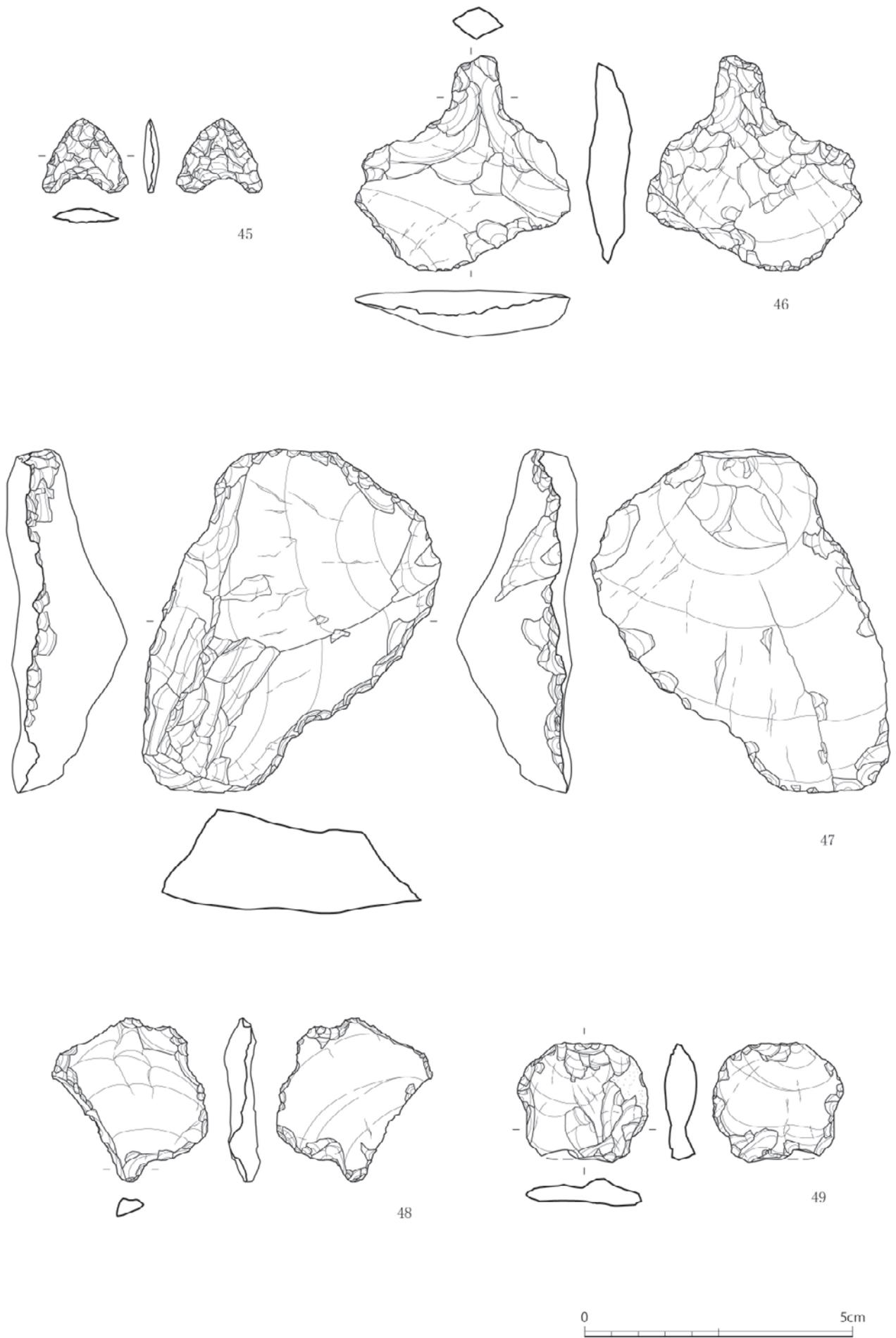


Fig.138 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一①

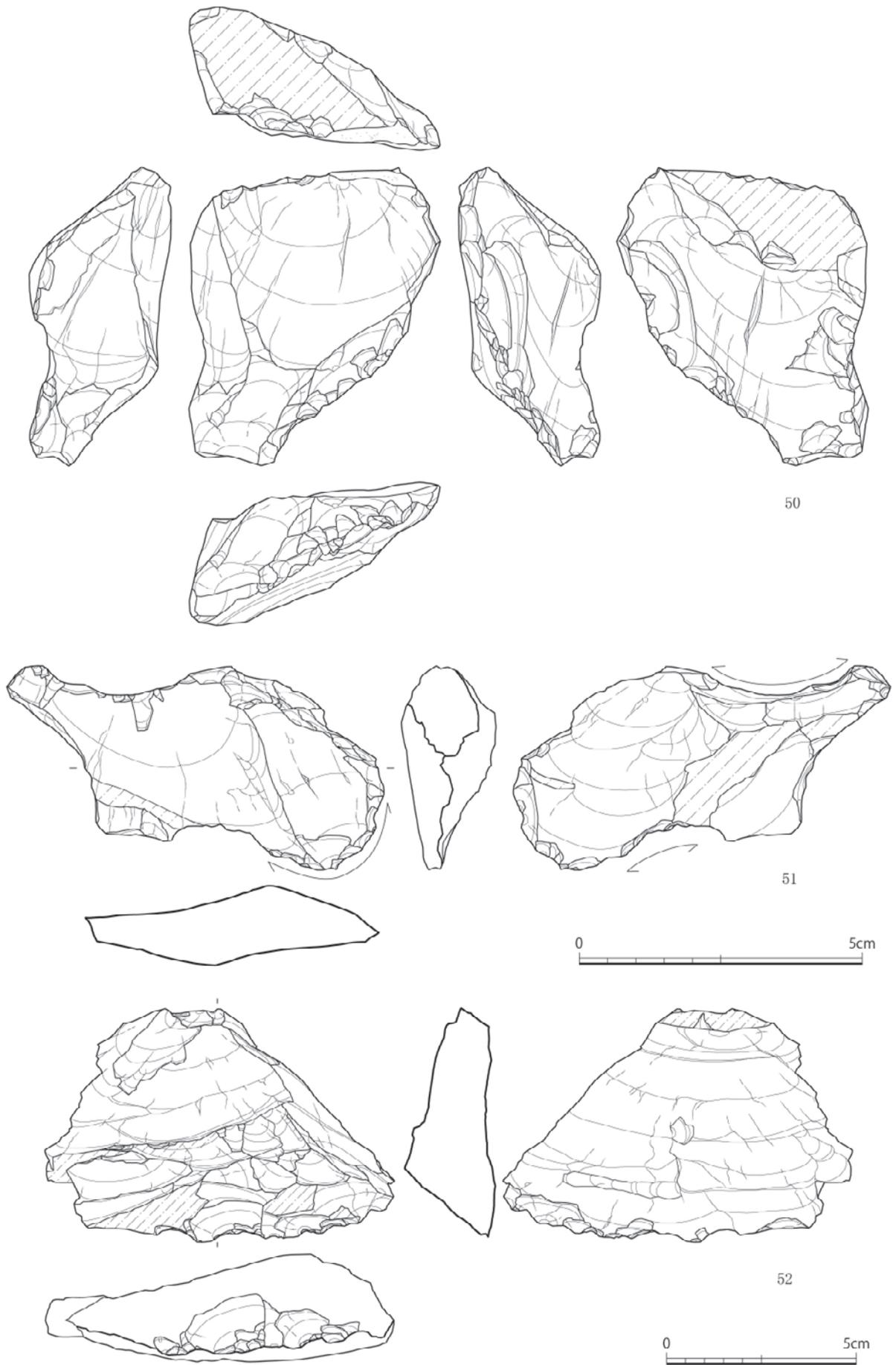


Fig.139 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一②

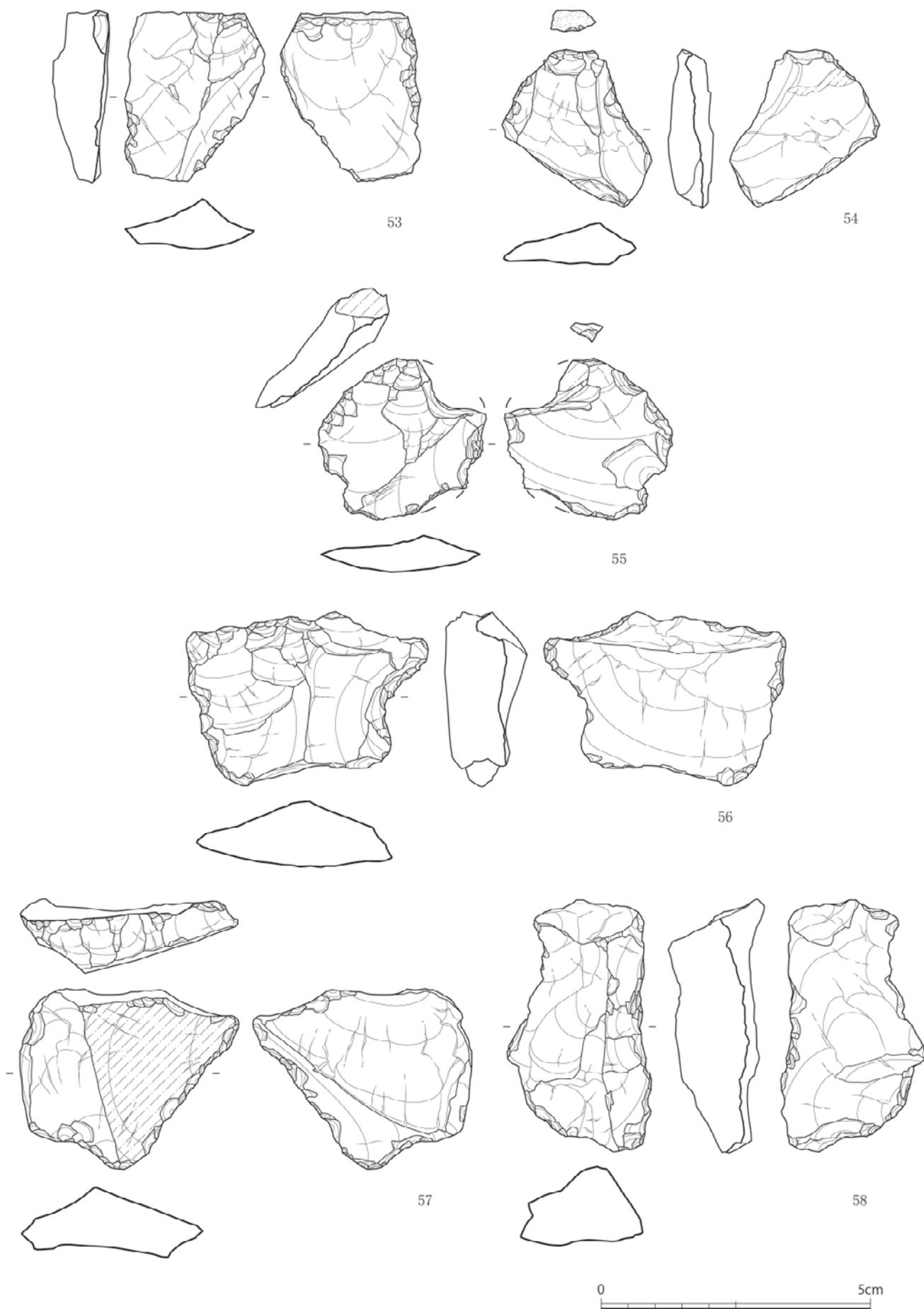


Fig.140 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一③

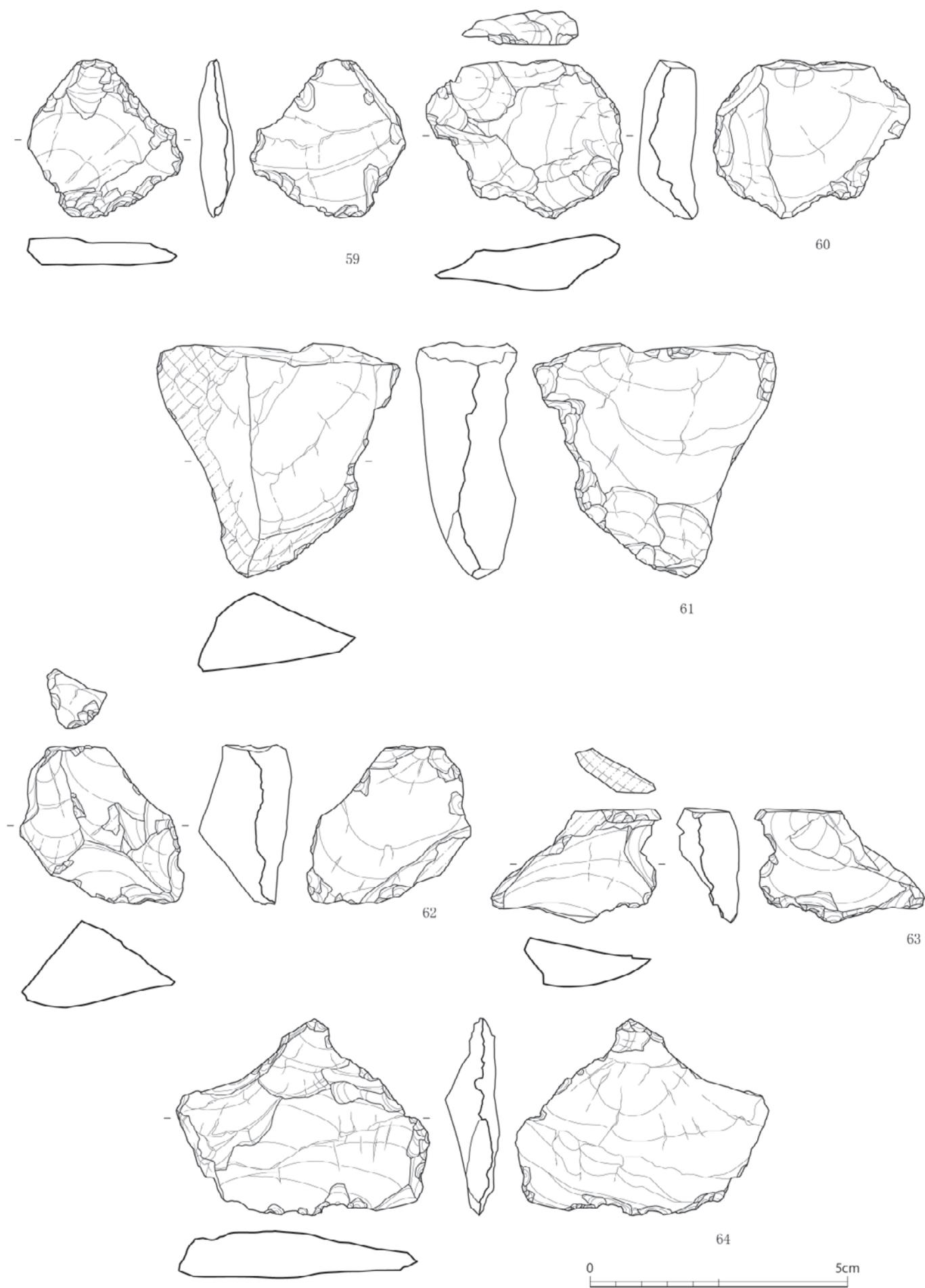


Fig.141 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一④

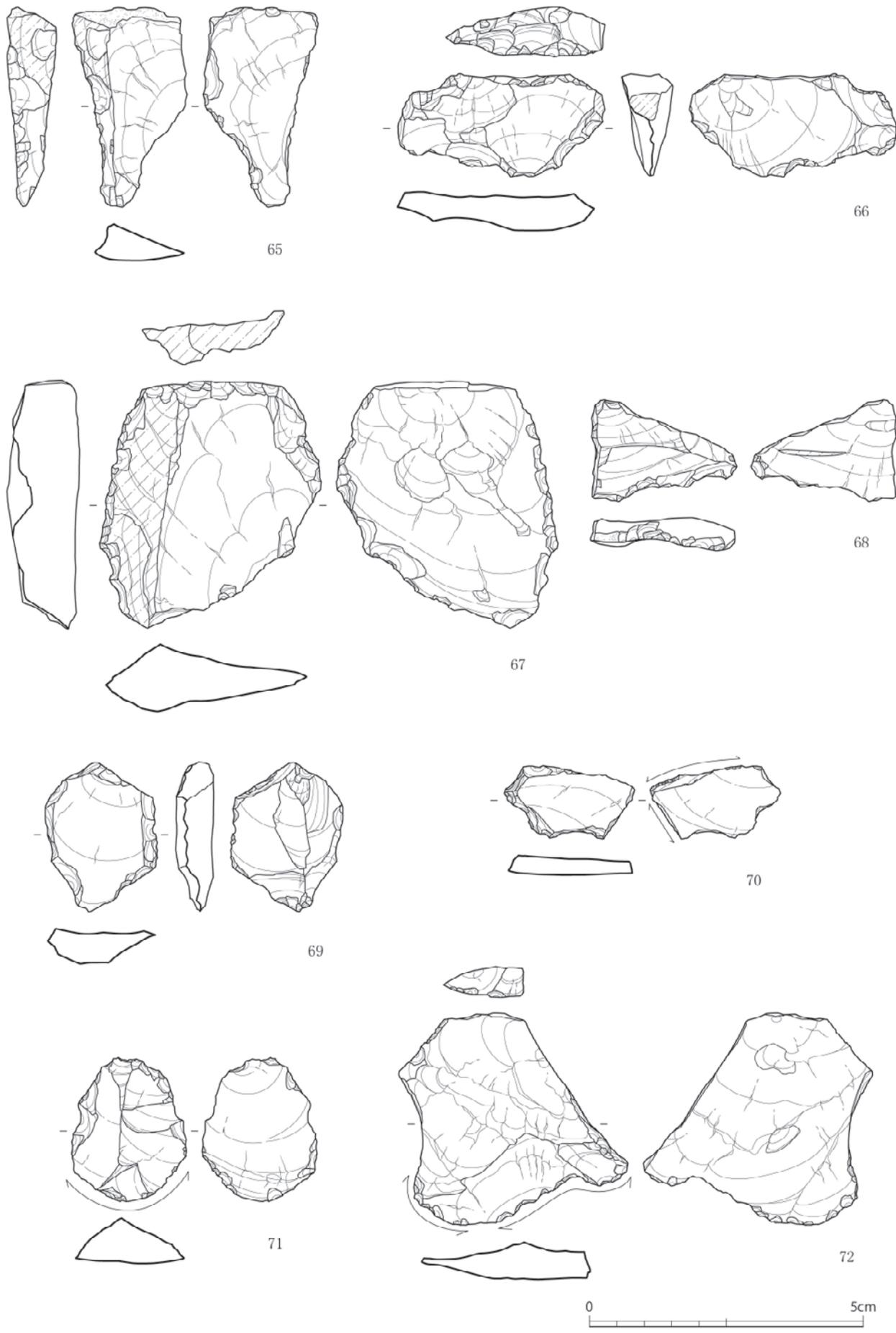


Fig.142 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一⑤

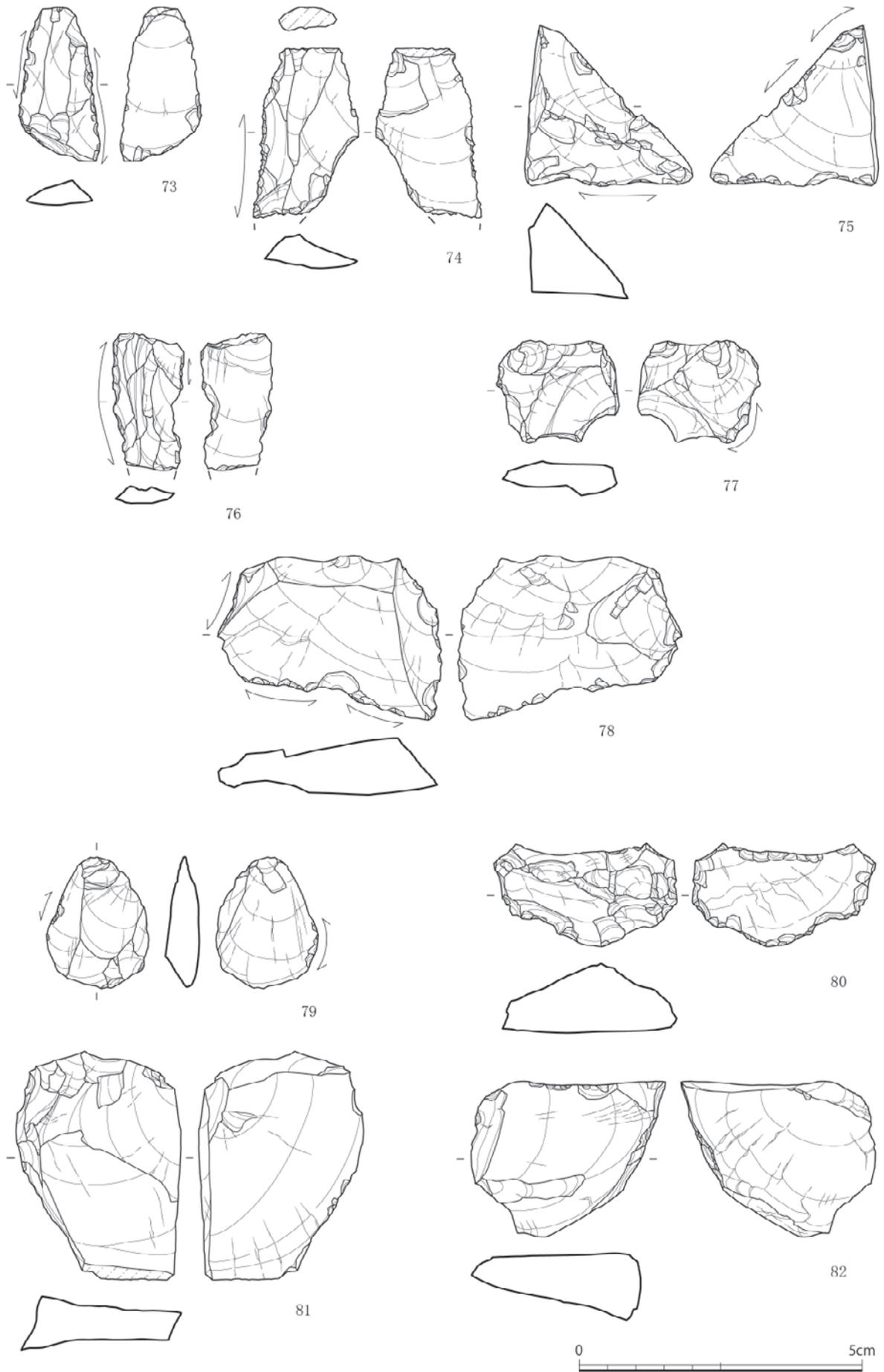
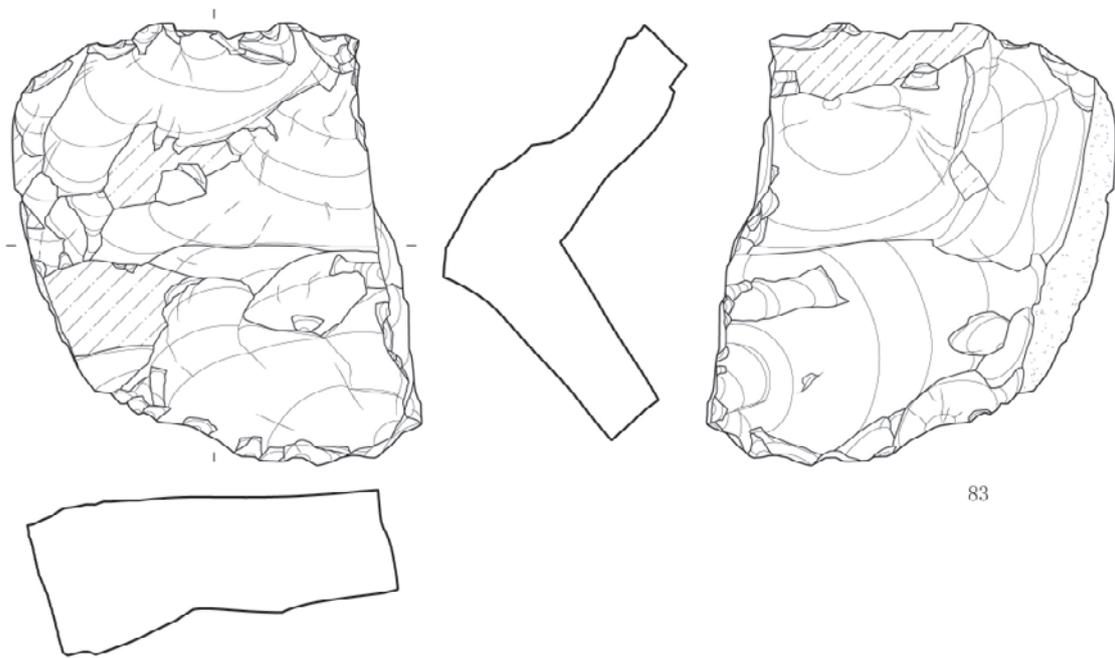
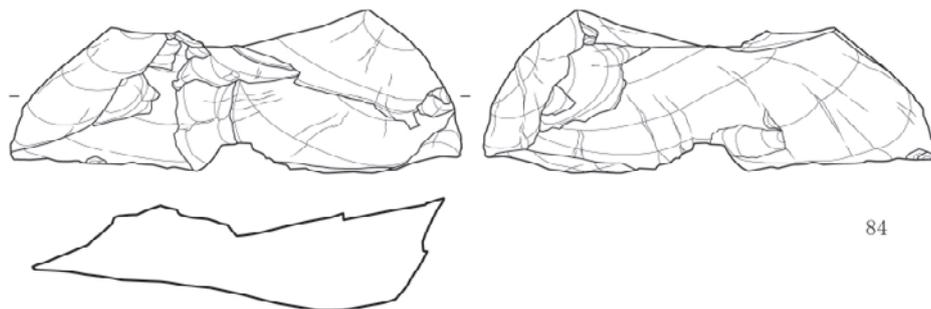


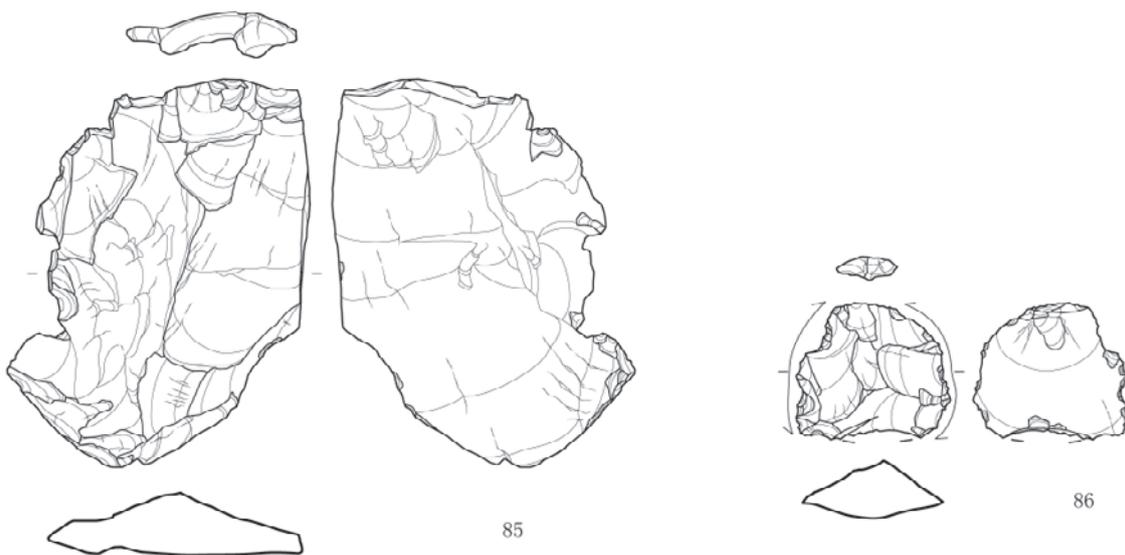
Fig.143 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一⑥



83



84

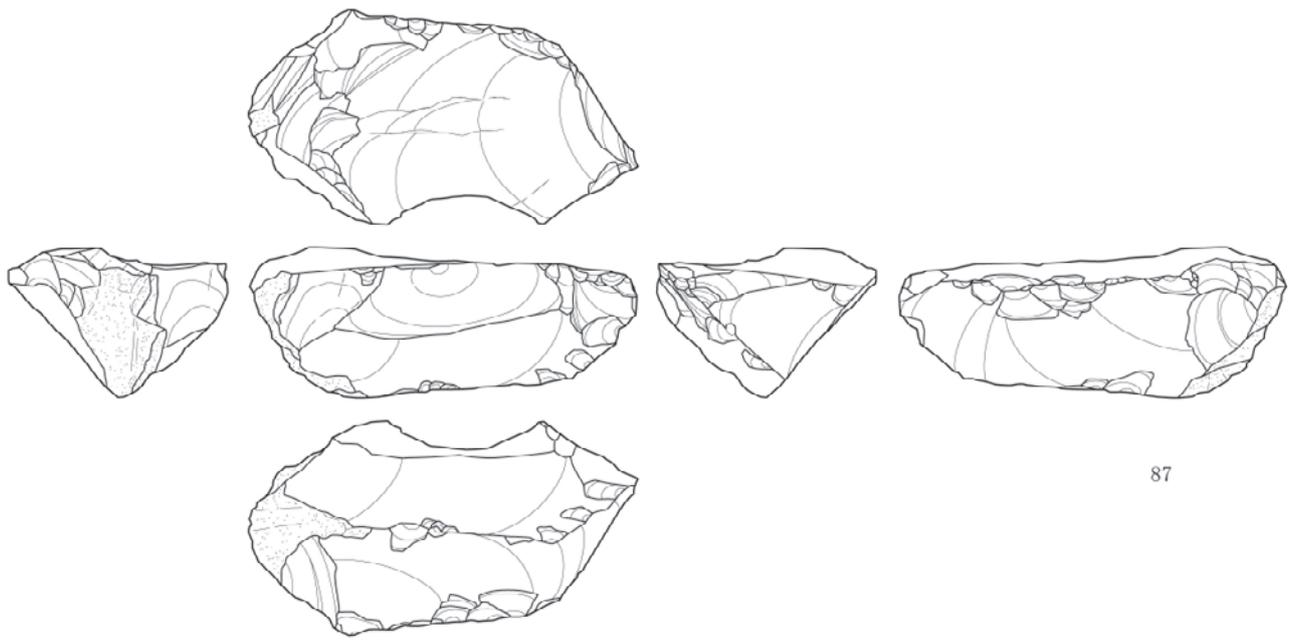


85

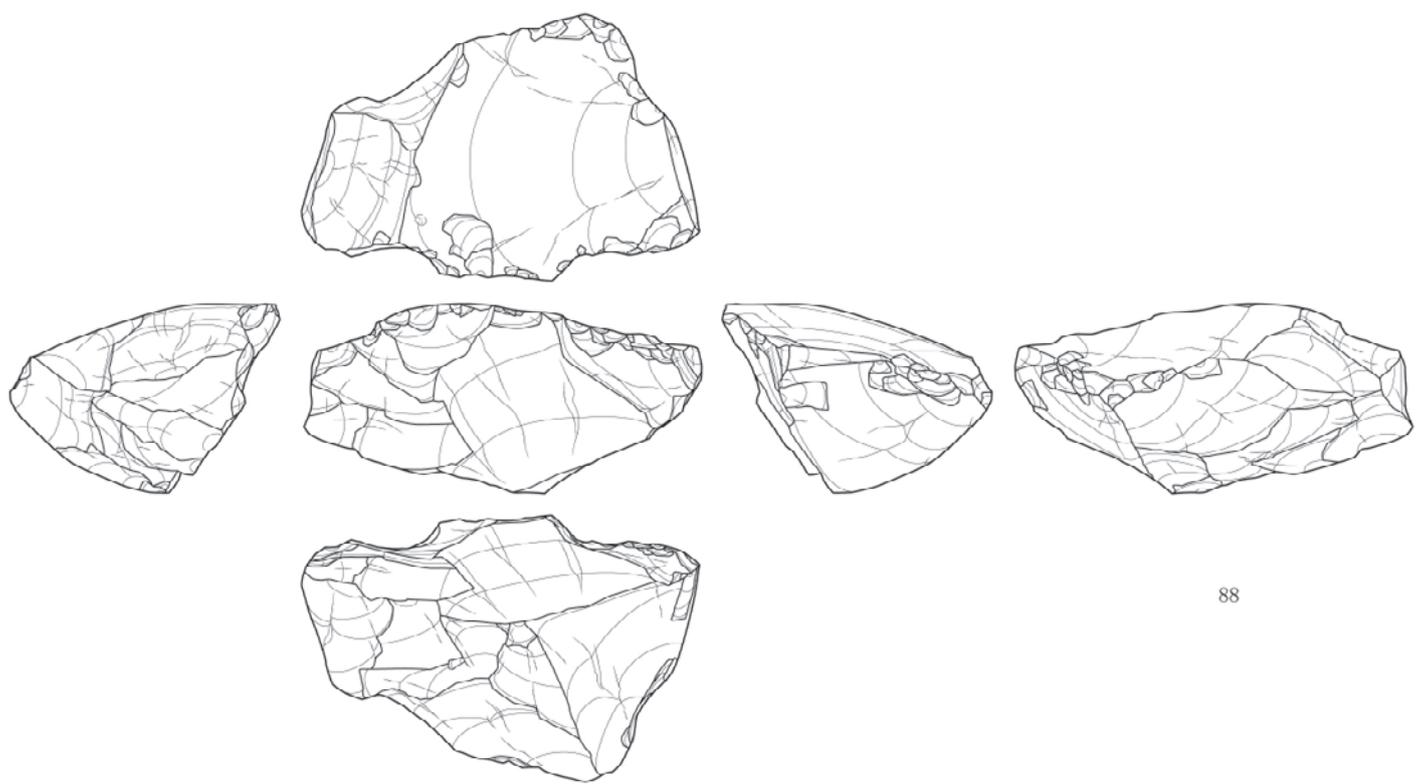
86



Fig.144 頭地田口C遺跡Ⅱ区 調査区出土石器実測図一⑦



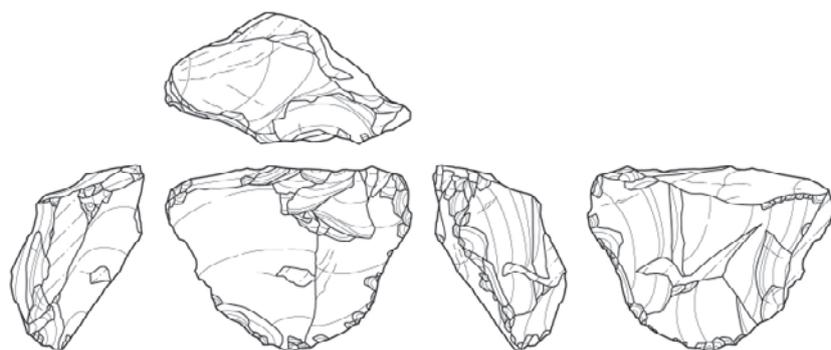
87



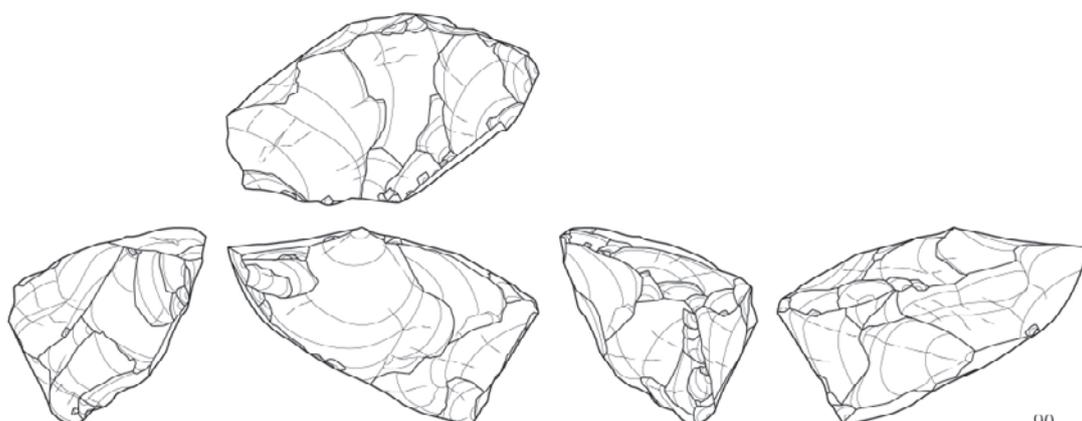
88



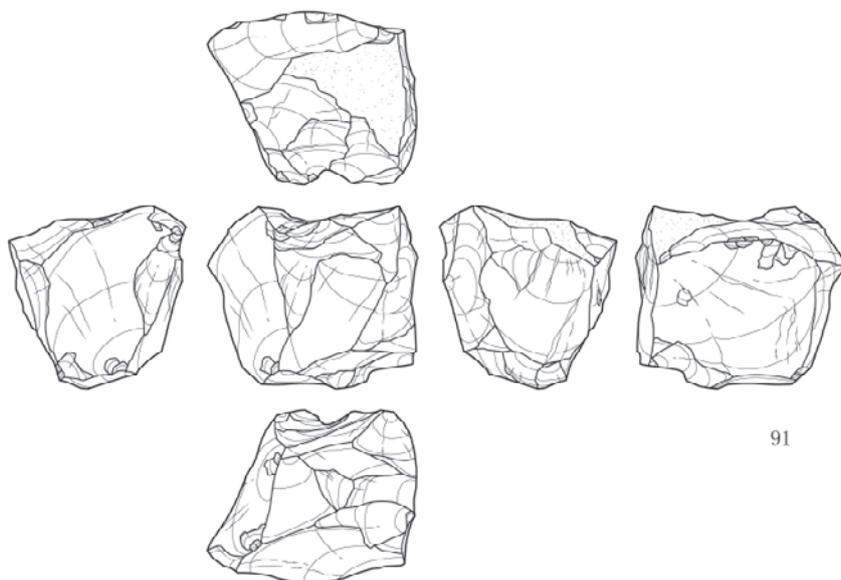
Fig.145 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一⑧



89



90



91



Fig.146 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一⑨

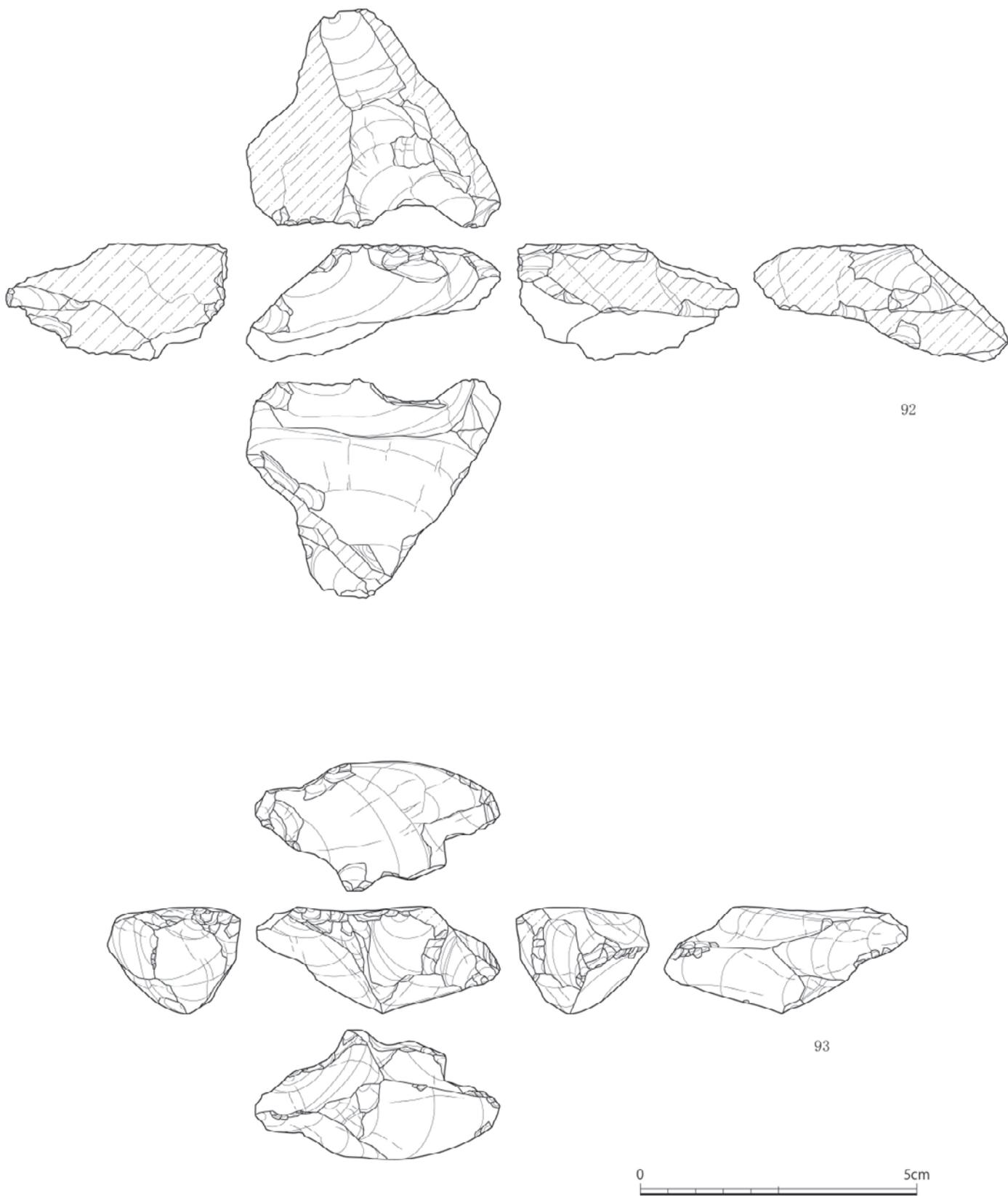


Fig.147 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一⑩

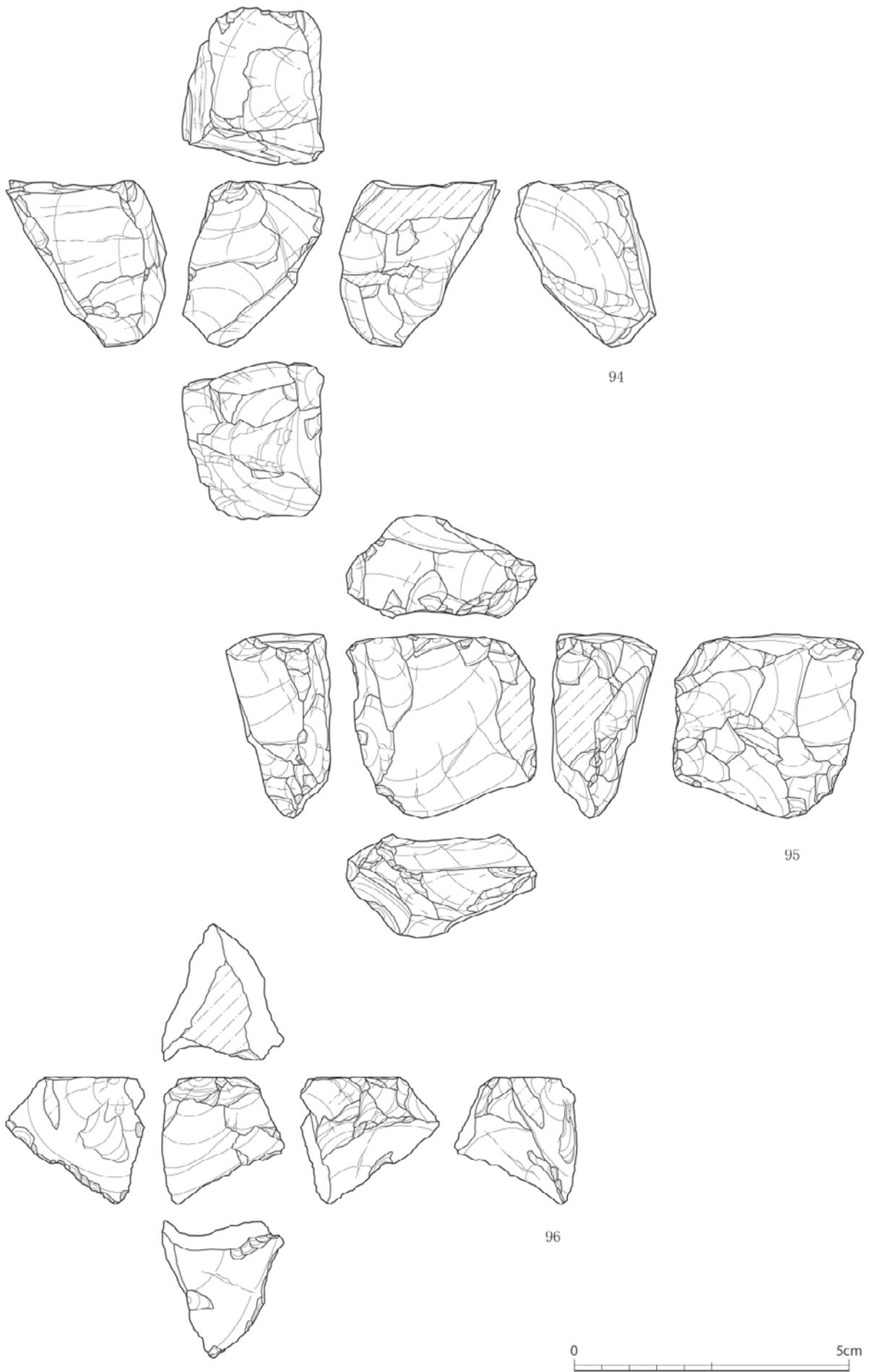
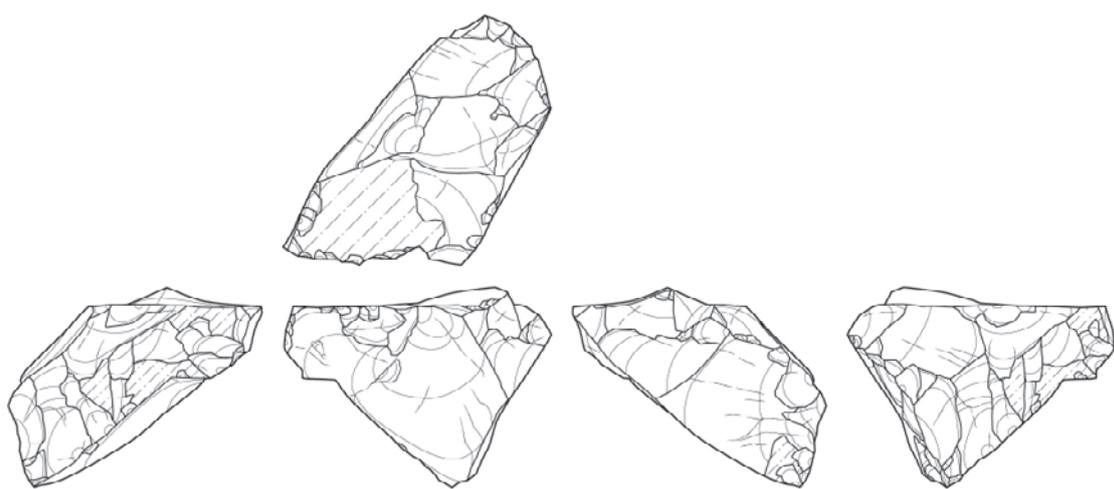


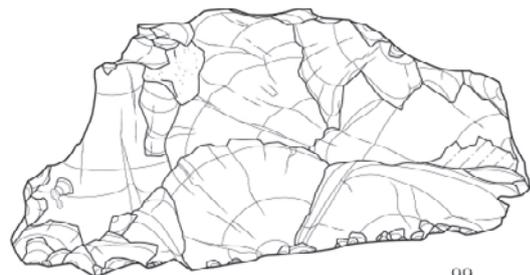
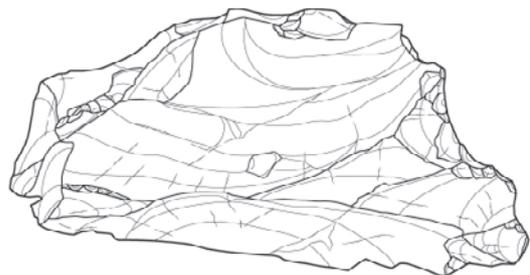
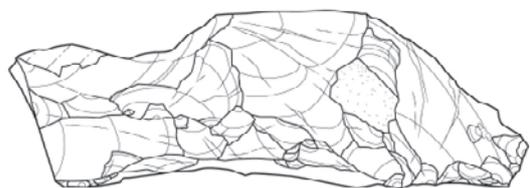
Fig.148 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一①



97



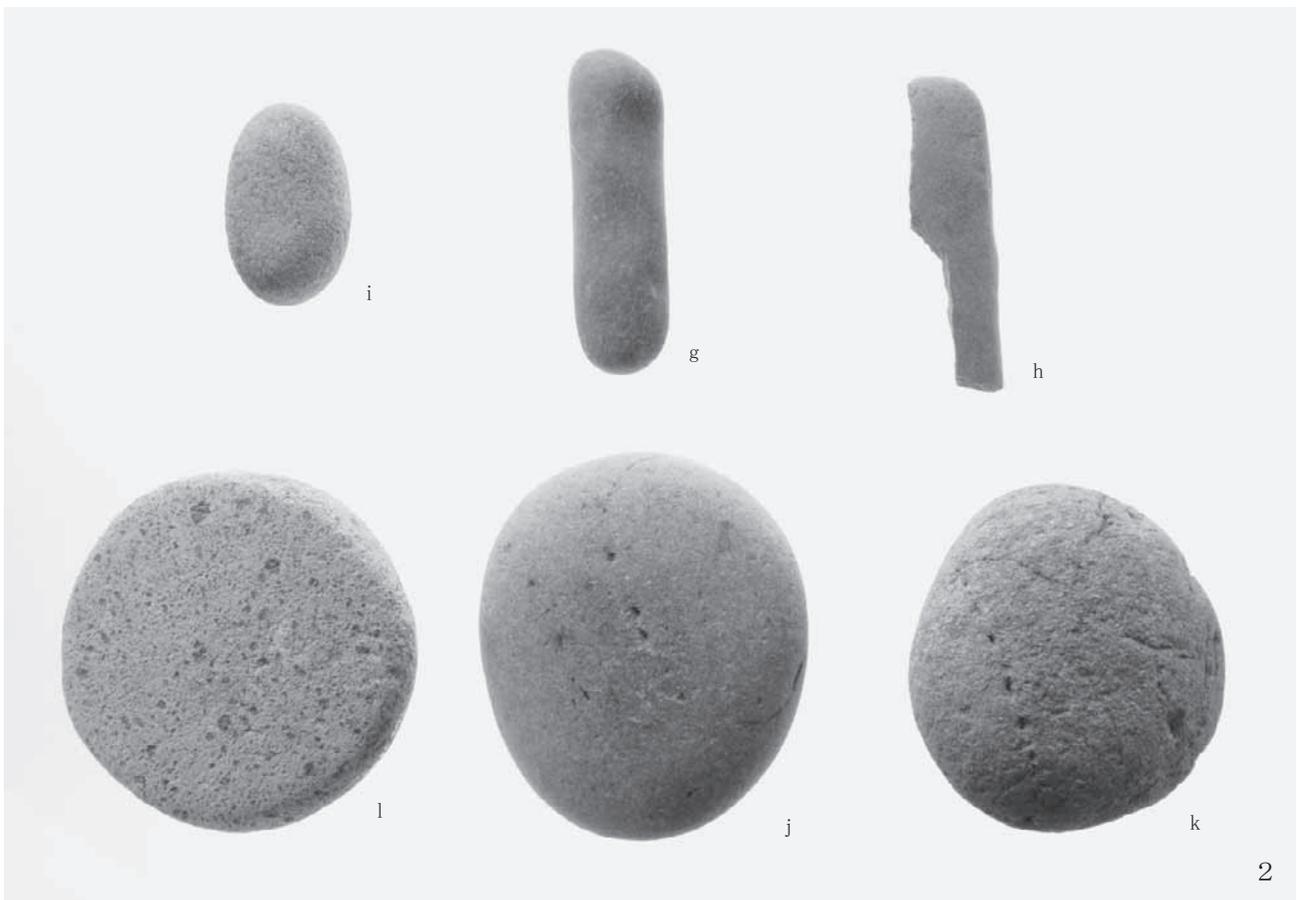
98



99



Fig.149 頭地田口C遺跡 II区 調査区出土石器実測図一⑫



1. 頭地田口C遺跡 I区 石器  
 2. 頭地田口C遺跡 II区 石器

頭地田口 C 遺跡

| 遺物<br>番号 | Fig<br>No. | PL<br>No. | 調査区 | 遺構<br>番号 | 出土位置    |             | 種別   | 器種  | 法量 (cm) |    |          |       | 色調               |                  |
|----------|------------|-----------|-----|----------|---------|-------------|------|-----|---------|----|----------|-------|------------------|------------------|
|          |            |           |     |          | 層       | 注記          |      |     | 口径      | 底径 | 最大<br>胴径 | 残存高   | 外器面              | 内器面              |
| 10       | 121        | 27        | I   | 調査区      | -       | B-3G        | 縄文土器 | 深鉢  | -       | -  | -        | (2.7) | にぶい褐7.5YR5/4     | にぶい黄橙<br>10YR6/3 |
| 11       |            |           | I   | 調査区      | -       | 中段部         | 縄文土器 | 深鉢  | -       | -  | -        | (5.4) | 黒褐10YR3/1        | 灰黄褐10YR4/2       |
| 12       |            |           | I   | 調査区      | -       | 上段部         | 縄文土器 | 深鉢? | -       | -  | -        | (5.5) | 黒褐10YR3/1        | 灰黄褐10YR4/2       |
| 13       |            |           | I   | 調査区      | -       | 上段部         | 縄文土器 | 深鉢? | -       | -  | -        | (4.8) | にぶい褐7.5YR5/3     | 褐灰7.5YR4/1       |
| 14       |            |           | I   | 調査区      | -       | 上段部         | 縄文土器 | 深鉢  | -       | -  | -        | (3.9) | 黒褐2.5Y3/1        | オリーブ褐2.5Y4/3     |
| 15       |            |           | I   | 調査区      | -       | 上段部         | 縄文土器 | 深鉢? | -       | -  | -        | (5.2) | 黒褐2.5Y3/2        | 灰黄褐10YR4/2       |
| 16       |            | 24        | I   | 調査区      | -       | -           | 縄文土器 | 深鉢  | -       | -  | -        | (7.4) | 黒褐10YR3/1        | 黒褐10YR3/2        |
| 17       |            |           | I   | 調査区      | -       | -           | 縄文土器 | 深鉢  | -       | -  | -        | (6.8) | 黒褐10YR3/1        | にぶい黄褐<br>10YR4/2 |
| 18       |            | 27        | I   | 調査区      | -       | H-4G        | 弥生土器 | 壺   | -       | -  | -        | (5.5) | にぶい橙5YR6/4       | にぶい橙5YR6/4       |
| 77       | 126        | 30        | II  | 調査区      | -       | 盛土部 No2848  | 縄文土器 | 深鉢? | -       | -  | -        | (3.1) | にぶい黄褐<br>10YR5/3 | 橙7.5YR6/6        |
| 78       |            |           | II  | 調査区      | -       | 盛土部 No2847  | 縄文土器 | 深鉢  | -       | -  | -        | (2.7) | 暗褐10YR3/3        | 黒褐2.5Y3/1        |
| 79       |            |           | II  | 調査区      | -       | 盛土部 No2846  | 縄文土器 | 深鉢  | -       | -  | -        | (5.5) | にぶい黄褐<br>10YR4/3 | にぶい褐7.5YR5/4     |
| 80       |            | 31        | II  | 調査区      | III b 層 | O-5G No2773 | 弥生土器 | 壺   | (20.0)  | -  | -        | (2.6) | 橙7.5YR7/6        | 橙7.5YR7/6        |

| 遺物<br>番号 | Fig<br>No. | PL<br>No. | 調査区 | 遺構<br>番号 | 出土位置 |               | 種別   | 器種  | 法量 (cm) |        |          |              | 色調           |                  |              |
|----------|------------|-----------|-----|----------|------|---------------|------|-----|---------|--------|----------|--------------|--------------|------------------|--------------|
|          |            |           |     |          | 層    | 注記            |      |     | 口径      | 底径     | 最大<br>胴径 | 残存高          | 外器面          | 内器面              |              |
| 9        | 120        | 122       | I   | SB022    | -    | No93.95.97.98 | 土師器  | 杯   | -       | 7.0    | -        | (0.9)        | にぶい橙5YR7/4   | にぶい橙7.5YR7/3     |              |
| 19       | 24         |           | I   | 調査区      | -    | -             | 土師器  | 壺   | -       | -      | -        | (5.9)        | にぶい黄橙10YR5/3 | にぶい褐7.5YR5/4     |              |
| 20       |            |           | I   | 調査区      | -    | -             | 土師器  | 壺   | -       | -      | -        | (10.1)       | にぶい褐7.5YR5/3 | 橙7.5YR6/6        |              |
| 21       |            |           | I   | 調査区      | -    | C-7G          | 土師器  | 壺?  | (19.0)  | -      | -        | (6.5)        | にぶい黄橙10YR7/4 | 灰黄褐10YR6/2       |              |
| 22       | 27         |           | I   | 調査区      | -    | B-7G          | 土師器  | 壺   | (21.4)  | -      | -        | (5.1)        | 褐7.5YR4/3    | にぶい橙7.5YR6/4     |              |
| 23       |            |           | I   | 調査区      | -    | C-6G.D-6G     | 土師器  | 壺   | (18.6)  | -      | -        | (10.4)       | にぶい黄褐10YR5/3 | にぶい黄褐<br>10YR5/4 |              |
| 24       | 24         |           | I   | 調査区      | -    | -             | 土師器  | 壺   | -       | -      | -        | (6.9)        | 黒褐10YR3/1    | 褐灰10YR4/1        |              |
| 25       | 27         |           | I   | 調査区      | -    | 上段部           | 土師器  | 壺   | -       | -      | -        | (4.5)        | にぶい黄橙10YR7/4 | にぶい橙7.5YR6/4     |              |
| 26       | 24         |           | I   | 調査区      | -    | -             | 須恵器  | 壺   | -       | -      | -        | (5.8)        | 灰7.5Y6/1     | 灰7.5Y6/1         |              |
| 27       |            |           | I   | 調査区      | -    | -             | 須恵器  | 壺   | (18.7)  | -      | -        | (4.6)        | 灰白2.5Y7/1    | 灰白2.5Y7/1        |              |
| 28       |            |           | I   | 調査区      | -    | -             | 土師器  | 皿   | (7.3)   | 4.8    | -        | 1.8          | にぶい橙7.5YR7/4 | にぶい橙7.5YR7/4     |              |
| 29       |            |           | I   | 調査区      | -    | -             | 土師器  | 皿   | (6.4)   | 5.1    | -        | (1.3)        | にぶい橙7.5YR7/4 | にぶい橙7.5YR7/4     |              |
| 30       |            |           | 25  | I        | 調査区  | -             | 上段部  | 土師器 | 杯       | (12.0) | (7.6)    | -            | 2.5          | 浅黄橙7.5YR8/4      | にぶい橙7.5YR7/3 |
| 31       |            |           | 24  | I        | 調査区  | -             | -    | 土師器 | 高台付杯    | -      | -        | -            | (2.7)        | にぶい黄橙10YR7/4     | にぶい黄橙10YR7/4 |
| 32       | 25         |           | I   | 調査区      | -    | 上段部           | 土師器  | 碗   | -       | -      | -        | (3.1)        | 橙5YR7/6      | 橙5YR7/6          |              |
| 35       |            |           | I   | 調査区      | -    | C-5G          | 瓦質土器 | 火鉢  | -       | -      | -        | (9.8)        | 灰白2.5Y8/2    | 灰黄2.5Y7/2        |              |
| 36       | 24         |           | I   | 調査区      | -    | -             | 土師器  | 播り鉢 | -       | -      | -        | (5.3)        | 橙7.5YR6/6    | 橙5YR6/6          |              |
| 37       | 25         |           | I   | 調査区      | -    | E-6G          | 瓦質土器 | 茶釜  | (16.8)  | -      | -        | (6.9)        | 黄灰2.5Y6/1    | 灰黄2.5Y7/2        |              |
| 38       | 24         | I         | 調査区 | -        | -    | 瓦質土器          | 火鉢   | -   | -       | -      | (4.9)    | にぶい黄橙10YR6/3 | にぶい黄橙10YR7/3 |                  |              |

Tab.15 出土遺物(縄文土器・弥生式土器)観察表

|  | 胎土                     | 調整         |                    |         |        | 残存状況   | 備考                               | 遺物番号 |
|--|------------------------|------------|--------------------|---------|--------|--------|----------------------------------|------|
|  |                        | 外器面        | 内器面                | 外底面     | 内底面    |        |                                  |      |
|  | 長石・角閃石・雲母・微砂粒          | ナデ         | ナデ                 | -       | -      | 口縁部破片  | 波状口縁<br>口縁部に刻み目                  | 10   |
|  | 長石・石英・角閃石              | ナデ         | ナデ                 | -       | -      | 口縁部破片  | 口唇部に刻み目<br>外器面および口縁部<br>内器面に縄文施文 | 11   |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒    | ナデ・押引文?    | 工具ナデ               | -       | -      | 口縁部破片  |                                  | 12   |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒    | ナデ         | ナデ                 | -       | -      | 口縁部破片  | 口縁部に沈線文                          | 13   |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒    | ナデ後押引文・刺突文 | 条痕                 | -       | -      | 胴部破片   |                                  | 14   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒           | 条痕         | 摩耗により調整不明          | -       | -      | 胴部破片   |                                  | 15   |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母<br>砂粒・微砂粒 | ナデ後押引文か?   | 工具ナデ               | -       | -      | 胴部破片   |                                  | 16   |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒    | ナデ後押引文か?   | 工具ナデ               | -       | -      | 胴部破片   |                                  | 17   |
|  | 長石・雲母                  | ハケ目後ナデ     | ハケ目後ナデ             | ナデ・指頭圧痕 | ハケ目後ナデ | 脚部上位破片 | 内外底面に煤付着                         | 18   |
|  | 角閃石・微砂粒                | ナデ・条痕      | 条痕                 | -       | -      | 口縁部破片  |                                  | 77   |
|  | 長石・石英・角閃石              | 条痕         | 条痕                 | -       | -      | 胴部破片   |                                  | 78   |
|  | 長石・石英・角閃石              | ナデ         | 条痕                 | -       | -      | 胴部破片   |                                  | 79   |
|  | 長石・石英・角閃石・砂粒<br>赤色酸化粒  | 横ナデ・ナデ     | ミガキ・ハケ目後ナデ<br>後ミガキ | -       | -      | 口縁部1/8 | 口縁部に浮文                           | 80   |

Tab.16 出土遺物(土師器・須恵器・瓦質土器)観察表-①

|  | 胎土                    | 調整                 |                       |                    |         | 残存状況               | 備考               | 遺物番号 |
|--|-----------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|---------|--------------------|------------------|------|
|  |                       | 外器面                | 内器面                   | 外底面                | 内底面     |                    |                  |      |
|  | 長石・角閃石・雲母             | 回転ナデ               | 回転ナデ後ナデ               | 糸切り                | 回転ナデ後ナデ | 底部～体部下位            | 外底面に板状圧痕か?       | 9    |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母          | ナデ・ハケ目後ナデ          | ハケ目後ナデ                | -                  | -       | 口縁部破片              |                  | 19   |
|  | 長石・角閃石・雲母             | ナデ・工具ナデ            | ナデ・ヘラケズリ<br>指頭圧痕      | -                  | -       | 口縁部破片              | 口縁部下に刻み目突帯       | 20   |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒   | 横ナデ<br>ハケ目後横ナデ     | 横ナデ・工具ナデ・ナデ           | -                  | -       | 口縁部1/6             |                  | 21   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒          | ハケ目後横ナデ            | ハケ目                   | -                  | -       | 口縁部1/6             |                  | 22   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒          | 横ナデ・ハケ目<br>ハケ目後横ナデ | ハケ目後横ナデ<br>ヘラケズリ      | -                  | -       | 口縁～胴部1/6           | 口縁部外面に煤付着        | 23   |
|  | 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒   | 横ナデ・ハケ目            | ナデ                    | -                  | -       | 胴部突帯部破片            | 刻み目突帯            | 24   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒          | ナデ・工具ナデ            | ナデ                    | -                  | -       | 頸部突帯部破片            | 刻み目突帯            | 25   |
|  | 長石                    | 回転ナデ・平行タタキ         | 回転ナデ・ヘラケズリ<br>同心円当て具痕 | -                  | -       | 口縁～頸部破片            |                  | 26   |
|  | 長石・微砂粒                | 回転ナデ・平行タタキ         | 回転ナデ・同心円<br>当て具痕・工具痕  | -                  | -       | 口縁部1/6             |                  | 27   |
|  | 長石・角閃石・雲母<br>赤色酸化粒    | 回転ナデ               | 回転ナデ                  | 糸切り                | ナデ      | 口縁部の一部と<br>体部中位～底部 |                  | 28   |
|  | 長石・角閃石・雲母             | 回転ナデ               | 回転ナデ                  | 糸切り?<br>(摩耗の為調整不明) | 回転ナデ    | 口縁部～体部上位欠損         |                  | 29   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒          | 回転ナデ(摩耗)           | 横ナデ                   | 糸切り                | 横ナデ     | 全体の1/6             |                  | 30   |
|  | 長石・石英・雲母              | 回転ナデ               | 回転ナデ<br>回転ナデ後ナデ       | 回転ヘラ切り             | 回転ナデ後ナデ | 体部中位～高台部上位         | 外面赤彩             | 31   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒          | 回転ナデ               | ナデ後工具ナデ               | ナデ・横ナデ             | ナデ後工具ナデ | 体部の1/2             | 内器面にヘラ記号         | 32   |
|  | 長石・雲母・微砂粒<br>赤色酸化粒    | 横ナデ・ナデ             | 横ナデ・ハケ目               | -                  | -       | 口縁部破片              | 外器面に菊印花の<br>スタンプ | 35   |
|  | 長石・雲母                 | ナデ                 | ナデ後スリ目                | ナデ                 | -       | 体部中位～底部破片          |                  | 36   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒<br>赤色酸化粒 | 横ナデ・ナデ             | 横ナデ・ナデ                | -                  | -       | 口縁部1/6             |                  | 37   |
|  | 長石・石英・雲母・微砂粒<br>赤色酸化粒 | -                  | -                     | ナデ・ハケ目             | ナデ      | 脚部1/6              |                  | 38   |

頭地田口C遺跡

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 調査区 | 遺構番号    | 出土位置                 |                         | 種別  | 器種     | 法量 (cm) |        |       |           | 色調           |              |
|------|---------|--------|-----|---------|----------------------|-------------------------|-----|--------|---------|--------|-------|-----------|--------------|--------------|
|      |         |        |     |         | 層                    | 注記                      |     |        | 口径      | 底径     | 最大胴径  | 残存高       | 外器面          | 内器面          |
| 69   | 125     | 28     | II  | SB037   | -                    | -                       | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (8.1)     | にぶい橙7.5YR6/4 | にぶい黄橙10YR7/4 |
| 70   |         |        | II  | SK043   | -                    | No.1399.1593.1594       | 土師器 | 甕      | (16.4)  | -      | -     | (5.9)     | にぶい橙7.5YR7/4 | にぶい橙7.5YR7/4 |
| 71   |         |        | II  | SK043   | -                    | -                       | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (6.1)     | 黒褐10YR3/2    | 灰黄褐10YR4/2   |
| 72   |         |        | II  | SK043   | -                    | No.1681                 | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (6.6)     | にぶい赤褐5YR4/4  | 赤褐2.5YR4/6   |
| 73   |         |        | II  | SK043   | -                    | -                       | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (7.1)     | 黄灰2.5Y4/1    | 黒褐10YR3/1    |
| 74   |         |        | II  | SK043   | -                    | No.1529                 | 土師器 | 高坏     | -       | -      | -     | (3.9)     | 橙5YR6/6      | にぶい褐7.5YR5/4 |
| 75   |         |        | II  | SK043   | -                    | No.1489                 | 土師器 | 杯      | -       | (11.8) | -     | (2.1)     | 橙2.5YR6/8    | 橙5YR6/8      |
| 76   |         |        | II  | SK043   | -                    | No.1403                 | 須恵器 | 杯身     | (9.6)   | -      | -     | (3.2)     | 灰黄2.5Y7/2    | 灰黄2.5Y6/2    |
| 81   | 126     | 29     | II  | 調査区     | -                    | -                       | 土師器 | 壺      | -       | -      | -     | (6.1)     | 橙2.5YR6/8    | 橙2.5YR6/8    |
| 82   |         | 31     | II  | 調査区     | III b 層              | M-8G No.2662            | 土師器 | 壺      | (14.2)  | -      | -     | (4.1)     | 橙5YR6/6      | 橙5YR6/6      |
| 83   |         | 30     | II  | 調査区     | -                    | 盛土部 No.2938             | 土師器 | 壺      | (16.4)  | -      | -     | (5.1)     | 橙5YR6/6      | にぶい黄橙10YR6/4 |
| 84   |         |        | II  | 調査区     | -                    | 盛土部 No.2908             | 土師器 | 壺      | (15.8)  | -      | -     | (4.6)     | にぶい黄橙10YR7/3 | にぶい黄橙10YR7/3 |
| 85   |         | 29     | II  | 調査区     | -                    | No.2600<br>M-4G No.3083 | 土師器 | 甕      | (12.4)  | -      | -     | (4.3)     | 明赤褐5YR5/6    | 橙5YR6/6      |
| 86   |         | 31     | II  | 調査区     | III b 層              | M-4G No.3132            | 土師器 | 甕      | (13.2)  | -      | -     | (4.7)     | 橙5YR6/6      | 橙5YR6/6      |
| 87   |         |        | II  | 調査区     | -                    | N-7G No.2752            | 土師器 | 甕      | (20.6)  | -      | -     | (4.9)     | にぶい黄橙10YR6/4 | にぶい黄橙10YR6/3 |
| 88   |         | 29     | II  | 調査区     | III a 層              | P-2G                    | 土師器 | 壺?     | (20.0)  | -      | -     | (3.6)     | 橙7.5YR7/6    | 橙7.5YR7/6    |
| 89   |         | 31     | II  | 調査区     | III a 層              | P-3G No.3441            | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (5.0)     | 橙7.5YR6/6    | 橙7.5YR6/6    |
| 90   |         |        | II  | 調査区     | -                    | M-6G No.3210            | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (4.5)     | 灰黄褐10YR4/2   | 灰黄褐10YR4/2   |
| 91   |         |        | II  | 調査区     | -                    | O-3G No.3327            | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (4.9)     | 灰褐7.5YR4/2   | 明赤褐5YR5/6    |
| 92   |         | 30     | II  | 調査区     | III 層                | 盛土部                     | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (4.1)     | 明黄褐10YR6/6   | 明黄褐10YR7/6   |
| 93   |         | 29     | II  | 調査区     | -                    | -                       | 土師器 | 鉢      | -       | -      | -     | (5.2)     | 明赤褐2.5YR5/6  | 明赤褐2.5YR5/6  |
| 94   |         |        | II  | 調査区     | -                    | No.2150                 | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (8.4)     | にぶい黄橙10YR6/4 | 黄灰2.5Y5/1    |
| 95   |         |        | II  | 調査区     | -                    | No.2290                 | 土師器 | 鉢      | -       | -      | -     | (8.7)     | 明赤褐2.5YR5/6  | にぶい黄橙10YR7/4 |
| 96   | 127     | 31     | II  | 調査区     | -                    | N-7G No.2751            | 土師器 | 壺      | -       | -      | -     | (4.8)     | 橙7.5YR6/6    | 明黄褐10YR6/6   |
| 97   |         | 30     | II  | 調査区     | III 層                | 盛土部                     | 土師器 | 壺      | -       | -      | -     | (5.6)     | 明黄褐10YR7/6   | にぶい黄橙10YR7/4 |
| 98   |         | 32     | II  | 調査区     | III 層                | M-5G No.3205            | 土師器 | 壺      | -       | -      | -     | (4.7)     | にぶい褐7.5YR5/4 | 橙5YR7/6      |
| 99   |         |        | II  | 調査区     | III 層                | N-4G No.3274            | 土師器 | 甕?     | -       | -      | -     | (4.5)     | 橙7.5YR7/6    | 橙7.5YR7/6    |
| 100  |         |        | II  | 調査区     | III b 層              | O-2G No.3304            | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (3.8)     | にぶい橙7.5YR7/6 | にぶい黄橙10YR7/4 |
| 101  |         |        | II  | 調査区     | III 層                | M-4G No.3146            | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (3.9)     | 褐10YR4/4     | 明褐7.5YR5/6   |
| 102  |         |        | II  | 調査区     | III b 層              | O-5G No.2764            | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (4.1)     | にぶい黄橙10YR6/4 | にぶい黄橙10YR6/4 |
| 103  |         |        | II  | 調査区     | III 層                | O-6G No.2802            | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (4.9)     | にぶい黄褐10YR5/3 | にぶい黄橙10YR7/4 |
| 104  |         | 29     | II  | 調査区     | -                    | -                       | 土師器 | 甕      | -       | -      | -     | (4.8)     | 赤褐5YR4/6     | 明赤褐5YR5/6    |
| 105  |         | 32     | II  | 調査区     | -                    | -                       | 土師器 | 壺?     | -       | -      | -     | (19.6)    | 橙5YR6/6      | 橙5YR6/6      |
| 106  |         | 29     | II  | 調査区     | -                    | No.2265                 | 須恵器 | 杯蓋     | (10.4)  | -      | -     | (4.3)     | 黄灰2.5Y5/1    | 黄灰2.5Y6/1    |
| 107  | 30      | II     | 調査区 | -       | 盛土部                  | 須恵器                     | 高坏  | -      | -       | -      | (3.4) | 灰7.5Y4/1  | 灰7.5Y5/1     |              |
| 108  |         | II     | 調査区 | -       | 盛土部 No.<br>2875.2911 | 須恵器                     | 杯身  | (9.0)  | -       | -      | (3.9) | 灰黄2.5Y7/2 | 灰黄2.5Y7/2    |              |
| 109  | 31      | II     | 調査区 | III b 層 | P-2G No.3421         | 須恵器                     | 坏身  | -      | -       | -      | (3.6) | 灰褐色5YR5/2 | 灰褐色5YR5/2    |              |
| 110  |         | II     | 調査区 | III 層   | 盛土部 No.3026          | 須恵器                     | 坏身  | -      | -       | -      | (4.5) | 灰 N5/     | 灰白5Y7/1      |              |
| 111  | 29      | II     | 調査区 | III b 層 | N-5G<br>O-5G No.2771 | 須恵器                     | 坏身  | (12.4) | -       | -      | (4.5) | 灰 N5/     | 灰白5Y7/1      |              |
| 111  | 29      | II     | 調査区 | -       | No.2412              | 須恵器                     | 杯身  | -      | -       | -      | (2.8) | 黄灰2.5Y5/1 | 灰5Y6/1       |              |

Tab.17 出土遺物(土師器・須恵器・瓦質土器)観察表-②

|  | 胎土                       | 調整                     |                       |                   |          | 残存状況       | 備考                                 | 遺物番号 |
|--|--------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------|----------|------------|------------------------------------|------|
|  |                          | 外器面                    | 内器面                   | 外底面               | 内底面      |            |                                    |      |
|  | 長石、石英、雲母、微砂粒             | ナデ                     | ヘラケズリ後横ナデ             | -                 | -        | 口縁部破片      | 口縁下に刻み目突帯<br>外器面に煤                 | 69   |
|  | 長石、石英、赤色酸化粒              | 横ナデ、ハケ目後<br>横ナデ、ハケ目後ナデ | 横ナデ、工具ナデ後<br>ナデ、ヘラケズリ | -                 | -        | 口縁部～頸部1/3  |                                    | 70   |
|  | 長石、石英、角閃石、雲母<br>微砂粒      | ナデ、指頭圧痕                | ナデ                    | -                 | -        | 口縁部破片      | 刻み目突帯                              | 71   |
|  | 長石、石英、赤色酸化粒              | 横ナデ、ナデ                 | ナデ                    | -                 | -        | 胴部突帯部破片    | 刻み目突帯                              | 72   |
|  | 長石、石英、雲母、微砂粒             | 摩耗の為調整不明               | 摩耗の為調整不明              | -                 | -        | 胴部破片       | 刻み目突帯の刻み内に<br>化粧土充填                | 73   |
|  | 長石、石英、雲母                 | 横ナデ、ナデ                 | ナデ                    | -                 | -        | 坏底部破片      |                                    | 74   |
|  | 長石、石英                    | 回転ナデ                   | 摩耗の為調整不明              | 回転ナデ              | 摩耗の為調整不明 | 底部1/5      |                                    | 75   |
|  | 長石、石英                    | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ        | 回転ナデ                  | -                 | -        | 口縁部～体部1/6  |                                    | 76   |
|  | 雲母、砂粒                    | ナデ、ハケ目、工具痕             | ナデ、ヘラケズリ              | -                 | -        | 口縁部破片      |                                    | 81   |
|  | 長石、石英、雲母、砂粒              | 横ナデ<br>ハケ目後横ナデ         | 横ナデ                   | -                 | -        | 口縁1/6      | 外面に黒斑                              | 82   |
|  | 長石、石英、雲母                 | 横ナデ<br>ハケ目後横ナデ         | ナデ                    | -                 | -        | 口縁部1/6     | 外器面スス付着                            | 83   |
|  | 長石、石英、角閃石、雲母             | 横ナデ                    | 横ナデ、ナデ                | -                 | -        | 口縁部1/8     | 外面にスス付着                            | 84   |
|  | 長石、石英                    | 横ナデ、ナデ<br>ハケ目後ナデ       | 横ナデ、ハケ目後<br>ナデ、ヘラケズリ  | -                 | -        | 口縁部～頸部1/4  |                                    | 85   |
|  | 長石、石英、雲母、砂粒              | ハケ目後横ナデ                | ハケ目後横ナデ<br>ヘラケズリ      | -                 | -        | 口縁1/5      |                                    | 86   |
|  | 長石、石英、砂粒<br>赤色酸化粒        | 横ナデ                    | 横ナデ、ヘラケズリ<br>工具痕      | -                 | -        | 口縁部1/5     | 外面に赤色顔料                            | 87   |
|  | 角閃石、微砂粒                  | 横ナデ                    | 横ナデ                   | -                 | -        | 口縁部1/4     |                                    | 88   |
|  | 長石、石英、角閃石<br>微砂粒、赤色酸化粒   | ハケ目後横ナデ                | ハケ目後横ナデ               | -                 | -        | 口縁部破片      |                                    | 89   |
|  | 長石、石英、雲母                 | 横ナデ、工具痕                | 横ナデ、ヘラケズリ             | -                 | -        | 口縁部破片      |                                    | 90   |
|  | 長石、石英、砂粒                 | ハケ目後横ナデ                | ハケ目後横ナデ<br>ヘラケズリ、工具痕  | -                 | -        | 口縁部破片      |                                    | 91   |
|  | 角閃石、微砂粒                  | 横ナデ                    | 横ナデ、ナデ                | -                 | -        | 口縁部破片      | 内器面黒斑                              | 92   |
|  | 石英、砂粒、赤色酸化粒              | ミガキ                    | ミガキ(摩耗)               | -                 | -        | 口縁部破片      | 内外面赤彩                              | 93   |
|  | 長石、石英、砂粒                 | 横ナデ、ナデ                 | ナデ、指頭圧痕               | -                 | -        | 口縁部破片      | 口縁下に刻み目突帯                          | 94   |
|  | 雲母、白色粒                   | 横ナデ、ミガキ                | 横ナデ、ナデ                | -                 | -        | 口縁部破片      | 内外器面に赤彩<br>口縁部内～外器面<br>にかけて煤付着     | 95   |
|  | 長石、石英、角閃石、雲母<br>砂粒、赤色酸化粒 | ハケ目、ハケ目後<br>ナデ、工具ナデ    | ハケ目後ナデ<br>指頭圧痕        | -                 | -        | 頸部1/6      |                                    | 96   |
|  | 微砂粒                      | 摩耗の為調整不明               | 摩耗の為調整不明              | -                 | -        | 頸部破片か?     | 内外面に赤彩                             | 97   |
|  | 長石、石英、角閃石                | ナデ、ミガキ                 | ナデ(摩耗)                | -                 | -        | 頸部破片       | 頸部に刻み目突帯                           | 98   |
|  | 長石、角閃石、石英、砂粒             | ナデ                     | ナデ(摩耗)                | -                 | -        | 頸部破片       | 頸部に刻み目突帯                           | 99   |
|  | 長石、石英、角閃石、砂粒             | 横ナデ                    | ヘラケズリ                 | -                 | -        | 頸部破片       | 刻み目突帯                              | 100  |
|  | 長石、石英、赤色酸化粒              | 横ナデ                    | ナデ                    | -                 | -        | 胴部破片       | 刻み目突帯                              | 101  |
|  | 長石、石英、角閃石、砂粒             | ナデ                     | ナデ                    | -                 | -        | 頸部破片       | 頸部に刻み目突帯                           | 102  |
|  | 長石、石英、角閃石、砂粒             | ナデ                     | ナデ(摩耗)                | -                 | -        | 胴部破片       | 刻み目突帯                              | 103  |
|  | 長石、石英、雲母<br>赤色酸化粒        | ナデ                     | 指頭圧痕                  | -                 | -        | 胴部突帯部破片    | 刻み目に布目痕あり<br>布を巻いた棒状の工具<br>によるものか? | 104  |
|  | 角閃石、微砂粒                  | ナデ、ハケ目後ナデ              | ナデ、ハケ目後ナデひ<br>指頭圧痕    | ナデ、ハケ目後ナデ<br>(摩耗) | ナデ、指頭圧痕  | 胴部中位～底部1/2 | 煤付着                                | 105  |
|  | 黒色粒、微砂粒                  | 回転ナデ                   | 回転ナデ                  | -                 | -        | 口縁～体部1/8   | 外面に自然釉                             | 106  |
|  | 微砂粒                      | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ        | 回転ナデ                  | -                 | -        | 杯部中位1/5    |                                    | 107  |
|  | 長石、石英                    | 回転ナデ                   | 回転ナデ                  | -                 | -        | 口縁部～体部1/4  | 外面に自然釉                             | 108  |
|  | 長石、石英、微砂粒                | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ        | 回転ナデ                  | -                 | -        | 体部1/4      | 受け部径(12.0cm)                       | 109  |
|  | 長石、石英、黒色粒、微砂粒            | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ        | 回転ナデ                  | -                 | -        | 口縁～体部1/8   | 外器面に自然釉                            | 110  |
|  | 長石、石英                    | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ        | 回転ナデ                  | -                 | -        | 体部破片       | 受け部径(14.3)                         | 111  |

頭地田口C遺跡

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 調査区 | 遺構番号 | 出土位置   |                          | 種別                    | 器種   | 法量 (cm) |        |        |       | 色調           |              |              |
|------|---------|--------|-----|------|--------|--------------------------|-----------------------|------|---------|--------|--------|-------|--------------|--------------|--------------|
|      |         |        |     |      | 層      | 注記                       |                       |      | 口径      | 底径     | 最大胴径   | 残存高   | 外器面          | 内器面          |              |
| 112  | 127     | 29     | II  | 調査区  | -      | No.1946                  | 須恵器                   | ハソウ  | -       | -      | (10.0) | (4.1) | 灰7.5Y6/1     | 灰7.5Y6/1     |              |
| 113  |         | 31     | II  | 調査区  | III b層 | O-5G No.2772             | 須恵器                   | 脚付壺? | -       | (8.5)  | -      | (2.8) | 灰色5Y6/1      | 灰色5Y6/1      |              |
| 114  |         | 30     | II  | 調査区  | -      | 盛土部 No.2960              | 土師器                   | 杯    | (7.6)   | 4.7    | -      | 2.0   | 浅黄橙10YR8/4   | にぶい黄橙10YR7/3 |              |
| 115  |         |        | II  | 調査区  | -      | 盛土部 No.2879              | 土師器                   | 杯    | (7.8)   | (5.2)  | -      | 2.2   | にぶい黄橙10YR7/3 | にぶい黄橙10YR6/3 |              |
| 116  |         |        | II  | 調査区  | III層   | 盛土部 No.3016              | 土師器                   | 小皿   | (7.4)   | (5.8)  | -      | (2.1) | 橙5YR6/6      | 橙5YR6/6      |              |
| 117  |         |        | 29  | II   | 調査区    | -                        | No.2465<br>盛土部No.3005 | 土師器  | 杯       | (10.8) | (7.0)  | -     | 2.8          | 浅黄橙7.5YR8/6  | 浅黄橙7.5YR8/6  |
| 118  |         |        | 31  | II   | 調査区    | III層                     | M-4G No.3149          | 土師器  | 坏       | -      | 6.4    | -     | (1.9)        | にぶい黄橙10YR6/3 | にぶい黄橙10YR6/3 |
| 119  |         |        | 30  | II   | 調査区    | -                        | 盛土部                   | 土師器  | 杯       | (10.8) | 6.7    | -     | 2.8          | にぶい黄橙10YR7/3 | にぶい橙7.5YR7/4 |
| 120  |         | II     |     | 調査区  | -      | 表土ハギ 盛土部<br>No.3002.3003 | 土師器                   | 杯    | (11.0)  | 7.0    | -      | 2.9   | 橙7.5YR7/6    | 橙7.5YR7/6    |              |
| 121  |         | 128    |     | 31   | II     | 調査区                      | III層                  | N-5G | 瓦質土器    | 鉢      | -      | -     | -            | (14.0)       | 黄灰2.5Y4/1    |
| 125  |         |        | 29  | II   | 調査区    | -                        | No.1957               | 瓦質土器 | 鉢?      | (25.1) | -      | -     | (5.3)        | 灰5Y4/1       | 灰5Y4/1       |

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 調査区 | 種別 | 器種 | 産地   | 出土位置            |       | 部位       | 法量 (cm) |         |        |        | 色調      |       |     |
|------|---------|--------|-----|----|----|------|-----------------|-------|----------|---------|---------|--------|--------|---------|-------|-----|
|      |         |        |     |    |    |      | 遺構              | グリッド  |          | 口径      | 底径      | 器高     | 高台高    | 胎土      |       |     |
| 1    | 120     | 24     | I   | 磁器 | 碗  | 中国   | SB021           | -     | 口縁部      | -       | -       | (2.6)  | -      | 鉛の灰色    |       |     |
| 2    |         |        | I   | 磁器 | 碗  | 中国   | SB021           | C-5   | 底部       | -       | (4.4)   | (2.4)  | -      | 淡い肌色    |       |     |
| 3    |         |        | I   | 陶器 | 碗  | 肥前   | SB021           | B-6   | 口縁部から高台  | (9.4)   | 3.8     | 4.3    | -      | カーキ色    |       |     |
| 4    |         |        | I   | 陶器 | 皿  | 肥前   | SB021           | -     | 口縁部から高台  | (12.0)  | (4.5)   | 3.5    | -      | かもしか色   |       |     |
| 5    |         |        | I   | 陶器 | 皿  | -    | SB021           | -     | 口縁部から高台  | (12.6)  | (4.5)   | 3.6    | -      | 胡椒色     |       |     |
| 6    |         |        | I   | 陶器 | 皿  | 肥前   | SB021           | -     | 口縁部から高台  | (12.7)  | 4.5     | 3.7    | -      | 貝の白     |       |     |
| 7    |         |        | I   | 陶器 | 皿  | -    | SB021           | -     | 口縁部から高台  | (11.7)  | (3.8)   | 3.1    | -      | チョコレート色 |       |     |
| 8    |         |        | I   | 陶器 | 鉢  | -    | SB021.<br>SB022 | C-5   | 口縁部から高台  | (12.8)  | (5.6)   | 6.4    | -      | 代赭色     |       |     |
| 137  |         |        | -   | I  | 陶器 | 鉢    | 唐津              | SB021 | -        | 口縁部～体部  | (28.0)  | -      | (12.7) | -       | コーヒー色 |     |
| 138  |         |        | -   | I  | 陶器 | 鉢    | 肥前              | SB021 | -        | 体部から高台  | -       | (9.0)  | (5.7)  | 1.1     | かもしか色 |     |
| 39   |         |        | 123 | 25 | I  | 白磁   | 皿               | 景德鎮窯  | 調査区      | -       | 口縁部から高台 | (11.1) | (5.7)  | 3.4     | -     | 鉛の白 |
| 40   |         |        |     | 26 | I  | 青磁   | 碗               | -     | 調査区      | -       | 口縁部     | -      | -      | (4.0)   | -     | 枯芽色 |
| 41   | I       | 青磁     |     |    | 皿  | -    | 調査区             | -     | 底部から高台   | -       | (5.4)   | (2.7)  | -      | 鉛の白     |       |     |
| 42   | 25      | I      |     | 染付 | 碗  | 中国   | 調査区             | C-4   | 底部から高台   | -       | (5.3)   | (2.1)  | -      | 鉛の白     |       |     |
| 43   |         | I      |     | 染付 | 碗  | 中国   | 調査区             | -     | 底部から高台   | -       | 4.2     | (1.7)  | -      | カーキ色    |       |     |
| 44   | 26      | I      |     | 染付 | 皿  | 中国   | 調査区             | -     | 口縁部から底部  | 9.8     | 4.0     | 2.9    | -      | 灰白      |       |     |
| 45   | 25      | I      |     | 染付 | 碗  | 中国   | 調査区             | -     | 底部から高台   | -       | (6.1)   | (2.1)  | -      | 貝の白     |       |     |
| 46   | 26      | I      |     | 染付 | 皿  | 中国   | 調査区             | -     | 口縁部から高台  | (14.1)  | (7.8)   | 2.5    | -      | 貝の白     |       |     |
| 47   | 25      | I      |     | 染付 | 蓋  | -    | 調査区             | -     | 天井部から口縁部 | (8.3)   | -       | (2.5)  | -      | 貝の白     |       |     |
| 48   |         | I      |     | 染付 | 蓋  | -    | 調査区             | -     | 天井部から口縁部 | (8.4)   | -       | 2.5    | -      | 貝の白     |       |     |
| 49   |         | I      |     | 染付 | 碗  | -    | 調査区             | -     | 体部から高台   | -       | (4.8)   | (3.8)  | -      | 貝の白     |       |     |
| 50   | 25      | I      |     | 染付 | 碗  | 波佐見焼 | 調査区             | C-7   | 口縁部から高台  | (9.2)   | (4.0)   | 5.1    | -      | 鉛の白     |       |     |
| 51   |         | I      |     | 染付 | 碗  | 肥前   | 調査区             | -     | 口縁部から高台  | 10.9    | 3.8     | 5.2    | -      | 枯芽色     |       |     |
| 52   |         | I      |     | 染付 | 皿  | 肥前   | 調査区             | -     | 口縁部から高台  | 9.2     | 3.6     | 2.3    | -      | 貝の白     |       |     |
| 53   |         | I      |     | 染付 | 碗  | 有田   | 調査区             | C-3   | 底部から高台   | -       | (3.7)   | (2.0)  | -      | 貝の白     |       |     |

Tab.18 出土遺物(土師器・須恵器・瓦質土器)観察表-③

| 胎土                       | 調整             |          |        |          | 残存状況               | 備考               | 遺物番号 |
|--------------------------|----------------|----------|--------|----------|--------------------|------------------|------|
|                          | 外器面            | 内器面      | 外底面    | 内底面      |                    |                  |      |
| 黒色粒, 白色粒                 | 横ナデ, カキ目       | 横ナデ      | -      | -        | 頸部~胴部中央1/8         | 胴部中位に沈線, 列点文     | 112  |
| 長石, 微砂粒                  | 回転ナデ           | 回転ナデ     | -      | -        | 底部1/5              | 穿孔 内面に自然釉        | 113  |
| 雲母, 微砂粒                  | 回転ナデ           | 摩耗の為調整不明 | 糸切り    | 摩耗の為調整不明 | 口縁部の一部<br>体部~底部1/2 |                  | 114  |
| 長石, 石英, 角閃石, 雲母<br>赤色酸化粒 | ヨコナデ           | ヨコナデ     | 糸切り    | ナデ       | 全体の1/4             | 内外面にスス付着         | 115  |
| 微砂粒                      | 回転ナデ           | 回転ナデ     | 糸切り    | -        | 口縁部~底部1/4          | 内外面に煤付着          | 116  |
| 長石, 石英                   | 回転ナデ           | 回転ナデ     | 回転ヘラ切り | ナデ       | 全体の1/2             | 煤付着?             | 117  |
| 石英, 角閃石, 雲母<br>赤色酸化粒     | 回転ナデ           | 回転ナデ     | 糸切り    | 回転ナデ     | 底部                 | 内外面に煤付着          | 118  |
| 微砂粒                      | ヨコナデ           | ヨコナデ     | 糸切り    | ヨコナデ     | 口縁部7/8欠損           |                  | 119  |
| 長石, 石英, 黒色粒<br>赤色酸化粒     | 回転ナデ           | 回転ナデ     | 糸切り    | 回転ナデ     | 口縁部の大部分~<br>体部1/2  | 内外面に煤付着          | 120  |
| 長石, 石英, 角閃石, 雲母<br>微砂粒   | 横ナデ<br>ナデ後工具ナデ | 横ナデ, ナデ  | -      | -        | 口縁部破片              | 外器面に菊印花の<br>スタンプ | 121  |
| 長石, 石英, 角閃石<br>赤色酸化粒     | 横ナデ, ナデ, 指頭匠痕  | 横ナデ      | ヘラケズリ  | -        | 口縁部~底部の1/4         |                  | 125  |

Tab.19 出土遺物(陶磁器)観察表-①

| 色調      | 調整                              |                 |                 |                  | 備考                          | 遺物番号 |
|---------|---------------------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------------------|------|
|         | 釉調                              | 外器面             | 内器面             | 外底面              |                             |      |
| 鉛の灰色    | 施釉                              | 施釉              | -               | -                | 染付(圏線 草花) 釉厚薄い              | 1    |
| 枯芽色     | 施釉                              | 施釉              | 施釉, 砂目          | 施釉               | 高台砂目付着 染付                   | 2    |
| 胡椒色     | 施釉                              | 施釉              | 回転ヘラケズリ         | 施釉               | 鉄絵 高台内に押印なし 17C末~18C, 京焼風   | 3    |
| 砂漠の駱駝色  | 施釉, 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ             | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ | 施釉, 蛇目釉剥         | 17C末?18C前半                  | 4    |
| 白茶 茶の緑  | 施釉, 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ             | 回転ナデ<br>施釉(瑠璃釉) | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ | 施釉, 蛇目釉剥         | 17C末?18C後半                  | 5    |
| 雪の灰白    | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ            | 施釉, 蛇目釉剥         | 染付 釉厚薄い 17C末~18C前半          | 6    |
| チョコレート色 | 施釉, 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ             | 回転ナデ, 施釉        | 回転ヘラケズリ, 施釉     | 施釉, 蛇目釉剥         | 内面打刷毛による白土                  | 7    |
| 代赭色     | 施釉, 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ<br>刷毛による波状文 | 回転ナデ, 施釉        | 回転ヘラケズリ, 施釉     | 施釉               | 白化粧土                        | 8    |
| 灰白      | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | -               | -                | 18C 鉄絵                      | 137  |
| 栗皮色     | 回転ヘラケズリ, 施釉                     | 回転ナデ, 施釉        | 回転ヘラケズリ         | 回転ナデ, 施釉         | 17C~18C前半                   | 138  |
| 灰白      | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉         | 15C末?16C                    | 39   |
| 芦の灰緑    | 施釉, 剣先蓮弁文                       | 施釉              | -               | -                | 釉厚薄い 15C~16C                | 40   |
| 水浅葱色    | 施釉                              | 施釉, 陰刻          | 施釉              | 施釉, カキ目, 陰刻      | 高台砂付着                       | 41   |
| 鉛の灰色    | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉         | 染付 高台打ち欠き                   | 42   |
| 灰白      | 施釉                              | 施釉              | 回転ヘラケズリ         | 施釉               | 染付                          | 43   |
| 鉛の灰色    | 施釉                              | 施釉              | 回転ヘラケズリ         | 施釉               | 染付 口さび 底部砂付着 16C~           | 44   |
| 鉛の灰色    | 施釉                              | 施釉              | 施釉              | 施釉               | 染付(圏線)                      | 45   |
| 鉛の灰色    | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉         | 染付                          | 46   |
| 鉛の灰色    | 施釉                              | 施釉              | -               | -                | 染付(梅) 60と同一個体               | 47   |
| 鉛の灰色    | 施釉                              | 施釉              | -               | -                | 染付(竹, 梅) 59と同一個体            | 48   |
| 月の白色    | 施釉                              | 施釉              | 施釉              | 施釉, 蛇目釉剥         | 染付(型紙 萩・菊)(圏線) 蛇目釉剥(アルミナ塗布) | 49   |
| 鉛の灰色    | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉         | 染付 18C                      | 50   |
| 灰白      | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ヘラケズリ, 施釉     | 回転ナデ, 施釉<br>蛇目釉剥 | 染付 圏線 蛇目釉剥(アルミナ塗布) 釉厚薄い 19C | 51   |
| 雪の灰色    | 回転ヘラケズリ<br>回転ナデ, 施釉             | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉<br>蛇目釉剥 | 染付 蛇目釉剥(アルミナ塗布) 19C         | 52   |
| 鉛の灰色    | 回転ナデ, 施釉                        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉        | 回転ナデ, 施釉         | 染付 18C                      | 53   |

頭地田口C遺跡

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 調査区 | 種別 | 器種   | 産地   | 出土位置 |          | 部位      | 法量 (cm) |        |        |       | 色調      |       |  |
|------|---------|--------|-----|----|------|------|------|----------|---------|---------|--------|--------|-------|---------|-------|--|
|      |         |        |     |    |      |      | 遺構   | グリッド     |         | 口径      | 底径     | 器高     | 高台高   | 胎土      |       |  |
| 54   | 123     | 25     | I   | 陶器 | 碗    | 一勝地焼 | 調査区  | -        | 口縁部から高台 | 8.3     | 3.7    | 4.7    | -     | 瓦の鼠茶    |       |  |
| 55   |         | 26     | I   | 磁器 | 碗    | -    | 調査区  | -        | 口縁部から胴部 | (9.2)   | -      | (4.3)  | -     | 瓦の鼠茶    |       |  |
| 56   |         |        | I   | 磁器 | 碗    | -    | 調査区  | -        | 口縁部から高台 | (9.0)   | (4.2)  | 5.2    | -     | 瓦の鼠茶    |       |  |
| 57   |         | 25     | I   | 磁器 | 碗    | -    | 調査区  | -        | 底部から高台  | -       | (4.5)  | (3.0)  | -     | 白茶      |       |  |
| 58   |         |        | I   | 陶器 | 皿    | 一勝地焼 | 調査区  | -        | 口縁部から高台 | 9.3     | 4.5    | 2.2    | -     | 瓦の鼠茶    |       |  |
| 59   |         | 26     | I   | 陶器 | 皿    | -    | 調査区  | -        | 底部から高台  | -       | (3.7)  | (2.2)  | -     | 真珠色     |       |  |
| 60   |         |        | I   | 陶器 | 小杯   | 球磨川  | 調査区  | -        | 口縁部から高台 | 3.6     | 2.6    | 3.5    | -     | 瓦の鼠茶    |       |  |
| 61   |         | 25     | I   | 染付 | 皿    | -    | 調査区  | -        | 底部から高台  | -       | (9.0)  | (3.0)  | -     | 鉛の白     |       |  |
| 62   |         | 26     | I   | 陶器 | 皿    | -    | 調査区  | -        | 底部から高台  | -       | -      | (4.0)  | -     | 皇色      |       |  |
| 63   |         |        | I   | 陶器 | 皿    | -    | 調査区  | -        | 体部から高台  | -       | (10.0) | (3.2)  | -     | チョコレート色 |       |  |
| 64   |         | 124    | 26  | I  | 陶器   | 甕    | -    | 調査区      | -       | 口縁部から肩部 | (12.6) | -      | (6.9) | -       | コーヒー色 |  |
| 65   |         |        | I   | 陶器 | 壺    | -    | 調査区  | -        | 胴部      | -       | -      | (12.5) | -     | 辰砂      |       |  |
| 66   | I       |        | 陶器  | 播鉢 | -    | 調査区  | -    | 口縁部      | -       | -       | (7.0)  | -      | 椀皮色   |         |       |  |
| 67   | I       |        | 陶器  | 播鉢 | 肥前   | 調査区  | -    | 口縁部      | -       | -       | (6.0)  | -      | 銀灰色   |         |       |  |
| 68   | 25      | I      | 陶器  | 播鉢 | -    | 調査区  | D-7G | 体部から底部   | -       | (12.7)  | (6.8)  | -      | 壁の赤   |         |       |  |
| 139  |         | I      | 陶器  | 小碗 | 一勝地焼 | 調査区  | -    | 口縁部から高台  | (9.0)   | -       | 4.6    | -      | 瓦の鼠茶  |         |       |  |
| 140  |         | I      | 陶器  | 小碗 | 一勝地焼 | 調査区  | -    | 口縁部～体部   | (9.0)   | -       | (3.8)  | -      | 瓦の鼠茶  |         |       |  |
| 141  |         | I      | 陶器  | 小碗 | 一勝地焼 | 調査区  | -    | 口縁部～体部   | (9.0)   | -       | (3.5)  | -      | 瓦の鼠茶  |         |       |  |
| 142  |         | I      | 染付  | 碗  | 波佐見焼 | 調査区  | -    | 胴部       | -       | -       | -      | -      | 貝の白   |         |       |  |
| 143  | -       | I      | 染付  | 碗  | 波佐見焼 | 調査区  | -    | 胴部       | -       | -       | -      | -      | 亜鉛華の白 |         |       |  |
| 126  | 128     | 32     | II  | 白磁 | 皿    | 中国   | 調査区  | N-4      | 口縁部から高台 | (11.1)  | (5.6)  | 3.0    | -     | 枯芽色     |       |  |
| 127  |         |        | II  | 青磁 | 碗    | 龍泉窯  | 調査区  | -        | 口縁部から高台 | 17.4    | 6.4    | 7.5    | -     | -       |       |  |
| 128  |         |        | II  | 青磁 | 碗    | 龍泉窯  | 調査区  | -        | 底部から高台  | -       | 5.5    | (2.8)  | -     | かもしか色   |       |  |
| 129  |         |        | II  | 磁器 | 皿    | 唐津   | 調査区  | M-4, 0-1 | 口縁部から高台 | (10.3)  | (4.2)  | 3.3    | -     | チョコレート色 |       |  |
| 130  |         | -      | II  | 染付 | 碗    | 有田   | 調査区  | -        | 口縁部から高台 | (9.9)   | (4.0)  | 5.2    | -     | 貝の白     |       |  |
| 131  |         | 32     | II  | 染付 | 皿    | 中国   | 調査区  | -        | 口縁部から高台 | (13.8)  | (7.5)  | 2.6    | -     | 白茶      |       |  |
| 132  |         |        | II  | 磁器 | 碗    | 中国   | 調査区  | -        | 底部      | -       | 2.9    | (1.9)  | -     | かもしか色   |       |  |
| 133  |         |        | II  | 染付 | 碗    | 中国   | 調査区  | N-1      | 口縁部から高台 | (15.0)  | (7.2)  | 3.9    | -     | かもしか色   |       |  |
| 134  |         |        | II  | 陶器 | 碗    | -    | 調査区  | M-4      | 口縁部から高台 | 11.8    | 4.8    | 6.6    | -     | 辰砂      |       |  |
| 135  |         | 30     | II  | 陶器 | 播鉢   | 肥前   | 調査区  | M-4G     | 口縁部～体部  | (21.0)  | (13.0) | 11.7   | -     | 灰色      |       |  |
| 136  | 32      | II     | 陶器  | 壺  | -    | 調査区  | -    | 胴部から底部   | -       | (10.8)  | (13.0) | -      | 灰茶    |         |       |  |

Tab.21 出土遺物(土製品)観察表

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 調査区 | 種別  | 器種 | 遺構番号 | 出土地点   |      | 法量 (cm) |         |         |        |       | 色調               | 胎土                  | 残存状況 | 備考     |
|------|---------|--------|-----|-----|----|------|--------|------|---------|---------|---------|--------|-------|------------------|---------------------|------|--------|
|      |         |        |     |     |    |      | 層      | 注記   | 全幅 (cm) | 全幅 (cm) | 孔径 (cm) | 厚 (cm) | 重 (g) |                  |                     |      |        |
| 33   | 122     | 24     | I   | 土製品 | 土鍾 | 調査区  | -      | -    | 5.8     | 2.1     | 0.5     | 2.1    | 22.6  | 浅黄橙<br>7.5YR8/3  | 長石、雲母、黒色粒<br>微砂粒    | 完形   | 外器面に黒斑 |
| 34   |         | 25     | I   | 土製品 | 土鍾 | 調査区  | -      | 中段部  | 5.8     | 2.8     | 0.8     | 2.9    | 46.6  | にぶい黄橙<br>10YR7/3 | 長石、石英、角閃石<br>雲母、微砂粒 | 完形   |        |
| 122  | 128     | 28     | II  | 土製品 | 土鍾 | 調査区  | -      | -    | 4.7     | 1.9     | 0.5     | 1.9    | 15.2  | 浅黄<br>2.5Y7/3    | 長石、石英、雲母<br>微砂粒     | 完形   | 外器面に黒斑 |
| 123  |         | 29     | II  | 土製品 | 土鍾 | 調査区  | -      | -    | 5.4     | 2.1     | 0.5     | 1.9    | 18.9  | にぶい黄橙<br>10YR7/4 | 角閃石、砂粒              | 完形   |        |
| 124  |         | 31     | II  | 土製品 | 土鍾 | 調査区  | III b層 | 0-2G | 6.8     | 2.7     | 0.7     | 2.7    | 45.8  | にぶい黄橙<br>10YR7/3 | 長石、石英、角閃石<br>雲母、微砂粒 | ほぼ完形 |        |

Tab.20 出土遺物(陶磁器)観察表-②

|  | 色調             | 調整                     |                |                         |            | 備考                                | 遺物<br>番号 |
|--|----------------|------------------------|----------------|-------------------------|------------|-----------------------------------|----------|
|  | 釉調             | 外器面                    | 内器面            | 外底面                     | 内底面        |                                   |          |
|  | カーキ色           | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | 回転ヘラケズリ・施釉              | 回転ナデ・施釉    | 19C 上村あたり? 白めづめ                   | 54       |
|  | 瓦の鼠茶           | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | -                       | -          | 釉厚薄い                              | 55       |
|  | 瓦の鼠茶           | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | 回転ヘラケズリ・施釉              | 回転ナデ・施釉    | 釉厚薄い                              | 56       |
|  | 湖の緑・橄欖色<br>枯芽色 | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | 回転ヘラケズリ・施釉              | 回転ナデ・施釉    | 高台内ちりめんじわあり 畳付に目跡あり               | 57       |
|  | 瓦の鼠茶           | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ      | 回転ナデ・施釉    | 内面重ね焼き痕 高台砂目付着<br>19C 上村あたり? 白めづめ | 58       |
|  | 胡椒色            | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ      | 回転ナデ・施釉    | 高台砂目跡 胎土目積跡 内定面砂目跡                | 59       |
|  | 瓦の鼠茶           | 回転ナデ・カキ目<br>施釉         | 回転ナデ・施釉        | 施釉                      | 回転ナデ・施釉    | 鉄絵 釉厚薄い                           | 60       |
|  | 灰白             | 回転ナデ・施釉                | 回転ナデ・施釉        | 回転ナデ・施釉                 | 回転ナデ・施釉    | 染付 圏線 蛇目凹形高台                      | 61       |
|  | 焦茶色            | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ        | 象嵌・施釉          | 回転ヘラケズリ                 | 施釉         | 内面陰刻。スタンプ後に白色土にて象嵌施す 内<br>面砂目付着   | 62       |
|  | 焦茶色<br>チョコレート色 | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ        | 施釉・象嵌          | 回転ヘラケズリ                 | 施釉・象嵌      | 内面砂目付着 三島手                        | 63       |
|  | 栗皮色            | 回転ナデ・カキ目               | 回転ナデ           | -                       | -          | 17C 後                             | 64       |
|  | 瓦の鼠茶           | 施釉・回転ナデ・カキ目<br>回転ヘラケズリ | 回転ナデ           | -                       | -          | 内野山 徳利 18C 後~19C                  | 65       |
|  | 焦茶色            | 回転ナデ・施釉                | 回転ナデ・施釉・播目     | -                       | -          | 17C 後                             | 66       |
|  | 青墨色            | 回転ナデ・施釉                | 回転ナデ・施釉・播目     | -                       | -          | 18C 後~19C 前                       | 67       |
|  | 栗皮色 青墨色        | 回転ナデ                   | 播目(21条)        | 回転ヘラケズリ                 | 播目(21条)    | 外底面・内器面に砂粒付着                      | 68       |
|  | 瓦の鼠茶           | 施釉                     | 施釉             | 施釉                      | 施釉         | 19C 上村あたり? 白めづめ                   | 139      |
|  | 瓦の鼠茶           | 施釉                     | 施釉             | -                       | -          | 19C 上村あたり? 白めづめ                   | 140      |
|  | 瓦の鼠茶           | 施釉                     | 施釉             | -                       | -          | 19C 上村あたり? 白めづめ                   | 141      |
|  | 亜鉛華の白          | 施釉                     | 施釉             | -                       | -          | 18C 後                             |          |
|  | 亜鉛華の白          | 施釉                     | 施釉             | -                       | -          | 18C 後                             |          |
|  | 灰白             | 施釉                     | 施釉             | 施釉                      | 施釉         | 高台砂付着                             | 126      |
|  | 深緑             | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | 回転ヘラケズリ・施釉<br>蛇目釉剥・回転ナデ | 回転ナデ・施釉・陰刻 | 14C ~15C                          | 127      |
|  | 焦茶色            | 回転ヘラケズリ<br>回転ナデ・施釉     | 施釉             | 回転ヘラケズリ                 | 施釉・陰刻(双魚文) |                                   | 128      |
|  | 橄欖色            | 回転ヘラケズリ<br>回転ナデ・施釉     | 回転ナデ・施釉        | 回転ヘラケズリ                 | 回転ナデ・施釉    | 16C ~17C 末                        | 129      |
|  | 亜鉛華の白          | 回転ナデ・施釉                | 回転ナデ・施釉        | 回転ナデ・施釉                 | 回転ナデ・施釉    | 染付 圏線 17C 末                       | 130      |
|  | 白茶             | 回転ナデ・施釉                | 回転ナデ・施釉        | 回転ナデ・施釉                 | 回転ナデ・施釉    | 染付 圏線 15C ~16C                    | 131      |
|  | 鉛の灰色           | 施釉                     | 施釉             | 施釉                      | 施釉         | 染付 15C ~16C                       | 132      |
|  | 灰白             | 回転ヘラケズリ・施釉             | 施釉             | 回転ヘラケズリ                 | 施釉・蛇目釉剥    | 染付 15C 末~16C 前半                   | 133      |
|  | 褐色             | 施釉・回転ナデ<br>回転ヘラケズリ     | 回転ナデ・施釉        | 回転ヘラケズリ・施釉              | 回転ナデ・施釉    | 内外面白土刷毛塗り後施釉                      | 134      |
|  | 栗色・煙草色         | -                      | 播目・口縁端釉剥ぎ      | -                       | -          | 17C 内面に釉垂れ                        | 135      |
|  | 消炭の色           | 回転ナデ・沈線文・施釉            | 回転ナデ・指頭圧<br>施釉 | ナデ                      | 回転ナデ・施釉    |                                   | 136      |

Tab.22 頭地田口C遺跡 I区 石器観察表-①

| No | 器種           | 石材   | 計 測 値      |           |            |           | 登録番号      | 備 考                                      |
|----|--------------|------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|--|
|    |              |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |           |  |
| 1  | 石鏃           | チャート | (2.5)      | 1.5       | 0.4        | 1.1       | 上段部一括     | 左右両脚末端部を欠失する。先端部にのみ細かな剥離がみられる。リダクションか。   |
| 2  | "            | 黒曜石  | 1.8        | 1.5       | 0.3        | 0.5       | 上段部 D-4一括 | 左脚末端を欠失する。裏面側に素材剥離面を残す。                  |
| 3  | "            | チャート | 2.4        | 1.4       | 0.5        | 1.5       | 上段部 C-5一括 | 左脚部を欠失する。裏面側に素材剥離面を残す。全体的に調整剥離は大まかである。   |
| 4  | "            | チャート | 2.4        | 1.2       | 0.4        | 1.0       | 上段部一括     | 基部を大きく欠失する。両側縁はやや内湾ぎみである。                |
| 5  | "            | チャート | 2.0        | 1.5       | 0.4        | 1.2       | 上段部一括     | 先端部と右脚部を欠失する。表面側左側縁を除き、表裏両面の調整は大まかである。   |
| 6  | 石匙           | チャート | 4.6        | 3.7       | 1.0        | 11.8      | 上段部一括     | 幅広の不整形剥片を素材とする。調整は両側縁の打点部よりに施すノッチ状の加工のみ。 |
| 7  | 楔形石器         | チャート | 3.8        | 2.6       | 0.8        | 8.9       | 上段部一括     | 表裏両面とも上下両端に潰れと剥離痕がみられる。左右両側縁に小剥離痕を観察。    |
| 8  | "            | チャート | 4.2        | 3.0       | 1.5        | 17.4      | 上段部 C-7一括 | 上下両端に対向する潰れと剥離痕がみられる。左側縁に小剥離痕が観察される。     |
| 9  | 二次加工<br>ある石器 | チャート | 2.8        | 2.6       | 0.9        | 7.1       | 上段部一括     | 幅広の不整形剥片を素材とする。調整は右側縁と先端部に認められる。         |
| 10 | "            | チャート | 3.2        | 3.2       | 0.6        | 6.1       | 上段部一括     | 不整形の剥片で打点部は細かな剥離により除去される。石鏃の可能性あり。       |
| 11 | "            | チャート | 2.0        | 4.9       | 1.4        | 13.0      | 上段部 D-5一括 | 表面上部に調整剥離がみられる。                          |
| 12 | "            | チャート | 2.5        | 2.3       | 0.6        | 3.5       | 中段部一括     | 表面両側縁と先端部に調整剥離がみられる。                     |
| 13 | "            | チャート | 4.3        | 3.0       | 1.25       | 13.5      | 上段部一括     | 幅の広い縦長剥片の左右両側縁に細かな剥離がみられる。               |
| 14 | "            | チャート | 3.8        | 3.0       | 9.8        | 10.5      | 中段部 G-4一括 | 縦に長い不整形の剥片。左側縁先端部よりに細かな剥離を施す。スクレイパーか。    |
| 15 | "            | チャート | 4.1        | 2.5       | 1.0        | 14.1      | 上段部 C-3一括 | 不整形の縦長剥片で左側縁中央に調整剥離が施される。                |
| 16 | "            | 頁岩   | 3.2        | 3.7       | 1.0        | 7.2       | 上段部一括     | 表面上端部に調整剥離を施す。右側縁に小剥離痕が観察される。            |
| 17 | "            | チャート | 1.4        | 1.95      | 0.4        | 0.9       | 上段部一括     | 表面左側縁に調整剥離を施す。                           |
| 18 | "            | チャート | 3.1        | 1.7       | 0.7        | 3.3       | 上段部 B-4一括 | ノの字形剥片の右側縁裏面側先端部よりに調整剥離を施す。              |
| 19 | "            | チャート | 4.4        | 3.4       | 0.8        | 13.5      | 上段部一括     | 表面の両側縁に調整剥離を施す。左側縁中央ではノッチ状の調整がみられる。      |
| 20 | "            | チャート | 4.9        | 5.9       | 2.3        | 62.0      | 上段部 D-4一括 | 幅広剥片の表面側先端部に調整剥離を施す。スクレイパーか。             |
| 21 | 使用痕<br>ある剥片  | チャート | 2.3        | 3.9       | 1.0        | 6.5       | 上段部一括     | ノの字形剥片の左側縁に小剥離痕が観察される。                   |
| 22 | "            | チャート | 2.9        | 3.8       | 1.1        | 11.4      | 上段部一括     | 幅広の不整形剥片。左側縁と先端部に小剥離痕が観察される。             |
| 23 | "            | チャート | 3.55       | 2.9       | 0.7        | 3.5       | 中段部一括     | 右側縁から先端部にかけて大きく欠失する。右側縁に小剥離痕が観察される。      |
| 24 | "            | チャート | 2.1        | 3.2       | 0.7        | 2.6       | 上段部一括     | 幅広の不整形剥片。左側縁と先端部に小剥離痕が観察される。左側縁に小剥離痕。    |
| 25 | "            | チャート | 3.4        | 3.6       | 1.3        | 11.4      | 上段部一括     | 表面に大きく節理面を残す。右側縁に小剥離痕が観察される。             |
| 26 | "            | チャート | 6.1        | 5.8       | 2.4        | 78.8      | 上段部表土剥ぎ   | 幅広剥片の左側縁先端部よりに小剥離痕が観察される。                |
| 27 | "            | チャート | 4.9        | 4.4       | 1.2        | 23.5      | 上段部一括     | 左右両側縁と先端部に小剥離痕が観察される。                    |
| 28 | "            | チャート | 3.8        | 3.0       | 1.2        | 10.1      | 上段部一括     | 幅広の縦長剥片。左右両側縁と先端部に小剥離痕が観察される。            |
| 29 | "            | チャート | 3.2        | 3.9       | 1.5        | 12.2      | 上段部 D-5一括 | 不整形の剥片。左側縁に小剥離痕が観察される。                   |
| 30 | "            | チャート | 3.3        | 1.6       | 0.6        | 3.4       | 上段部一括     | 左右両側縁に小剥離痕が観察される。                        |
| 31 | "            | チャート | 3.6        | 2.4       | 1.0        | 7.5       | 上段部一括     | 左側縁に小剥離痕が観察される。                          |
| 32 | "            | チャート | 2.4        | 2.65      | 0.5        | 2.9       | 上段部 C-4一括 | 幅広剥片。右側縁上部と先端部に小剥離痕が観察される。               |
| 33 | "            | チャート | 5.4        | 1.9       | 1.1        | 11.2      | 上段部 C-7一括 | ノの字形剥片。右側縁に小剥離痕が観察される。                   |
| 34 | "            | チャート | 3.7        | 2.4       | 1.1        | 8.0       | 上段部 B-5一括 | 縦に長い不整形の剥片。左右両側縁に小剥離痕が観察される。             |
| 35 | 剥片           | チャート | 4.0        | 5.3       | 1.5        | 23.3      | 上段部一括     | 右側縁上部に小剥離痕が観察される。                        |
| 36 | "            | チャート | 3.1        | 3.0       | 1.2        | 7.4       | 上段部一括     | 表面から周縁を巡り、求心的に剥離を進行させる剥離技術が観察される。        |
| 37 | "            | チャート | 2.6        | 2.6       | 0.8        | 4.6       | 上段部一括     | 剥離方向が90°転移する剥離面構成。多面体を呈する石核からの剥出か。       |
| 38 | "            | 珪質頁岩 | 3.05       | 2.6       | 0.55       | 4.9       | 上段部 B-4一括 | 表裏両面とも同一方向の剥離面。打点部側を欠失する。                |
| 39 | 石核           | チャート | 3.6        | 4.8       | 3.2        | 40.8      | 上段部一括     | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。        |
| 40 | "            | チャート | 3.9        | 4.9       | 3.0        | 39.4      | 上段部一括     | 単設打面から幅広の不定形剥片を剥離する。                     |
| 41 | "            | チャート | 2.6        | 4.4       | 4.4        | 53.6      | 中段部一括     | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。        |

Tab.23 頭地田口C遺跡 I区 石器観察表-②

| No | 器種 | 石材   | 計測値        |           |            |           | 登録番号      | 備考                            |
|----|----|------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------------------------|
|    |    |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |           |                               |
| 42 | "  | 黒曜石  | 5.6        | 4.2       | 3.3        | 87.8      | 中段部一括     | 長軸方向で両極打法による剥片剥離が観察される。       |
| 43 | "  | 黒曜石  | 4.0        | 3.0       | 1.4        | 16.9      | 中段部 G-4一括 | 長軸方向で両極打法による剥片剥離が観察される。       |
| 44 | "  | チャート | 4.2        | 10.2      | 8.8        | 369.1     | 中段部一括     | 剥片を素材とする。主要剥離面を打面とし剥片剥離が行われる。 |
| a  | 磨石 | 砂岩   | 10.6       | 8.5       | 2.8        | 343.0     | 上段部一括     | 縁辺全周に磨痕、潰れ痕あり、稜を形成する。         |
| b  | "  | 砂岩   | 10.2       | 8.2       | 5.7        | 652.0     | 上段部一括     | 上下両端、左右縁辺に潰れ痕。表裏両面中央に磨痕あり。    |
| c  | "  | 砂岩   | 10.5       | 8.4       | 5.8        | 867.0     | 上段部一括     | 表裏両面中央に叩きによる潰れが顕著に認められる。      |
| d  | "  | 砂岩   | 9.8        | 5.3       | 4.6        | 386.0     | 上段部一括     | 上下両端に潰れ痕。                     |
| e  | 台石 | 砂岩   | 21.1       | 16.3      | 6.4        | 2910.0    | SK5009    | 1/2を欠失。表裏両面とも中央に擦れ痕。表面はやや凹。   |
| f  | 磨石 | 砂岩   | 16.3       | 6.4       | 3.7        | 408.0     | 上段部一括     | 中央が大きく凹。叩きによる潰れ。              |

Tab.24 頭地田口C遺跡 II区 石器観察表-①

| No | 器種           | 石材   | 計測値        |           |            |           | 登録番号           | 備考                                       |
|----|--------------|------|------------|-----------|------------|-----------|----------------|--|
|    |              |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |                |  |
| 45 | 石鏃           | チャート | 1.4        | 1.6       | 0.3        | 0.4       | M-5(Ⅱ層)        | 完形。鏃長に比して幅広。左右非対称で扱いは広く浅い。               |
| 46 | 石匙           | チャート | 4.0        | 4.0       | 0.9        | 10.5      | O-6(Ⅲ層)        | 調整加工はつまみ部を中心に施される。表裏両面とも素材剥離面を残す。        |
| 47 | スクレイパー       | チャート | 6.4        | 5.5       | 2.2        | 58.9      | L-5(Ⅲ層)        | ノの字形剥片。左右両側縁に細かな調整剥離を施し、刃部を作出する。         |
| 48 | 石錐           | チャート | 2.7        | 3.0       | 0.5        | 4.5       | 盛土部一括          | 幅広の不整形剥片を素材とする。打点部を除去するように左右両側から調整剥離を施す。 |
| 49 | 楔形石器         | チャート | 2.2        | 2.4       | 0.6        | 4.0       | M-5(Ⅲ層)        | 幅広剥片。上下両端に対向する潰れ痕が観察される。                 |
| 50 | 二次加工<br>ある石器 | チャート | 4.4        | 5.3       | 2.5        | 42.0      | O-5一括          | 幅広剥片。左右両側縁に調整剥離を施す。スクレイパーの可能性あり。         |
| 51 | "            | チャート | 3.6        | 6.6       | 1.5        | 26.7      | 表土剥ぎ一括         | 横広剥片。先端部と左側縁上部に調整剥離が施される。                |
| 52 | "            | チャート | 6.2        | 9.2       | 2.9        | 120.4     | 盛土部一括          | 幅広の不整形剥片を素材とする。先端部に調整剥離を施す。スクレイパーの可能性あり。 |
| 53 | "            | チャート | 3.2        | 2.6       | 0.9        | 7.8       | 盛土部一括          | 縦に長い不整形の剥片。左右両側縁に細かな剥離が施される。             |
| 54 | "            | チャート | 2.9        | 2.8       | 0.8        | 5.7       | 一括             | 不整形剥片。左右両側縁に細かな剥離が施される。                  |
| 55 | "            | チャート | 3.0        | 3.1       | 0.7        | 6.6       | N-6(Ⅲ層)        | 幅広剥片の左右両側縁に細かな調整剥離が施される。                 |
| 56 | "            | チャート | 3.2        | 4.5       | 1.2        | 18.0      | M-8(Ⅲ層)        | 幅広剥片。左右両側縁に調整剥離を施す。                      |
| 57 | "            | チャート | 3.4        | 4.0       | 1.3        | 16.3      | P-5(Ⅲ層)        | 幅広の不整形剥片。打点部を除去するように急斜度の剥離を施す。           |
| 58 | "            | チャート | 4.7        | 2.7       | 1.7        | 18.5      | 盛土部一括          | 幅広の不整形剥片。右側縁に細かな調整剥離が施される。               |
| 59 | "            | チャート | 3.2        | 3.0       | 0.6        | 5.7       | 盛土部一括          | 右側縁～先端部にかけて細かな調整剥離が施される。                 |
| 60 | "            | チャート | 3.1        | 3.8       | 1.1        | 13.7      | 下段部一括          | 幅広剥片。右側縁に細かな調整剥離を施す。                     |
| 61 | "            | チャート | 4.6        | 4.7       | 1.7        | 30.6      | N-1一括          | 幅広の縦長剥片を素材とし、右側縁裏面側に調整剥離が施される。           |
| 62 | "            | チャート | 3.1        | 3.1       | 1.7        | 14.2      | 盛土部一括          | ノの字形剥片。先端部に大まかな調整剥離を施す。                  |
| 63 | "            | チャート | 2.2        | 3.3       | 1.1        | 6.1       | 盛土部(Ⅲb層)<br>一括 | 幅広の不定形剥片。右側縁裏面側に細かな調整剥離を施す。              |
| 64 | "            | チャート | 3.8        | 4.9       | 0.9        | 15.4      | 盛土部一括          | 表裏両面とも周縁に細かな調整剥離を施す。石匙の未完成品か。            |
| 65 | "            | チャート | 3.7        | 2.1       | 0.7        | 5.2       | 一括             | 幅広の不定形剥片。左側縁に調整剥離を施す。                    |
| 66 | "            | チャート | 1.9        | 3.8       | 0.9        | 5.7       | M-5(Ⅲ層)        | 横広剥片。ほぼ全周に調整剥離が施される。                     |
| 67 | "            | チャート | 4.5        | 4.0       | 1.2        | 23.2      | O-6(Ⅲ層)        | 縦に長い不整形の剥片。左右両側縁に細かな剥離が施される。             |
| 68 | "            | チャート | 1.9        | 2.65      | 0.6        | 2.5       | M-5(Ⅱ層)        | 幅広剥片の先端部に細かな調整剥離を施す。                     |
| 69 | "            | チャート | 2.75       | 2.05      | 0.65       | 4.1       | O-5一括          | 幅広の不定形剥片。裏面側全周に細かな調整剥離を施す。               |
| 70 | "            | チャート | 1.3        | 2.4       | 0.4        | 1.8       | N-5一括          | 幅広の不定形剥片。左側縁と先端部に調整剥離を施す。                |
| 71 | "            | チャート | 2.7        | 2.1       | 0.8        | 4.6       | P-7一括          | 幅広の縦長剥片を素材とし、左右両側縁表面側に調整剥離が施される。         |
| 72 | 使用痕<br>ある剥片  |      | 3.9        | 4.1       | 0.7        | 10.1      | 盛土部一括          | 幅広の不定形剥片。左側縁と先端部に小剥離痕が観察される。             |

Tab.25 頭地田口C遺跡 II区 石器観察表一②

| No | 器種          | 石材   | 計 測 値      |           |            |           | 登録番号     | 備 考                                    |
|----|-------------|------|------------|-----------|------------|-----------|----------|--|
|    |             |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |          |  |
| 73 | "           | チャート | 2.8        | 1.5       | 0.45       | 1.8       | 盛土部一括    | 縦長剥片の左右両側縁に小剥離痕が観察される。                 |
| 74 | "           | チャート | 3.0        | 1.9       | 0.6        | 3.6       | 一括       | 縦長剥片の左側縁に小剥離痕が観察される。                   |
| 75 | "           | チャート | 2.8        | 3.0       | 1.8        | 9.7       | 一括       | 幅広の不定形剥片で、打点部より左側を欠失する。先端部に小剥離痕が観察される。 |
| 76 | "           | チャート | 2.5        | 1.3       | 0.4        | 1.6       | P-6(Ⅲ層)  | 縦長剥片の左右両側縁に小剥離痕が観察される。                 |
| 77 | "           | チャート | 2.1        | 2.0       | 0.9        | 3.1       | 盛土部一括    | 幅広の不定形剥片の左側縁裏側に小剥離痕が観察される。             |
| 78 | "           | チャート | 2.9        | 3.9       | 1.2        | 12.5      | 清掃一括     | 幅広の不定形剥片。右側縁と先端部に小剥離痕が観察される。           |
| 79 | "           | チャート | 2.3        | 1.8       | 0.7        | 2.7       | P-6一括    | 不定形の縦長剥片。左側縁に小剥離痕が観察される。               |
| 80 | "           |      | 1.8        | 3.1       | 1.2        | 6.7       | 下段部一括    | 幅広の不定形剥片。左右両側縁と先端部に小剥離痕が観察される。         |
| 81 | 剥片          | チャート | 4.05       | 2.9       | 1.0        | 12.6      | 盛土部一括    | 頻繁に打面転移を行い、剥離された幅広の不定形剥片。              |
| 82 | "           |      | 2.7        | 3.4       | 1.2        | 11.2      | 盛土部一括    | 頻繁に打面転移を行い、剥離された幅広の不定形剥片。              |
| 83 | "           | チャート | 5.9        | 5.3       | 3.6        | 74.4      | 盛土部一括    | 両極打法により剥離された不定形剥片。                     |
| 84 | "           | チャート | 2.1        | 5.9       | 1.8        | 16.1      | 盛土部一括    | 頻繁に打面転移を行い、剥離された幅広の不定形剥片。              |
| 85 | "           |      | 5.1        | 3.8       | 0.8        | 20.1      | 盛土部一括    | 頻繁に打面転移を行い、剥離された幅広の不定形剥片。              |
| 86 | 使用痕<br>ある剥片 | チャート | 1.8        | 2.0       | 0.8        | 2.8       | 上段部一括    | 幅広の不定形剥片。左右両側縁と先端部に小剥離痕が観察される。         |
| 87 | 石核          | チャート | 2.0        | 5.1       | 2.8        | 26.1      | N-2(Ⅲb層) | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 88 | "           | チャート | 2.5        | 5.2       | 3.5        | 39.8      | 表土剥ぎ一括   | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 89 | "           | チャート | 2.4        | 3.2       | 1.5        | 9.7       | 盛土部一括    | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 90 | "           | チャート | 2.6        | 4.1       | 2.5        | 22.8      | 盛土部一括    | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 91 | "           | チャート | 2.4        | 2.7       | 2.3        | 17.2      | 盛土部一括    | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 92 | "           | チャート | 2.1        | 4.6       | 4.0        | 24.5      | 盛土部一括    | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 93 | "           | チャート | 1.9        | 4.4       | 2.4        | 16.1      | 盛土部一括    | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 94 | "           | チャート | 3.0        | 2.6       | 2.9        | 23.2      | N-6攪乱一括  | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 95 | "           | チャート | 3.4        | 3.4       | 1.9        | 22.9      | O-5一括    | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 96 | "           | チャート | 2.3        | 2.2       | 2.5        | 9.2       | 一括       | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 97 | "           | チャート | 2.6        | 3.5       | 3.3        | 19.1      | N-5攪乱一括  | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 98 | "           | チャート | 3.3        | 3.9       | 1.8        | 20.5      | O-5北壁面一括 | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| 99 | "           | チャート | 3.5        | 6.8       | 2.4        | 49.5      | 盛土部一括    | 剥離面を打面として頻繁に打面転移をし、幅広の不定形剥片を剥離する。      |
| g  | 敲打器         | 玄武岩  | 10.2       | 2.9       | 1.8        | 104.0     | N-2(Ⅲb層) | 上下両端に潰れ痕あり。                            |
| h  | "           | 砂岩   | 10.0       | 2.7       | 2.5        | 97.0      | M-7(Ⅲb層) | 右側半分を欠失。上端に潰れ痕あり。                      |
| i  | 磨石          | 砂岩   | 6.4        | 3.6       | 3.2        | 108.0     | N-6(Ⅲ層)  | 表裏両面とも中央に磨痕。周縁に潰れ痕あり。                  |
| j  | "           | 砂岩   | 11.7       | 9.8       | 5.9        | 1017.0    | N-2(Ⅲb層) | 表裏両面とも中央に磨痕。周縁に潰れ痕あり。                  |
| k  | "           | 砂岩   | 10.6       | 9.0       | 6.7        | 887.0     | SK043    | 表裏両面とも中央に磨痕による凹あり。周縁に潰れ痕あり。            |
| l  | "           | 砂岩   | 11.2       | 10.6      | 3.7        | 771.0     | SK3180   | 表裏両面とも磨痕により平滑。周縁に面が形成される。              |

# 頭地田口D遺跡

### 第3節 頭地田口D遺跡の調査

#### 1. 調査の方法と経過 (H16.5.10 — 6.30)

5.10 頭地田口D遺跡調査区横に、作業員用プレハブ倉庫設置。作業員利用用の備品類も納品。

5.11 備品類の整理等の調査準備を実施。

5.17 調査員用のプレハブ設置。

頭地田口C遺跡調査区は少なくとも8月までは埋め戻さず残っているため、現場での確認作業を出来るだけ実施する。昨年度も利用していたプレハブについて、今年度も賃貸する契約が整ったため、現地において引き渡しを受けた。

5.24 頭地田口D遺跡表土剥ぎ開始。調査区中央にある旧住宅のコンクリートの除去作業を実施。本格的な表土剥ぎ作業には至らなかった。コンクリート基礎は分厚く、撤去にかなり手間取った。更に、産廃として排出するために、コンクリートに鉄筋が含まれている部分と、そうでない部分に分けなければならず、撤去したコンクリートをバックフォアのバケツで打ち砕く作業も実施した。

5.25 表土剥ぎ2日目。測量作業実施。昨日撤去したコンクリート基礎周辺の盛土(礫)を撤去。その後、本格的な表土剥ぎへ移行。表土剥ぎの最初に、調査区北西隅をバックフォアにより1カ所深掘を実施した。この土層断面を確認して、土層の状態を確認した。遺物包含層である淡黒色土層は調査区の北側付近に残るが、南側へいくにつれて薄くなっているようである。4級基準点設置のための選点作業を実施した。

5.26 表土剥ぎ3日目。調査区の北側付近から南側方向へ向け、重機により表土を除去。ただし、南側付近は表土を除去すると礫層となり、包含層は残存していない状況である。全体の2/3程度の面積の表土剥ぎが終了した。

5.27 表土剥ぎ4日目、終了。昨日に引き続き表土剥ぎを実施。表土剥ぎが終了していなかった南側付近の東端付近について作業を実施。昨日までの予想どおり、包含層の残存状況は、南側へいくにつれて悪くなる。廃土及びコンクリート、礫等については、廃土場の中でコンクリート、鉄筋入りコンクリート、樹根、廃土に分別した。

5.28 昨日までに表土剥ぎが終了したので、調査区境界部分の断面、深掘トレンチの断面、表土剥ぎ後の調査区の土色等から調査区内の土層を検討した。表土剥ぎ時に考察したとおり、遺物包含層(黒色土)は北側付近にやや厚く残存する。南側付近は旧地形としては高まりであったらしく、現地表レベルにおいて、既に削平されているようである。

5.31 明日からの現場作業開始に備えて、各種道具の確認等も実施。

6.1 04年度、作業員導入初日。午前、資料室から搬出した機材は昼前に到着したので、機材整理も実施。作業については、最初調査区周辺の草むしり等を実施した後、全体をジョレン清掃した。併せて、調査区周辺(境界)部分の壁面を清掃して土層断面を観察した。

6.2 メッシュ杭設置作業。全体の土層把握のため、調査区境界の土層断面を確認しているが、同時に試掘坑を掘削し、土層断面を確認しようと試みている。全体での、包含層の掘削に入った。ただし、流れ込んでいる包断層と、試掘で出土した円筒形条痕文土器が出土する包含層が明確に区別できる状態でないため、明日以降土層の把握を重視して、掘削も実施する予定。

6.3 昨日に引き続き、包含層を掘削。最上層の淡黒色土(カーボン粒子含む)からは、青磁・土師器等の中世の遺物が出土するが、一部近世陶磁器も認められる。これが上層からの混入として、この包含層が中世のプライマリーなものかを今後、判断しなければならない。調査区の全景と調査区から見た周辺地形の撮影を実施した。

6.4 午後から現場作業は休み。調査区内の土層を検討した。その際に出土遺物も同時に確認し図面と写真整理も併せて実施した。

6.7 先週までの作業を継続し、包含層の掘削を実施。部分的であるが、縄文時代の石匙や黒曜石製剥片等が出土した。層位的には、中世陶磁器等が出土する上層の包含層と分層出来るかもしれない。ただし、石匙等が出土した地点については、上層が削平されており、明確に層位を把握することは困難であった。

6.8 朝からの雨のため、作業は中止。現場の安全管理については、朝一番に実施した後、定期的にも実施した。

6.9 引き続き、調査区全域の包含層の掘削作業を実施。最上層の淡黒色土(カーボンを多量に含む)層については、縄文～近世陶磁器、一部現代の遺物を含む。プライマリーな包含層とは認識できない。

6.10 昨日に引き続き、包含層の掘削。包含層(?)については、次のとおり認識出来る。

表土下の淡黒色粗砂層については、流れ込み(または客土層)と考えられる。遺物のみの取上げで良いと思われる。次の淡褐色粗砂層については淡黒色粗砂層の下に部分的に残っているのみである。ただし、今のところ現代の遺物は含まないため、プライマリーな包含層であるかも知れない。しかし、縄文～中世の遺物を含むため、その時期は最大遡っても中世(14c頃)であろうか。この層については、もう少し検討が必要である。

6.11 台風4号の影響による雨で作業中止。朝のうちは豪雨であったため、現場及び周辺の安全管理を行った。図面、写真整理を行う。

6.14 調査については、調査区全体の包含層掘削を継続。専門調査員 松本寿三郎先生来跡、頭地地区の歴史的環境について以下のとおりご教示いただいた。

- ・昨年度調査した頭地田口C遺跡の位置については、当時の集落の中心であろう。
- ・その立地する場所は、土層の堆積も良好で通常の河川沿いでみられる氾濫原のような状況ではない。良好な場所を選んだのだろう。
- ・頭地田口D遺跡のすぐ脇のお堂、石碑、銀杏の木、墓地のセットは、その場所が集落の中心地であったことを示すものである。また石碑については、元禄の年号が刻まれており、遺跡(集落)との関係(時期も含めて)は興味深い。

6.15 包含層掘削を継続。遺物を取り上げる。基本的に流れ込みであると判断したため、グリッドごとに取り上げることとした。層位については、I層(表土、客土)、II層(淡黒色粗砂、カーボン粒子を多量に含む)、III層(淡褐色粗砂)、IV層(灰褐色礫混じり粗砂)とした。

6.16 昨日に引き続き、調査区全体において包含層の掘削を実施する。現在、掘削している包含層はIII層

(淡褐色粗砂)である。土師器、須恵器、陶磁器が出土する。包含層の時期については、ある一時期に限定できない。上限は陶磁器の時期であり、近世と考えざるを得ない。

6.17 継続して包含層の掘削を行う。茶褐色礫混じり粗砂層(IV層)の掘削へ移行した。このIV層は、いわゆる地山層と認識していたが、上部に若干の遺物が入ると判断して「包含層」=IV層とした。調査区内の土層の大まかな概要は次のとおりである。

I層:表土、客土

II層:淡褐色粗砂(カーボン粒子を多量に含む)

III層:淡褐色粗砂

IV層:茶褐色礫混じり粗砂

V層:暗赤褐色粗砂

なお、III層とIV層の間において遺構は確認されない。また、IV層からは縄文土器、石器、土師器、須恵器が出土している。今のところ近世陶磁器は確認されず、やや古い時代の包含層である可能性も考えられる。

6.18 昨日に引き続き、調査区全体において包含層の掘削を行う。

6.21 台風の影響を考慮して、現場作業を中止した。プレハブや現場等の保全を行った。

6.22 包含層の掘削を行った。茶褐色礫混じり粗砂層(IV層)の掘削を実施したが、先週までの掘削時に比べて遺物の出土量が少なくなったようだ。遺構と思われるものもまだない。

6.23 昨日に引き続き、茶褐色礫混じり(IV層)の掘削を行う。遺物の出土もほとんどない。

6.28 作業は中止。図面のチェック整理及び写真整理と図面台帳の作成を実施。

6.29 先週に引き続き、調査区に残っている遺物包含層の掘削を実施。出土遺物は、縄文土器、陶磁器等がごく僅か出土するのみである。調査区の中央部と南端及び西端部分に下層確認用のトレンチ掘削を実施。

6.30 昨日に引き続き、深堀トレンチを掘削。下層は、砂利及び拳大の礫を多量に含む層で、遺物は含まないことを確認した。頭地田口D遺跡の掘削作業は本日で終了。調査区西端の深堀トレンチにおいて土層断面の実測作業を行った。

## 2. 調査の組織

### 【平成16年度・本調査】

発掘調査主体 熊本県教育委員会  
調査責任者 成瀬烈大（文化課長）、島津義昭（教育審議員・課長補佐）  
調査総括 高木正文（主幹・文化財調査第1係長）  
調査事務 小田信也（教育審議員・課長補佐）、欄杭正義（主幹・総務係長）、天野寿久（主任主事）、杉村輝彦（主事）  
調査担当 帆足俊文（主任学芸員）、松尾茂（嘱託）

### 【平成23年度・整理事業】

発掘調査主体 熊本県教育委員会  
調査責任者 小田信也（文化課長）、川上勝美（課長補佐）  
調査総括 村崎孝宏（文化財調査第1係長）  
調査事務 水元敬浩（主幹・総務係長）、山田京子（参事）、松島英樹、天草英子（主任主事）  
調査担当 村崎孝宏（文化財調査第1係長）、戸田紀美子（嘱託）、藤本香織、中村正子、木村ゆり子、高田清香、中村典子、本田頼子、井上真優、樋脇逸子、吉本裕美（臨時）

### 【平成24年度・報告書作成】

発掘調査主体 熊本県教育委員会  
調査責任者 小田信也（文化課長）、西住欣一郎（課長補佐）  
調査総括 村崎孝宏（文化財調査第1係長）  
調査事務 川上勝美（課長補佐）、中津幸三（課長補佐兼総務・助成担当）、松尾康延（参事）、稲本尚子（参事）、天草英子（主任主事）  
調査担当 村崎孝宏（文化財調査第1係長）、戸田紀美子、築出直美（嘱託）、藤本香織、中村正子、木村ゆり子、高田清香、樋脇逸子（臨時）

### 3. 調査の成果

頭地田口 D 遺跡の調査面積は約850㎡である。遺物包含層はⅢ層とⅣ層の2層確認された。それぞれから縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器が出土した。縄文時代、古墳時代、古代、中世、近世の時期にわたり、両層から均等な量の遺物が出土した。遺構については、地形的な状況もあり検出できなかった。2層の遺物包含層を掘削した後、調査区内の地形測量と土層記録を実施した。その後、調査区を含めた周辺地形の空中写真撮影を実施して、発掘調査を終了した。

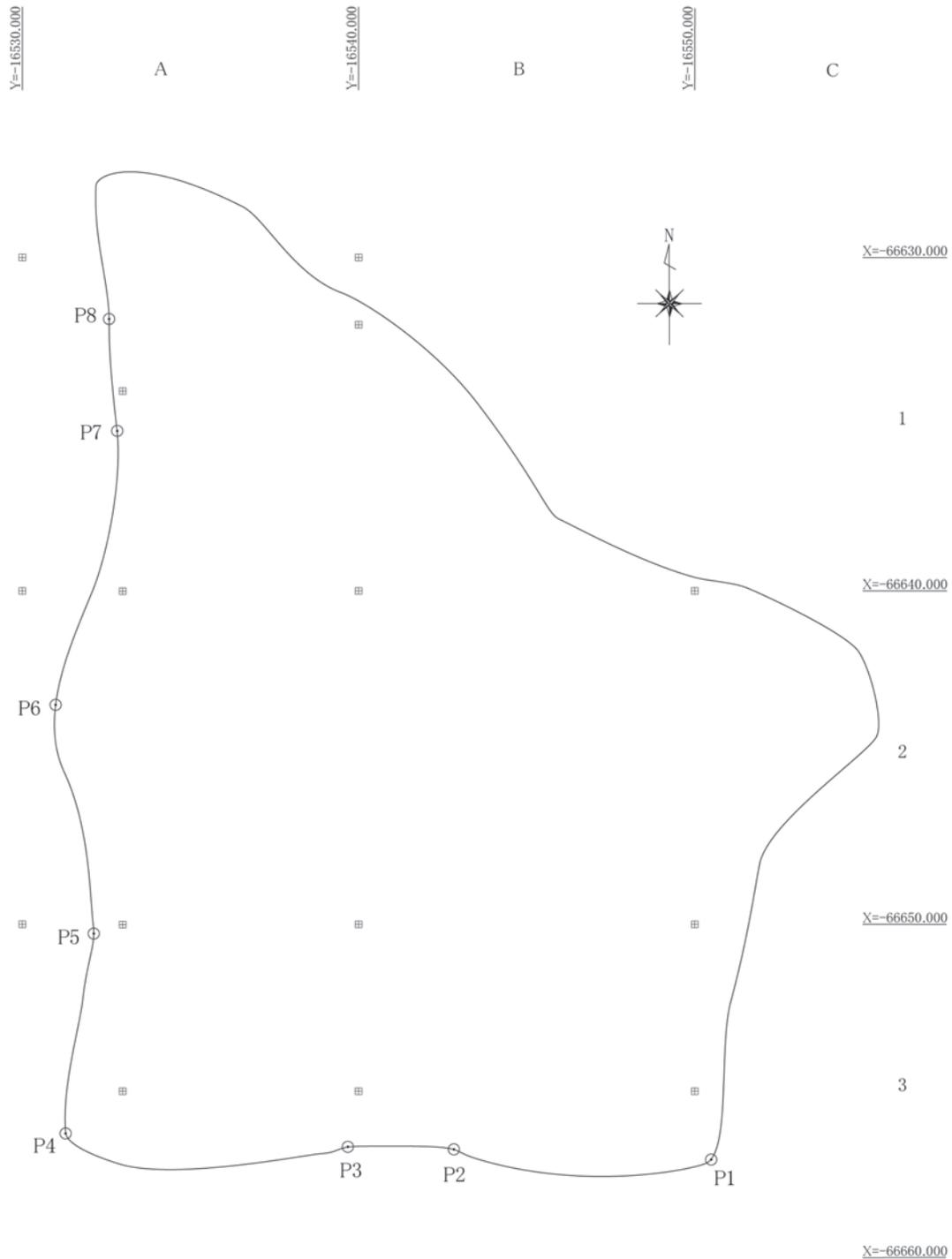
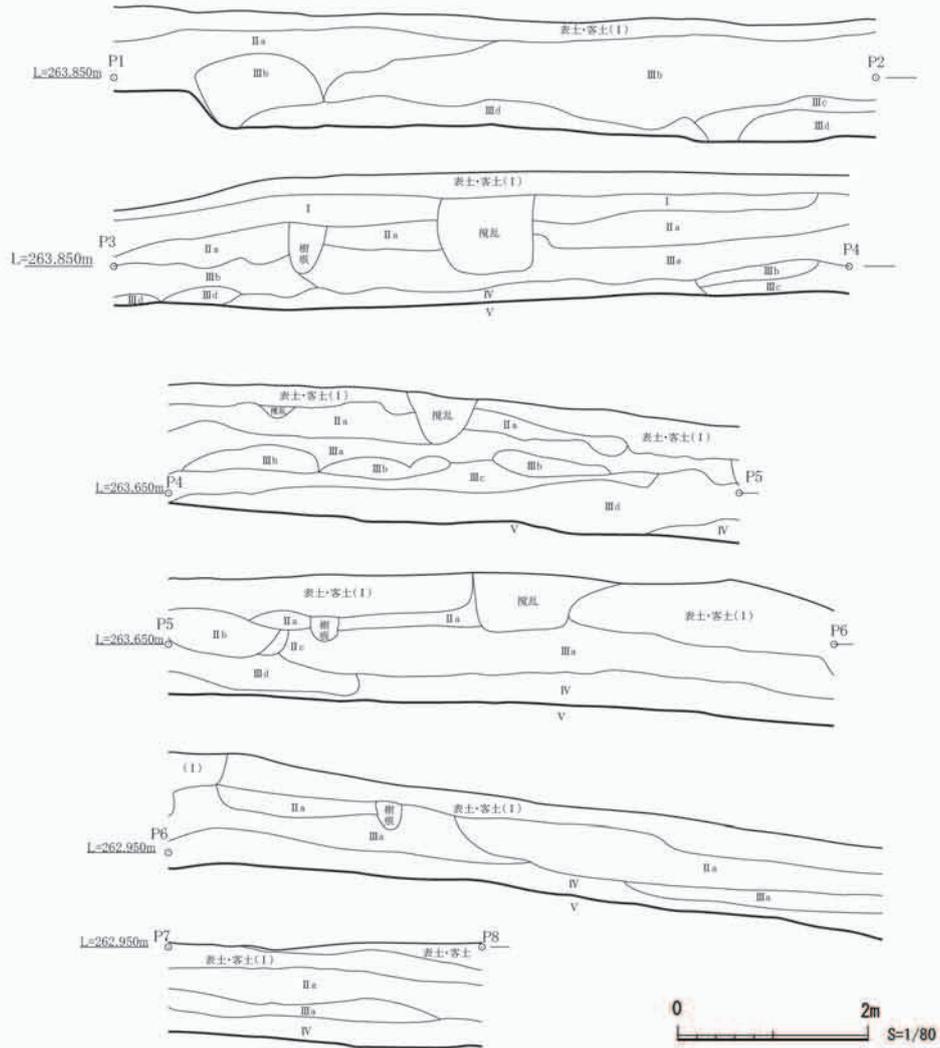


Fig.150 頭地田口 D 遺跡 調査区全体図 (S=1/200)



- I Hue10YR 4/3 (にぶい黄褐色) 表土・客土  
3~5cm大の小礫(西側の岩山からの崩落流入による)を多量に含む
- IIa Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
Ah火山灰の粒子らしき黄褐色粗砂を含む(Ahは2次堆積である)  
1~3cm大の小礫(角がとれた丸い礫)を若干含む
- IIb Hue10YR 3/4 (暗褐色) 粗砂  
15~20cm大の角がとれた丸い礫を多量に含む(礫層と言って良い)
- IIc Hue10YR 3/3 (暗褐色) 粗砂  
しまりは無いが、礫等の混入物は殆んどない  
1cm前後の礫の破片をこくわずかに含む
- IIIa Hue10YR 3/4 (暗褐色) 粗砂  
5~20cm大の礫を多量に含む。西側又は南側から流入してきた堆積層
- IIIb Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂  
IIIa層と類似  
5~20cm大の礫を多量に含む。西側又は南側から流入してきた堆積層
- IIIc Hue2.5Y 4/3 (オリーブ褐) 細砂  
1~3cm大の丸みを帯びた小礫を少量含む  
水の営力により、短時間に流れて堆積した砂層である
- IIId Hue10YR 4/4 (褐) 粗砂礫層  
1~3cm大の丸みを帯びた小礫と5~10cm丸みを帯びた礫を同じ量含む  
2種の礫により層中の8割程度に礫を含む  
水の営力により、短時間に流れて堆積
- IV Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂  
しまりの無いミサバサした層 礫はあまり含まない
- V Hue10YR 4/6 (褐) 粗砂  
10~30cm大の礫を多く含む層

Fig.151 頭地田口 D 遺跡 調査区土層断面実測図



Fig.152 頭地田口D遺跡 調査区出土遺物実測図

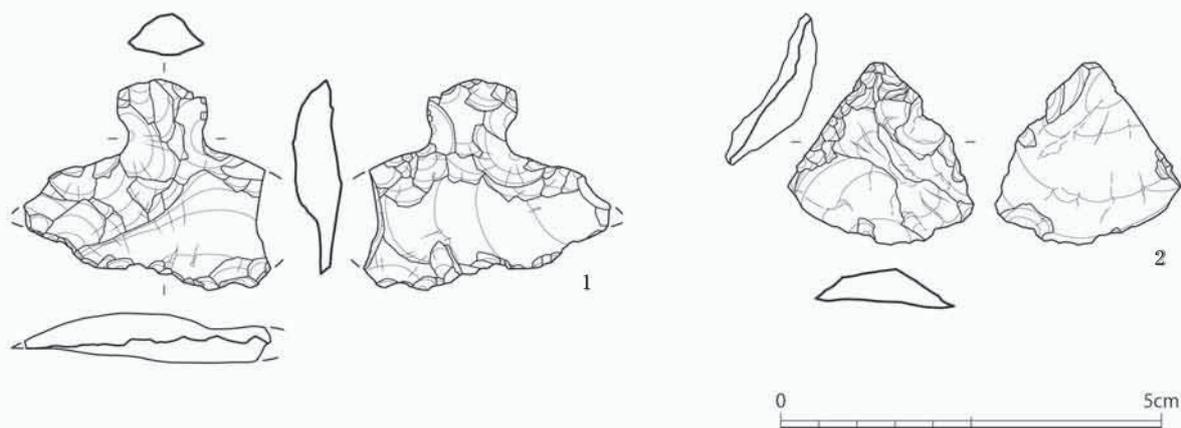


Fig.153 頭地田口D遺跡 調査区出土石器実測図-①

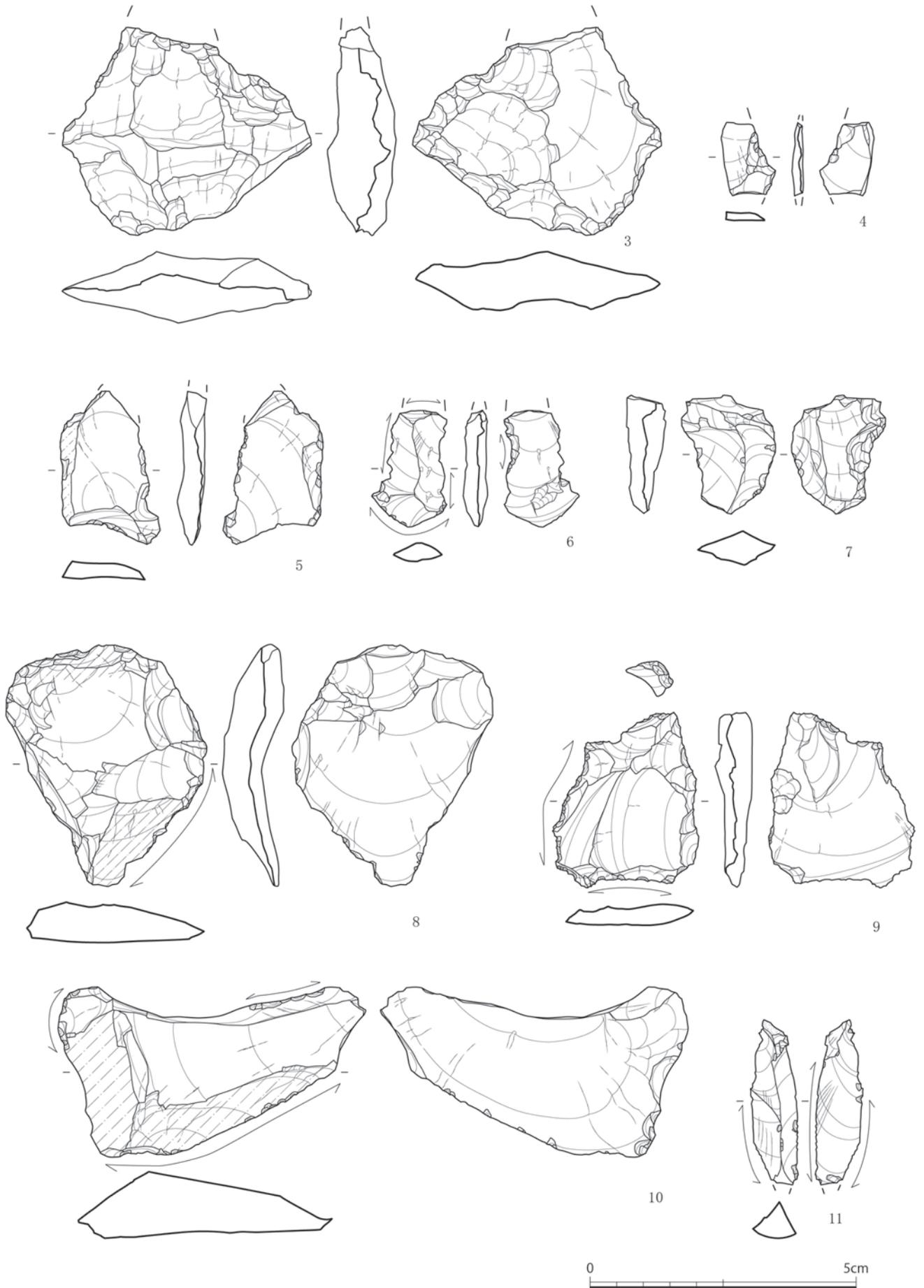


Fig.154 頭地田口D遺跡 調査区出土石器実測図-②

頭地田口D遺跡

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 遺構番号 | 出土地点 |                | 種別  | 器種 | 法量 (cm) |       |      |        | 色調           |              |
|------|---------|--------|------|------|----------------|-----|----|---------|-------|------|--------|--------------|--------------|
|      |         |        |      | 層    | 注記             |     |    | 口径      | 底径    | 最大胴径 | 残存高    | 外面           | 内面           |
| 1    | 152     | 35     | 調査区  | IV層  | C-1G No219.233 | 土師器 | 壺  | (10.4)  | -     | -    | (2.6)  | 浅黄橙7.5YR8/4  | 浅黄橙7.5YR8/4  |
| 2    |         |        | 調査区  | IV層  | B-2G .No150    | 土師器 | 甕  | -       | -     | -    | (4.3)  | にぶい黄橙10YR6/4 | 黒5Y2/1       |
| 3    |         |        | 調査区  | II層  | B-2G           | 土師器 | 甕  | -       | -     | -    | (9.3)  | にぶい黄橙10YR7/2 | にぶい黄橙10YR7/3 |
| 4    |         |        | 調査区  | IV層  | B-1G           | 土師器 | 甕  | (15.6)  | -     | -    | (10.0) | 灰白10YR8/2    | 灰白10YR8/2    |
| 5    |         |        | 調査区  | IV層  | B-1G No67      | 須恵器 | 甕  | -       | -     | -    | (4.2)  | 灰色 N5/       | 灰色5Y4/1      |
| 6    |         |        | 調査区  | III層 | C-2G           | 土師器 | 甕  | (31.0)  | -     | -    | (9.6)  | 橙7.5YR7/6    | 橙7.5YR7/6    |
| 7    |         |        | 調査区  | IV層  | B-2G           | 土師器 | 椀  | (14.8)  | -     | -    | (3.8)  | にぶい黄橙10YR7/4 | にぶい黄橙10YR7/4 |
| 8    |         |        | 調査区  | IV層  | B-2G           | 土師器 | 杯  | -       | 6.8   | -    | (2.8)  | 灰白2.5Y8/2    | 灰白2.5Y8/3    |
| 9    |         |        | 調査区  | III層 | B-2G No134     | 土師器 | 碗? | -       | (6.5) | -    | (3.6)  | にぶい黄橙10YR7/3 | 浅黄橙10YR8/4   |
| 10   |         |        | 調査区  | III層 | B-2G           | 土師器 | 甕  | -       | -     | -    | (4.5)  | にぶい黄橙10YR7/3 | にぶい黄橙10YR6/3 |

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 産地 | 出土地点 |      | 部位      | 法量 (cm) |     |       |     | 色調 |  |
|------|---------|--------|------|----|----|----|------|------|---------|---------|-----|-------|-----|----|--|
|      |         |        |      |    |    |    | 層    | グリッド |         | 口径      | 底径  | 器高    | 高台高 | 胎土 |  |
| 12   | 152     | 35     | 調査区  | 磁器 | 皿  | 肥前 | -    | C-1  | 口縁部から高台 | (10.5)  | 3.8 | 2.6   | -   | 白茶 |  |
| 13   |         |        | 調査区  | 白磁 | 碗  | -  | -    | B-2  | 口縁部     | -       | -   | (2.0) | -   | 白茶 |  |

Tab.28 出土遺物 (土製品) 観察表

| 遺物番号 | Fig No. | PL No. | 遺構番号 | 出土地点 |           | 種別  | 器種 | 法量 (cm) |         |         |        |       | 色調           | 胎土  | 残存状況    | 備考 |
|------|---------|--------|------|------|-----------|-----|----|---------|---------|---------|--------|-------|--------------|-----|---------|----|
|      |         |        |      | 層    | 注記        |     |    | 全幅 (cm) | 全幅 (cm) | 孔径 (cm) | 厚 (cm) | 重 (g) |              |     |         |    |
| 11   | 152     | 35     | 調査区  | II層  | B-2G No84 | 土製品 | 土錘 | (4.4)   | 1.0     | 0.3     | 1.0    | 4.5   | にぶい橙7.5YR7/4 | 微砂粒 | 一方の端部欠損 |    |

Tab.26 出土遺物(土師器・須恵器)観察表

| 胎土                        | 調整         |                         |                      |         | 残存状況        | 備考                | 遺物番号 |
|---------------------------|------------|-------------------------|----------------------|---------|-------------|-------------------|------|
|                           | 外器面        | 内器面                     | 外底面                  | 内底面     |             |                   |      |
| 雲母・微砂粒・赤色酸化粒              | 回転ナデ       | 回転ナデ                    | -                    | -       | 口縁～頸部上位1/6  | 内外面に赤彩            | 1    |
| 長石・石英・角閃石・雲母<br>黒色砂粒      | 横ナデ・ハケ目    | 横ナデ・ヨコナデ後<br>ヘラケズリ      | -                    | -       | 口縁部破片       | 内面全体・外面部分的に<br>黒斑 | 2    |
| 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒・赤色酸化粒 | 横ナデ・ハケ目    | ハケ目・ヘラケズリ               | -                    | -       | 口縁部破片       |                   | 3    |
| 角閃石・砂粒                    | 横ナデ・ナデ(摩耗) | 横ナデ・ヘラケズリ               | -                    | -       | 口縁部～体部下位1/4 |                   | 4    |
| 微砂粒                       | 横ナデ・平行タタキ  | 横ナデ・ナデ・同心円<br>当て具痕・指頭圧痕 | -                    | -       | 頸部～肩部破片     |                   | 5    |
| 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒・赤色酸化粒 | 横ナデ・ハケ目    | 横ナデ・ハケ目後<br>ヘラケズリ       | -                    | -       | 口縁部1/8      |                   | 6    |
| 微砂粒・赤色酸化粒                 | 横ナデ        | 横ナデ                     | -                    | -       | 口縁部～体部1/4弱  |                   | 7    |
| 微砂粒                       | 横ナデ        | 横ナデ                     | ヘラ切り                 | ナデ      | 体部下位1/3～底部  | 外面に煤付着            | 8    |
| 長石・石英・角閃石・雲母              | 摩耗の為調整不明   | ナデ・指頭圧痕                 | 不定方向の圧痕<br>摩耗のため詳細不明 | ナデ・指頭圧痕 | 底部          |                   | 9    |
| 長石・石英・角閃石・雲母<br>微砂粒       | タタキ        | ナデ後ヘラケズリ<br>指頭圧痕        | -                    | -       | 底部破片        |                   | 10   |

Tab.27 出土遺物(陶磁器)観察表

| 色調 | 釉調                 | 調整      |         |            |         | 備考                     | 遺物番号 |
|----|--------------------|---------|---------|------------|---------|------------------------|------|
|    |                    | 外器面     | 内器面     | 外底面        | 内底面     |                        |      |
| 灰白 | 回転ヘラケズリ<br>回転ナデ・施釉 | 回転ナデ・施釉 | 回転ナデ・施釉 | 回転ヘラケズリ・施釉 | 回転ナデ・施釉 | 高台・内面目あと3ヶ所 1610～1630w | 12   |
| 白茶 | 回転ナデ・施釉            | 回転ナデ・施釉 | -       | -          | -       | 12C～13C                | 13   |

Tab.29 頭地田口D遺跡 石器観察表

| No. | 器種           | 石材   | 計測値        |           |            |           | 登録番号      | 備考                                   |
|-----|--------------|------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|--------------------------------------|
|     |              |      | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) |           |                                      |
| 1   | 石匙           | 黒曜石  | 2.8        | (3.2)     | 0.7        | 3.9       | B-2(Ⅱ層)   | 刃部右側を欠失する。表裏両面とも素材剥離面を大きく残す。         |
| 2   | 二次加工<br>ある石器 | チャート | 2.3        | 2.2       | 0.6        | 2.6       | B-1(Ⅱ層)   | 表面の左右両側縁に二次加工を施す。石鐮の未完成品か。           |
| 3   | 〃            | チャート | 3.9        | 4.7       | 1.1        | 18.1      | C-2(Ⅱ層)   | 裏面側の周縁に二次加工を施す。                      |
| 4   | 〃            | チャート | 1.4        | 1.0       | 2.2        | 0.4       | B-2(Ⅱ層)   | 表面の右側縁に二次加工を施す。                      |
| 5   | 〃            | チャート | 2.9        | 1.8       | 0.46       | 2.5       | B-2(Ⅳ層)   | 左右両側縁に二次加工を施す。ノッチ状の調整もみられる。石匙の未完成品か。 |
| 6   | 〃            | 黒曜石  | 2.2        | 1.4       | 0.35       | 1.1       | C-2(Ⅱ層)   | 縦長剥片の右側縁裏面側に二次加工を施す。                 |
| 7   | 〃            | 黒曜石  | 2.2        | 1.8       | 0.7        | 2.4       | B-2(Ⅲ層)   | 左側縁裏面側に二次加工を施す。                      |
| 8   | 〃            | チャート | 4.6        | 3.8       | 1.1        | 15.6      | C-2(Ⅲ層)   | 裏面側にバルブを除去するように大まかな剥離を施す。            |
| 9   | 使用痕<br>ある剥片  | チャート | 3.3        | 2.7       | 0.4        | 5.4       | B-2(Ⅳ層)   | 幅の広い不整形の剥片。左側縁と先端部に小剥離痕が観察される。       |
| 10  | 〃            | チャート | 3.2        | 5.8       | 1.5        | 21.6      | B-1(Ⅳ層)   | 横広剥片の左側縁と先端部に小剥離痕が観察される。             |
| 11  | 〃            | 黒曜石  | 3.2        | 0.9       | 0.7        | 1.8       | C-2(Ⅳ層)   | 縦長剥片の左側縁先端部より小剥離痕が観察される。             |
| a   | 磨石           | 砂岩   | 23.4       | 11.9      | 9.7        | 3795.0    | C-1.2(Ⅱ層) | 2点を接合。上下両端に叩きによる潰れ痕。表裏両面に磨痕。         |
| b   | 〃            | 〃    | 13.3       | 6.6       | 5.3        | 704.0     | C-2(Ⅲ層)   | 2点を接合。上下両端と側縁部に叩きによる潰れ痕。             |



頭地田口D遺跡 石器

## 第三章 総括

### 第1節 金川遺跡

当該地区での発掘調査は、工事用の土砂が仮置きされていたために、事前の試掘・確認調査が実施できていない範囲が広く存在している。今回は、試掘・確認調査を実施することができた一部の範囲について、その結果に基づき発掘調査を実施した。そのため、今回の報告内容は、当該地に残された遺跡の一部であり、大半が現在も現地に保存されている。

急峻な山間を流れる川辺川流域には、川沿いに形成された低位段丘上に遺跡が点在する。これは、近年まで存在した集落地の立地と共通する。大平遺跡や逆瀬川遺跡などがそれである。また、これらの遺跡群と異なりより標高の高い山間の丘陵上に立地する野々脇遺跡、頭地田口A遺跡などの遺跡群もみられる。両者の遺跡が形成された時期は、前者が縄文時代前期以降であるのに対して、後者は後期旧石器時代から縄文時代早期である。この両者の遺跡立地の違いは、集落、集団が営む生業の違いを反映していることは明確である。

今回調査を実施したI-A区とI-B区において出土した土器の内面は、条痕による調整を施すものが大半を占める。外面の施文の在り方から条痕文を地紋とする一群（I類）と縄文を地紋とする一群（II類）、ナデによる丁寧な器面調整がみられるもの（III類）に分類できる。両者はさらに、地紋のみのもの（a）、微隆起線文を添付するもの（b）、連続する刺突文を押し引き状に横走、あるいは波状に施すもの（c）、沈線文を横走あるいは波状に施すもの（d）、凹線文を施すもの（e）に細分できる。

I a類（15,24,35～39,69,73,78,89,90,94,107,110,111,114,115,118,126,127）、I b類（8,13,28～34,80,121）には、やや外反ぎみに広がるもののみで口縁部がキャリパー状を呈するものは認められない。これに対して、I c類（1～7,11,46,50～55,57,59,91,97,120,122～124）、I d類（22,23,27,47～49,56,58,60,63,64,70,74,99,100,103）には、口縁部の形状がキャリパー状を呈するものと、やや外反ぎみに広がるものとの両者が認められる。同様に口縁部の形状がキャリパー状を呈するものと、やや外反ぎみに広がるものとの両者が認められるのがII b類（9,10,12,41～45,119,128,129）である。II b類のような形態的特徴を示す土器群は、船元式系土器に比定できる。また、II a類（17,18,71,72,75,77,95,142）は縄文のみを施す胴部破片であり、地紋の上から施される加飾が上半部、口縁部付近に集約される型式的特徴から、船元式系土器の胴部破片と考えることが妥当であろう。これらのことからI c、d類とII a、b類とは型式学的に類縁性が認められ、縄文による地紋を条痕文に置換した土器群と理解することが可能であろう。

これらのほか、I d類のうちで内面に貝殻条痕が観察される一群については、轟式系土器の可能性が指摘できる。また、III e類（139～141,145,146,148）は、阿高式系土器である。

このように、当該遺跡は土器型式の在り方から前期中葉～後期初頭に位置づけられる。その中心は、船元式土器様式が南九州地域において受容される中で変化した船元式系春日式土器の時期である。

出土した石器類は、石鏃と石匙の比率が多く、二次加工のある不定形石器には両者の未成品と考えられる資料が多く含まれている。特に石鏃の形状にはバリエーションが認められ、側縁部が鋸歯状をなすものとならないものに細分できる。また、自然石を左右対称に打ち欠いた石錘も出土しており、河川に近接して遺跡が営まれた立地環境から、狩猟と漁労を中心とした集落の生業の在り方を反映するものと考えられる。

このように、野々脇遺跡などの山間の丘陵上に立地する縄文時代早期の遺跡では、食料生産の在り方が狩猟と植物質食料の採集を中心とした段階から、漁労活動が付加されたことを示すものと理解される。

また、当該遺跡の石材利用の在り方は、河川流域や河床で採取可能なチャートに偏在し、黒曜石の利用は少ない。チャートは遺跡周辺で容易に採取できるため、多くの石核や粗割された厚みのある大振りな剥片が大量に出土し、石器生産地としての様相も看取される。しかし、当該地の発掘調査が全域で実施されておらず、遺

物の分布状況や遺構の在り方など遺跡の全体像を把握する基礎的なデータが不足している。そのため、遺跡内における調査区の在り方、場の機能等についての詳細は不明である。

今回調査を実施したA区とB区では、土器型式に違いが認められた。甕式系、船元式系土器を中心とするA区と阿高式系土器が出土したB区との違いが遺跡形成の上でどのように理解できるかは、今後の課題である。

## 第2節 頭地田口C遺跡

頭地田口C、D、下手遺跡が所在する地域は、川辺川合流点から東側に位置し「東俣」と呼称される村落にあたる。なお、久領遺跡が所在する対岸は、「西俣」と呼称される。旧国道445号は、人吉から砥用方面に通じる主要ルートである。また、一方、川辺川合流点より西側へは八代郡氷川町に通じるルートが存在する。この両ルートの分岐点にあたる頭地地区は、古来より交通の要衝として重要な位置を占めてきた。この地域を統括する地頭や庄屋は、為政者から特権的な待遇をうけていたことが知られている。

江戸時代の相良藩政下においては、東俣と西俣にそれぞれ庄屋が置かれ、統治していたとされる。当該地域「東俣」は、「庄屋元」と呼ばれる田口地区の地頭である「渡辺右エ門」が統治していたとする記録がみられ、その屋敷地は田口の旧診療所跡地に比定されている。江戸時代の田口地区の庄屋元の屋敷や街道の位置などについては、文化12(1815)年の絵図『五木谷村絵図』にみることができる。

今回の調査において、縄文時代から近世に至るまでの遺構・遺物が検出された。しかし、当該遺跡I、II区とも土層堆積の層厚は薄く、確認できた建物遺構以外にも多くの土坑や小穴、攪乱が存在するため、中～近世以前の遺構の残存状況は良好とは言えない。40軒の掘立柱建物跡と2基の墓塚をはじめとして、検出された遺構と出土遺物の大半は中～近世に属するものである。これらの建物遺構の中には、柱穴に柱痕跡が残るものが多く、中には柱穴の底面に扁平な礫を敷き柱の沈み込みを防ぐ工夫を施したものが認められた。当該地にあった診療所周辺が、頭地田口に置かれた庄屋元の屋敷に比定されていることから、大型建物を伴うA群がそれにあたる可能性は高い。17世紀末～18世紀後半の肥前系陶器の碗や皿が中国産の磁器碗とともに出土している。B群では18世紀代の波佐見焼の染付が出土している。

その他の陶磁器については、建物群との関係性を明確にし得なかったため、当該地の遺跡形成の時期を類推するにとどめる。I区では、15世紀末～16世紀の景德鎮窯の白磁皿や青磁碗、18世紀後半～19世紀の内野山

Tab.30 頭地田口C遺跡 検出建物遺構の重複と先後関係

|                | 建物群                           | 重複する建物遺構                   | 建物と切り合いと先後関係                   |
|----------------|-------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| I区             | A SB021～SB024                 | SB021. SB022               | SB021 ⇒ SB022                  |
|                | B SB026～SB031                 | SB027. SB028               | 切り合い関係なし                       |
| II区            | C SB001～SB006<br>SB003        | SB001. SB002. SB005. SB008 | SB002 ⇒ SB001                  |
|                |                               |                            | SB003 ⇒ SB005                  |
|                |                               |                            | SB004 ⇒ SB003                  |
|                |                               |                            | SB004 ⇒ SB008                  |
|                | D SB009～SB011<br>SL042        | SB009. SB010. SB011        | 切り合い関係なし<br>* SL042はSB011の付帯施設 |
|                | E SB013～SB015<br>SB018. SB019 | SB013. SB014. SB015. SB019 | SB013 ⇒ SB015                  |
|                | F SB012. SB016. SB020         | SB012. SB016. SB020        | 切り合い関係なし                       |
|                | G SB033～SB035                 | SB033. SB034. SB035        | 切り合い関係なし                       |
|                | H SB037. SB038. SB040         | SB037. SB038               | 切り合い関係なし                       |
| I SB036. SB039 | 重複なし                          | 切り合い関係なし                   |                                |
| J SB032        | 重複なし                          | 切り合い関係なし                   |                                |

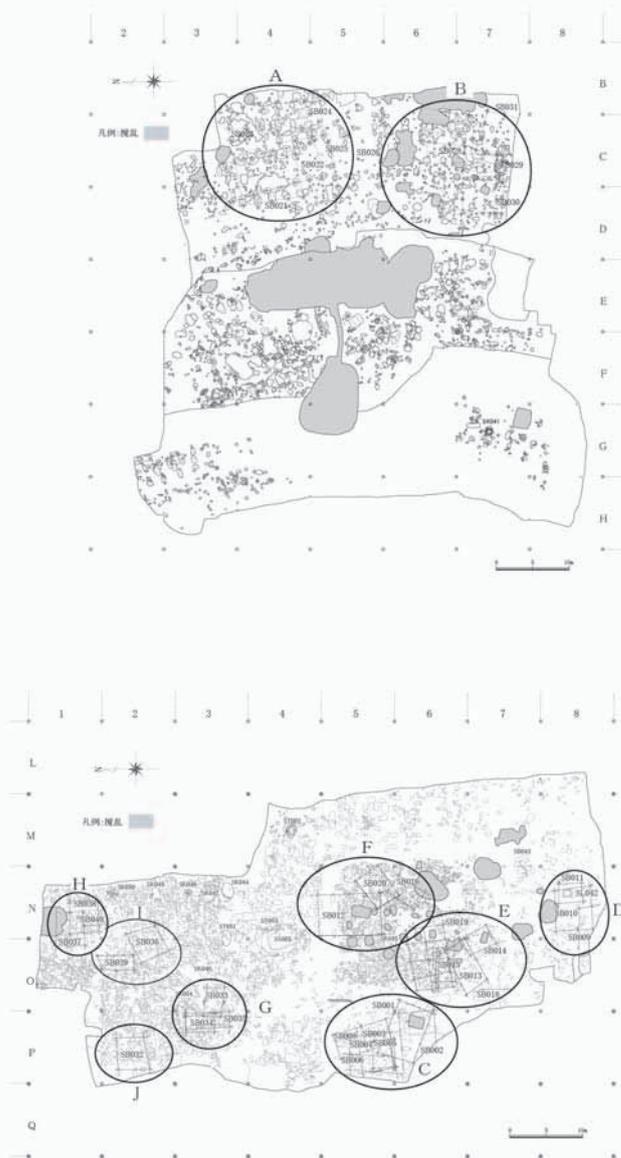


Fig.155 頭地田口 C 遺跡 I 区(上)・II 区(下) 遺構分布図

看取される (Fig.155)。このことから重複する建物群は、同地での建て替えを示すものと理解することが妥当であろう。

また、I 区上段部で検出された A・B 群と II 区の C～J 群では規模に差が認められた。それは単純に、構成する建物遺構の数の違いではなく、建物の規格と配置による差と考えられる。このことは B 群(6 棟)と C 群(7 棟)の比較でも明らかである。さらに、4 棟の建物で構成される A 群は、他の建物群と比較してもエリアは広い。これは SB021 (⇒ SB022) といった柵列を伴う大型の建物遺構の存在と小形及び中形の建物遺構の配置によるものと考えられる。頭地田口に置かれた庄屋元の屋敷が、大型建物を伴う A 群にあたる可能性は極めて高く、17 世紀末～18 世紀後半の肥前系陶器の碗や皿、中国産の磁器碗が出土している。B 群では 18 世紀代の波佐見焼の染付が出土している。ほかは、建物群と陶磁器との関係性を明確にし得なかった。大まかに遺跡形成の時期を類推すると、I 区では、15 世紀末～16 世紀の景德鎮窯の白磁皿や青磁碗、18 世紀後半～19 世紀の内野山焼の徳利、18 世紀後半～19 世紀前半の肥前系播鉢が出土している。また、これらとともに少量ではあるが在地産の一勝地焼も認められる。II 区では、建物遺構との関係が明確ではないが、14～15 世紀の

焼の徳利、18 世紀後半～19 世紀前半の肥前系播鉢が出土している。また、これら輸入陶磁器や肥前系陶磁器とともに少量ではあるが在地産の一勝地焼も認められる。II 区では、建物遺構との関係が明確な資料はないが、14～15 世紀の龍泉窯の青磁碗や、15～16 世紀の中国産染付碗、皿が認められ、肥前系陶磁器は 16～17 世紀末に比定される。その他、II 区では古墳時代の住居跡 SB043 が検出された。同遺構内から 4～5 世紀代の成川式土器が出土した。また、II 区からは 6 世紀代の須恵器坏身も出土するが、伴う遺構は検出されていない。当該地の古墳時代の様相を知る重要な資料となろう。

I 区については地形的に上段、中段、下段に区分される。上段において建物遺構が確認されたが、中段及び下段では攪乱が多く建物遺構を検出することができなかった。II 区では中央部の墓塚や不明土坑を境に、大きく南北に区分できる。建物の軸には共通性は認められず、バラつきが多い。建物の配置が、道路の位置や地形の特徴に左右され、土地所有と直接的に関係することは当然の予測である。今回の調査において検出された建物遺構は、Tab.30 のとおり重複するものが認められる。その分布の在り方は、A～J 群ごとにまとまる傾向が

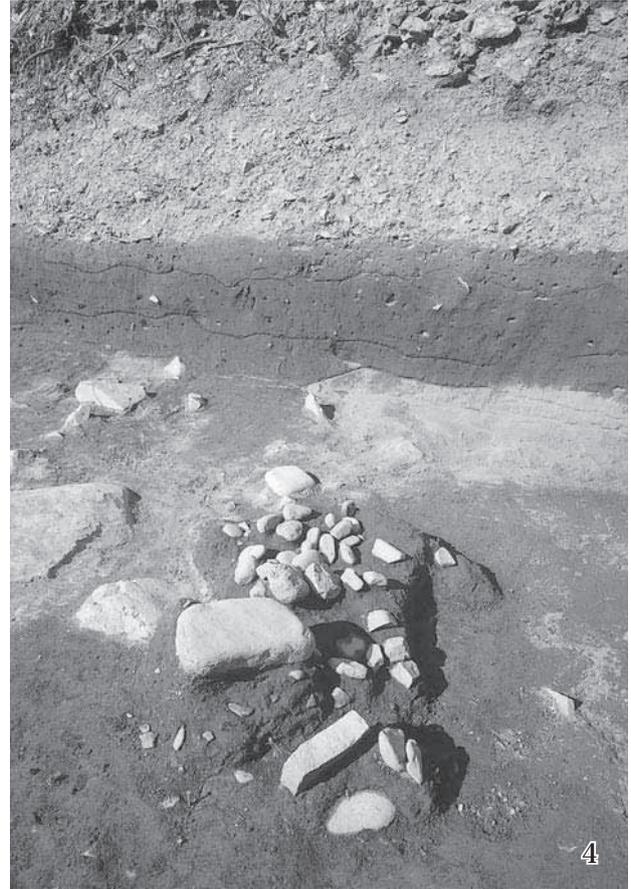
龍泉窯の青磁碗や、15～16世紀の中国産染付碗、皿が認められ、肥前系陶磁器は16～17世紀末と考えられるものがみられる。その他、Ⅱ区において特筆すべき点としては、古墳時代の住居跡 SB043 があげられる。同遺構内から4～5世紀代の成川式土器が出土し、伴う遺構は検出されていないが、6世紀代の須恵器が出土するなど、Ⅱ区からは当該地の古墳時代の様相を知るうえで重要な資料を提供している。

#### 【参考文献】

- 大橋康二 1989 『肥前陶磁』 ニュー・サイエンス社
- 大橋康二 2004 『世界をリードした磁器窯・肥前窯』 新泉社
- 『増補 やきもの辞典』 平凡社 2000
- 『世界陶磁全集 7 江戸(二)』 小学館 1980
- 『世界陶磁全集 14 明』 小学館 1976
- 『肥前陶磁の系譜』 名著出版 1974
- 『和様の意匠 古伊万里展』 朝日新聞社 1992
- 『白磁の美 一中国・朝鮮・日本・現代一』 佐賀県立九州陶磁文化館 1986
- 『日本の青磁 一近世から現代まで一』 佐賀県立九州陶磁文化館 1989
- 『肥前陶磁の名品 一樹木草花の文様を見る一』 佐賀県立九州陶磁文化館 1987
- 『世界の染付展』 佐賀県立九州陶磁文化館 1993
- 『よみがえる江戸の華 一くらしのなかのやきもの一』 佐賀県立九州陶磁文化館 1994
- 『熊本県の地名』 日本歴史地名大系44 平凡社 1985
- 『昭和56年度川辺川ダム建設に伴う文化財等に関する調査報告書』 熊本県球磨郡五木村 1982
- 『昭和57年度川辺川ダム建設に伴う文化財等に関する調査報告書』 熊本県球磨郡五木村 1983
- 『昭和58年度川辺川ダム建設に伴う文化財等に関する調査報告書』 熊本県球磨郡五木村 1984
- 『野々脇遺跡』 五木村文化財調査報告第1集 五木村教育委員会 1995
- 『頭地C遺跡』 五木村文化財調査報告第2集 五木村教育委員会 1996
- 『頭地田口B遺跡』 五木村文化財調査報告第3集 五木村教育委員会 1997
- 『小浜遺跡』 五木村文化財調査報告第4集 五木村教育委員会 1998
- 『逆瀬川遺跡』 五木村文化財調査報告第5集 五木村教育委員会 2003
- 『野原遺跡Ⅰ』 相良村文化財調査報告第4集 相良村教育委員会 2003
- 『野原遺跡Ⅱ』 相良村文化財調査報告第5集 相良村教育委員会 2006
- 『頭地松本B遺跡(1)』 熊本県文化財調査報告第165集 熊本県教育委員会 1997
- 『頭地松本B遺跡(2)』 熊本県文化財調査報告第173集 熊本県教育委員会 1998
- 『頭地田口A遺跡』 熊本県文化財調査報告第206集 熊本県教育委員会 2002
- 『五木村総合学術調査 人文編』 五木村総合学術調査団 1987

# 写真図版

PL. 1  
(金川遺跡)



1. 遠景 (北より)

3. I-A区 SK001 完堀状況

2. I-A区 SK001 検出状況

4. I-A区 SY002 集石出土状況



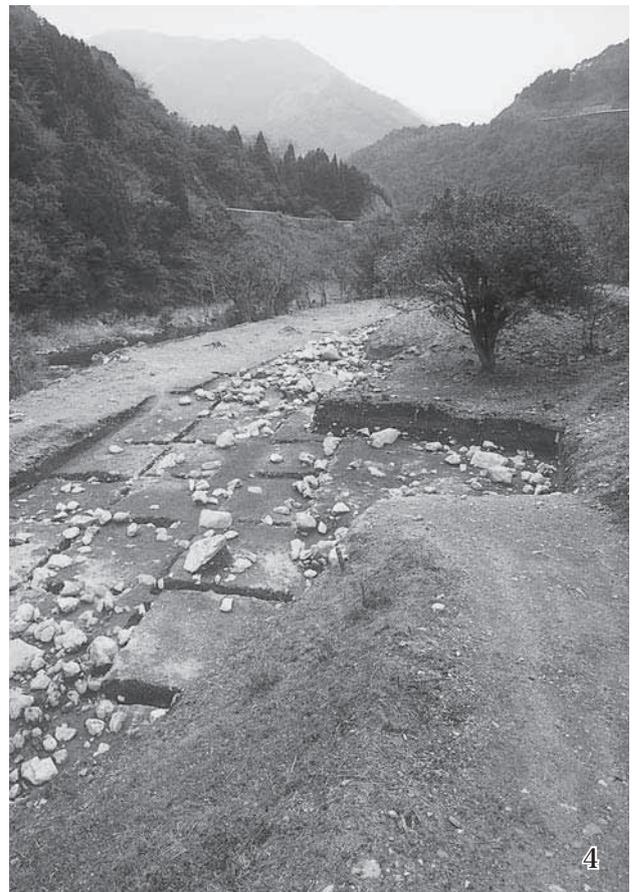
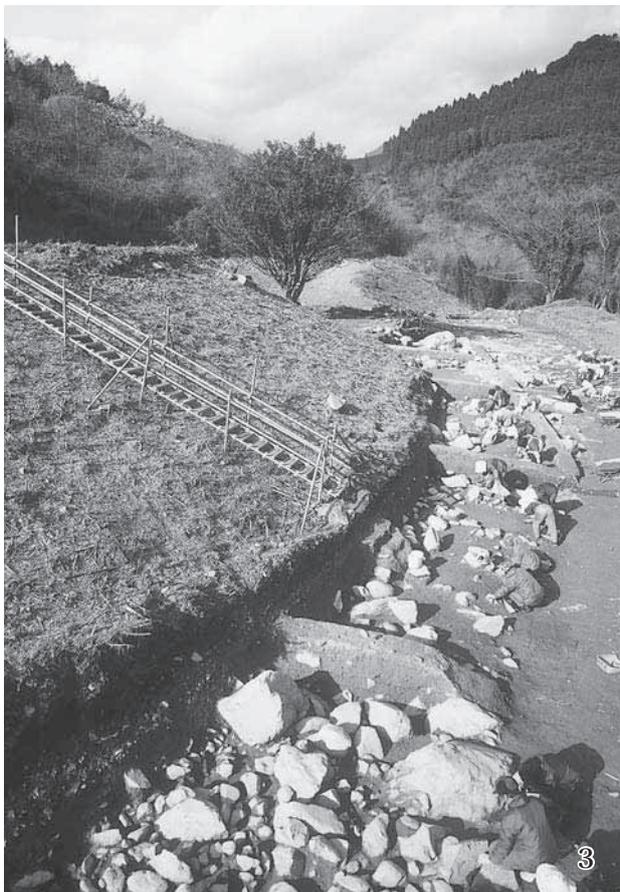
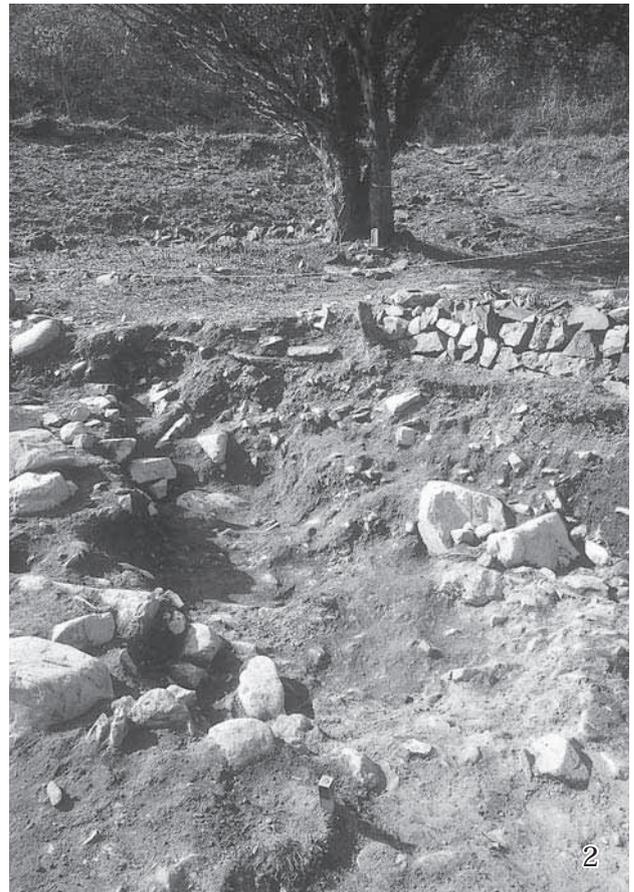
1. I-A区 遺物出土状況  
3. I-B区 石垣(石組遺構)

2. I-A区 完掘状況  
4. I-B区 SX003 出土状況



1. I-B 区 SX003 完掘状況  
3. I-B 区 ST004 土層断面

2. I-B 区 ST004・005・006 検出状況  
4. I-B 区 ST005 土層断面

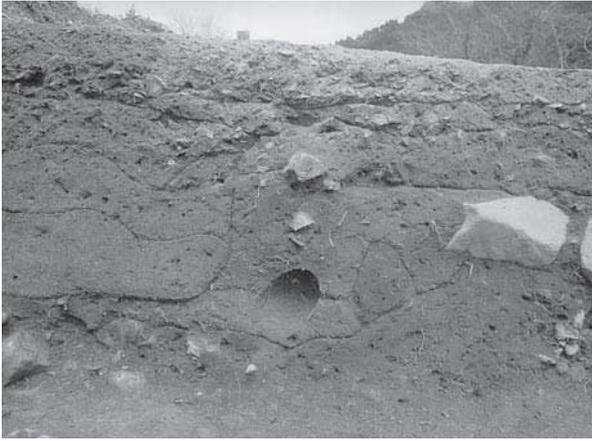


1. I-B区 ST006 墓石出土状況

3. I-B区 作業風景

2. I-B区 ST004・005・006 完掘状況

4. I-B区 完掘状況(北より)



I-B 区 北壁断面 g29 ~ h29



I-B 区 北壁断面 h29 ~ i29



I-B 区 北壁断面 i29 ~



I-B 区 北壁断面 h33 ~ i33



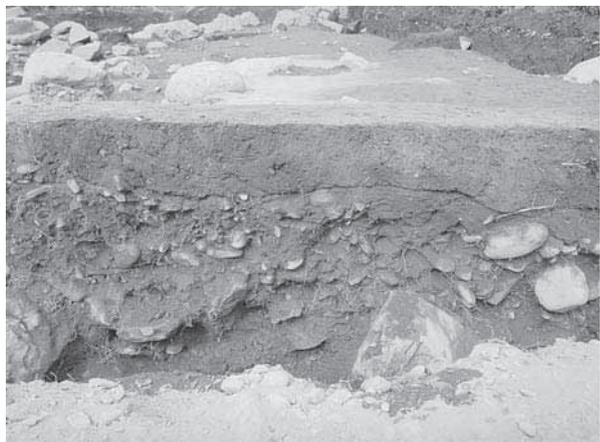
I-B 区 北壁断面 i33 ~ j33



I-B 区 北壁断面 g35 ~ h35



I-B 区 北壁断面 h35 ~ i35



I-B 区 北壁断面 i35 ~ j35



1. 頭地田口C遺跡 I区 全景  
3. 頭地田口D遺跡 全景

2. 頭地田口C遺跡 II区 全景



I区 SB021 検出状況



I区 SB021 土層断面



I区 SB021 土層断面



I区 SB021 土層断面



I区 SB022 検出状況



I区 SB022 土層断面



I区 SB031 検出状況



I区 SB031 土層断面



II区 SB001 検出状況



II区 SB002 検出状況



II区 SB003 検出状況



II区 SB004 検出状況



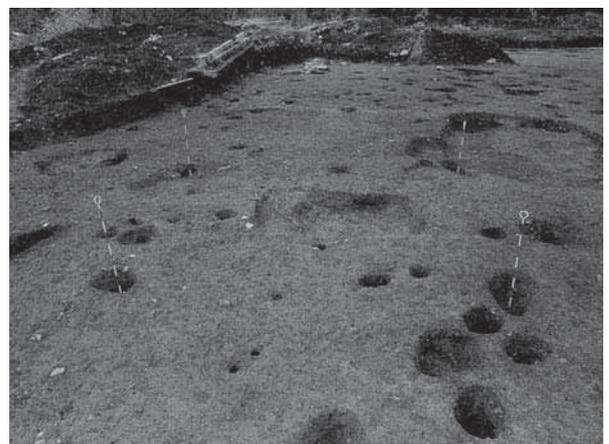
II区 SB008 検出状況



II区 SB012 検出状況



II区 SK042 石組出土状況



II区 SB011・SK042 完掘状況



Ⅱ区 SB015 検出状況



Ⅱ区 SB019 検出状況



Ⅱ区 SB032 検出状況



Ⅱ区 SB033 検出状況



Ⅱ区 SB034 検出状況



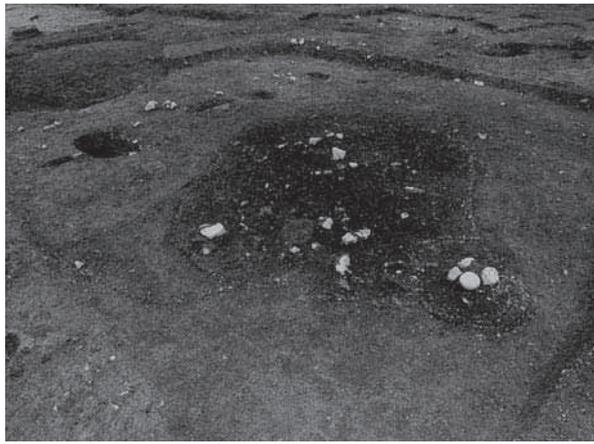
Ⅱ区 SB035 検出状況



Ⅱ区 SB037 検出状況



Ⅱ区 SB037・SB038 検出状況



Ⅱ区 SK043 検出状況



Ⅱ区 SK043 遺物出土状況



Ⅱ区 SK043 他完掘状況



Ⅱ区 SK050 検出状況



Ⅱ区 ST051 検出状況



Ⅱ区 ST052 出土状況



Ⅱ区 SX054 検出状況

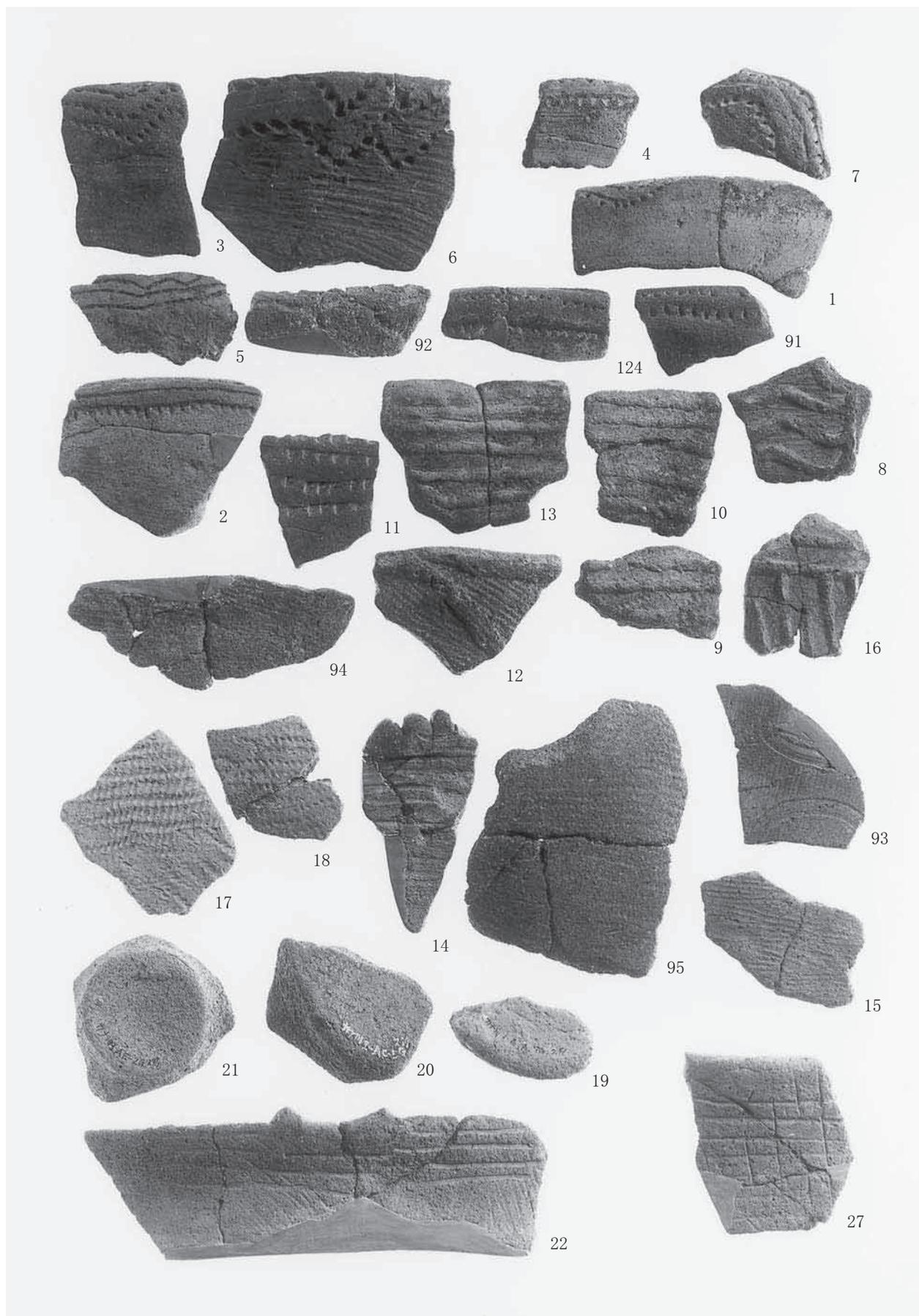


Ⅱ区 SX054 土層断面

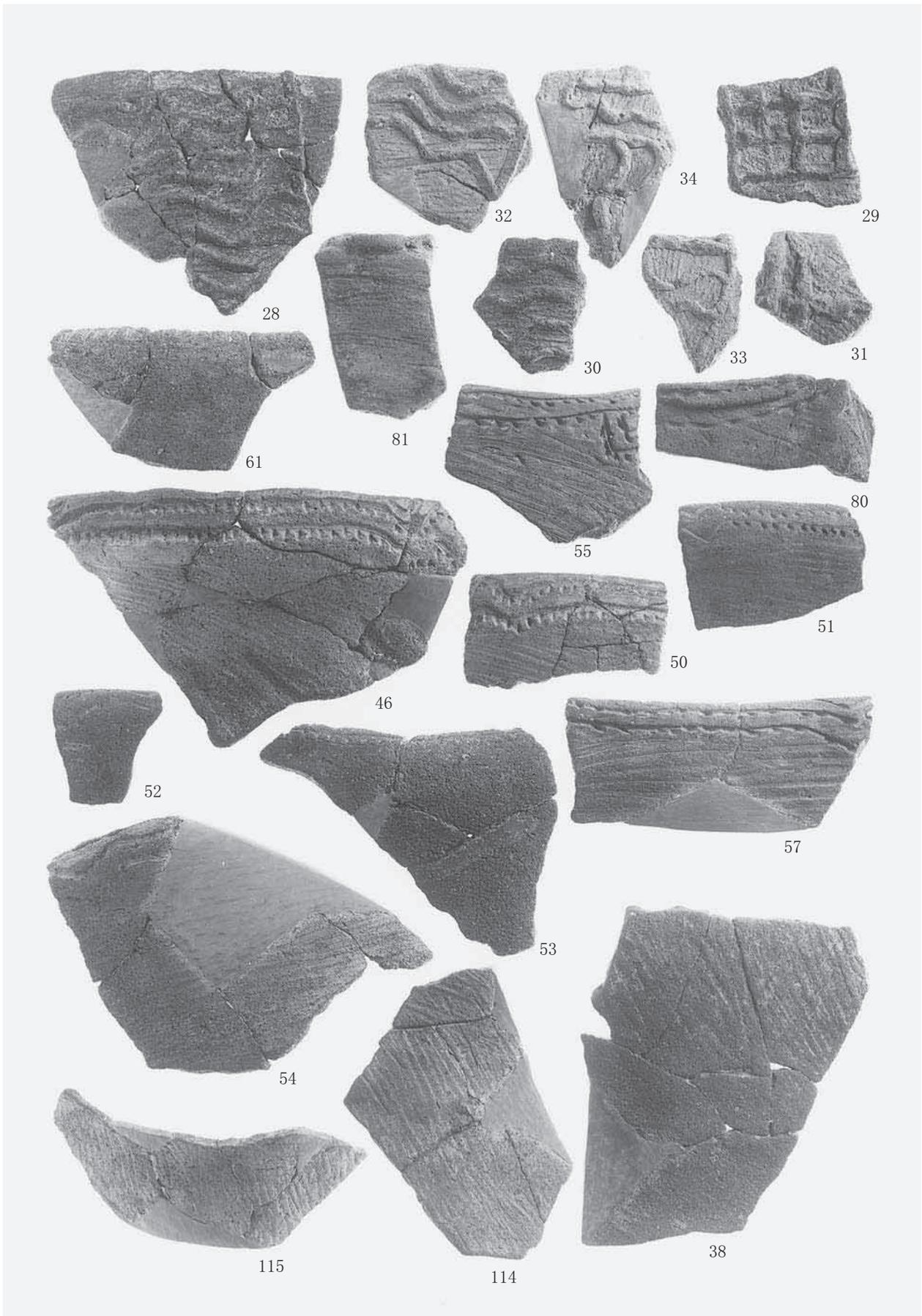


1.2. 金川遺跡 I-A区 2層 出土遺物  
3. 金川遺跡 I-A区 3層 出土遺物

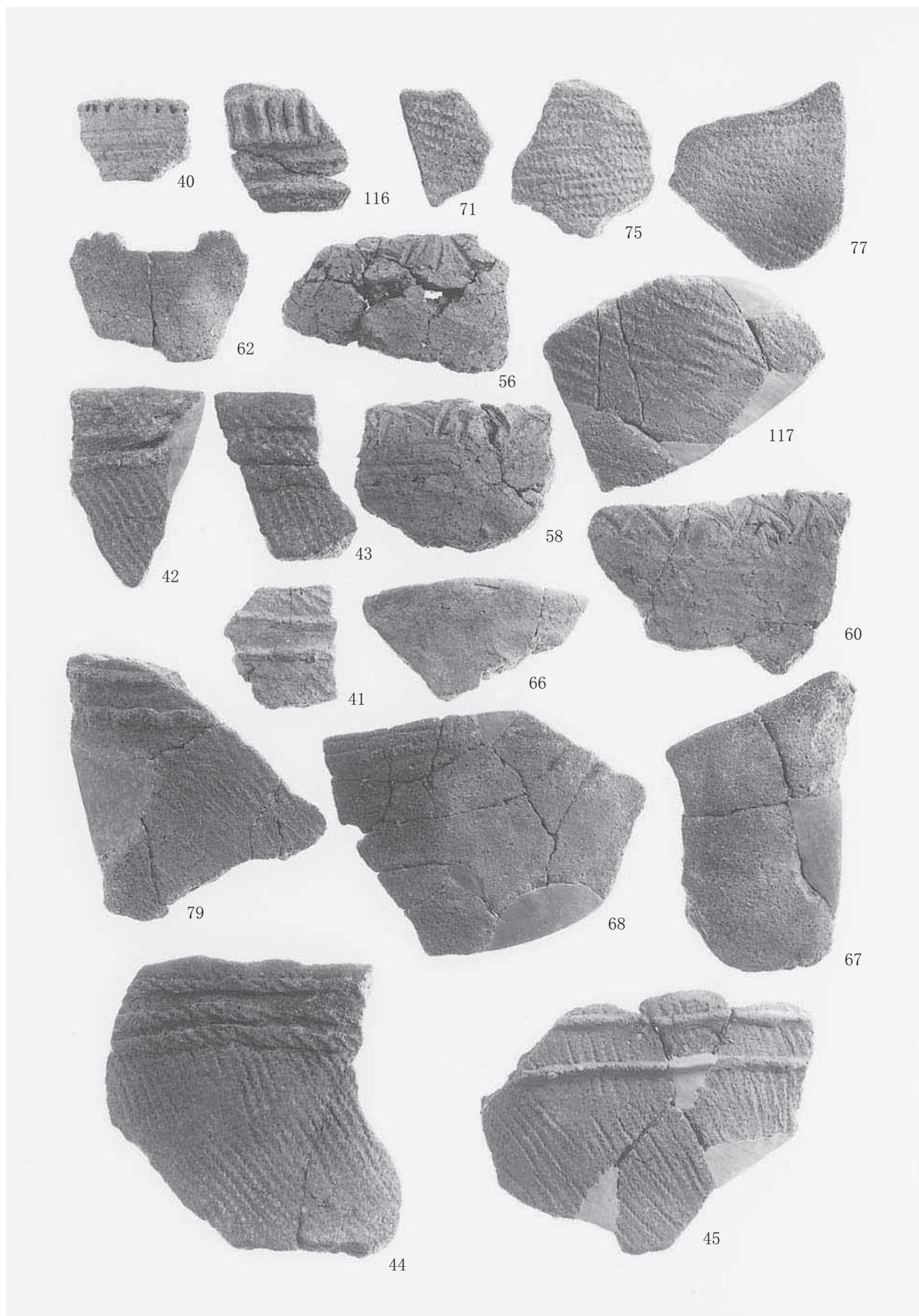
4. 金川遺跡 I-A区 3層 出土遺物  
5. 金川遺跡 I-A区 調査区 出土遺物



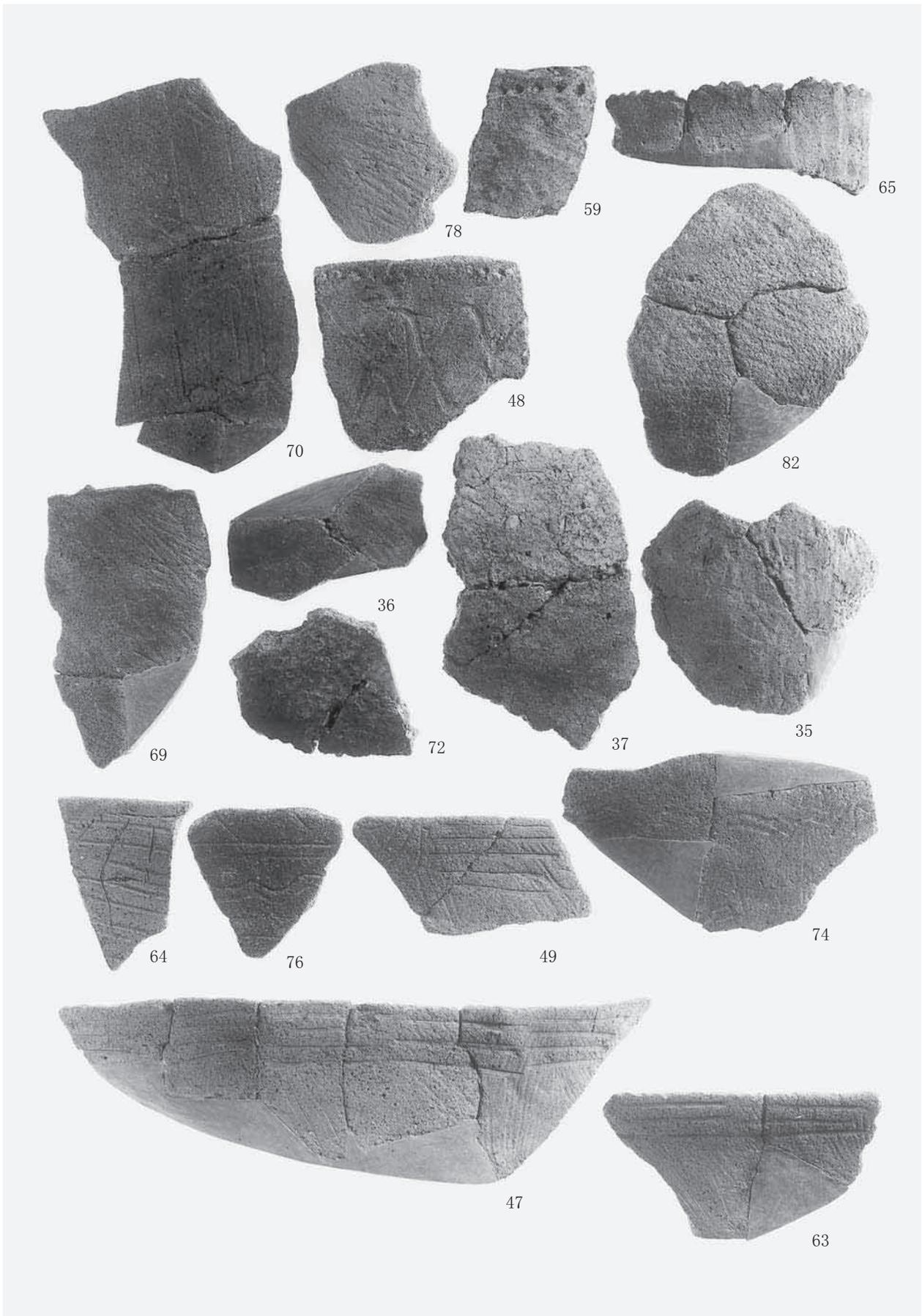
金川遺跡 I-A区 2層・2b層 出土遺物



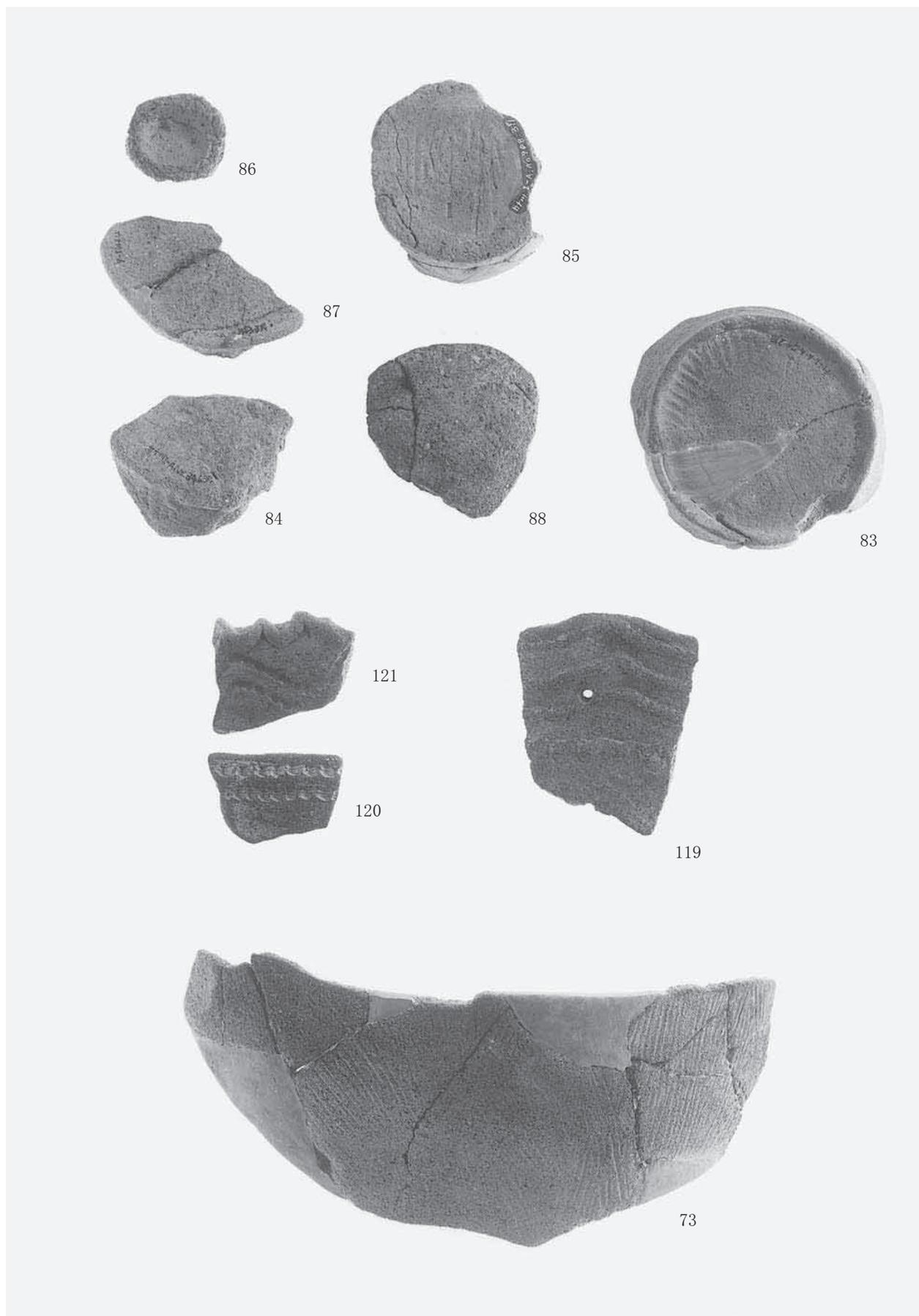
金川遺跡 I-A区 3層・3~4層 出土遺物



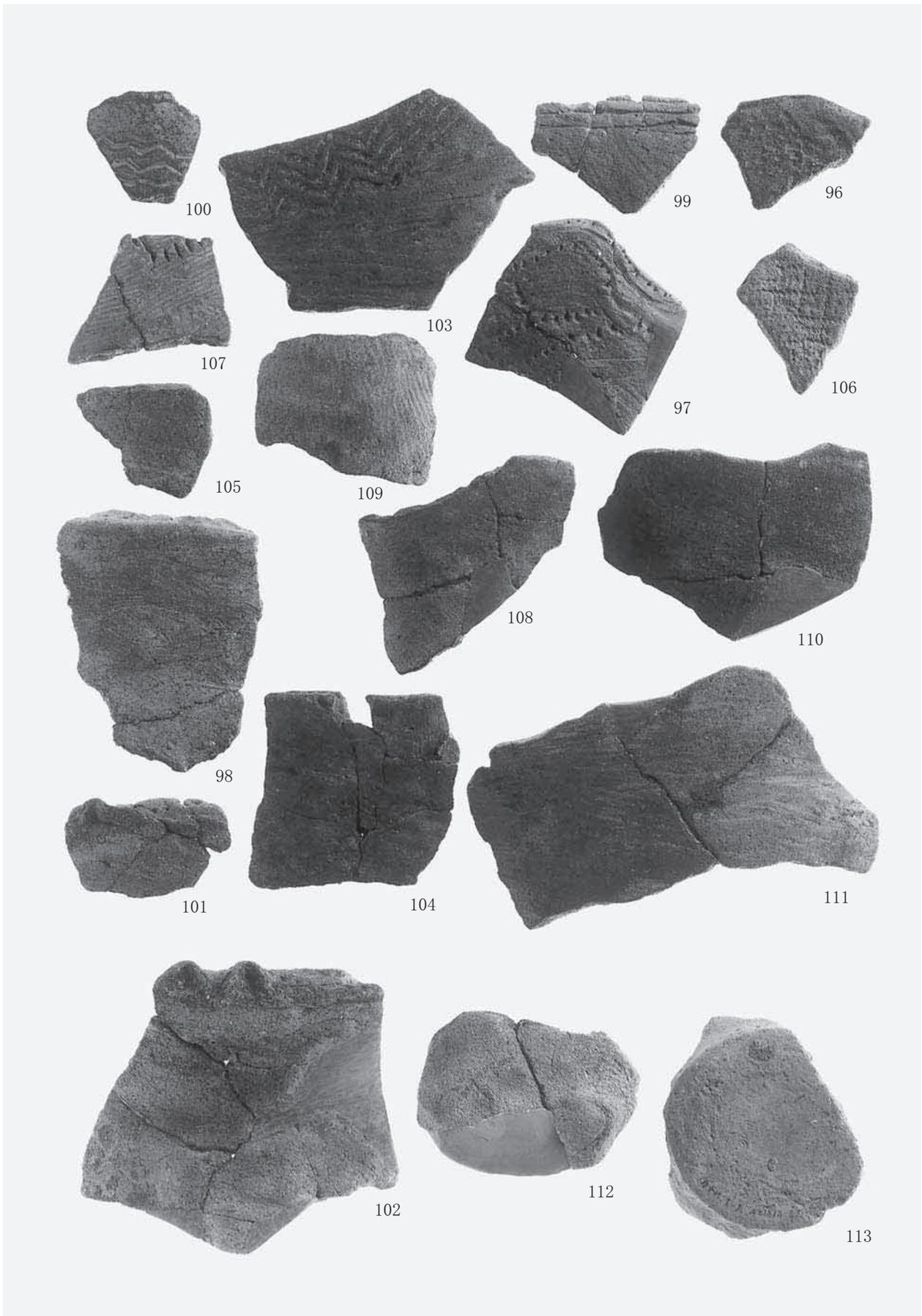
金川遺跡 I-A区 3層・3~4層 (116・117) 出土遺物



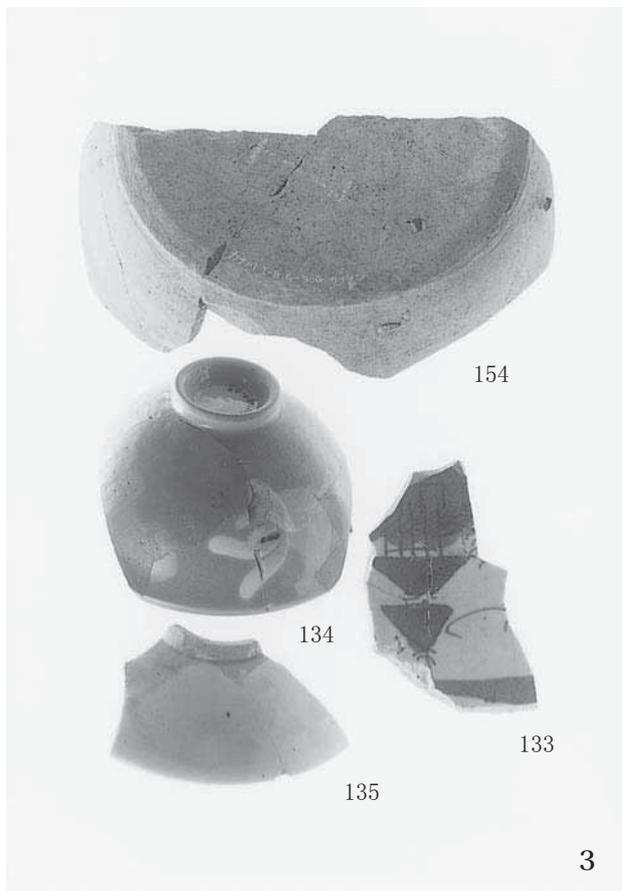
金川遺跡 I-A区 3層・8層(64) 出土遺物



金川遺跡 I-A区 3層・5層 (119・120・121) 出土遺物

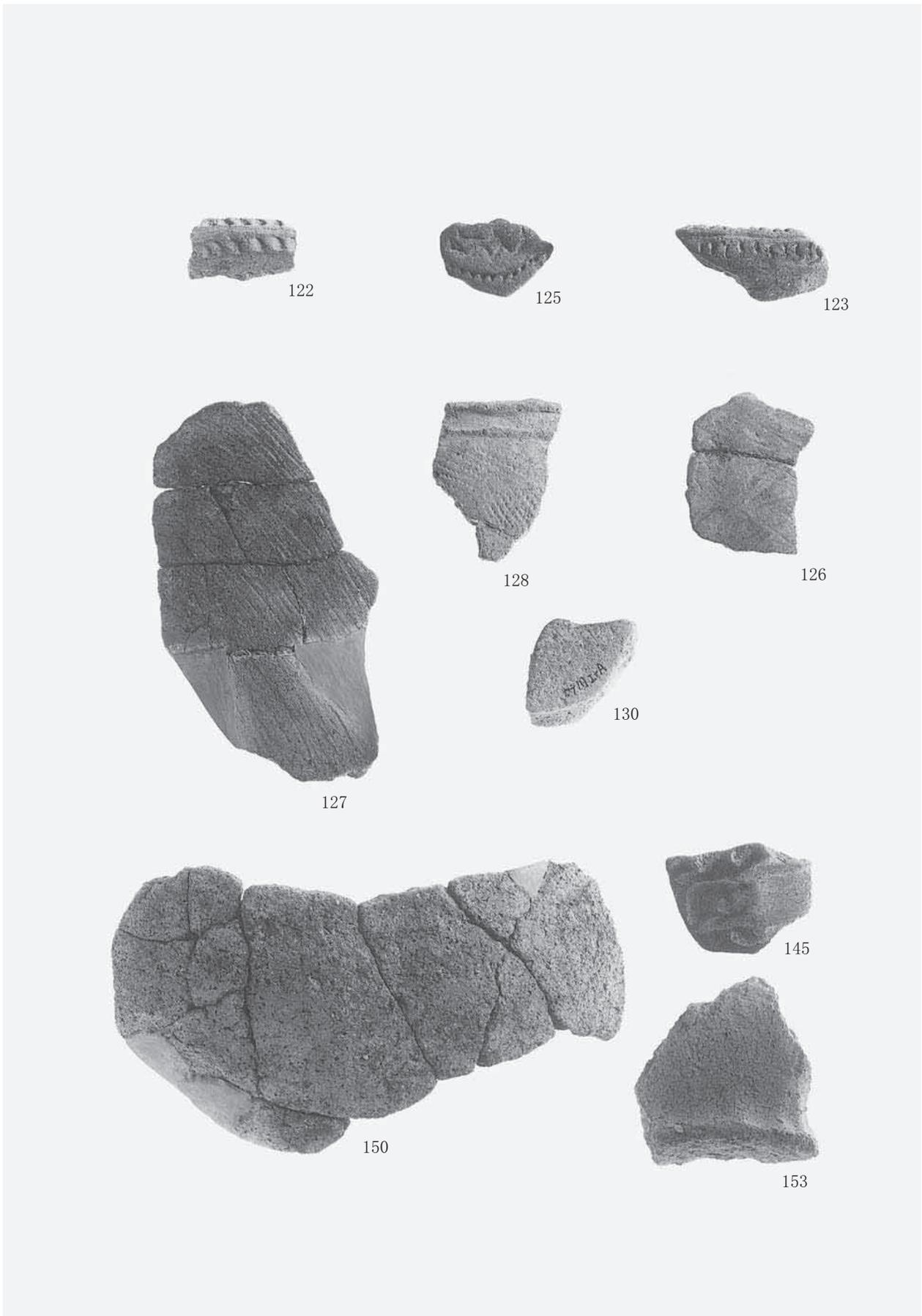


金川遺跡 I-A区 4層 出土遺物

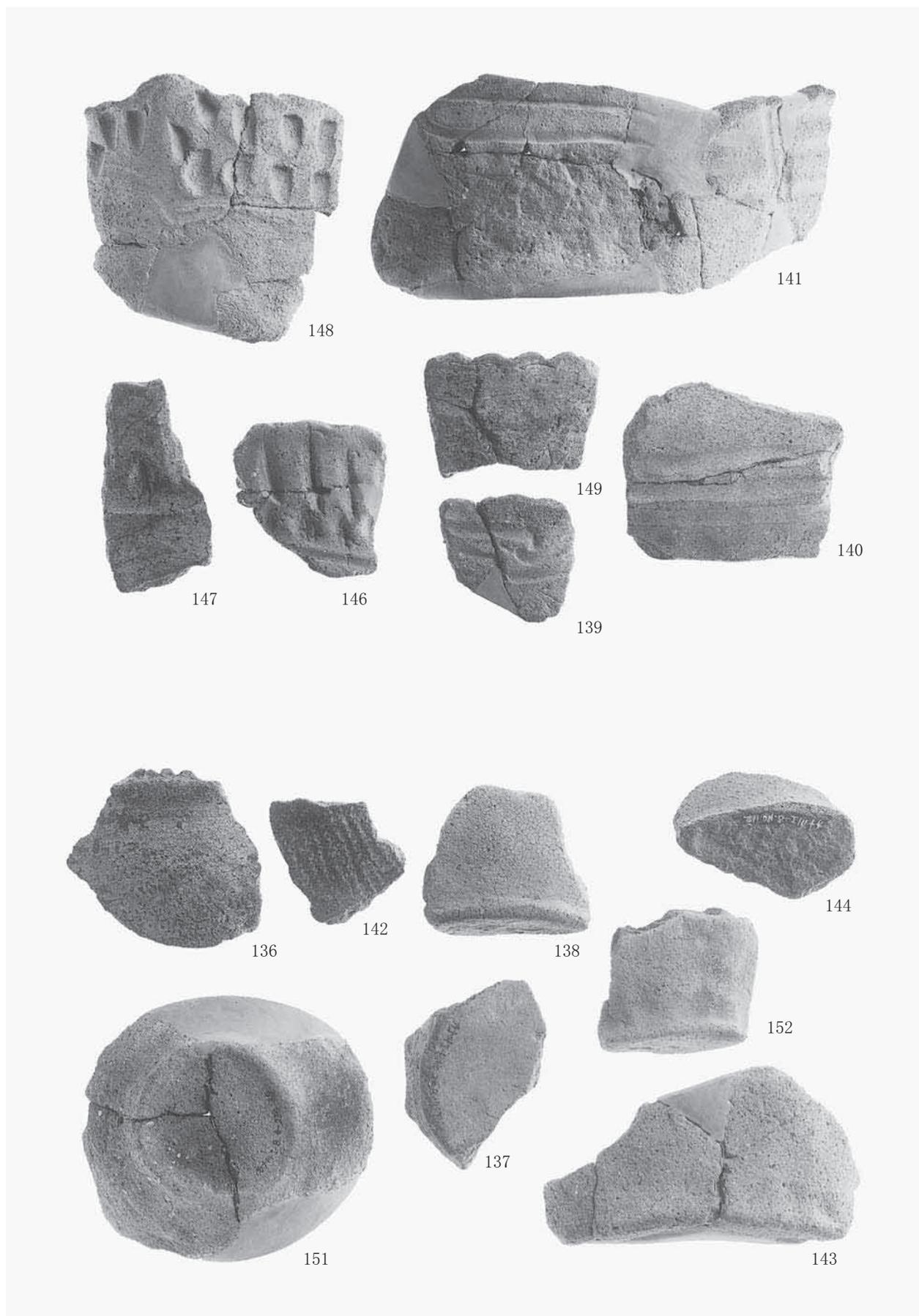


1. 金川遺跡 I-A 区 3層 (89)・3~4層 (118) 出土遺物  
3. 金川遺跡 I-B 区 ST004・005・SX003 出土遺物

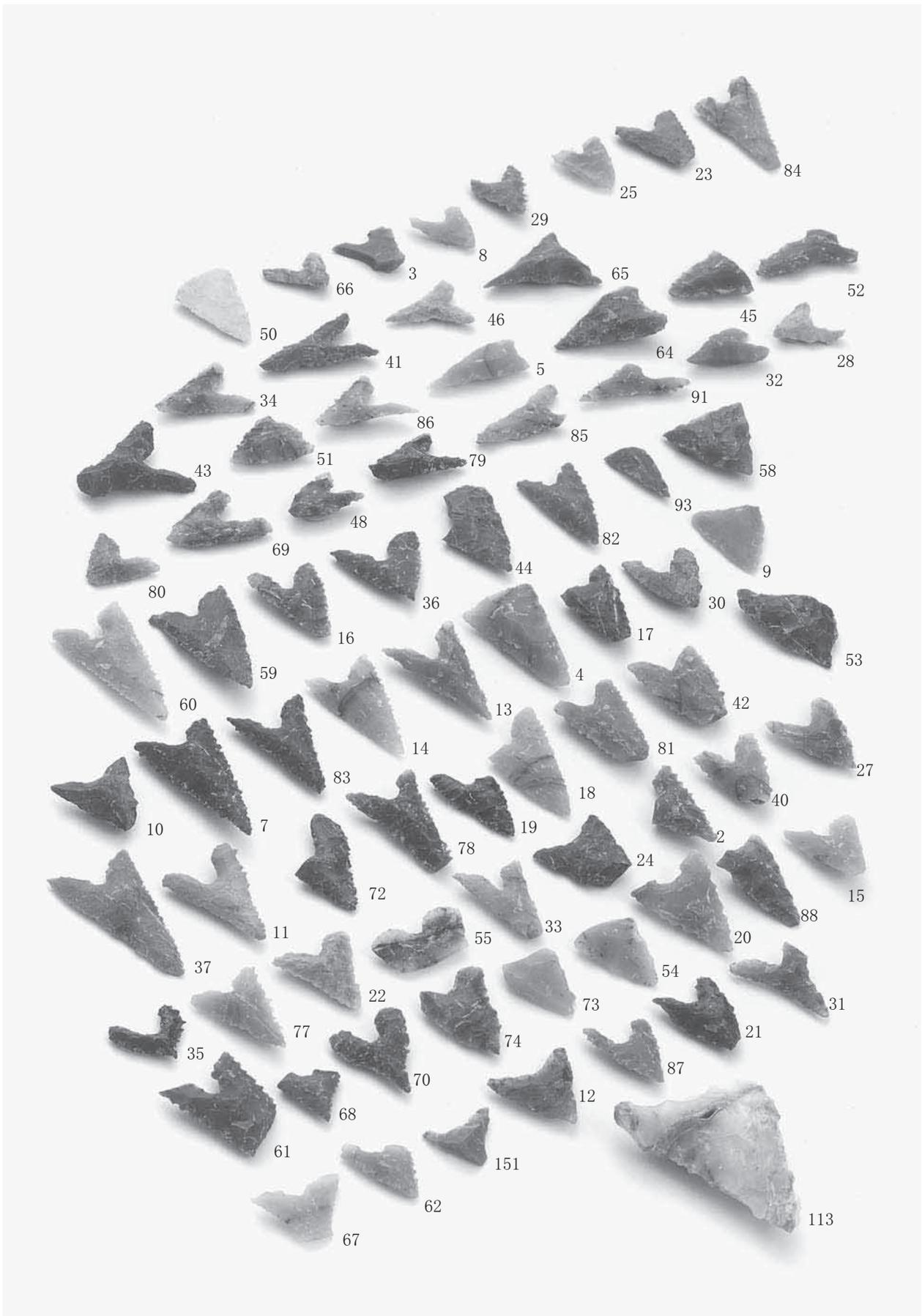
2. 金川遺跡 I-A 区 2層 出土遺物  
4. 金川遺跡 I-B 区 調査区 出土遺物



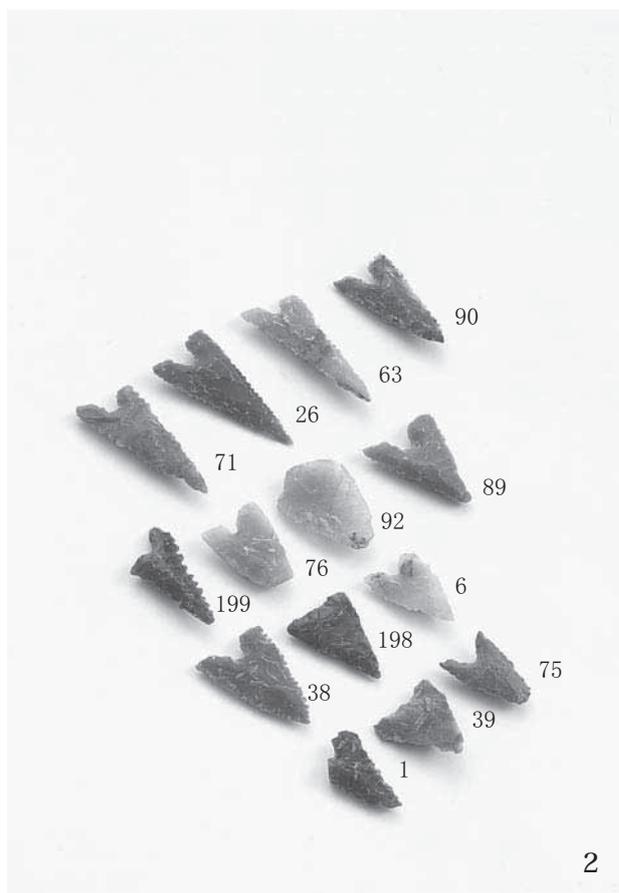
金川遺跡 I-A区・I-B区 調査区 出土遺物



金川遺跡 I-B区 4層・5層・調査区 出土遺物

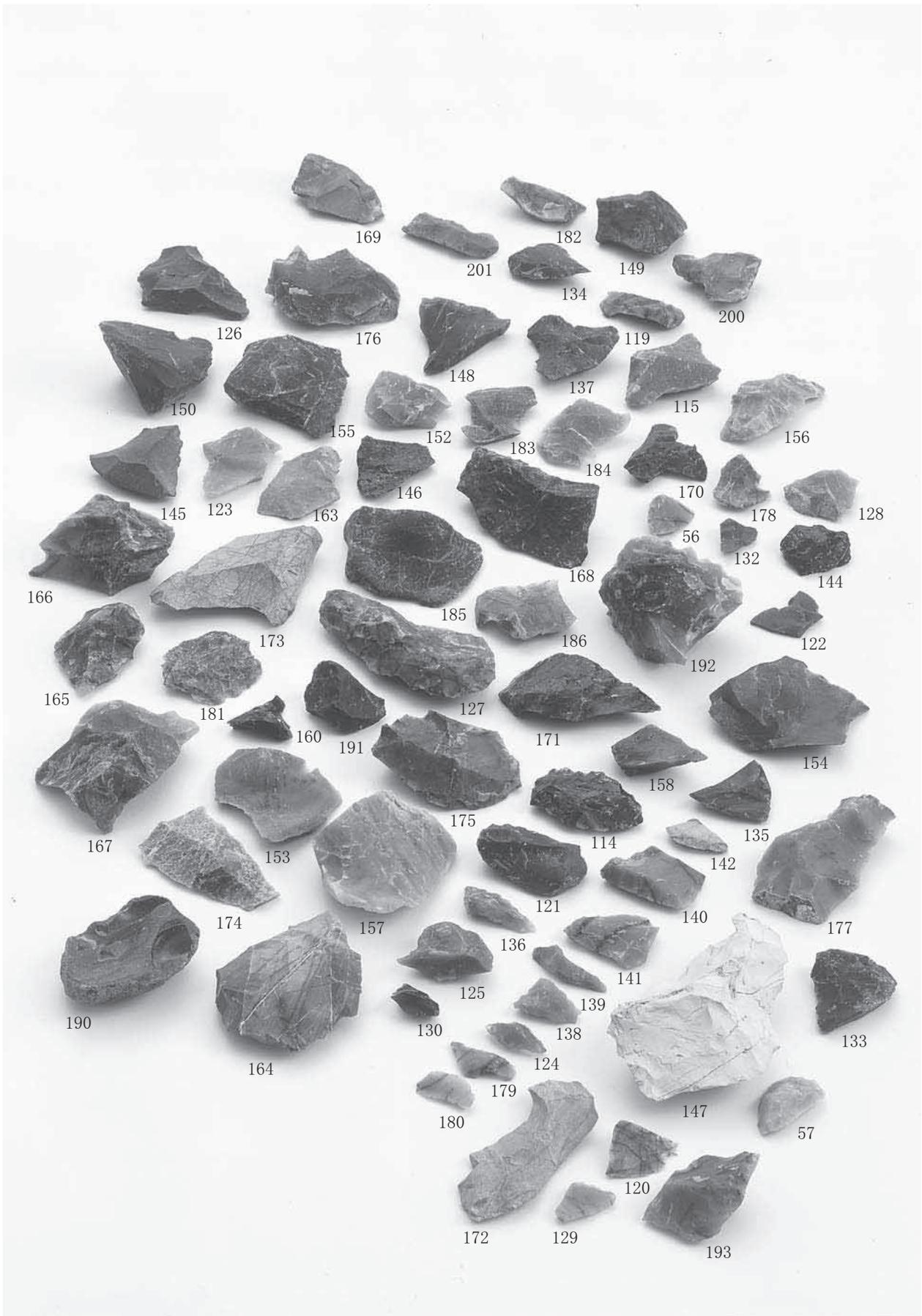


金川遺跡 I-A区 2~5層 調査区 出土石器

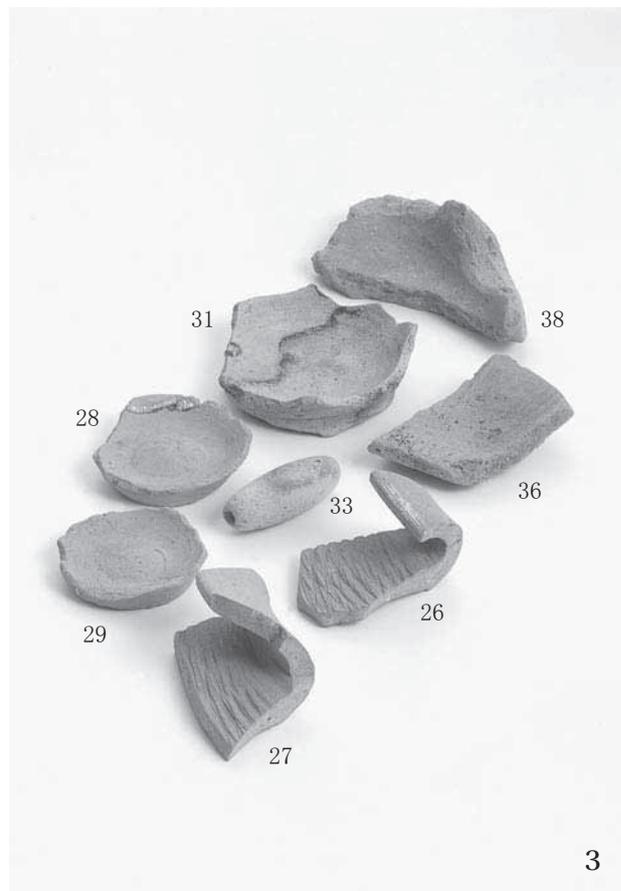
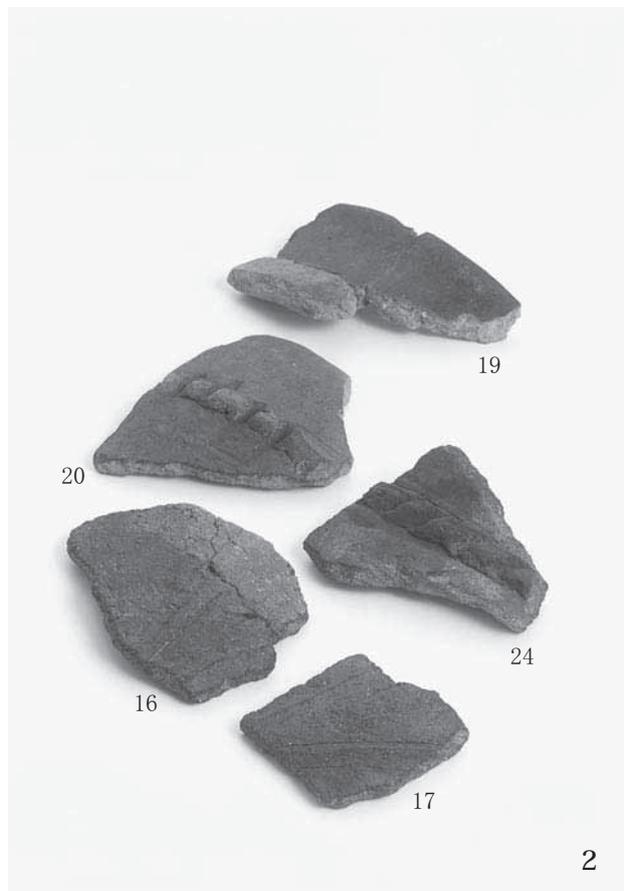


1. 金川遺跡 I-A区 調査区 出土石器

2. 3. 金川遺跡 I-A区・I-B区 調査区 出土石器



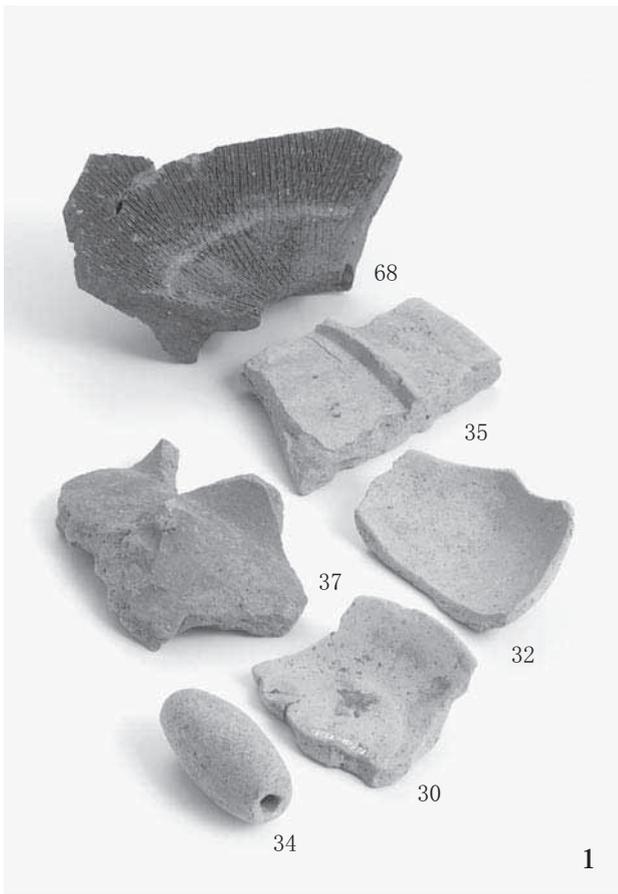
金川遺跡 I-A区・I-B区 2~5層 調査区 出土石器



1. 頭地田口C遺跡 I区 SB021・SB022(9) 出土遺物

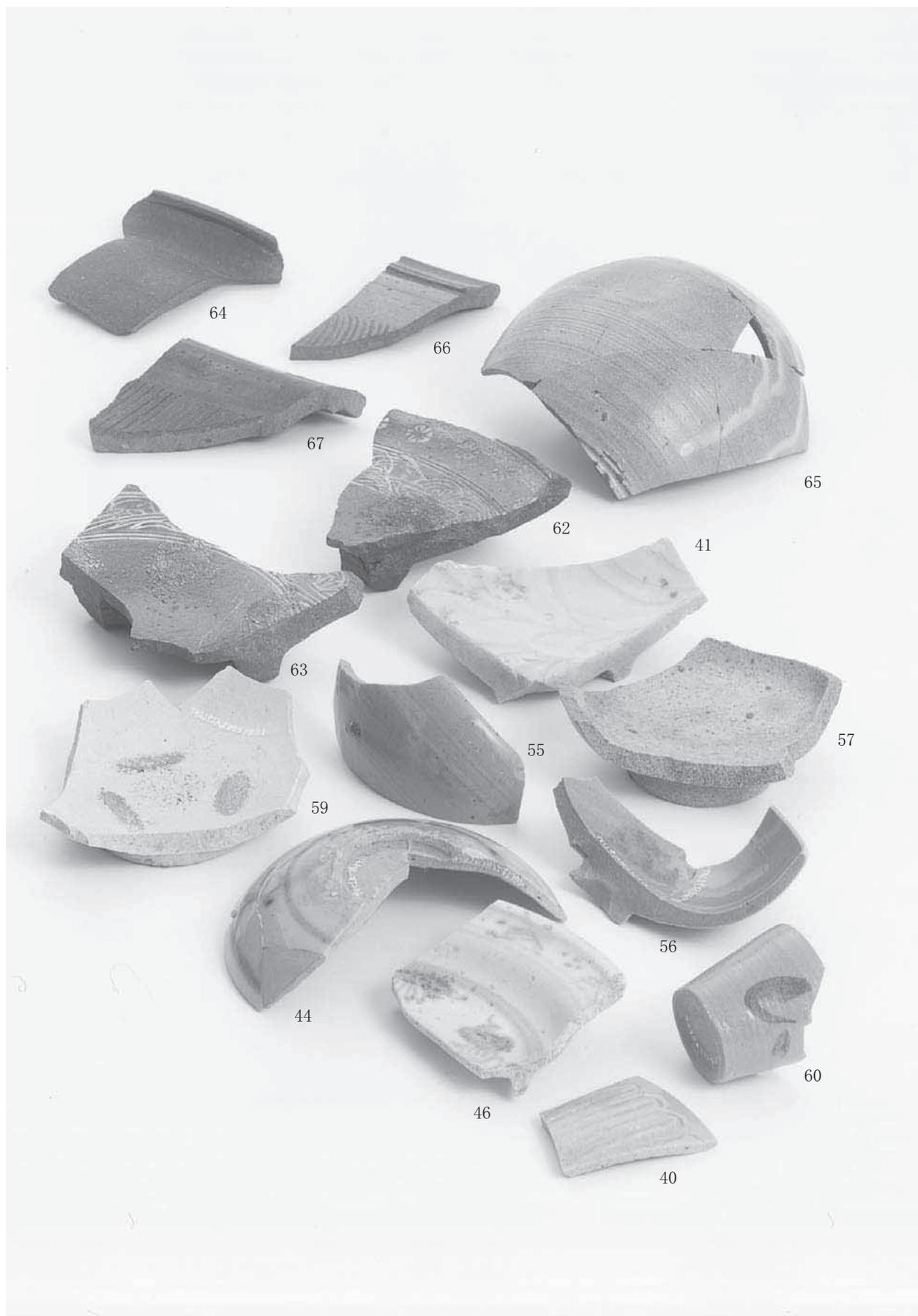
2. 頭地田口C遺跡 I区 調査区 出土遺物

3. 頭地田口C遺跡 I区 調査区 出土遺物

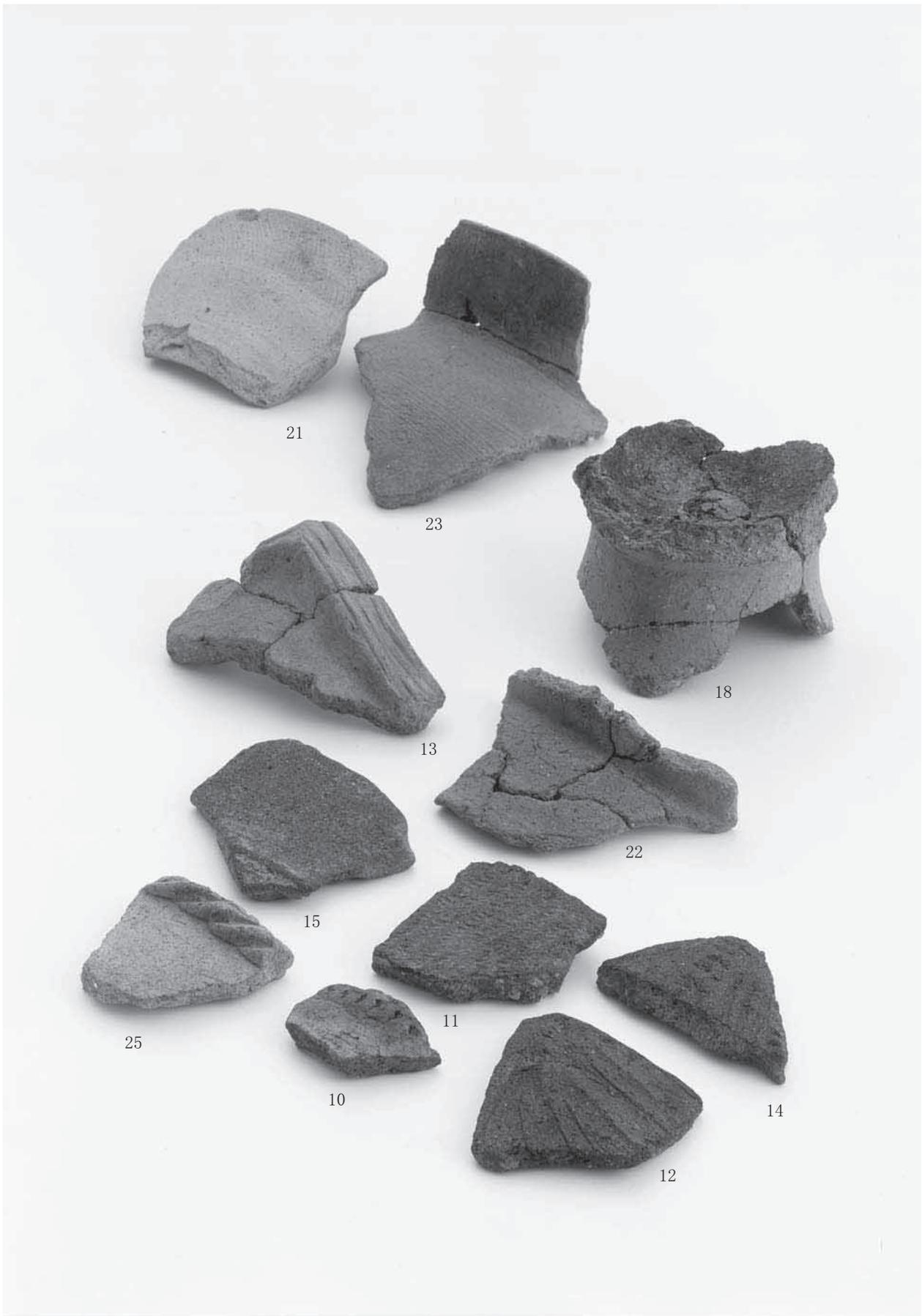


1. 頭地田口C遺跡 I 区 調査区 出土遺物  
3. 頭地田口C遺跡 I 区 調査区 出土遺物

2. 頭地田口C遺跡 I 区 調査区 出土遺物(一勝地焼)



頭地田口C遺跡 I 区 調査区 出土遺物



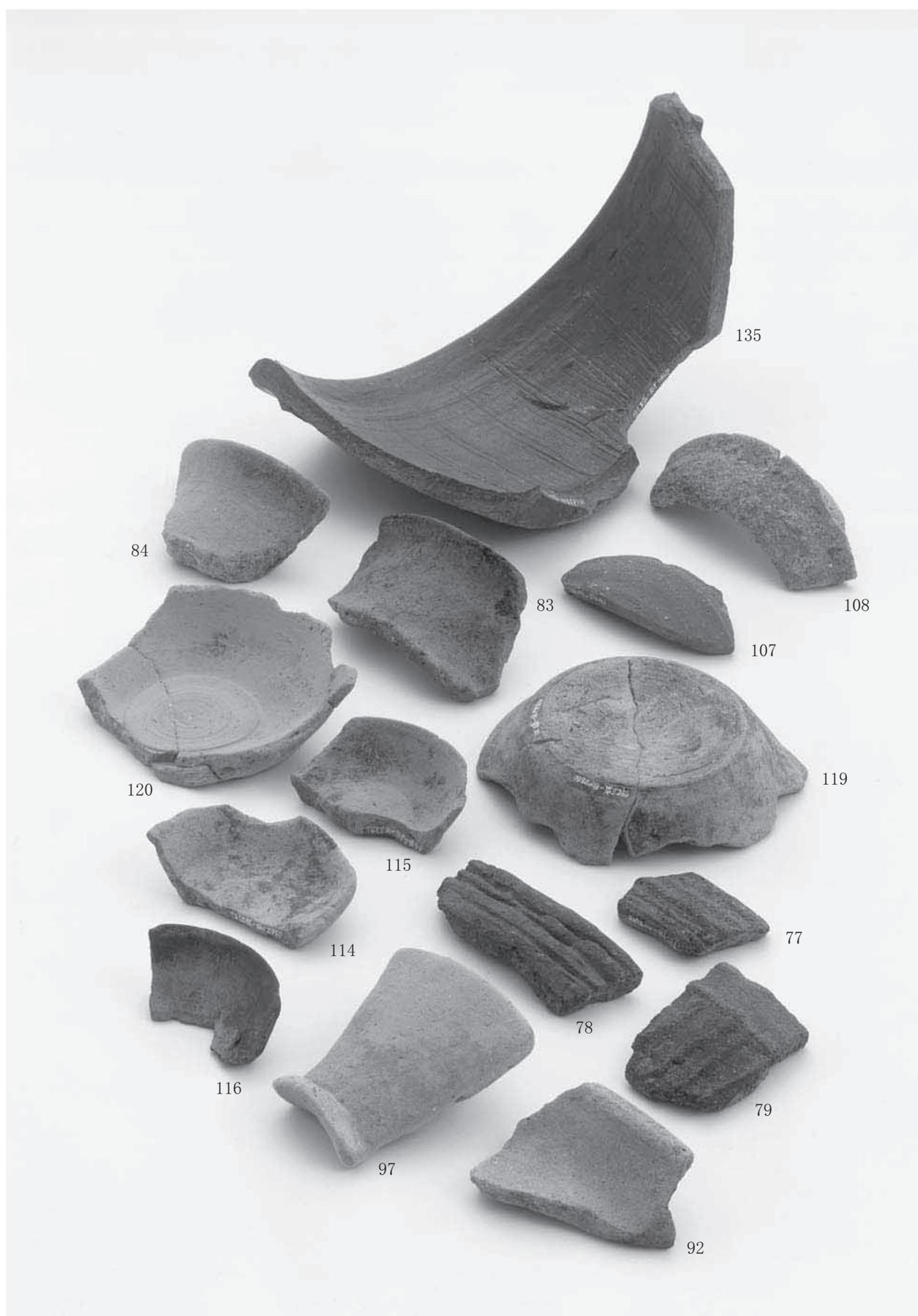
頭地田口C遺跡 I区 調査区 出土遺物



頭地田口C遺跡 II区 SB012(70)・SB037(69)・SK002 出土遺物



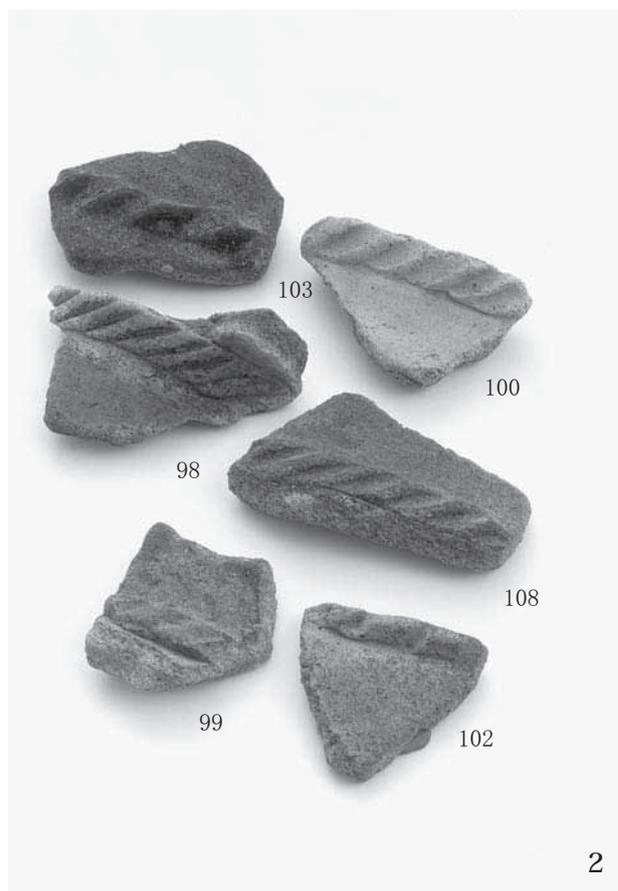
頭地田口C遺跡 II区 調査区 出土遺物



頭地田口C遺跡区 II 調査区 出土遺物

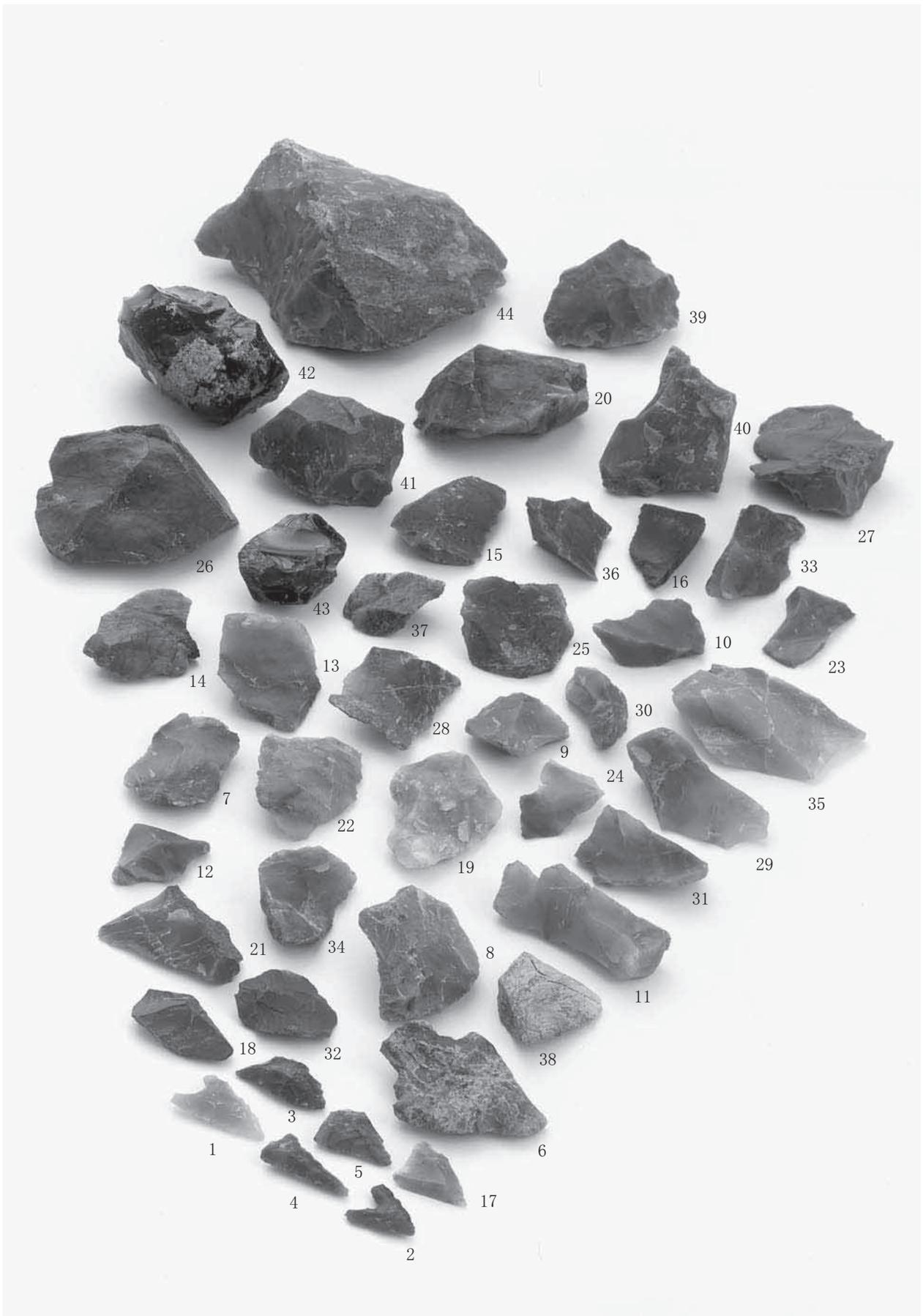


頭地田口C遺跡 II区 調査区 出土遺物



1. 頭地田口C遺跡 II区 調査区 出土遺物  
 3. 頭地田口C遺跡 II区 調査区 出土遺物

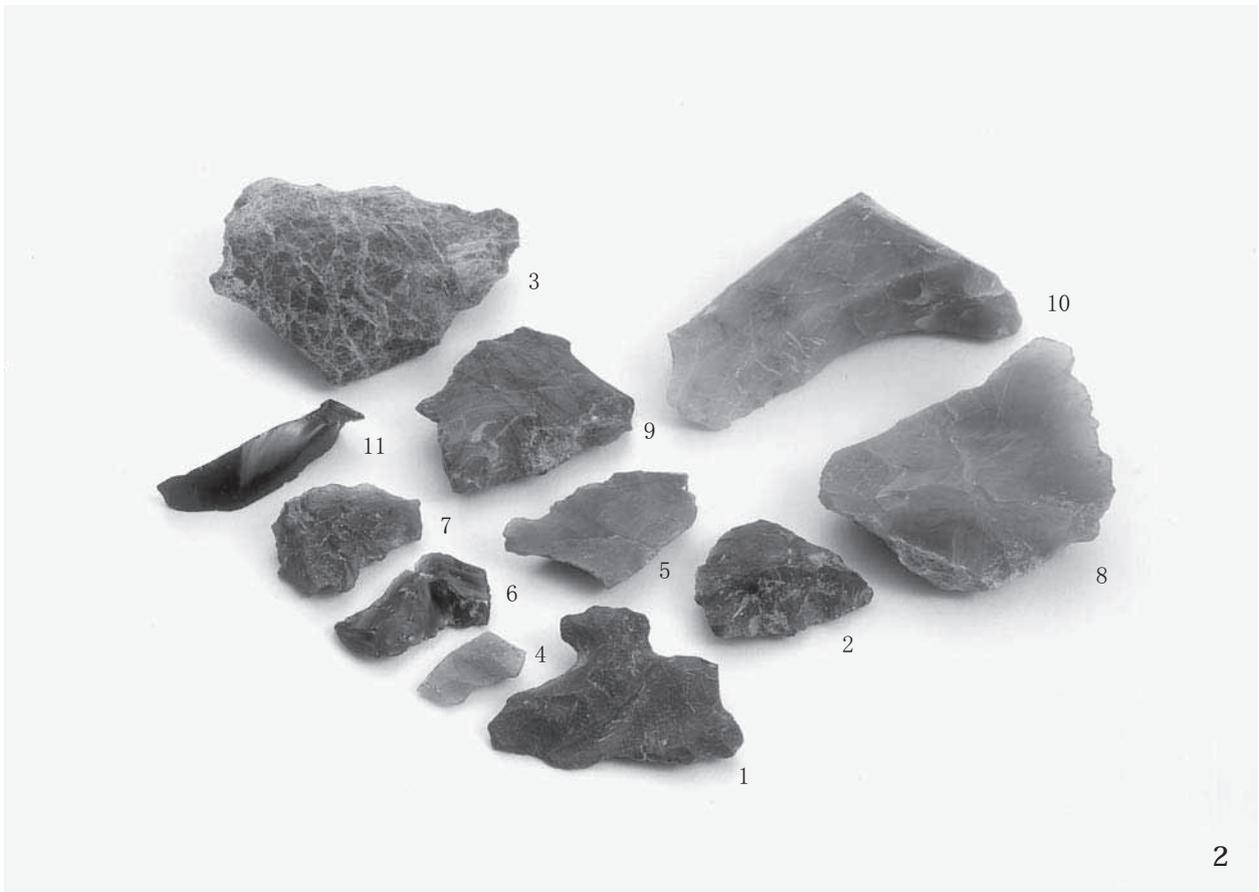
2. 頭地田口C遺跡 II区 調査区 出土遺物  
 4. 頭地田口C遺跡 II区 調査区 出土遺物



頭地田口C遺跡 I区 調査区 出土石器



頭地田口C遺跡 II 区 調査区 出土石器



1. 頭地田口D遺跡 調査区 出土遺物  
2. 頭地田口D遺跡 調査区 出土石器

## 報 告 書 抄 録

|          |                                  |              |        |                       |                    |                          |       |               |
|----------|----------------------------------|--------------|--------|-----------------------|--------------------|--------------------------|-------|---------------|
| ふりがな     | かなごういせき・とうちたぐちしーいせき・とうちたぐちでいーいせき |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 書名       | 金川遺跡・頭地田口C遺跡・頭地田口D遺跡             |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 副書名      | 川辺川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書           |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 巻次       |                                  |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| シリーズ名    | 熊本県文化財調査報告                       |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| シリーズ番号   | 第289集                            |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 編著者      | 村崎孝宏                             |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 編集機関     | 熊本県教育委員会                         |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 所在地      | 〒862-8609 熊本市中心区水前寺6丁目18-1       |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 発行年月日    | 2013年3月31日                       |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| フリガナ     | コード                              |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 所収遺跡名    | 所在地                              | 市町村          | 遺跡番号   | 北緯                    | 東経                 | 調査期間                     | 調査面積  | 調査原因          |
| カゴウ化キ    | 熊本県                              | 435112       | 031    | 32度<br>21分<br>2秒      | 130度<br>50分<br>38秒 | 2002.8.5 ~<br>2003.3.7   | 2100㎡ | 川辺川ダム<br>建設事業 |
| 金川遺跡     | 球磨郡<br>五木村<br>金川                 |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| トチクワチンイキ | 熊本県                              | 435112       | 032    | 32度<br>23分<br>58秒     | 130度<br>49分<br>28秒 | 2003.4.9 ~<br>2004.5.21  | 9200㎡ | 川辺川ダム<br>建設事業 |
| 頭地田口C遺跡  | 球磨郡<br>五木村<br>頭地字<br>田口          |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| トチクワチンイキ | 熊本県                              | 435112       |        | 32度<br>23分<br>56秒     | 130度<br>49分<br>27秒 | 2004.5.24 ~<br>2004.6.30 | 850㎡  | 川辺川ダム<br>建設事業 |
| 頭地田口D遺跡  | 球磨郡<br>五木村<br>頭地字<br>田口          |              |        |                       |                    |                          |       |               |
| 所収遺跡名    | 種別                               | 主な時代         | 主な遺構   | 主な遺物                  |                    |                          | 特記事項  |               |
| 金川遺跡     | 集落                               | 縄文時代<br>中・近世 | 墓壙     | 土器、石器<br>陶磁器、瓦質土器     |                    |                          |       |               |
| 頭地田口C遺跡  | 集落                               | 中・近世         | 掘立柱建物跡 | 陶磁器、瓦質土器              |                    |                          |       |               |
| 頭地田口D遺跡  | 散布地                              | 縄文時代<br>中・近世 |        | 土器、石器<br>土師器、陶磁器、瓦質土器 |                    |                          |       |               |

2013年3月31日 印刷

2013年3月31日 発行

熊本県文化財調査報告第289集

金 川 遺 跡

頭地田口C遺跡

頭地田口D遺跡

著作権所有 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

発 行 者 熊本県教育委員会

印 刷 者 熊本市中央区上水前寺2丁目16番16号

シモダ印刷株式会社

発行者：熊本県教育委員会  
所 属：教育総務局文化課  
発行年度：平成24年度

この電子書籍は、熊本県文化財調査報告第 289 集を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名： 金川遺跡 頭地田口 C 遺跡 頭地田口 D 遺跡

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話： 096-383-1111

URL： <http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：2015 年 12 月 8 日